福岡県名所図録図絵

大阪 大成館編纂

大日本名所圖繪

福岡縣之部

載書遺漏

乙丑年秋月書

津々うみかた
おてまき名とゝなる
うれしあつ米と
乙すゝ時芳春

幸一翁 倩

宗像神社宮司
正七位 倉八 隣

福岡県名所図録図絵の贈呈にあたって

本年六月幻の図絵とされていた銅版画集「福岡県名所図録」の復刻が発行されました。

この書は、明治中期の佇ずまいや近郷の様子をうかがい知ることができる大変貴重な資料となっています。

また「今日復刻して残しておかなければ福岡県の文化、歴史の一コマが永久に消滅する。」と関係者が五年の歳月をかけて完全な収集復刻をおこない長期保存にたえるよう編集作成されています。

内容について、明治三十一年刊行の原本に忠実に復刻されており、説明文中現況にあわない個所がありますが、記載の「戸数、人口、里程」その他は当時の県庁の調査によるものです。なお、図絵一枚一枚に画かれている木立、建造物など非常に正確なものであり、また随所に当時の小学校の姿が見られ、その位置、原形が知られるなど、文化、社会、教育、宗教及び美術等の学習資料としてよろこんでいただけることと信じます。

また、福岡県文化財保護専門委員の方々など多くの専門家からの推薦もなされています。

このため、当教職員互助会は、退職互助部創設一〇周年の記念事業として「福岡県名所図録図絵」を各学校に贈呈することと致しましたので御活用下されば幸に存じます。

一九八五年　六月

財団法人　福岡県教職員互助会

「福岡県名所図録図絵」復刻の意義

――序に代えて――

九州大学教授
福岡県文化財保護審議会
専門委員　中村正夫

「福岡県名所図録図絵」は「大日本名所図録・福岡県之部」（明治三十一年、大阪大成館編）を今回の復刻に際して発行者により改題印行されたものである。改題の理由は、原本がおそらく府県別のシリーズを構成するものとして発刊されたものであったのに対して、現時点では復刻本が福岡県としての独自性を主張し得るものであり、そのことを前面に打ち出すためであったと解される。

復刻に当たっては、発行者の原田徳彦氏には随分とご苦労があった模様である。それというのも、まず原本そのものが完型の単行本の形では〈発見〉されなかったという問題があった（もっとも復刻本の初刷終了後一冊だけ発見されたが、汚損が著しく利用には耐えない代物であった。）つまり、〈発見〉されたものはすべて断片、しかもその多くはバラバラの一紙物で散在し、一部合綴されている場合でも極めてお粗末なものでしかなかった（版元の大成館では登載希望の社寺その他から出資を募り、その向きには当該社寺その他の別刷一紙を提供した可能性もある。一カ寺であるが原版（銅版）を保蔵している所もある）。

このような次第で、巻頭部分とくに目次が入手出来た段階で初めて本書の全容が判明したようなことであって、その前後を通ずる原田氏の収集の努力は並大低のことではなかった。原田氏が、郷土史研究者としての幅広い交友と自らの炯眼、熱意を備えた学識者であることでようやく実現できた事業であって、復刻本の完成自体ひとつの壮挙といわなければならない。

本書の内容にいたっては、もとより多言を必要としないであろう。印行は明治三十一年十一月とあるが、企画は少くともそれに二、三年先行したであろう。登載箇所は通算したところ、県下の二市一四町一四五村の神社一二二（一二五）、寺院七八（八〇）、邸宅六、風景一、庭園一、計二五三（二五八）のいわゆる名所である。勧誘に応じた出資の見返りとして登載されたのであろうから、名所としての条件は一義的ではない。地域的にも粗密の差がかなりあるようである。それにしても、明治中期の風物を現状と照合してみて興趣尽きないものがある。あるいは往時のたたずまいを今に残し、あるいしはそれを偲ぶしかない貴貴な縁（よすが）となっている。

この際、有志はもちろん学校等の公共機関に備えて郷土学習の教材として活用されるよう期待したい。本書印行の趣旨もまたそこにあったと思われる。復刻事業の始終を見守ってきた者の一人として、あえて付言しておきたい。

昭和六十年六月　再刊に寄せて

九州大学名誉教授
九州歴史資料館長
文学博士　田村圓澄

森にかこまれた神社は、鳥居や石灯籠まで丁寧に描かれている。山の麓の寺院は石段や門、鐘楼なども精密に現わされている。時には煙を吐く陸蒸気が走り、海には汽船や帆船が浮び、一枚一枚の絵が楽しい。

明治三十年代の福岡県下の名所二百五十点が集成されており、当時の「真景を模写」したこの細密画集は、たちどころに八十年前の名所旧蹟に私たちを案内してくれる。各図の解説も面白く、今では貴重な資料である。

この鎮守の祭礼に詣で、この田畑を耕したであろう往年の人びとの心が伝わってくるようであり、写真のアルバムとは異なった興趣と、そして郷愁を覚える。

幻の図絵

福岡県文化財保護審議会専門委員
西南学院大学助教授（民族）　佐々木哲哉

村落信仰の調査で県下の各地域を歩きまわっていた際に、時折、神社の古い境内図を描いた絵図に行き当たることがあった。簡単な神社縁起と祭事を付した銅版印刷のものであったが、何よりも有難かったことは、明治末年の境内末社等の配置と、周辺の景観が描かれていることであった。日本の村落の中には必ず神社があり、神社を中心として村落社会が成り立っていることは、一応誰もが気付いていることどある。しかし、実際にそれらがムラの生活の中でどのように機能していたかという点については、意外なほど明らかにされていない部面が多い。境内末社もその一つで、本社を中心にした庶民信仰の多彩な広がりを示すものでありながら、とかく見過されがちなものであった。私自身、この絵図をとおして、村落における神社の位置、末社および付属建造物の配置から、そこに意味されているものに気付かせられたことがしばしばであった。そのたびに、各地の神社、仏閣について通覧できるものがあればとの思いにかられながら、不明にして、それが『大日本名所図録（福岡県の部）』として存在していたことを、つい最近まで知らずにいた。私にとって、まさに幻の図絵であったわけである。それが、今回、大蔵出版会によって収集され、完全復刻本として成巻をみた。収録された寺社の数二四四。まさに快挙である。年来の希望のかなえられた喜びを述べ、併せて本書が多くの方々の研究に稗益されることを期待してやまない。

刊行に際して

本書は日本が近代化する以前の明治三十一年に、大阪大成館より発行されたたものでありますが、旧き時代の佇いや近郷の様子を偲ぶに大変貴重な資料であり、亦歴史的価値からも近来最も高いものであります。

この度、福岡県名所図録図絵のほとんどが収集出来たことにより、これを広く文化・宗教・社会・教育各界の参考資料として出版する為困難な復刻作業に取組みました処、各方面の格別な御推奨と御協力により、ようやく「福岡県名所図録図絵」の完全復刻本を完成しました、当会としては、これが広く斯界の諸賢の座右にあって参考に供されることに衷心よりの喜びと誇りを抱いておるところであります。

凡例

一、本書は明治三十一年刊「大日本名所図録（福岡県の部）」（清水吉康著）を原本として復刻したものです。

一、本書原本はＡ５版で中心部の傷みがひどいためＡ４版に作り替えています。

一、本書中残念ながら宗像郡の増福院のみが未収集となっております。

一、本書は原本に忠実に復刻したもので、本書記載中に現況に合わない個所があっても、あくまでも歴史資料として御利用下さい。

一、本書の編集都合で、市郡内にて多少順位（目録）が移動しておりますので御了知下さい。

一、本書の表紙題字は、福岡県美術協会理事　倉富康堂先生の書です。

昭和六十年六月

大蔵出版会

原田徳彦

緒言

本邦古來ヨリ名所地誌若クハ之レニ類スルノ著書ニ乏シカラズト雖トモ概ネ文意ニ因テ詳記スルモノ多クシテ字句高尚雅逸ナルカ爲メ通俗ヲ缺クノ感ナキ能ハズ偶々之レアルモ僅ニ一條ノ驛路、勝地等ヲ擧グルニ過ギズ又ハ古キニ失シテ現今ノ狀景ヲ知ルニヨシナシ今ヤ此ニ達觀スル所アツテ本書ヲ著スルヤ專ラ圖畫ヲ應用シテ境内地景等皆實地ニ就テ其眞景ヲ摸寫シ銅版ニ印刻シ傍ヲ由緒緣起ヲ明記シ附スルニ官廳、沿革、土地、海灣、天候、戸口等ノ種目ヲ詳細シテ郡市ノ概況ヲ示セルモノナレバ其至便鴻益ナルコハ言ヲ俟タズシテ明カナリ、其圖繪ニ於ルモ一目瞭然トシテ親シク實地ヲ踵ムノ壯觀ヲ呈シ永ク古世ニ表証シテ其興亡ヲ鑒察スルノ助タランコヲ期ス

明治戊冬於幽泉樓上　　怪石散士　謹誌

凡例

一本書は題號の如く專ら圖繪によつて其現況を知悉するの便を供するを以て主要とす

一載するところの圖繪は總て館員を派出せしめて其實景を摸寫せしものなれは毫も實地と違ふことなし

一本書記するところの社寺由緒、緣起等は徃々奇談怪說の語之れなきにあらすと雖も妄りに取捨せす直ちに採用記載せしものあり幸に咎むると勿れ

一本書記載の沿革、土地、海面、人事等の事故は概ね其大略を揭けて細微に渉らず

一書中戸數、人口、里程其他の統計文字は總て該縣廳最近の調査に係るものを揭出す

明治三十一年十一月　　編者識

福岡縣名所圖錄圖繪目錄

筑前國

福岡市

○鳥飼神社　西町　1
○金龍寺　西町　3
○出雲大社分院　通町　2
○聖福寺　博多　4

粕屋郡

○香椎宮　香椎村　5
○宗勝寺　仝上　7
○名島神社　香椎村　6
○箱崎宮　箱崎町　8
○宇美神社　宇美村　9
○梅岳寺　立花村　10
○五所神社　青柳村　12
○磯崎神社　新宮村　13
○大祖神社　勢門村　15
○醫王寺　席內村　7
○六所神社　立花村　11
○天理教出張所　仝上　12
○志賀神社　志賀島村　14

宗像郡

○宗像神社　田島村　16
○織幡神社　岬村　18
○宮地嶽神社　宮地村　19 20 21
○大善寺　仝上　23
○大平寺　仝上　24
○八所神社　吉武村　25
○增福院　河東村
○醫王院　仝上　17
○波折神社　津屋崎村　17
○諏訪神社　下西鄉村　22
○大森神社　上西鄉村　22
○正法寺　赤間村　23
○宗生寺　野阪村　26
○天理教出張所　東鄉村　27

遠賀郡

○高倉神社　矢矧村　28
○日吉神社　若松町　30
○惠比須神社
○氏森神社　矢矧村　29
○岡湊神社　芦屋町　33
○三輪庭園　仝上　34
○吉祥寺　香月村　36
○龍昌寺　矢矧村　29
○善念寺　仝上　31
○寶樹院　仝上　32
○熊野神社　岡縣村　32
○狩尾神社　山鹿村　35
○正願寺　洞南村　34

鞍手郡

○多賀神社　直方町　37
○須賀神社　下境村　39
○八所神社　木屋瀨村　40
○永源寺　仝上　40
○八劔神社　劔村　42
○六嶽神社　西川村　41
○瑞石寺　若宮村　45
○善光寺　中村　45
○東禪寺　日吉村　48
○隨專寺　仝上　38
○眞如寺　植木村　38
○須賀神社　仝上　39
○長德寺　仝上　41
○栗田邸宅　仝上　43
○天照神社　宮田村　44
○若宮八幡神社　仝上　46
○清水寺　仝上　47
○圓通院　山口村　48

嘉穗郡

○納祖八幡神社　飯塚町　49
○晴雲寺　笠松村　50
○嚴島神社　○牧野神社　頴田村　52
○本誓寺　大谷村　51
○寶滿神社　鎭西村　55
○天神社　稚井村　57
○下益神社　大隅町　58
○天滿神社　仝　上　60
○天神社　仝　上　62
○八幡神社　足白村　63
○宗賢寺　仝　上　64

朝倉郡

○大己貴神社　大三輪村　66
○中津屋神社　中津屋村　67
○美奈宜神社　三奈木村　69
○惠蘇八幡宮　朝倉村　70
○圓清寺　仝　上　71
○觀音寺　志波村　73

築紫郡

○太宰府天滿宮　太宰府町　74
○觀世音寺　水城村　76

糸島郡

○染井神社　怡土村　78
○圓覺院　仝　上　80
○高祖神社　雷山村　82
○興福寺　一貴山村　82
○龍國寺　波多江村　84
○志登神社　小富士村　85
○日吉神社　小富士村　86
○志々岐神社　芥屋村　88
○大祖神社　仝　上　90
○大歲神社

早良郡

○住吉神社　姪濱町　92
○光福寺　仝　上　92
○飯盛神社　飯盛村　95

豐前國

企救郡

○和布刈神社　門司町　96

○眞福寺　仝　上　50
○八幡宮　庄内村　51
○天降神社　仝　上　53
○福壽寺
○擊毱神社　仝　上　54
○八幡宮　穗波村　56
○永泉寺　仝　上　55
○隣翁寺　仝　上　59
○若八幡神社　大隅町　61
○鮭神社　仝　上　63
○福圓寺
○大根地神社　內野村　64
○高木神社　宮野村　65

○松峽八幡宮　栗田村　66
○美奈宜神社　蜷城村　68
○清岩寺　仝　上　68
○寶滿宮　志波村　71
○麻底良布神社　仝　上　72
○杷木神社　杷木村　73

○武藏寺　二日市村　75
○國分寺　水城村　77

○妙立寺　仝　上　79
○金龍寺　怡土村　81
○宇美八幡宮　長糸村　83
○深江神社　深江村　84
○六所神社　可也村　85
○西林寺　仝　上　86
○綿積神社　仝　上　87
○三所神社　北崎村　89
○小鷹神社　玄界島　91

○愛宕神社　仝　上　93
○紅葉神社　西新町　94

○甲宗八幡宮　仝　上　97

○眞光寺　全　上　98
○八阪神社　小倉町　100
○清水寺　全　上　101
○蒲生神社　東榮村　103
○福聚寺　足立村　104
○玉泉寺　松ヶ江村　104
○西大野八幡神社　東谷村　107

田川郡

○高座石寺　香春村　109
○鏡山神社　全　上　111
○高橋邸宅　採銅所村　113
○小笠原邸宅　全　上　115
○熊谷邸宅　全　上　117
○春日神社　弓削田村　119
○添田神社　添田村　121
○白鳥神社　全　上　123
○彦山神社　彦山村　125
○大祖神社　全　上　124
○高木神社　津野村　128
○我鹿神社　赤村上　130
○大祖神社　赤村小内田　132

京都郡

○大祖大神社　今元村　134
○須佐神社　全　上　136
○元永地景　仲津村　138
○安浦神社　萩郷村　140
○草場神社　苅田村　143
○正八幡神社　行橋町　142
○宇原八幡神社　椿市村　144
○下崎神社　西犀川村　146
○生立八幡神社　城井村　148
○木井神社　全　上　150
○高木神社

築上郡

○網敷神社　椎田村　152
○正八幡神社　八津田村　154
○正八幡神社　西角田村　156
○大富神社　山田村　158
○小倉山神社　上城井村　160
○嘯吹八幡神社　横武村　162
○八阪神社　南吉富村　164
○千束神社　黒土村　166

○恒永邸宅　門司町　99
○大興善寺　西紫村　98
○到津神社　板櫃村　102
○神理教本院　全　上　101
○綿都美神社　霧岳村　105
○八旗八幡宮　西谷村　106
○東大野八幡神社　全　上　108

○鵜岡八幡神社　勾金村　110
○古宮神社　採銅所村　112
○原田邸宅　全　上　114
○風治八幡神社　伊田村　116
○碇神社　全　上　118
○安永神社　大任村　120
○位登神社　猪位金村　122
○諏訪神社　中元寺村　124
○高木神社　全　上　126
○熊野神社　彦山村　127
○我鹿神社　赤　村　129
○大祖神社　赤村大内田　131
○大祖神社　赤　村　133

○松山神社　全　上　135
○春日神社　今元村　137
○勝手神社　全　上　139
○國分寺　豐津村　141
○正八幡神社　行橋町　142
○國崎八幡神社　白川村　141
○大分八幡神社　稗田村　145
○蔵持山神社　東犀川村　147
○高木神社　伊良原村　149
○菅原神社　上片島村　151

○金富神社　全　上　153
○若八幡神社　葛城村　155
○角田神社　角田村　157
○菓實神社　全　上　159
○求菩堤山神社　岩屋村　161
○八社神社　友枝村　163
○吹田濱神社　東吉富村　165
○沓川神社　沓川村　164

筑後國

久留米市
○水天宮　瀬下町　167
○日吉神社　日吉町　169

三井郡
○高良神社　御井村　170
○千光寺　山本村　172
○觀興寺　仝　上　174
○若宮八幡神社　草野町　175
○永禪寺　仝　上　177
○安國寺　山川村　179
○福聚寺　合川村　181
○天滿神社　北野村　183
○御勢大靈石神社　三國村　184

浮羽郡
○觀音寺　水縄村　185

八女郡
○天滿神社　水田村　186
○津江神社　黒木村　188

三潴郡
○玉垂神社　大善寺村　189
○寛元寺　西牟田村　190
○三島神社　木佐木村　192
○日吉神社　江上村　194
○三島神社　蒲池村　195
○風浪神社　大川町　196

山門郡
○三柱神社　宮内村　197
○八幡神社　沖端村　199
○清水寺　清水村　200

三池郡
○天滿神社　二川村　202
○慧日寺　上内村　203

○篠山神社　篠山町　168

○正源寺　國分村　171
○永勝寺　山本村　173
○老松神社　仝　上　174
○須佐能袁神社　草野町　176
○善導寺　善導寺村　178
○圓勝寺　弓削村　180
○媛社神社　小郡村　182
○高良玉垂神社　本郷村　180

○朝日寺　仝　上　190
○弓頭神社　三潴村　191
○天滿宮　青木村　193
○太刀帶神社　木室村　193
○崇久寺　仝　上　195

○熊野神社　羽犬塚村　187

○日吉神社　城内村　198
○大神宮　沖端村　198
○八幡神社　竹海村　201

○資滿神社　開　村　202
○天滿神社　駛馬村　203

福岡縣名所圖錄

清水吉康著

總論

福岡縣は筑前、筑後及ひ豐前の内四郡より成り九州の北端に位し、北は玄海洋、響灘を受け、早鞆の瀨戸を隔てゝ長門に向ひ、東は周防灘及ひ豐前、豐後に界し、南は肥後に跨り、西は肥前に接す、面積二百卅七方里餘、幅員東西二十七里二十町、南北三十里餘、戸數大凡二十三万、人口百三十餘万ありて二市十九郡に區劃せり、氣候概ね温和にして極暑九十九度、極寒三十二度の間にあり

○筑前國　東南は豐前、豐後、筑後に界ひ、西は肥前に接し、北は玄海洋に瀕せり、地勢山嶽多く曠衍の地少なし、其山脈東南より來るものは豐前田川郡の英彦山に起り西北に延亘して筑紫郡の竈門山に至り折れて西北に向ひ蜿蜒起伏して粕屋郡を經宗像郡に至りて止む、其西南境に綿亘し筑後の國界を劃する者九千部山、脊振山、竈山、獅子舞山等なり、其川流は遠賀川を最大となす、水源は嘉穗郡及ひ豐前田川郡より發して西海に注く、其海瀕の地は岬嶼島岐參錯相望めり、海陸運輸の便あり、土質は沃饒にして善く瓦穀を產す、

○筑後國　東南は豐後肥前に接し、西南は内海に臨み、西北は肥前に界す、地勢東南境は山岳多く御前嶽最も高峻にして國中諸山皆此より起り國の中央に一帶數里耳納山連亘すと雖とも西北平衍廣濶にして筑前、肥前に連る、千歳川は國中の巨流にして運送の便あれとも夏時は水害多し、土質概ね沃饒にして五穀に適し物產殊に多々あり

○豐前六郡　西南は筑前、豐後の二國に界し、東北は内海に臨めり、地勢山岳平地相交錯せり、其山岳は田川郡の英彦山に脈を發起せり、川流は山國川を大なりとす、國の北角は僅に海峽を隔てゝ長門に對し西海の要衝たり、土質豐饒五穀に宜しく又物產に富めり

○物產　陸には米、麥、石炭、茶、櫨實、楮皮（カウゾ）、藍葉（アヰ）及ひ菜種、大豆等、水產には鯛、鰯、鰕、田作（ゴマメ）、鰹節（カツヲブシ）及鹽、海藻等あり、其他生絲、博多織、小倉織、久留米絣、紙類、燒物、傘、呉蓙（ゴザ）、七島表、綿類等の特有產あり

○沿革　筑前、筑後は元と一國にして筑紫の國と稱し、豐前も豐後と一國にして豐國（トヨノクニ）と稱したりしが後別れて各前後となれり、維新前筑前は二藩、筑後及ひ豐前は各三藩ありて統治したりしが廢藩置縣の後、福岡、三瀦、小倉の三縣を置き明治九年更に之を合して一縣となせり

福岡市

國の北部に在り福岡灣に瀕す、東西一里十六町、南北十九町に亘り市坊百五十余、戸數七千五百六十余、人口五万四百余あり、那珂川を挟んで博多と境域を限れり、地に縣廳以下諸官衙學校等皆福岡に散在せり、諸會社銀行等又福博の両地に存し商工最も繁盛にして水陸の漕運至便なり、福岡城は市の西南に在り慶長六年黒田長政の築くところとす、今歩兵第二十四聯隊の營舍これなり、荒戸山公園は福岡の西北海に突出する小丘にして明治十四年完設なり、數地十万八百余坪ありて眺瞰極めて廣濶四時の風光頗る絶勝なり、博多港は西北に海を受け東西七町三十間、南北十三町、古來有名の良港にして船舶の出入織るが如し、灣は弘安の役元の兵船の覆沒せし所にして海防の石壘今も尚所々に存在せり、港頭に白色の燈臺を設く

縣社櫛田神社　博多町にあり町の氏神とす、孝謙天皇御宇天平寶字元年の創建にして河内國櫛田明神を勸請すと云、祭神櫛田神社、天照大神、祇園大明神の三座とす、例祭六月十五日

聖福寺　博多町にあり安國山と號す臨濟宗日本十刹の一にして千光國師の開山なり、禪法傳來の最初として其名最も高し、寺域廣濶秀麗福博の一位に居れり（國中詳記）

承天寺　博多町にあり臨濟宗の巨刹なり、仁治三年聖一國師を以て第一世の開山とす、天文廿一年大内家より寺領百石を寄附す、後秀吉、秀秋、長政等の領主より各領石を給せり、往昔は寺坊四十三ヶ所の多きを有せりと、今當寺十景の名勝を擧くれば、七里灘、十里松、冷泉津、寶滿山、覺生殿、慈視閣、獅子窟、圓通樓、吹耳閣、梅花廟之なり

警固神社　福岡市字福崎にあり縣社に列す、祭神は三座七神にして中殿に警固の三神左殿に小烏神社、白山神社、右殿に神功皇后、八幡大神を奉祀せり、社は國主忠之の產靈なるが故に崇敬厚かりし、例祭九月十九日とす

安國寺　福岡市字鍛冶町にあり曹洞宗に屬す、光明院の御宇曆應二年勅命に依て一國一寺安國寺建設の一なりとす、當寺はもと豐前中津に在りしが長政當國に主たりし後時の住職天翁に命じて今の地に移轉せしめ寺領三百石を寄附せん旨を告げしに天翁謝して請けず沙門の身は一衣一鉢にして佛道を修するの外他なしと堅く辭しければ公深く其道義に感じ輕く扶持するに止めしとぞ、寛政十二年回錄の災に罹り堂宇盡く燒失せしかば忠之之を再建して舊に復せしと云ふ

金龍寺　西町に在り曹洞宗に屬する巨刹なり

當寺創立の緣由を原るに後土御門院天皇御宇明應年間筑前國怡土郡高祖城主原田彈正少弼大藏弘種周防國吉敷郡山口城畔瑠璃光寺第三世桃岳瑞見禪師に歸嚮し領内に於て一梵刹を創立し師を請して開山の祖と稱せんとの素懷未だ果ざるに逝去したれは其嗣子彈正少弼奥種亡父の意を繼續し最も佛門に歸依せし故に亡父の法號金龍寺殿悦岩良怡大禪定門の爲めに此禪刹を創立し乃ち太祖山金龍寺と號し六町三反餘の耕地を寄附し又天文年間山林寄附の事は該寄附帖に明なれば爰に贅せず然るに天正年間豐臣秀吉九州征伐の時に原田家舊領を沒收せられ肥後の國に移されたる以降寺門漸く衰頽を極めたるに慶長年間筑前國舊藩主顯祖黒田長政の臣高橋伊豆匡順護法の檀越と爲り當寺を福陵城畔に移轉せんとを推擧せしに藩主其旨趣を允可せられ即ち荒戸山に殿堂門廡建設あり又此に幾許の星霜を經す慶安年

間荒戸山に東照宮經營のとき發起し夫れか爲めに當寺境内を上地せしかば當時の藩主黒田忠之よりは住職天外の望に任せられ舞鶴城の西邊方今の境内（昔八十間經九十間）を賜り荒戸山なる金龍寺の伽藍諸堂宇の解き除きたる木材及礎石に至る迄悉皆藩主より運搬せらるのみならず再建工事の費途に充つべしとて白銀若干及木材をも賜りたると古証書の存せるあり又明暦四年中藩主黒田家より山林五千坪を賜り尋て寛暦年間に山林二千四百坪を賜りたるとをも古証書の存せるありて明晰なり

◉諸堂宇の内一家の寄附に係るもの　○山門の木材　黒田家御寄附　○總門　高橋伊豆寄附　○禪堂　大野貞勝寄附　○鐘樓堂　鎌田八郎兵衛寄附　○裏門　縣氏寄附　○寶筐印塔　波多江氏寄附　◉黒田甲斐守長政の功臣二十五騎の内　○後藤又兵衛基次○衣笠因幡景信○吉田壹岐長利○林掃部直利○管和泉妻等の墓あり　◉貝原益軒の墓あり　◉島原陣に於て戰死士の墓あり　◉門末諸寺院○遠賀郡若松町吉祥寺○糸島郡一貴山村龍國寺○同郡可也村般若寺○同郡一貴山村聖種寺○同郡雷山村喜久寺○宗像郡神奥村長谷寺○糸島郡前原村桂木寺○同郡可也村長音寺○同郡今宿村金毅寺○早良郡殘島村永福寺○同郡同村養油軒○同郡四箇村定禪寺○同郡重富村法華寺○日田郡日田町梅林菴○塔頭慈眼菴○同龍潛菴○同松風菴◉松風菴は當寺舊領地東南の極にありて此れより西は樋井川の末流に臨み北は沿海に至る此地内に人家大都七十戸ありて古來當寺に附屬し明治維新前は公役等を勤めたるとき舊記に存せり○且當寺を高祖より福岡へ移すとは寶永年間貝原益軒の編輯に係る筑前續風土記に明なり且山號を耕雲山と改稱せしとをも明記せり

粕屋郡

福岡市の東北にありて西海に瀕せり、北は宗像郡に界し、東は鞍手、嘉穂の二郡に隣り、南は筑紫郡に接す、面積十五方里、東西三里二十九町、南北五里卅一町、戸數九千二百七十、人口四万九千七百餘ありて一町十八ヶ村に區別す、郡の南部を表粕屋といひ、北部を裏粕屋と稱す、地勢東方群山蜂起して自然の界をなし、北部境上に八ヶ久保、犬鳴の五峰聳立して西南に支脈を走らし立花山を呼起せり、鉾立、若杉、砥石の諸山は南部の郡界にあり漸く西下して各所に小丘を起せり、金山川は源を嘉穂郡大分村に發し篠栗の北部を西走し多々良川となりて海に注く流程四里十九丁、國道は宗像郡の福間驛より來り古賀、香椎、箱崎の諸驛を過きて福岡市に達す、鐵道も殆んど國道に沿ふて南走せり、當郡海邊の地は概ね肥饒良く農作に適せり

官幣大社香椎宮

香椎村大字香椎に在り、祭神、神功皇后、配祀、八幡大神、住吉大神、攝社、古宮祭神、仲哀天皇を奉祀す其緣記に曰く香椎宮は仲哀天皇神功皇后の天下を治め給ひし舊蹟熊襲三韓を征伐し給はんとを謀り給ひし大本營の名跡にして其名國史野乘に赫々たる所なり而して廟宮として朝廷より崇敬し給ひし起元は元正天皇養老七年二月六日神功皇后神託し給ひて曰く昔我香椎の古宮の許に劍鉾杖の重器を埋め其上に曾て鎧の袖にさしたりし杉を植ゑ萬千秋の長秋に皇孫尊を護り長し

なへに外國を降伏せしめんと誓へり依て朕か神靈を香椎に鎭祭すへしと宣ひしにより之を太宰府より朝廷に奏上せしかは卽時に詔して課役を九州に出さしめ初めて廟宮を造營し續て拜殿廻廊樓門神厨神庫を始め其他甍を並へて建連ね且爾後の遷替修繕は皆九州の課役たるへき旨をも定め祭田神領を千有余町寄附せられたり其檜ねさせ給ひし杉は其葉常の杉と異なりて海松房を見るか如く交葉綾の紋の如くなれはとて綾杉とは名稱け神木として瑞垣を周らせり然りしより國家の宗廟として朝廷の御崇敬は伊勢神宮に亞きて最も厚くし給ひ且つ神功皇后は熊襲三韓を征伐し海內外の兵亂を平け國を安く治め給ひ外國より每年八十餘艘の貢稅を後代まて日本に奉らせ給ひし其文武の御盛德を仰き尊みたまふのみならす御託宣の旨趣もあれいとて內外兵革の起らんとする時は更なり天皇の卽位の時には必す遠き筑紫の此廟宮に勅使を差遣し幣帛を捧け告祈し給ひしと國史野乘に歷々たり又此廟宮炎上の時には天皇五箇日廢朝あらせられたると禁秘御抄其他にも見ねたるは此則ち伊勢神宮炎上の時と格を同しくし給ひしを以ても朝廷御祟敬の他社に超越たるとを知るへきなり故に今尙官幣大社として專ら祟敬したまへり

古宮の起元は仲哀天皇此宮にして崩御の後神功皇后自ら祠を建て天皇の神靈を齋き祭り給ひしそ初めなりける而して古へ香椎廟宮と稱するは古宮姬宮（姬宮ハ卽チ神功皇后ノ廟ナリ）一所二宮の稱にして朝廷の御祟敬は兩宮等を同しくしたまひしなり其由北山抄左

輕記等に香椎廟の幣帛二具（古宮一具姬宮一具）と見ねたり然るに拾芥抄に香椎廟は神功皇后なり或は仲哀天皇なりと稱し一定なきよしに云へるは香椎廟の一所二宮なるとを明らかに知らさるによりてかゝる說も出たるなり又諸神根元抄太宰府例の香椎廟奉拜辭に大八島國知々倭根子天皇大前示云々とあるは仲哀天皇を差し奉りし言葉にして古宮をも古へ崇敬したまひし趣愈明白にして一所二宮たるとを證するに足るへきなり又國々に一宮と云ふありて其國司赴任の時初めて參詣する社を一宮と云ひしか香椎宮は其一宮より超越して崇敬あらせらるゝ廟宮なるにより九州二島を管知する太宰帥自ら國郡司を率ねて參詣する例と定められたり其參詣は赴任の時のみならす春秋の祭日にも亦同く國郡司を率て帥自ら參詣するの例なり此事は右の奉拜辭に見ねたり且つ萬葉集なる神龜五年帥大貳豐前國司等の歌にても明なり帥參詣の時は神祿として綾杉の葉を帥の冠にさすと古例にして其事も金葉新後撰の歌集に見ねたり且又綾杉の葉守札不老水等を每年春捧け持ち神官等上京して朝廷に奉るとも古例にして維新の際まて行はれたり尙宋史に仲哀天皇國人云今爲鎭國香椎大神とも見ねて其名の外國にさへ聞へたるを以ても當時當廟宮の名聲威權赫々たりしを知るへきなり古宮の前に立る椎木は天皇の御棺をかけ奉りし故に棺掛の椎と稱し神木とし瑞垣を周らせり

箱崎宮　箱崎町にあり官幣中社に列す、天平寶字三年の創建にして應神天皇、神功皇后及玉依姬を合祀せり、本社に藏する敵國降伏の四字は醍醐天皇の宸筆なりと云

宇美八幡宮　宇美村大字宇美に在り縣社にして應神天皇を奉祀す、社は天皇降誕の地なり依て地名を宇瀰と稱せり、社傍に大楠あり湯蓋の森と云ふ天皇降誕の節此木の下にて產湯を浴し給ひし所なりとぞ

大祖神社　勢門村大字若杉に在り縣社にして祭神を伊弉諾尊とす、社は若杉山頂にあり登路二十五町許亘杉森々繁茂して幽邃極りなし土俗之を奥の院と稱せり

磯崎神社　新宮村大字新宮の産土神にして祭神は大己貴命少彦名命素盞嗚尊なり社記に曰く鎭座の起元は本大字より西北に方りて岬あり其海中に筥瀬と云あり上古此筥瀬より大己貴命少彦名命出顯し給ひしより其岬を磯崎の岬と云ひ此所に始めて神祠を建て奉祀すと云ふ(常陸國大洗酒列両磯崎神社の社傳に相似たるとあるは祭神の同しきを以て自ら袖の然らしむるものなるべし)然して素盞嗚尊は大己貴命の祖神なれば其縁故を以て後に配祀したるものなり抑筥瀬と稱するは藥術の技方は多く筥より出て丶世人を助くと云ふ諺により藥師の神大己貴命少彦名命出顯の縁故により然か名稱けたるものなるべし故に往古より今に至るまて漁人此筥瀬を祟め尊みて之に觸る丶となし若し之に觸るれば神の祟によりて漁獵なしと云ひ傳ふ又本大字人家は往古大字湊と同村落にして神宮湊と稱したりしが海濱漸次に白砂吹埋め漁業の不便を來し丶より貞享二年藩主より浦吏經營司大野貝原の二氏に命して波際に石壘を築かしめ大字湊より漁戸を割て此内に轉居せしめ同時に磯崎神社を其東位に遷し奉り産土神と尊祟し此時神宮を改めて新宮と稱せしものなり即社殿の規摸を擴張し石門を建て石壘を繚らし泉井を掘り社境風致を完備せり是より藩主代々の尊崇厚く尚世人の參拜四時絶るとなし

○境内に二個の靈石あり陰陽石と稱す其相距ること僅に五六間南方なるは陽石にして力石と稱し北方なるは陰石にして子持石と稱す子なき婦人來りて此神石に祈れば靈驗著るしくして忽ちに娠む故に子持石の稱あり然して其報賽には其生兒に磯或は崎の字を以て命名するを古例とす依て古來當國主或は秋月領主久留米藩主等屢參拜祈誓あり今猶世人の參詣殊に多し是藥師の神子孫繁榮を守護するの御神德の一端を見るへきの徽證とすへし

箱崎町　郡の西南海濱にあり箱崎八幡の所在地なるを以て其名著はる、粕屋郡役所警察署等あり郡の市邑とす、福岡を距る三十二町

千代松原　箱崎の海邊にあり箱崎松原又は八十里松原とも云へり南北一里東西十町以内青松常に白沙に映し白帆点々其狀顧る佳絶なり天正年中秀吉來陣の際一日利休豐公に茶を献せんとて松ヶ枝に雲龍の小釜を釣り松葉を焼きて茶を奉る公卽詠に「あつき日にこの木の元に立寄れば波の音する松風そ吹く」千歳をもたゝみいれたる箱崎の松に花さく折にあはゝや」其後此所の老松を利休松原といひ又は御茶屋松原ともいふ明治十年縣の公園となり七万五千余坪の敷地あり

香椎潟　香椎村海邊の總稱なり眺眸殊に秀でたる勝區にして三條實美公の筆になれる碑あり

香椎冷泉　香椎村に在り單純泉にして小兒胎毒、疥癬毒等に特功あり

鴛與丁池　中原村千鳥池附近にあり景勝なり

人丸墓　下府村内にあり

多田羅橋　多田羅村金出川に架す長四百七十間

南風湊神社　は本社の攝社にして祭神は風神なり此社を鎭祭する所以は本大字人家湊に居住せしときの産土神なりしを以て當地に轉居の後も尚其舊緣を慕ひて本社境内に移し奉るとゝはなしたるなり

宗像郡

國の西北に位し北遠賀郡に界し東較手郡、南粕屋郡に隣れり而して西一面玄海灘に向へり、東北境上ハ峻峯相繞り西南又高嶺に乏しからず故に小陵各地に蜿々たり孔大寺山は郡の巨峯にして北境に秀づ高さ千三百三十三尺登路一里あり山頂に大穴あり故に名つくと、戸數八千百五十余、人口四万六千八百六十余ありて十七ヶ村に區畫し郡衙を東郷村に置けり、郡の面積十方里一分二厘、東西四里十八町、南北四里廿五町、耕野甚だ豐なり、國道は遠賀郡の芦屋驛より來り赤間、福間の二驛を過ぎて粕屋郡に入れり

宗像神社　田島村に在り官幣中社に列す、祭神田心姫、湍津姫、市杵島姫の三神にして郡中の三所に之を分祀せり、邊津宮、中津宮、瀛津宮と稱す、邊津宮は卽ち當社なり（國中詳記）

宮地神社　宮地村に在り郡の名社にして賽者常に群をなし其名遠近に著はる（國中詳記）

鎭國寺　田島村に在り眞言宗に屬し屏風山と號す、龜山院の御宇弘長年中僧皇鑒の開基なり、宗像大宮司長氏堂舍を造建して五社の本地佛像を安置し國家鎭護の道場となせり、故に其名あり、開基以下二十八世に至り住僧斷絶せしが慶安三年昌傳と云へる僧來住して仁和寺末となれり、五佛堂は往昔より國主の造營する所となり寺領等も若干寄附ありしが何時の頃にか皆廢せられ近代大に衰頽して僅に一の小坊を存するのみ

鐘の御崎　岬村大字鐘崎に在り、古昔三韓より大鐘を吾國に送らんとて來航せし船舶の此海に沈みしに因て此名あり、文明十五年宗像大宮司興氏鐘を揚んとて多數の群卒をして船上より大綱を以て引揚んとせしが忽然海面震動して强烈なる風雨侵來しければ諸卒恐怖して終に其事を果す能はず、後慶長九年黒田長政又天變の襲ふところとなりて揚鐘終に止ぬと因て今尚海底に存すといふ、崎の突角に小丘あり佐屋形山といふ其形屋形に似たるを以て稱すと、御崎と地島との間を迫門と云ふ皆地方の勝地なり

大島　神港村の西北六里余に在り、東北響灘に向ひ西南玄海洋に面せり周圍三里十二町戸數三百二十一、人口千八百八十余を有せり地に牧牛場あり敷地一千二百六十余反歩の廣きに亘る、大潮二俣瀬は背後響灘に面する小突にして怒濤常に鬱々たり

地島　大島の東部に在り鐘の岬と相對せり周圍一里卅二町戸數九十余戸、人員五百余あり岬村に屬せり

赤間村　郡の東北隅に在る名邑にして警察署郵便電信局等あり又國道の名驛に衝り商市頗る盛なり縣廳を去る九里三町

遠賀郡

國の北端に位す、南較手郡に接し、西宗像郡に界す、東豐前國企救郡に交わる、北部一面海に濱せり、土地平野多く只企救郡界に帆柱山秀聳して余脈を四方に延はすのみ他は皆小丘諸々に斑起せり、面積十五方里、東西七里九町、南北四里十六町、二町十七ヶ村に分て

り、戸數一萬千百十七、人口六万四千余あり、遠賀川は鞍手郡より來り底井野村を經て芦屋町に至り西海に注ぐ國内第一の巨川にして舟楫の便に富めり、國道は小倉より來り黒崎を通して鞍手郡に入る之を熊本街道とす、福岡街道は小倉より若松に來り山鹿、芦屋を過きて赤間驛に通す何れも道路平坦にして車馬に便なり又九州鉄道は幹支線兩郡の中央を通じ折尾驛にて相交叉せり、社寺には高倉神社、杉守神社、狩尾神社、惠比須神社、龍昌寺、吉祥寺等あり、其他飛梅、中島城址、則松温泉、堀川壯觀、修多羅古戰場の名所あり

若松町　本郡の東北海瀕に在り戸數千三百八十余、人口八千余あり昔時は修多羅村に屬する寒村なりしが近時筑豐四郡より採堀する石炭の集積場となり著しき繁昌を來たし商肆連檐車馬絡繹織るが如し、若松警察署、郵便電信局、若松病院、米穀石炭取引場、電燈會社、九州石炭會社、築港會社其他銀行諸會社等市内各地に散在して高衙秀樓を爭ふに似たり、港内常に數百隻の船舶碇繋し石炭の集散に忙はしく其狀頗る壯觀なり然れども灣内屈曲港口深からさるを以て大船巨船の出入自由ならす故に目今築港の大計畫あるゆゑんなり、福岡を距る十七里六町、

芦屋町　郡の中央響灘に面せり、遠賀川の帶水を隔てゝ山鹿村と相對せり、遠賀郡役所、警察分署等ありて郡の名邑とす、芦屋港は元と岡の港又は岡の津と稱し往昔は船舶出入數多ありて一の交易場たりしといふ、神武天皇日向より東征の時先築紫の岡の水門に至り給ひ又は仲哀天皇、神功皇后も此處に來り給ひし事等古書に見へたり後豐臣秀吉三韓征伐の際軍勢を當港より乘船發途せしめたりしといふ故に古へは著名なる良港たりし事明かなり

黒崎村　郡の名邑にして熊本街道の要驛に衝り商賈頗る盛なり、黒崎城址は藤田村に在り黒田長政の築くところにして其臣井上周防之房を封して二萬石の采地を給せり爾來村名を黒崎と稱するに至れり

名古屋崎　戸畑村の北白沙長く海に突出する處なり、北方遙かに長門の天連嶋を白沙漂渺の内に隱見せり、西に相島、白島を臨み近く若松町の紛壁白亜皆一眸の内に集り四時の風光頗る壯觀閑雅なり

浪懸岸　山鹿村の西北響灘に臨みて巉巖の凸凹あり大浪懸、小浪懸と稱す西北の强風には激浪怒濤岸岩に打上け來る其様殊に壯觀なり

茶臼山　山鹿村の東に在り安德天皇此ところに居給ひし時鐘を懸けられしと云傳ふ鐘懸松あり

鞍手郡

本郡は遠賀郡の東に在り、西宗像、粕屋の兩郡に交はり、南嘉穂郡に接し、東豐前國田川、企救の二郡に跨る、地勢西南に瞼峯多く東境又高峯乏しからず、東部に遠賀川貫流し沿岸田野遠く開けて五穀豐饒なり、郡中至るところ炭坑ありて採堀日に盛なり、天岳は東部國境に雲秀する郡の巨峯にして登路二十五町頓野村に屬せり、熊嶽山、尾葉山、横谷山は西部にありて吉川村に屬す、六嶽は郡の中部に聳立して遠く西北に支脈を出せり面積

十六方里四分三厘、東西五里二十六町、南北三里三十二町、一町、十八ヶ村に區別し戸數九千五百六十四、人口五萬五千二百余人を有す、九州鐵道支線は折尾より來りて嘉穂郡に入るものと一は直方町より分岐して田川郡に至るものとあり皆運炭に便せり

直方町　郡内の都邑にして遠賀川の上流嘉麻川の西岸にあり此地は元黒田氏の支封たり市内人家稠密商賈殷盛なり郡役所郵便電信局警察署等あり福岡を距る十二里三十四町

多賀神社　直方町に在り祭神伊邪那岐、伊邪那美大神、八幡大神を合祀せり例祭春夏秋の三期に之を執行す（圖中詳記）

天照神社　宮田村大字磯光に在り鄉社なり、垂仁天皇七十七年の創建とす（圖中詳記）

若宮八幡神社　若宮村大字水原に在り鄉社とす、祭神應神天皇神功皇后、武内宿禰の四神を合祀せり、創建は弘安二年なり（圖中詳記）

清水寺　中村大字黒丸に在り眞言宗に屬す、僧行基の開基にして天平年中の創建とす、寺域は山の半腹に在り東南北の三面瞰下頗る明美なり（圖中詳記）

瑞石寺　若宮村大字金生に在り丹鳳山と號す、天眞和尚の開基なり、寺域幽邃にして賞するに足るものあり（圖中詳記）

勝野古戰場　往昔龍德村龍岳の城主杉某と、御德村權現山の城主某と屢々合戰ありしに杉氏常に利を得たりしかば名けて勝野と稱するに至れりといふ

木屋瀨村　郡の名驛にして熊本街道の要路なり人家櫛を連ぬ、此地往昔僧勝光といへる者穗波郡（今嘉穗郡）明星寺再興の爲豐後臼杵家より寄附の木材を船にし蘆屋川より上せ當所に陸揚して入れ置きし木屋ありしかば終に今の村名となれり

長谷寺　西川村大字新北にあり淨土宗鎭西派に屬せり、本尊十一面觀音の像は行基の作なりといふ、境内に千本檜として本一木にして末葉繁茂せり當寺元眞言宗の大地にして五百石の寺領六區の僧坊等皆備はりしが後燒失して大に衰頽せり

鴨生田池　香井田村大字龍德にあり周圍三里十一町、小野本田池、頓野村大字感田にあり周圍一里九町共に郡の名池なり

鑛泉　吉川、日吉の兩村にあり單純温泉にして打撲及傷疝毒湯火傷小瘡等に頁し

嘉穗郡

國の中部東端に在り、北鞍手郡、西粕屋、筑紫の二郡に界し、南朝倉郡に接せり、東方一面豐前國田川郡に連る、面積二十二方里二分八厘、東西六里三十四町、南北十一里廿四町あり二町十七ヶ村を有す戸數九千九百七十八、人口六萬千四百余あり、地勢東南峻嶺相連りて自然の境界をなし北部稍平衍なり、郡中石炭の產所多く就中高雄、鯰田の兩坑を以て最となす、馬見山は郡の高嶺にして頓野村に屬せり、登路一里二十五町、其他内野村に根地嶽、鎭西村に竜玉山、大分村に大谷山等皆高秀を爭ふか如し、嘉麻川は源を宮野村に發し西北に流れ飯塚の東を過きて鞍手郡に入る之を遠賀川の上流となす、長程十五里余實に縣下の巨川たり、國道は鞍手郡の直方町より來り飯塚天道内野を過きて朝倉郡に通す、又鐵道の便あり飯塚、臼井、大隅、山田に停車場を設け運炭交通共に至便なり

大分八幡宮　大分村にあり、鄉社にして祭神を八幡大神、神功皇后、玉依姫の三座とす　續風土記に曰く、仲哀天皇九年十二月十四日神功皇后柏屋郡宇美村にて應神天皇を誕生し給ひ翌年の春都に登らんとて皇子を相具し宇美より大口峠乳呑阪を過きて此處に（今ノ社地）留り給ふ斯る靈跡なれば聖武天皇神龜三年御詫宣あつて御社を建立せり云々例祭陰暦九月九日なり

龍王山　八木山にあり登路二十町許山頂に龍王の社ありしに因て名付けしとか、天狗岩、高落の龍七間岩、八木山氏の墳墓等あり、山頂に登れば遠く田川郡の部落を指點し近く全郡の田圃を下瞰す風光頗る明眉なり

飯塚町　郡の北部にある名邑なり、郡役所、警察署、郵便電信局、區裁判所等の設けありて市街殷昌を極め漕運甚た便なりとす、此地を飯塚と稱せしは昔時明星寺造營終りて開堂供養の時飯を多く炊しが殘飯多量ありて塚の如く積上けたるより終に其名を得たりと、納祖八幡宮は町の氏神にして北端の小丘にあり、縣廳を距る九里五町、直方町へ三里半、内野村へ三里半道路平衍良く車馬を通す

大隅町　郡の南東に在り飯塚を去る南三里二十町、南朝倉郡の小石原、西仝郡秋月東田川郡等に通する要路に衝り人馬來往盛なり地に大隅警察署あり、字下益と稱する所に古城の跡ありしを長政入國の後改築して後藤又兵衛に采地を與へ居らしむ元和元年台命に依て廢滅せり、福岡を距る十二里二十五町許

岩瀧　中益の山中にあり高サ六丈余懸岩絶壁流下噴沫聲雷の如し一の奇觀とす

安國寺舊跡　熊田村大字下山田の東南に在り境域廣濶なり、昔七堂伽藍塔頭皆備りて最と壯觀を極めたりしが文政四年回錄にかゝり盡く燒失し殘れるは本尊千手觀音の一体のみ後觀音堂を再興せしが何時の頃にや毀廢して今其跡を留めず

名所舊跡　不動の佛像岩（立岩）五百羅漢の石体（山野）乳呑阪、御腰掛（内住）明星寺（明星寺）金剛禪寺舊趾（大日寺）天道驛舍利倉村、種因寺十三塚（土師）山伏塚（庄司）

朝倉郡

國の南隈に位す、北嘉穗郡及豐前田川郡に界し、西筑紫郡の一分と筑後三井郡に接し南筑後川を限りて筑後浮羽郡に隣り、東豐後國日田郡に交はれり、地勢東北過半山岳重疊起伏し國道以南一面平野肥沃多し、鳥屋山は高木村に屬する郡の巨峯にして登路一里十町、寶珠山其東に聳ゆ、三取合山、兄弟山、荒平山等は皆北境に在る高嶺なり、面積二十二方里五分八厘、戸數一萬四千百余、人口八万五千有余、二ヶ町二十四ヶ村に區別せり、大分街道は筑紫郡の二日市驛より來り山家、甘木、比良松、杷木を經て豐前豆田町に通す道路平夷なり、熊本街道は嘉穗郡内野驛より來り山家を經て筑後國の松崎驛に至る

甘木町　郡の名邑にて商買櫛を連ね街區洙に殷昌なり、郡役所、警察署、郵便電信局、裁判所等の設けあり、往古は筑前後肥前後、豐前後より商人來集して盛なる市場を開き爲に車馬の來往最と繁昌なりしが今大に其趣きを異にせり、福岡市を距る八里十九町、三家へ三里比良松へ二里余あり

中津屋神社　中津屋村大字砥上にあり、祭神神功皇后、住吉大神、八幡大神の三座とす、傳へ云ふ、神功皇后新羅討伐の際諸國の軍兵を此處に招集し中屋となりと定め給ふ因て後當地方を中ッ屋の郷といへり又軍兵に命して兵器をとぎみがゝせ給ひしが故に砥上とも稱せり斯る緣故あるが爲後世に至りて當社を齊き祀りしとなん

大已貴神社　大三輪村に在り縣社なり延喜神名帳に於保奈牟智とあるは卽ち是れなり、境內頗る幽閑にして諸木鬱蒼たり（國中詳記）

秋月村　郡の名邑にして甘木町の北一里半嘉穗郡に通ずる要衝なり、此地元秋月氏の居城なりしが後黑田長政の采地となり次子長興に與ふ、示來家臣等邸宅を搆へ工商來集して一の市邑となれり山林の風光秀美にして一の雅鄉たり、秋月八幡宮は秋月及上秋月の產神なり社は上秋月の丘上にあり、證段數階あり後深草院寶治年中の創建なり、例祭九月十五日渡御の神幸ありて最と嚴肅なりといふ

惠蘇八幡宮　朝倉村大字山田にあり、祭神は應神天皇、齊明天皇、天智天皇の三柱とす元と上座郡の惣社なり（國中詳記）

朝倉關　山田字惠蘇宿にあり「名のりして夜深く過ぬ郭公我をゆるさぬ朝くらの關」

朝倉橘廣庭宮　宮野村にあり、齊明天皇六年新羅より百濟を征討し給ひし後日本より救ひの兵を出さんため翌七年天皇自から筑紫に下り此所に行宮を建て給ふ因て木の丸殿ともいへり大字須川の地卽ちこれならん「朝倉や木の丸殿に我をれは名のりをしつゝ行くはたか子ぞ（天智天皇）」

名勝舊蹟　南林寺（宮野村）　集雲菴址（志波村）　麻底良古城址（全上）　龜塚（全上）　鏡石（菱野村）　原鶴古戰場（久喜宮村）　三ヶ月古城址（池田村）　長尾古城址（長尾村）　花園瀧（鼓村）　松尾山古城址（小石原村）　針目古城址（鬼丸村）　鬼の簽（城村）　對面所（屋敷村）　阿彌陀峯（久光村）　婦夫石（秋月）

筑紫郡

國の南端中央に位し北粕屋郡に接し、東嘉穗、朝倉の二郡に交はり、西早良郡に連り南肥前三養基郡と筑後三井郡とに境せり、面積十七方里三分四厘、戶數一万千七百九十一、人口六万七千三百八十余を有し二ヶ町二十ヶ村に區分せり、地勢西南部に高峻起伏し、東部嘉穗郡界に至りて群嶽又連亘せり、中央以北一帶平夷にして田圃連り五穀甚た豐なり、佛頂山は御笠村に屬する高峯にして登路一里、龍門山も又同村に屬する高峻なり、大城、天拜、九千部、一の嶽等皆亘峯にして西南に聳立す、那珂川は源を早良郡の脇山に發し郡の西部を北流して福岡灣に注ぐ流程八里十七町、御笠川は源を寶滿山に發し國道に沿ふて西下し博多に至りて海に入る、國道は福岡より發し雜餉隈、二日市の二驛を過きて朝倉郡に入る、九州鐵道も畧同道に沿ふて東南に走り二日市の稻東に於て南に分岐し肥後に入れり

龍門山神社　御笠村龍門山の頂きに在り、官幣小社にして玉依姫を奉祀し合殿に神功皇后、應仁天皇の二座を祭れり、日向國高知尾岳にて神武天皇を產給ひ後當山に入り玉ふとかや、境內古杉老樹繁茂し自から神靈の高きを仰かしむ山內各所に名蹟の

著しきものあり曰く天龍の井泉兒落七箇の岩屋妙靈水獅子の瀧馬蹄岩其他奇觀靈蹟乏しからす

太宰府神社　太宰府町にあり官幣中社にして管原道眞を祀る延喜九年の創建なり社域曠大にして社殿皆華美を盡し頗る壯觀なり二日市停車場より里許四時詣者の絶ゆる間なし夾に高層なる旅館雅美なる茶店軒を連ねて詣者を待てり

觀世音寺　水城村大字觀世音寺に在り清水山善門院と號す往昔は西海唯一の巨刹なりしと當寺は天智天皇の創建なり（國中詳記）

武藏寺　二日市村大字武藏にあり郡の巨刹とす（國中詳記）

太宰府舊址　觀世音寺の西方にあり

都府樓遺址　觀世音寺の西北に在り天智天皇の世初めて建つるものなり

水城　水城村に屬せり天智天皇の時外寇に備ふる爲築きしものにして元寇の役我兵之に據りて大に勝利を得たりと云ふ

筑紫神社　原田村に在り式内の郷社にして五十猛命及相殿に龍門神社を合祀せり元御笠郡の惣社たり社は原田村の北端丘上にあり

天拜山　武藏に在り登り十五町頂上に天神の社と古松一株在り管公天を拜せしと云ふ著名の山陵なり

湯町溫泉　二日市村の武藏に在り大化年中の發見にして齊明天皇の行幸し給ひしこと有りといふ溫度百十三度泉質含硫弱食鹽泉にして外傷小瘡火傷打身脚氣等に良し近時瀟車の便開けてより浴者著しく增加し浴舍日々盛んなり

住吉神社　住吉村に在る縣社なり底筒男命中筒男命表筒男命の三神を祀る

糸島郡

國の西極に在り東早良郡に隣り南肥前國小城東松浦の二郡に跨り西北海に瀕せり地勢至る處山岳丘陵重疊起伏して中央の小部に平野を存するのみ舊志摩郡と稱せし地は半島形をなし三面海に臨みて灣入突角極りなし面積六方里二分五厘あり山嶽の主なるものは井原山なり登路一里十七町怡土村に屬す雷山は雷山村に在り登程一里十五町山上に怡土氏の城址あり王丸山獅子舞山深江山等皆郡中の高峯なり雷山川は源を雷山に發し小富士村にて海に注く流程四里十六町唐津街道は早良郡の姪の濱より來り今宿前原深江吉井の諸驛を通して肥前濱崎に通す前原深江は郡の名邑にして警察署の設けありて市街殷昌なり

玄海島　北端の突斗西浦崎の北一里にあり周回一里戸數六十八人口四百七十九人を有せり西に柱島南に札島を扣へ東方志賀島に相對せり

小呂島　玄海島の西北洋中にある一孤島なり内に二十九戸百三十余の住民ありて小田村に屬せり本村を距る實に二十八里十四町あり周回一里許

姪島　芥屋村の正西にあり周回一里戸數四十八戸人口二百四十三あり芥屋村の内なり陸地への最近六里十六町

芥屋大門　芥屋村の岬角にある岩山にして高さ二十余丈海中に斗出して宛も數千の石柱を束ねたるが如し北面に孔洞あり奥深くして未た其極る所をしらず甚奇觀なり

港灣　深江、加布里、唐泊、横濱等は郡の良港にして常に船舶の出入に便なり又今津は往昔今の長崎港の如く常に唐船の來泊あり文永八年中両度蒙古の使者來朝せし時も此港に着せしと云、弘安の役異賊防禦の爲に築きし石壘今猶諸々に殘存せりと雖とも港内一變して船舶碇繋に便ならず、唐泊港は今津の西一里半にありて小田村に屬せり當港も古來より外船の來泊するものありしにや韓人の宿所を置かれ韓亭と稱せり

可也山　可也村大字小金丸にあり其形頗る富士に似たるを以て筑紫富士とも云へり、登り十五六町に過きず山頂の眺望四面開濶にして遙に壹岐島を臨むべく、此山古は樹木繁茂せしが小早川隆景當國に主たりし時伐材して其根を枯らせし以來今の如く茂山となれりとかや

誓願寺　今津村に在り眞言宗に屬す、當寺は仲原氏の女所願あつて其夫寛智と云者の創建なり女年三十四歳にして深く佛道に歸依し丈六彌陀彫刻の誓を起し方丈建立の願を企てけるによりて誓願寺と稱せしとか往昔は支坊四十二ありて最と盛んなりしか次第に衰へて廢頽せり

柑子岳城址　草塲、○釋迦牟尼島、○西浦○燈臺背　芥屋の沖三里にあり○烏帽子岩上○泊村古城　泊中務少輔鎮家の城址なり○婦夫石　吉田の山腹に在り大岩にして純白なり高さ三間長四間あり○津和崎石篇

早良郡

糸島郡の東に在りて東部筑紫郡と福岡市に接せり、南肥前國神崎郡に界す、而して北方一帶福岡灣に瀕せり、郡の南部山嶽丘岡相重り北部に至りて稍平沃の耕地あるのみ、背振山は郡内の秀峯にして直立三千五十三尺あり脇山村に屬せり、鬼鼻酒盛の二山も同村に屬する高嶺なり、室見川は源を脇山村に發し北流して姪濱に至り海に入る流域五里三十二町驛路は福岡より來り西新町姪の濱を過きて糸島郡に入るものと一は西新町より分岐し次郎丸を經て肥前に入るものと二道あり、郡の廣袤東西三里、南北四里二十町、面積九方里八分、郡役所を西新町に置き二ヶ町十ヶ村を統治す

姪の濱町　西新町に亞ぐ名邑にして人家稠密せり往昔神功皇后三韓より凱陣の當時此所に着船し玉ひ柏の御衣を干給ひけるによりて柏濱と號せしを何時の頃よりか姪濱と云來れり、鷲尾山城址、元寇防禦の石垣址、愛宕神社、住吉神社、光福寺等皆町の名所たり、土地福岡灣に面するを以て眺望殊に秀眉なり

殘島　姪濱町の西北にあり周圍三里、面積二分三厘、戸數百二十九戸、六百二十三人を有せり、荒崎は島の北端にありて志賀島と相對し、城ヶ崎、白島崎東西に突崎せり村説に神功皇后異國より歸朝の時此島に住吉の神靈を殘し留めて異國降伏を祈り給ふ依て殘島と云と曰り、姪濱町より海上一里十六町

生の松原　壹岐村大字下山門の海邊にあり東西十二町南北五町許の間蒼松一帶白沙と相交はり樹間白帆点々相往來するの狀佳絶清眉能く筆の及ふ可くもあらす、傳へ云神功皇后松の枝を逆に挿植して若事故なく異國平伏して歸朝せは此松生きなんと祈り給ひしと故に此名あり

老ぬとも猶行さきのねかはるゝ千年までにも生の松原　午務

飯盛神社　金武村大字飯盛の飯盛山麓にあり鄉社なり祭神伊弉册尊、寶滿天神、八幡大神を合祀す、飯盛以下七ケ村の惣社なり　國中神記

火亂瀑布　內野村大字石釜の山間にあり高さ六間巨巖の上より落下して一大奇觀をなす澎聲雷の如く噴沫乱飛して近つく可からす

背振山　脇山村に屬する郡內の高峯にして山頂を以て筑前肥前を界す、登路一里十七町峻路嶮坂頂に背振神社あり眺望頗る開濶にして遠く朝鮮を指点するに足る、往昔僧榮西、始めて米國の茶を吾國に移し植へし所なりと云ふ

庄村天神社　原村字庄にあり菅公左遷の時先つ此所に着き給ひ法淨寺といへる眞言の寺院に一泊し給ふ因て後世公の社を建てたりと村說に言へり、又當所に岩木判官正氏と云へる者の墳墓あり

野芥塚穴　田隈村大字野芥にあり石窟二十五ケ所あり俗に鬼塚と云ふ

筑後國

久留米市

國の西北部にあり縣內第二の都會にして町數三十餘戸數四千四百六十九、人員二万四千六百五十余あり、市役所、裁判所、警察署、郵便電信局、監獄分署、尋常中學校、病院及第二十四旅團司令部、歩兵四十八聯隊の衞戍等各地に散在し、久留米紡績會社、第六十一銀行、其他諸會社銀行等諸々にありて交通の便開け頗る殷昌なり、市の北方に有馬氏の城址あり今其祖先を祭りて篠山神社と稱せり、九州鐵道停車場は市の西北端にあり、梅林寺、高山彦九郎墳墓、水天宮、素盞嗚神社、日吉神社等の名所多し、紺飛白、傘は當市の特有産にして其名最も著はる

水天宮　市の西端筑後川の東岸にあり縣社なり、祭神安德天皇を奉祀せり、社域狹隘なりと雖とも社殿整然一も欠くる所なし、西筑後川を經て、肥前の峯嶺を望み風光頗る賞するに足るものあり

篠山神社　舊城本丸址にありて縣社に列す、社域開濶にして甚た清嚴殊に眺眸に富めり筑後川は其西北を環流し遠く肥筑の高峻田野隱見相綴連するを見、高良山其東方に秀聳して相對するか如し、境內四時の草樹ありて風致頗る秀麗なり

三井郡

國の西北隅にあり、北筑前の筑紫郡と朝倉郡に接し、東浮羽郡に連り、南八女郡に交はり、西久留米市、三潴郡及肥前三養基郡に界せり、面積九方里一分四厘、戸數一万四千余、人口七万七千余ありて二ヶ町、二十二ヶ村を有し北野村に郡役所を設けり、郡の南部連山阜岡重疊し、西北筑前、肥前の山脈來走して丘陵をなし中央平坦にして筑後川貫流せり爲に輸漕の便灌漑の利あり、東南の地は肥痩相交はり中部沃饒にして五穀に適すれども低下の地は水害殊に多し、驛路は朝倉郡石櫃驛より來り、松崎を經て久留米に至るものと、一は久留米より府中驛、追分を經て浮羽郡に入るもの又府中驛より分岐して八女郡の福島町に達するものとあり皆道路平坦にして能く車輛を通ず、大堰村大字三川に堰あり筑後川の水を引き一千五百餘町の田野に灌ぐ

高良山　御井町に屬する郡の高峯なり、高さ五百尺、東水縄山に連り、杉檜の材に富めり

筑後川　一名を千歳川、又は一夜川と云ふ、其水源一は肥後國阿蘇郡小國山に發し、一は豊後國直入郡大船山に發し相會して一となり久留米市、三潴郡を過き大野島を抱ひて内海に注く、流程三十五里余、九州三大河の一にして筑紫二郎の名あり

發心岳　郡の東南水縄山に連り山麓は櫻樹の名所にして春候頗る佳なり

高良神社　高良山頂に鎮する國幣中社にして一の宮と稱せり、御井町より登路十八町石磴數級にして社務所あり又登路三級にして稍く境域に達す社殿壯麗なり、境内の眺眸廣濶にして遙かに両筑、肥前、肥後の翠巒を望み、瞰下すれば近く河水田疇の碁布するを見る等山光水色共に顧る絶佳なり

得川　筑前筑紫郡より來り郡の西部を走りて筑後川に入る

太刀洗川　淀川は筑前朝倉郡より來り共に筑後川に注ぐ

古戰場　小郡村附近の地は正平年中菊地武光、征西將軍懐良親王を奉して、土賊少貳賴尚と血戰せし所にして其名史上に著はる

善導寺　善導寺村に在り鎮西禪師の開基にして淨土宗九州第一の巨刹なり寺域廣濶にして老樹鬱茂し堂宇數十棟堂舍僧坊盡く備らさるなく結構頗る清美を盡し門前左右旅舍商店連擔して詣者常に絶ゆることなし

名邑　郡の著名なるものは本郷、松崎、今山、草野、善導寺、御井、大石、追分等なり、草野に草野銀行を設置せり

浮羽郡

國の東端に在り、東は豊後國日田郡に接し、北筑後國朝倉郡に隣り、南八女郡に連り、西三井郡に界す、面積六方里七分二厘、戸數一万七百餘、人口六万九百有餘人ありて二ヶ町十五ヶ村に區畫せり、地勢東南連山峻峯を負ひ、西北田野廣濶にして漸く低下して、筑後川に瀕せり故に水利に宜しく又舟車運輸の便に富めり、山下の地は土質肥痩相錯り旱潦

の患なきにしも非らざれ共其他は概ね肥沃にして穀類豊なり、山嶽には熊渡山東南隅に聳へ南八女郡に連り東は豊後の日田郡に跨る高さ二千尺郡の巨峯にして國中の深山たり、龍河内山は其西にあり、高井岳は其北にありて共に其山脈の突起する所とす、水縄山は西南の一角にあり支脈四方に連亘して丘岡を起せり又金屏山、屏風山の別稱あり、鷹取、二田尾、鐘懸、發心等は皆高峯の名を得たる山嶺なり、星野川は源を熊渡山に發し西南に流れて矢部川に會す、巨瀬川は源を姫治村大字妹川の調音瀧に發し北流して吉井町の南を過き西走して三井郡に入り筑後川に注ぐ郡の街道は三井郡より來り直東して田主丸、吉井、山北を經て豊後國日田郡に通す、道平夷にして車輛に便なり、大石、袋野の二水道は筑後川の水流を引き、灌漑の便を設く、其築造極めて堅牢にして頗る壯觀なり麻生池は星野村に屬する國中の巨池にして其廣袤東西一町五十間、南北四町十間あり

吉井町　郡の中部に位する名邑にして豊後街道の要衝なり、地に郡役所、裁判所警察署、郵便電信局及吉井銀行、生吉銀行等あり市坊を有せすと雖とも街區甚だ殷昌にして商賈櫛比せり縣廳を距る十二里五町

田主丸町　吉井町の西二里街道の要驛にして警察署、郵便電信局等あり、此地は吉井町に亞ぐ郡の名邑にして肆店檐を連ね往來甚た頻繁なり、地に田主丸銀行あり
福岡を距る十一里二十町

觀音寺　水縄村大字石垣に在り郡の巨刹にして天台宗に屬せり、白鳳年間の創建なり僧行基自刻の觀音を以て本尊とす、往昔島津義久、小早川隆景等の崇敬厚くして寺領采田を寄附せり堂塔伽藍結搆宏麗にして頗る幽佳なり（圖中詳記）

星野鑛泉　星野村に在る冷泉なり、泉質酸性綠礬泉にして劇症の粘液漏及慢性加答兒、癩病、頑固の潰瘍、粘膜の馳緩より來る下痢症等に良し

社寺　若宮神社は吉井町及び千年村の氏神にして鄉社に列せり、大生寺は浮羽村大字流川に在りて臨濟宗に屬する郡の巨刹なり、本佛寺は日蓮宗に屬する巨刹にして大生寺の西數町にあり

八女郡

東は豊後國日田郡に接し、南は肥後國山鹿、玉名の二郡に隣り、西は山門、三潴の兩郡に界し、北浮羽郡に交接す、面積十三方里七分九厘、戸數一万八千三百七十、人口十万六百余あり、て二ヶ町、二十七ヶ村に別てり、而して郡役所を福島町に設けり、地勢東北南の三方高山嶮嶽重疊し唯西部の一方平坦の地あるのみ、郡中數條の河川縱横に走流し灌漑最も便なり、土地概ね沃饒にして稻粱桑麻に宜しく其他諸種の物産に富み其豊かなること他郡に冠たり唯山間の僻地なるを以て舟車の便を欠くのみ、御前嶽は郡の東方に聳ゆる高峯にして直立三千五百尺、登路三十三町、豊後國に跨りて山勢頗る雄偉、國中第一の高山なり矢部村に屬す、東南に射干、黒塚、三國等の諸山あり、東北に平野、床生の二嶽あり、雄嶽、雄嶽、飛形の峻峯は西南に秀屹せり、矢部川は源を御前嶽より發するものと、三國山より發するものとの二あり矢部村にて相會し三河村に至りて星野川を容れ下妻村に

至て再び兩派となり南折して海に入るを瀬高川と稱し、一は西流して海に注くを沖端川と云ふ流程十四里二十七町甘木川は一名を廣川と號し源を土廣川村の山溪に發し西流して筑後川に入る驛路は三井郡より來り一條羽犬塚、下妻を經て山門郡に入るものを熊本街道とす、又羽犬塚の南より東岐して福島町を過き東南山間を通して肥後に至るものあり、又羽犬塚より西して柳河及若津に至る縣道あり、九州鐵道は久留米驛より羽犬塚を過きて直ちに南下す

日向神岩山　南部諸山の中央に位し矢部川其溪間を奔流す、神蹟穿（カミケヌギ）として巨巖突兀として屹立し斷涯絶壁の間に古松綠樹の相綴点するあり、溪谷に大岩怪石兩崖に駢立し水湍激して白玉を碎くが如く或は瀧となり或は瀬となり其奇絶雄壯名狀すべからす實に國中の絶勝たり

船小屋冷泉　下妻村にあり酸泉にして小瘡瘢癘病癩等に特功あり、矢部川に沿ひ風景殊に清佳なり、近年鑛泉會社を設け浴場を改築する等大に其規模を曠めし爲浴客日に多きを加へ其名頓に著はれたり

高屋城址　大淵村にあり、五條賴光、後西征將軍良成親王を奉して此所に據り南朝の恢復を圖りし所なりと云ふ又矢部村の奥御側名に親王の墳墓及其府址あり

福島町　郡の西部に位する名邑にして郡役所、警察署、裁判所、郵便電信局等の設けあり又民業には精紙會社、花宗製粉精米會社、小山田協心社、保險會社、福洲銀行等市內各所に散在し商賈甚た繁盛なり、福岡を去る十三里十五町

羽犬塚　黒木、水田等皆郡中の名邑にして商肆連比し羽犬塚銀行、水田銀行、黒木銀行等あり

三潴郡

東北は三井、八女の二郡に交はり、東南の一部山門郡に接し、西南內海に瀕す、而して西北は肥前の三養基、神崎、佐賀の三郡に連界せり、面積七方里、幅員東西三里十八町、南北五里十八町、戸數一万五千六百四十五、人員九萬千七百二十六を有し一ヶ町二十一ヶ村に分區す、地勢平坦にして西北に小阜丘あり數十の溝渠縱橫に瀦回して灌漑の利、舟車の便大なり、東北の地は土質肥瘠相半し其他は概して肥豐なり、平松川は八女郡より來り郡の南部を貫流して若津の北に至り筑後川に入る、正原川、甘木川は北部を流れて筑後川に注ぐ、郡の驛路は久留米より來り、上野、橫溝を經て柳河に通す、又佐賀街道は肥後寺井驛より來り小保榎津を過きて柳河に通するを云ふ

大野島　若津港の西南に在り南北に長く東西に短し內に四百八十戸、二千七百餘の住民ありて一村の部落たり、南に大詫間島と云ふあり肥前に屬せり大川町を距る僅に二町、

大川町　郡の西南端筑後川の口頭に在り戸數一千八百五十餘、人口一萬二千餘人あり郡役所、警察署、郵便電信局、若津驅黴院等の設けあり、又民間事業の主なるものは若津米穀取引場、大川運輸會社、若津食鹽會社等にして商賈櫛を比べ物貨一として備らさるなく頗る繁昌を致せり、地の西端若津港は船舶の出入常に繁く爲に百貨の集散

益々隆盛を加ふるに至る福岡を距る十五里二十町、

風浪神社　大川町に鎮する縣社にして、少童命を奉祀せり、又息長足姫命住吉大神、高良玉命を配祭す、社は神功皇后の縁起によりて建つる所なり（圖中詳記）

玉垂神社　大善寺村大字宮本にあり縣社に列す、社は白鳳年間の創草にして皇家の崇尊殊に厚かりしと、境内廣濶にして樓門、廻廊、大鼓樓整然相備はりて精美を盡せり廻廊の東に大楠あり神代の巨木とす、境内坪數四千七百餘坪あり頗る清佳なり（圖中詳記）

朝日寺　大善寺村大字夜明にあり臨濟宗に屬する郡の古刹なり、草創開基ともに未た詳ならず（圖中詳記）

日吉神社　三島神社弓頭神社、太刀帶神社等は皆鄉社にして其名郡内に著はる其由緒縁起は圖中に詳なれは茲に畧しぬ

崇久寺　蒲池村大字東蒲池に在り、臨濟宗妙心寺に屬する郡の巨刹なり、寺託に因れば後醍醐天皇の勅願寺とあり、開山を南山和尚とす詳細は圖中に記せは茲に略せり

山門郡

東北は八女郡に接し、南三池郡に隣り、西三潴郡に界し、西南の一部筑紫潟に瀕せり、面積五方里三分六厘、東西五里、南北二里九町、戸數一万三千七百餘、人口八万二千九百餘ありて三町、二十一ヶ村に區分せり、地勢東南部は山岳連亘し、西北平衍にして海に連り、灌漑の利漕運の便共に其宜しきを得たり、土饒は東南肥瘠相交はれとも西北は沃土多く五穀豊なり、又海面を塡めて田野とするもの數百町歩に及ひ概ね肥沃なれとも時に海水暴漲の害を免かれず、鷲巣山、申塚山、清水山は東方の境上に聳ゆる郡の高峯なり、矢部川は郡の中央を貫流し三池郡界に沿ふて内海に注ぐ、要川は源を萬里小路村大字眞弓の山間に發し瀬高町にて瀬高川に會せり、道路は佐賀より來るもの柳河を過き、三潴郡より來るものと瀬高町にて二道相合し郡の東南を經て肥後國玉名郡に入り山鹿驛に達す之を熊本街道とす、又別に柳川町より中島を過き三池郡の三池町に至るものあり之を縣道とす、郡中の名邑として著名なるものは柳河町、上瀬高町、下瀬高町、中島、本鄉等なり

柳河町　郡の西北隅に位し國中久留米市に次ぐの都會たり、戸數大凡一千五百、人口八千三百有餘あり、舊立花氏の封地にして町の南端に城址あり、郡役所、裁判所、警察署、郵便電信局、尋常中學傳習館等を設置す、又興産會社、專轉會社、簡易生命保險會社、魚市會社、九十六國立銀行等町内各所に散在し、商勢頗る繁盛なり、沖端川市の北部を貫流して大に水陸の便を助く、縣社三柱神社は市街の東端宮の内村大字高畑にありて戸次道雪、立花宗茂及び其夫人を祭祀せり、境内清佳にして社殿頗る優美なり、福岡市を距る十五里廿二町

清水寺　郡の東部清水村大字本吉清水山の中服に在り大同元年の創建にして傳教大師を開基とし自作の千手觀音を本尊とす、宗は天台に屬せり、境域廣濶にして老松古杉鬱蒼として繁茂し、堂塔伽藍僧坊に至る迄殆んど全備せざるなく殊に結構壯麗を盡して甚た幽邃絶佳の仙境たり（圖中詳記）

車塚　同村にあり、往昔神功皇后、土蜘蛛田油津姫を誅し給ひたる時此所に駐輦し給ひしなり

中山鑛泉　川邊村大字中山字土井下に在り冷泉にして單純鐵泉なり、癪癖、筋骨痛、疼切傷等に良し

八幡神社　竹海村大字竹飯にあり鄉社に列す、光孝天皇仁和年間の創建にして竹井庄の總社なり詳細は圖中に明なり依て茲に畧す

其他城内村大字阪本町に日吉神社あり鄉社にして郡内に名あり

三池郡

東南は肥後國玉名郡に界し、北山門郡に接し、西内海に臨めり、面積四方里、幅員東西二里二十二町、南北三里餘、二町、十二ヶ村に區畫し戸數九千三百三十八、人員五万二百三十餘あり、地勢は東南部、峯巒連亘し稍北部に至り漸く低下し丘阜其間に起伏するあるのみ、白銀の阜岡西に走りて岬角海中に斗出す之を黒崎と稱す、郡内小流數條ありて灌漑の便あり土質概ね肥沃なり、諏訪、白銀、長溝、神崎、楠田等の諸川皆源を東部の山渓に發し西流して海に注ぐ然れども舟揖の便なし、驛路は山門郡より來り江浦、渡瀬、三池の諸驛を過きて肥後國高瀬に通す亦鐵道は郡の西部を貫走し渡瀬、大牟田に停車場を置けり、郡の名邑として著はるゝものは三池、大牟田、江浦、渡瀬等なり、

三池町　郡の東部に在り炭坑を以て其名著大なり、此地に郡役所、警察署、郵便電信局集治檻等を置き肥後街道の要驛にして市街頗る殷昌なり、舊立花氏の支封地とす市の南に紹運寺の巨刹あり、縣廳を距る十九里二十七町

大牟田町　三池町の西壹里にあり、紡績會社、石炭會社、土木會社等皆町内に設置し商勢殊に盛なり、大牟田港は東西十七町、南北六町四十間ありて多く石炭を運搬し近時日を追ひて繁盛に趣けり又鐵道停車場ありて水陸共に至便なり

豐前國

企救郡

東は京都郡に接し半ば周防灘に瀕す、北早鞆瀬戸を隔てゝ長門國に界し、西半面響灘に臨み餘は筑前國遠賀郡に隣り、南田川郡に接せり、面積十方里七分八厘、幅員、東西四里十一町、南北六里十八町戸數一万二千二百九十餘、人口六萬二千七百七十餘ありて二ヶ町、十五ヶ村に分畫せり、地勢南部三面の境上峻嶺相連り中部に向ひて漸く低く阜丘各所に起伏せり、中央以北又高岳に乏しからすと雖とも二三に過きすして稍半島の形をなせり、郡内の高峰を貫山とす直立二千三百四十九尺登路一里余京都郡界に聳立す平野

峽山は南部の巨峰にして山脈四方に蜿長し西福智高取の峻嶮を起せり、又南走して田川郡に跨る、妙見山桐谷山戸上山は北部の高山として名あり、川流の主なるものを紫川とす源を中谷村の郡界に發し北流して小倉町に至り海に注ぐ流程四里二十八町、土地肥瘠相交はりて米麥稍豐なり、街道は門司より來り遠賀郡の黒崎に至るを熊本街道とし、同郡若松に通するものを福岡街道とし郡内曾根を經て京都郡に入るものを中津街道とす皆國道に屬せり、九州鐵道は門司より來りて遠賀郡に走り又一は小倉町より分岐し曾根を過きて京都郡に通す、郡の東北斗角の突出するものを部崎と稱し不動白色の燈臺あり光達十六里に及ふ

小倉町　國の西端海に瀕する所にあり、戸數凡二千八百餘、人口一萬八千有餘にして當國の都會たり、舊小笠原氏の封地にして城址今は西部都督部、第十二師團、及第十二旅團、司令部歩兵聯隊の衛戍等を設置せり、又町内處々に郡役所、裁判所、警察署、郵便電信局、病院、其他商工會社には小倉織物會社、朝日會社、豐前物産會社及第八十七國立銀行、豐陽銀行等ありて市内益々殷盛に趣けり、小倉港は北東に灣口あり東西一町、南北二町三十間滿潮十五尺の深さあり、送運の大分を石炭とす、縣廳を距る十九里許

篠崎八幡宮　小倉町の西南にあり、敏達天皇の御宇に創建せしものと云ふ、天慶中純友好古の兵火に罹りて灰燼となりしも神寶皆無事を得たりと、社は舊小倉侯代々の祈願所となれり

板櫃川　水源を筑前に發し小倉港に注ぐ、天平年中に有名なる藤原廣嗣の古戰場なり

足立山妙見祠　妙見山にあり傳へ云ふ和氣清麿道鏡の怒に觸れて手足の筋を斷たれて九州に遷流せらるゝや船當國の長州に着す時に天神來迎して告くるに企救の山下に温泉あり行ひて浴せよと清麿直ちに來浴すること幾日ならずして全愈し手足故の如し、依て弘仁年中清麿の子眞綱此山に來りて新に祠を建て始めて清麿の靈を祭り名けて足立山妙見と號すと云、南方に湯川村あり是れ靈泉の地なりと

曾根堤　曾根村にあり長さ一里餘又製盪を以て其名著はる、其風光恰も播摩の曾根に彷彿たり、近く毛無眞島を經てゝ長防二州を雲際に望めり

柳浦　門司、小倉の中間にありて海に沿へり、安德天皇の行宮ありし地にして大里（ダイリ）内裏の稱あり、附近平家の古跡に乏しからず、企救の高濱、高麗濱、新羅濱等の名地又此近方にあり

馬島　板櫃村に屬する島嶼にして陸地を距るゝ五里響灘に在り、内に九戸百四十四人の住民を有す

門司町　小倉町を距る東北三里、早鞆海峽を隔てゝ長門赤間關と相對せり、實に九州の咽喉に衝り山上各所に砲臺の設備あり、舊稱を文字といひ又背後に筆立山ありて前面硯の海に對するの稱號なるか、地に警察署、郵便電信局、裁判出張所の設けあり、民業の主なるものは、築港會社、鐵工所、九州鐵道會社、倉庫會社、石炭取引會社及銀行、郵船、商船、両會社支店等市街各所に散在し商勢頗る盛にして人口日に增殖しつゝあり、港内水深く常に大艦巨船を容れ帆檣林立、濱笛の聲常に絶へず、石炭の送運を以て其名世界に著はる、甲宗八幡宮は町の鄕社にして貞觀年中の創建なり、眞光寺は法性山永照院と號し故眞言の巨刹なりしが慶長年中淨土宗に改め觸譽秀傳和尚を其開山と定む、維新の際毛利、小笠原の両氏開戰するや其衝にありて灰燼となり後之を再建す境内の眺眸頗る明美にして他に多く其類を見す、

和布苅神社　門司町に鎮座する縣社なり、社前早鞆の瀬戸を望み眺望絶佳なり

大興善寺　西紫村大字蒲生にあり、曹洞宗に屬する郡の巨刹なり、寛元年間最明寺時賴の創草にして叡尊和尚を開基とす別項圖に就て其詳を得べし

福聚寺　足立村大字足原にあり、黄檗宗にして廣壽名山と號する郡の巨刹なり、寛文四年明の僧都即非の開基たり示來領主小笠原家の尊信厚くして世々伽藍堂塔皆其修理經營する所となり其保護甚だ周到なりしと云（圖中詳記）

蒲生八幡宮　東紫村大字南身にある鄉社なり、多伎津姫命譽田別命、息長足姫命の三座を奉鎮す（圖中詳記）

綿都美神社　霧岳村大字吉田にあり、鄉社に列す、綿都美大神、志那都比古大神、志那都比賣大神の三神を祭祀せり（圖中詳記）

神理教本院　東紫村大字德力にあり、奉敬の神として天在の諸神を主祭せりと、明治廿七年獨立敎院となり其名四方に普し（圖中詳記）

菅生瀑布　郡の西南中谷村にあり郡の名瀑にして甚壯觀なり

名所　杤網山、揑頭山、紫川、企救の池、鏡池、文字の關等あり

名邑　大果、門司、曾根、篠崎等なり

田川郡

東は京都郡に接し、北企救郡に隣り、西は筑前鞍手、嘉穗の二郡に界し、南同國朝倉郡及ひ大分縣下毛、日田の兩郡に交はる、面積十三方里餘、其幅員東西四里、南北八里二十七町あり、戸數九千七百五十二、人口五萬三千七百六十餘、十九ヶ村を有せり、地勢南部に彦山の高嶺屹として相聳へ餘脈重疊蜿蜒として東西の境上に走り中部稍平坦の地あるのみ、北方福智山の峻脈突入して香春村の北に盡く、其主なる高峰は南に彦山北に薄霧の秀嶺なり、今川は源を彦山に發し郡の東部を走りて京都郡行橋に至りて海に注く流程九里十三町、彦山川は源を彦山に發し郡の中央を北流し伊田、金田を貫き鞍手郡に入りて嘉麻川に會せり、郡内至る所に炭坑あり今採掘に從事するもの赤池以下十一ヶ所の多きあり故に近時鐵道を各地に延長して大に運炭の便を開けり、驛路は小倉町より來り香春に入り一は嘉穗郡の飯塚に行くものと、一は南進して添田、落合を過きて朝倉郡に通するものとあり、又直ちに東して京都郡に至るものは七曲峠の嶮ありしが　明治廿一年仲哀谷に隧道を設けて來往に便せり、鐵道線路は行橋より來り油津原香春、伊田等に停車場を設け後藤寺驛を以て終点とせり又別に金田より直方に通する支線あり、郡中田野乏しくして五穀豐ならず故に多く木材、採炭等の業を取るもの多し

英彦山神社　彦山村に在る官幣中社なり、英彦山上にあり詳細は圖中に明なり

鏡山　勾金村に在り、神功皇后國形一覽の古跡なりと云、山中に鏡の化石あり

河内王の墓　仝村大字鏡山にあり、山麓に鏡池あり皆著名なる古跡とす、山水の風光明眉にして頗る閑佳なり

採銅所　今の採銅所村なり古來銅の採堀を以て著名なること古書に見へたり、往古

宇佐神社へ勅使參向の際此所の銅を採りて鏡を造り以て社に奉獻せしとか

香春村　郡の北部に在る名邑にして郡役所、警察署、裁判所等あり人家稠密して商肆昌なり、香春神社は延暦二十三年神託により最澄の創建する所たり、祭神は辛國息長大目命、豐北賣命、忍骨命の三座を奉祀せり、高座石寺は下香春にある郡の巨刹にして傳敎大師の創建とす、縣廳を距る丶十三里

爲朝の墟地　伊津原村にあり、鎭西八郎此所に館を建て寓居せりと傳ふ、又鎭西原とも云へり

小督局の墳墓　井田村の成道寺にありと云其故を詳せず

彈琴瀑布　赤村に在り、川崎村に鮎回溪、上野村に白糸瀑あり皆著名なり

名邑　郡中の著名なるものを擧くれば、香春、伊田、彦山、金田、赤村、添田、採銅所等なり就中赤村の如き當時民心の甚た治らさる者あり歎す可きあり

京都郡

西北は企救、田川の二郡に接し、東築上郡に隣り、東北一面周防灘に瀕せり、面積十方里八分、戸數一萬六百二十餘、人口五萬九千三百六十餘を有し、一町二十二ヶ村に區劃せり、地勢南方峽小の部分山岳相重りて郡境となり又西北に峻嶺を望めり、中部より海濱に亘り平夷にして田野遠く開け五穀豐沃なり、祓川は源を伊良原村に發し東部を北流して今井に至りて海に注く流程七里餘、長峽川は源を諫山村に發し行橋を貫き海に入る流長四里十町とす、中津街道は企救郡より來り苅田、與原行橋の諸驛を過きて築上郡に至る道路平坦なり、鐵道は小倉より街道に沿ふて東走し行橋に至りて二線となり一は南に向ひ豐津、犀川の二驛を過きて田川郡に入るものと一は直ちに東走して築上郡に至るものとあり

大祖神社　須佐神社　今本村大字元永に在り縣社に列す、社は丘上にありて境內の風景殊に閑佳、社殿頗る優美なり又四時の眺瞰に絕せり（圖中詳記）

國分寺　豐津村大字國分にあり眞言宗の巨刹にして豐前第一の舊寺なり、天平九年の草創に係り僧行基の開基勅願の道場なり（圖中詳記）

簸島　今川の海口の北にある島嶼にして面積三分三厘、周圍三里三町あり內に二百八十戸、人口千四百三十餘人あり、今元村を隔る僅に五町なり、往昔太宰府參行の徒は總て此所に船を着け田川郡を經て行きしやに傳ふ

御所谷　稗田村大字津積の岡丘にあり、景行天皇土蜘蛛を征討し給ひし時行宮を設置せられし舊地なり、郡名これより起りしと云、丘上の瞰下殊に美明にして北に青龍窟行橋の北方に御所山等皆一眸の內に集り頗る賞嘆すべき勝區なり

青龍窟　椿市村にあり一名を鳳石窟とも云ふ、深さ七十尺、横十五丈內に釋迦文殊、普賢等の石像あり彫刻實に精妙を極むと、窟は土蜘蛛の隱伏せし所にして上下二あり何れも斷崖廣濶窟又窟ありて重層、累々其奇名狀すべからす誠に神代の妙作なるか、其內部の巧妙に至りては又想像の能く及ふ所にあらず以て縣內の奇勝とす、土人言へり石窟は遠く筑前の芦屋に通すと

宇原宮　苅田村大字馬場にあり、祭神彦火々出見尊、鵜草葺不合尊、豊玉姫尊の三座にして其創始は遠く神代にあり、緣起に彦火々出見命、豊玉姫と江の口に上陸し給ひ假舍を設けて鵜草葺不合尊を降誕し給ひし舊地なりと、尊の腰掛石、今尚在せり境内稀有の老松あり靈燈松といふ、又景行帝天兵屯集の舊跡あり

等覺寺　白川村大字山口にあり聖武帝の天平六年東大寺の僧惠空の開基にして當國の古刹なり、堀河帝寛治年間の如法經筒といへるものありといふ

行橋町　郡の北端中津街道の要衝に在り、郡役所、警察署、裁判所、郵便電信局等の設けあり、又豐州鐵道の起点なるを以て街區頗る繁盛なり

築上郡

本縣の東北隅に位し西は京都郡に接し、東南は大分縣の下毛郡に界す、而して北周防灘に臨めり、面積十二方里戸數一萬三千二百餘、人口六萬七千百餘ありて二ヶ町、二十一ヶ村に分てり、地勢山岳重疊連亘し北部に至りて稍低下し僅かに平衍の耕地を殘すのみ、山岳には犬ヶ岳を最となす直立三千五百尺餘、岩屋村に屬せり、鷹股山其東に峰を出して、松尾山を起し連脈延ひて北に走る、城井川は源を上城井に發し推田に至りて海に注く、流程六里十七町、岩岳川は源を岩屋村に發し三毛間村に至りて海に入る、長さ五里三十二町あり、中津街道は京都郡の行橋より來り、築城、推田、松江、宇の島を過きて中津町に達す、鐵道線路も街道と殆んど併行せり

八屋町　郡の北部海濱にありて街道の要驛とす、此地に郡役所、警察署、裁判所等郵便電信局等を設く、商肆連亘頗る殷盛の狀あり、築上銀行、八屋銀行を置く、縣廳を距る二十里二十八町、當所海岸に八尋の濱とて著名なる所あり

宇の島港　八屋町の東十五町許、港の廣さ方五町ありて深さ三十三尺なり、巨く大船を容るゝに足る故に廻船の定期寄港ありて港内常に盛況なり

推田町　八屋町の西二里十餘町にありて郡の名邑たり、警察署、郵便電信局を置く一條の商店連擔して稍繁へり、此地に綱敷天滿宮ありて其名遠近に著はる、菅公左遷の時の着船所なりといふ

求菩提山神社　岩屋村に在り養老四年の創建なり、社殿に至る阪路五十餘町左右老杉古松參差相交はり鬱蒼幽邃にして山中名所古跡乏しからず（圖中詳記）

大楠木　上城井村大字傳法寺にあり神代の巨木にして周圍六十餘尺あり、宇佐八幡宮一の御殿造營之際此の木の本にて斧初めの式ありしと

第切山の城址　仝村大字本法にあり民部少輔宇津宮鎭房の居城にして即ち當國の守護職たりしが秀吉と和からす遂に天正十七年黒田長政の爲に殺さる、其子朝房も肥後に於て討死せり、大字小犬丸に宇賀神社とて鎭房の女千代姫以下侍女數十人の靈を祭祀する社あり

傾城石及龜石　友枝村にあり傳へ言ふ往昔京都より一の妓婦情夫を追慕して此所に來り終に死して石に化せりと名けて此名あり、男子其上に乘れば忽ち動き女子なれは更に動せずとなん奇石といふ可し、又唐原村大字原井に龜石あり其形恰も龜に似たり、每朝旭の出する時刻には必す石頭東に向ふとなん

神社　金富神社、八阪神社、角田八幡宮、鯛吹八幡宮、千束神社、古表八幡宮、誓川神社、正八幡神社等名あり

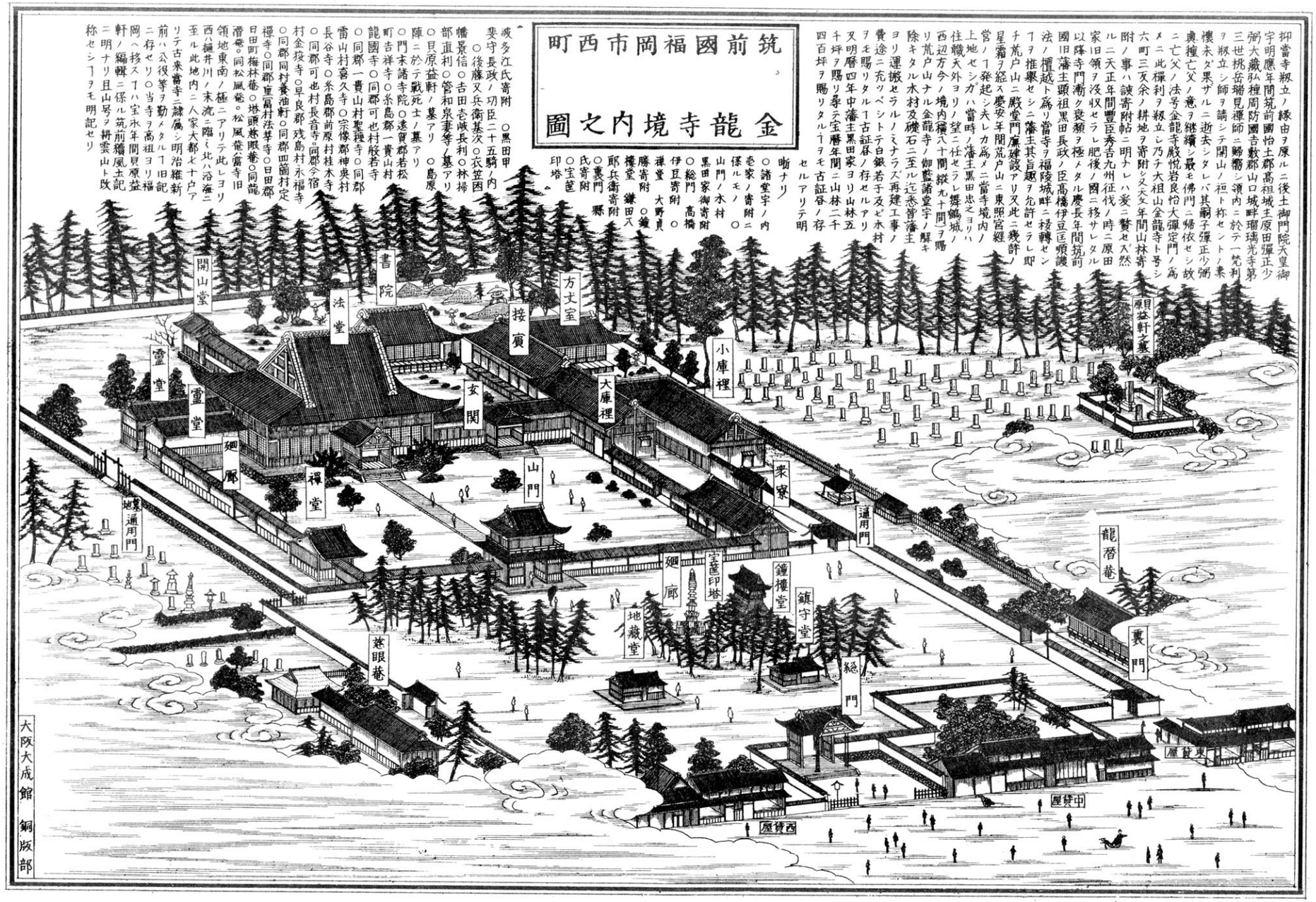
筑前國


福岡縣筑前國福岡市字西町
縣社
鳥飼神社境内之圖
西公園
大濱宮
鳥飼神社
往昔神功皇后
三韓征伐ノ御凱
陣ノ時十二
月四日御船早良
郡ニ着セラル
當社ニ到ル
參神田大皇別
相殿神功
皇后
玉依姫命
此時御衣濕タルヲ
乾サセラレタル
ノ玉ヲ吹給フト
云フヨリ暮ニ
到リ今村手山ト
待ツ鳥飼氏ノ人タノ御
ヲ諸軍ヲ率テ御凱陣
ノ勝ニ
乘セラレ時ニ御
屆ケ科ヲ
ス


福岡縣筑前國福岡市
町通
出雲大社分院之圖
荒津神社
本殿
神庫
御拜殿
雲陽館
分院長廣瀬邸
祭神
出雲大社　大國主大神　造化大神三柱

筑前國福岡市西町

金龍寺境内之圖



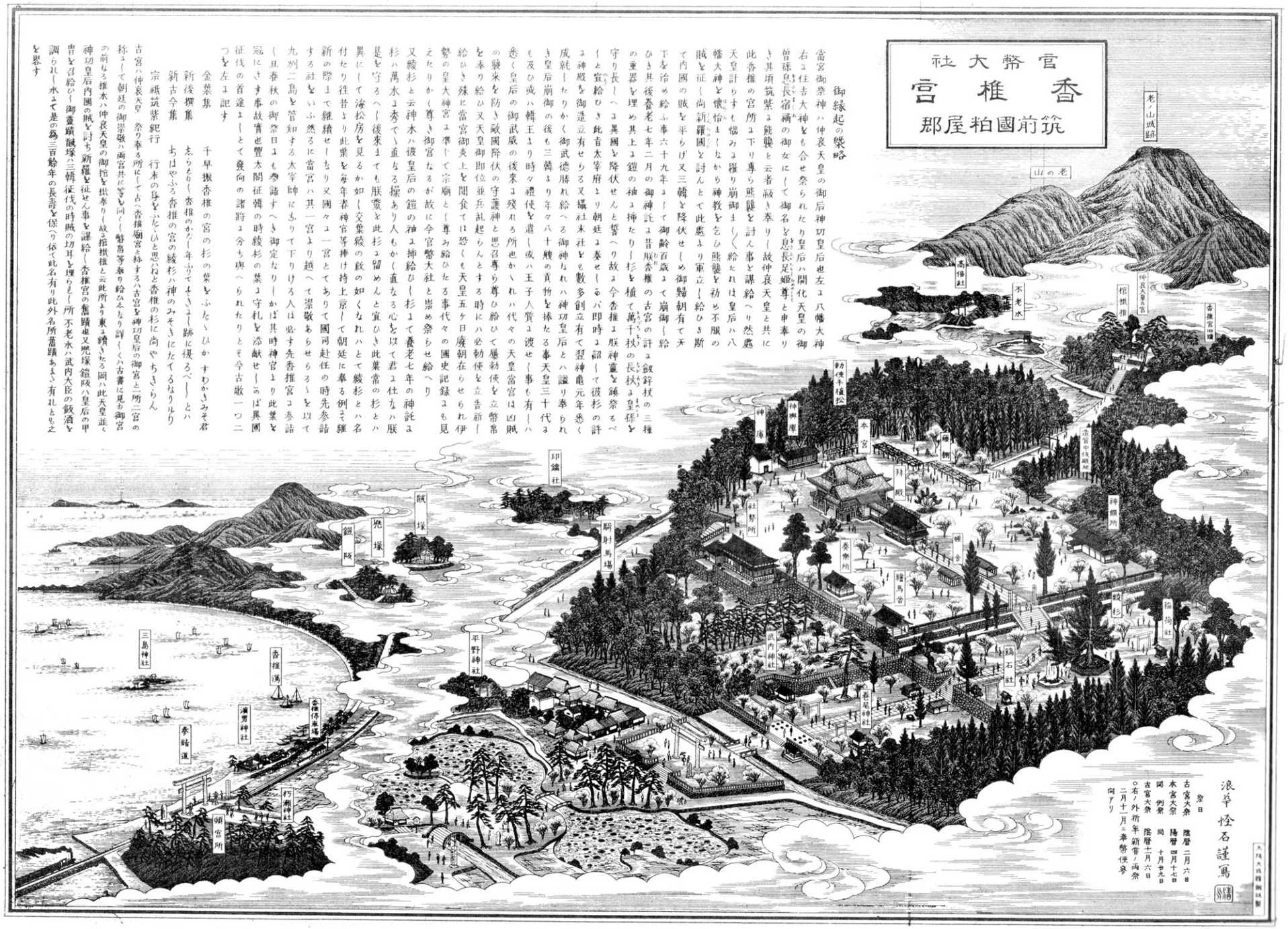
抑當寺報立ノ縁由ヲ原ルニ後土御門院天皇御宇明應年間筑前國怡土郡高祖城主原田彌正少弼大藏弘種周防國吉數郡山口城畔瑠璃光寺第三世桃岳瑞見禪師ニ歸依シ境内ニ於テ梵刹ヲ報立シ師ヲ請シテ開山ノ祖ト称セントノ素懐未ダ果サルニ逝去シタレバ其嗣子彌正少弼奥種亡父ノ意ヲ継續シ最モ佛門ニ帰依セシ故ニ亡父ノ法号金龍寺殿悦岩良怡大彌定門ノ為メニ此禪刹ヲ報立シ乃チ大祖山金龍寺ト号シ六町三反余ノ耕地ヲ寄附シ又文年間山林寄附ノ事ハ誠寄附帖ニ明ナレハ爰ニ贅セズ然ルニ天正年間豊臣秀吉九州征伐ノ時ニ原田家旧領ヲ没収セラレ肥後ノ國ニ移サレタルヨリ以降寺門漸ク衰頽ヲ極メタル慶長年間筑前國旧藩主顕祖黒田長政ノ臣高橋伊豆匡頼護法ノ擯斥ヲ蒙リ當寺ヲ福陵城畔ニ移轉セントヲ推擧セシニ藩主其旨趣ヲ允許セラレ即チ荒戸山ニ殿堂門廊建設アリ又此ニ幾許ノ星霜ヲ経ス慶安年間荒戸山ニ東照宮經営ノ事発起シ夫レカ爲メニ當寺境内ノ上地セシガ其ノ時ノ藩主黒田忠之ヨリハ往職天外ヨリノ望ニ任セラレ鷺鶴城ノ西辺方今ノ境内福八十間ヲ賜リ荒戸山ナル金龍寺ノ伽藍諸堂宇ノ解キ除キタル木材及礎石ニ至ル迄悉皆藩主ヨリ運搬セラルノミナラズ再建工事ノ費途ニ充ツベシトテ白銀若干及ビ水村ヲモ賜リタルヲ古証昏ノ存セルアリ又明暦四年中藩主黒田家ヨリ山林五千坪ヲ賜リ寛文年間ニ山林二千四百坪ヲ賜リタルヲモ古証昏ノ存セルアリテ明晰ナリ

○諸堂宇ノ内
○寄附ニ係ルモノ
○山門ノ水村
黒田家御寄附
○総門　高橋伊豆寄附
○禪堂　大野貞勝寄附
○鐘樓堂　鎌田八郎兵衛寄附
○裏門　縣氏寄附
○寶篋印塔

坡多江氏寄附　○黒田甲斐守長政ノ切臣二十五騎ノ内
○後藤又兵衛基次　○衣笠困幡景信　○吉田壱岐長利　○林掃部直利　○管和泉妻等ノ墓アリ
○貝原益軒ノ墓アリ　○島原陣ニ於テ戦死士ノ墓アリ
○門末諸寺院　○遠賀郡若松町吉祥寺　○糸島郡一貴山村龍國寺　○同郡可也村般若寺
○同郡一貴山村聖福寺　○同郡雷山村喜久寺　○宗像郡神興村長谷寺　○糸島郡前原村桂木寺
○同郡可也村長音寺　○同郡今宿村金蔵寺　○早良郡残島村永福寺
○同郡同村養油軒　○同郡四箇村定禪寺　○同郡重留村法華寺　○日田郡日田町梅林菴　○塔頭慈眼菴　○同龍潛菴　○同松風菴　○松風菴當寺旧領地東南ノ極ニアリテ此レヨリ西八編井川ノ末流ニ臨ミ北ハ海ニ至ル此地内ニ人家大都七十戸アリテ古来當寺ニ隷属シ明治維新前ハ公役等ヲ勤メタルト旧記ニ存セリ　○当寺ヲ高祖ヨリ福岡ヘ移ストハ宝永年間貝原益軒ノ編輯ニ係ル筑前續風土記ニ明ナリ且山号ヲ耕雲山ト改称セシコトヲモ明記セリ

大阪大成館　銅版部


福岡縣福岡市博多
臨濟宗
聖福禪寺境内之圖
當寺ハ建久六年創建ス寺域元ト方八町ヲ有ス
開山千光祖師再ビ宋國ニ入リ黄龍八世虚菴禪
師ノ禪ヲ傳ヘテ建久二年歸朝ス是レ禪法傳來
ノ權輿也時ニ博多ニ宋人ノ建立セシ百堂ノ舊
蹟アリ此ノ前ニ寺ヲ建ンコヲ願ヒ幕府源頼朝
公ニ具狀ス公之ヲ裁可ス依テ公ヲ以テ開基ト
ス　後鳥羽天皇深ク祖師ノ道風ヲ欽仰シ給ヒ
親ラ奎輪ヲ染テ扶桑最初禪窟及ヒ方丈ノ額ヲ
賜フ後チ豊臣秀吉小早川隆景黒田長政諸公
皆ナ當寺ニ歸崇セラレ大ニ由緒アリ殊ニ隆景
公ハ方丈ヲ再造シ且ツ現存ノ洪鐘ヲ寄附セラ
ル初メ日本十利ノ三位ソ京都東仁寺ニ屬セ
シガ寛永中故アツテ妙心寺ニ屬ス塔頭元ト三
十五ケ院アリ今ハ八ケ院ヲ存ス
境内十境
通津橋　龍淵室　聚星閣　冷泉亭　無染池
七里巖　十里松　妙理祠　金河
鐵塔
開山祖師申狀
博多百堂地者宋人令建立堂舍之舊跡也而件
精舍破壞之後再修營之間偏爲空地難送星霜
既亦依爲佛地人願不居住仍建立一伽藍欲備
大菩薩御法樂致本家御祈禱兼建立堂舍安置
犬六釋迦彌勒彌陀之三尊鎭護國家且爲除山
徒之障碍且爲備向後之證跡殊被仰下可加守
護之由者佛法興隆之御願何事如之哉賜御下
文欲遂造營之功而已
建久六年六月十日　榮西吉上
右書中祖師ノ朱筆五所ニ印ス頼朝公許可ノ
袖判願文裏ニ押在ス
此ヲ首トメ古文書什寶等枚擧ニ遑アラズ
大阪大成館銅版部



御縁起の略

當宮御祭神ハ仲哀天皇の御后神功皇后也左ニ八幡大神右ニ住吉大神を合せ祭られたり皇后ハ開化天皇の曽孫息長宿禰の御女にして御名を息長足姫尊と申奉り其頃筑紫ニ熊襲と云者叛き奉りし故仲哀天皇と共に此香椎の宮所ニ下り專ら熊襲を討ん事と謀給へり然處天皇計らずも惱み玉ひ崩御ましく給たれは皇后ハ八幡大神を懐抱まして神教を乞ひ熊襲を初め不服の賊を征しく尚新羅國を討んとて此處より軍立しく給ひ斯て内國の賊を平らげ又三韓を降伏せしめ御歸朝有て天下を治め給ふ事六十九年にして御齢百歳にて崩御しく給ひ其後養老七年二月の御神託ニ昔當宮の許ニ納置給ひし天神地祇の三種の重器を埋め其上ニ鎧の袖ニ挿たりし杉を植て萬千秋の長秋ニ皇孫を守り長しへニ異國を降伏せんと誓へり故ニ今香椎ニ朕神靈を鎮祭るべしと宣給ひき此吉太宰府ニより朝廷ニ奉せしゑバ即時ニ詔して彼杉の許ニ神殿を御造立有せらるゝ又攝社末社をも數多創立有て翌神龍元年悉く成就しかりかく御武徳賜れ給へる御神なれハ神功皇后とハ識り奉りき皇后崩御の後も三韓より年々八十艘の貢物を捧る事天皇三十代まで及ひ或ハ韓王より時々禮使を遣しく或ハ王子人質ニ渡せしく事も有しハ悉く皇后の御武威の後來ニ殘れる所也かゝれハ代々の天皇當宮ハ凶賊の襲來を防き敵國降伏の守護神と思召尊ひ給ひて屢勅使を立幣帛を奉り給ひ又天皇御即位並兵乱起りんとする時にハ必勅使を立告祈り給ひき殊に當宮御支上を聞食ては恐くも天皇五ケ日廢朝在らせられ伊勢の皇大神宮ニ準じて宗廟と尊み給ひたる事代々の國史記録ニも見えたりかく尊き御宮なるが故に今官幣大社と崇め給へり

又綾杉と云神木ハ彼皇后の鎧の袖ニ挿給ひしにて杉まて養老七年の神託ニ杉ハ萬木ニ秀でしく直なる操あり人もかく直なる心を以て君ニ仕なハ朕是を守るへしく後來までも朕靈を留めんと宜ひき此葉常の杉とハ異にして淺松房を見るか如しく交葉綾の紋の如くなれハとて綾杉とハ名付たり往昔より此葉を毎年春神官等捧げ持上京して朝廷に奉る例そ雖新の際まて繼續せしなり又國々一宮としてありて國司赴任の時先參詣する社をいふ然るに當宮ハ其一宮より越へて崇敬ありせらるゝを以て九州二島を管知する大宰帥にゐりて下りける人ハ必す先香椎宮ニ參詣しまた春秋の御祭日ニも參詣すへき御定なりしかバ其時神官より此葉を冠にさす事故實也豊太閤征韓の時綾杉の葉ニ守札を添献せしゑバ異國征伐の首途よしとて發向の諸將ニ分ち與へられたりとそ今古歌一つ二つを左ニ記す

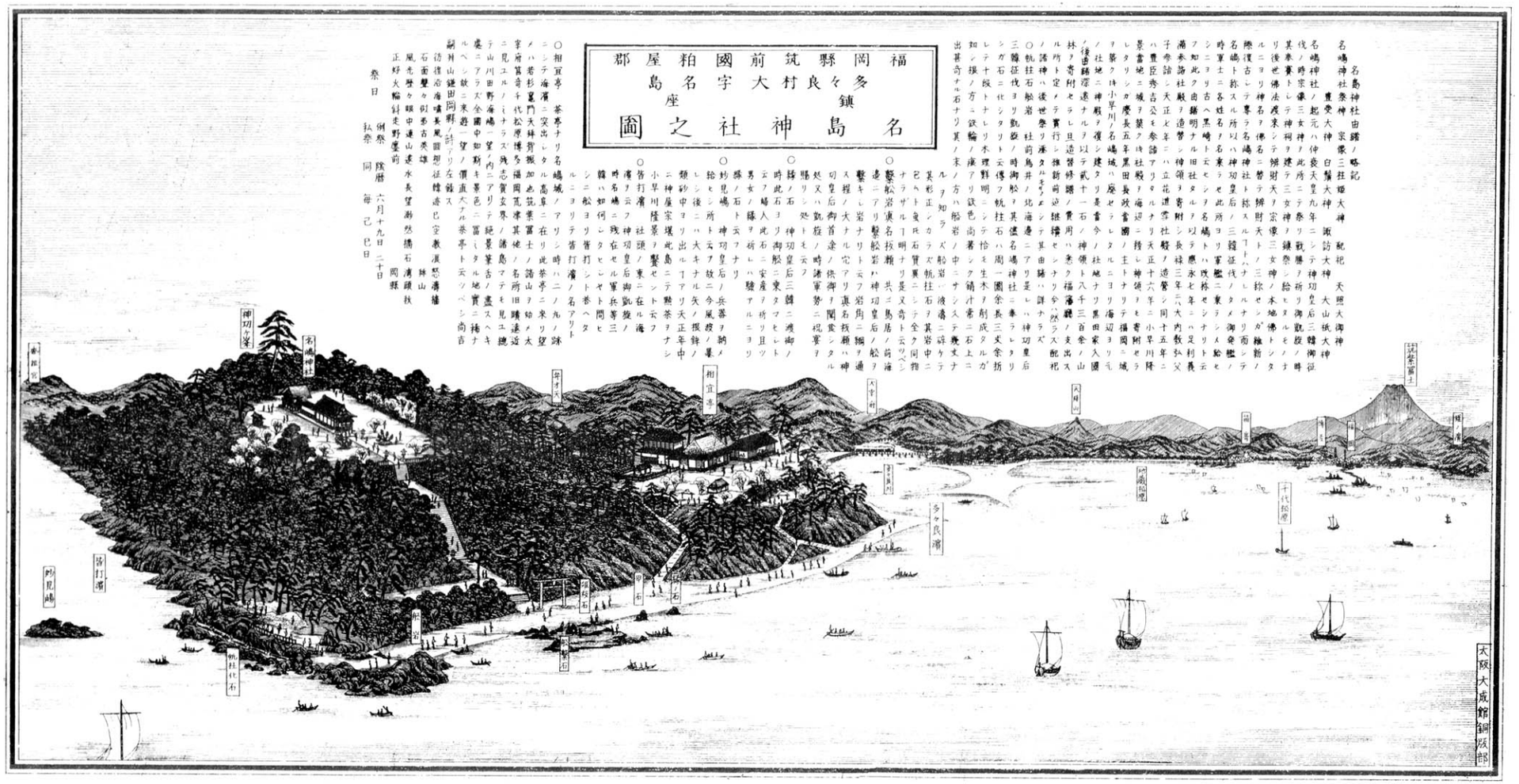
金葉集　千早振香椎の宮の杉の葉をふたゝひかすわかきみそ君

新後撰集　おろそかに香椎のかたに年ふりてたきゝゝ跡に復るべしく　とハ

新古今集　ちはやふる香椎の宮の綾杉ハ神のみそきにたてるなりけり

宗祇筑紫紀行　行末の身をふたゝひと思ハねと香椎の杉に尚やちきらん

古宮ハ仲哀天皇祭り奉る所にして古へ香椎廟宮と称する八古宮を神功皇后の御宮と一所二宮の称ニて朝廷の御崇敬ハ兩宮共に等同くして磐島等奉り給ひとより詳くハ古書に見ゆ御宮の前なる椎木ハ仲哀天皇の御指を挿奉りしゑ故ニ指椎と云此所より東ニ續きたる岡ハ此天皇並ニ神功皇后内國の賊を討ち新羅を征せん事を謀給しく香椎宮の舊蹟也又兜塚鎧阪ハ皇后の甲冑を召給ひしく御盡蹟鹹塚ハ三韓征伐の時賊の切耳を埋らしく所不老水ハ武内大臣の鉄酒を調られしく水ニて是の爲三百餘年の長壽を保つ依て此名有り此外名所舊蹟あまた有れとも之を略す


福岡縣筑前國粕屋郡
多々良村大字名島
鎮座
名島神社之圖
名島神社由緒ノ略記
名嶋神社祭神 宗像三柱姫大神 配祀 天照大御神
豊受大神 伊弉諾大神 諏訪大神 大山祇大神
名嶋神社ノ起元ハ仲哀天皇九年ニシテ神功皇后三韓御征伐ノ時宗像三女神ヲ此所ニテ祭リ戦勝ヲ祈リ御凱旋ノ時其奉事トレテ神祠ヲ建テ三女神ヲ鎮祭シ給ヒタルモノナリ後世佛法渡来シテ俗財天ヲ宗像三女神ノ本地佛トシタルニヨリ神名ヲ佛名ニ替テ辨財天トノ三称セシガ維新ノ際復古レテ皆ラ名嶋神社ト称スルニ至レルナリ而シテ名嶋ト称スル所以ハ神功皇后ノ三韓征伐ノ時軍士ニ各姓名ヲ名東ラセ此所ヨリ軍艦ニ乗テシメ給セシニヨリ古ヘ黒崎ト云セシヲ名嶋トハ既ニ称セシナリト云フ知此ク由緒明ナル旧社タルヲ以テ慶永七年ニハ足利義滿参詣シ天正七年ニハ立花道雪社殿ヲ造營シ同十五年ニハ豊臣秀吉公ヲ参詣アリタルナリ天正十六年ニ小早川隆景書地ニ城ヲ築ク時社殿ヲ遷ニ際シ神領ヲモ寄附セラレタリシカ慶長五年黒田長政當國ノ主トナリテ福岡ニ城ヲ築ク時小早川ノ名嶋城ハ廃セラレタルニヨリ海辺ヨリモ社地ニ神殿ヲ復シ建タリ是當今ノ社地ナリ黒田家入國ノ後造營深遠ナルヲ以テ貳十一石ノ神領ト八千三百金ノ山林ノ寄附セラレ旦造營修繕ノ費用ハ悉ク福藩庫ノ支出スルヲ例ト定メラ實行シ維新前迄継續セシナリ今ハ然ラズ配祀ノ諸神ハ後世勧請セシモノニシテ其由緒ハ詳ナラズ

○航往石船溜 此前鳥井ノ北海邊ニアリ是レハ神功皇后三韓征伐ヨリ凱旋ノ時御船ヲ其儘名嶋神社ニ奉ラレタリシガ石ニ化シタリト云傳フ航往石ハ周一圍余長三丈余折レテ十段トナレリ木理鮮明ニシテ恰モ生木ヲ削成タルガ如シ撰ノ方ニ鉄輪ノ痕アリ鉄色尚著シク鍋ノ痕ニ石上ニ出甚タ大ナリ其ノ末ノ方ハ船岩ノ中ニサシ入テ殪ス

○繋船岩 東名抜鞘 共ニ鳥居ノ前海邊ニアリ繋船岩ハ神功皇后ノ船ヲ繋キシ岩ナリト云フ岩角ニ纜ヲ通スノ穴アリ裏石抜鞘ハ神功皇后御首途ノ供御ヲ聞食シタル処又ハ凱旋ノ時諸軍勢ニ祝宴ヲ賜リシ処トモ云フ

○蟻ノ石 神功皇后三韓ニ渡御ノ時此石ヨリ御船ニ安座アリテ且ツ男女ノ縢ヲ祈レハ験アルニヨリ縢ノ石トモ云フナリ

○抄見嶋 神功皇后ノ兵器ヲ調メ給ヒシ所トモ又放ニ今風鼓ノ事レシ後ニハ大キナル矢ノ根鏃ノ類砂中ヨリ出ルヿアリ天正年中ニ神屋宗湛此島ニテ黙茶ヲナシ小早川隆景ヲ饗セント云フ

○笞打濱 社頭ノ東ニ在リ此濱ニ来リ望メハ若杉翠門夫緑背振加也筑紫冨士ノ諸山ヲ始メ太宰府筥崎等千代松原博多福岡荒津其他ノ名所旧蹟遠近ニ見ユルノミナラス残忠貴女界ノ諸島マテモ見ユ總テ山川田野海嶋一望ノ内ニアリテ絶景筆舌ノ盡スヘキニアラス全國中如斯キ景色ニ富シタル地實ニ稀ナルヘシ故ニ来遊一望ノ價直大ナル恭亭ト云ツヘシ尚吉

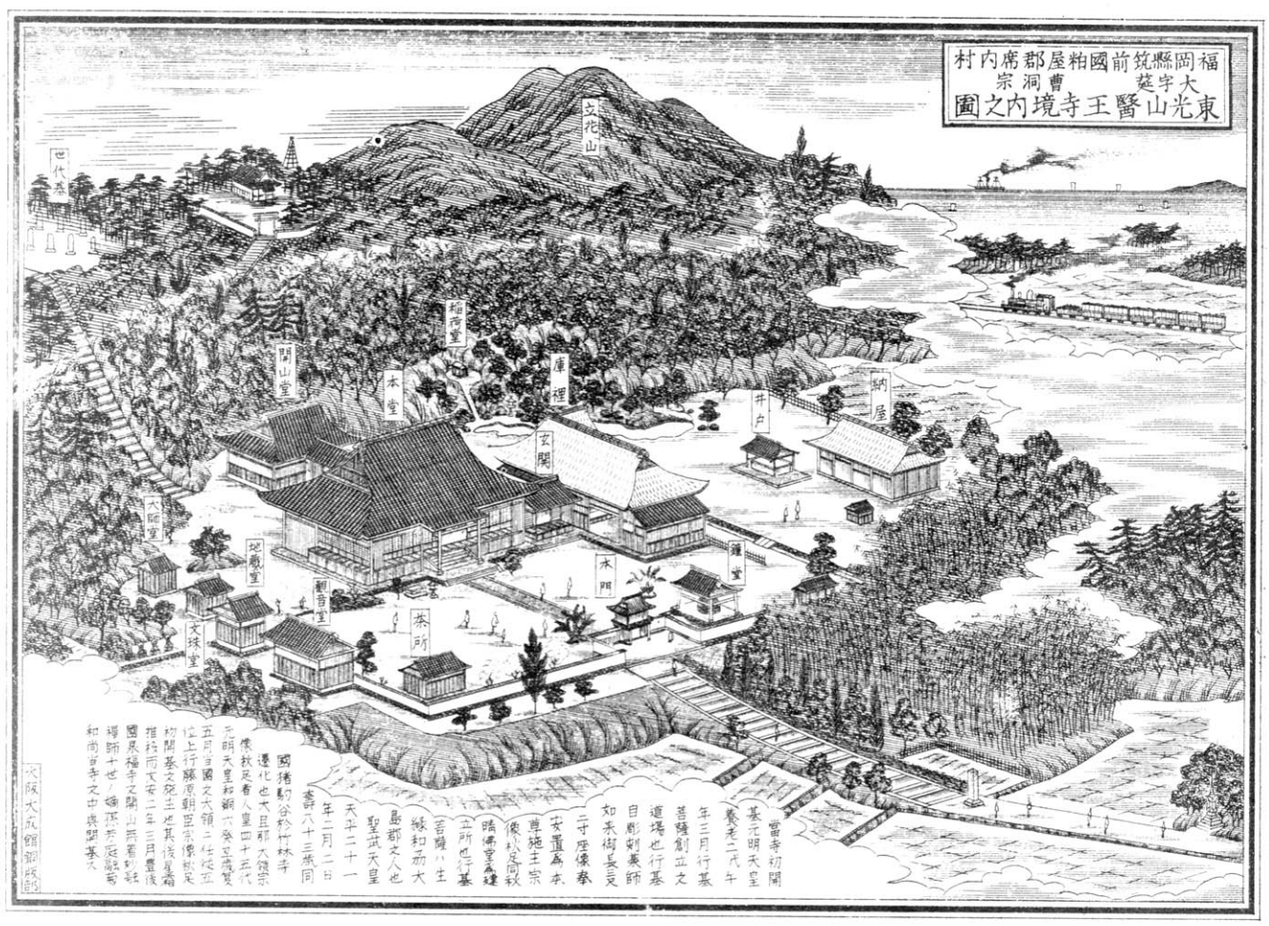
訪往古海嘯暴風回想往蹟感已空教浪怒濤雄
石面壁々朝暮古英雄
風光勢々眼中連山遠水長望勘然擣石清顕枝
正好火輪到走野鷹前

岡縣

例祭 陰暦 六月十九日 二十日
祭日 私祭 同 毎 己 巳 日

大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國粕屋郡香椎村
大字宇宮下
光山宗勝寺境内之圖
本堂
庫裡
玄關
鐘堂
本門
地藏堂
稻荷堂
倉庫
長屋
東司
立花城山
城山
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國粕屋郡席内村
大字荏
曹洞宗
東光山醫王寺境内之圖
立花山
開山堂
庫裡
本堂
玄關
納屋
井戶
鐘堂
本門
地藏堂
觀音堂
文殊堂
本所
大阪大成館銅版部


官幣中社箱崎宮
筑前國箱崎町
當社祭神ハ應神天皇神功皇后
玉依姫ノ三座ヲ齊キ祭レリ
天皇ノ誕生地ニシテ胞衣ヲ納メシ
処ニ松アリ印ノ松ト云
古歌ニ
千早振神代に植〳〵箱崎の
松は久〳〵き志るし〳〵なりけり
本社創立ハ天平寶字三年ニシテ 朝庭ノ
崇敬厚ク時々敵国降伏國家安全ノ
御祈願所タリ又源頼朝百八十町ノ神
田ヲ寄附シ給テ大内、豊臣、小早川、黒田
等何レモ皆神領ヲ寄附セリ
明治十八年四月今ノ社格トナル
大阪 大成館銅版部

宇美宮境内之圖

福岡縣筑前國柏屋郡
宇美村鎮座

當宮ハ應神天皇即八幡宮御降誕ノ靈地ニシテ其八幡大神ヲ祭ル所ナリ

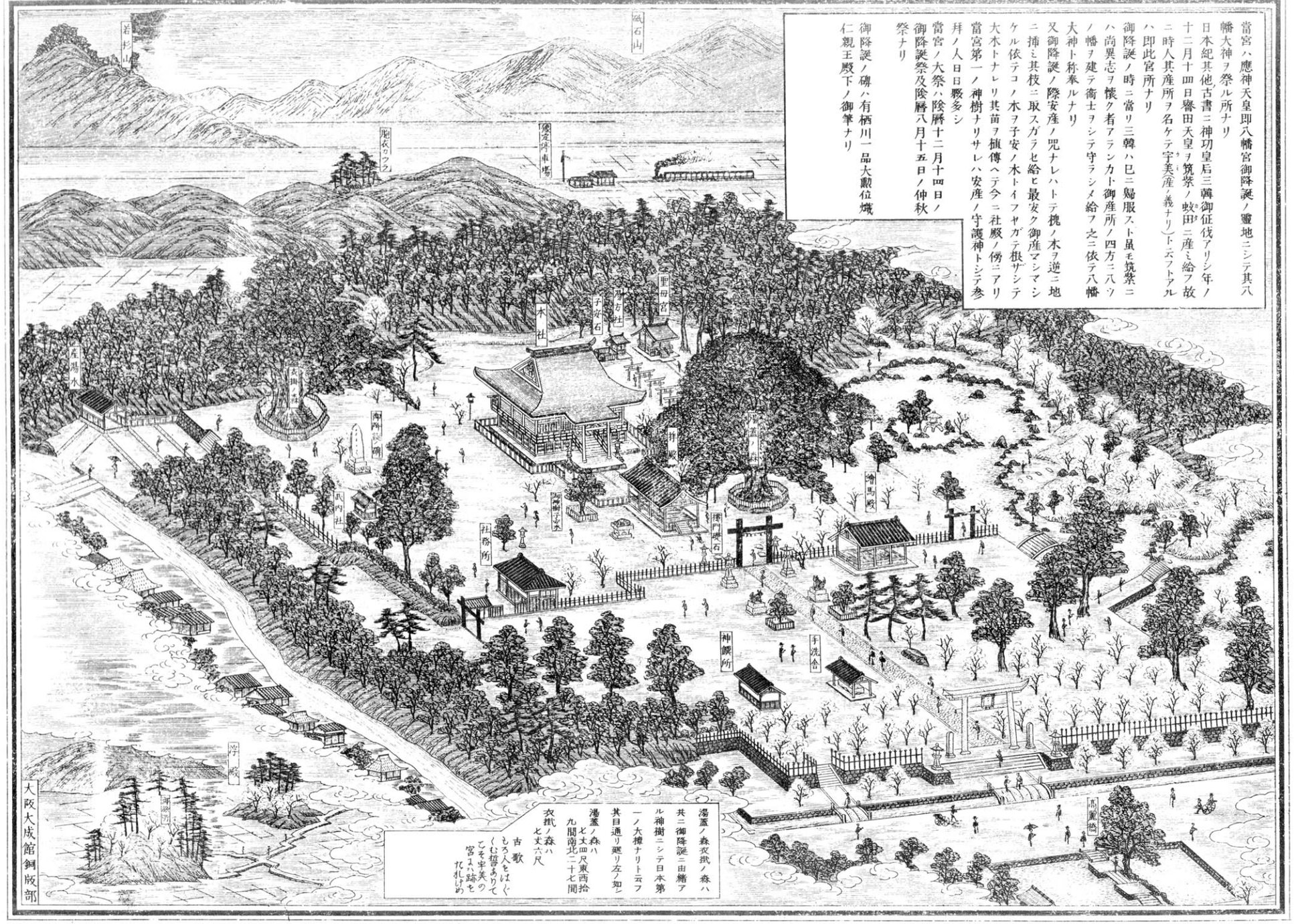
日本紀其他古書ニ神功皇后三韓御征伐アリシ年ノ十二月十四日磐田天皇ヲ筑紫ノ蚊田ニ産ミ給フ故ニ時人其産所ヲ名ケテ宇美(産ノ義ナリ)トゾ云トアルハ即此宮所ナリ

御降誕ノ時ニ當リ三韓ハ已ニ歸服スト雖モ筑紫ニハ尚異志ヲ懷ク者アランカト御産所ノ四方ニ八ツノ幡ヲ建テ衛士ヲシテ守ラシメ給フ之ニ依テ八幡大神ト称奉ルナリ

又御降誕ノ際安産ノ兜ナレハトテ拂ノ木ヲ逆ニ地ニ挿シ其枝ニ取スガラセ給ヒ最安ク御産マシマシケル依テコノ木ヲ子安ノ木トイフヤガテ根ザシテ大木トナレリ其苗ヲ植傳ヘテ今ニ社殿ノ傍ニアリ當宮第一ノ神樹ナリサレハ安産ノ守護神トシテ參拜ノ人日日夥多シ

當宮ノ大祭ハ陰暦十二月十四日ノ御降誕祭及陰暦八月十五日ノ仲秋祭ナリ

御降誕ノ碑ハ有栖川一品大勳位熾仁親王殿下ノ御筆ナリ

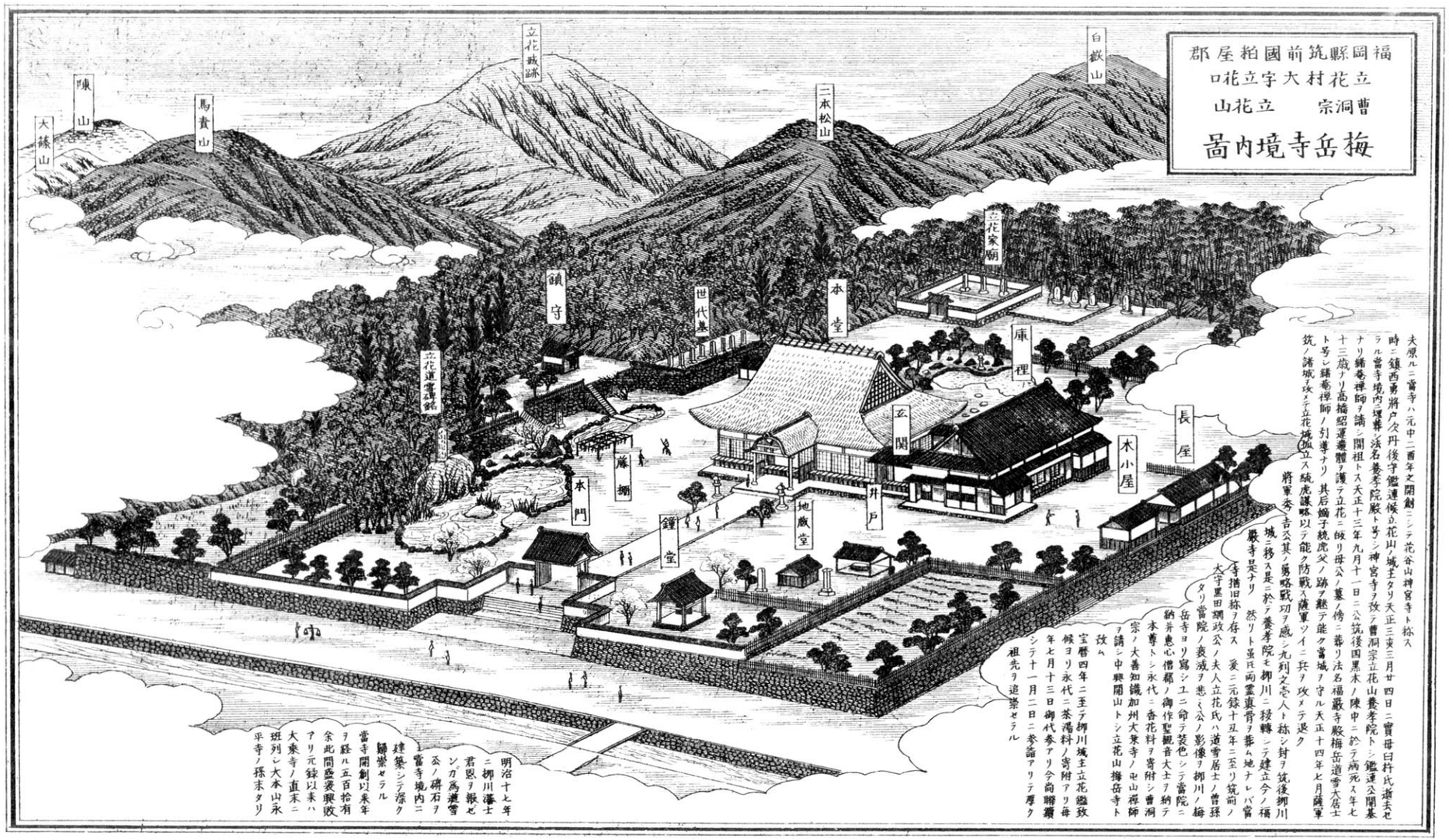


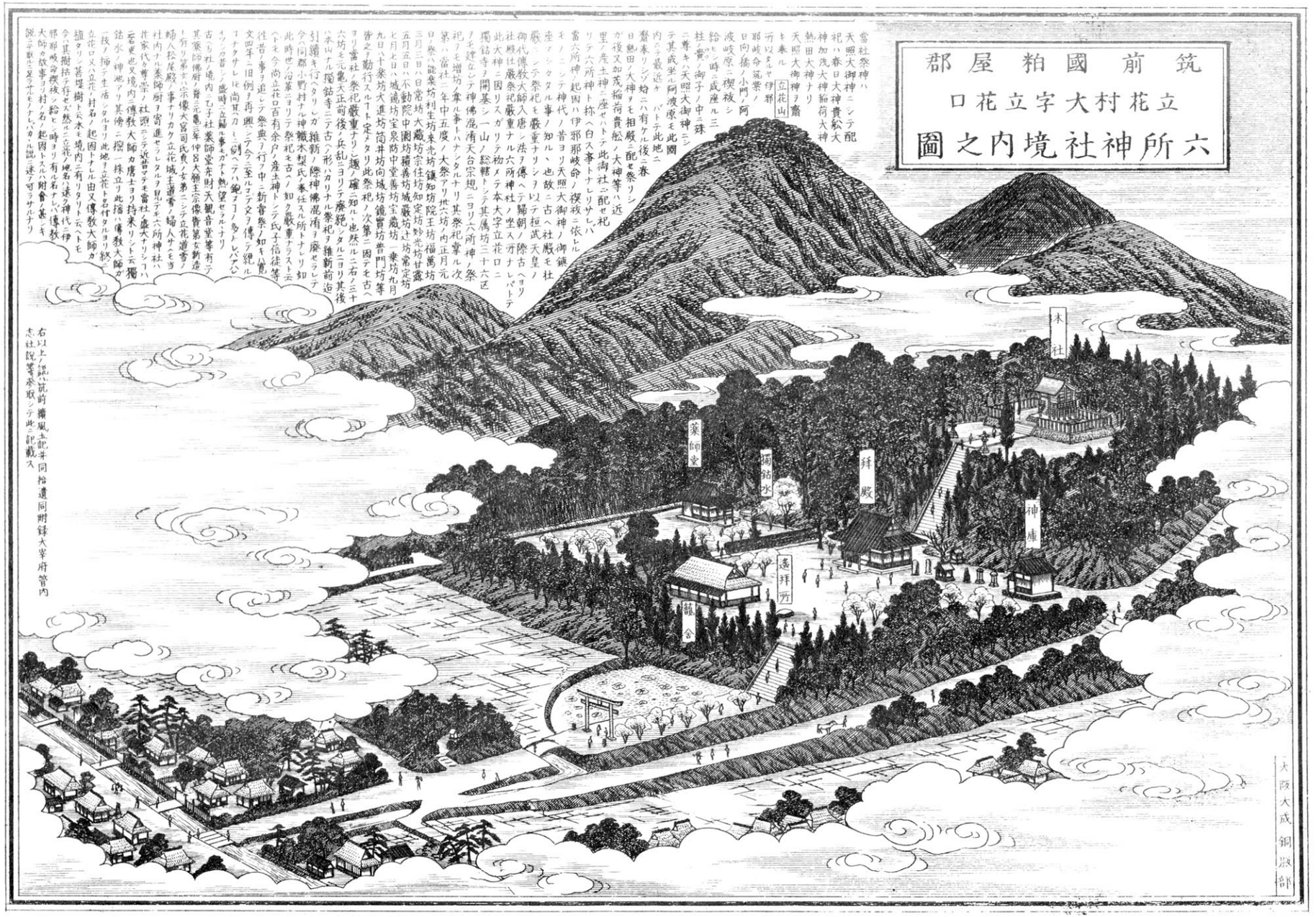
湯蓋ノ森衣掛ノ森ハ共ニ御降誕ニ由緒アル神樹ニシテ日本第一ノ大樟ナリト云フ其目通リ廻リ左ノ如シ

湯蓋ノ森ハ
七丈四尺東西拾九間南北二十七間

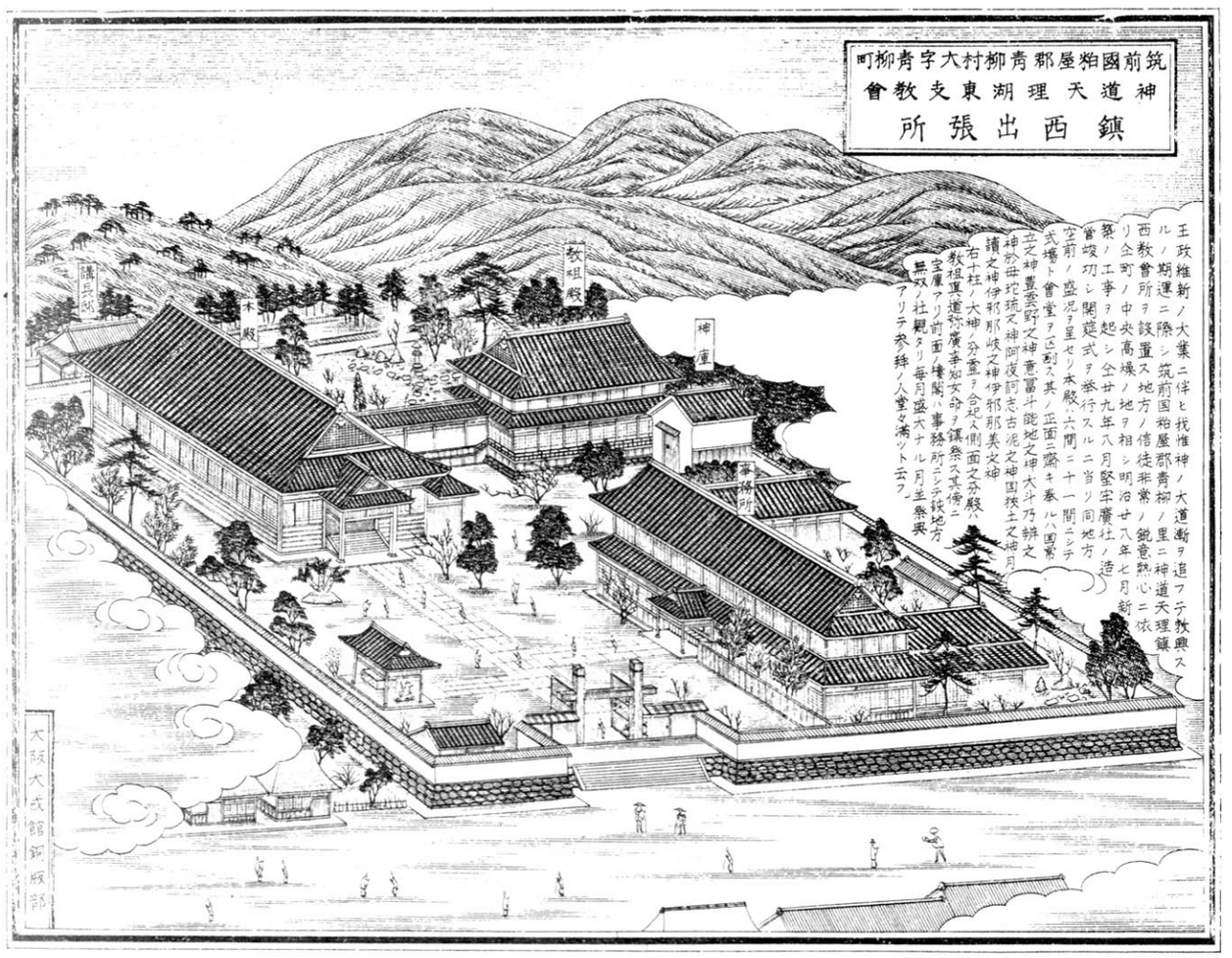
衣掛ノ森ハ
七丈六尺

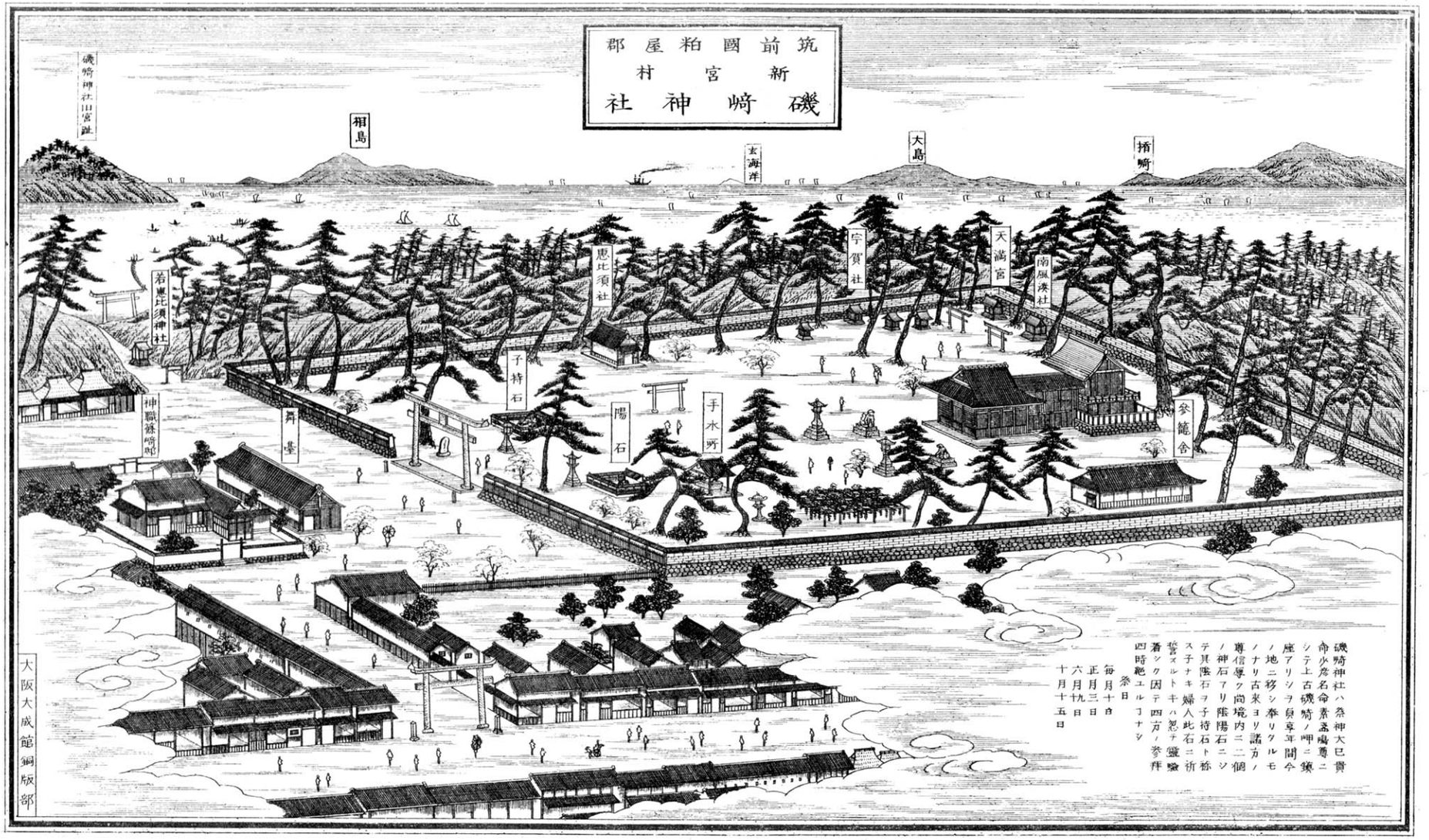
古歌
もろ人をはぐくむ誓ありてこそ宇美の宮とは跡をたれけめ

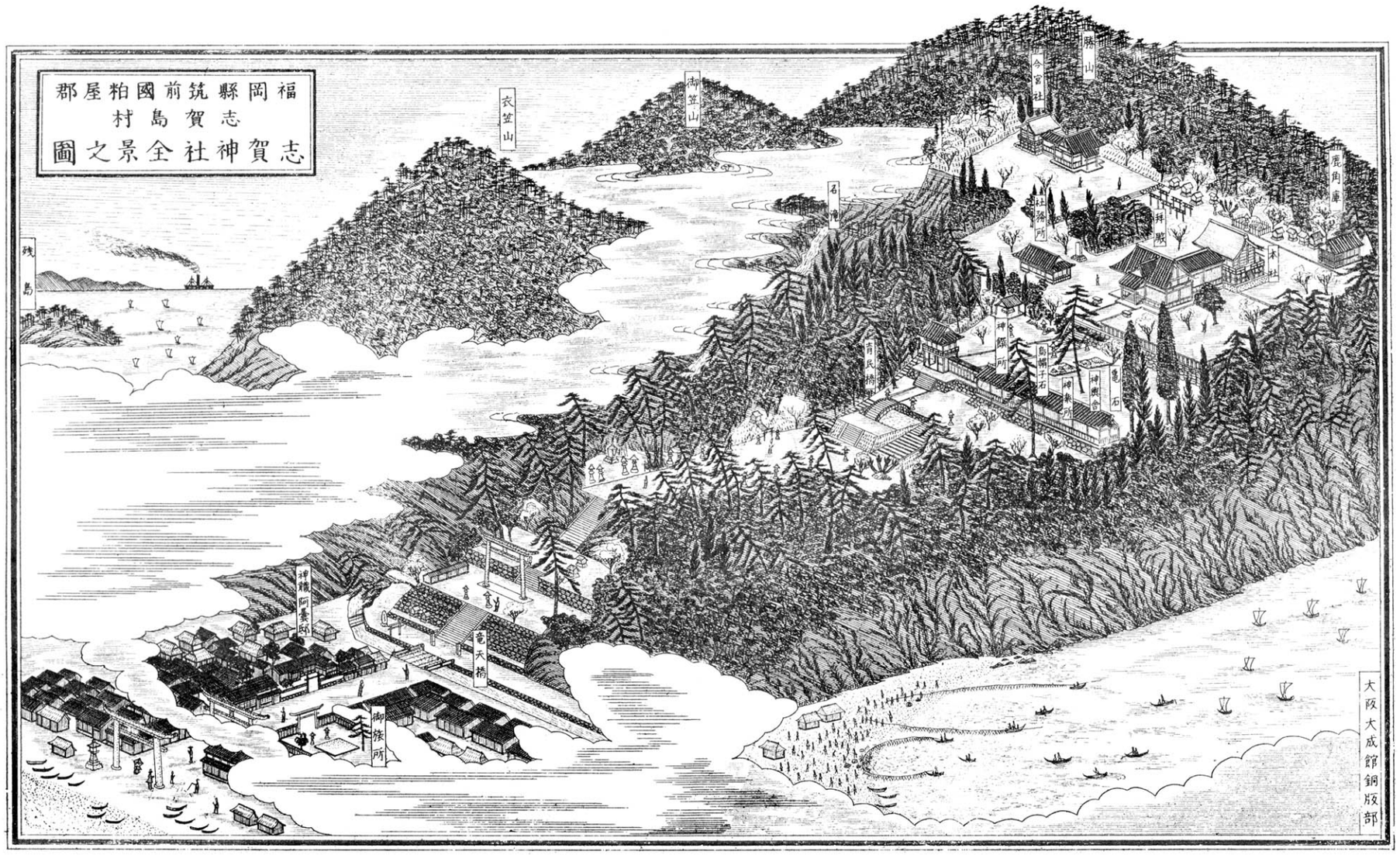

福岡縣筑前國粕屋郡
立花村大字立花口
曹洞宗　立花山
梅岳寺境内畧
白嶽山
二本松山
立花城跡
陳山
大蛛山
駒貴山
立花家廟
世代墓
本堂
鎮守
庫裡
玄關
長屋
木小屋
立花道雪碑
藤棚
本門
鐘堂
地蔵堂
井戸
大原ハ二當寺ハ元中二酉年之開創ニシテ花谷山神宮寺ト称ス
時ニ鎮西勇將戸次丹後守鑑連候立花山ノ城主タリ天正三乙亥三月廿四日ニ實母曰朴氏逝去セラル當寺境内ニ埋葬法名養孝院殿ト号ン神宮寺ヲ改テ曹洞宗立花山養孝院トシ鑑連公開基ナリ錦菴禅師ヲ請シ開祖トス天正十三年九月十一日ニ公筑後国黒木ノ陳中ニ於テ病死ス年七十三歳ナリ高橋紹運遺體ヲ護テ立花ニ帰リ母公ノ墓ノ傍ニ葬リ法名福巌寺殿梅岳道雪大居士ト号シ錦菴禅師ノ引導ナリ其后嫡子統虎父ノ跡ヲ継テ能ク當城ヲ守ル天正十四年七月薩摩將軍秀吉公其ノ勇略戦功ヲ感シ九州之志人ト称シ封ヲ筑後柳川城ニ移ス是ニ於テ養孝院ヲ柳川ニ移轉シテ建立今ノ福厳寺是ナリ　然リト雖モ両霊骨ヲ葬ル地ナレバ當寺猶旧称ヲ存ス　爰ニ元禄十五年ニ至リ筑前ノ大守黒田綱政公ノ夫人立花氏ハ道雪居士ノ曽孫タリ當院ノ衰滅ヲ悲ミ公ノ影像ヲ柳川ノ梅岳寺ヨリ寫シ二命テ装色シテ當院ニ納并惠心僧都ノ御作聖観音大士ヲ納テ本尊トシ永代ニ香花料ヲ寄附シ曹洞宗ノ大善知識加州大乗寺ノ屯山祖師ヲ請シ中興開山トシ立花山梅岳寺ト改ム
宝暦四年ニ至テ柳川城主立花鑑寿候ヨリ永代ニ茶湯料ノ寄附アリ毎年七月十三日御代参アリ今尚賜爵シテ十一月二日ニ参詣アリテ厚ク祖先ヲ追薦セラル
明治十七年ニ柳川藩士君恩ヲ報ゼンガ爲建當公ノ碑石ヲ當寺境内ニ建築シテ深ク歸崇セラル
當寺開創以来年ヲ経ル五百拾有余此間盛衰興敗アリ元録以来ハ大乗寺ノ直末ニ班列シ大本山永平寺ノ孫末タリ


筑前國粕屋郡
立花村大字立花口
六所神社境内之圖
當社祭神ハ天照大御神ニシテ配祀ハ春日大神貴船大神加茂大神稲荷大神熱田大神ナリ天照大御神ヲ齋キ奉ル
所以ハ伊邪那岐命筑紫ノ日向橘ノ小門ノ阿波岐原ニ禊祓シ給ヒシ時ノ御子ノ中三柱ノ貴キ神ニシテ其成坐ル阿波座ノ神ニシテ此地ニ齋来リシハ始ニハ有ケル後ニ春日熱田ノ大神ヲモ相殿ニ配セ祭リシガ後又加茂稲荷貴船ノ大神等ハ近里ノ産土神ニ座セハトテ此御社ニ配セ祀リテ六所神ト称ヘ白久事トナレリサレハ當六所神ト起因ハ伊邪那岐命ノ禊祓ニ依ルモノニシテ神代ノ昔ヨリ天照大御神ノ御鎮座ニシテタル事ノ知ルヘキ也故ニ古ヘ社殿ヲ壮厳ニシテ祭祀ヲ嚴重ナリシヨリ以テ桓武天皇ノ御代傳教大師入唐シ法ヲ傳ヘテ歸朝ノ際古ヘヨリノ社殿壮厳祭祀嚴重ナル六所神社ノ坐久事ヲ立花口ニ此大神ニ因リスガリテ物メテ本大字立花口ニ獨鈷寺ヲ開基シ一山ノ総轄トシテ其鎮坊三十六区ノ支證ナシテ神佛混淆天台宗規ニヨリ六所神ノ祭祀ヲモ増坊ノ輩ル事ハナンタルナリ其祭祀掌ル次第ハ當社ニ年中五度ノ大祭アリ然六坊ノ内正月元日祭ハ能衆坊利生坊東光坊鎮知坊王坊福萬坊五月二日ハ日常坊大藏坊宗住坊知定坊妙光坊甘露坊七月七日ハ不動院中園坊禰義坊城嚴坊辻坊常定坊九日ハ十衆坊大進坊筒井坊向城坊鏡寶坊普門坊等ヨリ當社ヘ祭祀嚴重ナリ之ヲ勤行スルト定メリ此祭祀ノ次第ハ因テモ古ヘ六坊モ元亀天正前後ノ兵乱ニヨリテ廃絶シタルニヨリ其後本山タル獨鈷寺ニテ古ノ形ハカリナル祭祀ヲ維新前迄引續キ行ヘタリシカ維新ノ際神佛混淆ヲ廃セラレテ今ハ同郡小野村ナル神職木梨氏奉仕スル所トナレリ如此時世ノ沿革ニヨリテ祭祀モ古ヘノ如ク嚴重ナラスト云ヘトモ今尚立花口百有余戸ノ産土神トシテ氏子信徒等往昔ヨリ追ヒテ祭典ノ行ヲ中ニ斬雷祭ノ如キ鬼文四年ニ旧例ヲ再興シテ今ニ至ルマテ之ヲ傳テ絶ルコトナカリレ尚其カミ剣ヘハ鉾ノコノ多ヘレハハンノ昔シ盛時ニ當事ヲカナ熱望セラルヘキ古ヘ社業師堂朱財天観音堂等有テ其寮除佛祖ノ尊像等ハ當社ニ安置シ有リ第六宗像大宮司氏貞ノ女第ニシテ立花道雪ノ婦人松尾殿ノ事ナリカク立花城主道雪ノ婦人サヘモ当社内ナル泰陣財ヲ寄進セラレタルヲ見テモ六所神社ハ其家代々尊崇ノ社頭ニテ近世マテモ當社盛大ナリシコトハ毛更也又境内傳教大師ノ唐土ヨリ持来リシト云獨鈷水ノ神地アリ其傍ニ探ニ一株立ル橘ハ傳教大師カ一枝ノ挿テ生活シタルヨリ此地ヲ立花ト名付タルヨリ終立花ト呼ス八立花ノ起因トナル由又傳教大師カ植タリシ菩提樹ト云木モ境内ニ有リタリト云ヘトモ今ハ其樹枯行セス然ニ立花ノ地名遠ク神代ニ伸邪那岐命禊祓ノ給ヒシ時ヨリ有ル名ナレハ傳教大師ノ故事ヨリ村ノ名ノ起因トスルハ附會ノ甚キニ説ニ取ルニ足ラサルヘカル説ハ遂ニ可ラサルナリ
右以上ノ説ハ筑前續風土記并同拾遺同附録大宰府管内志社説等参取シテ此ニ記載ス
木社
拝殿
神庫
獨鈷水
參拝所
舞台
立花山
大阪大成銅版部

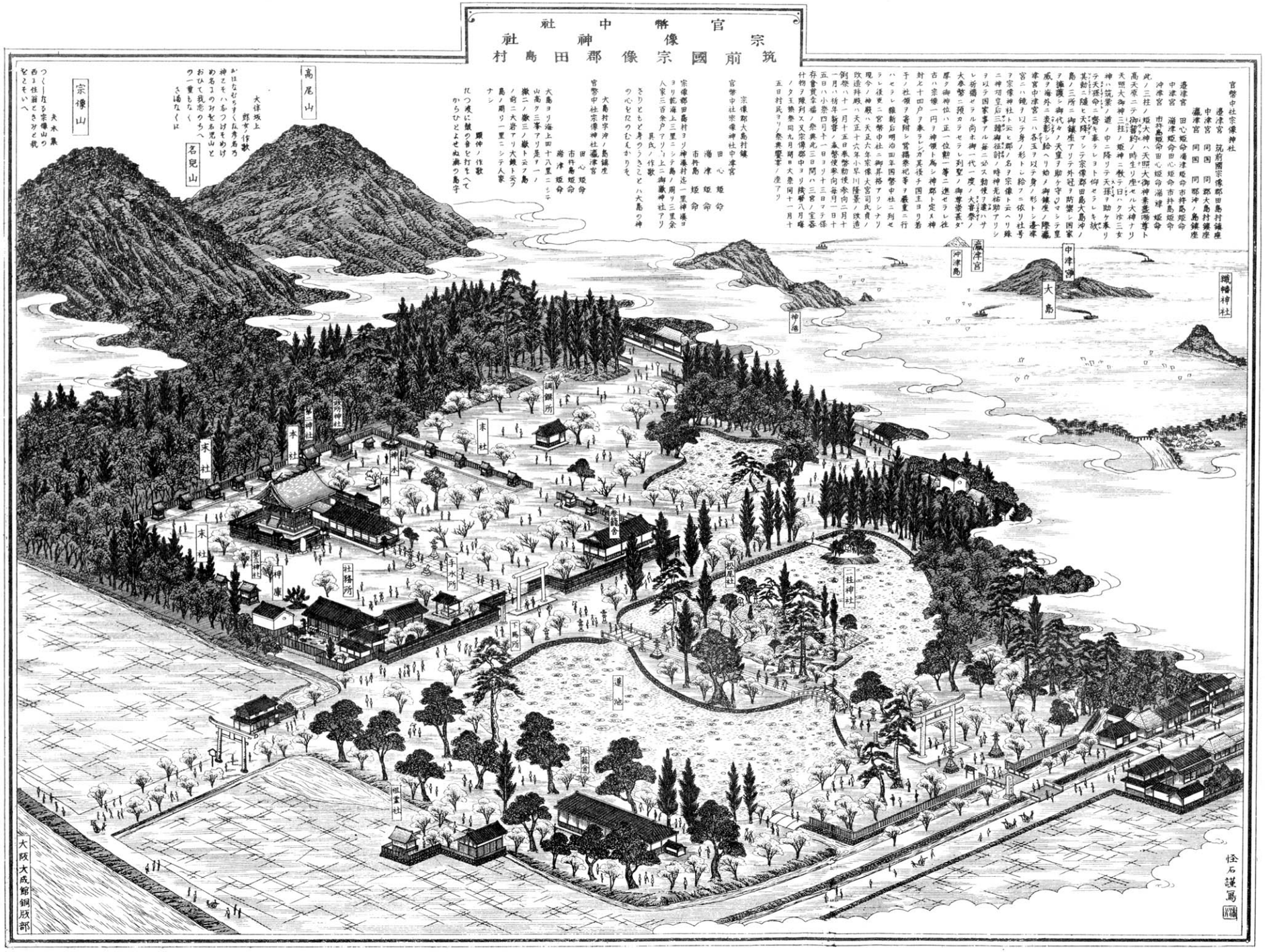

筑前國粕屋郡
五所八幡宮境内之圖
本社
拜殿
神輿渡田邸
大阪大成館銅版部


筑前國粕屋郡青柳村大字青柳町
神道天理湖東支教會
鎮西出張所
講兵所
教祖殿
神庫
事務所
大阪大成館銅版部


筑前國粕屋郡
新宮村
磯崎神社
磯崎神社旧宮跡
相島
玄海洋
大島
挿崎
若恵比須神社
恵比須社
宇賀社
天満宮
南風崇社
子持石
陽石
手水所
神職祿所
拝殿
会館舎
磯崎神社ハ祭神大巳貴命少彦名命素盞嗚尊ニシテ上古磯崎ノ岬ニ鎮座アリシヲ貞享年間今ノ地ニ移シ奉リクルモノナリ古来ヨリ諸方ノ尊信厚ク尚境内ニ二個ノ神石アリ陽石ニシテ其陰石ヲ子持石ト称ス子ナキ婦人此石ニ祈誓スルトキハ忽チ霊驗著シク因テ四方ノ参拝四時絶エルコトナシ
祭日
毎月十日
正月三日
六月九日
十月十五日
大阪大成館銅版部

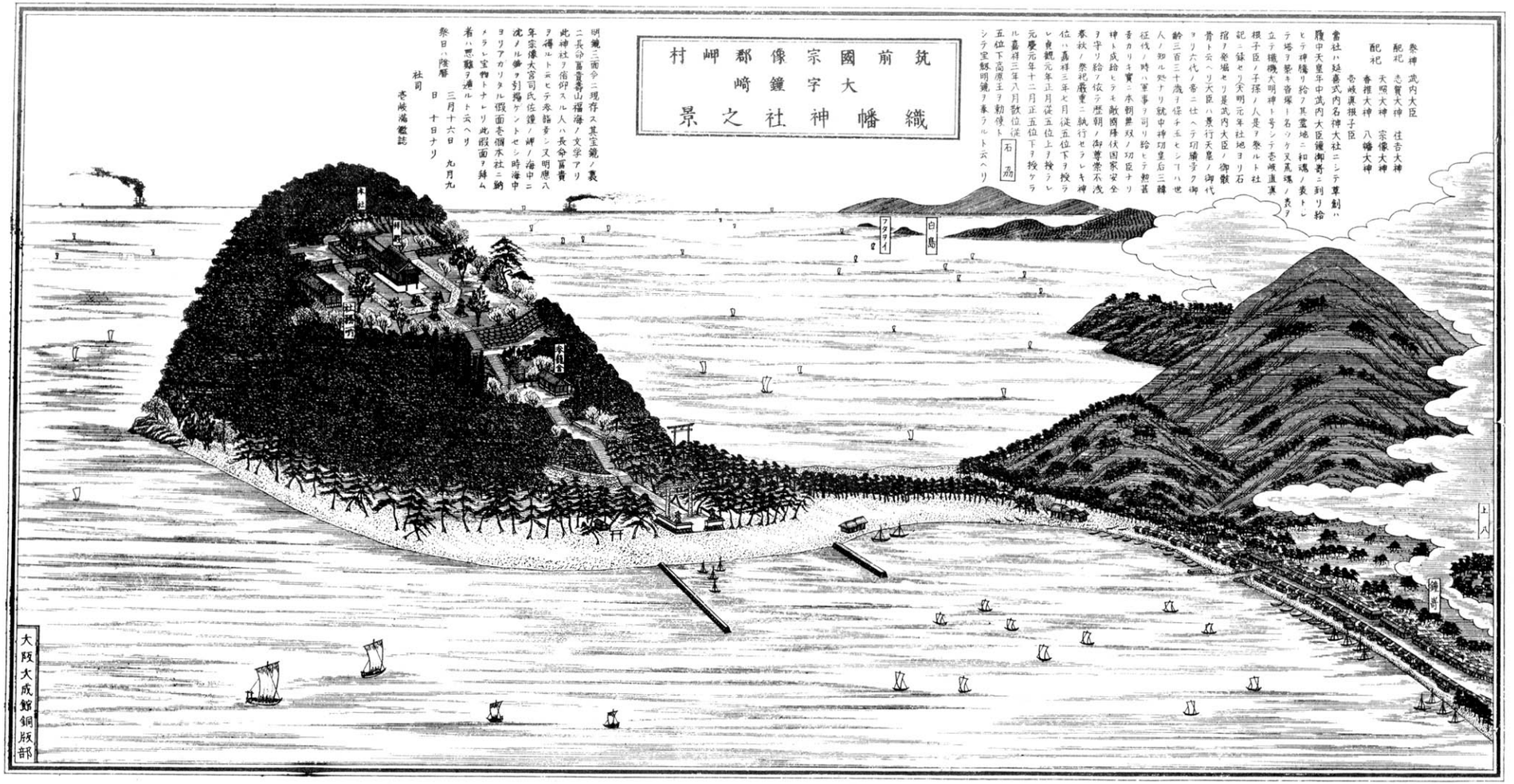

福岡縣筑前國粕屋郡
志賀島村
志賀神社全景之圖
衣笠山
御笠山
勝山
今宮社
辰角庫
拜殿
本社
社務所
名井
神饌所
神樂所
亀石
獅子石
百八燈
殘島
神饌所
竜天橋
御祭所
大阪大成館銅版部

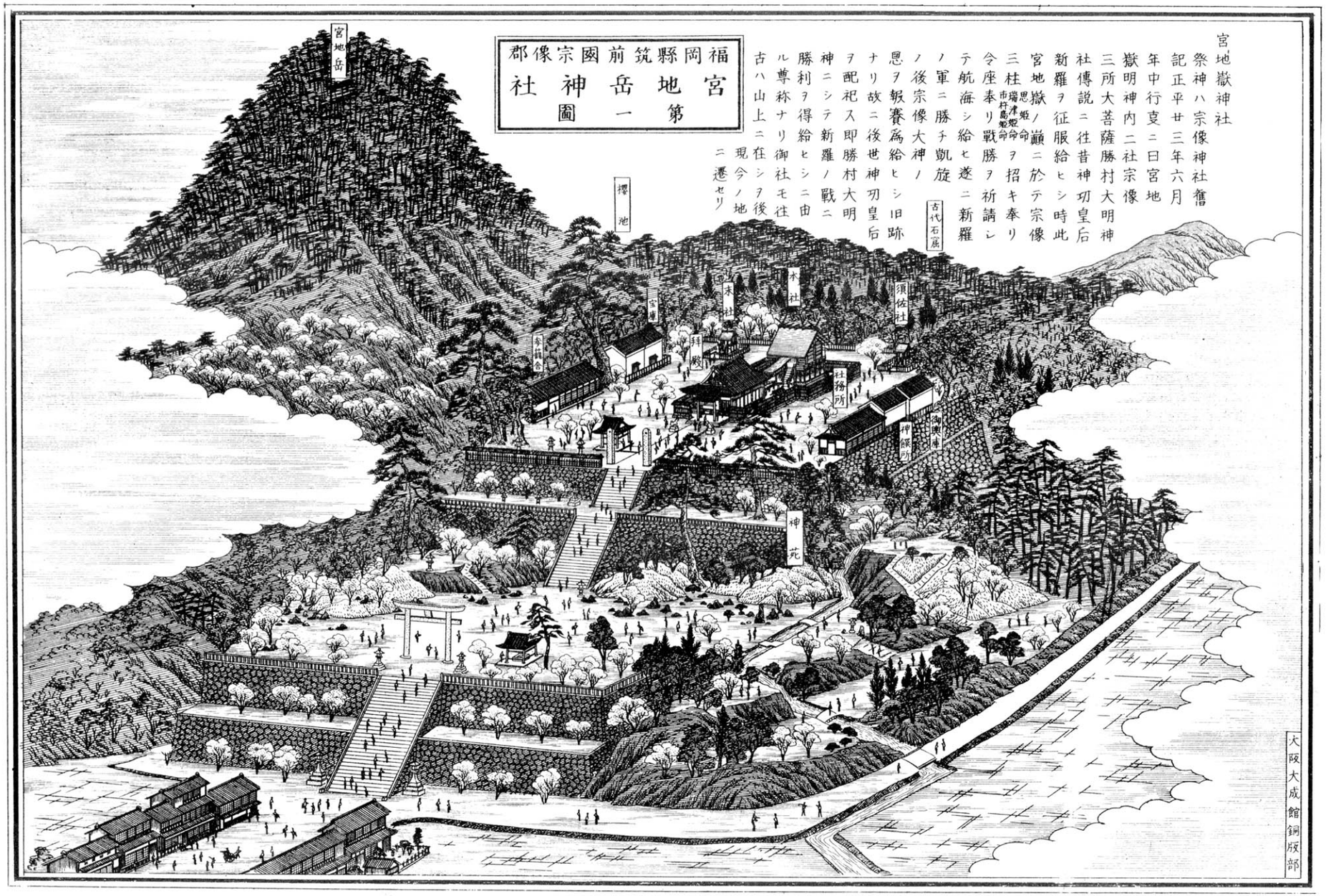

福岡縣筑前國粕屋郡
勢門村大字若杉
社縣
大祖神社全景之圖
大祖神社ハ神代ヨリ鎮坐マシマシ社殿造営ハ人皇代十四代
仲哀天皇ノ皇后神功皇后三韓征討御祈誓遊サレ凱旋ノ後其
ノ報賽トシテ社殿壯大ニ御建築遊サル
祭日ハ春秋二期ニ分チ春旧三月十四日十五日
両日トシ秋ハ旧九月十九日ナリ
高取井城跡
山王社
本社
拝殿
渡殿
神庫
社務所
御神行場
岩井園
一ノ瀬川
女人堂
一神屋敷
五鈷神
向山
中納言岩
傳宮跡
休石
寺ケ滝
押石様
菜師
山神
高野大
古宮
八代帝王
弓箱原
東ノ院
北山神社
大阪大成館銅版部

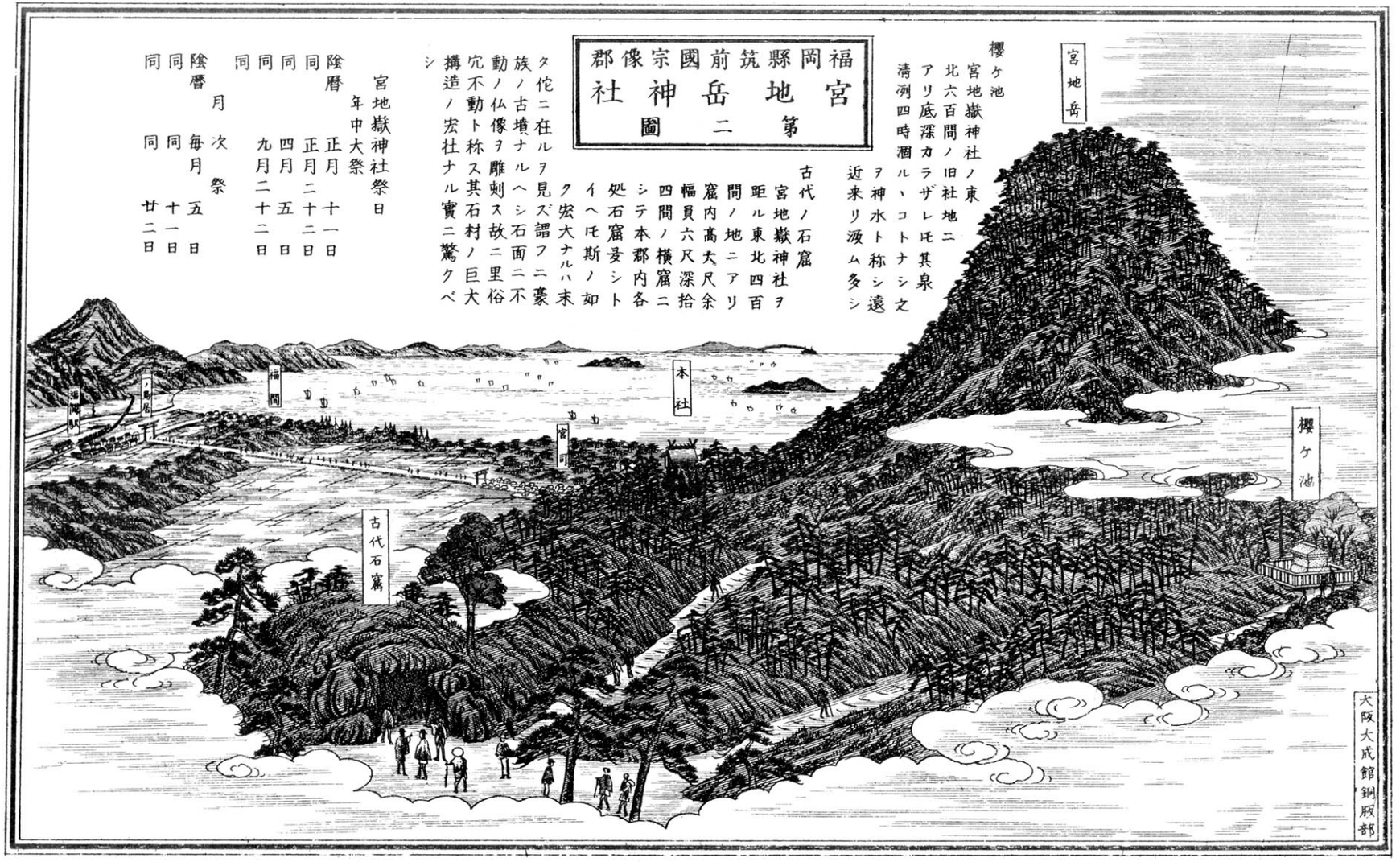

宗像神社
筑前國宗像郡田島村
官幣中社宗像神社
官幣中社
宗像神社
高尾山
宗像山
名兒山
大島
中津宮
辺津宮
沖津宮
末社
本社
社務所
手水所
神庫
神饌所
調饌所
参集所
一柱神社
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國宗像郡田島村
曹洞宗　東方山
醫王院境内之圖
鎮守
世代墓
墓地
本堂
庫裡
玄關
納屋
觀音堂
經藏
鐘樓
本門
井戶
地島
大島
大阪大成館銅版部

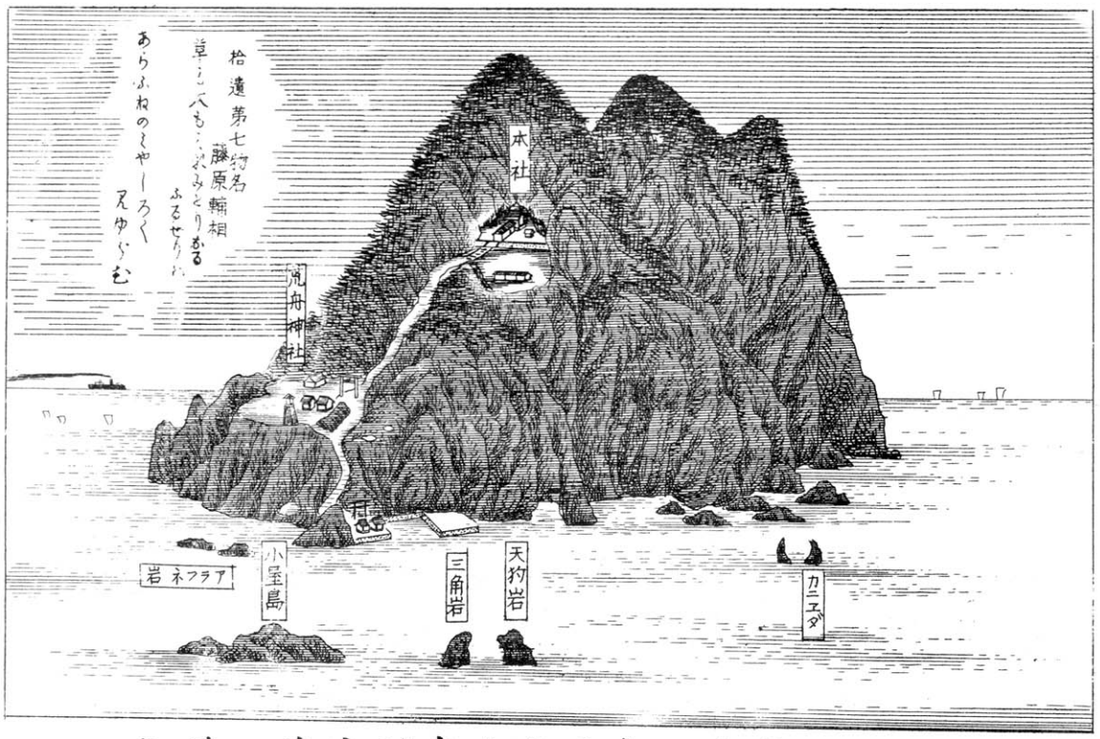

福岡縣筑前國宗像郡
津屋崎村　鎮座
波折神社境内之圖
大阪大成館銅版部


筑前國宗像郡
大字鐘崎
織幡神社之景
祭神 武内大臣
配祀 志賀大神 住吉大神
配祀 天照大神 宗像大神
配祀 春姫大神 八幡大神
宗岐眞根子臣
當社ハ延喜式内名神大社ニシテ尊劍ハ
腹中天皇年中武内大臣纏御著ニ到リ給
ヒテ神騰リ給フ其靈地ニ紺鴨ノ表トシ
テ鳴ヲ祭ヲ容ル一名ツケ又鳥鳴ノ表ヲ
立テ織機大明神ト号シテ宗岐直眞
根子臣ノ子孫ノ人是ヲ祭ルト社
記ニ録セリ実明元年社地ヨリ石
碣ノ発堀セリ是武内大臣ノ御骸
骨ト云ヘリ大臣ハ景行天皇ノ御代
ヨリ六代ノ帝ニ仕ヘテ功績多ク御
齢三百三十九歳ノ往チ玉ヒシニハ世
人ノ知ル処ナリ就中神功皇后三韓
征伐ノ時ハ軍事ヲ司リ給ヒ勅甚
委カリキ實ニ承朝無双ノ功臣ナリ
神ト成給ヒテモ敵国降伏国家安全
ヲ守リ給ノ故ヲ歴朝ノ御尊崇不浅
春秋ノ祭祀厳重ニ執行セラレキ神
位ハ嘉祥三年七月従五位下ヲ授ケ
レ貞観元年正月従五位上ヲ授ケレ
元慶元年十二月正五位下ヲ授ケラ
ル嘉祥三年八月歟位従
五位下高原王ヲ勅使ト
シテ宣勅明鏡ヲ奉ラルト云ヘリ
石碣
明鏡二面今ニ現存ス其宝鏡ノ裏
ニ長沙匠宣尊高山福海ノ文字アリ
此神社ノ宿即スル人ハ長命富貴
ヲ得ルト云ヒテ本語音ンス又明應八
年宝燈大宮司氏佐鐘ノ岬ノ宿中ニ
沈ノル夢ヲ引揚ゲントセシ時海中
ヨリアカリタル假面壱個本社ニ納
メラレ宝物トナレリ此假面ヲ鍾ム
者ハ思難ヲ遁ルト云ヘリ
祭日ハ陰暦 三月十六日 九月九
日 十日ナリ
社司
宗岐滿徳誌
白島
フタツイ
神殿
本社
本門
神門
鐘崎
大阪大成館銅版部

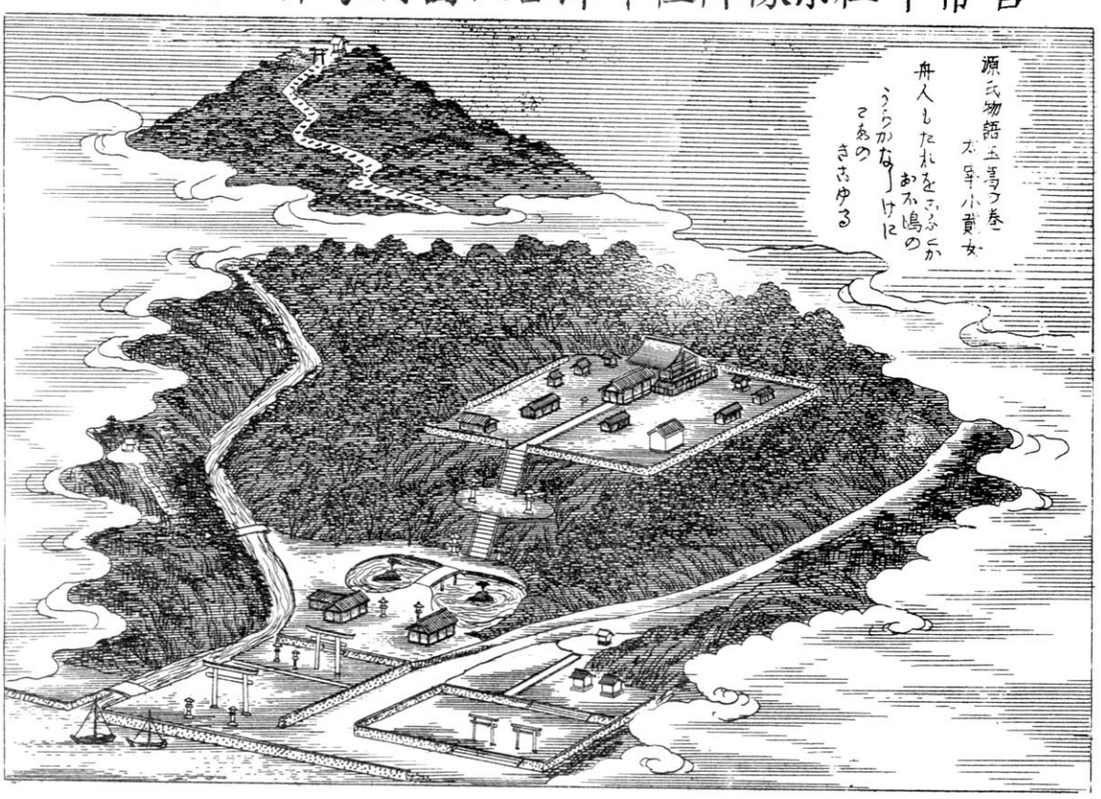

福岡縣筑前國宗像郡
宮地岳神社
第一圖
宮地嶽神社
祭神ハ宗像神社舊記正平廿三年六月年中行事ニ曰宮地嶽明神内二社宗像三所大菩薩勝村大明神社傳説ニ往昔神功皇后新羅ヲ征服給ヒシ時此宮地嶽ノ巓ニ於テ宗像三柱（瑞津姫命 市杵島姫命 思姫命）ヲ招キ奉リ令座奉リ戦勝ヲ祈請シテ航海シ給ヒ遂ニ新羅ノ軍ニ勝チ凱旋ノ後宗像大神ノ恩ヲ報賽爲給ヒシ旧跡ナリ故ニ後世神功皇后ヲ配祀ス即勝村大明神ニシテ新羅ノ戦ニ勝利ヲ得給ヒシニ由ル尊称ナリ御社モ往古ハ山上ニ在シヲ後現今ノ地ニ遷セリ
宮地岳
櫂池
古代石窟
宝庫
末社
拝殿
本社
須佐社
社務所
神饌所
御廚庫
神苑
参拝橋会
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國宗像郡
宮地岳神社
第二圖
櫻ケ池
宮地嶽神社ノ東北六百間ノ旧社地ニアリ底深カラザレ𪜈其泉清冽四時涸ルヽコトナシ之ヲ神水ト称シ遠近来リ汲ム多シ
古代ノ石窟
宮地嶽神社ヲ距ル東北四百間ノ地ニアリ窟内高丈尺余幅員六尺深拾四間ノ横窟ニシテ本郡内各処石窟妥シトイヘ𪜈斯ノ如ク宏大ナルハ未タ𠮟ニ在ルヲ見ズ謂フニ豪族ノ古墳ナルヘシ石面ニ不動ノ仏像ヲ雕刻ス故ニ里俗冗不動ト称ス其石材ノ巨大構造ノ宏壮ナル實ニ驚クベシ
宮地嶽神社祭日
年中大祭
陰暦 正月 十一日
同 正月二十二日
同 四月 五日
同 九月二十二日
同
月次祭
陰曆 毎月 五日
同 同 十一日
同 同 廿二日
宮地岳
櫻ケ池
本社
楼門
鳥居
参道
古代石窟
大阪大成館銅版部

官幣中社宗像神社瀛津宮大島村字沖津島鎮座



官幣中社宗像神社中津宮大島村字岸　鎮座




筑前國宗像郡
下西鄕村
諏訪神社境内之圖
岳地宮
新宮社
本社
拜殿
須賀神社
神職沢田郎
諏訪松
大阪大成館銅版部


筑前國宗像郡上西鄕村
大字上西鄕字焼見堂
鎮座大森神社境内之圖
大阪大成館銅版部製


福岡縣筑前國宗像郡
福間村淨土宗松原山
玉聖院大善寺
宮地山
福間停車場
本堂
庫裡
座敷
玄關
廊下
納屋
觀音堂
地藏堂
鐘堂
本門
當寺ハ慶長初年度ノ創建ニシテ開基ヲ三故大和尚ト云フ博學德高フシテ四郡ノ真俗化ヲ蒙ル風草ノ如シ其砌頑地頭黒田如水公ノ聞クトコロトナリ除地七千九百坪ノ地ヲ給フ
大坂大成館製版部

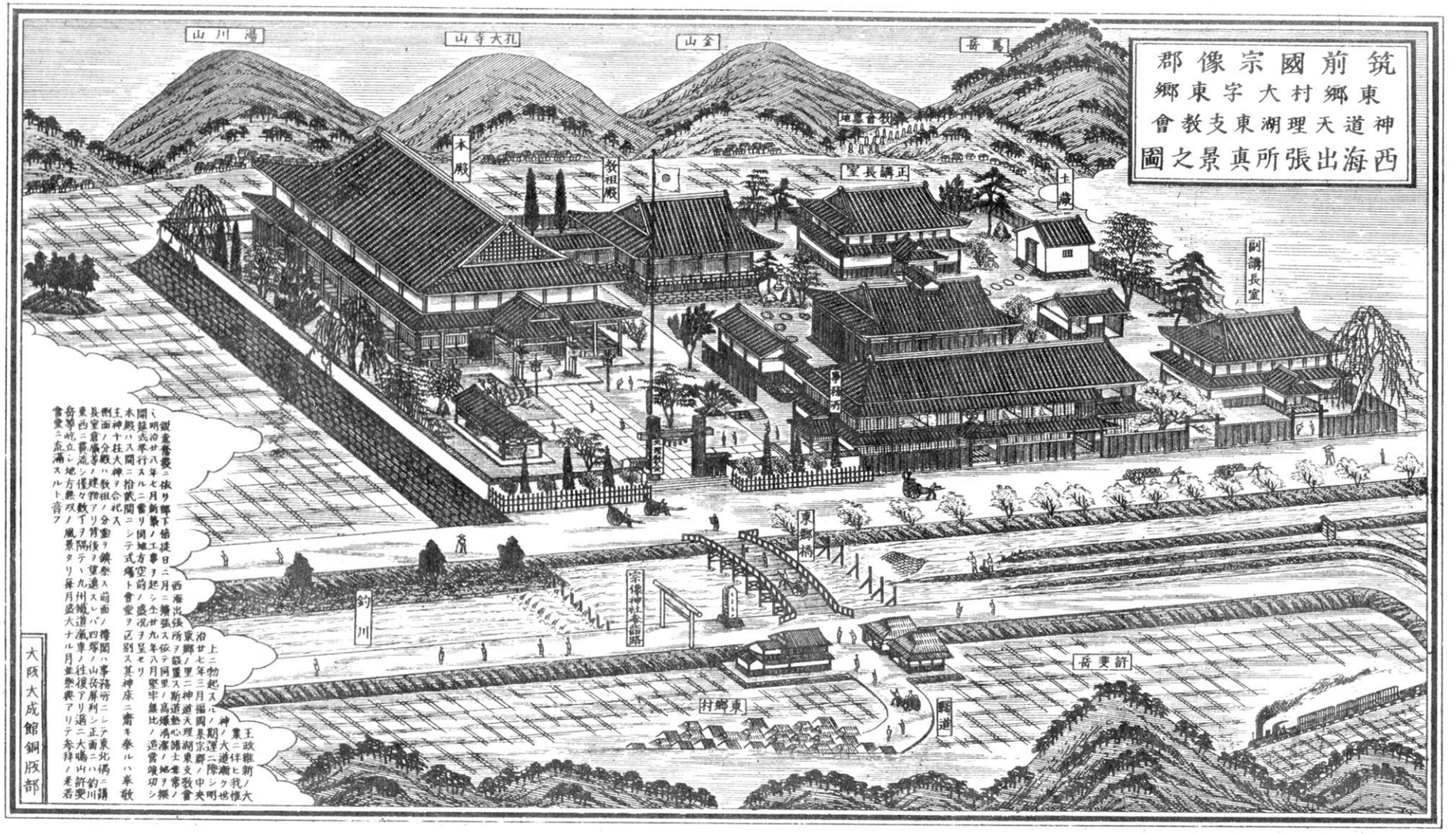

福岡縣筑前國宗像郡
赤間村 淨土宗
蘿嶽山正法寺
旧城山
本堂
庫裡
納屋
土藏
立門
參所
鐘樓
本門
長屋
裏門
六地藏
鼓門
大坂大成館製版部

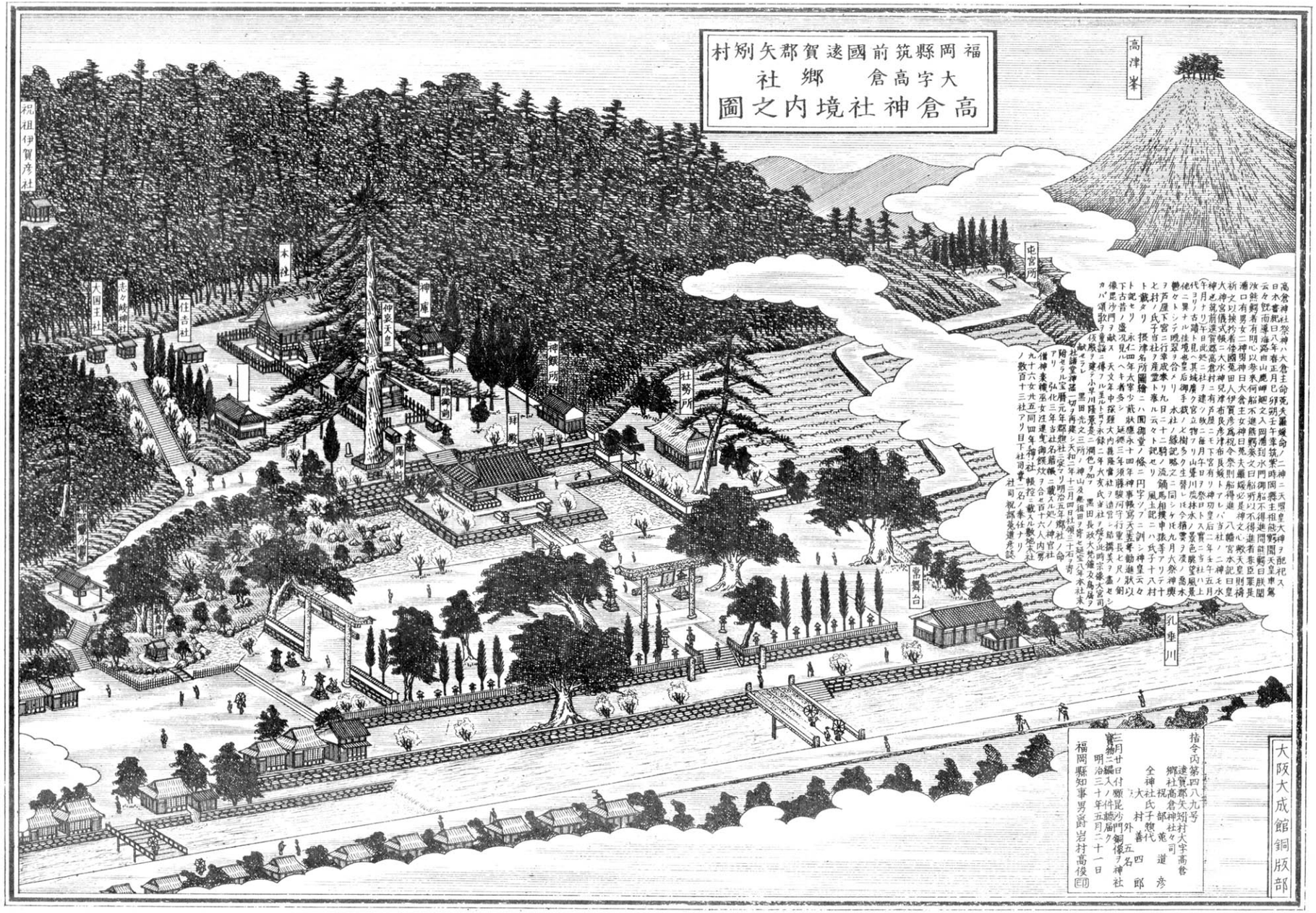


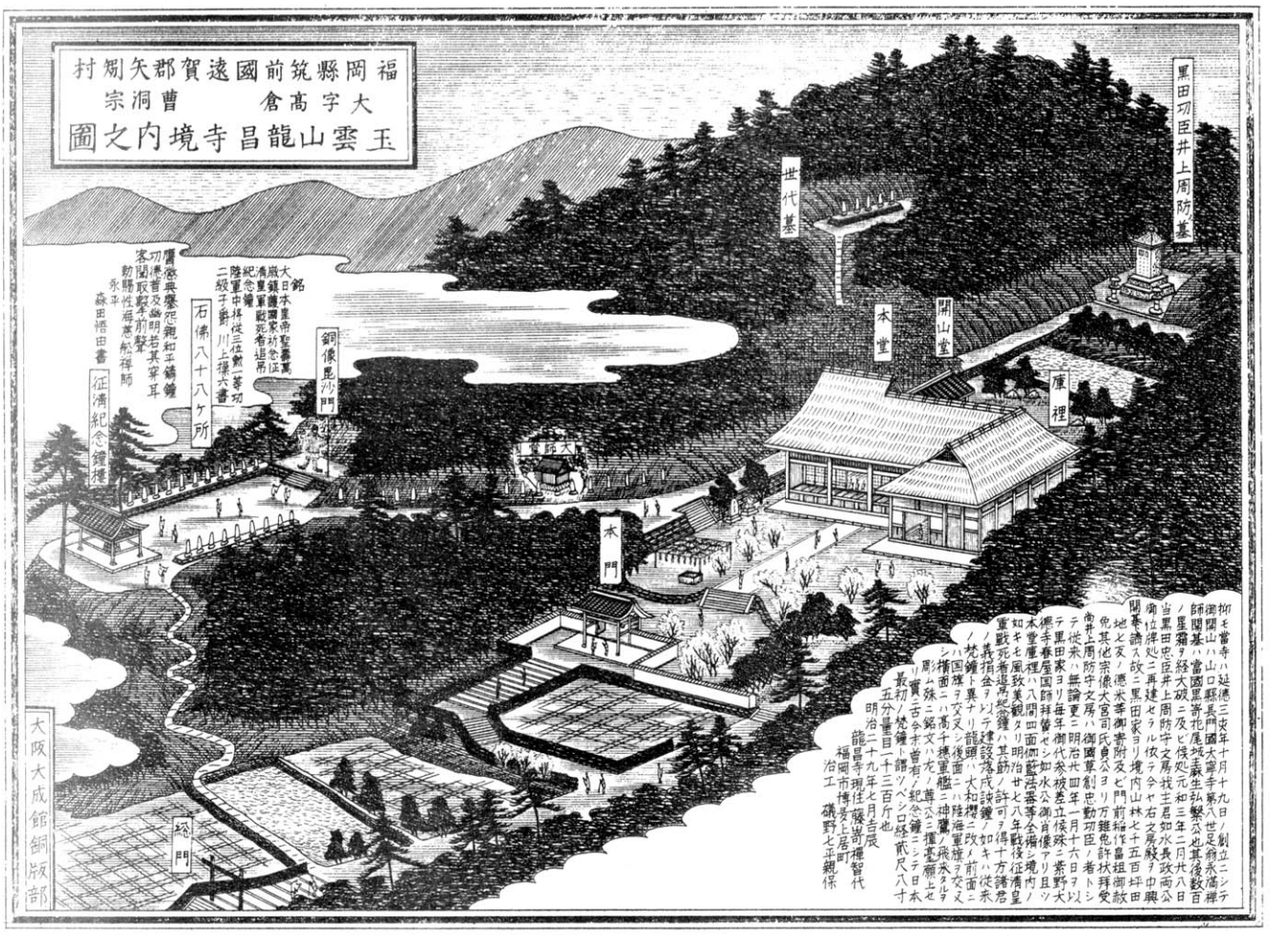
夫原ニ雷山ノ開基ハ周防國山口ノ城主大内義興公九州探題タリシ時祖先追孝ノ爲周防國吉敷郡小鯖村奉雲寺八世笑心慶仙禪師ヲ開山ニ尊請シ田畑四町八反ノ除地ヲ寄花料ニ寄附シテ以テ一寺創建シ天德山大平禪寺ト公称ス然リト雖モ時勢ノ變遷ニ從ヒ寄附田モ自然消滅スル世移リ春秋ヲ經テ寛政二年ニ至リ諸堂大破ニ及ヒ寺擴協力シテ再建セリ盛衰アリト雖長祿二年十一月二日開山示寂ヨリ四百數十年ノ星霜ヲ經テ驛綿相續シテ寺門益昌


福岡縣筑前國宗像郡吉武村
大字吉留　鎮座
八所神社境内之圖
古傳ニ云神武天皇天業ヲ恢弘セント日向國ヨリ舟師ヲ師キテ東征シ給フ時遠賀郡岡ノ濱ニ少憩ク躍ヲ駐メ當郡萬ノ敵ニ到給フニ當社ノ神赤馬ニ乘リ形ヲ顯レテ人民ヲ指揮シ皇軍ニ從ハシメ永ク當地ノ守護神タルベシト誓ヒ給フ則チ其所ノ名付テ赤馬ト云又清淨ナル地ニ鎭リ座シトテ吉キ所ニ留リ給フ故ニ吉留ト云ヒ云ヘリ旧ト社殿造立ノ時ハ是ヨリ西北ナル鷲嶺山ノ麓ニ鎭座有ケルヲ天武天皇白鳳二年神託ニ由リテ今ノ地ニ遷ス
ト云ヘリ又　安康天皇ノ朝當社ノ神靈驗ヲ顯シ給フヿ著明ナル故　天皇勅使ヲ下シ給フ又
垣武天皇ノ時橘ノ逸勢遣唐使ニ屬シ當國ニ下リ午ノ日航海ノ安全ヲ祈シ故午ノ日祭始ルト云サレバ古ヘハ頗ル大社ニシテ神領三百町ニ及ヒ社職社一人ニ及シ由古記ニ見エ然ルモ世ノ乱離ヲ歷テ衰ク衰敗セシモ猶天文ノ棟札ニ社人五家八七女等ノ姓名ヲ記シ數地十一ヶ村ノ村名ヲ記セリ又宗像氏分限帳ニ田地武町吉留八所當久司ト記セリ又世久ノ武將ノ信仰モ厚ク小早川隆景奉納ノ時太刀一振幕一張納ノヿ見エ旧藩黒田家ニ於テモ代々尊信毎所有ノヿ見エ然シテ阿計鄕十一ヶ村ノ鎭守氏神クリシコハ細新ノ初メニ遷シテ今猶地方人民ノ記臆構遺スル所ナリ以上述ル所ノ事實アルヲ以テ今般氏子ヶ村數議ノ上縣社ニ昇格出願スルニ至レリ
須賀神社
女康松
御手洗池
現人神社
社務所
宇庫
釣川
御旅所
宮川
大阪大成館銅版部

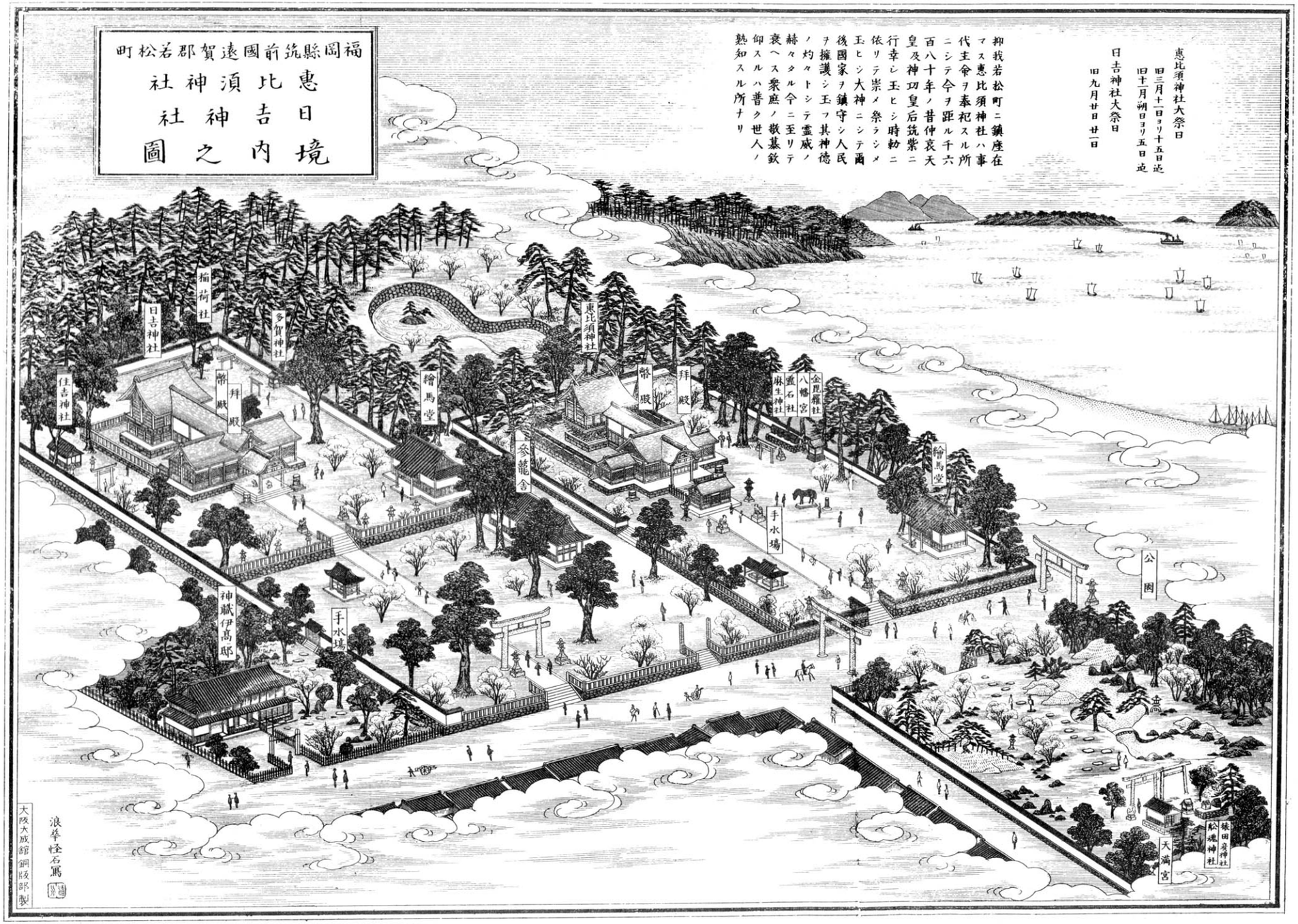

福岡縣筑前國宗像郡野坂村
大字大穗曹洞宗 松巖山
宗生寺境内之圖
宗生寺由緒
一當寺ハ文明十五年ノ創立ニシテ開基許斐城主秀貫出雲守隆忠父為追善建立セラル則防州鴨藏書寺四世機庵和尚ノ請シテ然而門葉頗ル榮盛シ末モ久ケ時ノ有スル後天正中小早川隆景筑紫ヲ領若于ノ寄セラル御繕三十石ヲ福主黒田長政公モ山林ヲ福主黒田長政公モ山林ヲ寄附セラレ諸寺ノ規模ヲ定メ地方屈指ノ寺タルノ面目ヲ露セリ
開山堂
本堂
庫裡
玄関
本門
鐘楼
通夜堂
御堂
大師堂
札所觀音堂
西國第二十八番
札所ノ一ニシテ今ハ國内
觀世音ハ行基菩薩一刀三禮ノ作ニシテ利生殊ニ著シキ靈像ニシテ往古ヨリ豊歟若シクハ筑紫ノ領主ノ尊信厚ク殊ニ天正十五年豊臣秀吉公九州征伐ノ時ハ本尊ヲ奉シテ御陣中ニ在リ早ク凱陣ヲ祈願シ奉リシニ其ノ効驗アリシヲ以テ秀吉公ノ感賞浅カラス依テ御朱印ヲ賜ハリ寺領ヲ寄附セラレシ事等ハ古記錄ニ詳カニ記載アリ旧時ハ寺領モ中古ノ兵燹ニ罹リ殆ント廃滅ニ帰セントセシヲ慶長年間ニ至リ藩主黒田長政公ノ再興ニ係リ寺領ヲ寄附セラレシヲ以テ其ノ後ハ益々繁昌ニ赴キ現今ニ至リシモノナリ
陀山不燒寺ト號ス本尊馬頭觀世音ノ尊像ハ行基菩薩ノ作ニシテ利生殊ニ著シキ靈像ニシテ往古ヨリ豊歟若シクハ筑紫ノ領主ノ尊信厚ク殊ニ天正十五年豊臣秀吉公九州征伐ノ時ハ本尊ヲ奉シテ御陣中ニ在リ早ク凱陣ヲ祈願シ奉リシニ其ノ効驗アリシヲ以テ秀吉公ノ感賞浅カラス依テ御朱印ヲ賜ハリ寺領ヲ寄附セラレシ事等ハ古記錄ニ詳カニ記載アリ旧時ハ寺領モ中古ノ兵燹ニ罹リ殆ント廃滅ニ帰セントセシヲ慶長年間ニ至リ藩主黒田長政公ノ再興ニ係リ寺領ヲ寄附セラレシヲ以テ其ノ後ハ益々繁昌ニ赴キ現今ニ至リシモノナリ
建立ノ起源ハ東西ニ走ル中筋ノ道路ノ要衝ニ當リ且ツ山中ニ到ル迄ノ大樹モ山中ニ到ル迄ノ大樹モ
在セリ故ニ東西ノ旅人ハ勿論ノ事ニ山中ニ到ル迄ノ大樹モ
找望所得ハ勿論ノ事ニ山中ニ到ル迄ノ大樹モ
果シテ御止ミ則此所ヲ山中ニ到ル迄ノ大樹モ
裏ケ地形ノ儘一本堂再建ヲ目ノ當リ見ル事ヲ得ハ一本堂再建ヲ目ノ當リ見ル事ヲ得ハ
外ニ本堂ニ月ノ當リ見ル事ヲ得ハ一本堂再建ヲ目ノ當リ見ル事ヲ得ハ
四方ニ本堂ニ月ノ當リ見ル事ヲ得ハ一本堂再建ヲ目ノ當リ見ル事ヲ得ハ
大阪大成館銅版部

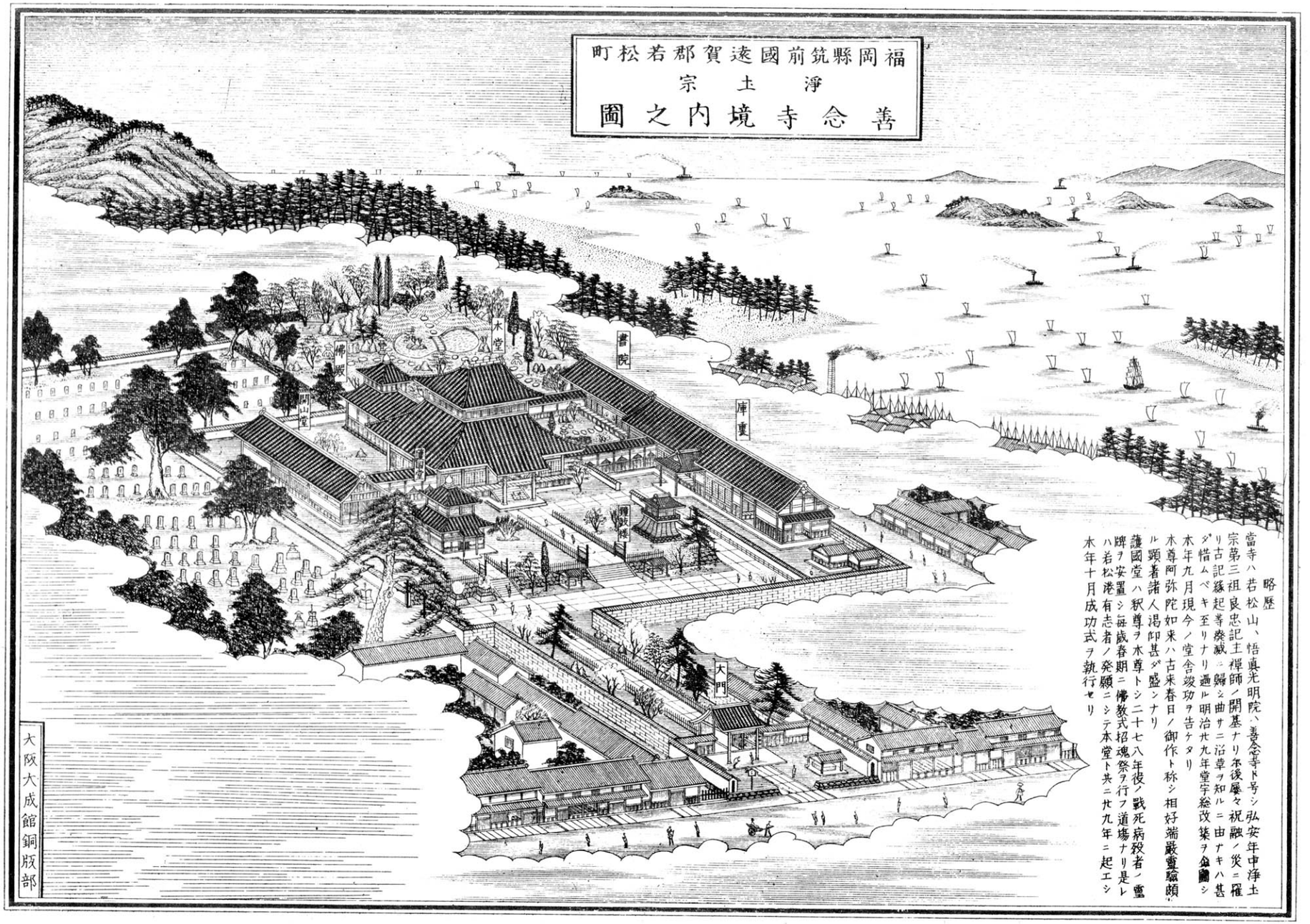

筑前國宗像郡
東郷村大字東郷
神道天理湖東支教會
西海出張所真景之圖
楊川山
孔大寺山
金山
嶽岳
本殿
教祖殿
地盤會祝
正講長室
副講長室
釣川
東郷橋
宗像社參詣路
東郷村
許斐岳
大阪大成館銅版部

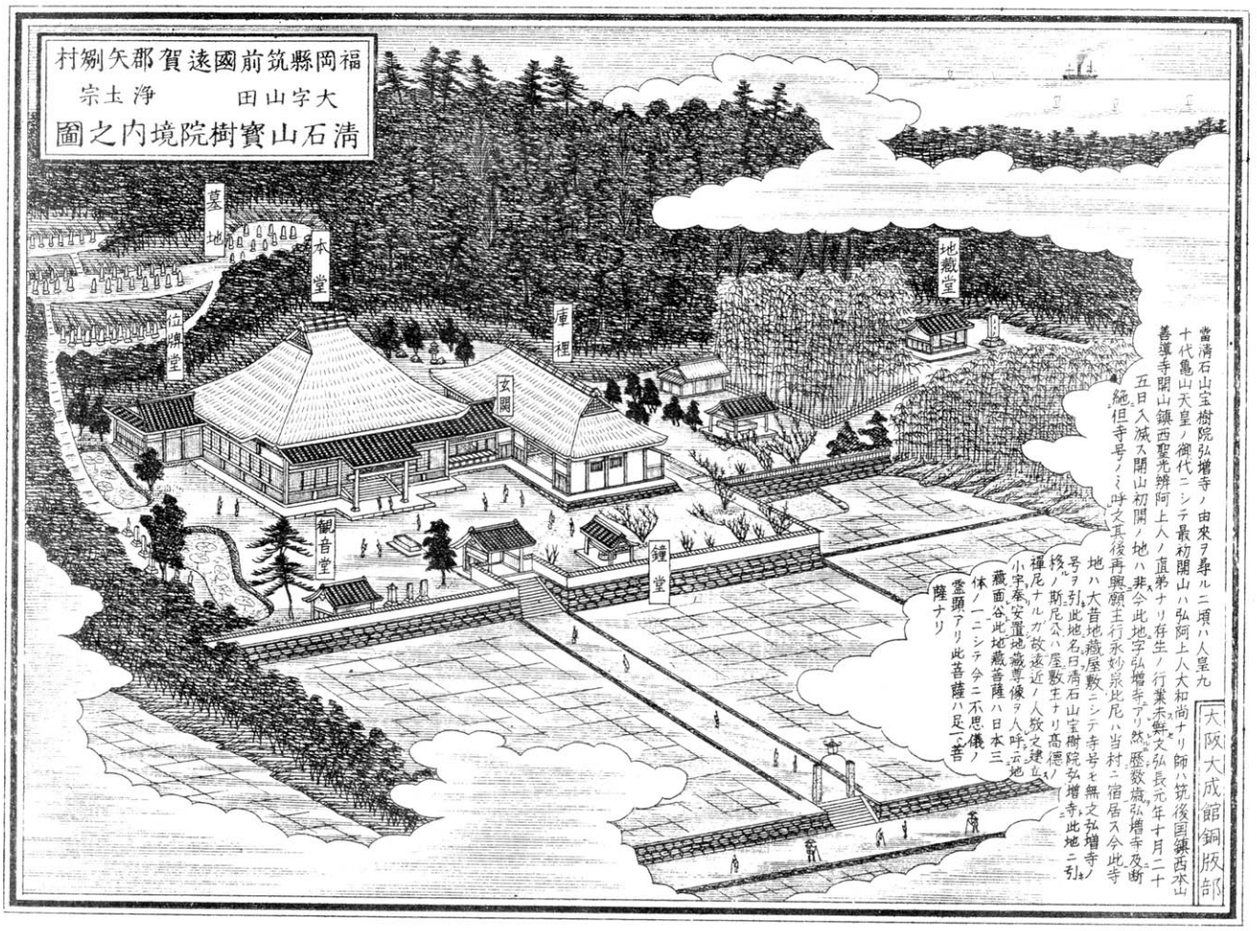

福岡縣筑前國遠賀郡矢矧村
大字高倉　鄉社
高倉神社境内之圖
高津峯
祝詞伊賀彦社
大国主社
住吉社
本社
神庫
神饌所
社務所
拝殿
神饌所
神饌所
神饌所

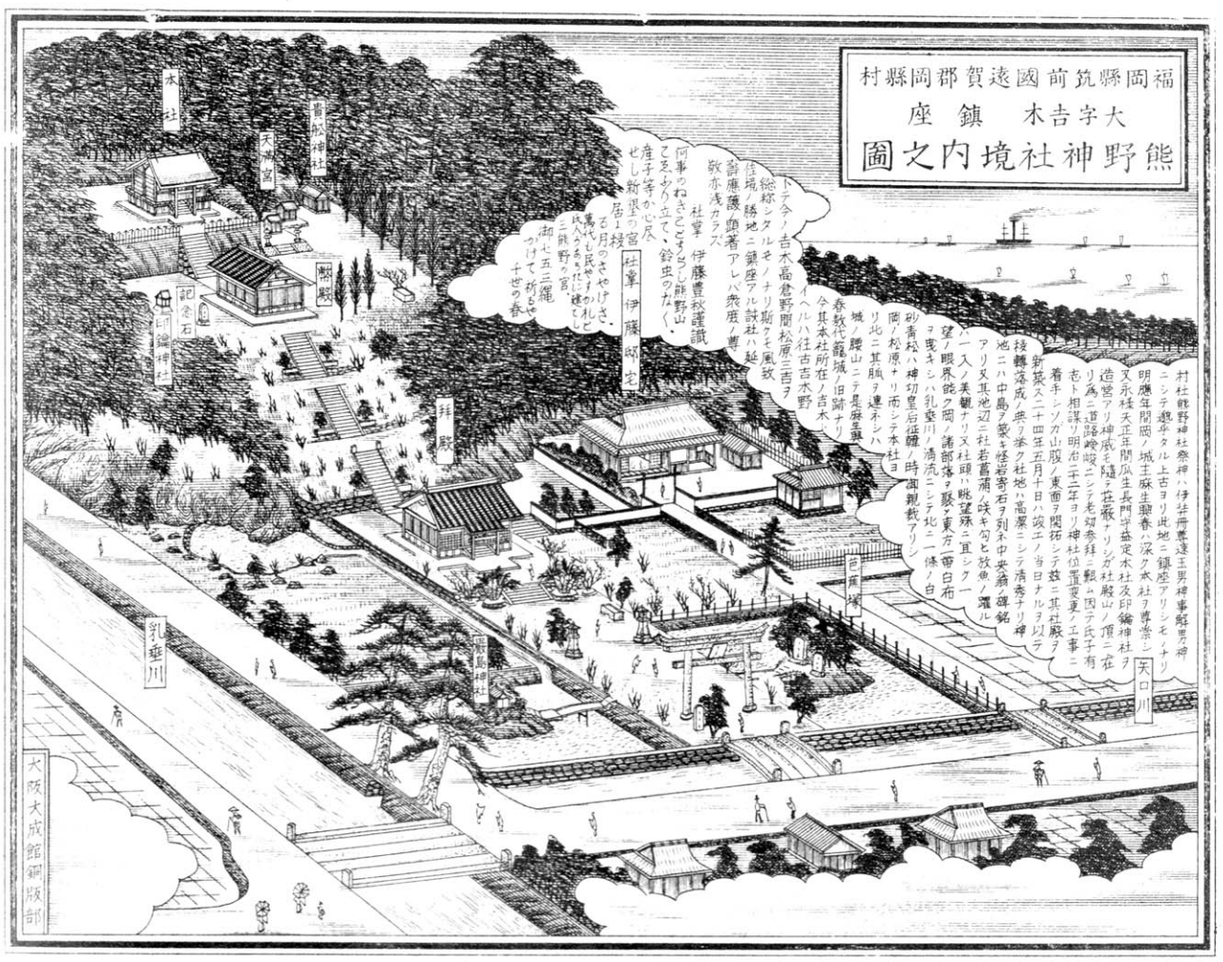

福岡縣筑前國遠賀郡矢矧村
大字高倉　曹洞宗
玉雲山龍昌寺境内之圖
黒田功臣井上周防墓
世代墓
開山堂
本堂
庫裡
本門
銅像馬沈門
石佛八十八ケ所
征清紀念鐘樓
経門
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國遠賀郡矢矧村
大字山田　村社
氏森神社境内之圖
本社
須賀神社
拝殿
稲荷神社
客殿
社務所
手洗所
小学校
大阪大成館銅版部

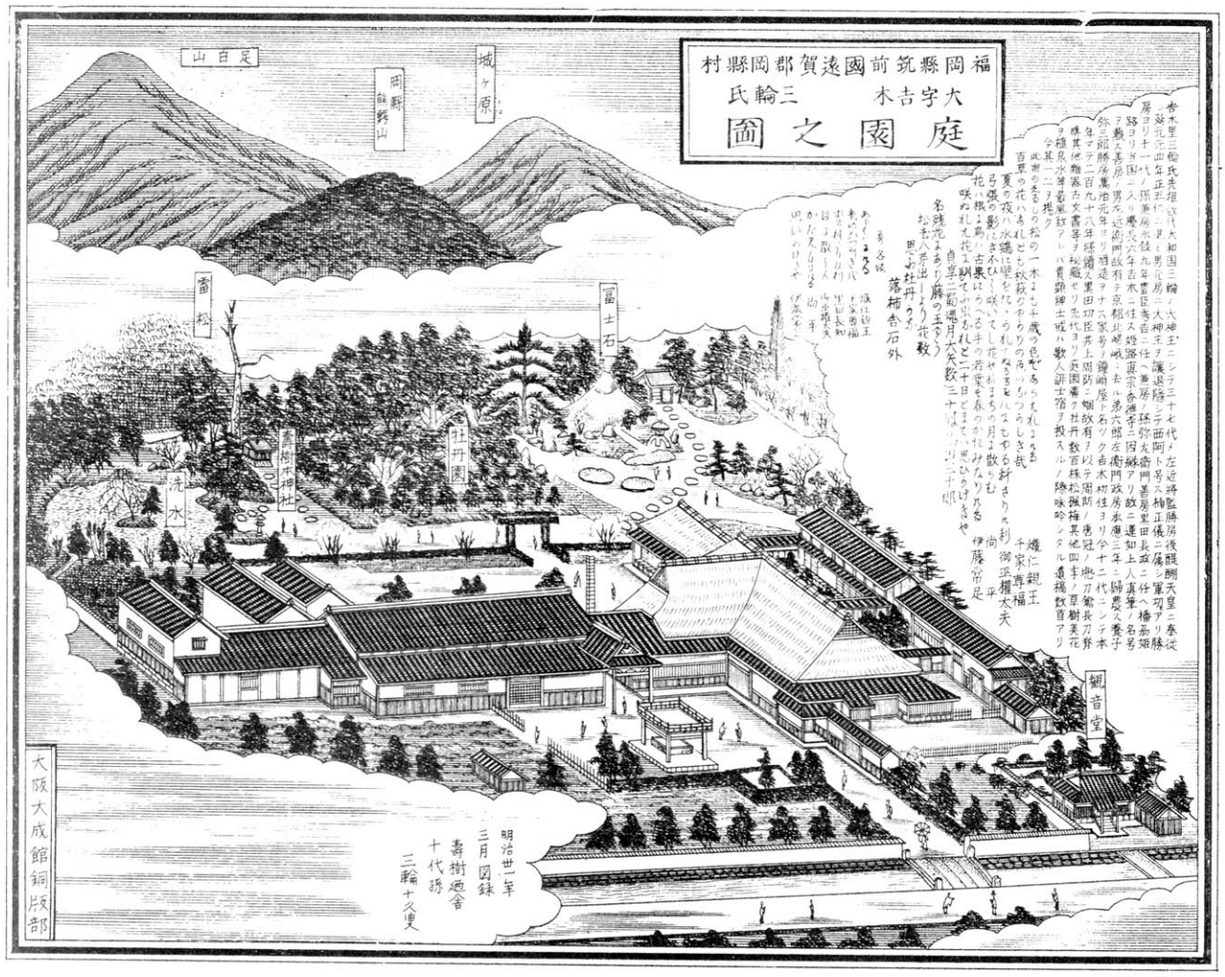

福岡縣筑前國遠賀郡若松町
惠比須神社
日吉神社
境内之圖
抑我若松町ニ鎮座在マス惠比須神社ハ事代主命ヲ奉祀スル所ニシテ今ヲ距ル千六百八十年ノ昔仲哀天皇及神功皇后筑紫ニ行幸シ玉ヒシ時勅ニ依リテ崇メ祭ラシメ玉ヒシ大神ニシテ爾後國家ヲ鎮守シ人民ヲ擁護シ玉フ其神德ノ灼々トシテ靈威ノ赫々タル今ニ至リテ衰ヘス衆庶ノ敬慕欽仰スルハ普ク世人ノ熟知スル所ナリ
惠比須神社大祭日
旧三月十一日ヨリ十五日迄
旧十月朔日ヨリ五日迄
日吉神社大祭日
旧九月廿日廿一日
稲荷社
日吉神社
多賀神社
住吉神社
幣拝殿
繪馬堂
惠比須神社
幣殿
拝殿
参籠舎
金毘羅社
八幡宮
靈石社
麻生神社
繪馬堂
手水場
公園
神臧伊萬郎
手水場
稲田彦神社
船魂神社
天満宮
浪華怪石寫
大阪大成館銅版部製

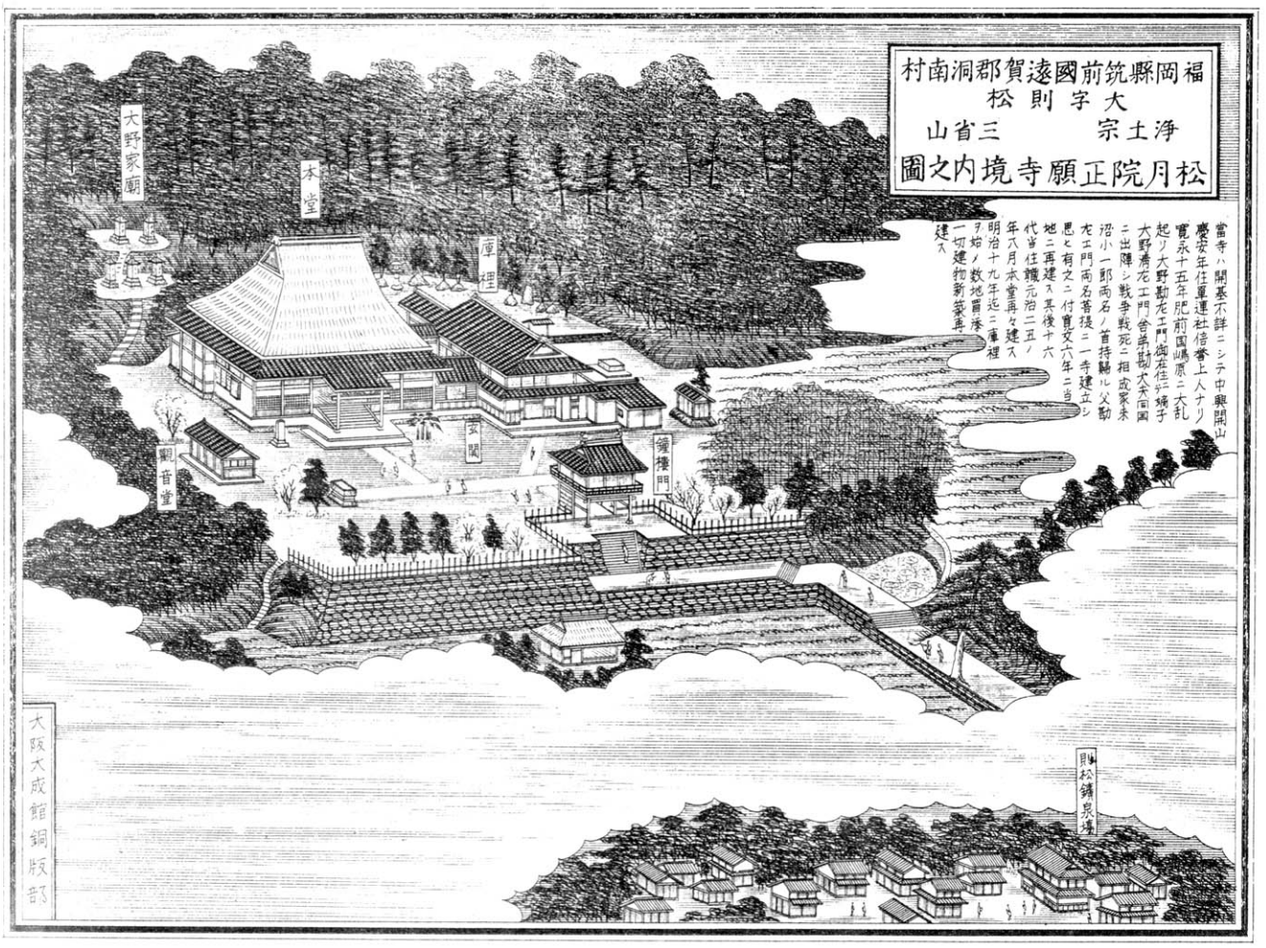

福岡縣筑前國遠賀郡若松町
淨土宗
善念寺境内之圖
本堂
書院
庫裏
佛殿
開山堂
鐘樓
大門
略歴
當寺ハ若松山、悟真光明院、善念寺ト号シ弘安年中淨土宗第三祖良忠記主禪師ノ開基ナリ本後屢々祝融ノ災ニ罹リ古記緣起等焼滅ニ歸シ曲サニ沿革ヲ知ルニ由ナキハ甚ダ惜ムベキ至リナリ過ル明治九年堂宇総改築ヲ企圖シ本年九月現今ノ堂舍竣功ヲ告ケタリ
本尊阿弥陀如来ハ古来春日ノ御作ト称シ相好端嚴靈驗顯ル顯著諸人渇仰甚ダ盛ンナリ
護國堂ハ釈尊ヲ本尊トシ二十七八年役ノ戰死病歿者ノ靈牌ヲ安置シ毎歳春期ニ佛教式招魂祭ヲ行フ道場ナリ是レハ若松港有志者ノ発願ニシテ本堂ト共ニ九年ニ起工シ本年十月成功式ヲ執行セリ
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國遠賀郡矢矧村
大字山田　浄土宗
清石山寶樹院境内之圖
墓地
本堂
地藏堂
庫裡
仁王門
玄關
觀音堂
鐘堂
當清石山宝樹院弘増寺ノ由來ヲ尋ルニ頃ハ人皇九十代龜山天皇ノ御代ニシテ最初開山ハ弘阿上人大和尚ナリ師ハ筑後国鎭西本山善導寺開山鎭西聖光辨阿上人ノ直弟ナリ存生ノ行業尊文弘長元年十月二十五日入滅入開山初開ノ地ハ非ス今此地字弘増寺アリ然歴数遠弘増寺及断絶但寺号ノミ呼之其後再興願主行永妙泉比尼ハ当村ニ宿居入今此寺地ハ大昔地藏屋敷ニシテ寺号ヲ無之弘増寺ヲ引号ヲ引此地名曰清石山宝樹院弘増寺此地ニ引移ノ斯尼公ハ屋敷主ナリ高徳ノ禪尼ナルガ故遠近ノ人敬之建立小宇奉安置地藏尊像ヲ人呼云地藏面谷此地藏菩薩ハ日本三体ノ一ニシテ今ニ不思儀ノ霊顯アリ此菩薩ハ足一菩薩ナリ
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國遠賀郡岡縣村
大字吉木　鎭座
熊野神社境内之圖
本社
天神宮
記念石
神輿
拝殿
社掌伊藤時宅
乳垂川
村社熊野神社祭神ハ伊弉冊尊速玉男神事解男神ニシテ鎭座ハ古ヨリ此地ニ鎭座アリシモナリ明應年間岡ノ城主麻生駿春ハ深ク本社ヲ尊崇シ又永禄元正年間弘生長門守益定本社及印鑄神社ヲ造營アリ神威ヲ隨ヒ在城ナリシガ社殿ノ頂ニ在リ為ニ道路峻ニシテ老翁参詣ニ艱ム因テ氏子有志ト相謀リ明治二十年ヨリ神社位置遷東ノ工事ニ着手シガ山腹ノ東面ヲ開拓シテ茲ニ其社殿ヲ新築スニ十四年五月十日ハ竣工ノ当日ナルヲ以テ持轎落成ノ典ヲ挙ク社地高屋ニシテ清奇ナリ神地ニハ中島アリ巌ヲ怪岩奇石ヲ列ネ中央ニ霊鏡ヲ安アリ又其池辺ニ杜若菖蒲ノ咲キ匂ヒ放魚ノ躍ルヲ一入ノ美観ナリ又社頭ハ眺望殊ニ宜シク一望ノ眼界能ク岡ノ諸部落ヲ殿ノ東方一帯白布ヲ曳キシハ乳垂川ノ清流ニシテ北ニ一條ノ白砂青松ハ神切皇后征韓ノ時御載アリシ岡ノ松原ナリ而シテ本社ヨリ北ニ其脈ヲ連ネシハ城ノ腰山ニテ是麻生殿春秋代籠城ノ旧蹟ナリ今其本社所在ノ吉木ハ往古水野ノ一村ナリシト云フ
下テ今ノ吉木高倉野間松原ニ吉ヲ総称シタルモノナリ斯クモ風致佳境ノ場地ニ鎭座アル訳社ハ延喜應讃顯著アレバ衆庶ノ尊敬亦浅カラズ
社掌　伊藤豊秋謹識
何事のねさごとすらし師野山
こえ初りて、鈴虫のなき
唐子等の心尽
せし新墨の宮
居1枝
弓月のさやけさ、
萬し民やすかれと
時人かみを代に建し
二龍野の宮
御七五三縄
つけて祈らや
千世の春
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國遠賀郡芦屋湊
鎮座
岡湊神社境内之圖
權現堂山
山鹿村
山鹿岬
洞山
遠賀川
芦屋港
御旅所
林田郷宅
社務所
神輿庫
手洗所
拝殿
本社
神ノ松原
VIEW OF OKANOMINATO-SINSHA,
ASHIYA,ONGA-GORI
FUKUOKA-KEN
JAPAN.
大阪大成館銅版部

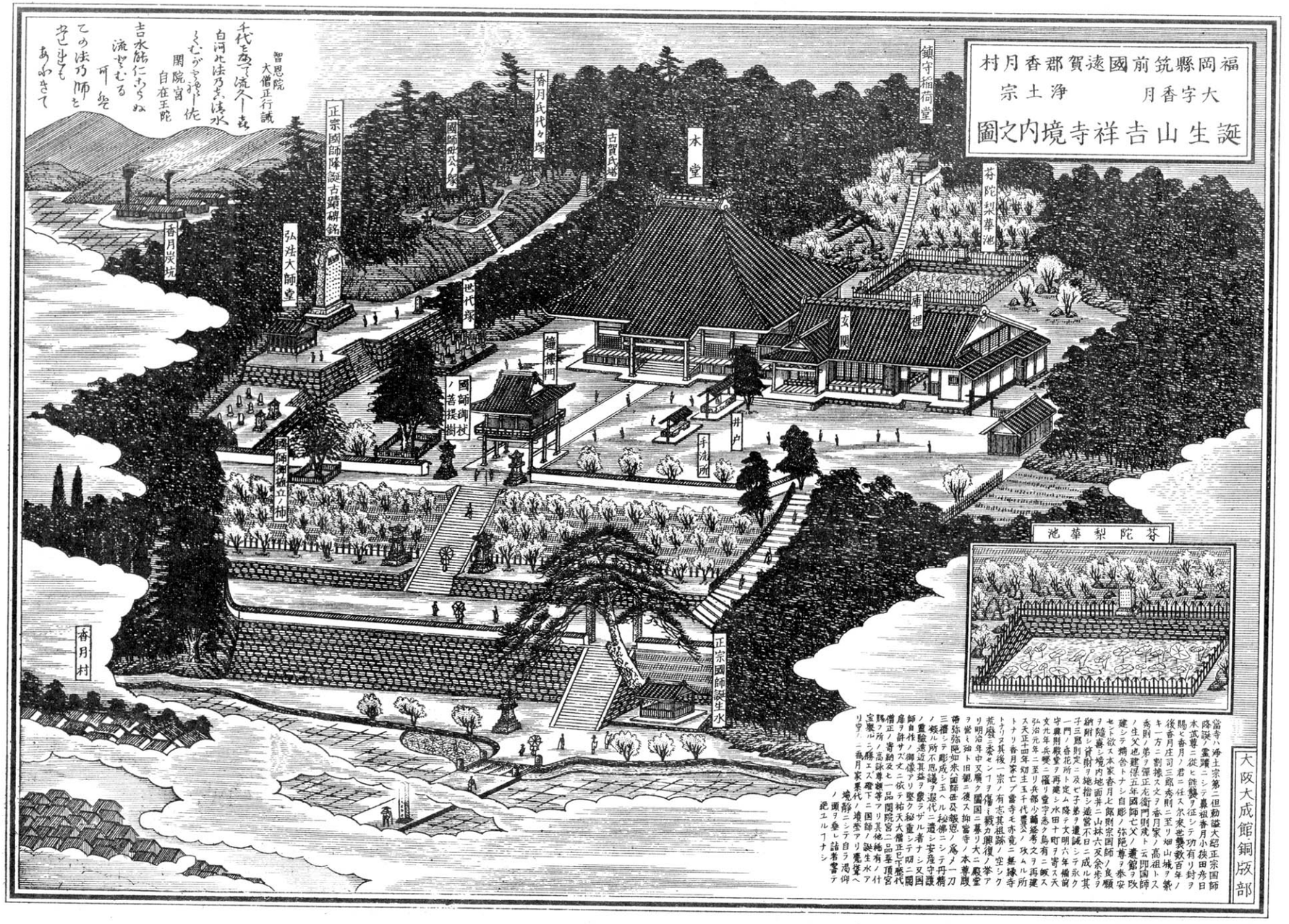

福岡縣筑前國遠賀郡岡縣村
大字吉木　三輪氏
庭園之圖
足百山
城ヶ原
岡縣縣山
富士石
牡丹園
流水
觀音堂
明治廿一年
三月図録
壽樹廼舎
十代琢
三輪十久男
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國遠賀郡洞南村
大字則松
浄土宗　三省山
松月院正願寺境内之圖
大野家廟
本堂
庫裡
玄関
鐘樓門
観音堂
鯛松鑄泉場
大阪大成館銅版部



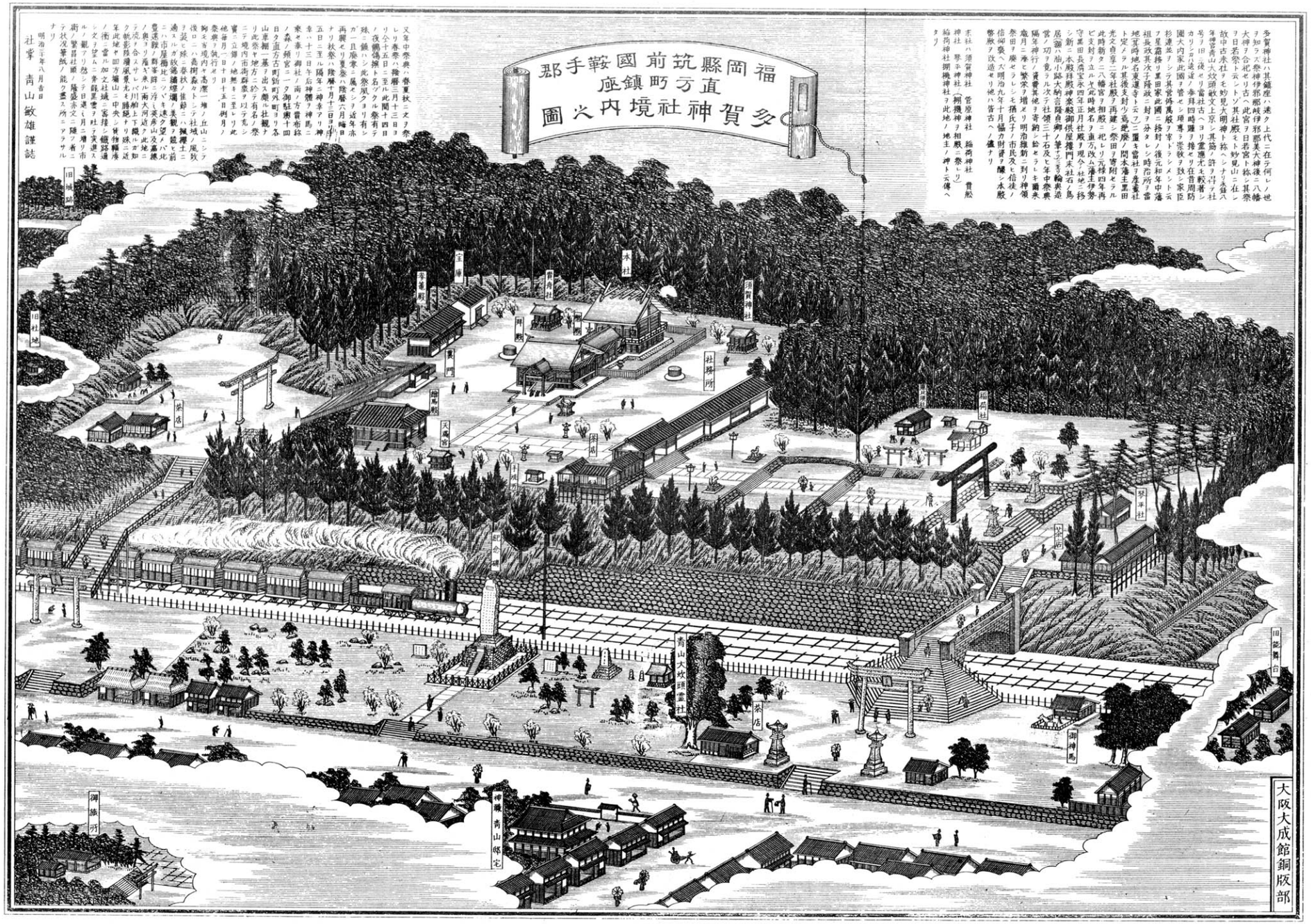
鄉社狩尾大明神ハ嶋鄉十八ヶ村ノ惣社ニシテ祭ル所ノ神三座中殿大己貴命右殿國常立命左殿天兒屋根命天手力雄命三座四神ノ署ナリ播風土記曰筑前国遠賀郡山鹿岬狩尾大神者嶋鄉十八ヶ村ノ総社ニ而云々早鞆記曰同郡山鹿庄狩尾大神者嶋鄉二十ヶ村総社氏神ト云々仰當社創立ノ事ハ古代ノ社記紛失シテタシカナラストイヘトモ当初イマダ石清水ニ八幡宮ノ勧請ナカリシ時ニ彼石清水ノ地主神狩尾大明神ヲ此処ニ勧請シテ祝ヒ奉ルトイヘハソノ始久シキ事ナルベシ此御神等ハナヘテ神代ノ名神ニシテ萬世不変ノ霊徳オハシマセハ何事カ此神ノ誓ニ洩侍ランヤ御社ヨリ南ニ山鹿城ノ古址在リ壽永ノ昔此城ニ山鹿兵藤次秀遠ト云者アリ武威ヲ近国ニ震シカバ安徳帝モ彼ヲ頼ミ數ケ此処ニオハシマシキ世ヲ經テ此城ニ麻生氏数代住セシカ漸ク大神ヲ尊ミ社殿ノ營造ニ及ケノ神田ヲ寄附シ奉シ事弘治四年ノ棟札ニテ知ラレタリ又当社ノ祠官ハ往古ヨリ波多野氏世襲ニ来リ大永年間ノ古文書大府宣等数通アリ今尚其子孫波多野王彦社司ノ職ニ在リ

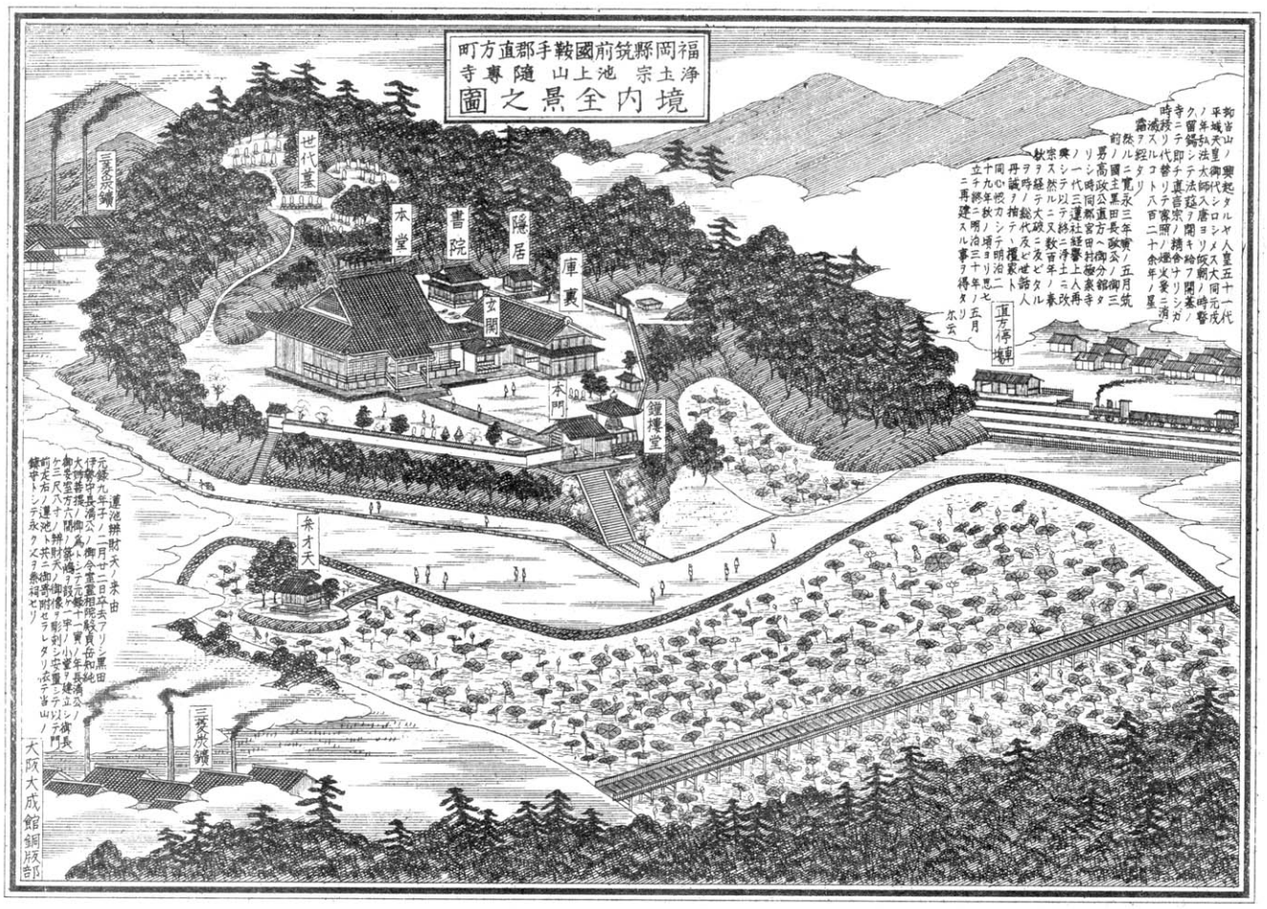
明治三十年六月

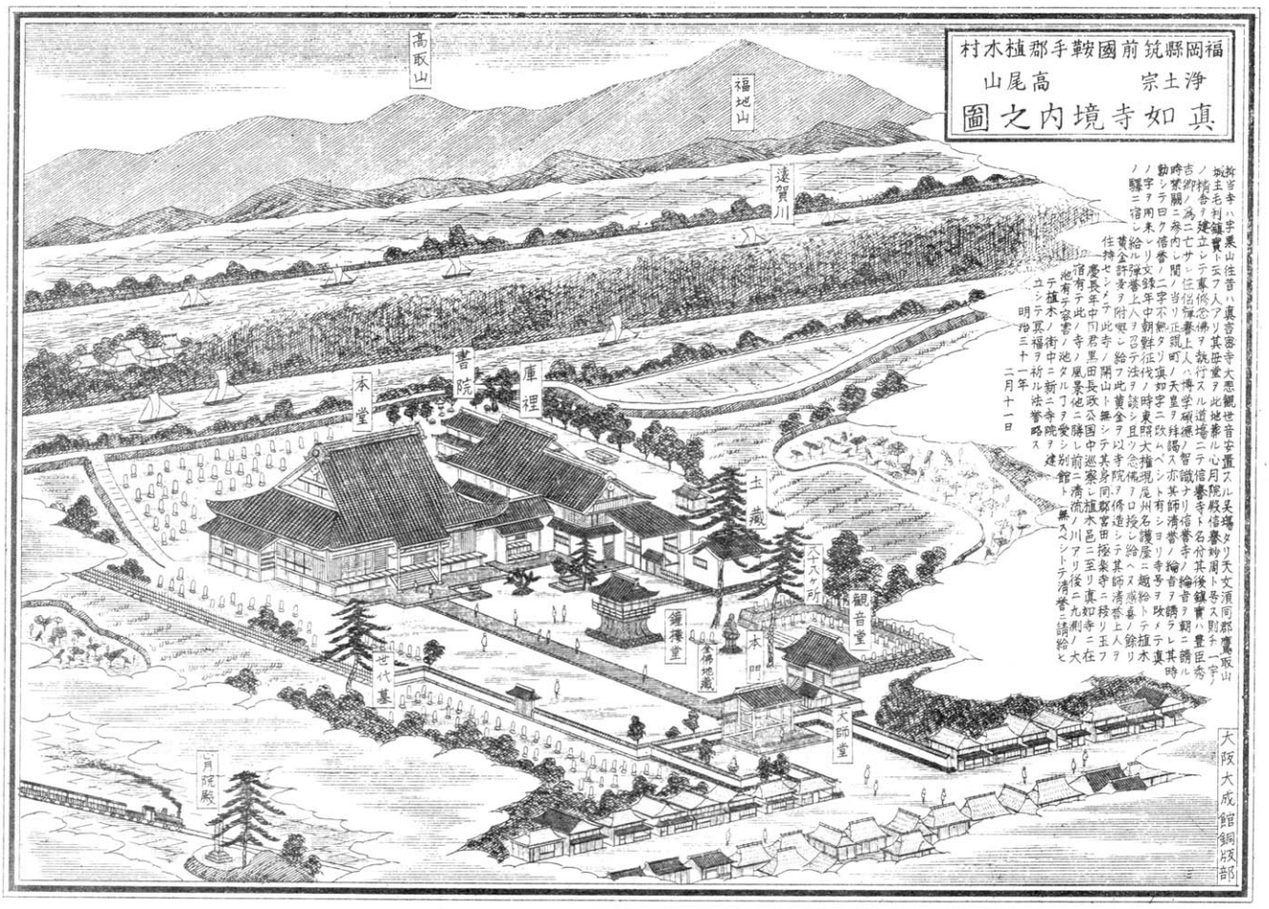


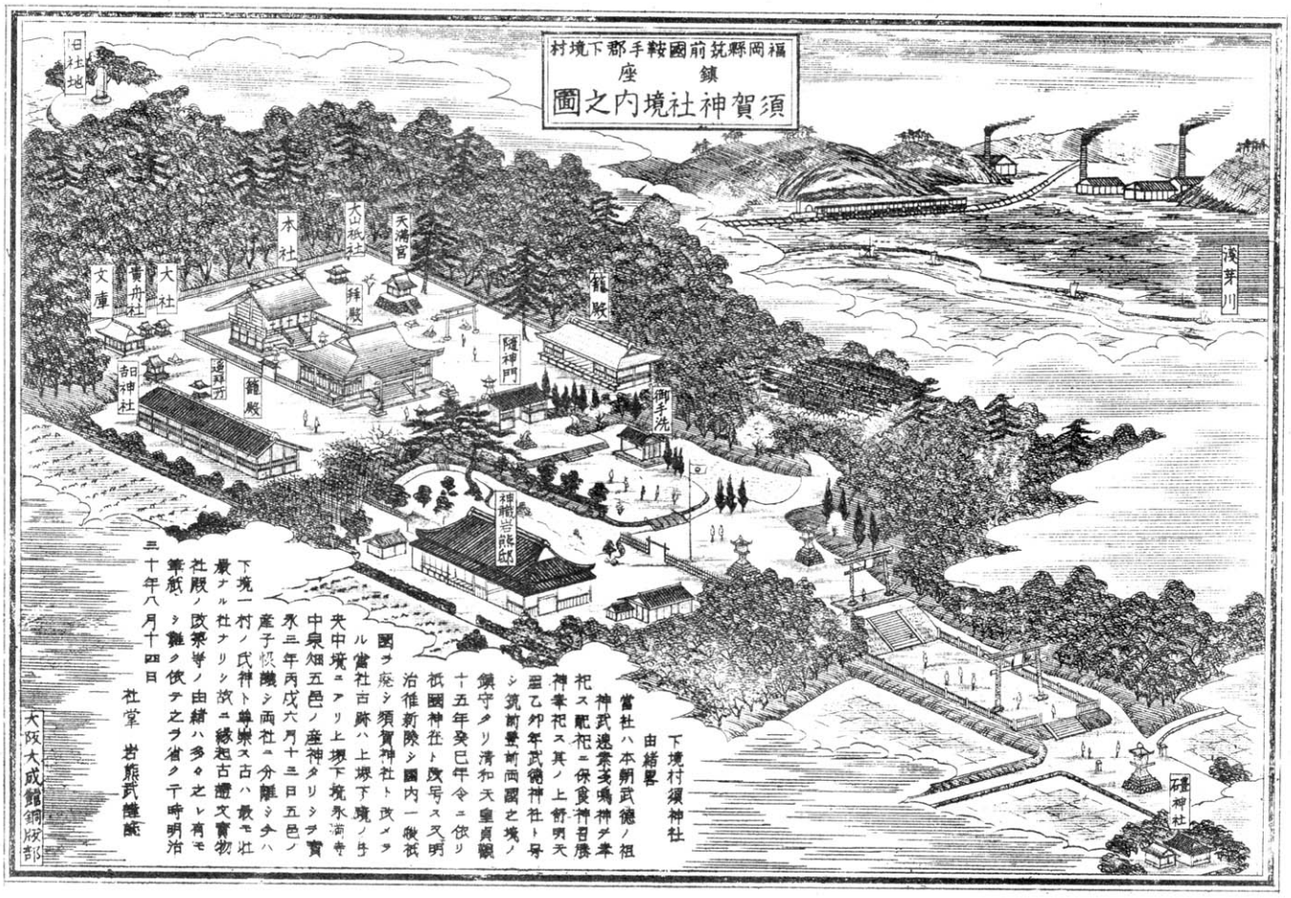
當寺ハ淨土宗第二祖勅謚大昭正宗國師降誕靈蹟ニシテ鼻祖香月小狭田彦日本武尊ニ從ヒ錵夷ヲ征シテ功有リ封ヲ賜ヒ香月ノ君ニ任ス爾來世襲數百年ノ後香月庄司三郎秀財ニ至リ畑山城ノ築キ一方ニ割據文ヲ香月家ノ高祖トス秀則ノ第ヲ彌正左衛門尉廣元ト云即國師ノ生父也建保五國師亡父ノ遺領ヲ改建シテ精舎トナシ自彫ノ弥陀尊ヲ奉安セリ依テ本家香月ヒ郎宗國師ノ良願ヲ隨喜シ境内地面并ニ山林六反余ヲ納附シ資附ヲ地指シ遙當不日ニ成ル其子三郎則定ニ及ビ子孫ヲ遺誡シテ永ク一門ノ香花所ト定ム降テ文明六年檀前守護開駿堂ヲ再建シ水田ヲ寄ス天文九年兵燹ニ罹リ堂宇悉ク烏有ニ帰ス弘治元年ニ至リ兵部少輔経考之ヲ再建ス天正四年知玉千代豊久ノ攻ム所トナリ香月家亡ビ當寺モ亦竟ニ無縁寺荒廃ニ委セシヲ僅ニ殿カ脚復ノ挙アリ明治年中又廢ク國国ニ幕リ大ニ殿堂ヲ巡ミ独ト旧觀ニ復ス抑當寺ノ本尊殿帯弥陀如来國師在ス最愛ノ為メ一刀三禮シテ彫成シ玉ヘル秘佛ニシテ丹精ノ靈験遠近其益ヲ蒙ラザル者ナシ又國師自作ノ御像アリ堅ク秘重シテ開ニ開扉ヲ許サズ之ニ依テ祐天大僧正モ慕代僧正ノ寄納及ヒ一品閑院宮ニ品華頂宮歴代ノ所ノ高詠尊翰等ヲリ其他納有ノ什宝聚ルニ勝エズ尚下ニ国師ノ誕生水アリ字ケ二番月家累代ノ墳墓アリ遙拝ニシテ自ラ渇仰ノ頭ヲ垂レ詣者雷ケ絶エルコトナシ

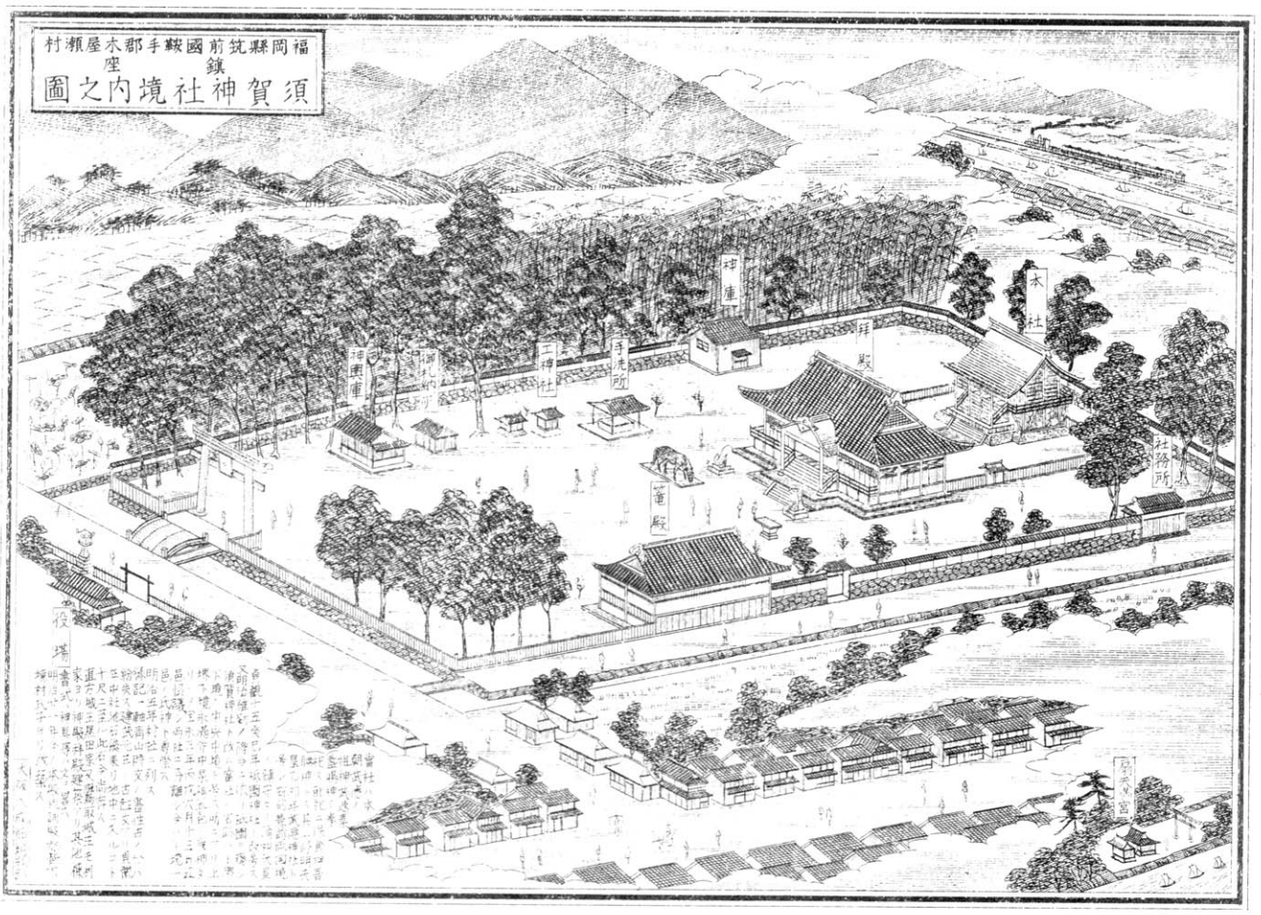
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國鞍手郡
直方町鎮座
多賀神社境内之圖
大阪大成館銅版部

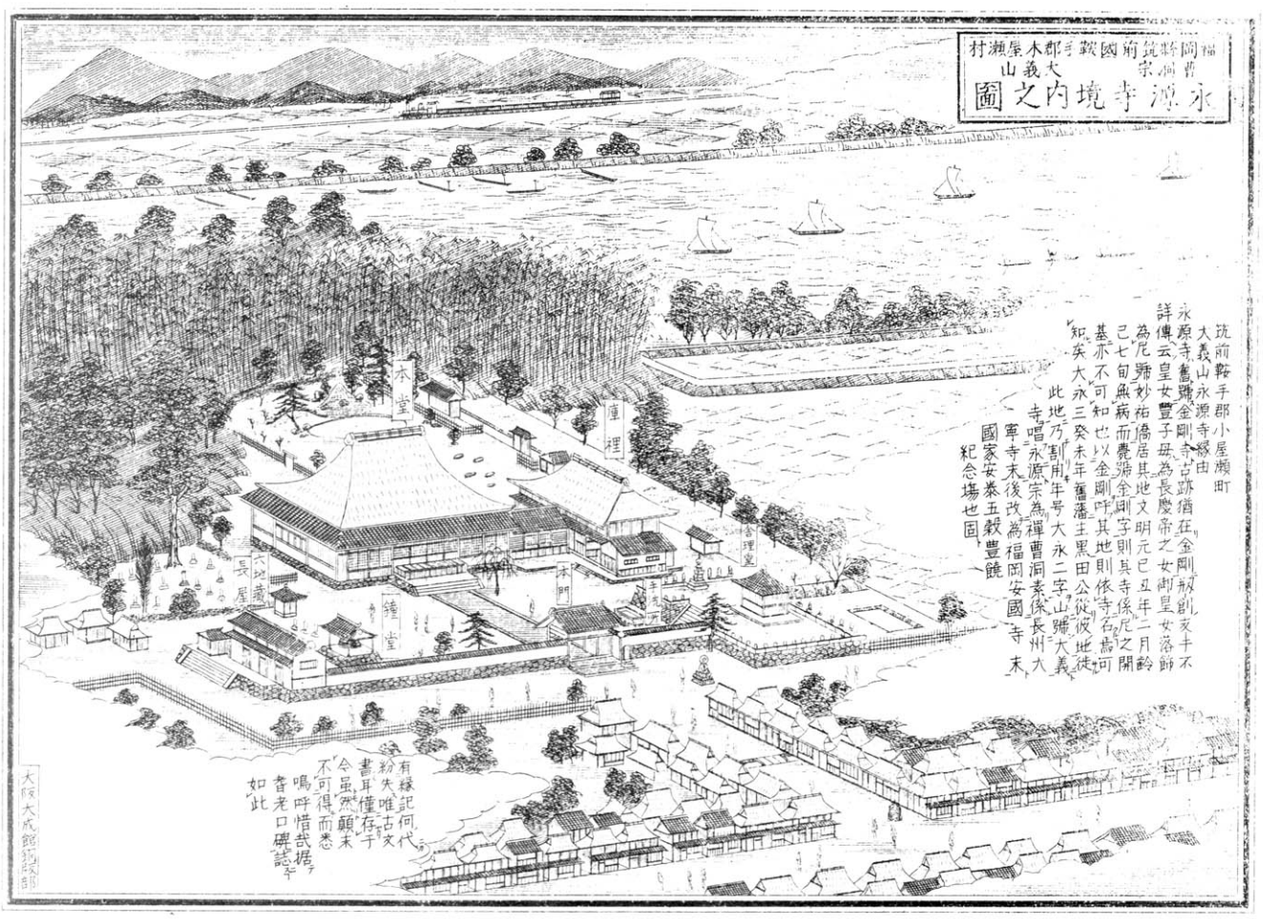

福岡縣筑前國鞍手郡直方町
淨土宗 池上山 隨專寺
境内全景之圖
世代墓
三菱炭鑛
本堂
書院
隱居
庫裏
玄關
本門
鐘樓堂
弁才天
三菱炭鑛
大阪大成館銅版部

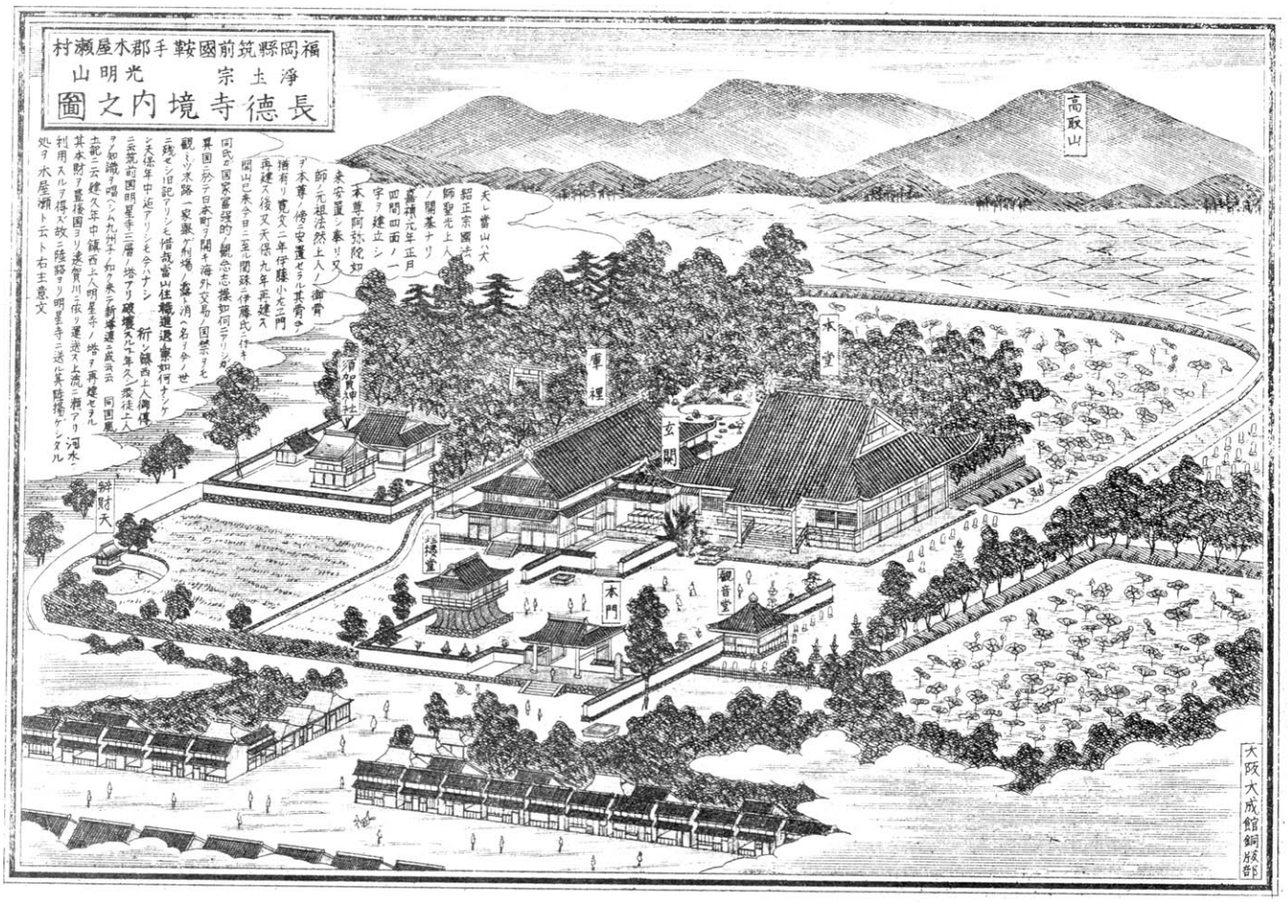

福岡縣筑前國鞍手郡植木村
淨土宗 高尾山
真如寺境内之圖
高取山
福地山
遠賀川
書院
庫裡
本堂
土藏
觀音堂
鐘樓堂
本門
大師堂
月讀殿
大阪大成館銅版部

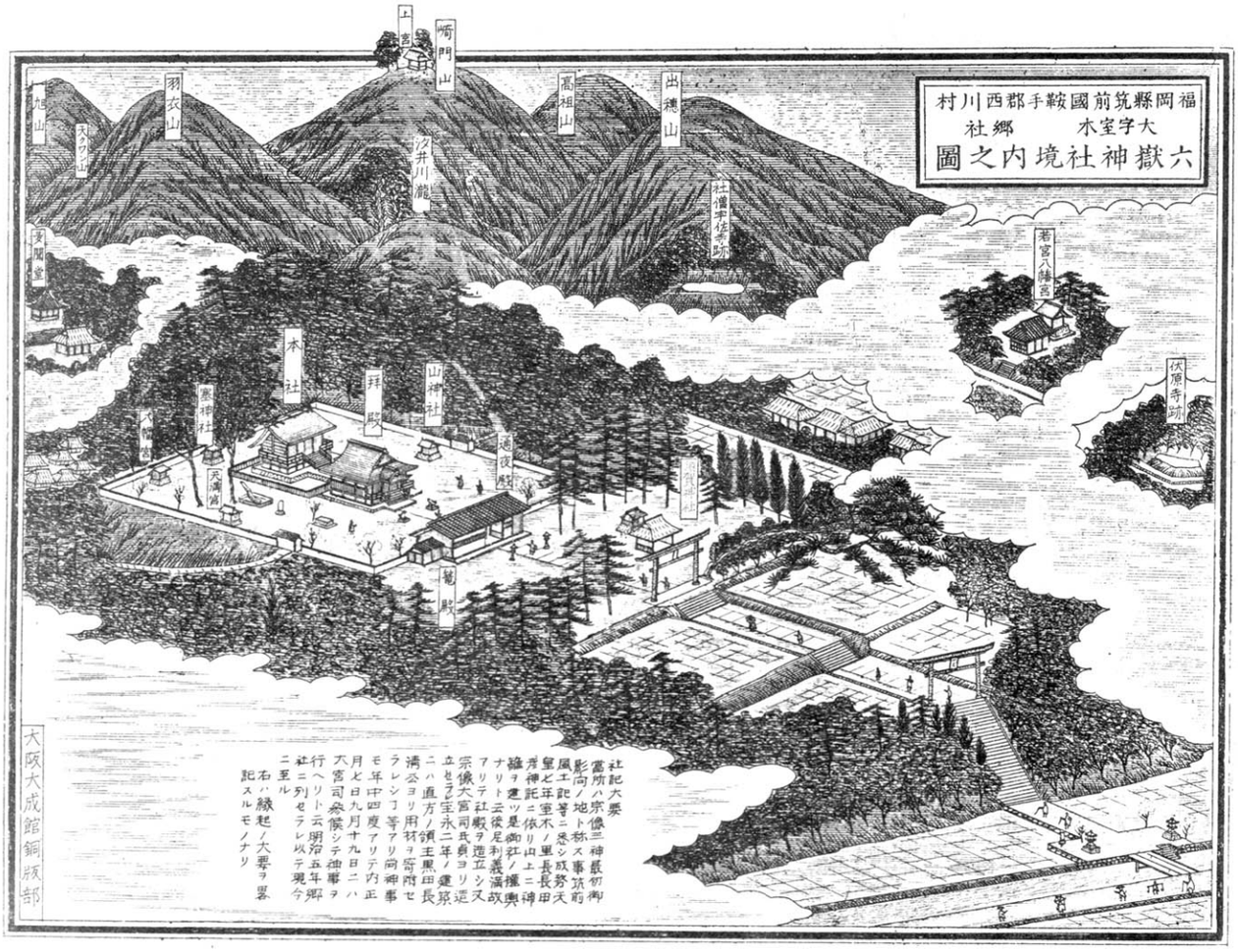

福岡縣筑前國鞍手郡下境村
鎮座
須賀神社境内之圖
日社地
大山祇社
天滿宮
本社
拜殿
大社
書舟社
文庫
日神社
遙拜所
籠殿
隨神門
籠殿
御手洗
神饌岩飛鳥
淺茅川
神社
下境村須神社
由緒畧
當社ハ本朝武德ノ祖
神武遠祖玉鳴神ヲ奉
祀ス配祀ニ保食神日像
神等祀ス其ノ上舒明天
皇乙卯年武德神社ト号
シ筑前豐前兩國之境ノ
鎮守タリ清和天皇貞觀
十五年癸巳年令ニ依リ
祇國神社ト改号ス又明
治維新際シ國内一般祇
國ヲ廢シ須賀神社ト改メ
タル當社古跡ハ上堺下境ノ
内共中境ニアリ上堺下境永滿寺
中泉畑五邑ノ産神タリシヲ寶
永三年丙戌六月十三日五邑ノ
産子奴隷シ而社ニ分離シ今ハ
下境一村ノ氏神ト尊崇ス古ハ數モ社
最ナル社ナリシ故ニ緣起古證文寶物
社殿ノ改築等ノ由緒ハ多々之レ有モ
筆紙ニ難ク依テ之ヲ省ク于時明治
三十年八月十二日
社掌 岩熊武雄識
大阪大成館銅版部

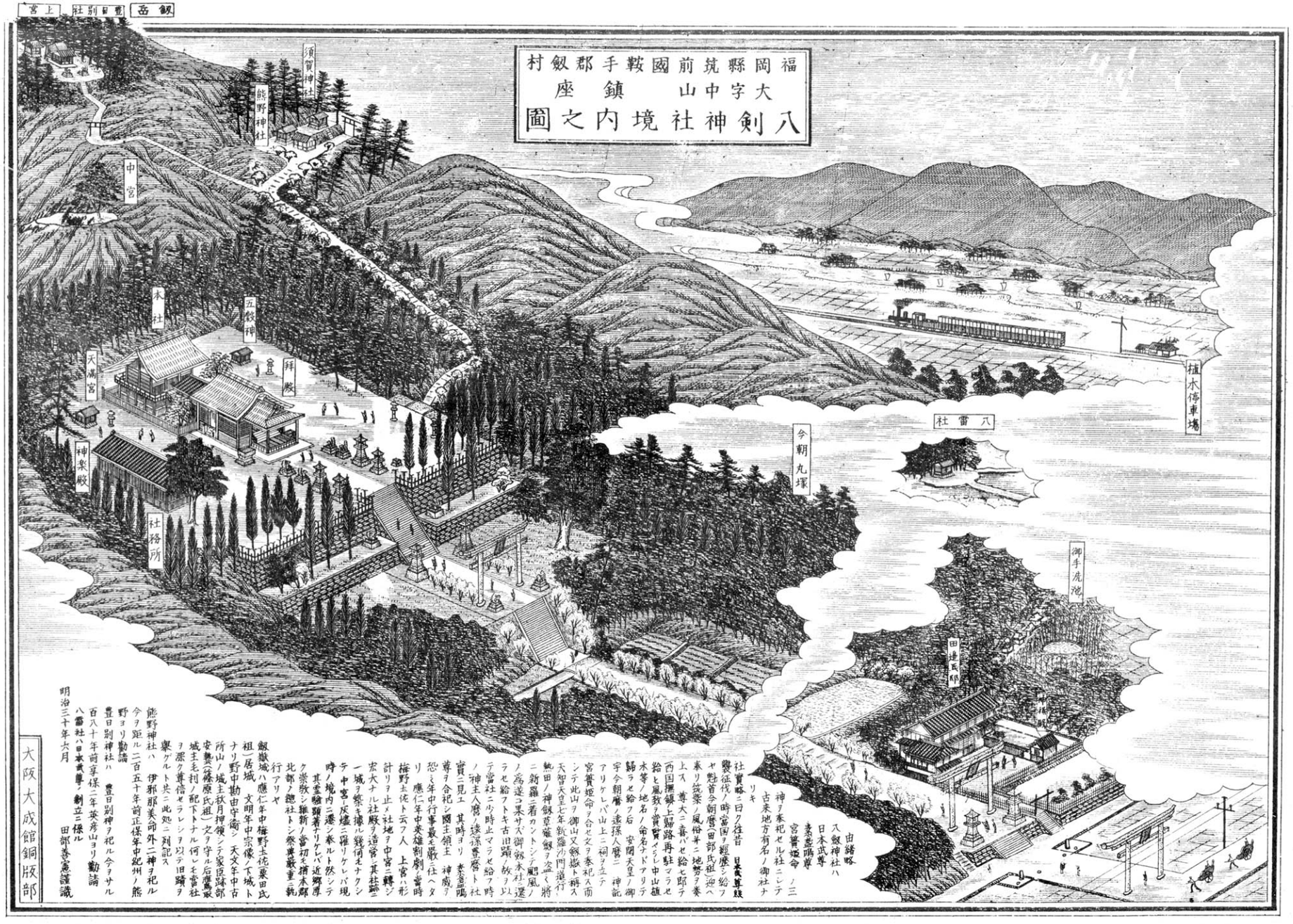

福岡縣筑前國鞍手郡木屋瀬村
鎮座
須賀神社境内之圖
神庫
本社
拜殿
神輿庫
手水所
一神社
社務所
一重殿
役場

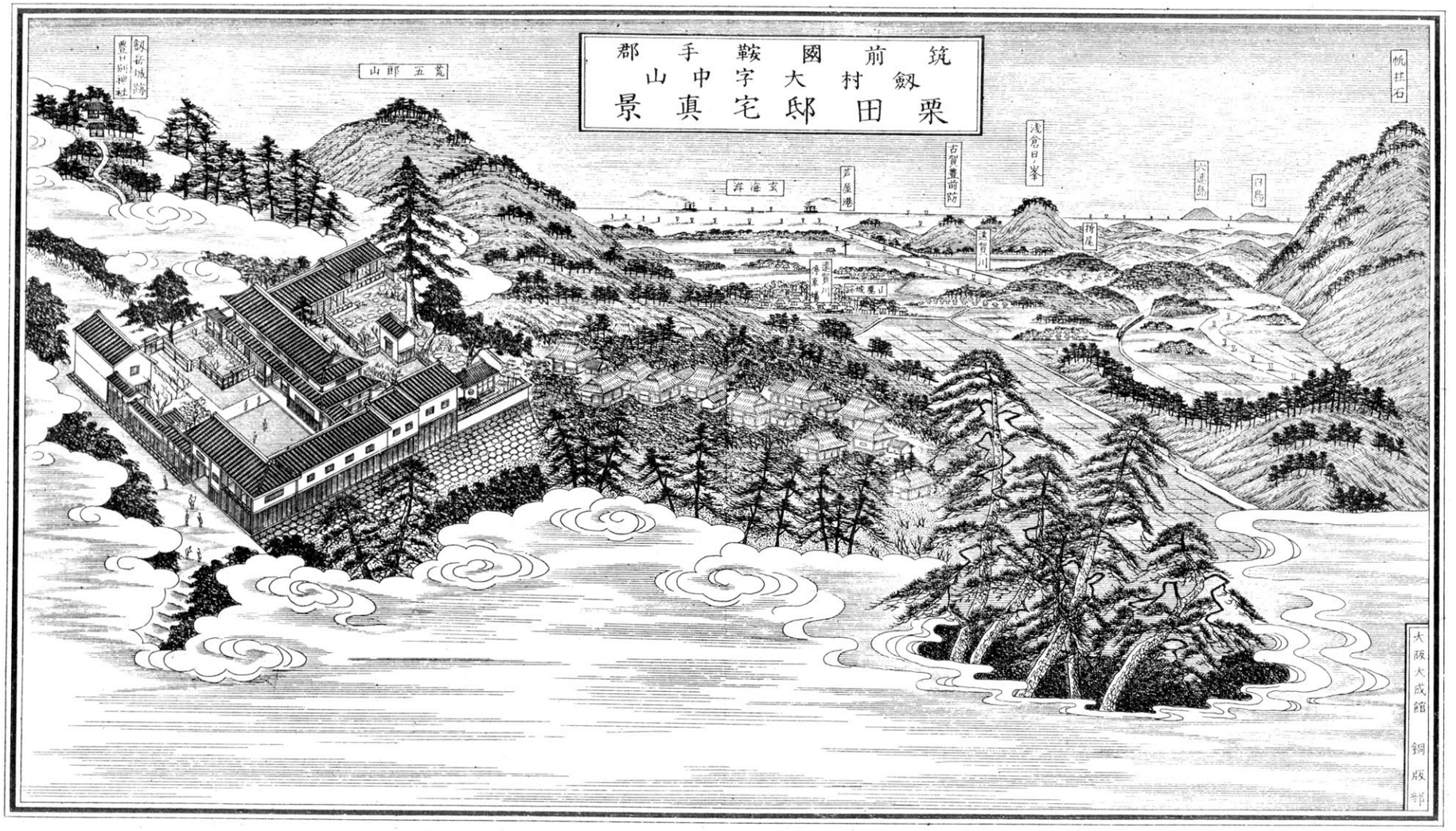

福岡縣筑前國鞍手郡
木屋瀬村大字野面
鎮座
八所神社境内之畧圖
本社
宝蔵
御手洗
石神
三田橋
大濱宮

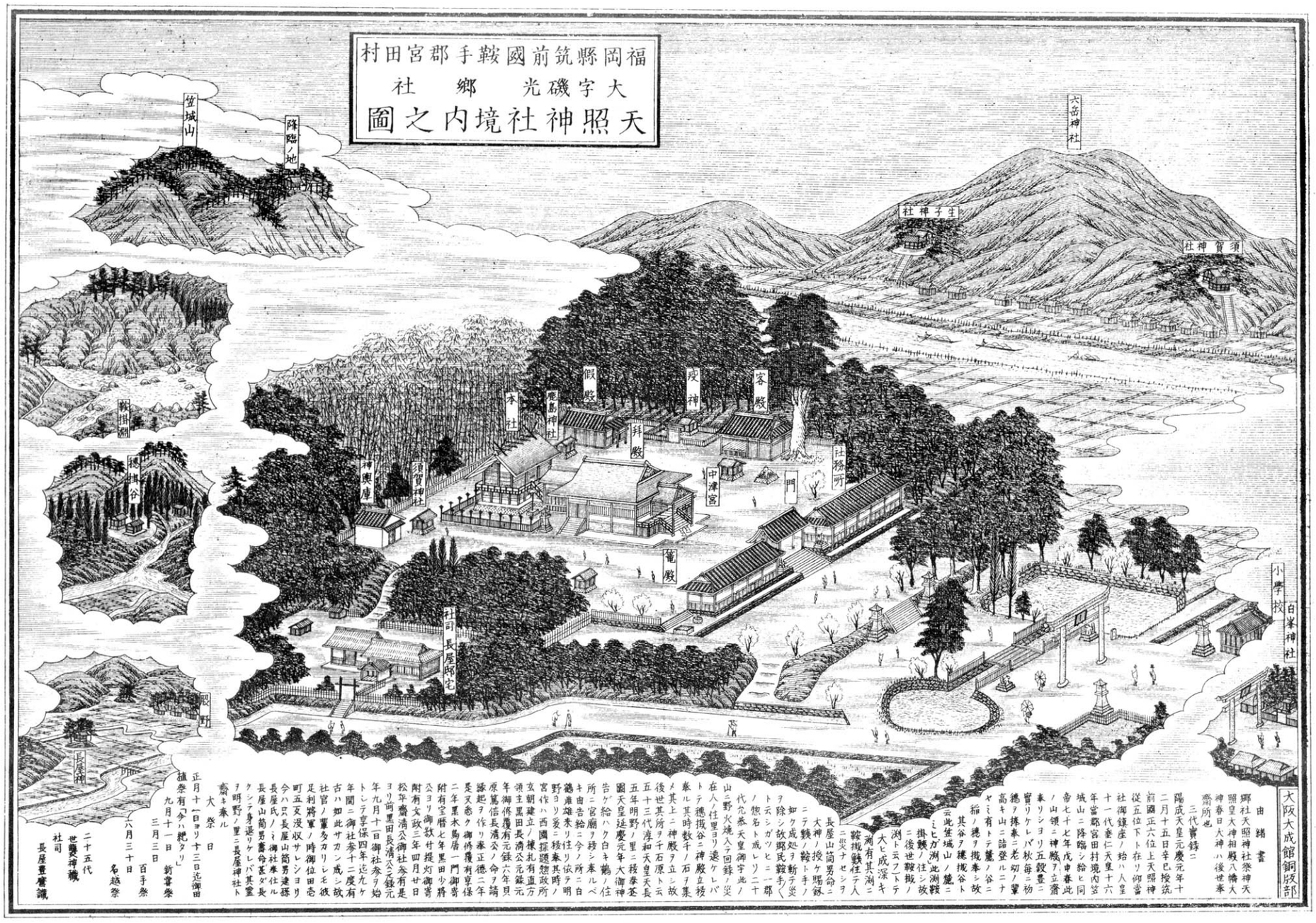

福岡縣筑前國鞍手郡大木屋瀬村大字山
永源寺境内之圖
本堂
庫裡
本門
鐘堂
長屋


福岡縣筑前國鞍手郡木屋瀬村
浄土宗　光明山
長徳寺境内之圖
高取山
車寄
本堂
玄関
鐘楼堂
観音堂
本門
祠財天
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國鞍手郡西川村
大字室本　鄉社
六嶽神社境内之圖
楼門
上宮
出穂山
高相山
羽衣山
九山
汐井川龍
社僧宿坊跡
若宮八幡宮
伏原寺跡
本社
拝殿
山神社
神楽殿
鐘楼
大鳥居
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國鞍手郡敏村
大字中山　鎮座
八劍神社境内之圖
上宮
別日豊社
西
須賀神社
熊野神社
中宮
末社
五柱神
拜殿
天満宮
神楽殿
社務所
植水停車場
八雷社
今朝丸塚
御手洗池
田連氏邸
神饌殿
由緒略
八劍神社ハ
日本武尊
素盞嗚尊
宮簀姫命　ノ三
神ヲ奉祀セル社ニシテ
古来地方有名ノ御社ナリキ
社實略ニ曰ク往昔 日本武尊熊襲征伐ノ時當国ヲ經歴シ給フヤ黙首今朝雪田部氏祖神ヘ奉リ筑紫ノ風俗并ニ地勢ヲ奏上ス 尊大ニ喜バセ給セ郎テ西国撫鎮上歸路再駐マラセ給ヒ風教ヲ賞賛イラレ中山植水等ノ地名ノ命名ナドアリテ歸ラセ給フ后 安閑天皇ノ御宇今朝雪ノ遠孫人雪ニ神託アリケレバ山上ニ祠ヲ立テ宮實姫命ヲ合セ之ヲ奉祀入而シテ此山ヲ御山又劍塚ト稱ス
天智天皇七年新羅沙門道行
執田ノ神劍草薙劍ヲ盗ミ將ニ新羅ニ着カントシテ颶風ノ爲遂ニ果サズ御剱末社ニ還テ給フトキ古田踊ノ故ヲ以テ當社ニ少時止マラセ給フ時ノ神主人雪ノ遠孫雪腐ト社實ニ見エ 其時ヨリ 素盞嗚尊ヲ合祀シ國主領主 神威ヲ恐ミ年中行事最モ嚴三社ヘタリ應仁年中英雄制劇ノ雪時梅野主統ト云フ人 上宮ハ形計リヲ止メ社地ヲ中宮ニ轉ジ宏大ナル社殿ヲ造営 其社跡ニ一城ヲ築キ櫓ヲ擁ル幾何ナクシテ中宮灰燼ニ罹リケレバ現時ノ境内ニ遷シ奉ルト然シテ其霊驗顯著ナリケレバ近郷厚ク崇敬シ維新ノ當初ヲ慣本郡北部ノ總社トシ祭典最重ニ執行アリヤ
敏歳城ハ應仁年中梅野主統裏田氏祖一居城 文明年中宗像ノ下城トナリ野中勘由守徳ン 天文年中古所山ノ城主秋月押領シテ家臣跡部安藝守(後原氏祖)之ヲ守ル后覆亀城城主毛利ノ配下トナル何レヲ當社ヲ深ク尊信セラレシヲ以テ旧蹟ヲ悉ケルト共ニ此処ニ列記ス
熊野神社ハ 伊邪那美命外二神ヲ祀ル今ヲ距ル二百五十年前正保年中紀州ノ熊野ヨリ勧請
豊日別神社ハ 豊日別神ヲ祀ル今ヲサル百八十年前享保二年英彦山ヨリ勧請
八雷社ハ日本武尊ヲ創立ニ係ル
明治三十年六月
田部善寛謹識
大阪大成館銅版部


筑前國鞍手郡
劔村大字中山
栗田邸宅真景
筥五郎山
劔神城跡
豊日別神社
玄海灘
芦屋港
古賀豊前防
浅倉日ノ峯
大連島
日島
帆柱石
浅賀川
山鹿城
大阪大成館銅版部



由緒書

鄕社天照神社祭神天照皇大神相殿八幡大神春日大神ハ後世奉齋所也

二代實錄ニ

陽成天皇元慶元年十二月十五日辛巳授従五位下ト在リ御當社御鎭座ノ始ハ人皇十一代垂仁天皇十六年當郡宮田村境内笠城山ニ降臨シ給ヒ同帝七十七年戊申春此ノ山嶺ニ神殿ヲ立齋奉リシヨリ五穀豊實リケレバ秋毎ニ物德ヲ捧奉ニ老幼ノ輩高キ山ニ詣登ルニナヤミ有トテ麓ノ谷ニ稻ノ穗ヲ掛奉シ故其谷ヲ穗掛谷ト云此笠城山ノ麓ニミヒガ淵此淵鞍掛ノ住シ故ニ後世鞍掛ノ淵ト云フトテ大ヒ成深キ淵有其淵ニ鞍掛鞍住テ人ニ災ナセシヲ長屋山筒男命ニ大神ノ授ケ賜鉾ニテ鰐ノ鞍ト手ノ如ク成処ヲ斬テ災ヲ除シ故郡民鉾手ノトテシガソヒニ一郡ノ惣名ト成レリ二十代允恭天皇御宇此ノ山ニ野火燒入テ回録ノ災在人住里ヨリ遂ケレバトテ穗掛谷ニ神殿立祭奉ル其時数千ノ石ヲ集メ其上ニ神殿ヲ立シ故後世其所ヲ千石原トモ云五十三代淳和天皇天長五年明野ノ里ニ祭奉荅國天皇延慶元年大御神告ゲ給ハク白キ鶴ノ住所ニ宮廟ヲ移シ奉ルベキ由告給ニ今ノ所ニ白鶴雌雄来リ住リ依テ明野ヨリ爰ニ移奉其時ノ宮作ハ西國探題惣政所玄朝建立ノ棟札有直方須主黒田長清公元錄元年御修覆有元錄六年貝原篤信長清公ノ命ヲ請據起ヲ作リ奉正德二年是又悉ク御修覆有享保二年黒水鳥居一門御寄附有宝暦七年黒田少將公ヨリ御歌竹提灯御寄附有文政三年四月廿日松平齋清公御社參有是ヨリ両黒田長溥公ノ代元年九月十一日御社參ヲ始トシテ享保四年迄九ケ年間ニ御社參十二度有古ハ如此サカン成シ故社官ノ業多カリレモ彼足利將軍ノ時御位田壱町五反漫収サレシヨリ今ハ只長屋山筒男建稱長屋氏ノミ御社奉仕ル長屋山筒男命甚ダ長クシテ身ヨリ遠リケレバ其靈ヲ明野ノ里ニ長屋神社ト齋キ奉ル

大祭　日

正月十一日ヨリ十三日迄御田植祭有「今ハ絶タリ」

九月十一日　鉾事祭

三月三日　百手祭

八月三十日　名越祭

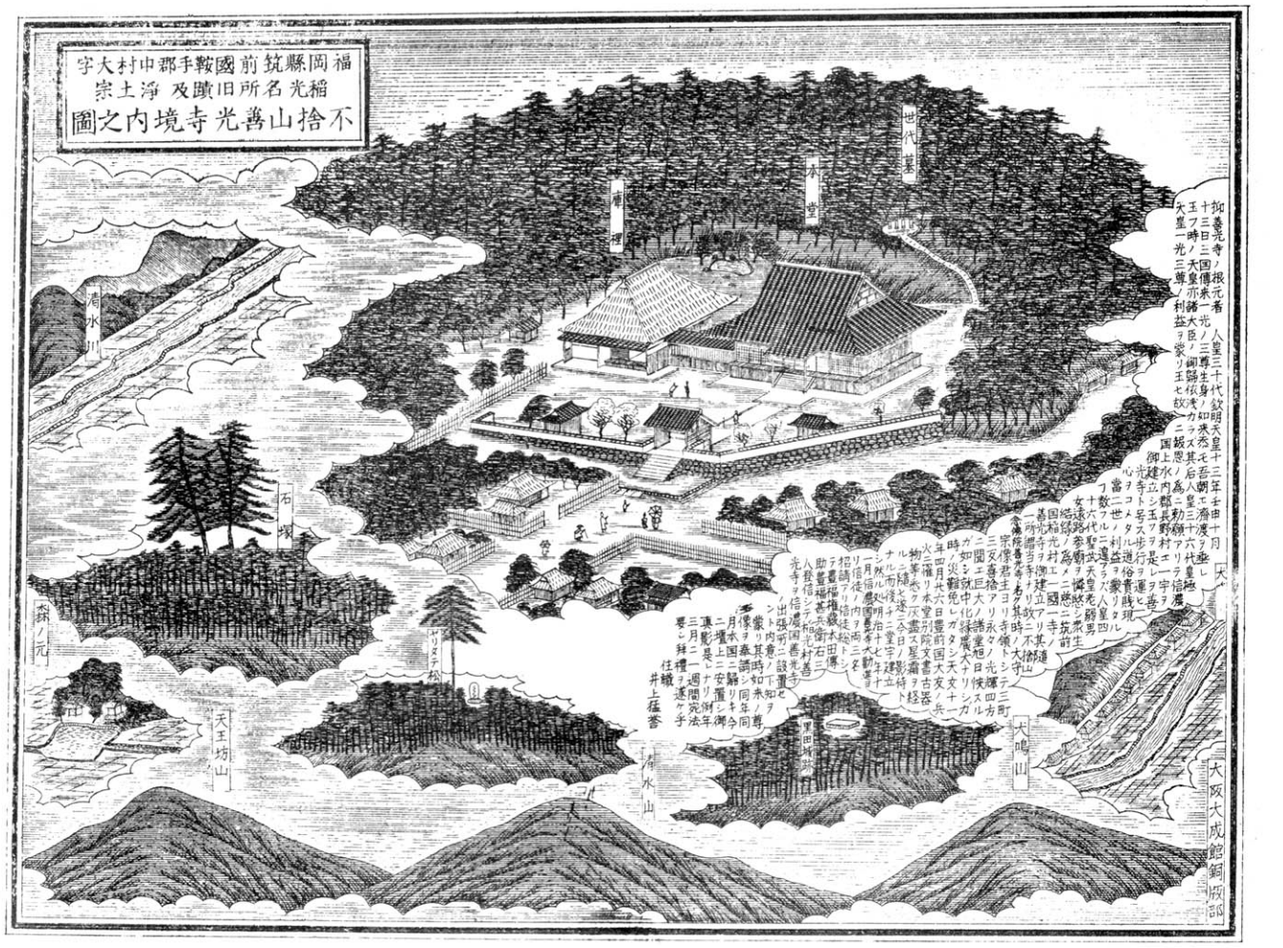
二十五代

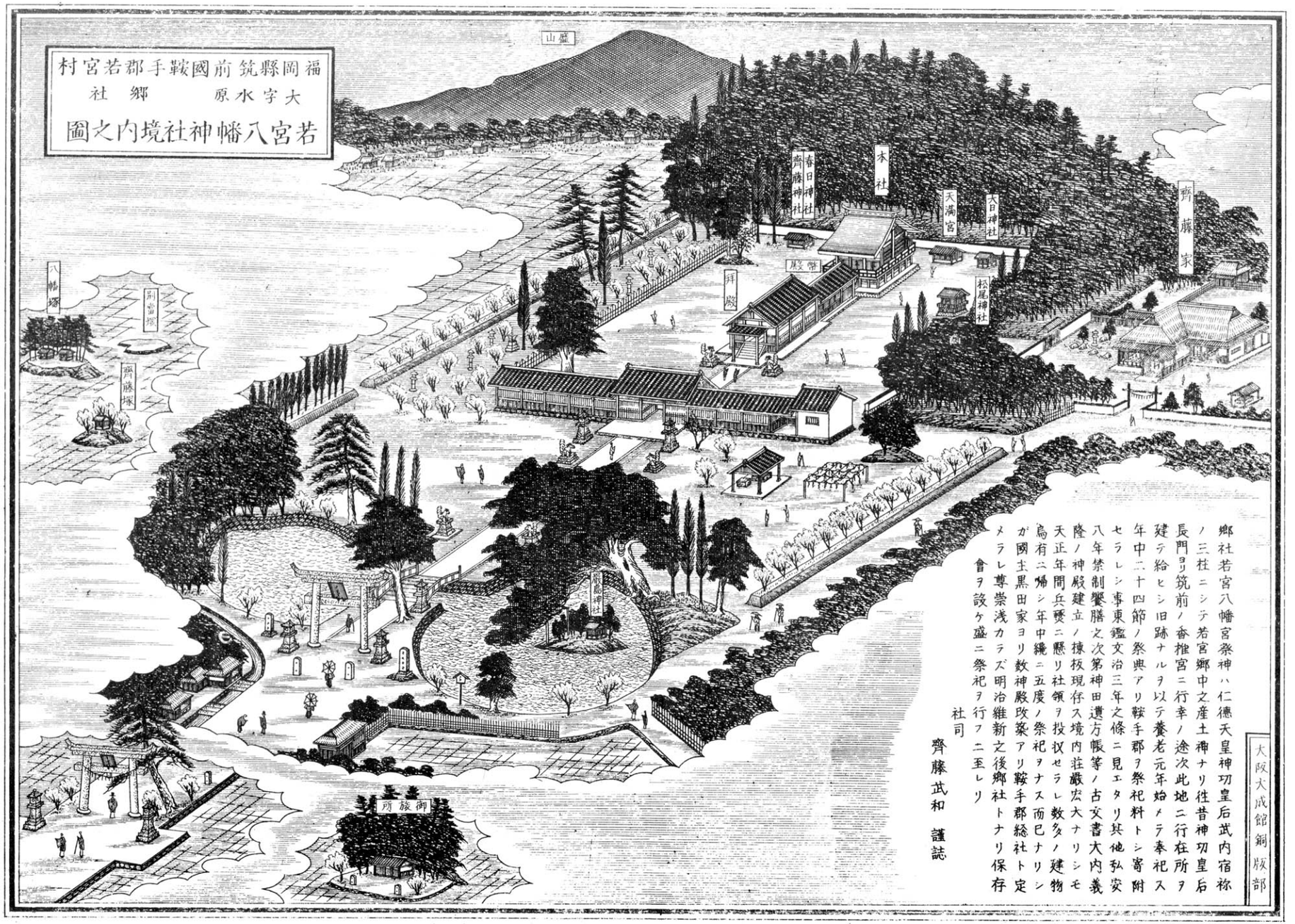
世襲神職

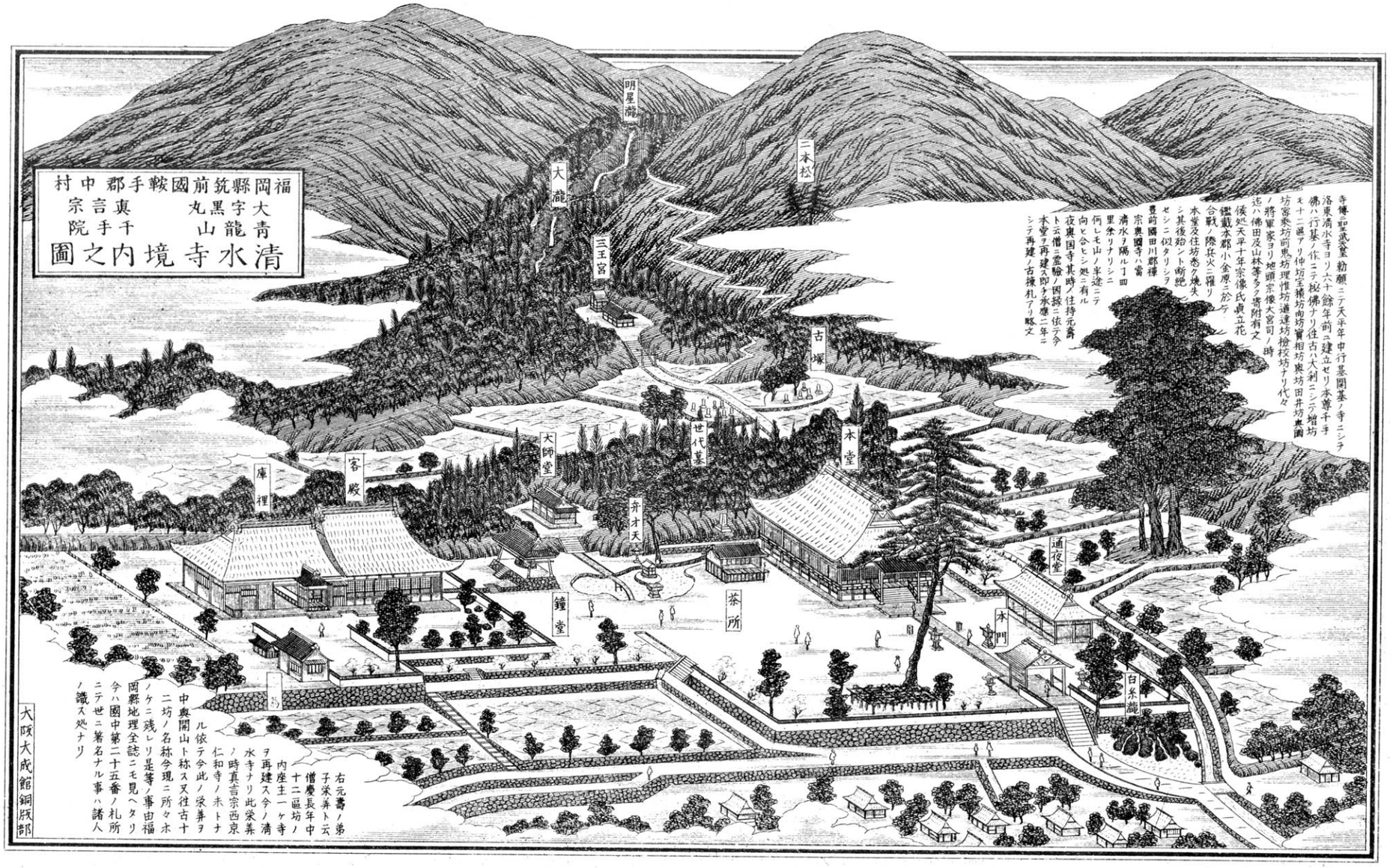
社司

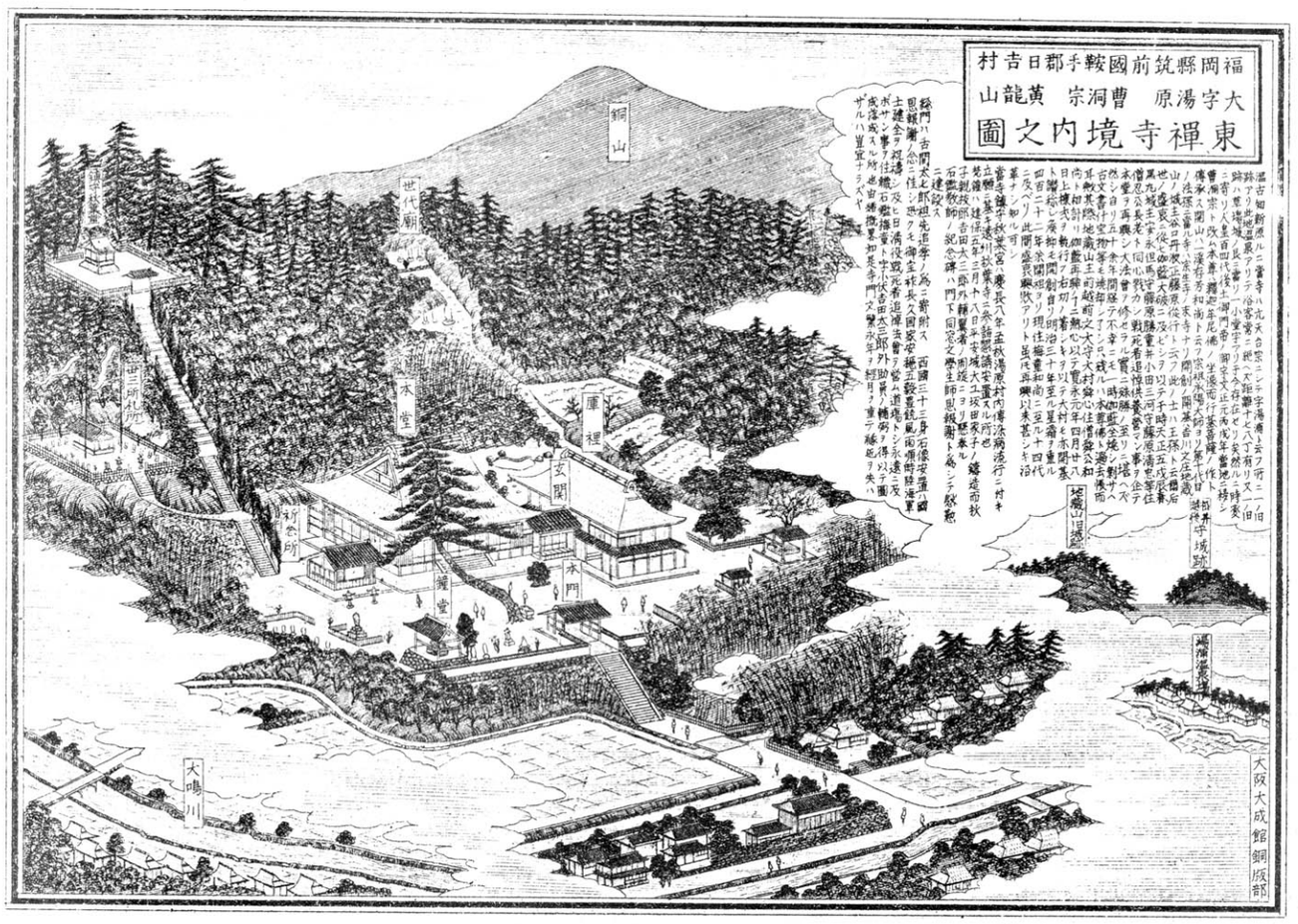
長屋豊實識

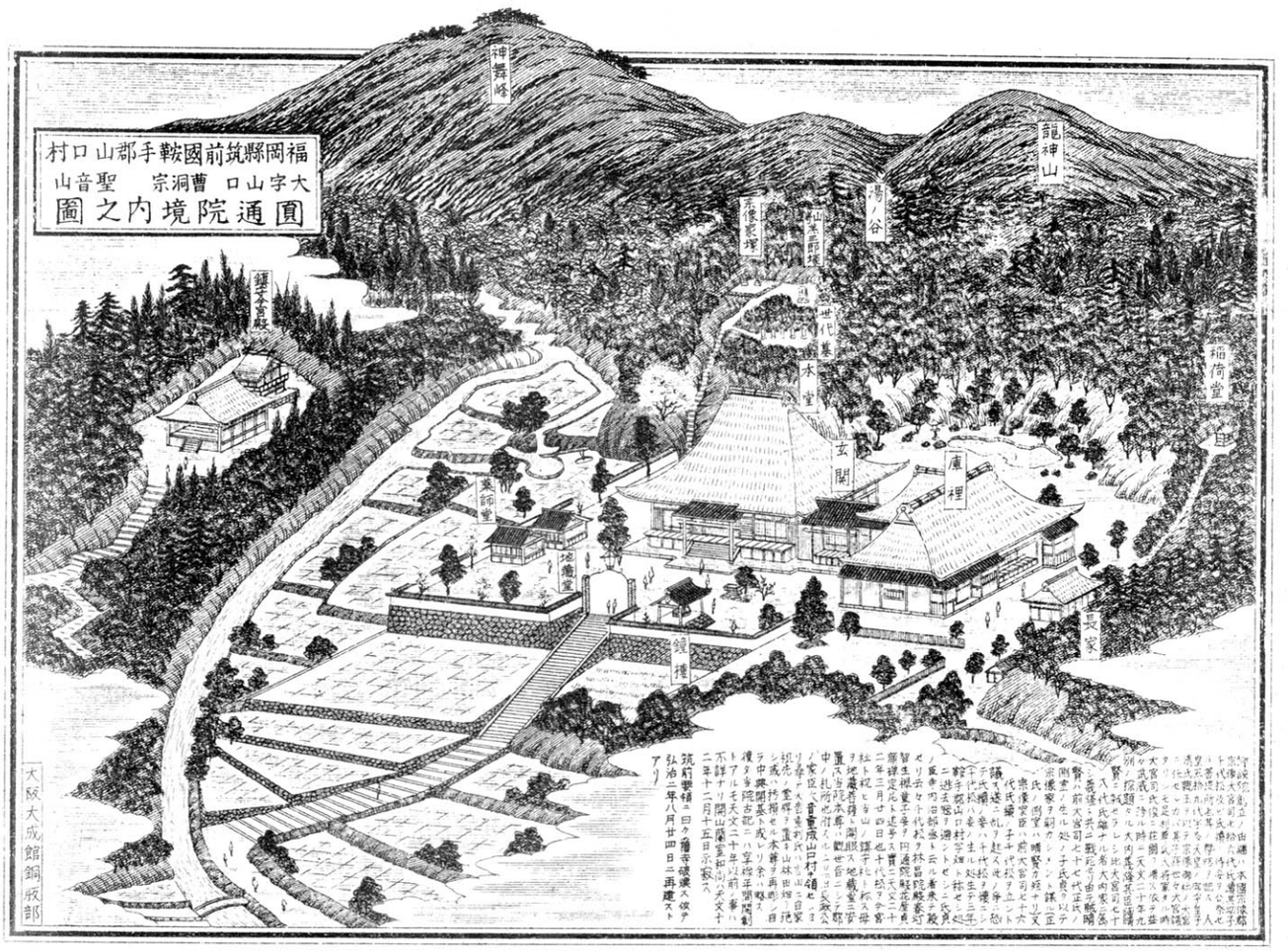

福岡縣筑前國鞍手郡若宮村
大字金生　曹洞宗
丹鳳山瑞石寺境内之畫
丹鳳山
開山塚
世代塚
本堂
庫裡
山神
浴室
長屋
門前
放生池
鐘樓
禪堂
應永二年開山天真禪師英傑山二諦シテ加被ヲ祈願既奇石ヲ獲ヲ得テ之レヲ柚ニメ歸ル丹鳳山ニ到ル一豊シテ根二柵裏ノ重ヲ覺フ乃チ地ニ投ス屹然トメ人ノ立ツカ如シ其高サ三尺許リ其形恰モ官人烏帽子ヲ頂ニ似ル故ニ即チ神瑞ナルヲ知テ名ケテ瑞石ト曰ヲ鎮座ノ石ヲ祈セリ其後應仁年中祝融ノ災ニ罹リ諸堂悉ク燼滅ス小庵ニ住持連隆景公當國第二ノ祈願道場ト定メ大ニ興スル所アリ十一代中興住僧悟更和尚ノ德行ヲ慕備ヲ知識ニテ旧藩主黒田侯ヨリ寺領ヲ寄附セラレ又國中巡禮ノ節ハ必ス此地ニ投宿セラル加之從前ヨリ其勅許ヲ得テ毎歲四月八日ヨリ同月十五日マテ開帳ヲ許サレ遠近ノ參詣群集シテ門前市ヲ成ス實ニ當山無双ノ靈場ト稱スヘシ
大阪大成館銅版部

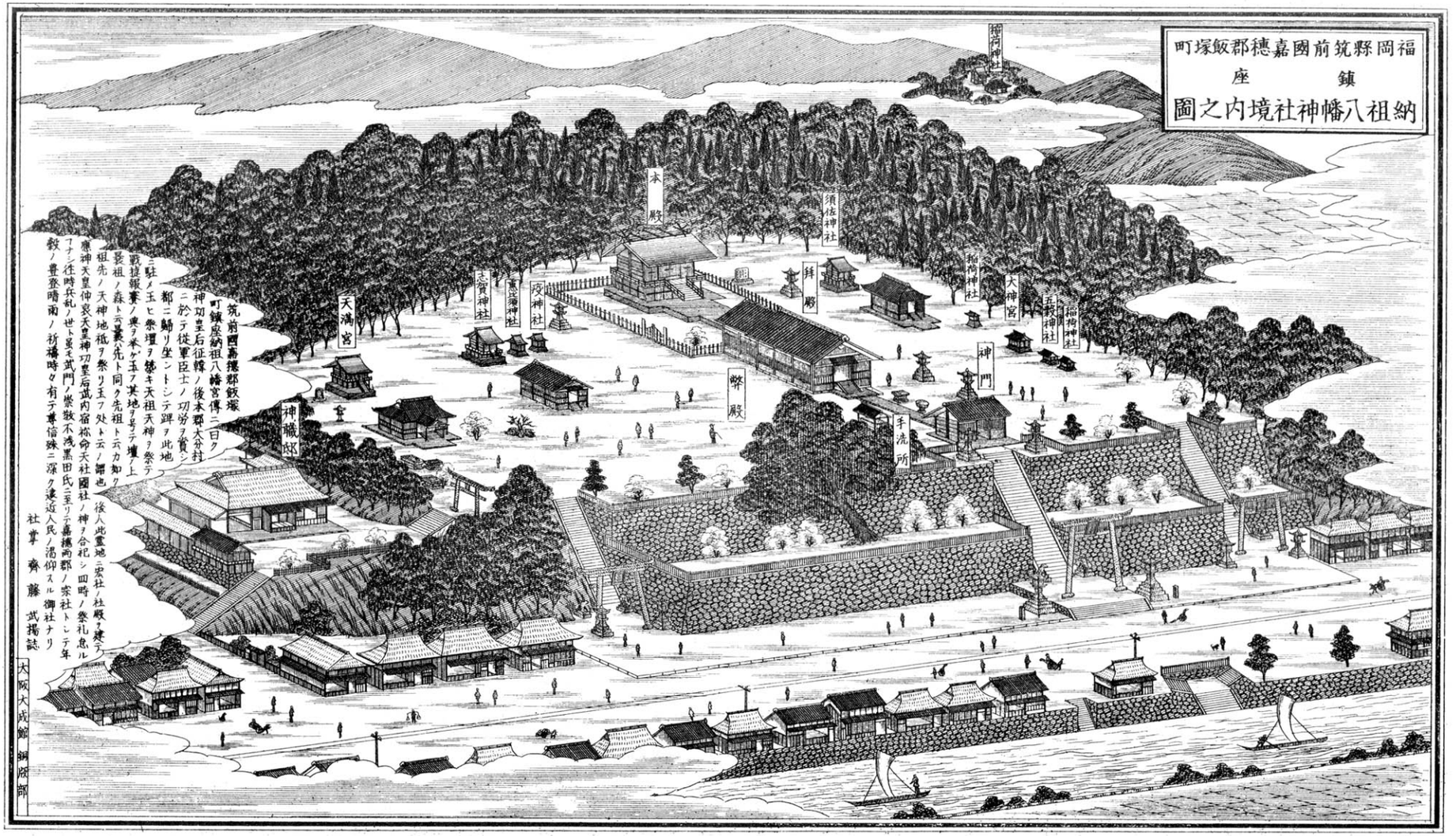

福岡縣筑前國鞍手郡中村大字
稱光名所旧蹟及淨土宗
不捨山善光寺境内之圖
世代墓
本堂
庫裡
石塔
清水川
天王坊山
清水山
大鳴山
大阪大成館銅版部

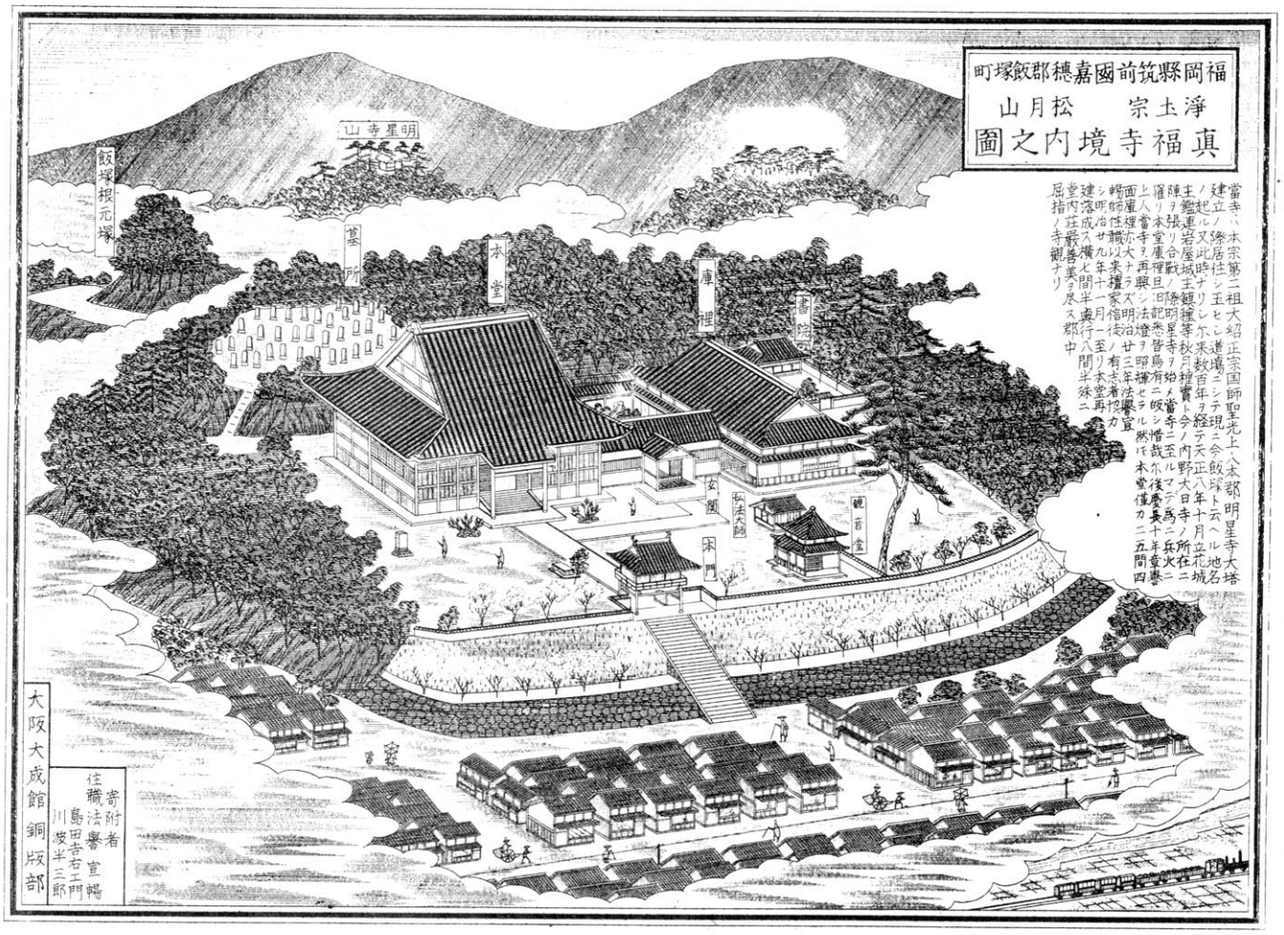

福岡縣筑前國鞍手郡若宮村
大字水原　鄕社
若宮八幡神社境内之圖
山麓
本社
春日神社
齊藤神社
天滿宮
大日神社
齊藤家
幣殿
拜殿
松尾神社
八幡塚
別當塚
齊藤塚
御旅所
大阪大成館銅版部
鄕社若宮八幡宮祭神ハ仁德天皇神功皇后武内宿称ノ三柱ニシテ若宮鄕中之産土神ナリ往昔神功皇后長門ヨリ筑前ノ香椎宮ニ行幸ノ途次此地ニ行在所ヲ建テ給ヒシ旧跡ナルヲ以テ養老元年始メテ奉祀ス年中二十四節ノ祭典アリ鞍手郡ヲ祭祀料トシ寄附セラレシ事東鑑文治三年之條ニ見エタリ其他弘安八年禁制饗膳之次第神田遺方帳等ノ古文書大内義隆ノ神殿建立ノ棟札現存ス境内莊嚴宏大ナリシモ天正年間兵燹ニ罹リ社領ヲ投収セラレ数多ノ建物烏有ニ帰シ年中繩ニ五度ノ祭祀ヲナスノミナリシガ國主黒田家ヨリ数神殿改築アリ鞍手郡総社ト定メラレ尊崇浅カラズ明治維新之後鄕社トナリ保存會ヲ設ケ盛ニ祭祀ヲ行フニ至レリ
社司
齊藤武和　謹誌

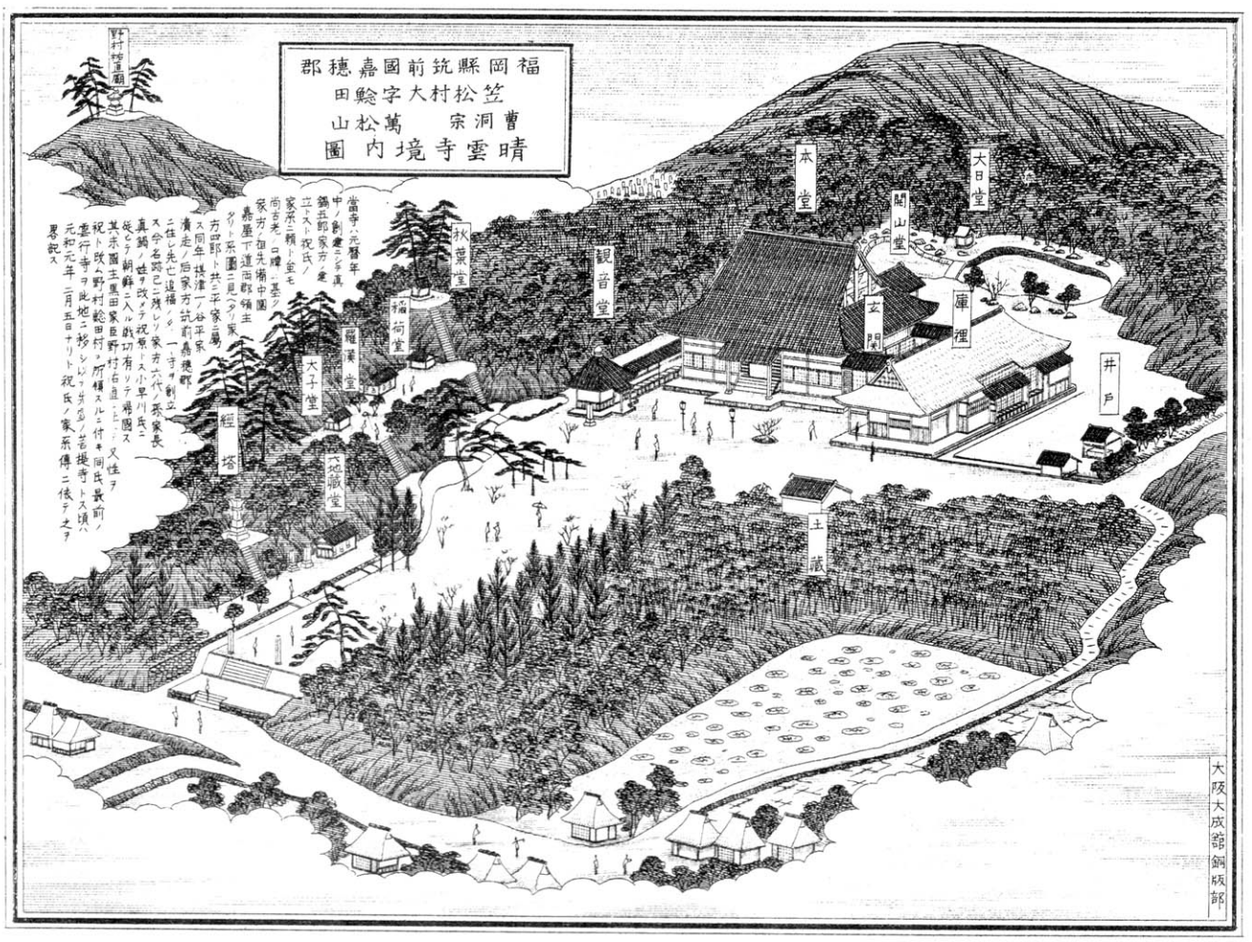

福岡縣筑前國鞍手郡中村
大字黒丸
青龍山
真言宗
千手院
清水寺境内之圖
明星嶺
大龍
三王宮
二本松
古墳
世代墓
大師堂
本堂
客殿
庫裡
弁才天
鐘堂
茶所
通夜堂
本門
白糸瀧
寺傳ニ聖武皇勅願ニテ天平年中行基開基ノ寺ニシテ洛東清水寺ヨリ六十餘年前ニ建立セリ本尊十手佛ハ行基ノ作ニテ祝佛ナリ往古ハ大刹ニシテ僧坊モ十二區アリ仲坊至禪坊向坊實相坊與坊田井坊奥園坊客來坊前奥坊理性坊遍連坊檜校坊ナリ代々ノ將軍家ヨリ地頭宗像大宮司ノ時迄ハ佛田及山林等多ク寄附有之候処天平十年宗像氏貞立花鑑載本郡小金原ニ於テ合戦ノ際兵火ニ罹リ本堂及住坊悉ク焼失シ其後殆ント斷絶セシニ似タリシヲ豊前國田川郡種
宗奥國寺ハ當
清水ヨリ隔ル丁四里余リナリシニ何レモ山ノ半途ニテ向ヒ合ヒシ処ニ有ル
夜奥国寺其時ノ住持元喜ト云僧ニ靈驗ノ因縁ニ依テ今本堂ヲ再建スト即チ永應二年ニシテ再建ノ古擴札アリ略之
右元壽ノ弟子栄算ト云僧慶長年中十二區坊ノ内座主一ヶ寺ヲ再建ス今ノ清水寺ナリ此栄算ノ時真言宗西京仁和寺ノ末トナル依テ今此ノ栄算ヲ中興開山ト称ス又往古十二坊ノ名称今現ニ所々ホノケニ残レリ是等ノ事由福岡縣地理全誌ニモ見ヘタリ今ハ國中第二十五番ノ札所ニテ世ニ著名ナル事ハ諸人ノ識ス処ナリ
大阪大成館銅版部

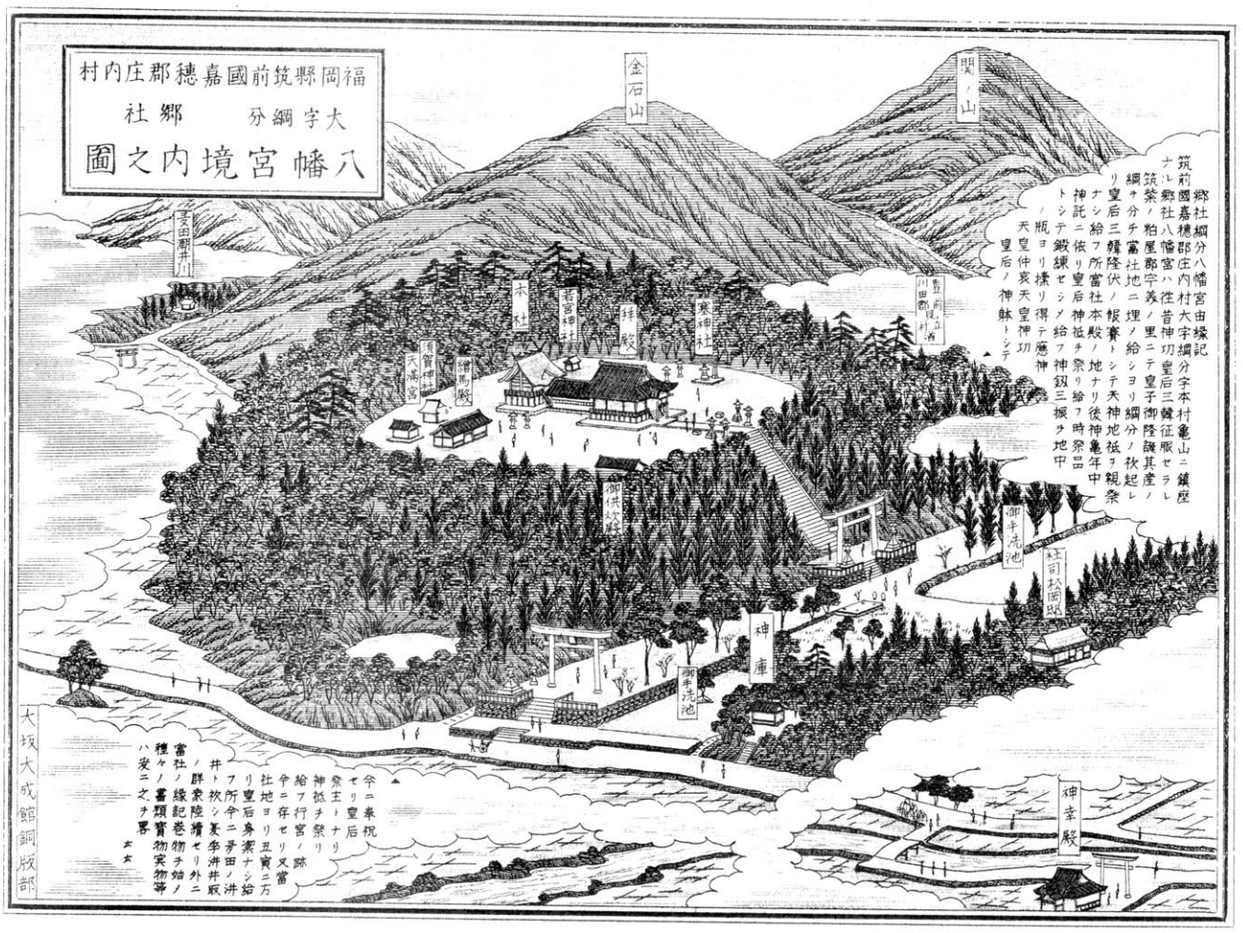

福岡縣筑前國鞍手郡日吉村
大字湯原　曹洞宗　黃龍山
東禪寺境内之圖
銅山
世代廟
本堂
庫裡
玄關
本門
鐘堂
初參所
大鳴川
地藏山墳墓
平城跡
大阪大成館銅版部

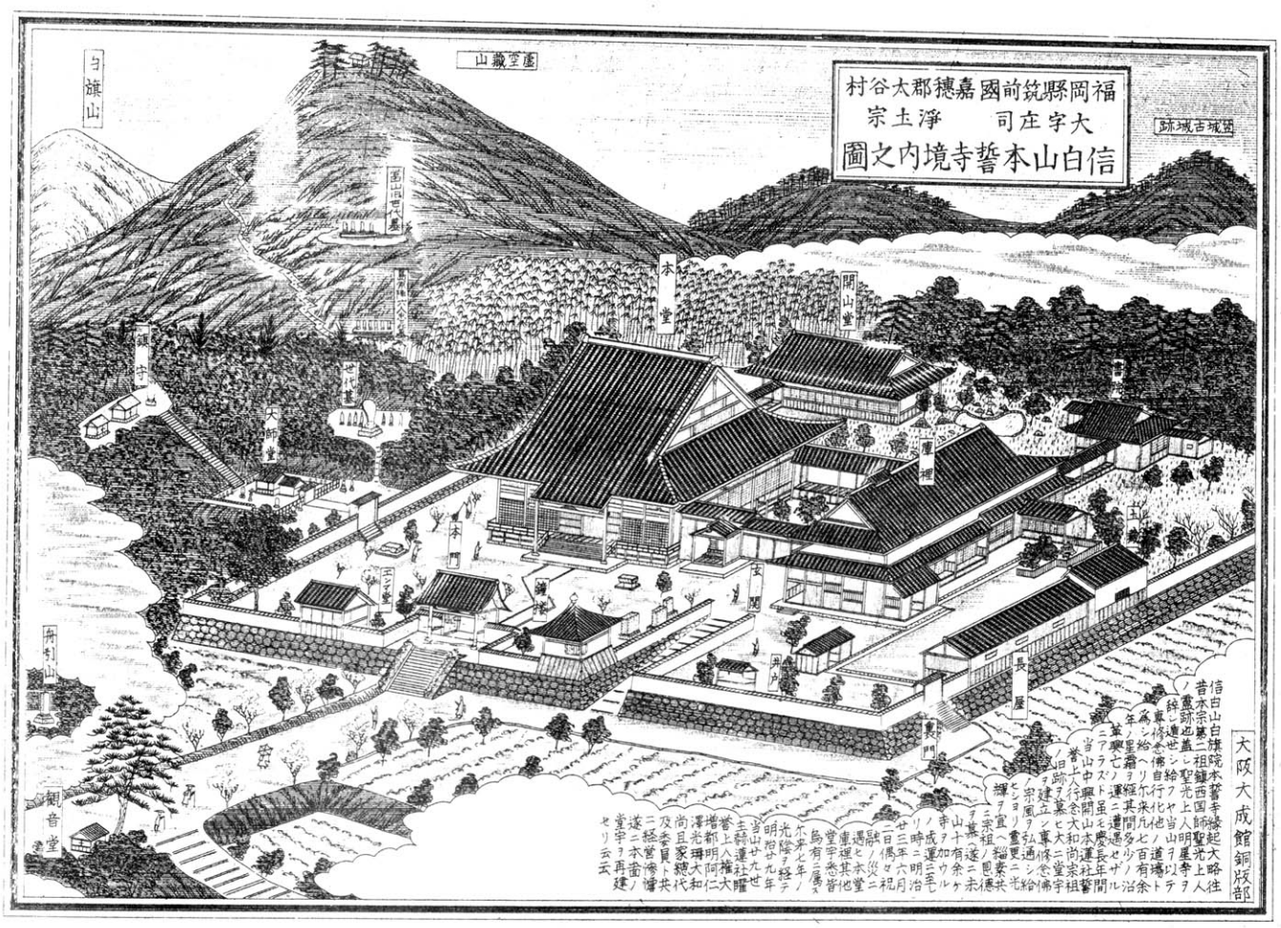

福岡縣筑前國鞍手郡山口村
大字山口　曹洞宗　聖音山
圓通院境内之圖
神舞峰
龍神山
場ノ谷
山岳三郎墓
世代墓
本堂
玄關
庫裡
稲荷堂
長家
鐘樓
地藏堂
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穗郡飯塚町
鎮座
納祖八幡神社境内之圖
本殿
須佐神社
拜殿
大神宮
稻荷神社
五社神社
稻荷神社
神門
弊殿
手洗所
天滿宮
志賀神社
住吉神社
疫神社
神臧邨
筑前國嘉穗郡飯塚
町鎮座納祖八幡宮傳二曰ク
神功皇后征韓ノ後本郡大分村
ニ於テ従軍臣士ノ功労ヲ賞シ
都ニ歸リ坐ントシテ踟ヲ此地
ニ駐メ玉ヒ祭壇ヲ築キ天祖天神ヲ祭テ
戰捷報賽ノ典ヲ挙ケ玉フ其地ヲ且テ壇ノ上
裏祖ノ森ト云裏ハ先ト同ク先祖ト云カ如ク
祖先ノ天神地祇ヲ祭リ玉フ処ト云ノ謂也
應神天皇仲哀天皇神功皇后武内宿禰命天社國社ノ神ヲ合祀シ四時ノ祭礼怠ルコトナシ往時兵乱ノ世ト雖モ武門ノ崇敬不浅黒田氏ニ至リテ嘉穗両郡ノ宗社トシテ年
毀ノ豊登晴雨ノ祈禱時々有テ尊信殊ニ深ク遠近人民ノ渇仰スル御社ナリ
社掌 齊藤 武揚誌
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穗郡飯塚町
浄土宗　松月山
真福寺境内之圖
當寺ハ本宗第二祖大紹正宗国師聖光上人ノ建立ノ像居住シ玉シ道場ニシテ現ニ今飯塚ト云ヘル地名ノ起ルモ又此時ナリシ尓来数百年ヲ経テ天正八年十月立花城主鑑連岩屋城攻ノ陣ヲ張合戦ノ際明星寺ヲ始メ當寺ニ至マデ悉ク兵火ニ罹リ本堂庫理旦那記録モ皆烏有ニ帰シ増テ法燈ヲ昭耀セラルベキ然ルニ本堂僅カ二五間四面ノ庫裡迄大ナラズ明治廿三年法燈宣鴨師性譽以来檀家信徒ノ有志者協力シ明治卅九年十一月一至リ本堂再建落成スル処北間半裏行八間半殊ニ堂内荘厳善美ヲ尽ス郡中屈指ノ寺観ナリ
明星寺山
飯塚根元塚
墓所
本堂
庫裡
書院
玄関
観音堂
鐘楼
山門
寄附者
住職法譽宣暢
島田吉右エ門
川坂半三郎
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穗郡
笠松村大字鈴田
曹洞宗　萬松山
晴雲寺境内圖
當寺元禄年中ノ創建ニシテ真鍋武郎家ノ菩提寺トス頃ハ元和元年二月五日ナリト祝氏ノ家系傳ニ依テ之ヲ記ス
本堂
大日堂
開山堂
観音堂
庫裡
玄関
井戸
土蔵
鐘楼堂
大十堂
稲荷堂
経塚
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穗郡庄内村
大字綱分　郷社
八幡宮境内之圖
金石山
関ノ山
神庫
神幸殿
御手洗池
社司松岡邸
大坂大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穗郡太谷村
大字庄司　浄土宗
信白山本誓寺境内之圖
日旗山
開山堂
本堂
庫裡
長屋
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穂郡
相殿牧野神社之圖
本社
拜殿
稻荷社
須賀社
德滿神社
須賀社
神庫
祖靈社
神饌所
日尾山
相日さすや
夕日かゞやく
日の本の
さゞれ
花咲く
山も
この山
銅堤
牧野松
牧野石
本社相殿
牧野神社
大山祇命
祭神 牧野命
保食命
祭日三月一日ヨリ五日迄
由緒
神武天皇御知名牧野命ト申奉ル
時筑紫ニ四リ給テ今豊前國ヨリ此
里ニ移リ給フ馬牧ヨリ足毛ノ馬奉
リ其馬ニ乗セ給イ嘉麻郡馬見苗ニ出給フ
迫光鏑見送リ奉ルヨリ当村駐馬村ト唱馬
見村ト唱村溝ト起原也其時天皇宣命ニ依
テ郡中五月中馬ヲ田前ニ出サヾル
日五日アリ則チ朔日ヨリ五日迄牛馬忌
ヲ日ト唱ヘ元亀三年ヨリ明治二年迄五日
ヲ三日ニ縮明治二年時ノ郡令澄川泰吉
郎奏音シテ牛馬ヲ忌ム事盛事ニ支ヲ以
テ二月一日ヨリ五日迄忌除ス執行シテ
忌日ヲ除ク今ニ牧跡大石ヲ以テ區域
殘ス顯然タリ
嚴島神社
田心姫命
祭神 市杵島姫命
湍津姫命
祭日九月九日
由緒
豐前國宇佐島ヨリ筑
前國宗像郡沖津島ヲ
ヲ移ヲ時当村日尾山
ヲ越給フ時瑞石ヲ建
天照大神ヲ祭リ給
フ古實ヲ以テ景行天
皇御宇三女神ヲ祭リ
今ニ社殿柱石等殘ル
後光嚴天皇延元年中
今ノ社地字宮ノ下ニ
遷座産神ト崇奉ル
大政大成館 編纂部


筑前國嘉穂郡頴田村
大字　佐與村社
天降八柱神社境内之圖
同村泉山
福壽寺境内之圖
泉山福壽寺
人皇五十代桓武天皇御宇
延暦二十三甲申正月二十三
日弘法大師入唐ノ際泉
山聖觀世音菩薩ヲ直作
セラレ同地ヲ以テ泉山ト目称
シタリ蜀未靈驗顯ル著ル
其年ヲ経ルコト實ニ壱千〇
九十四年ニ及ベリト云泉
福寺ノ管領スル所タリ
大阪大成館銅版部製



本社祭神天太玉尊児屋根命鈿女命三神鎮座年月不詳上宮下宮両社アリ本宮ハ白旗山ノ巓ニ鎮座下宮ハ山ノ麓ニアリ元中村津鳴村庄司村枸橘村吉北村五ケ村産神昔ハ御宮造モ廣大ナリシモ天正ノ兵火ニカヽリ旧記神宝モ燒失シ社田三町アリシ今ハ名ノミ残レリ春ハ花ノ祭トテ遠近ノ人々花ヲ携齎祭リ秋ハ笛ノ祭トシテ笛吹皷ヲ打チテ祭ル古キ例有シヲ繙果今ハ氏子ヨリ形斗リ執行ヘリ九月十八日十九日神幸アリ則文安享禄ノ頃ニ再建ノ棟札左ニ記ス

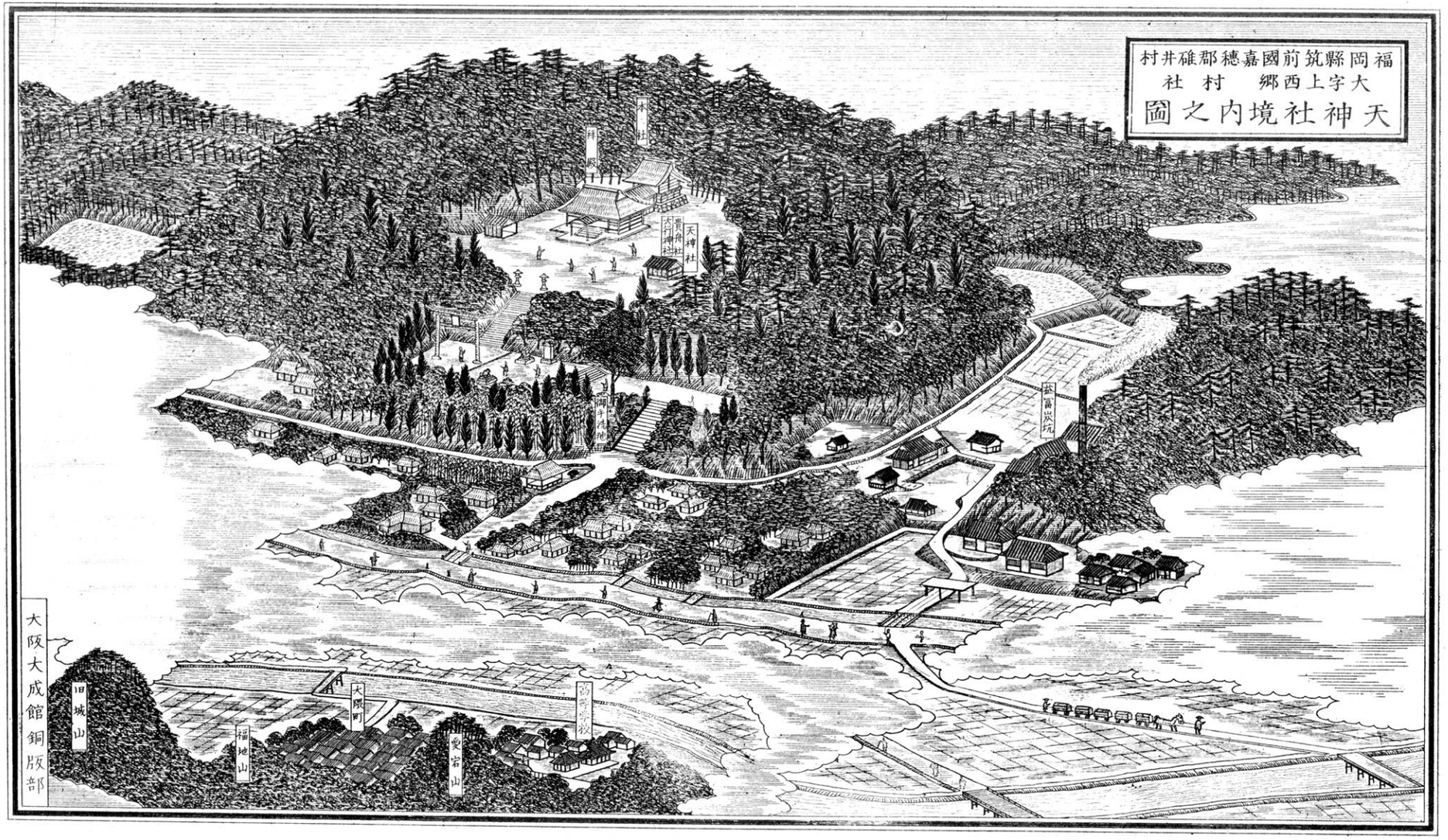
文安三丙寅八月吉日
奉再興皷打三所大權現大權
越日向守藤原朝臣沙弥盛融
同　弘長
代下総守平長俊
大宮司佐伯左衛大夫盛長
享禄三庚寅鐘暉日
奉謹上菩皷打三所大權現
右信心檀那陶尾張守多々良朝臣奥房
代官深野平左衛門尉平房重
當大宮司　種次
右棟札千今保存セリ
其後万治二己亥十一月建立ヨリ五ケ村ノ氏子造営セリ悉クハ縁記ニ残レリ明治五年社格郷社ニ定ラル

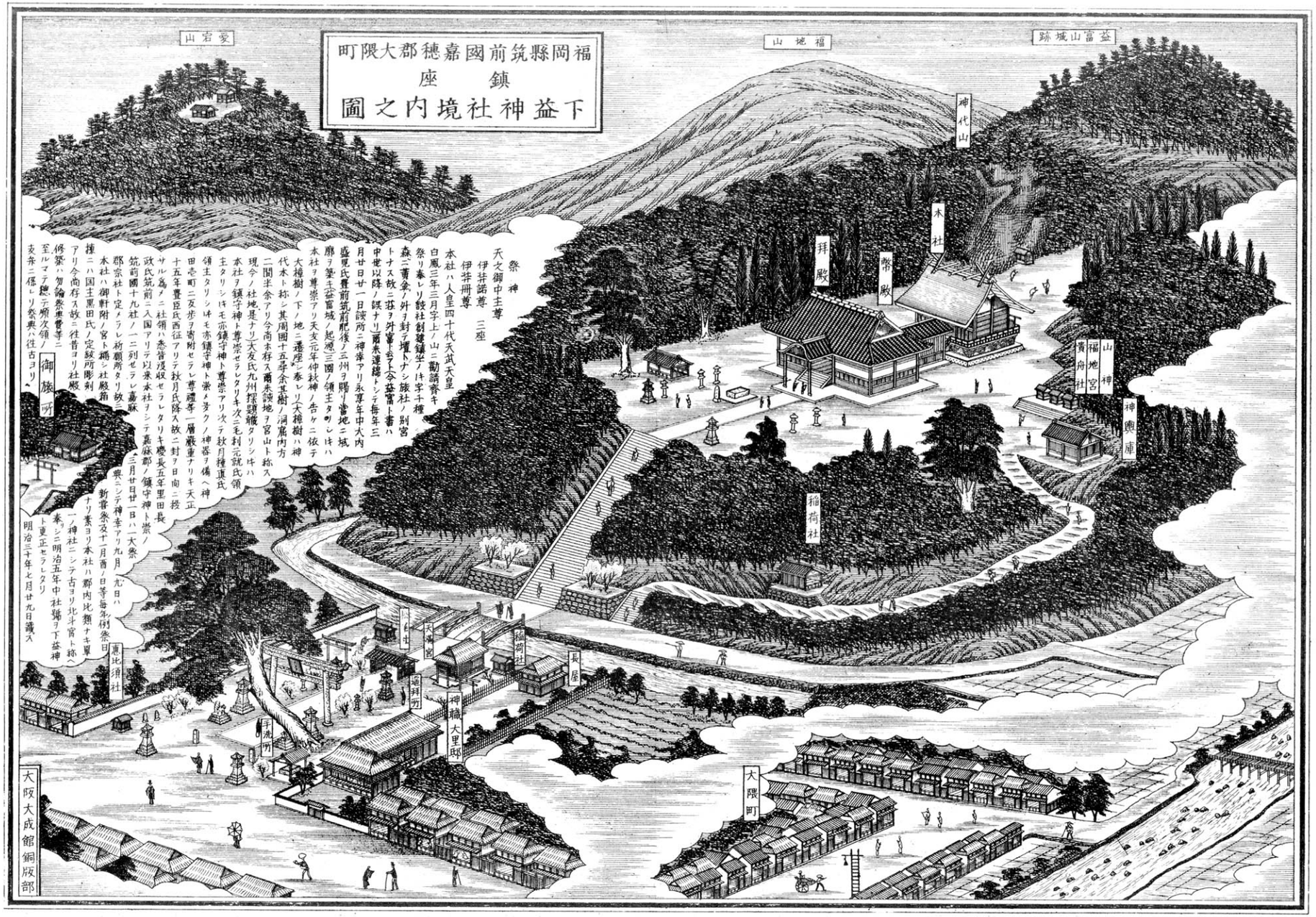
大阪大成館銅版部

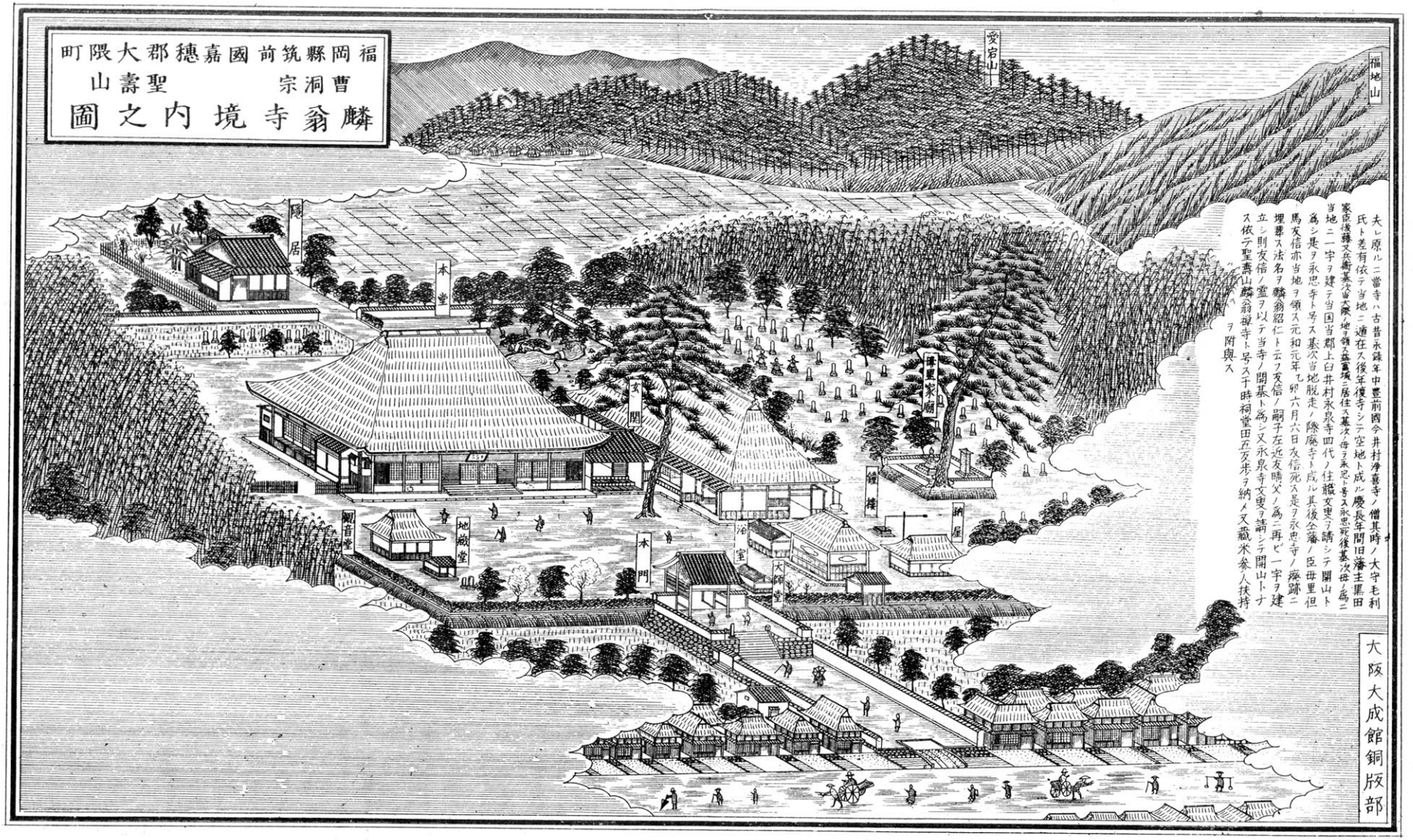

筑前國嘉穗郡鎮西村
大字潤野村村社
寶滿神社境内之圖
牧神社
本社
中殿
天満宮
若神宮
嚴島社
甲子神社
高木神社
後里彦神社
杉木神社
後里彦神社
社事務所
飯祖神社
天神社
貴船社
濱我神社
一祭神中殿玉依姫命左殿天忍穂耳尊右殿豊玉姫命
一由緒 御鎮座ハ文武天皇大宝元辛丑九月九日御笠郡竈門山ヨリ穂波郡潤野村ニ奉迎齋祭ル然ルニ従其年經テ文明九丁酉歳時地頭筑紫氏御社壊タル事ヲ歎キ神殿再興ノ棟札ニ
地頭武藤筑紫備中守經勢本願主筑紫氏野田大膳亮藤原朝臣經久
大宮司貞次諸神官等貞喜等
文明九丁酉年二月十五日
祭日 九月九日
大阪大成館銅版部製

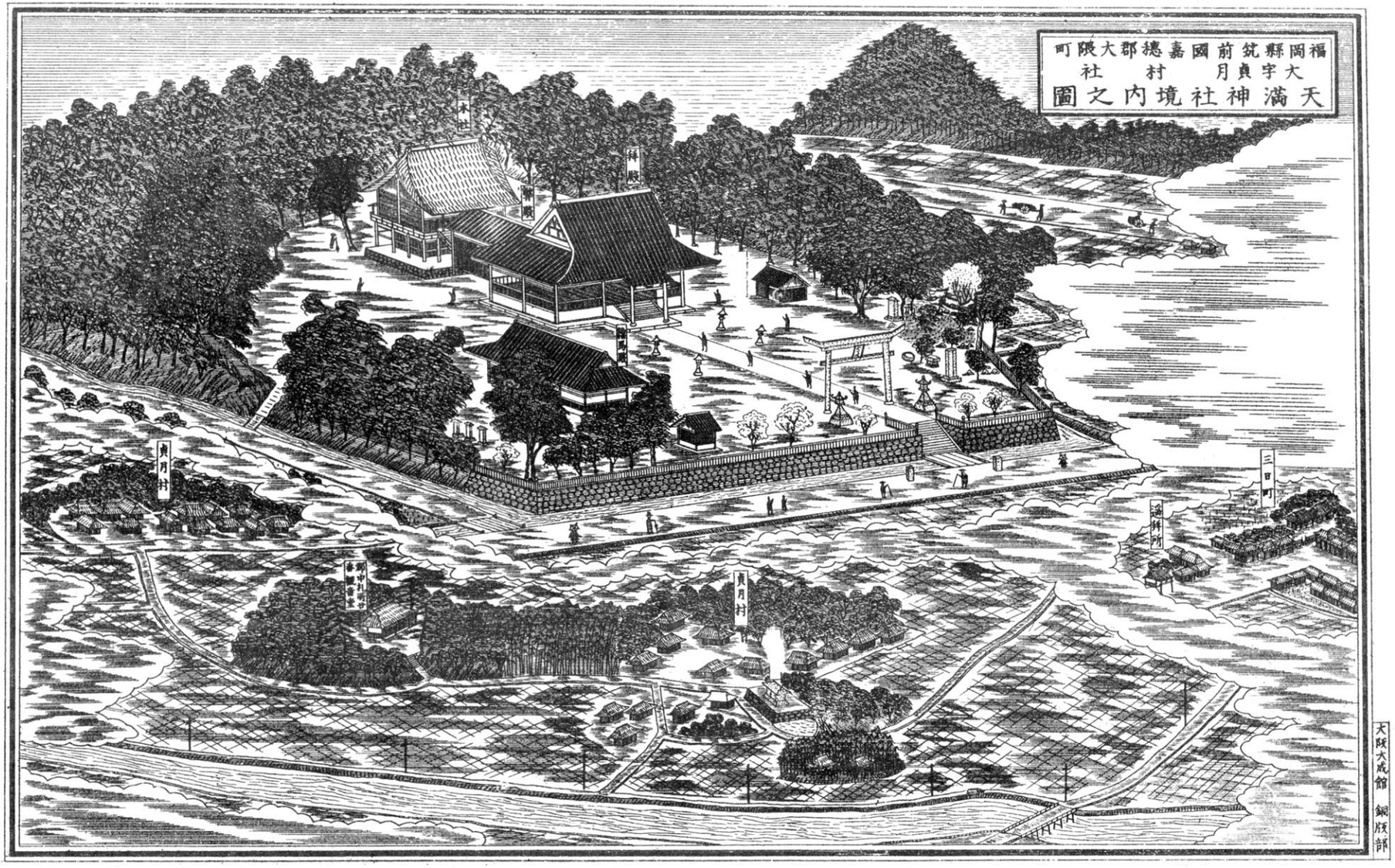

福岡縣筑前國嘉穗郡碓井村
大字曰井曹洞宗大平山
永泉寺境内之圖
高燈城跡
御所谷
開山廟所
皇后谷
辯財天堂
弘法大師
靈瑞水
本堂
庫裡
八十八ヶ所
湯室
鐘樓
抑々當寺ノ由緒ヲ略述セン三皇時代名ヲ異ニセル三國應神御時ト申善智識アリ鉏堂ヲ遊歴ノ際江州石山寺ニ詣シ一心ニ大士ヲ念シ玉フニ忽チ大悪ノ夢ヲ覚セラレシニ師カ北陸西海ニ在リト成禅定シカラザルヲ喜ビ重チニ祈ル筑紫ニ移ン濃度ノ念ニ住セント欲スル時ニ長谷ノ城主高階盛綱ト云フ人アリ大師徳ヲ慕ヒ一宇ヲ創立シ師ヲ以テ開祖トセントスルニ依テ其良地得ス遇カ臼井山ノ巍ニ高燥閑雅ノ地アリ此地ハ長屋帝ノ御ノ遺跡ナルヲ以テ故ニ伽藍ヲ創建シ名ヲ大平山永泉禅寺ト称シ乃チ高階家祈願所トス盛綱自ラ其開基トリ時ニ文安五戊辰年六月創建也
尓来四百五十有年星霜ヲ継タリ往古ハ相應ノ檀家ニシテ許多ノ寺格ヲ有セシモ中興以来微ニシテ諸堂破壊セントセシ世歟宗和尚住後大ニ之ヲ嘆キ國復ノ策ヲ講シテ自ラ資財ヲ抛チ種種苦労ノ末国府大成館ニ命ト境内ノ縮図ヲ製シ其願ヲ記ノ以テ不朽ニ遺ント云爾
（右長慶帝仮御所ノ遺跡トアルハ村老代々云傳フ処ナリ）
廿五世遠孫比丘默仙謹誌
大阪大成館銅版部

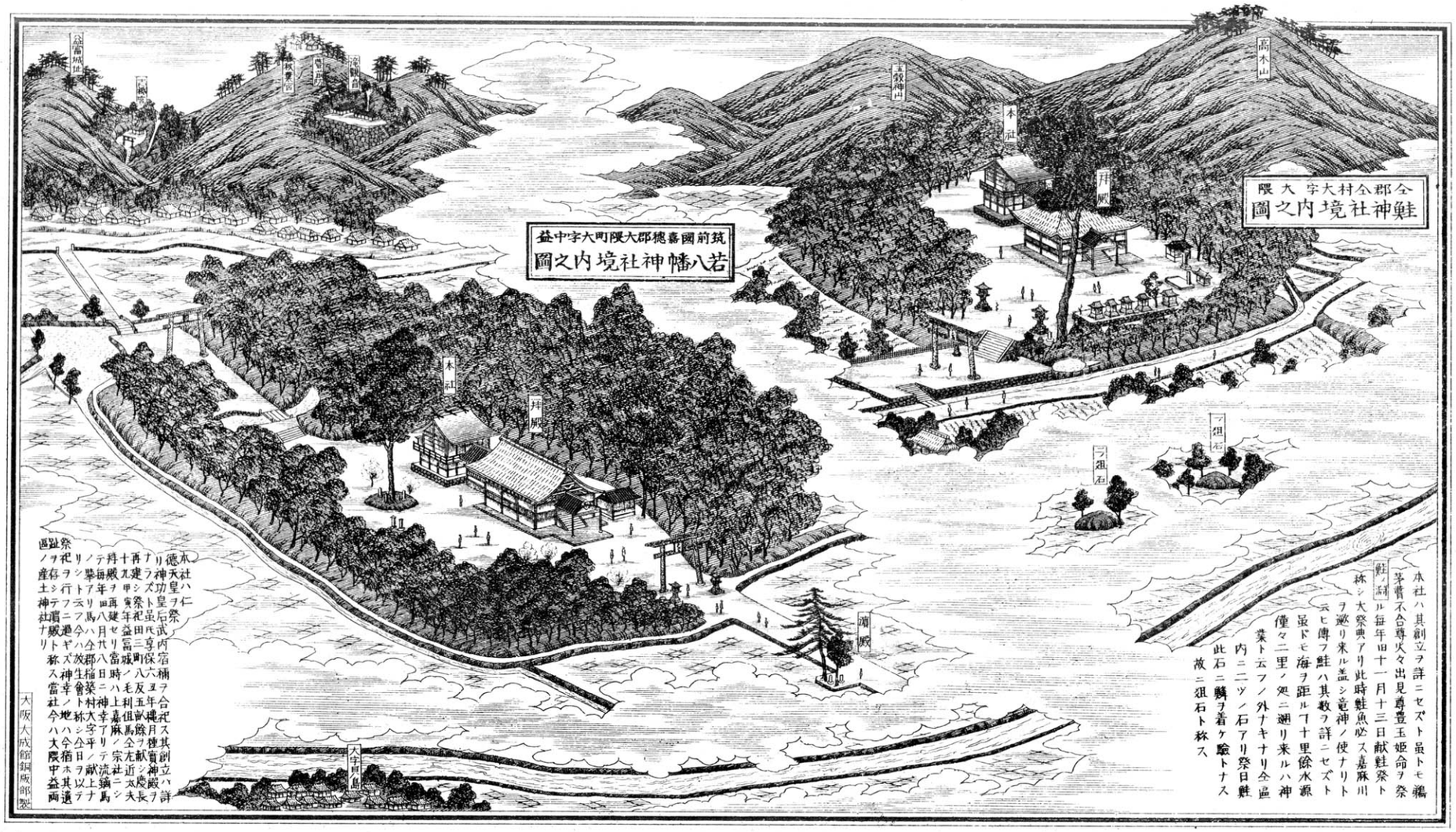

福岡縣筑前國嘉穗郡穗波村
大字椿
八幡神社境内之圖
本社
拜殿
産守宮
手水所
遥拜所
神職奇村邸
安藝殿社
大阪大成館銅版部

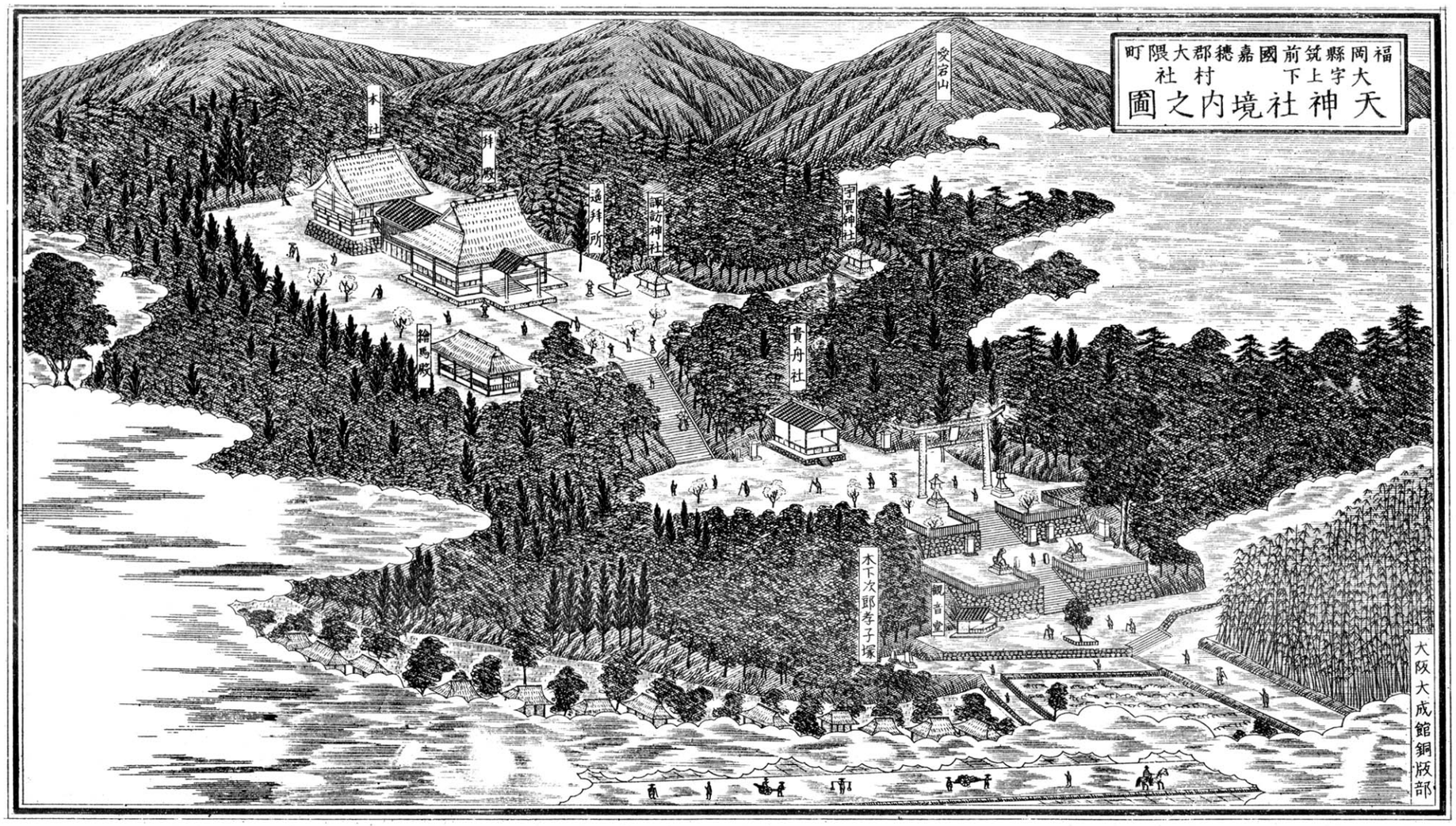

福岡縣筑前國嘉穗郡碓井村
大字上西鄕　村社
天神社境内之圖
大阪大成館銅版部
天神社
旧城山
福地山
愛宕山
大隈町


福岡縣筑前國嘉穗郡大隈町
鎮座
下益神社境内之圖
宴宕山
福地山
益富山城跡
神代山
本社
拝殿
幣殿
山神
福地宮
貴舟社
神輿庫
稲荷社
御旅所
大鳥居
稲荷社
長屋
神職大里邸
手洗所
大隈町
大阪大成館銅版部

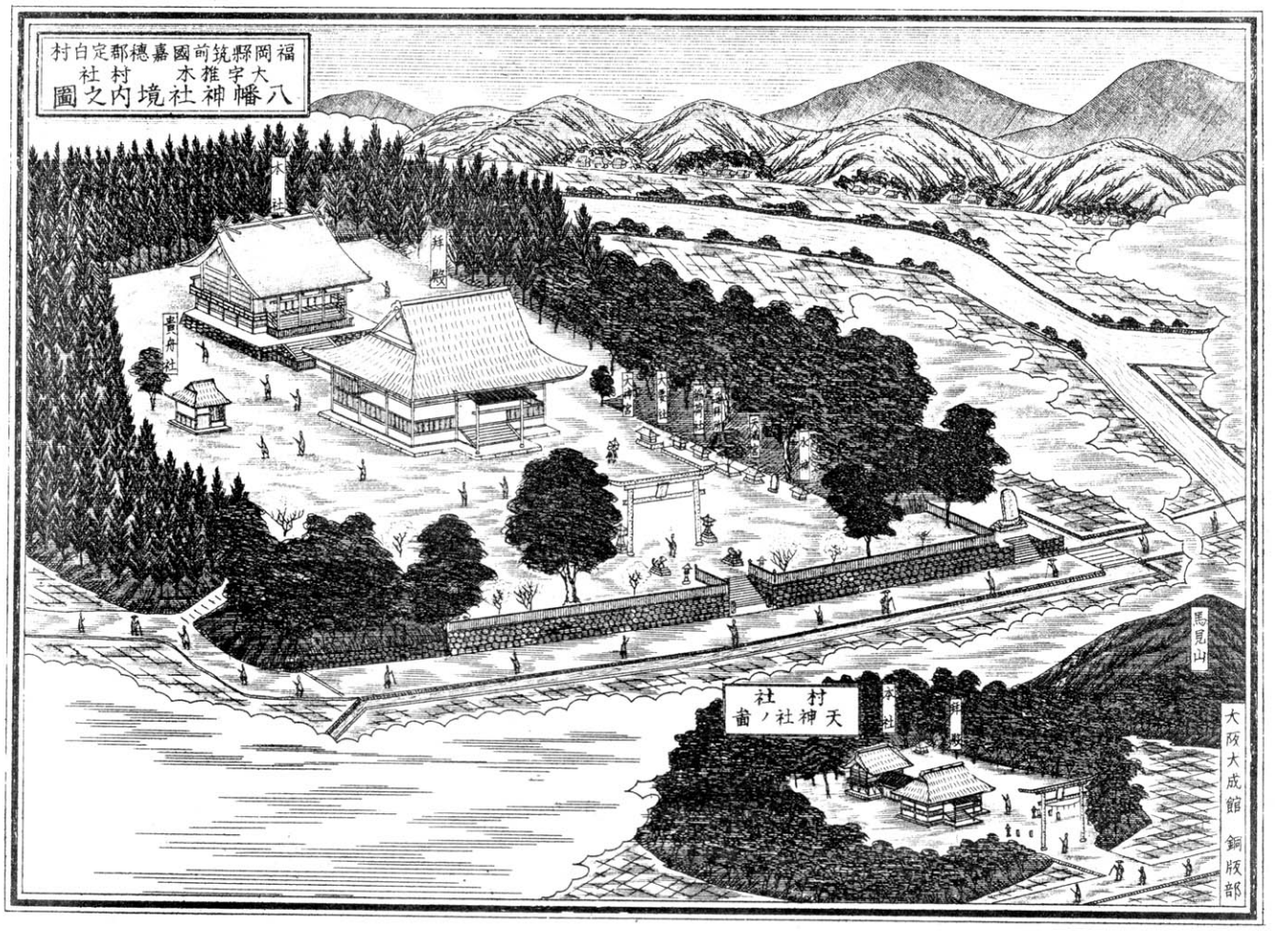

福岡縣筑前國嘉穗郡大隈町
曹洞宗　聖壽山
麟翁寺境内之圖
受宮山
福地山
隠居
本堂
玄関
観音堂
地蔵堂
本門
冷室
大師堂
鐘楼
納屋
檀家寄附
夫レ原ルニ當寺ハ古昔永錄年中豊前國今井村淨嘉寺ノ僧某時ノ大守毛利氏ト差有依テ當地ニ遁在ス後年復寺シテ空地ト成ル慶長年間旧藩主黒田家臣後藤又兵衛基次當大隈ノ地領益富城ニ居住ス基次母ヲ永忠ト号ス永忠死後基次母ヲ為ニ當地ニ一宇ヲ建テ当国当郡上白井村永泉寺四代ノ住職文叟ヲ請シテ開山ト為シ是ヲ永忠寺ト号ス基次当地脱走ノ際廃寺ト成ル其後全藩ノ臣毋里但馬友信亦当地ヲ領ス元和元年乙卯六月六日友信死ス是ヲ永忠寺ノ廃跡ニ埋葬ス法名ヲ麟翁紹仁ト云フ友信ノ嗣子左近友晴父ノ為ニ再ビ一宇ヲ建立シ則友信ノ霊ヲ以テ当寺ノ開基ト為シ又永泉寺文叟ヲ請シテ開山トナス依テ聖壽山麟翁禅寺ト号ス干時祠堂田五反歩ヲ納メ又藏米參人扶持ヲ附與ス
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穗郡大隈町
大字貞月　村　社
天滿神社境内之圖
貞月村
貞月村
三日町
大阪大成館銅版部


筑前國嘉穂郡大隈町大字中益
若八幡神社境内之圖
全郡全村大字大隈
鮭神社境内之圖
本社
拝殿
高木山
高殿神山
本社
拝殿
酒殿
一ノ狛石
二ノ狛石
大字川ノ島
本社ハ仁徳天皇ヲ祭リ内宿禰ヲ合祀ス其創立ハ詳ナラズト雖モ貞觀ノ神殿ヲ再建シ祭田二町歩ヲ献シ慶長六年ノ棟札ニ見ユ又寛文五年ノ棟札ニ見ユ又寛文十二年ノ棟札ニ見ユ又寛文十二年ノ棟札ニ見ユ又寛文十二年ノ棟札ニ見ユ又寛文十二年ノ棟札ニ見ユ
本社ハ其創立ヲ詳ニセズト雖トモ豊玉姫命ヲ祭リ筆費不合尊火々出見尊豊玉姫命ヲ祭ル毎年旧十一月十三日献鮭祭ト称シ大祭典アリ此時鮭魚必ス嘉麻川ヲ遡リ来ル蓋シ竜神ノ使ナリト云ヒ傳フ鮭ハ其數ヲ詳ニセズト雖ドモ海ヲ距ル二十里餘水源僅々二里ノ処ニ遡リ来ルハ神業ト云フノ外ナキナリ社區内ニ二ツノ石アリ祭日鮭此石ニ鱗ヲ着ケ驗トナス故ニ狛石ト称ス
大阪大成館銅版部製

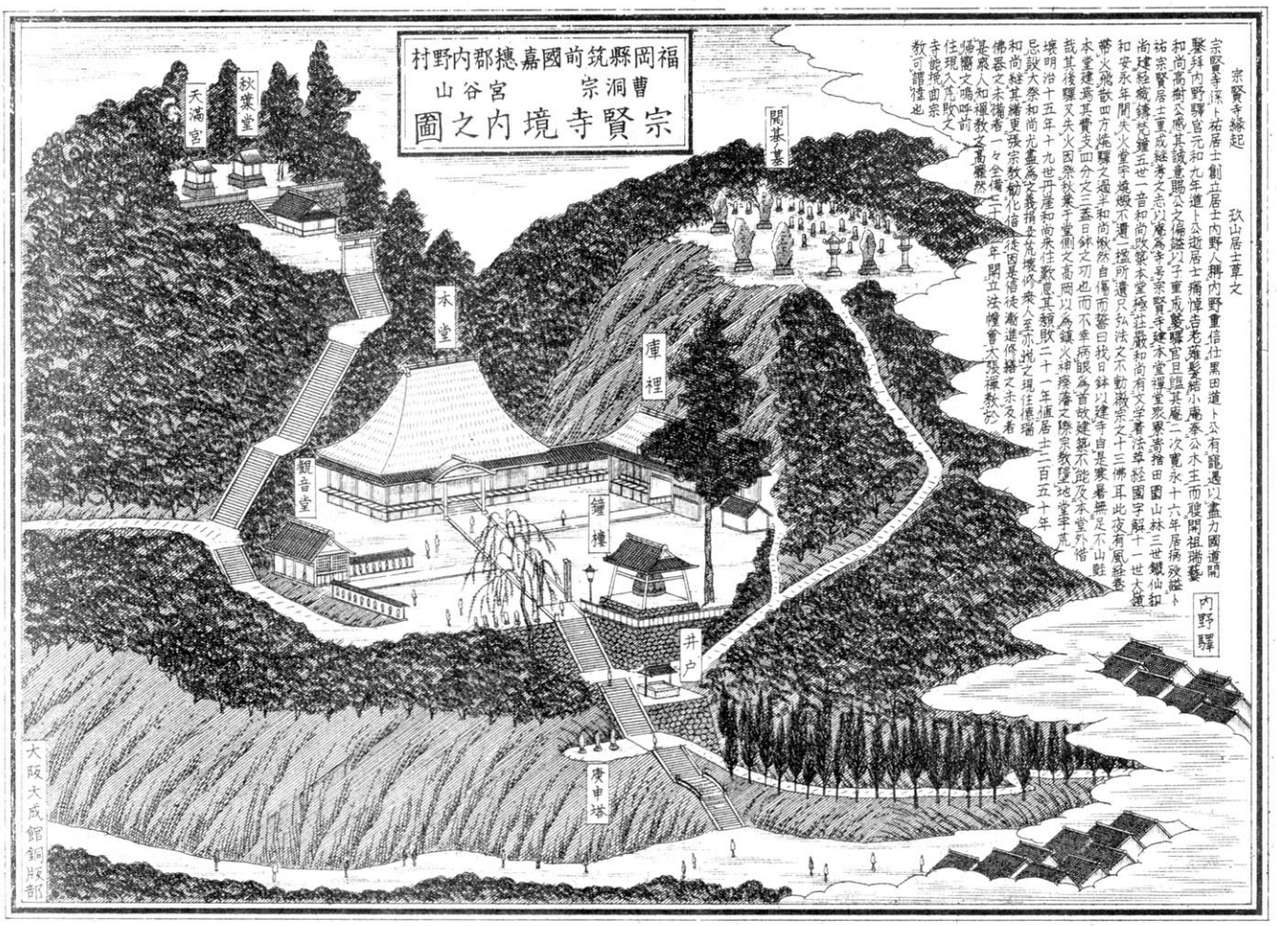

福岡縣筑前國嘉穗郡大隈町
大字上下　村　社
天神社境内之圖
交宮山
本社
拜殿
通拜所
諏訪神社
守實神社
繪馬殿
貴舟社
木下次郎孝子塚
觀音堂
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穂郡大隈町
浄土宗
智満山
福圓寺境内之圖
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國嘉穂郡白定村
大字椎本
八幡神社境内之圖
大阪大成館銅版部



大根地神社ハ筑前國嘉穗郡内野村大根地山頂ニアリテ天神七代地神五代ヲ祭レリ往昔ハ神功皇后羽白熊鷲ヲ古處山ニ討ナ遣ミテ三韓ヲ平ゲントテ此山ニ登リ賛襲ヲ揚エテ天神地祇ヲ請ヒ発途祭ヲ為テ戦勝ヲ祈リ又親ラ神楽奏シ給ヒシヨリ起レリ而シテ明治二十二年伏見稲荷神社ノ分霊ヲ祀ヒトセルヲ實ニ故ナキニアラズ蓋シ古老ノ口碑ニヨレバ建久年間源頼朝冨士野狩ノ際神通自在ノ白狐通レテ此山ニ移レリト云フ由来此ノ如ク靈験亦新ナルヲ以テ遐邇其名ヲ聞キテ参拝スルモノ古ヨリ今ニ至リテ益々愛ク掌ヲ虚日ナシ故ニ社務所等為ヶ備ハリ且其レ一タビ此山ニ登レバ東ハ遠ク周防灘ヲ靈験ニ見西ハ近ク玄海灘ヲ眼下ニ見南ハ筑後ノ膏野ヲ隔テ有明海中温泉岳ノ天雲ニ望ムルヲ眺メ北ハ微ニ山間ヨリ靈峯海ヲ覗フ様ニ而筑前豊前治スルモノ其数ヲ知ラス祭日ハ二月初午三月七日八日十一月八日ナリ三月ハ八神楽ヲ奏シ七日内野産神ニ神幸八日還宮アリ實ニ皇后ノ聖意ヲ奉スルナリ今皇后登山ノ遺跡ヲ問ヘバ山名ハ一夜此山ニ御陣マシヽ後変泊山ト宣ヒシヨリ轉訛セリ又山半腹ハ御平坦ニシテ是レヨリ頼朝ノ嶮山頂ナルヲ以テ望軍ノ大小旗幟此ニ皆リキ故ニ大駄原ト名ツク幡子ニ近ク鳥帽子岩ハ皇后ノ傘ヲ給ヒシ百僚鳥帽子ヲ脱ヘルニ似タリシヨリ皇后ノ称ヲ為ヘルモノヽヨリ（境外ニ数宿アリ）

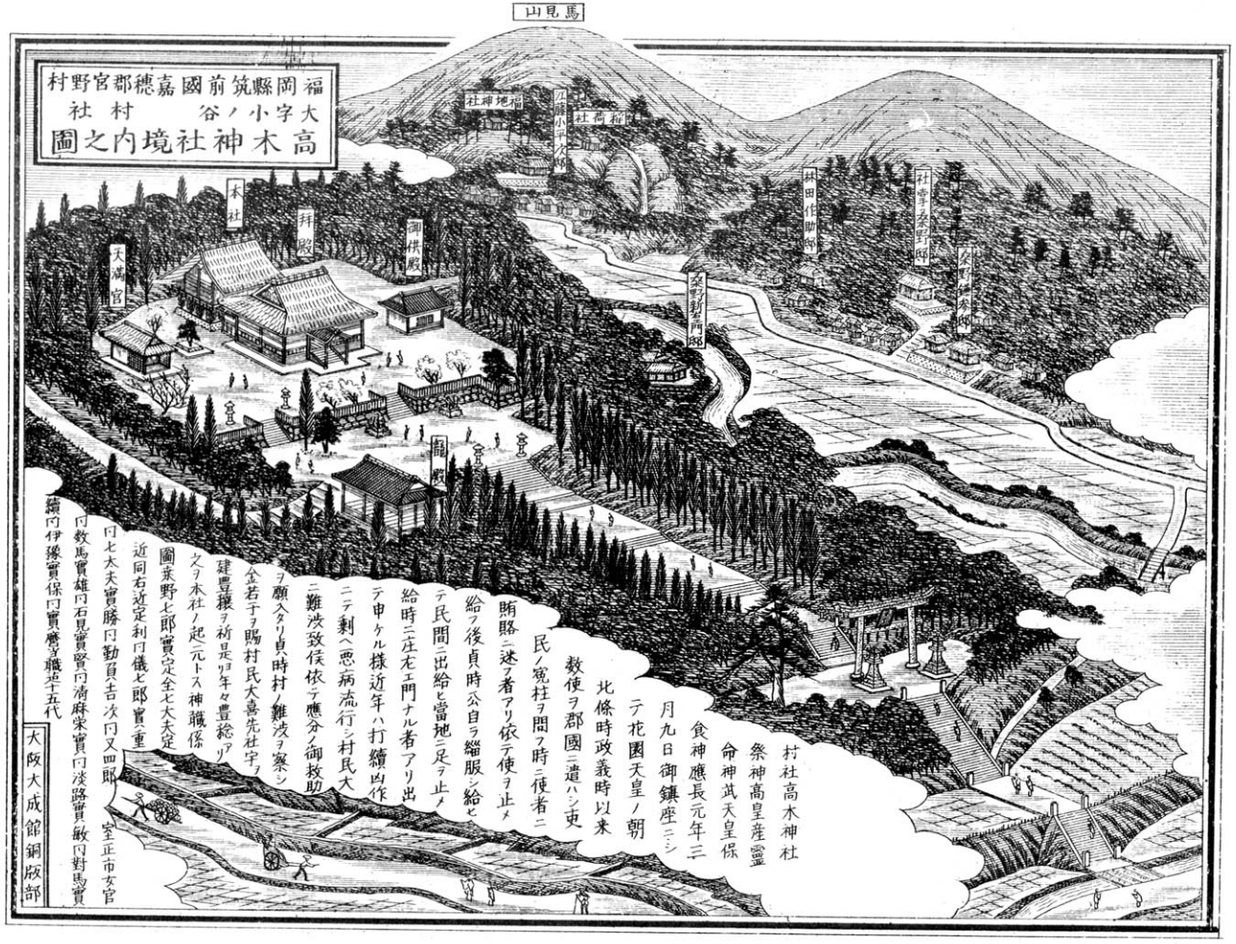


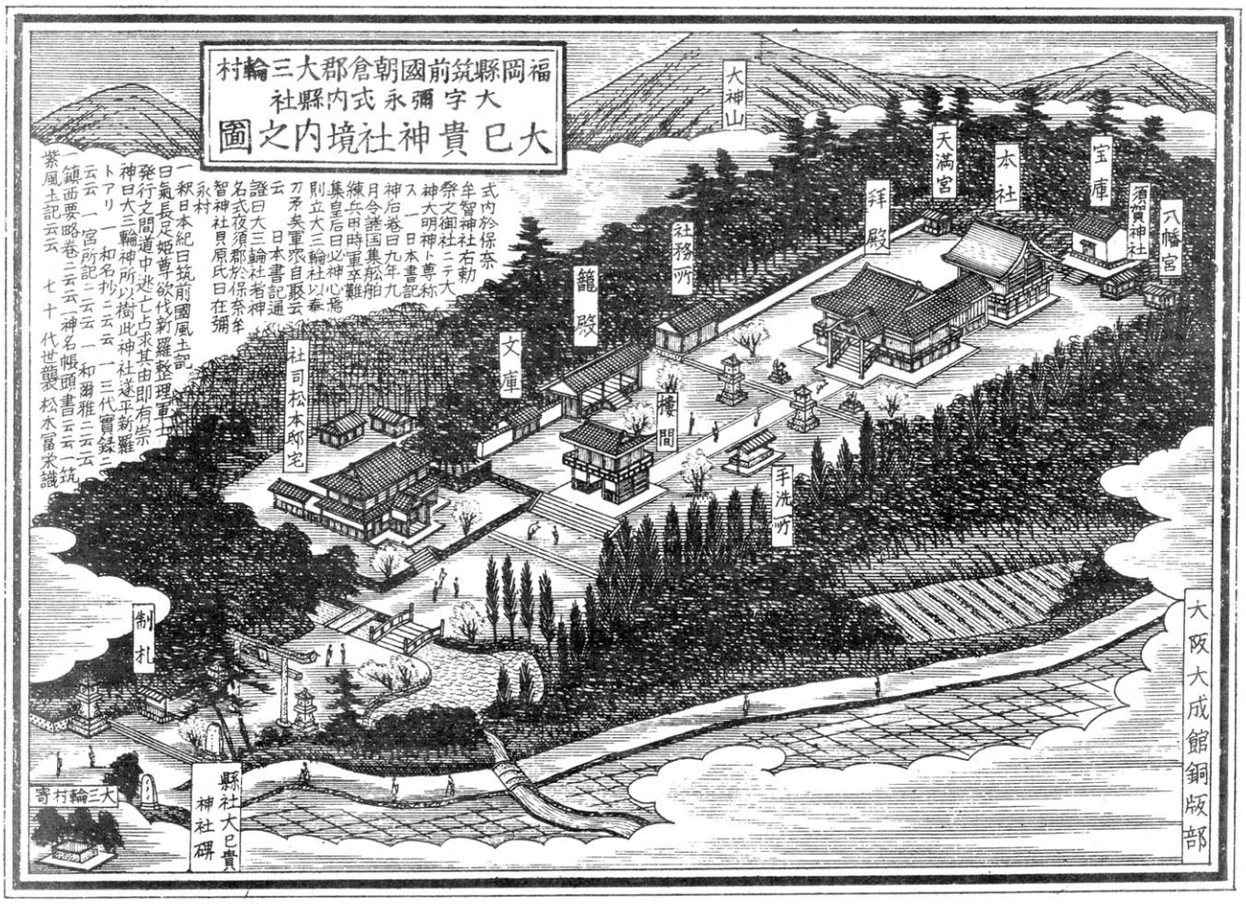
宗賢寺縁起

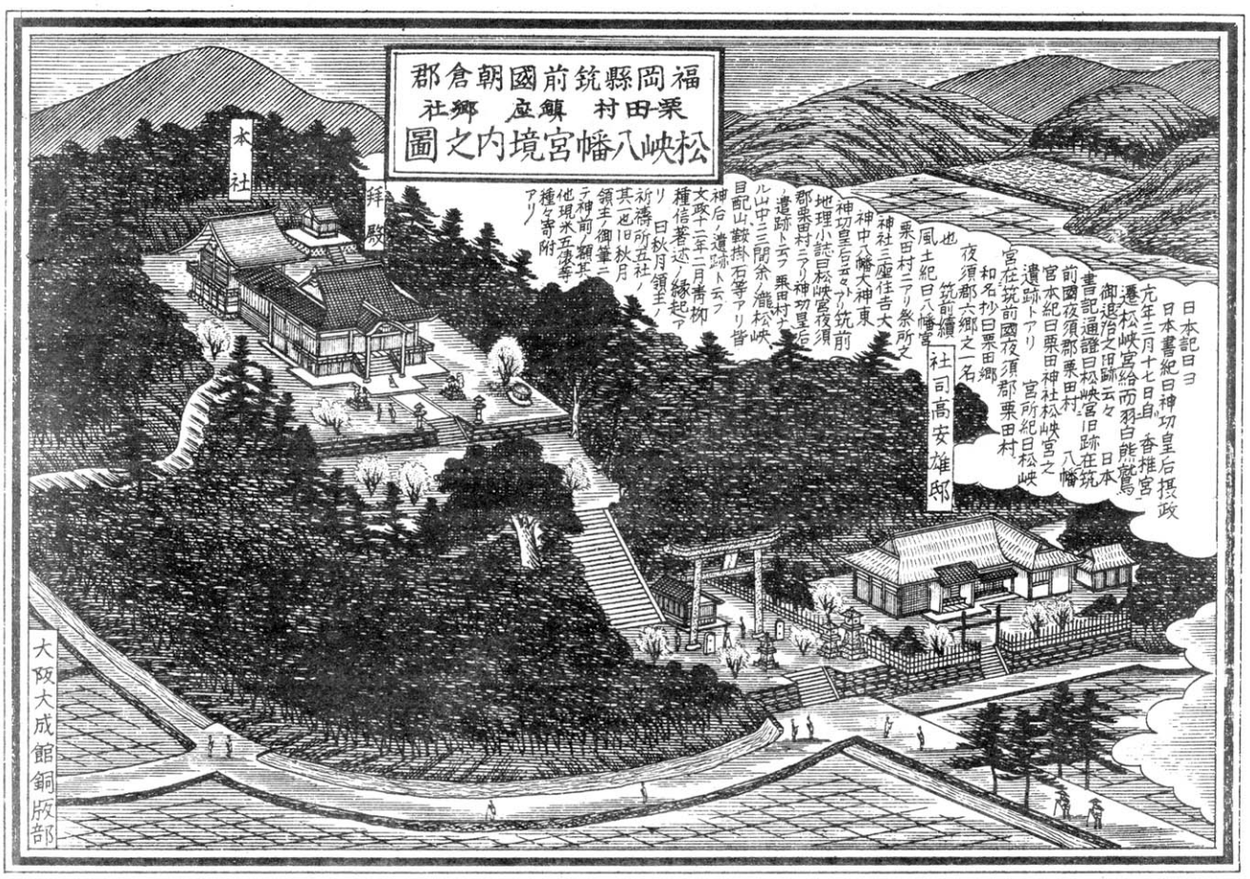
玖山居士草文

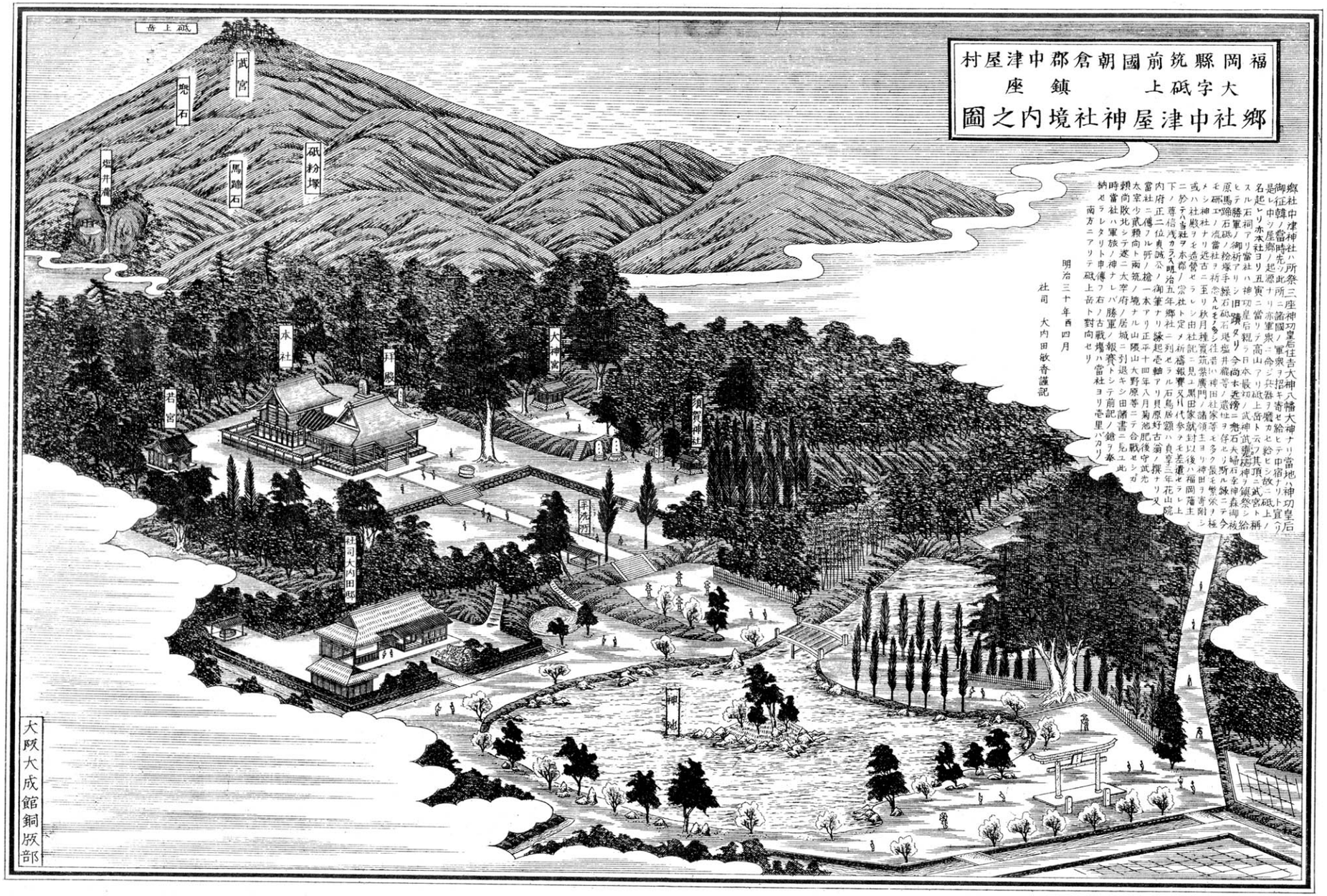
宗賢寺深ト祐居士創立居士野人耕内野重信仕黒田道ト公有龍遇以盡力國道開聚拝内野驛官元和九年道ト公逝居士稱憚告老薙髪結小庵奉公水主而穫開祖瑞嶽和尚高齢公感其誠意賜公之偏諡以子重成繼家督旦臨其庵一次寛永十六年居病殁嗣ト祐宗賢居士重成継著之志以父偏為寺号宗賢寺建本堂禅宗家乗寄指田園山林三世螺仙和尚建経蔵鐘楼鐘五世一音和尚改築本堂極荘厳歴和尚有文学者法華経國字解十一世大徹和安永年間失火堂宇焼燬不遺一経所遺只弘法之不動徴宗之十三佛耳此夜有感経巻帯火飛散四方満驛之衆和尚懇然自悟而誓曰我日録以建寺自是寒暑無足不山駐本堂建焉其費支四分文三萬日鉢之功也而不幸病脳為昔欲建築不能及本堂外増改其後驛又失火因茲我妻子掌開以為鎮火神陰潜之際宗教隆地堂宇亮壊明治十五年十九世開産和尚来住数意其頽歎二十一年遷居士二百五十年忌設大祭和尚尤盡為之義捐金充増修衆人至亦挑之現住慎端和尚結其縁更強宗教勧化信徒因是信徒敵進修繕之未及者是衆人知禅教之高雖然住現今為改之寺境面宗教可謂憧也

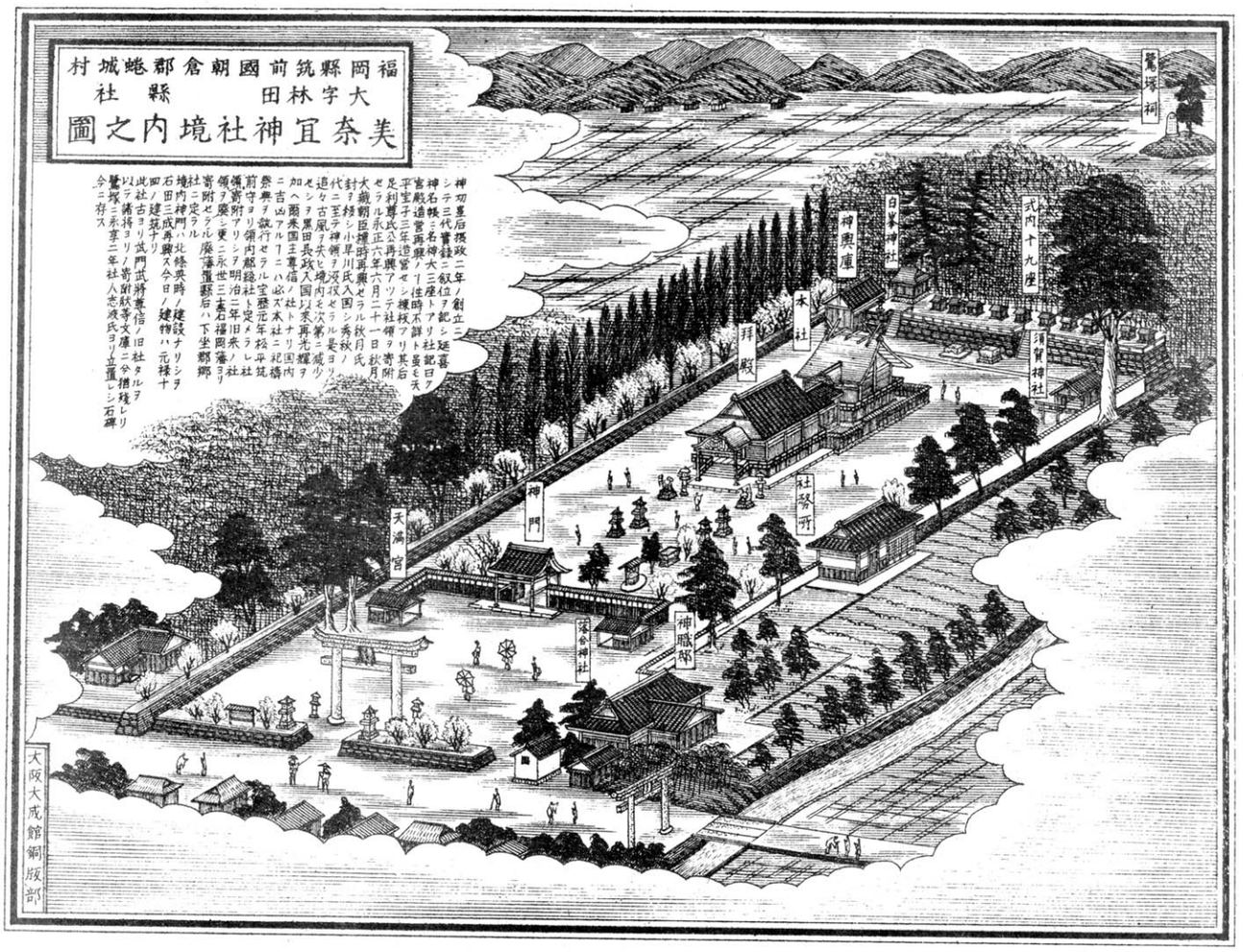
嘱託之鴻呼前

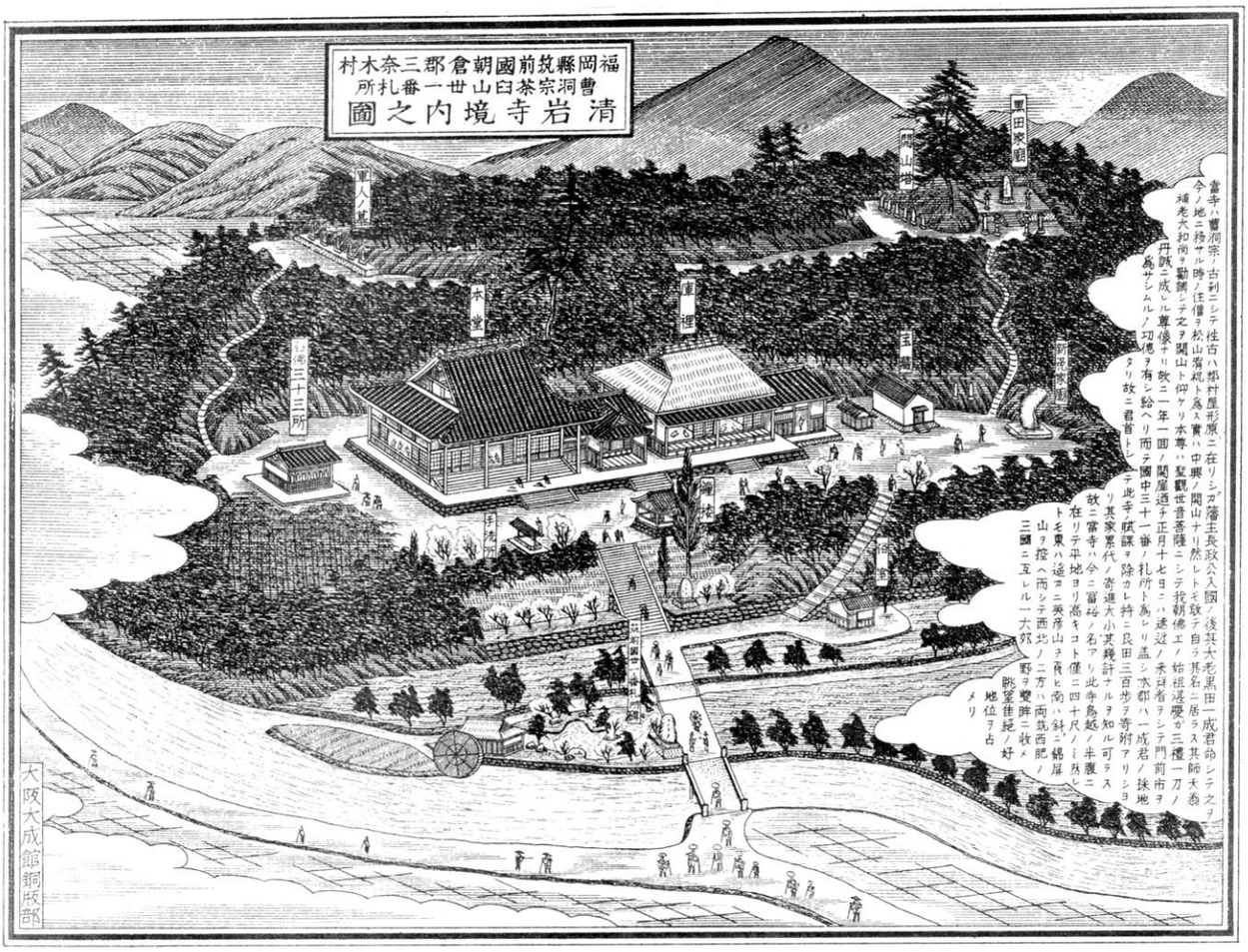

福岡縣筑前國嘉穗郡宮野村
大字小ノ谷　村社
高木神社境内之圖
馬見山
拜殿
本社
大鳥居
神樂殿
社務所
村社高木神社
祭神高皇産靈
命神武天皇係
貧神應長元年三
月九日御鎭座ニシ
テ花園天皇ノ朝
北條時政義時以來
敕使ヲ郡國ニ遣ハシ吏
民ノ寃枉ヲ問フ時ニ使者ニ
賄賂ニ迷フ者アリ依テ使ヲ止メ
給フ後貞時公自ラ縞服ニ給ヒ
テ民間ニ出給ヒ當地ニ足ヲ止メ
給時ニ庄左エ門ナル者アリ出
テ申ケル樣近年ハ打續凶作
ニテ剩ヘ悪病流行シ村民大
ニ難渋致候依テ應分ノ御救助
ヲ願入タリ貞時村ノ難渋ヲ察シ
金若干ヲ賜村民大喜先社宇ヲ
建豊穣ヲ祈是ヨリ年々豊穣アリ
之ヲ木社ノ起元トス神職係
圖兼野七郎實定全七大夫定
近同右近定利円儀七郎實重
円七大夫實勝円勤貢吉次円又四郎
円數馬實雄円石見實賢円清麻呂實円淺路實敏円對馬實
續円伊豫實保円實慶ノ職迄十五代
大阪大成館銅版部
室正市女官

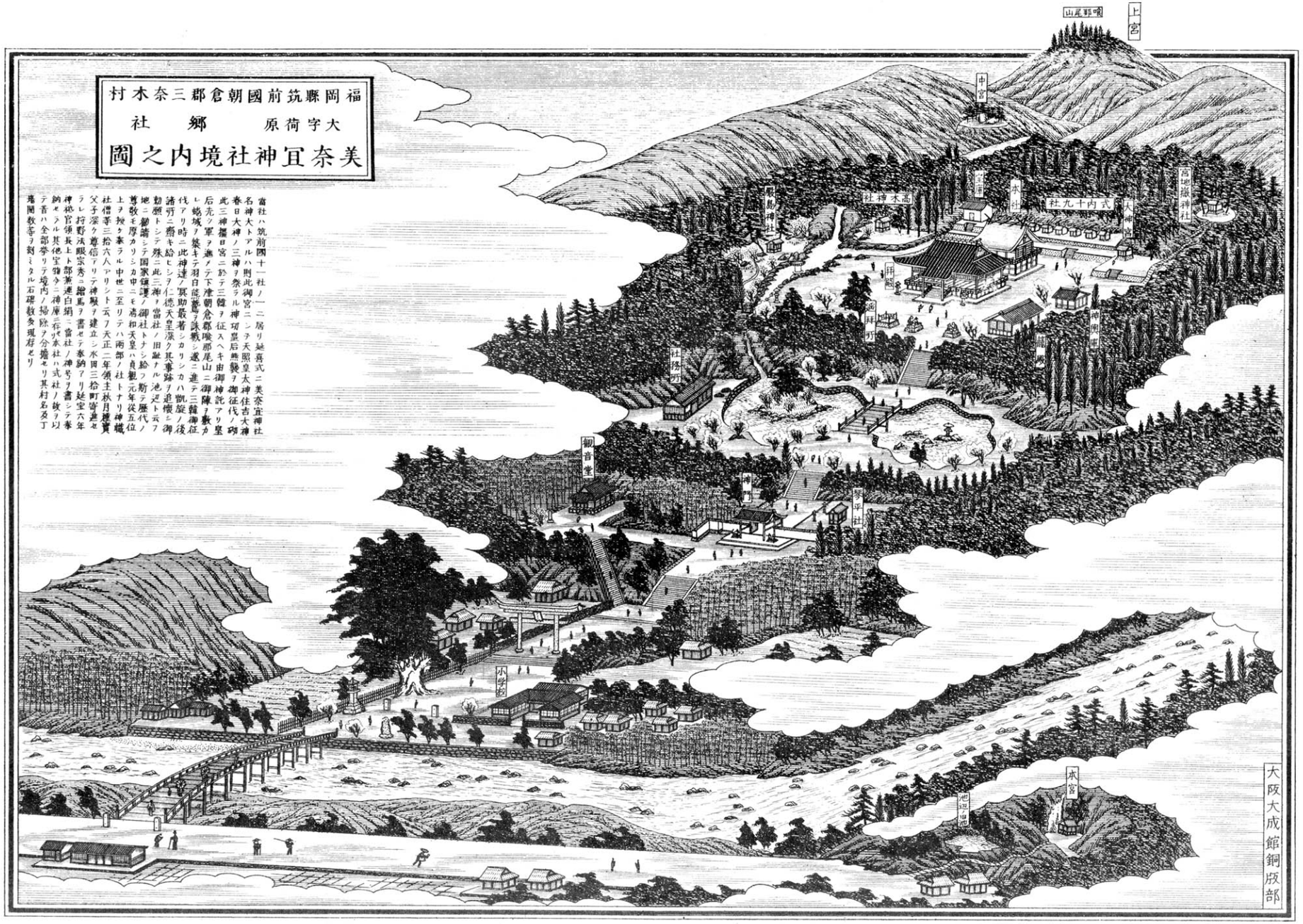

福岡縣筑前國朝倉郡大三輪村
大字彌永式内縣社
大巳貴神社境内之圖
大神山
天満宮
本社
宝庫
拝殿
八幡宮
須賀神社
社務所
籠殿
文庫
樓閣
手洗所
制札
縣社大巳貴神社碑
大三輪村寄
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國朝倉郡
栗田村 鎭座 鄉社
松峡八幡宮境内之圖
本社
拝殿
大阪大成館銅版部

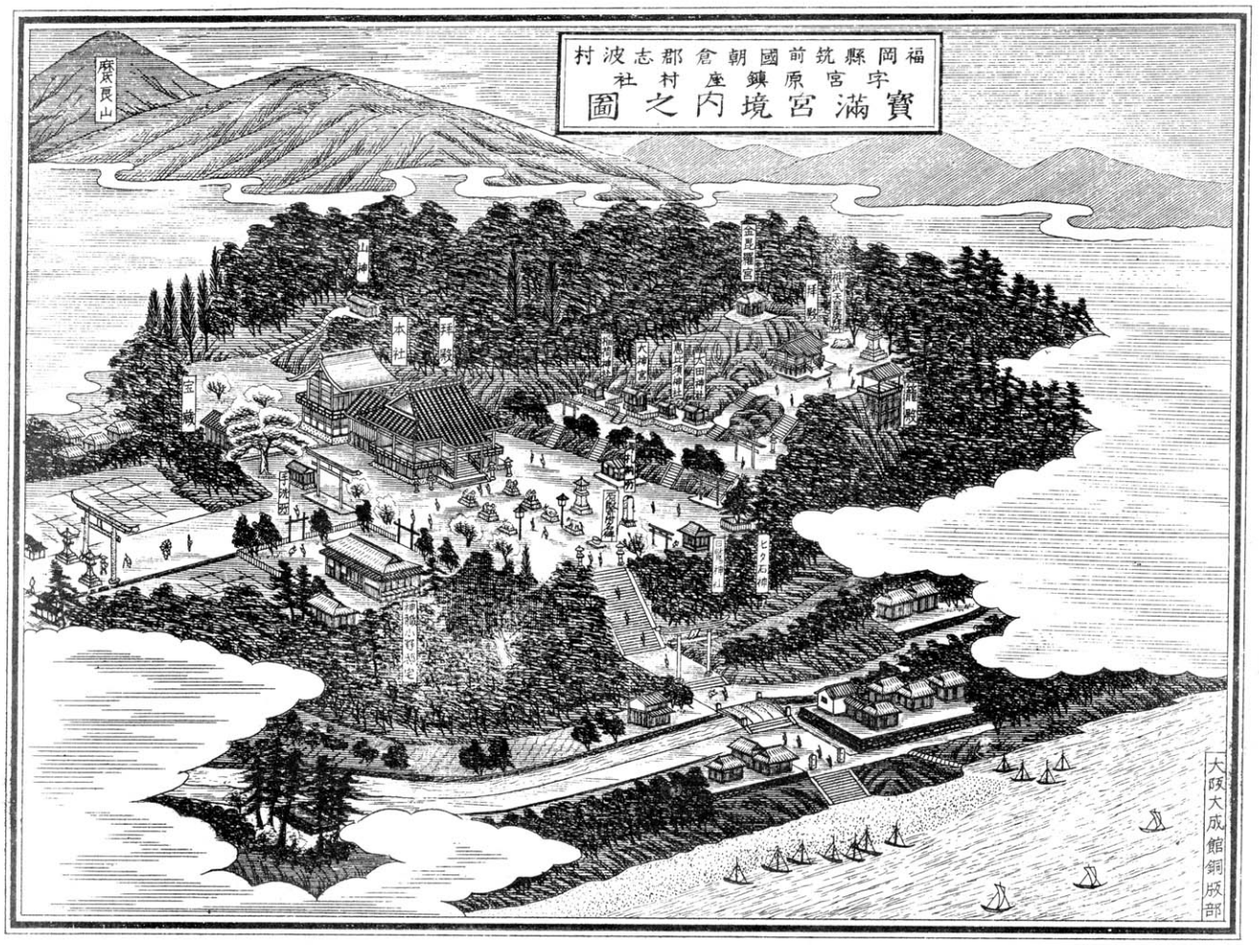

福岡縣筑前國朝倉郡中津屋村
大字砥上　鎮座
鄉社中津屋神社境内之圖
砥上岳
武宮
兜石
砥粉塚
馬蹄石
硫黄井
本社
拝殿
大神宮
若宮
神功皇后
手洗所
社司大内田邸
神池
鄉社中津神社ハ所祭三座神功皇后住吉大神八幡大神ナリ當地ハ神功皇后御征韓ノ當時先ツ此ノ所ニ諸國ノ軍衆ヲ招キ寄セ給ヒテ中宿ナリ中ノ屋鄉ノ起源ナリ赤軍衆ニ命ジ兵器ヲ鑄カセ給ヒシ故ニ砥上ト名起ヒリ赤社ヨリ五寅ニ當リテ高山アリ砥上岳ト云フ其頂ニ武宮ト稱スル石祠アリ當社ハ神功皇后ヲ親ラ日本最初ノ武神ト崇敬シ給ヒシ旧蹟ナリ今尚本殿ノ傍ニ御祈ノ砥粉塚勝軍ノ石馬蹄石硫黄井等アリ又社殿ヲ造營セラレシ由社記ニ見ユ黒田家就封以後ハ福岡藩主ヨリ神田ヲ寄附シ或ハ社殿ヲ造營セラレシ事アリ殊ニ文化五年鄉社ニ列セラル石鳥居額ハ貞享三年花山院内府正二位貞誠公ノ御筆ナリ縁起壱軸アリ貞享甲子古蹟ノ探リナリ又當社ニ傳フル所ノ槍一本アリ正平十四年八月菊池後守武光太宰少貳賴尚ト兩筑ノ境ナル山隈山大野原等ニテ合戰セシガ賴尚敗北シテ遂ニ大宰府ノ居城ニ引退キシ由諸書ニ見ユ此時當社ハ軍旅ノ神ナレバ勝軍ノ報賽トシテ前記ノ鎗ヲ奉納セラレタリト申傳フ右ノ古戰場ハ當社ヨリ壱里バカリ兩方ニアリテ砥上岳ト對向セリ
明治三十年酉四月
社司　大内田敏奇識記
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國朝倉郡蜷城村
大字林田　縣社
美奈宜神社境内之圖
神功皇后攝政二年ノ創立ニシテ三代實録ニ叙位ノ記シ延喜神名帳ニ名神大二座トアリ社記ニ日ク宣化天皇再興ノ佳時不詳虽モ天平宝字三年造営ヲ繕校アリ其后足利尊氏公再興アツテ社領ヲ寄附セラル永正六年六月二十一日秋月大織朝臣種實セラル秋月氏封ヲ移シ小早川氏入国シ秀秋ノ代ニ至テ神領ヲ没収セラル是ヨリ追々古風ヲ失ヒ境内モ次第ニ減少セシヲ黒田長政入国以来再ビ興隆ヲ加ヘ爾来国主尊信ノ社トナリ国内ニ吉凶アルニハ必ズ本社ニ祀禱祭典ヲ執行セラル宝暦元年松平筑前守ヨリ領内郡鎮ト定メラレ社領ヲ附セラレシガ明治三年旧ノ領ヲ奪ハレ更ニ永世三十石ヲ賜ハル社ニ定メラル境内北隣奥時ノ建設ナリシヲ石田三成再興ス今日ノ建物ハ元禄十四年古ヲ慕ヒ旧ノ社タルヲ以テ造営ス門武將黄信ノ旧社ニ寄附セラレシ石碑今ニ存ス
驚塚
神輿庫
式内十九座
日吉神社
本社
須賀神社
拝殿
社務所
神門
天満宮
神職邸
若宮神社
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國朝倉郡三奈木村
曹洞宗茶臼山一世一番札所
清岩寺境内之圖
書寺ハ曹洞宗ノ古刹ニシテ往古ハ郷村屋形原ニ在リシガ籠主長政公入國ノ後其大老黒田一成君命シテ之ヲ今ノ地ニ移サル時ノ住僧ヲ松山宥超ト為ス實ハ中興ノ開山ナリ然レトモ致テ自ラ其名ニ居ラス其師天奄補老大和尚ヲ勸請シテ之ヲ開山ト仰ケ本尊ハ聖觀世音菩薩ニシテ我朝佛工ノ始祖造愛ガ三禮一刀ノ為サシムルノ功德ヲ有シ給ヘリ而テ國中三十一番札所ト為レリ蓋シ永郡ハ一成君ノ採地ニテ此寺ハ課ヲ除カレ持ニ良田三百歩ヲ寄附アリシヨリ其家累代ノ寄進大小其幾許ナルヲ知ル可ラス故ニ當寺ハ今ニ冨裕ノ名アリ此寺ハ烏越ノ半腹ニ在リテ平地ヨリ高キコト僅ニ四十尺ノミ然レトモ東ハ遥ニ英彦山ヲ負ヒ南ハ斜ニ鍋屋山ヲ控ヘ而シテ西北ノ二方ハ筑西肥ノ三國ニ亙レル一大郊野ヲ瞰下シ眺望佳絶ノ好地位ヲ占メリ
里田家中墓
門
山門
鐘楼
本堂
庫裡
主屋
御供所
三十三所
大阪大成館銅版部

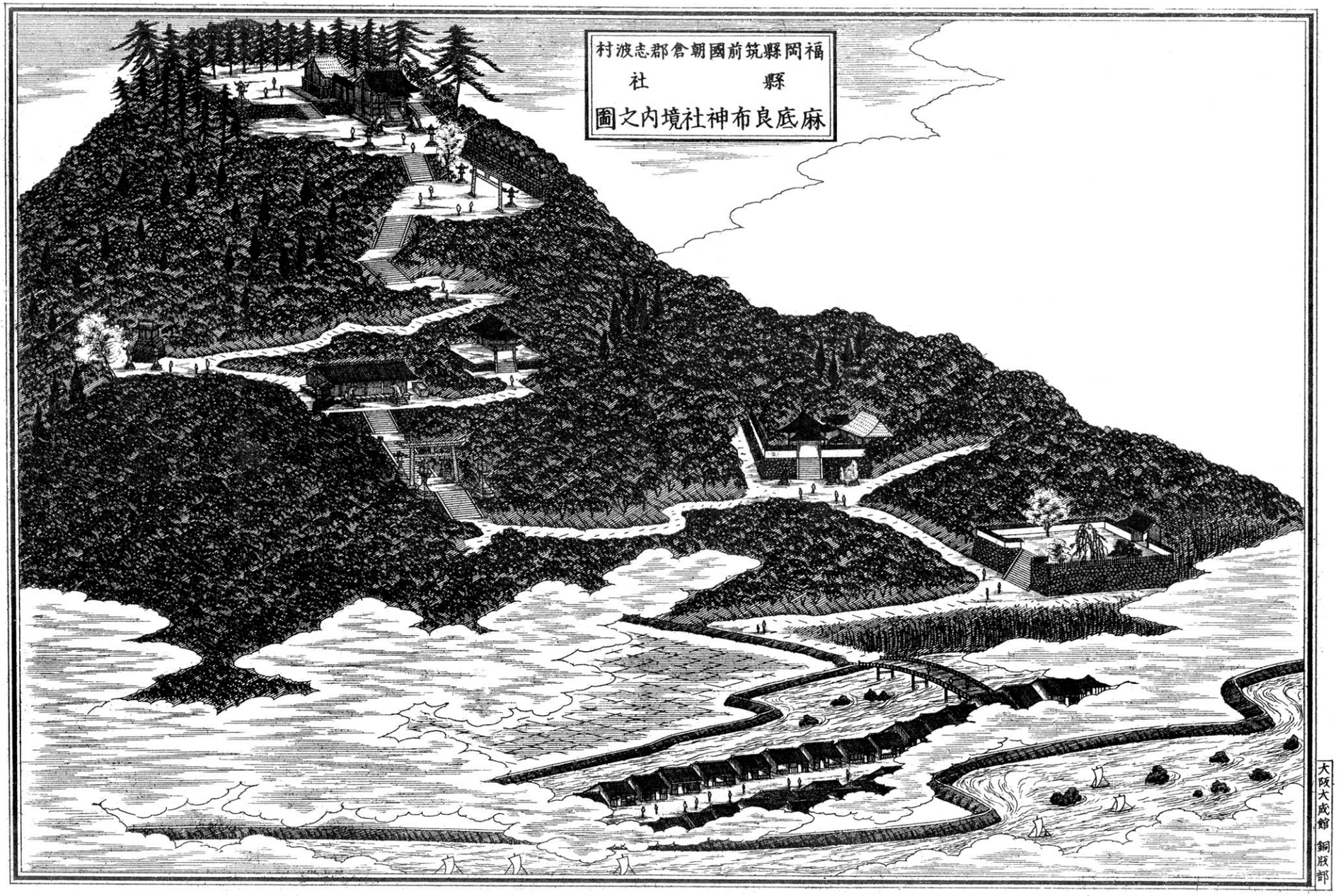

福岡縣筑前國朝倉郡三奈木村
大字荷原　鄕社
美奈宜神社境内之圖
當社ハ筑前國十一社ノ一ニ居リ延喜式ニ美奈宜神社名神大トアルハ則此御宮ニシテ天照皇太神住吉大神春日大神ノ三神ヲ祭ラル神功皇后無雙ヲ御征伐ノ砌此三神攝日宮ニ於テ三體ヲ征スヘキ由御神託アリ皇后先ツ軍ヲ遣ノ下津朝倉郡嘆那尾山ニ御陣ヲ敷カレ蜷城ヲ築キテ羽白熊鷲ヲ誅戮シ遂ニ進テ三韓御征伐アリ時ニ此神達ノ冥助最著シカリシカハ凱旋ノ後諸所ニ齋キ給ヒシヲ仁徳天皇深ク其事跡ヲ追懐シ御勤歴トシテ殊ニ此三神ヲ當社ノ旧趾ナル池辺ト云フ地ニ勸請シテ国家鎮護ノ御社トナシ給フ斯テ歴代ノ尊敬ヲ厚カリシカ中ニモ鳥羽天皇ハ貞觀元年從五位上ヲ授ケ奉ラル中世ニ至リテハ兩部ノ社トナリ神職社僧等三拾六人アリシト云フ天正二年領主秋月種實父子深ク尊信アリテ神殿ヲ建立シ水田三拾町寄進ヲラレ狩野法眼宗秀ヲ繪馬ヲ書セテ奉納アリ延宝六年神祇官領長上部兼連白朝ニ當社ノ神号ヲ書シテ奉納セラル其他宝物今ニ神庫ニ存ス本社ハ式社ノ故ヲ以テ吾ハ全部挙リテ境内ノ掃除ヲ分擔セリ其村名及丁場間数等ヲ刻ミタル石碑数多現存セリ
上宮
中宮
本社
高木神社
武内十九社
大神宮
高地蔵神社
厳島神社
神樂殿
社務所
觀音堂
手水舎
小学校
本宮
地蔵堂
大阪大成館銅版部

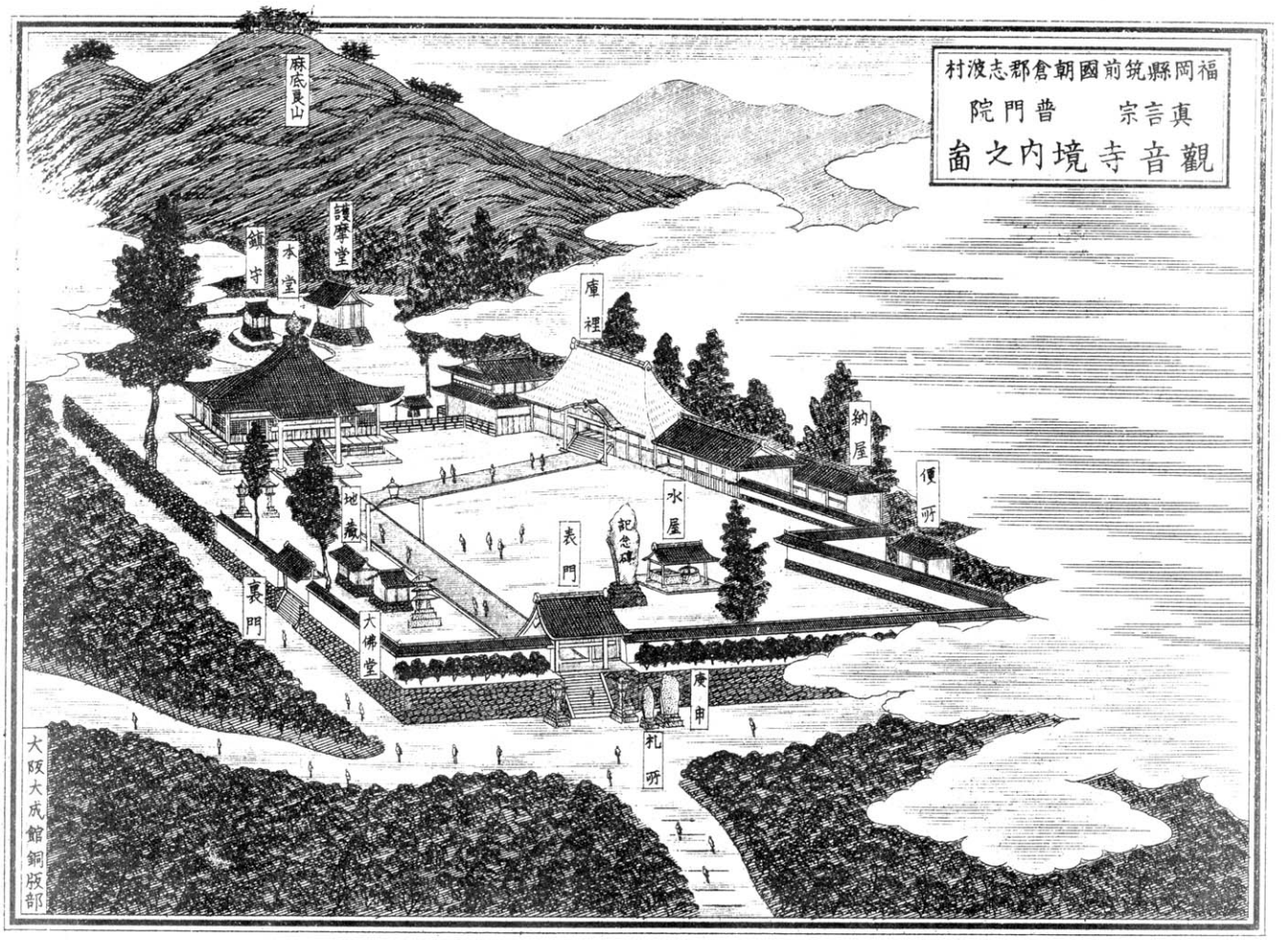

福岡縣筑前國朝倉郡朝倉村
字惠蘇宿　鄕　社
惠蘇八幡神社境内之圖
本社ハ朝倉山ノ麓ニシテ往古ヨリ八幡大神御鎭座々ス靈地ナリ其後天武天皇御宇白鳳年中勅命ニ依リ齊明天皇天智天皇二帝ノ御神靈ヲ合祀シ惠蘇八幡大神ト崇メ奉ル所ナリ抑此境内地ハ古來最モ有名ノ旧蹟タルハ國史旧記上歷々明記スル所ニシテ八皇三十八代齊明天皇百濟國救援ノ爲中大兄皇子(天智天皇)ト共ニ本國ニ西狩在シ際本郡朝倉橘廣庭宮ニテ崩御在シテ假ニ殯葬シ奉ル陵則此境内ナリ其時天智天皇御衾ニ龍ラセ玉フ屋盧乎水丸殿又黒木殿トモ云ヘリ丸木ニテ作レル故ナリ朝倉木丸殿ハ則是ナリ又此処ニ置玉フ関ヲ朝倉ノ関又ハ名乘関トモ云ヘリ以上列記スル如ク有名ナル古蹟タルヲ以其筋ノ調査ニ依リ去ル明治廿五年九月廿三日旧蹟名区ニ編入サレタリ
左石良山
齊明天皇御陵
大神宮
本社
愛宕社
社務所
旧別當長安寺朝倉郡
井戸
大神宮
旧八ツ九ツ
大神宮
関神社
小神社
井戸
秋ノ田
水神社
天智帝月見石
御旅所
大阪大成館銅版部

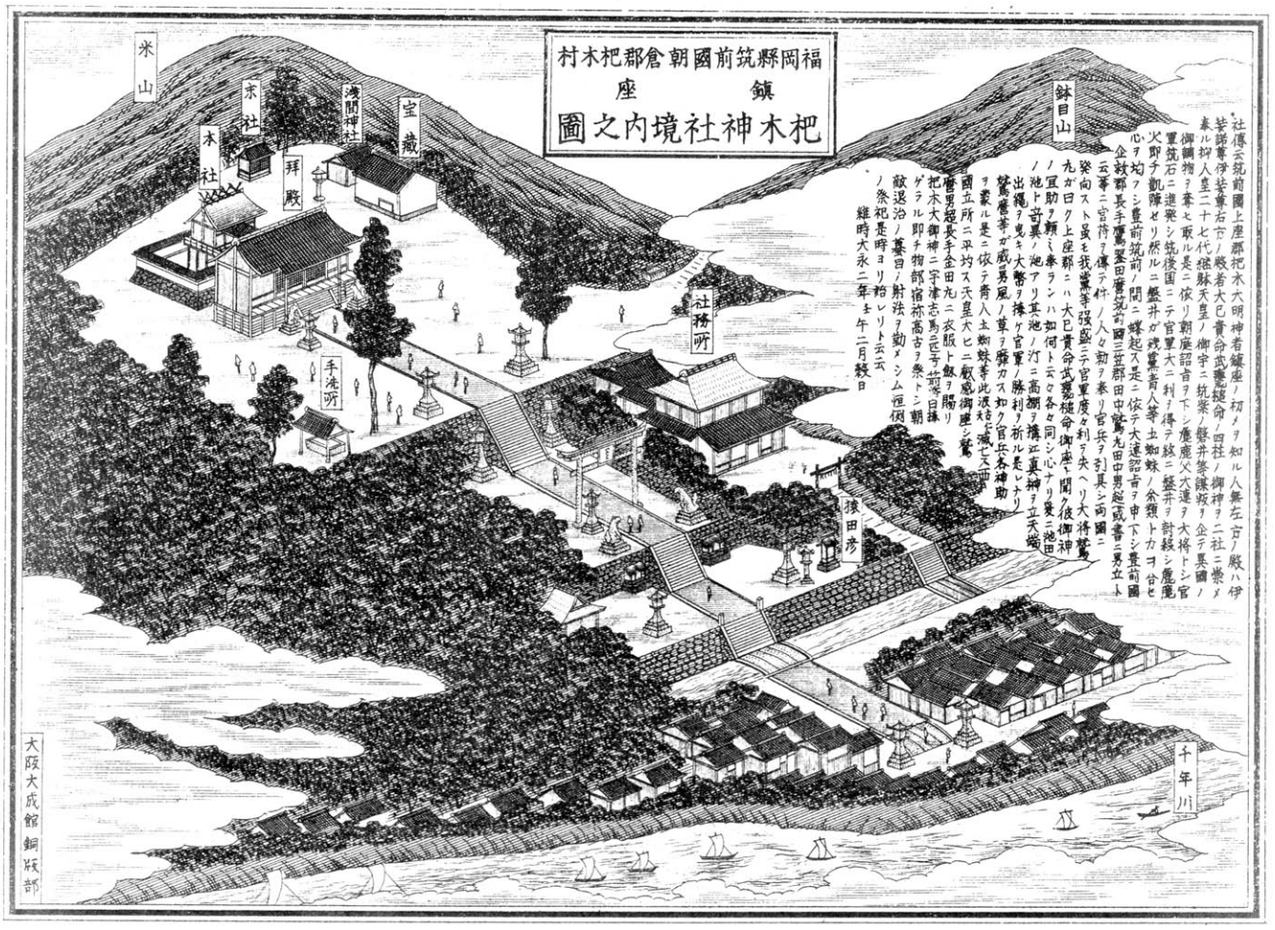




抑當山ハ大同四年筑後國御原郡本郷城主三原彈正時勝有感自発心出家シテ當山ヲ開創ス此ノ時金鳥山金應寺ト号ス本尊聖觀世音菩薩ヲ安置ス尓後寛正年閒洪水ノ爲メニ一山崩与中絶スルニ本尊聖觀世音菩薩ノミ殘リテ小堂ニ安置アリシナリ又慶長十年ニ至リ當國ノ主黒田如水公ノ功臣栗山備後利安主君如水公爲ニ一寺ヲ建立シ右ノ觀世音菩薩ヲ本尊トナシ御法號ヲ以テ寺号ニ名ケ即チ金鳥山金應寺ヲ龍光山圓清寺ト改メ自ラ開基トナルナリ

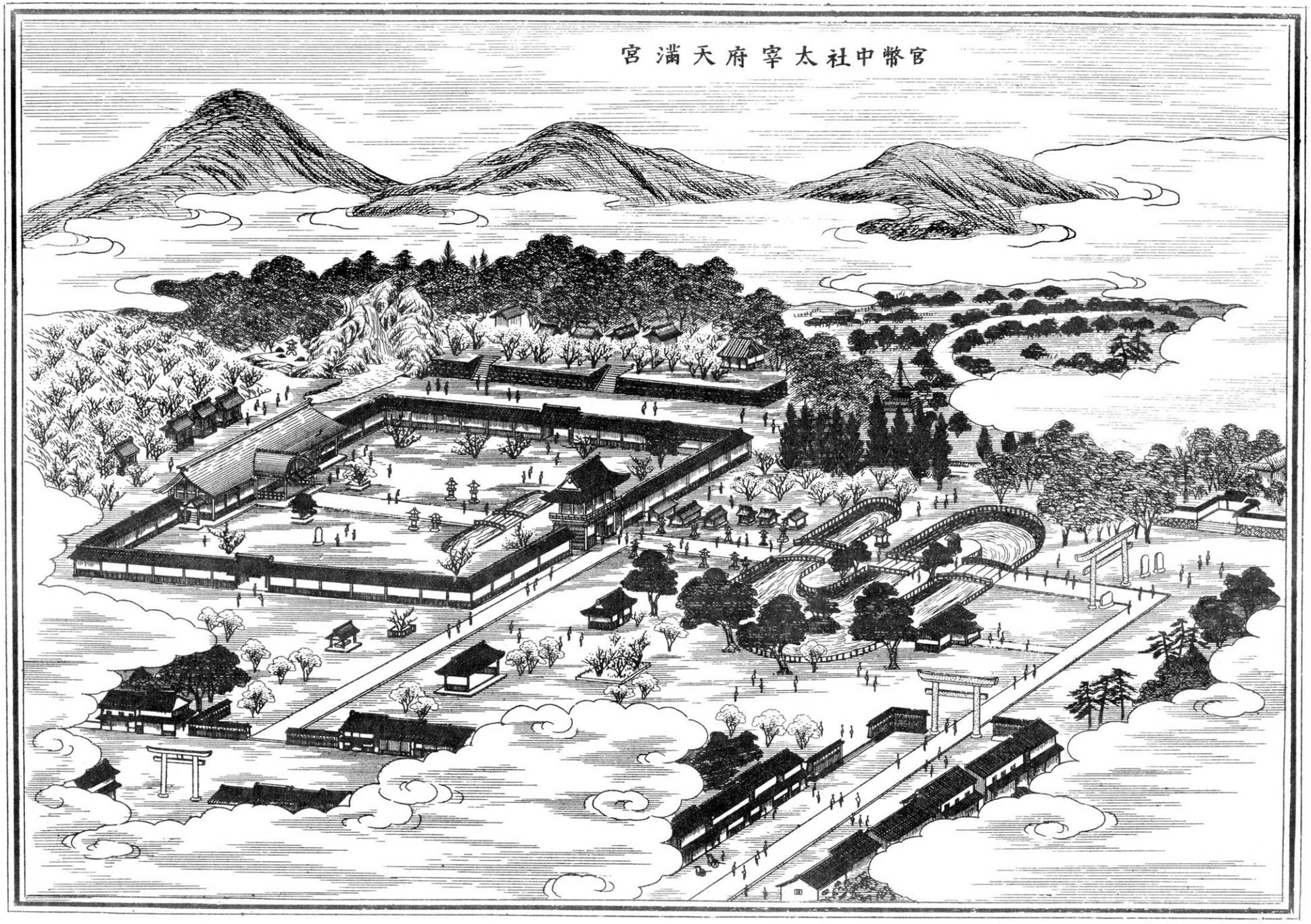

福岡縣筑前國朝倉郡志波村
縣社
麻底良布神社境内之圖
大阪大成館銅版部

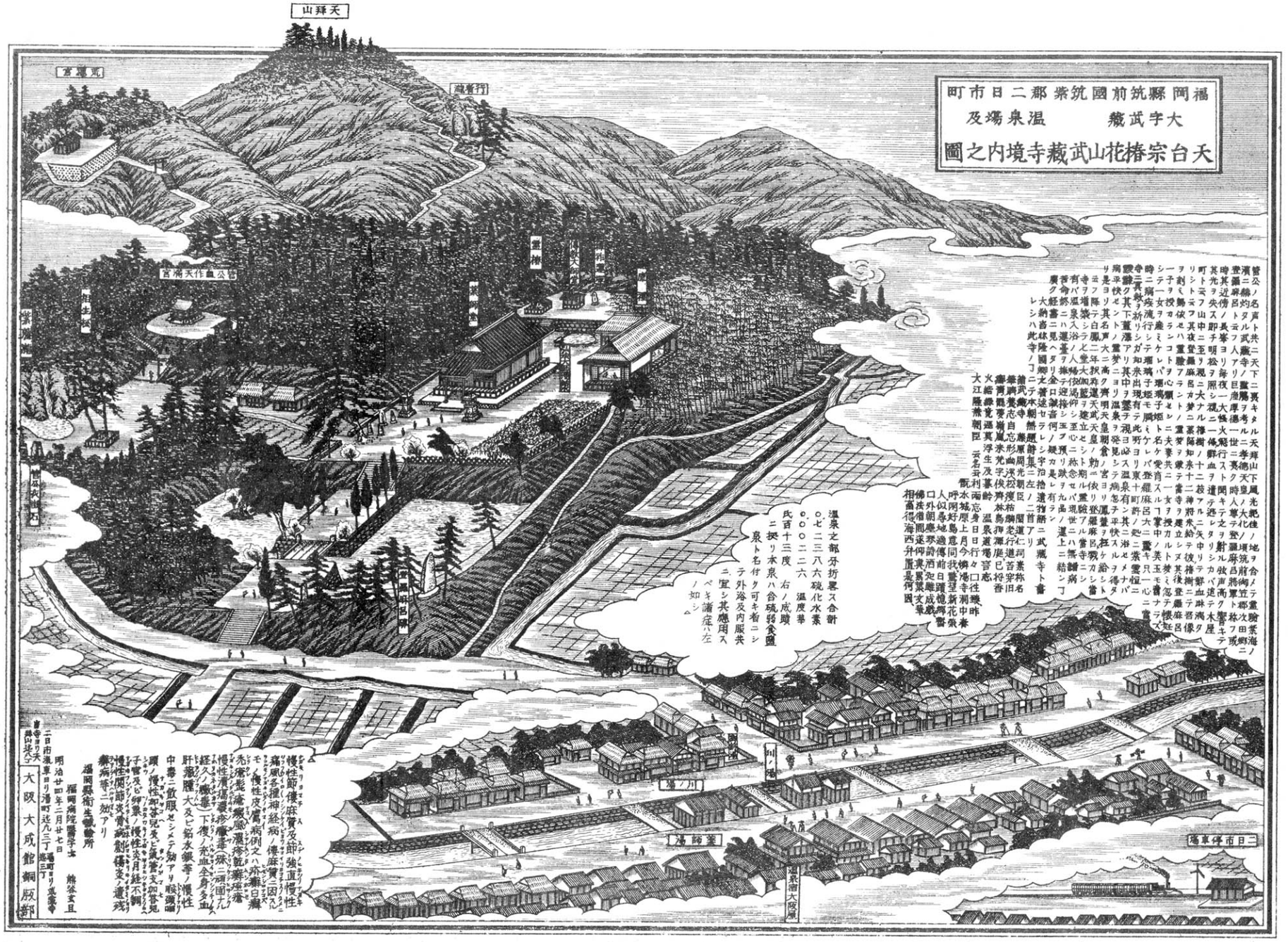


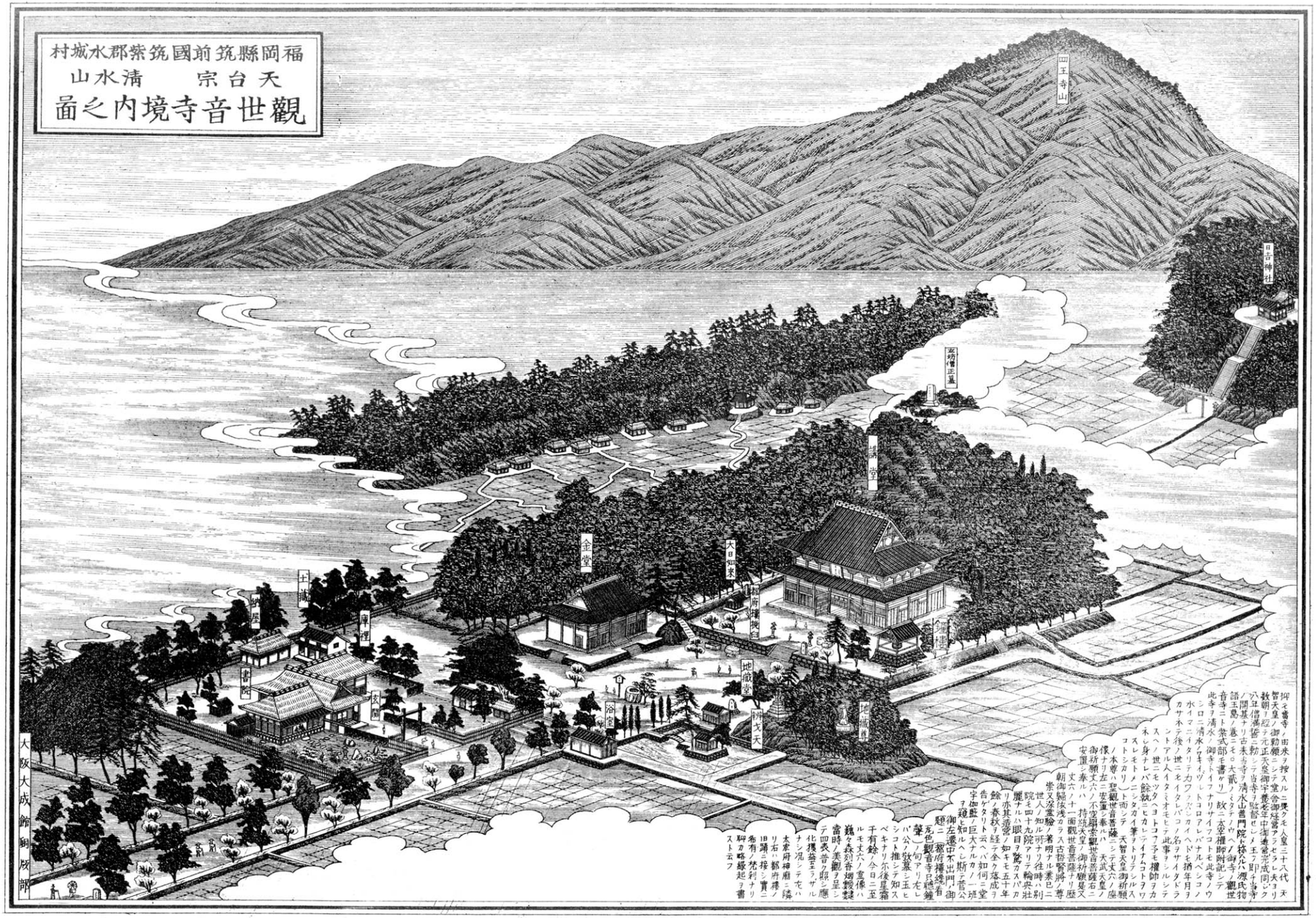


社傳云筑前國上座郡杷木大明神者鎮座ノ初メヨリ知ル人無シ左リ官ノ殿ハ伊弉諾尊伊弉冉尊右ノ殿者大己貴命武甕槌命ノ四社ノ御神ヲ二社ニ崇メ奉ルト云人皇二十七代継躰天皇ノ御宇ニ筑紫并築嶺殿ヲ企テ異國ノ御調物ヲ奉ラセ取ルヲ是ニ依リ朝座詔言ヲ下シ麁鹿火大連ヲ大将トシ官軍筑石ニ遣ハシ筑後国ニテ官軍大ニ利ヲ得テ終ニ盤井ヲ討殺シ麁鹿火即チ勲功ゼリ然ルニ盤井ガ残黨豊肥ノ人等土蜘蛛ノ余類トカヨ合セ心ヲ協フシ豊前筑前ノ間ニ蜂起スヲ是ニ依テ大連詔言ヲ申下シ豊前國企救郡長手鷹巣田鷲尾筑前國三笠郡田中鷲尾田鷲尾ノ男越戚書ニ見立ト云事ニ官符ヲ傳テ件ノ人々勅ヲ奉リ官兵ヲ引具シ両國ニ発向スト雖モ我黨孝強盛ニテ官軍度々利ヲ失ヘリ大将驚九カ日ク上座郡ニハ大己貴命武甕槌命御座ス聞ク彼御神ノ冥助ヲ頼ミ奉ラハ如何トテ各々同心ナリ爰ニ池田ノ池ト云所ニ高樹ヲ撰ミ真榊ヲ立天端出縄ヲ曳キ大幣ヲ榊ノ傍ケ官軍ノ勝利ヲ祈ルヘシトテ幣帛ヲ献リ祈誓ノ事ヲ奏ス此ノ時ニ当リ大将ノ夢ニ神人来リ告テ曰ク汝等ガ願ノ事ヲ叶ヘント欲セハ我ヲ祭ルヘシ我ハ是ニ依テ貴人ト現ハレ来ル事此度ヲ始トシ永ク官兵ヲ滅ス事ヲ誓ハン為ニ所ニ平均天皇ヘ上ニ献ル御座ヲ敷キ其上ニ衣服ト御ヲ置キ男越長手金田丸ニ衣服ト御ヲ賜リ杷木大御神ニ宇津志馬ニモ等ヲ献ル日様ゲラルル即チ物部宿祢高古ヲ祭トシ朝敵退治ノ幕目ノ射法ヲ勤メシム恒例ノ祭祀是時ヨリ始レリト云云

維時大永二年壬午二月穀日

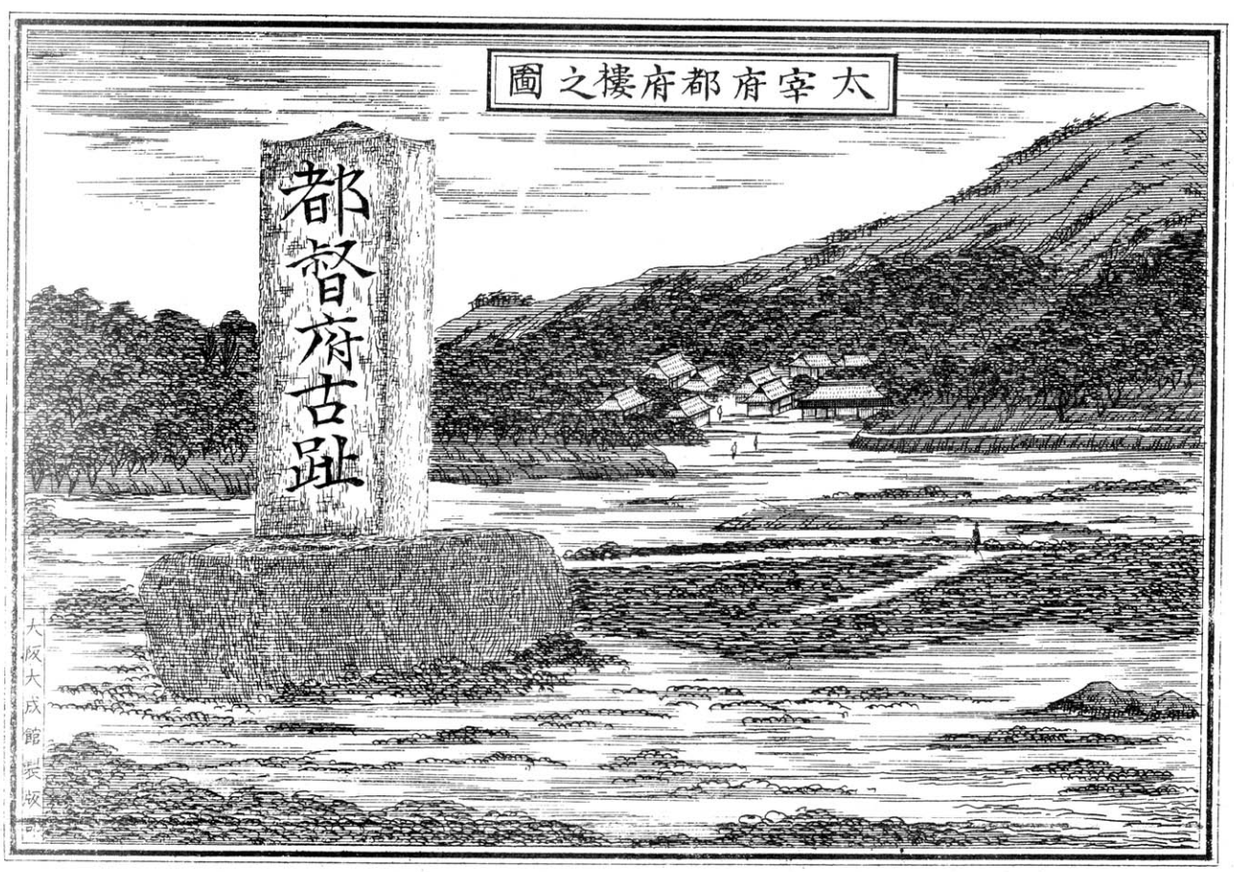

官幣中社太宰府天滿宮

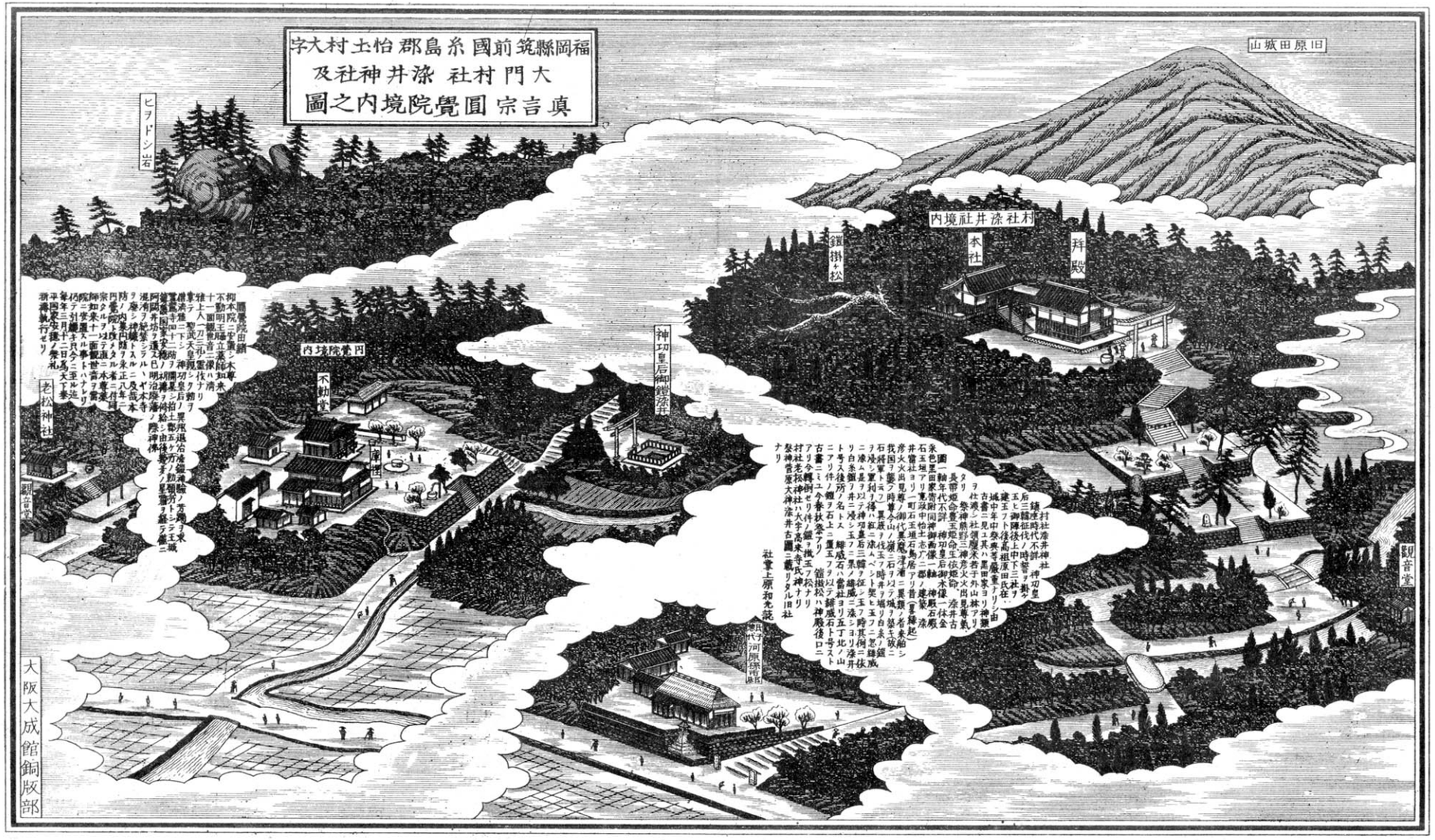

福岡縣筑前國筑紫那二日市町
大字武藏　温泉場及
天台宗椿花山武藏寺境内之圖
天拜山
行者岳
鬼嶽宮
公作鑑天滿宮
聖德太子
温泉之都牙折峯ス合計
〇.ゼ二三八六硫化水素
〇.〇〇二二六　温度華氏百十三度　右ノ成績ニ拠リ本泉ハ含硫弱食鹽泉ト名付ク可キ者ニシテ外浴及内服共ニ宜シ其應用スベキ諸症ハ左ノ如シ
慢性節僂麻質及卽強直慢性痛風名擔神經病ノ僂麻質ニ因スモノ慢性皮膚病例之ハ疥癬白癬尋常性濕疹慢性濕疹珍疹等ニ効アリ
慢性濕疹珍疹等ニ効アリ

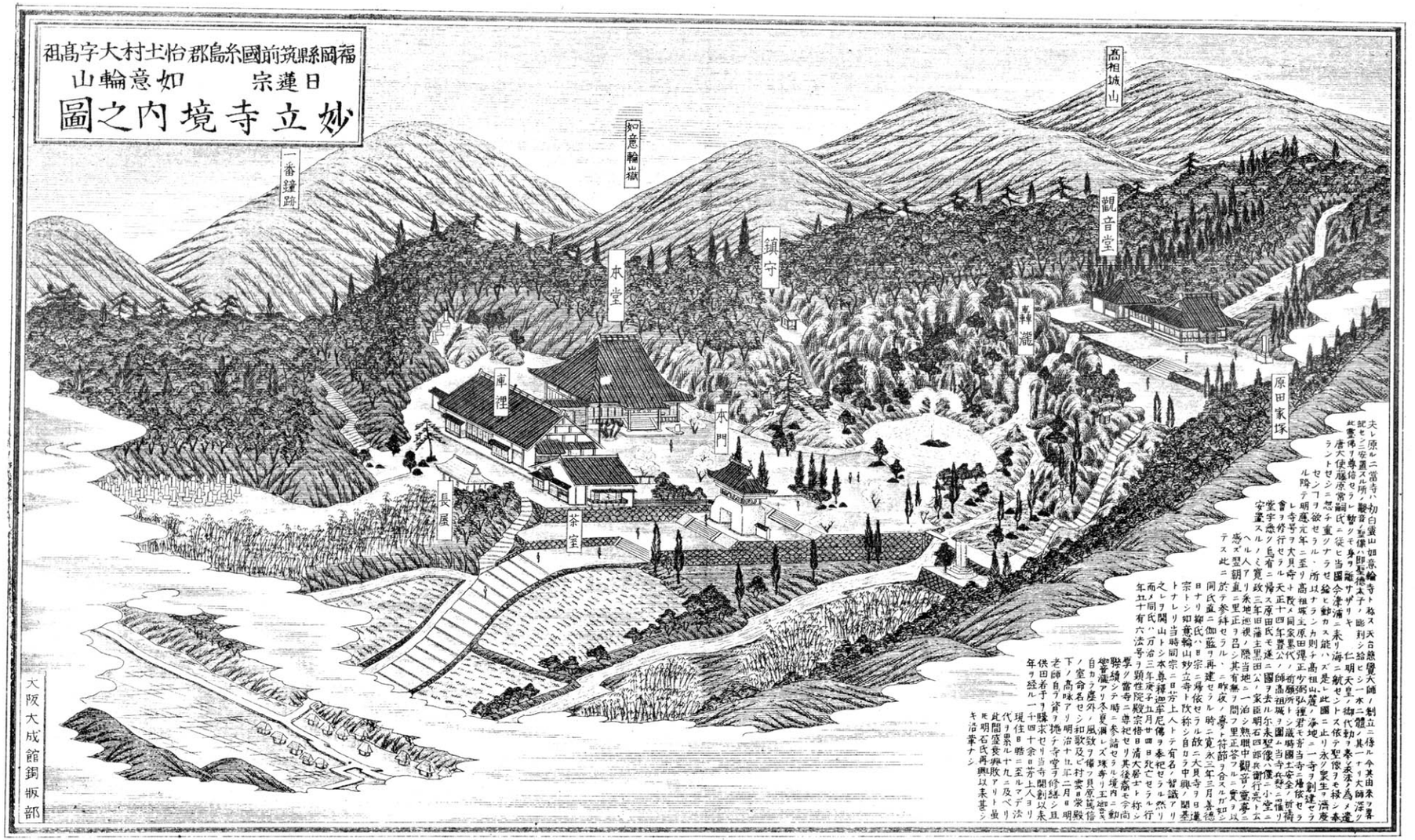


抑モ當寺ノ由來ヲ按スルニ實ニ人皇三十八代天智天皇ノ御願ニシテ堂合御経營アラセラレ夫ヨリ數朝ヲ經テ元正天皇御宇養老年中御造營成同シク八年僧行基勅シテ當寺ヲ監督セシメ玉ヒ即チ當寺ノ開基ナリ古來寺ノ清水ハ當門院ノ林ヨリ湧出ル故ニ當寺ノ觀世音寺ニト號式部モ書ケリ」故ニ太宰權帥師記シテ此寺ヲ清水ノ御寺トイフナリサレバ此寺ノウシロニ清水ノキイヅレトコロアレバナルベシコノ水イマニイタリテ力ワズンカイヘドヲ消年月ヲカサネテ後ノ世ニモイタレバコノ名ヲサイタドラントアル人イタミオモヒテ此事ヲシルシテ入ヘノ世ニモツヘヨトコフモ權帥ヲカネレ身ナレバ餘執ニヒカレテイナムコトヲワスレモトメニシタガイ筆トリテシルスコトシカリ」ト而シテ　天智天皇御祈願ノ本尊ハ聖觀世音菩薩ニシテ丈六ノ座像ナリ左ニ安置シ奉ルハ　天武天皇ノ御祈願丈六ノ不空羂索觀世音菩薩右ニ安置シ奉ルハ　持統太皇ノ御祈願ナリ又丈六ノ十一面觀世音菩薩ナリ歷朝御歸依浅カラス古暦警將ノ尊崇又深霊驗ノ著明ナル素ヒニ世人ノ知ル所ナリ往時ハ別院ヲ四十九院アリテ輪奐壯麗ナルハ眼目ヲ驚カスバカリ亦其遺密ノ如キモ五十年餘ノ春秋ヲ經テ全ク烏成ヲ告ゲタリト云ヘバ如何ニ堂宇御鑑アリトモ大ナルカノ一項子鐘ヲルシ斯テ晉公御左遷中不出門ノ題ニ都府樓纔有　五色觀音寺只聽鐘　聲ノ句アリヒバ公ノ牧慕シ玉ヒシコト推シテ知スベキナリ尓後星霜千有餘ノ今日ニ至ルモ丈六ノ靈像ハ巍々森列香烟靉靆當時ノ美觀ヲ呈シテ四表普ク韶化獲益セラルルナシ況シテヤハ太宰府神廟ニ隣リ右ハ都府樓ノ旧蹟ニ接シ實ニ佛有ノ梵利ナリ聊カ略縁起ヲ書スト云フ


福岡縣筑前國筑紫郡
水城村大字國分　真言宗
龍頭光山國分寺之圖
本堂
鎮守
庫裡
觀音堂
大師堂
七重塔跡
天拜山
寺ハ聖武天皇ノ勅願ニテ九年二月創立一國一寺ノ名藍ニテ境内八丁四方寺領千六百余石七堂伽藍結構宏壮ヲ極メ子院四十九坊當時実ニ國中無比ノ巨刹ナリシ就中七重ノ大塔及ト大講堂ノ如キ今尚其礎ヲ殘セリ尓後屢々兵燹ニ罹リ堂塔坊舎悉ク焼亡シ殆ド廢絶ニ就キタリ
宝篋印塔
適々武州ノ廻國修行者アリ古名刹ノ衰滅ヲ悲歎シ此地ニ留リ小庵ヲ結ビテ堂宇ヲ再搆スト雖モ昔時ニ比スレハ百分ノ一ニモ及ハス爾後數十ノ星霜ヲ経テ元文年間中興俊了國中ヲ勧財シテ小堂ヲ建立シ尋ヒテ天明年中住僧忍龍有縁ノ道俗ヲ勧メ大ニ寺門ヲ修繕シ又黒田美作之助縁ヲ得テ田園ヲ購求シ以テ寺産トス　明治二十四年現住崇壽地方有志ニ募リ本堂ヲ再建シ坊舎ノ修繕ヲナシ一寺ノ体裁ヲ備ヘリ
大阪大成館製版部

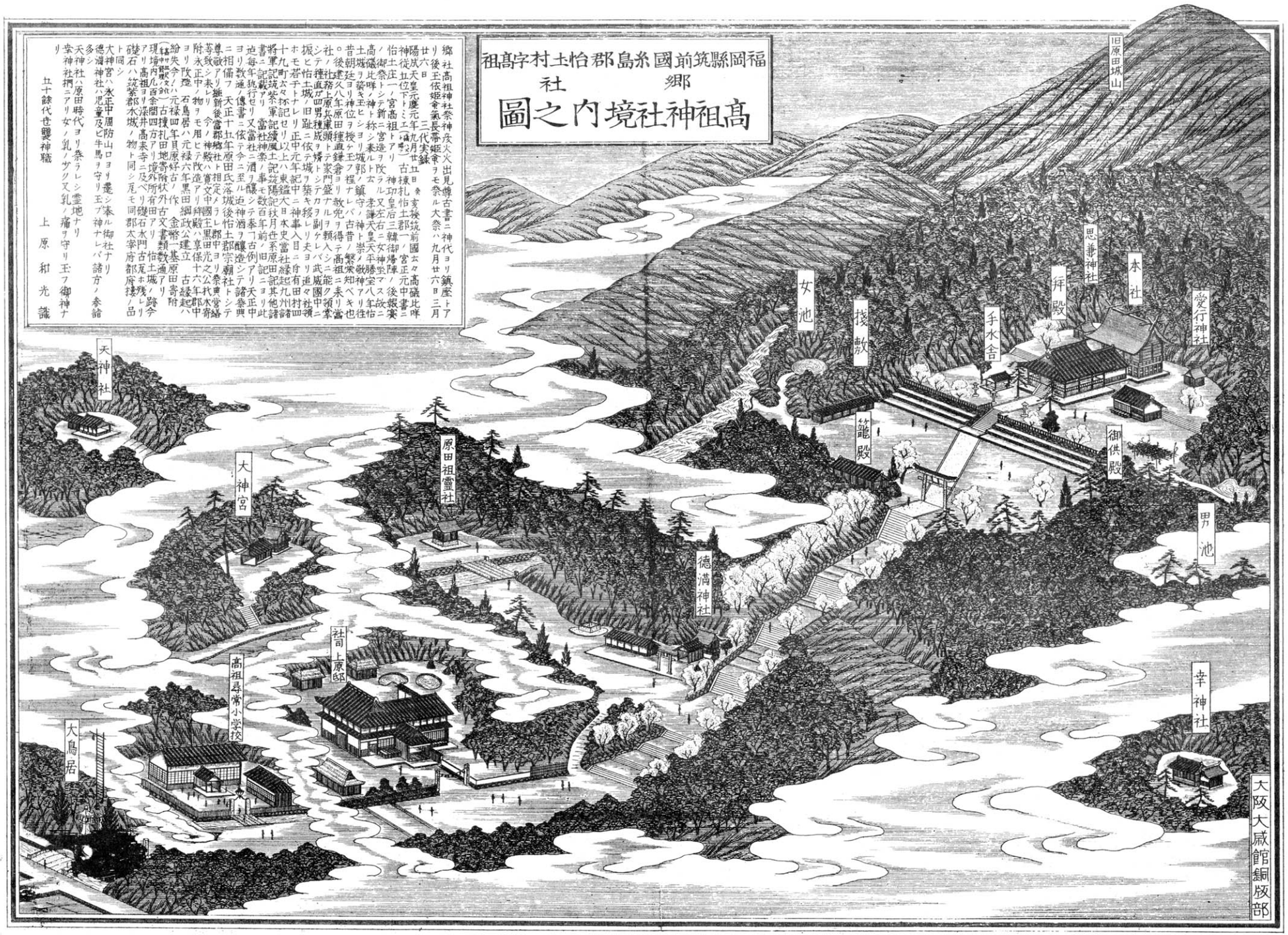

太宰府都府樓之圖
都督府古趾
大阪大成館製版部


福岡縣筑前國糸島郡怡土村大字
大門村社 涤井神社及
真言宗 圓覺院境内之圖
旧原田城山
ヒフドン岩
村社涤井社境内
本社
拝殿
鎧掛ノ松
神功皇后御鐙涤井
円覺院境内
不動堂
南門
観音堂
老松神社
大阪大成館銅版部



夫レ原ル二當寺ハ初白雲山如意輪寺ト称ス天台慈覺大師ノ創立ニ係ル今其由来ヲ畧記セン安貞ズル頃ノ聖像ハ即聖徳太子ノ眤刻シ給ヒシ一木二體ノ其一ナリ大師深ク此靈像ヲ尊信セラレ勢ヲ身ヲ離サザリキ仁明天皇ノ御代勅ヲ奉ジ承和ノ末入唐大使藤原常嗣氏ニ従ヒ当國今津浦ニ来リ海ニ航セントス依テ聖像ヲ移シ本邦ニ伝ヘ度ク常嗣氏ニ告ケ重ノナラセ給ヒ勅カス能ハズ是レ此國ニ止リ永ク衆生ヲ済度センコヲ欲セラル所以ナランカ則チ高祖山麓ノ当地ニ一寺ヲ創建セラルル降テ明應元年ニ至リ高祖城主原田種正少弼弘禮君モ皆当寺ヲ尊信セラレ寺号ヲ大貝寺ト改メ同家累代ノ菩提所トシ歳時国土安全ノ護摩ヲ修行セラル天正十四年豊公ノ師高祖城ヲ圍ムヤ去ル未聖像ハ僅カニ堂宇ヲ焼ク烏有ニ帰ス原氏モ遂ニ國ヲ去ル未聖像ハ僅カニ堂ニ安置スルノミ寛政三年田藩主黒田公ノ命ヲ以テ五堂ヲ修造シ聖像ヲ奉安スルニ及ビ寺号ヲ改メ如意輪山妙立寺ト称シ自ラ中興ノ開基ヘル人アリ永地巡視ノ際当地ニ一泊シ熟ラ観音靈場ニ於テ参拝セラルニ昨夜ノ尊ト符節ヲ合スルカ如シ因テ其有無ヲ問フニ果シテ此ニ於テ参拝セラル旨ヲ答フルニ實ヲ以テス此ニ同氏直ニ伽藍ヲ再建セラル故ニ大貝寺ヨリ遷座ス

日ナリ聊氏ハ宗ニ帰依セラル故ニ大貝寺ヨリ遷座ス宗トシ如意輪山妙立寺ト改称シ自ラ中興ノ開基トナレリ当時同宗ニ於テ上人トテ有名ノ智識アリ之レヲ開山トシ本尊釋迦牟尼佛ヲ奉祀セラル然リ而メ同氏ハ万治三年庚子五月廿四日死セラル行年五十有六法号ヲ顕性院殿宗悟日清大居士ト称シ享ク當寺ニ尊祀セリ其後幕士令尚聯綿シテ時ニ参詣セラル境内ニ勅宣蔵アリ本尊ノ観音ハ自カラ歴外風致アリ傳ヘ貝尾ノ観音ト称シ和歌及ビ村雲ノ殿下ノ高名セシ所ナリ明治十壬年二月日明老師ヲ請テ寺ヲ修シ且供田若干ヲ附シ地方人ヨリ現住日勝ニ至ルマデ法代リ累ル十九ニ及ベリ此間屢ゝ興敗アリト雖モ明石氏再興以来甚シキ沿革ナシ



鄉社高祖神社祭神夜火火出見尊古書ニ神代ヨリ鎮座トアリ後王依姫命氣長帯姫命ヲモ祭ル大祭ハ九月廿六日三月廿六日

陽成天皇元慶元年九月廿五日ゟ亥後筑前國ゟ々高磯比咩神従五位下ニ叙ス（三代実録）

古棟札怡土郡一宮正元中書ニ怡土庄一宮高祖トアリ　神功皇后三韓御帰陣ノ後報賽ノ御祭トシテ新ニ宮造ヨリ陂ラル又左右ニ女神坐マス故ニ高土城ノ磯比咩ト称シ素ルトモ孝謙天皇天平勝宝八年怡土城ノ鎮守ノ神ト崇ノ敬神アリ往昔朝廷ヨリ授ケ玉フ程ナレバ古昔ゟ繁栄知ベキ也

後建久八年原田種直鎌倉ヨリ敵兜ヲ賜得テ高祖ニ来リ當社ノ神職ヲ務ル原兵庫頭ト家門盛ナルヲ領掌シテ種直ガ四男種成ヲ婿トシテカヲ副ケレバ武威國中ニ振ヒ怡土城旧趾ニ依テ城ヲ築キ移レリ夫ヨリ追々社領ホモ若干トナレリ正中元年記中ニ神事入目ニ有田打四十九町六ヶ所記セリ以上ハ東鑑大日本史當社縁起九州諸将軍記筑紫軍記續風土記筑陽記扶桑略記其他諸書ニ記載アリ當社神楽ノ事モ数百年前ノ旧記ニヨリ此迄毎年執行セリ又當社ニ酒ノ醸シテ奉ルコト古例アリ天正中ヨリ数通ノ傳書ニ依テ今ニ至迄神酒ヲ醸造シテ諸祭典ニ相備フ天正十五年原田氏落城後怡土郡宗頼社トシテ尊敬アリ慶後當郡總社ト相定メラレ新後當郡總社ト称シテ等致シ来リ今ノ神殿ハ寛文中國主黒田光之公代本寄附ヨリ改造アリ拝殿ハ享保十六年郡中ノ物ヲモ用ヒテ改造アリ拝殿ハ享保十六年郡中ノ物ヲモ用ヒテ改造アリ拝殿ハ享保十六年黒田綱政公建立古縁起ハ紛失今ハ元禄四年貝原好古ノ作石鳥居ハ元禄六年原田寄附金幣一基原田寄附

（境内ニ古捜札田地寄附状外古文書類数通アリ）

現境内凡百余間四方アリ境外所有田アリ高祖ヨリ怡土城ノ跡今古瓦ヲ残レリ古井高来寺及ベリ礎石ハ筑紫郡水城ノ物ト同シ瓦モ同郡太宰府都府楼ノ品ト同シ

大神宮ハ永正中國防山口ヨリ遷シ奉ル御社ナリ

徳満神社ハ児童及ビ牛馬ヲ守リ玉フ神ナレバ諸方ノ参詣多シ

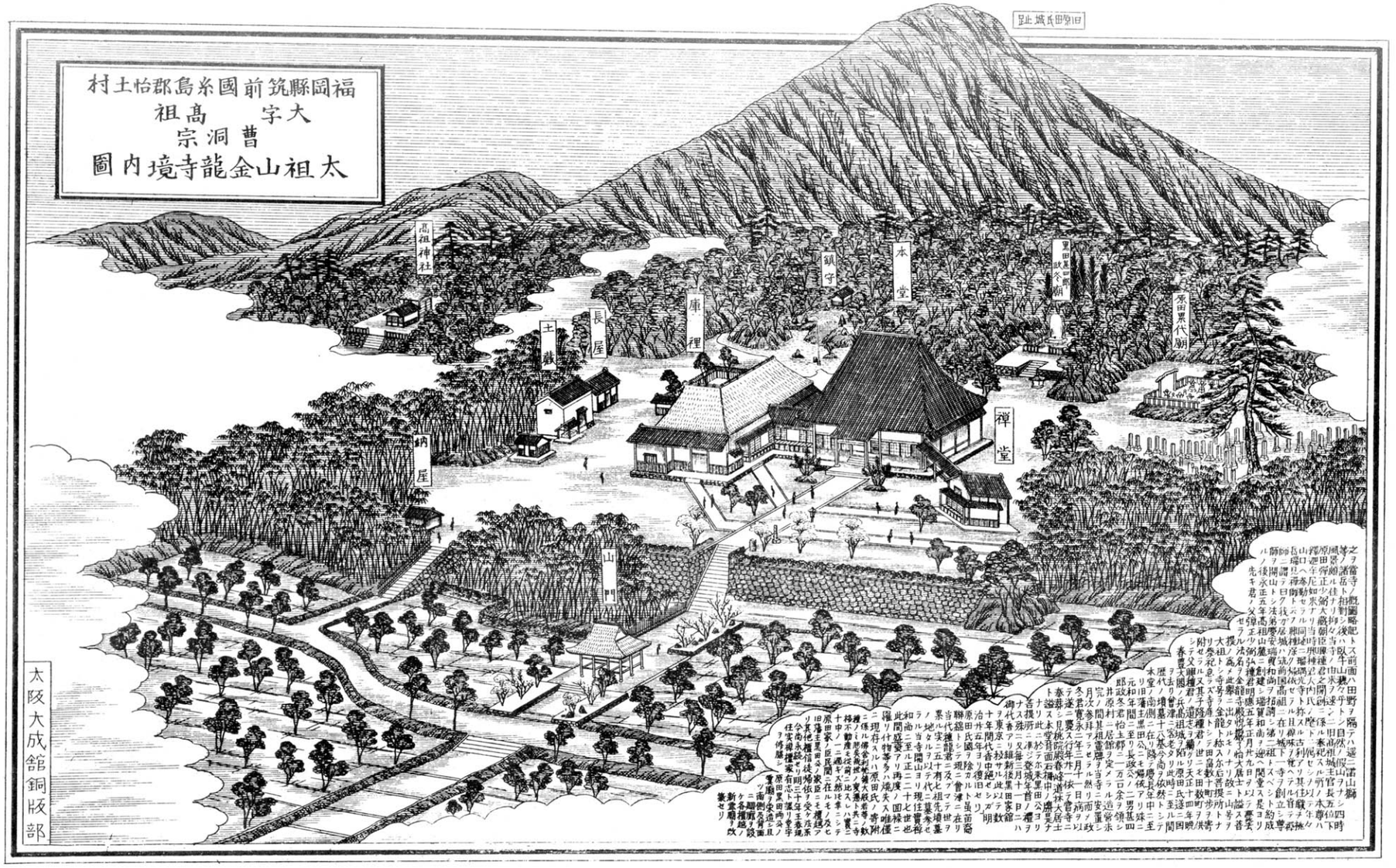
天神社ハ原田時代ヨリ祭ラレシ霊地ナリ

幸神社ハ高祖ヨリ祭ラレシ霊地ナリ

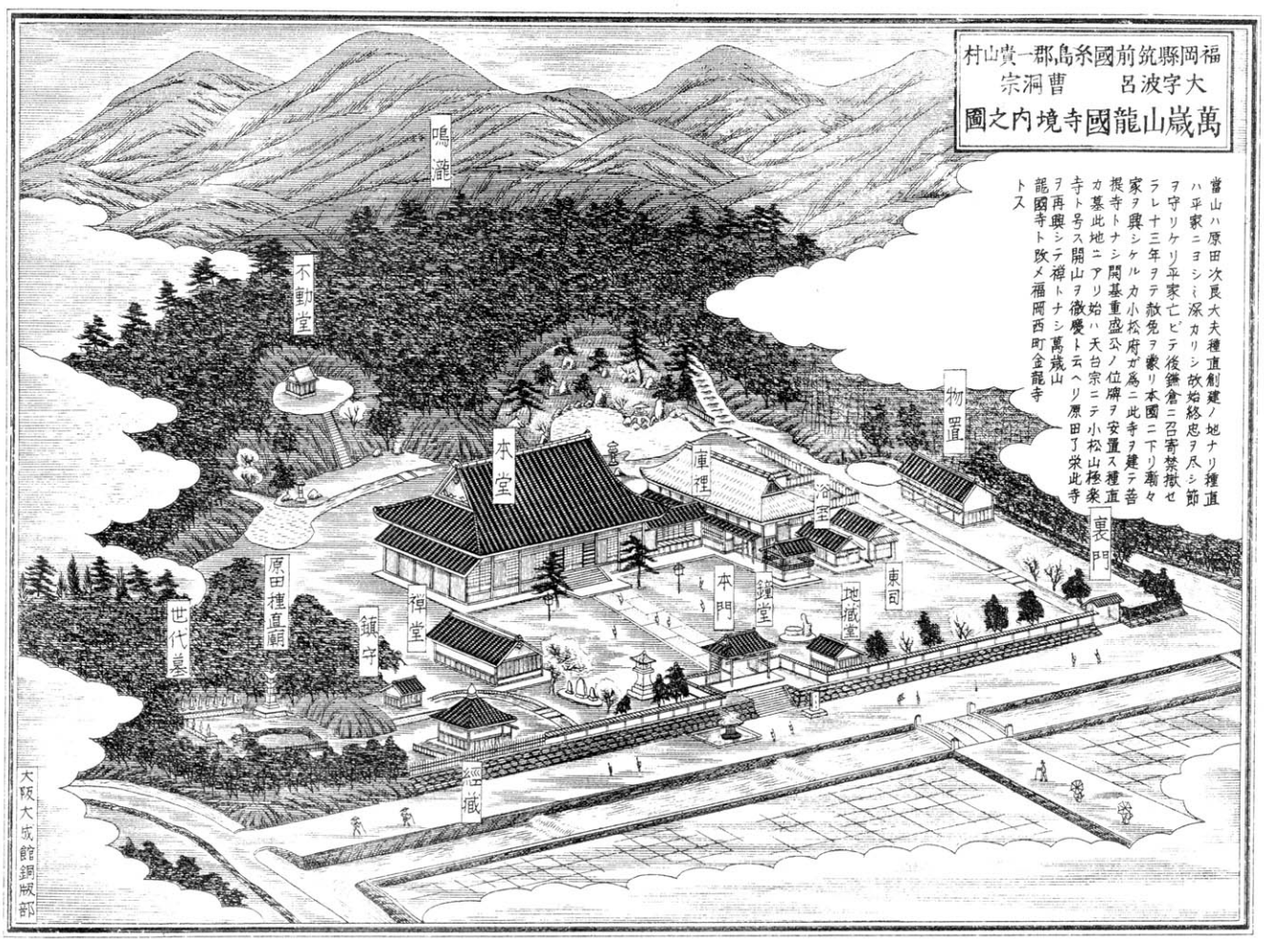
天神社ハ産神ニアリ女ノ乳ノツク又乳ノ痛ヲ守リ玉フ御神ナリ

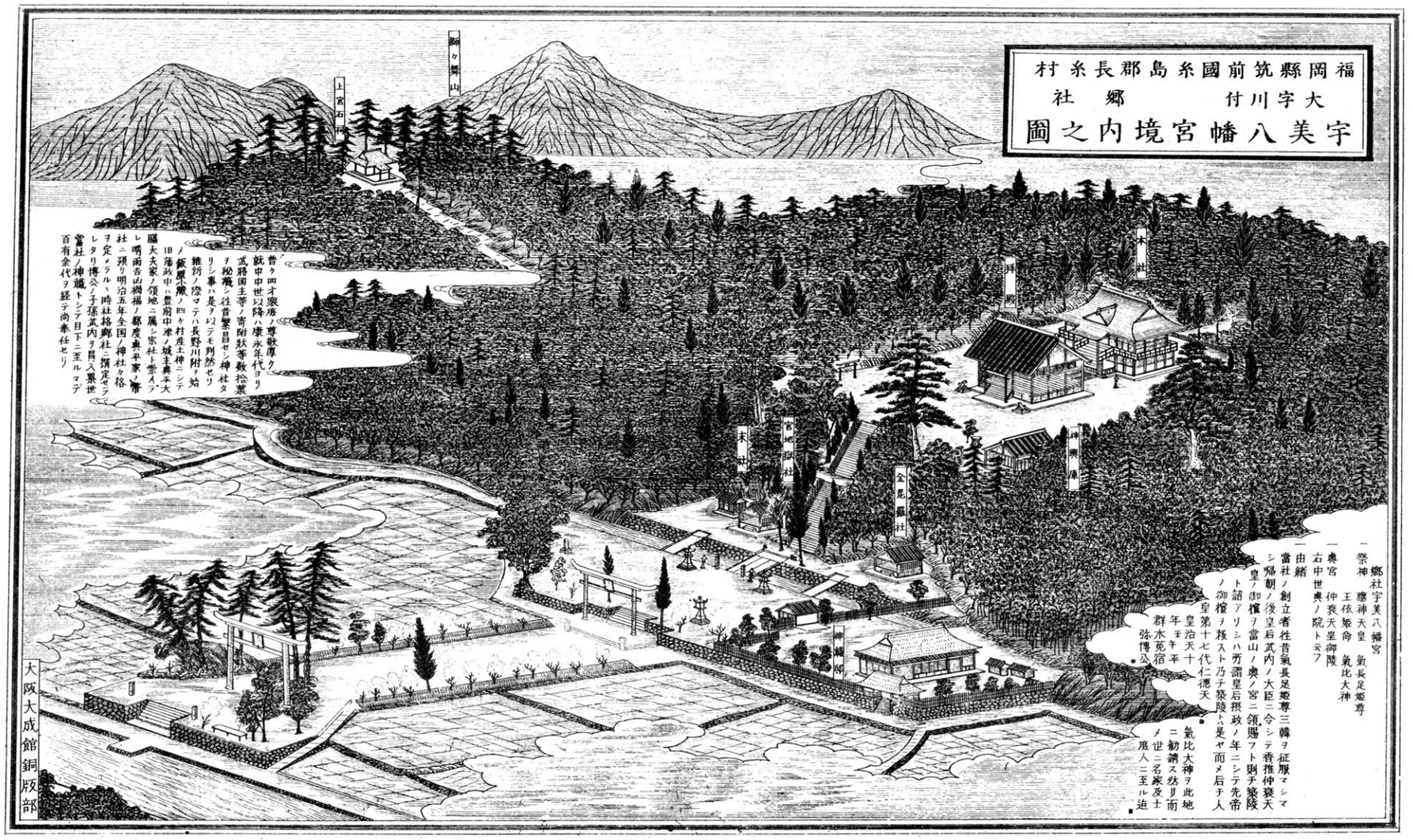
五十餘代也襲神職

上原和光識


福岡縣筑前國糸島郡怡土村
大字　島祖
曹洞宗
太祖山金龍寺境内圖
高祖神社
鎭守
本堂
庫裡
長屋
土藏
納屋
山門
禪堂
墓地
舊田氏城址
太阪大成館銅版部


福岡縣筑前國糸島郡雷山村
大字香力　真言宗
東明山興福寺境内之圖
雷山
本社
本堂
庫裡
長屋
書院
大師堂
鐘堂
裏門
井戸
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國糸島郡一貴山村
大字波呂　曹洞宗
萬歲山龍國寺境内之圖
當山ハ原田次良大夫種直創建ノ地ナリ種直ハ平家ニヨシミ深カリシ故始終忠ヲ尽シ節ヲ守リケリ平家亡ビテ後鎌倉ニ召寄禁撤セラレ十三年ヲテ赦免ヲ蒙リ本國ニ下リ漸々家ヲ興シケル力小松府ガ爲ニ此寺ヲ建テ菩提寺トナシ開基重盛公ノ位牌ヲ安置ス種直カ墓此地ニアリ始ハ天台宗ニテ小松山極樂寺ト号ス開山ヲ徹優ト云ヘリ原田丁栄此寺ヲ再興シテ禪トナシ萬歲山龍國寺ト改メ福岡西町金龍寺トス
鳴龍
不動堂
本堂
庫裡
物置
裏門
本門
鐘堂
東司
地藏堂
禪堂
鎭守
原田種直頌
世代墓
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國糸島郡長糸村
大字川付　鄕社
宇美八幡宮境内之圖
鄕社宇美八幡宮
一祭神　應神天皇　氣長足姫尊
王依姫命　氣比大神
一奥宮　仲哀天皇御陵
右中世奥ノ院トモフ
一由緒
當社ノ創立者往昔氣長足姫尊三韓ヲ征服マシマシ歸朝ノ後皇后武内ノ大臣ニ令シテ奉推仲哀天皇ノ御柩ヲ當山ノ奥ノ宮ニ領賜フト則チ築陵ト記アリシハ所謂皇后摂政ノ年ニシテ先帝ノ御柩ヲ移スト乃チ築陵トハ是ヤ而メ后チ人皇第十七代仁徳天皇治天十年壬午平氣比大神ヲ此地ニ勧請スル所以ナリ而メ世ニ名家及士庶人ニ至ル迄群木冤宿弥博公
昔ヶ四十餘座ノ尊數厚ク就中中世以降ハ崇永年代ヨリ武將国主等ノ寄附狀等數拾葉ヲ秘藏ス往昔繁昌セシ神社タリシ事ハ是ヲ以テモ判然セリ
維新ノ際マデハ長野川附ヶ始メ飯原氏藏ノ四ヶ村産土神ニシテ旧藩政中ハ豊前中津ノ城主奥平大膳大夫家ノ領地ニ属シ宗社ト崇メラレ明治五年郷社ニ列セラル
當社ハ郡内古山綱福ノ郡廣典平家ノ帯刀ヲ定メラルヽ時社格鄕社ニ擬定セラレタリ博公ノ子孫武内ヲ冒入繁世當社ノ神職トシテ目下ニ至ルマデ百有余代ヲ経テ尚奉仕セリ
上宮石祠
鬱々繁山
本社
拝殿
末社
若宮神社
金毘羅社
神輿庫
神楽殿
大阪大成館銅版部



一祭神　王依比賣神　菅原道眞命　相殿

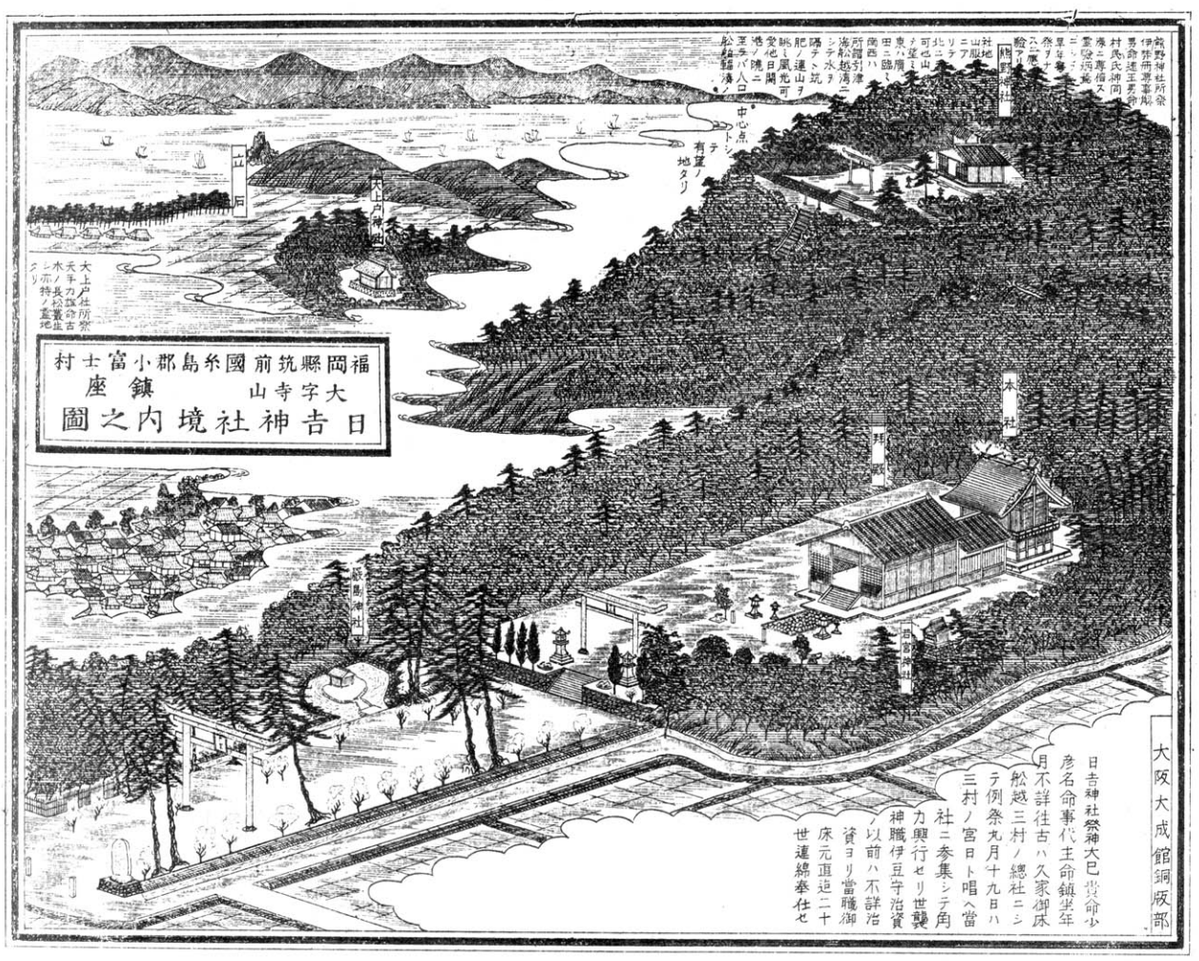
由緒創立

當社ハ後鳥羽天之御宇建久元年之創立ニシテ今ヲ
經事八百有餘年之昔願主大宰少貳式原太夫種
直郷領國之爲メ當國御笠郡山神ヨリ上深江ノ地ニ勸請アリ（上深江ハ今ノ河原
菅原神ヲ始大宰府
ノ地ナリ勸請ノ際隨ヒ來ル者ノ子孫方ト
片峯ノ地ナリ昌入然レドモ同地狹隘神社地
ナリ姓内山氏ヲ以テ十四年ヲ經則チ建仁三年當
ニ遷ルベキヲ以テ元永此社地ハ姓昔神功皇后ノ
今之地ニ移サル元永此社地ハ姓昔神功皇后ノ
御代ヨリ川上神社ヲ奉齋スルニ屋ニシテ今ハ
當社ノ摂社トシテ崇奉リ六月十九日
十一月十五日ヲ以テ祭典ヲ執行ス後正親町
天皇ノ御宇天正廿年モ屢豊臣
秀吉公朝鮮征討
ノ際當時本社
境内ヘ宿陣サレシ
時ノ領子。

秀頼朝臣
ノ出生ゼラレシ報ヲ聞カレ大閤ノ喜悦一方ナラス當社ハ則チ産神
也トテ深ク信仰ヲ加ヘラレ時ノ國主小早川筑前侍從隆景卿ニ
命セラレ社ノ再興ヲナサセ時ノ宮司ヲシテ誕生山神護寺ト号ス
院ト命セラレタルコトハ具原益軒ノ筑前續風土記ニ詳ナリ
時ノ宮司トハ當神宮廣海十六代ノ祖先盛トカヲモ也當時ノ
樣札書社ニ秘蔵セリ尚神領ヲ附シ神宝ヲ寄附アリシカ其後
歴代領主ノ変遷ニ從ヒ社頭ノ盛衰アリテ近クハ慶長ノ後
寺沢志摩守國主タリシ時百間四面ノ土ヲ寄附ス依テ新ノ
際迄ハ中津城主奥平家ノ祈願ノ時モ當社ハ累世各領主ノ尊崇
ノ社柄ナルヲ以テ郡中總社ノ格ヲ定メ厚ク尊敬ヲツクサレ
タリ

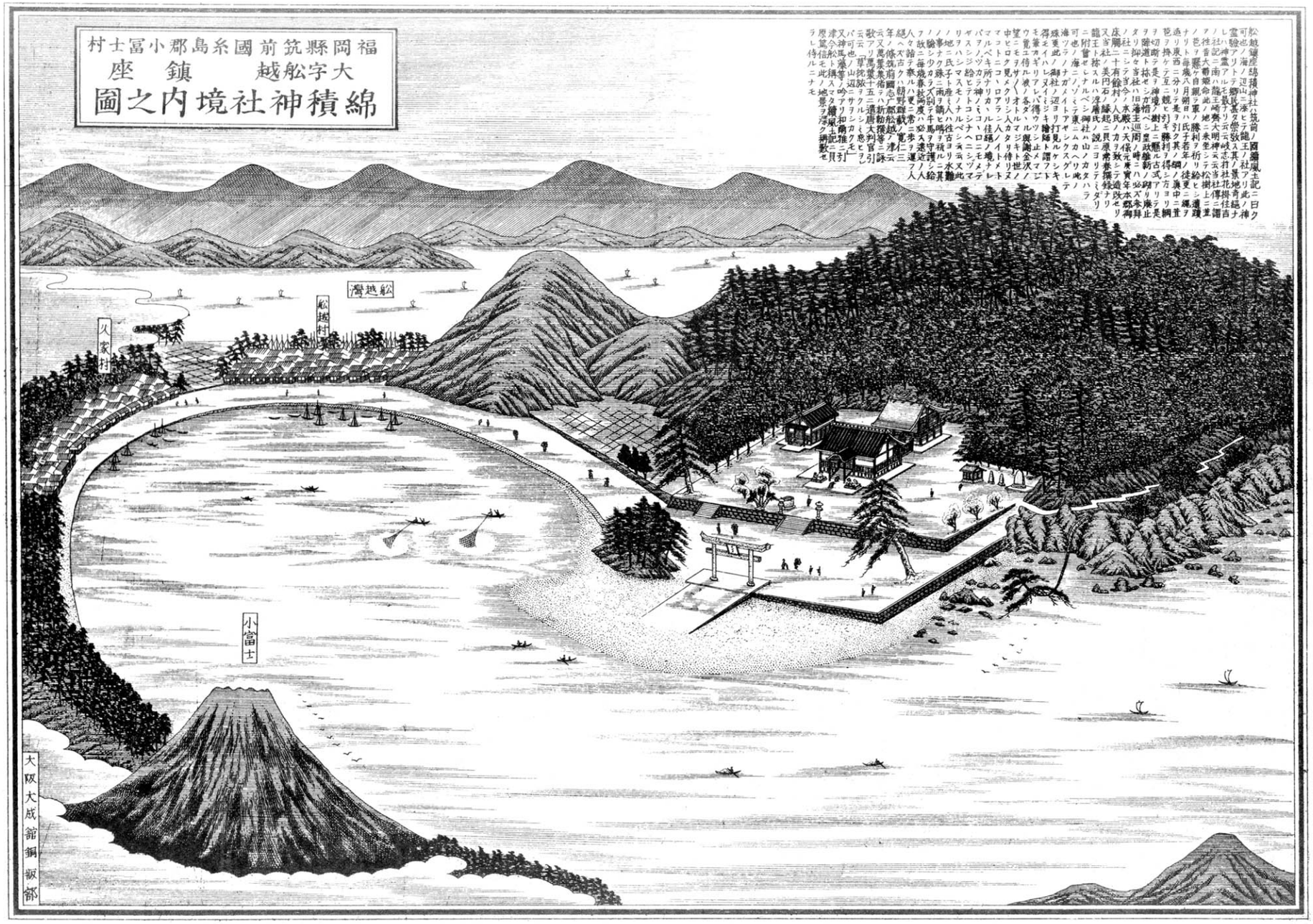


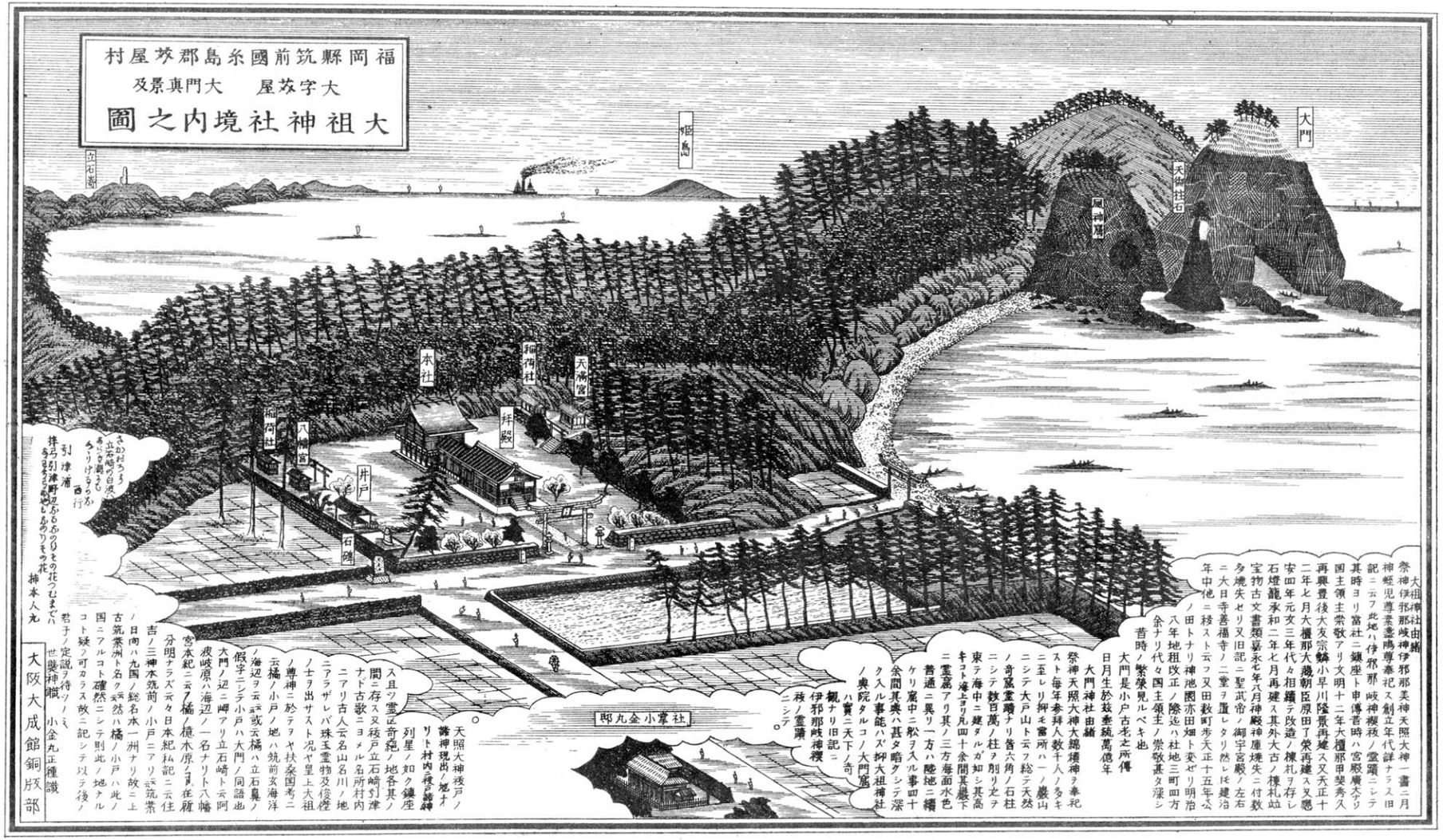

福岡縣筑前國糸島郡可也村
大字馬場　鄕社
六所神社境内之圖
可也山
本社
拜殿
御供所
現人社
庚申神
手洗所
末社島神社
本社祭神
熊野三神任
吉三神鎮座
年月不詳豊
後大友家ヨ
リ社領職
重冨氏ニ
與ヘタル
古文書ノ
中ニ御
社領勘料
段錢御佗
言之通承候間
許申候社米ノ
事モ知何ニモ
堅固ニ社家ニ
可被渡候仍一
筆如件大永六
年五月六日重冨
次郎四郎殿　秀
重判　親連判
筑前國志摩郡内二宮
社祭職之事任御判旨
重冨和泉守可被打渡
又由緒仰出候恐々謹
言八月二十七日古庄
能登守殿　道桂判
實治判　親鬼判　ナ
トアリ縁紀曰當初二宮
ト云ハ箱崎宮其一ニ居ヲ吾
ト其美ヲ娩レハナリト云リ
享祿四年大友義鑑社殿ヲ改
造慶安三年黒田忠之亦改造
爾来代々國主ヨリ修繕セラル
中古志摩郡全部四十八個村
ノ總社ト崇メ祭典厳重ニ奉
祀セリ明治五年鄕社ニ列セ
ラレタリ
社司御依元図詳識
大阪大成館銅版部

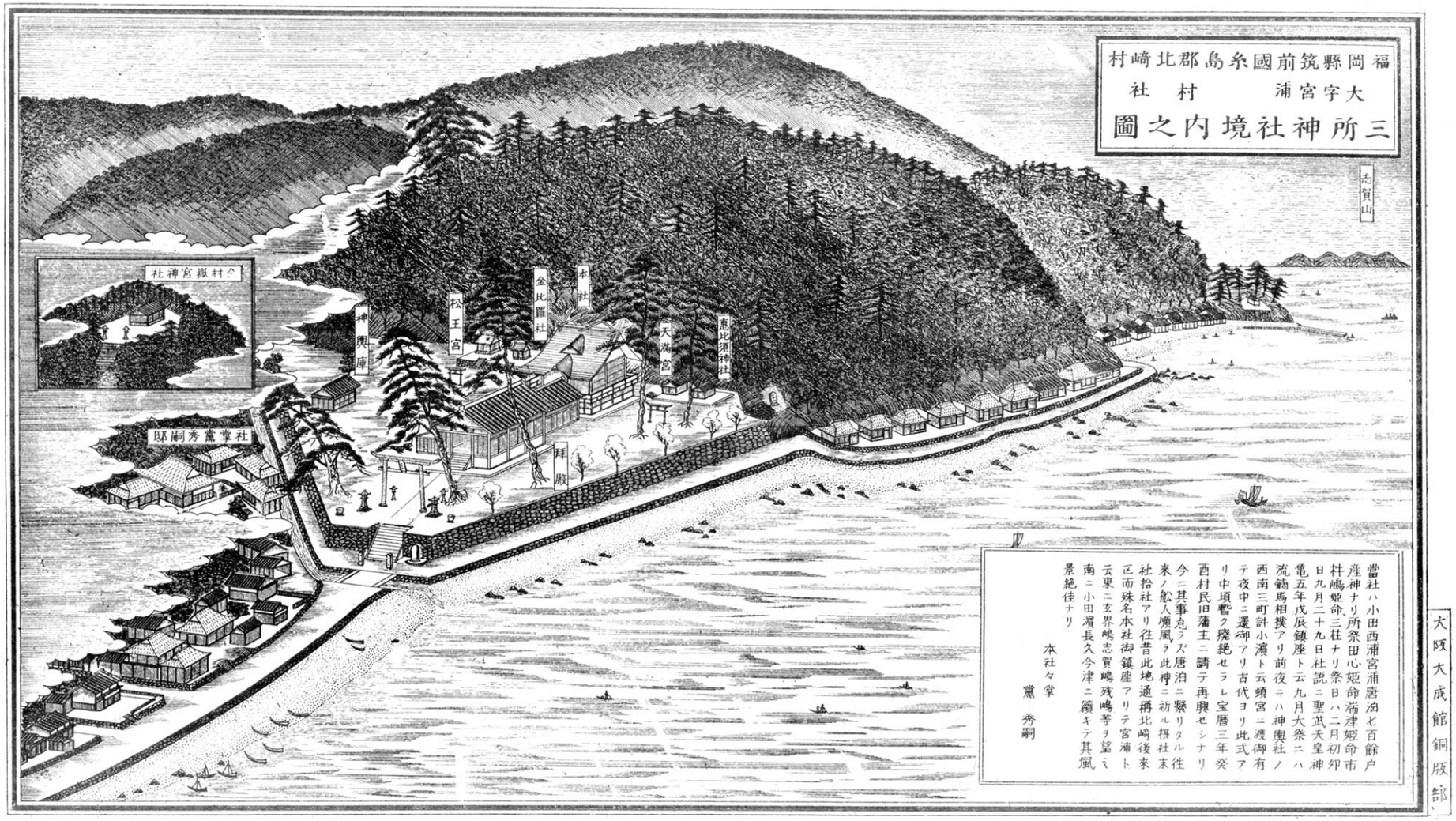

福岡縣筑前國糸島郡小富士村
大字寺山　鎮座
日吉神社境内之圖
熊野神社
中心点
有望ノ地タリ
山口
大上戸社
本社
拜殿
祖靈神社
大阪大成館銅版部
日吉神社祭神大巳貴命少
彦名命事代主命鎮坐年
月不詳往古ハ久家御床
舩越三村ノ總社ニシ
テ例祭九月十九日ハ
三村ノ宮日ト唱ヘ當
社ニ參集シテ角
力興行セリ世襲
神職伊豆守治貢
ノ以前ハ不詳治
貢ヨリ當職御
床元直迄二十
世連綿奉仕セ


福岡縣筑前國糸島郡小富士村
大字御床　浄土宗
西林寺境内之圖
小富士
本堂
宗顯塚
土藏
庫裡
藥師堂
床金堂
大阪大成館銅版部

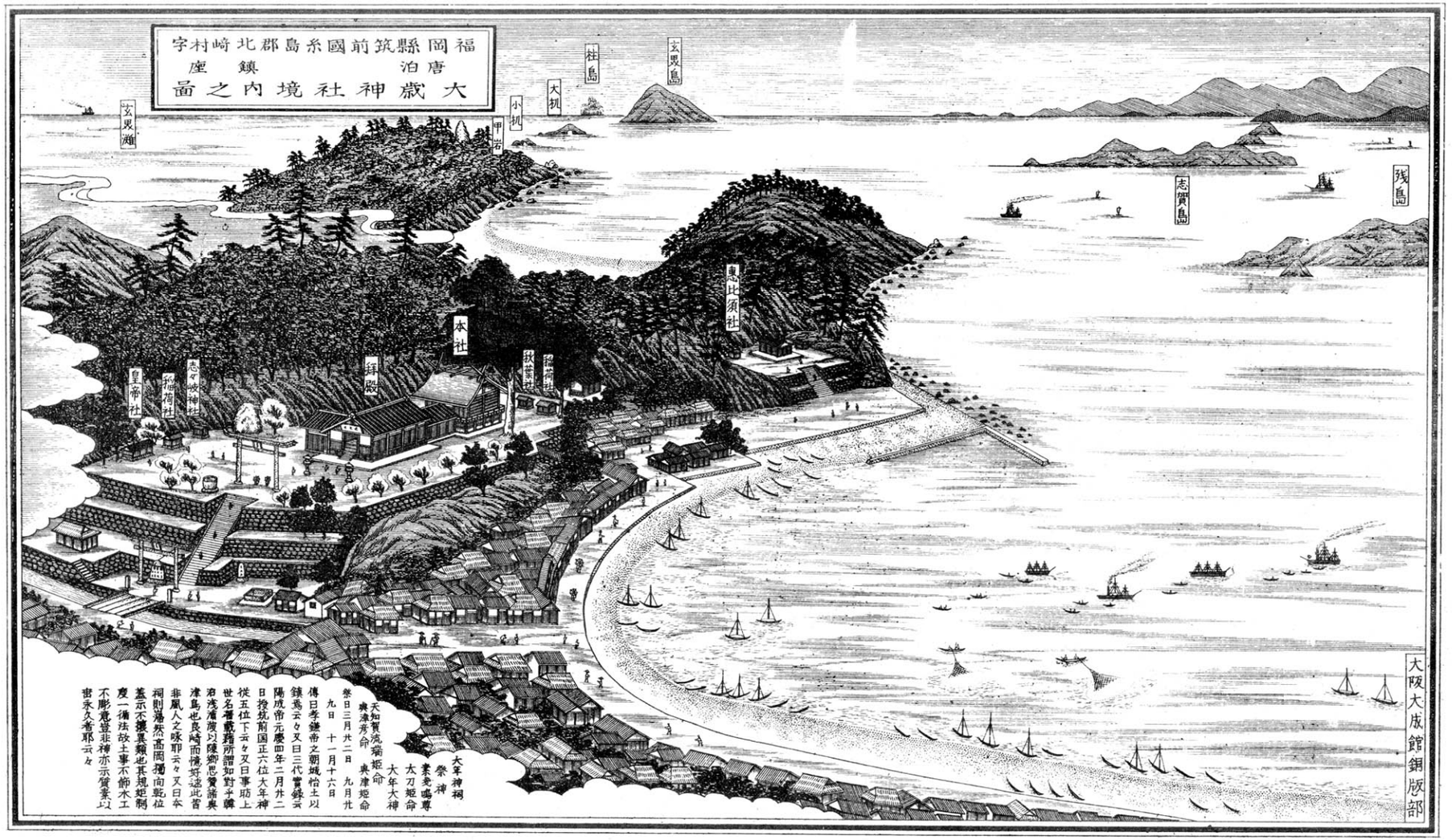

福岡縣筑前國糸島郡小冨士村
大字御床　村社
志々岐神社境内之圖
小富士
木社
拝殿
炊屋
嚴島社
現人神社
御床氏邸
大阪大成館銅版部

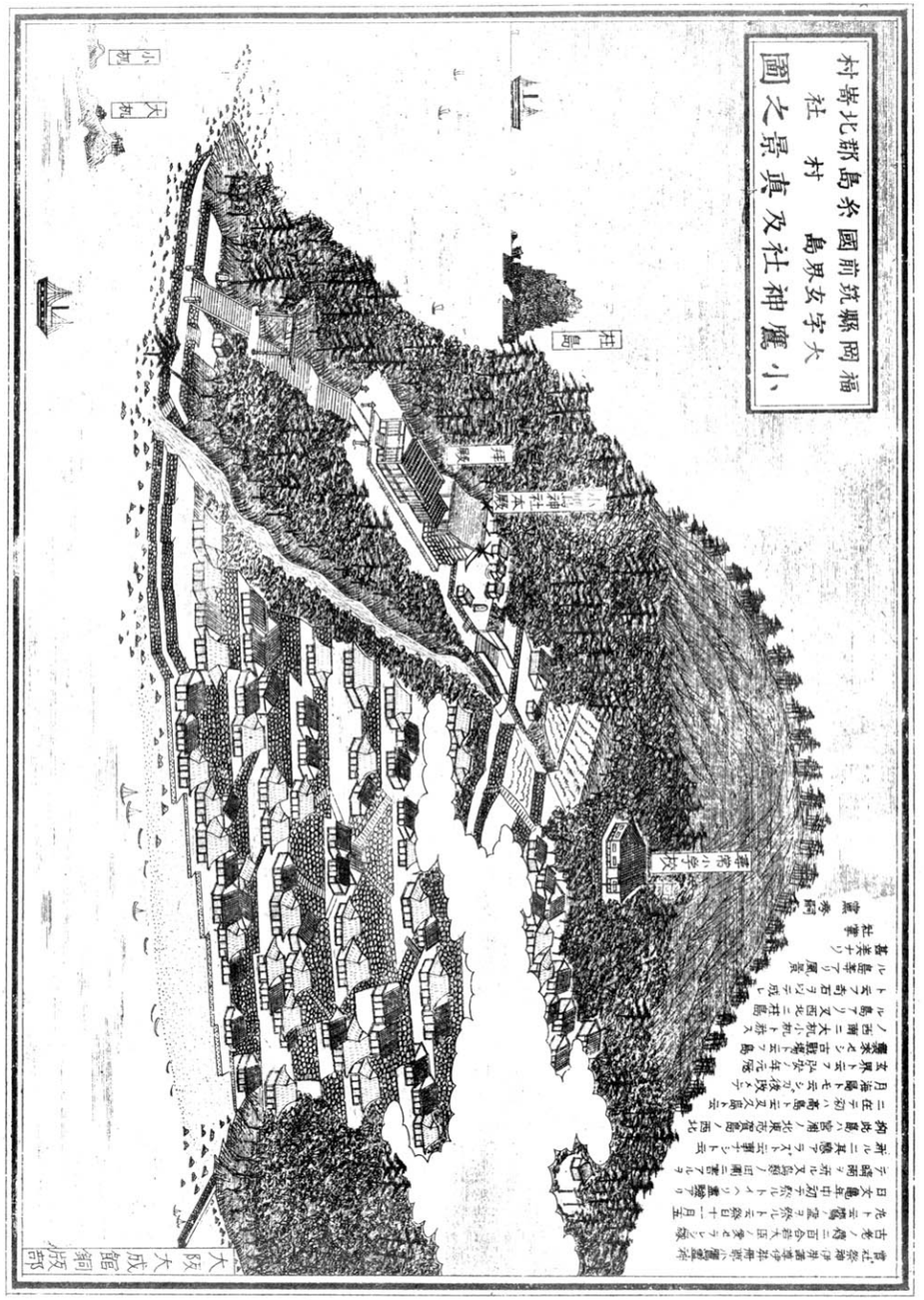

福岡縣筑前國糸島郡小冨士村
大字船越　鎭座
綿積神社境内之圖
船越灣
船越村
人家村
小富士
大阪大成舘編輯部


福岡縣筑前國糸島郡芥屋村
大字芥屋　大門真景及
大祖神社境内之圖
大門
天御柱石
國神岩
相島
五ヶ瀬
本社
稲荷社
天神宮
拝殿
八幡宮
稲荷社
井戸
石碑
引津浦
社掌小金丸正種
大祖神社由緒
祭神伊邪那岐神伊邪那美神天照大神一書ニ月神蛭児尊素盞嗚尊奉祀ス創立年代詳ナラス旧記ニ云フ此地ハ伊邪那岐神禊祓ノ霊蹟ニテ其時ヨリ當社ニ鎮座ト申傳者時ハ宮殿厳大ナリ国主領主崇敬アリ文明十二年大檀那甲斐秀久再興豊後大友宗鱗小早川隆景再建又天正十二年七月大檀那大幾朝臣原田了栄再建又悪安四年元文三年代々相續テ改造ノ棟札ヲ存シ石燈籠承和二年七月再建ス其外大古ノ棟札並宝物古文書類慶永七年八月神殿神庫焼失ニ付数多焼失ゼリ又旧記ニ聖武帝ノ御宇宮殿ノ左右ニ大日寺善福寺ノ二堂ヲ置レタリ然レ共建治年中他ニ移スト云フ又田数町歩天正十五年ノ検ノ田トナリ神地悉亦田畑ト変ゼリ明治八年地租改正ノ際迄ハ社地三町四方余ナリ代々国主領主ノ崇敬甚タ深シ昔時ノ繁榮見ルベキ也
大門是小戸古老之所傳
日月生於玆豊統萬億年
大門神社由緒
祭神天照大神大綿積神ヲ奉祀ス毎年参拝人数千人ノ多キニ至レリ抑モ當所ハ一ノ巌山ニシテ大戸山ト云フ総テ天然ノ奇嵐霊蹟ナリ皆六角ノ石柱ニシテ数百萬ノ柱ヲ削リ之ヲ東テ海中ニ建タルガ如シ其高キコト海上ヨリ凡四十余間其巌下ニ霊窟アリ其ノ三方海面水色普通ニ異リ一方ハ陸地ニ續ケリ窟中ニ松ヲ入ル事四十余間其奥ハ甚タ暗タシテ深ク入ル事能ハズ抑大祖神社ノ奥院タルコノ大門窟ハ實ニ天下ノ奇観ナリ旧記ニ伊邪那岐神禊祓ノ霊蹟ニシテ。
天照大神祓戸ノ諸神現出ノ地ナリト村内ニ祓戸諸神列星ノ如ク鎮座ス且ソ霊区奇絶ノ地各其ノ間ニ存ス又祓戸立石崎引津ナド古歌ニヨメル名所村内ニアリ古人云名山名川ノ地ニアラザレバ珠玉霊物及俊傑ノ士ヲ出サストノ況ヤ皇上大祖ノ尊神ニ於テヲヤ扶桑国考ニ云橘ノ小戸ノ地ハ筑前玄海洋ノ海辺ヲ云ヒ或云橘ハ立石鼻ノ假字ニシテ小戸ハ大門ノ同語也大門ノ辺ニ岬アリ立石崎ト云阿波岐原ハ海辺ノ一名ナリト八幡宮本紀ニ云ノ橘ノ檍木原ノ事在前分明ナラズ云々日本紀私記ニ云住吉ノ三神本筑前ノ小戸ニアリ云筑紫ノ日向ハ九国ノ総名本一州ナリ故ニ上古筑紫洲ト名ク云然ハ橘ノ小戸ハ此ノ国ニアルコト確然ニシテ則此ノ地ナルコト疑ノ可カラス故ニ記シテ以テ後ノ君子ノ定説ヲ待ノミ
世襲神職　小金丸正種識
引津浦
さかむかちう　立石崎の白波　あらいさ騒ぎ　あらりけるかも
引津浦
拝石引津野辺なるなのりその花つむまでハ　世襲神職　小金丸正種識
柿本人丸
大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國糸島郡北崎村
大字宮浦　村社
三所神社境内之圖
志賀山
今村嶽宮神社
社掌黨秀嗣昭
神輿庫
松王宮
金比羅社
本社
大神宮
高比須神社
拝殿
當社ハ小田西浦宮浦唐泊七百餘戸産神ナリ所祭田心姫命湍津姫命市杵嶋姫命三柱ナリ祭日ハ二月初卯日九月二十九日社説ニ聖武天皇神龜五年戊辰鎮座ト云九月大祭ニハ流鏑馬相撲アリ前夜ニハ神輿社ノ西南三町許小濱ト云頓宮ニ渡御有テ夜中ニ還御アリ古代ヨリ此式アリ中頃暫ク廢絶セラレ宝暦三年癸酉村民旧藩主ニ請テ再興セシナリ今ニ其事怠ラズ唐泊ニ繋リタル往来ノ船人順風ヲ此神ニ祈ル摂社末社拾社アリ往昔此地通稱比崎後来已而殊名本社御鎮座アリテ宮浦ト云東ニ玄界嶋志賀嶋残嶋等ヲ望ミ南ニ小田湾長久今津ニ續キテ其風景絶佳ナリ
本社々掌　黨秀嗣

大阪大成館銅版部


福岡縣筑前國系島郡北崎村字
唐泊 鎮座
大歲神社境内之畧
杜島
玄界島
大扒
小扒
甲岩
玄界灘
志賀島
殘島
鬼比須社
本社
拜殿
我慢社
皇帝社
稻荷社
志々岐神社
大阪大成館銅版部
大年神祠
祭神
素盞嗚尊
太刀姫命
大年大神
天知賀流彌姫命
興津彦命
興津姫命
祭日三月廿二日 九月廿九日
傳曰孝謙帝之朝城怡土以鎮焉云々又曰三代實錄云陽成帝元慶四年二月廿二日授筑前国正六位大年神従五位下云々又曰事跡上世名稱載路所謂知乎儺君浅甕渡以隱郷思賀諸興津島也良崎而備好述此言非風人之咏耶云々又曰本祠則海然高岡獨向乾位蓋示不護異類也其規矩制度一循法故土事不飾木工不彫意豈非神亦示質素以害永久者耶云々



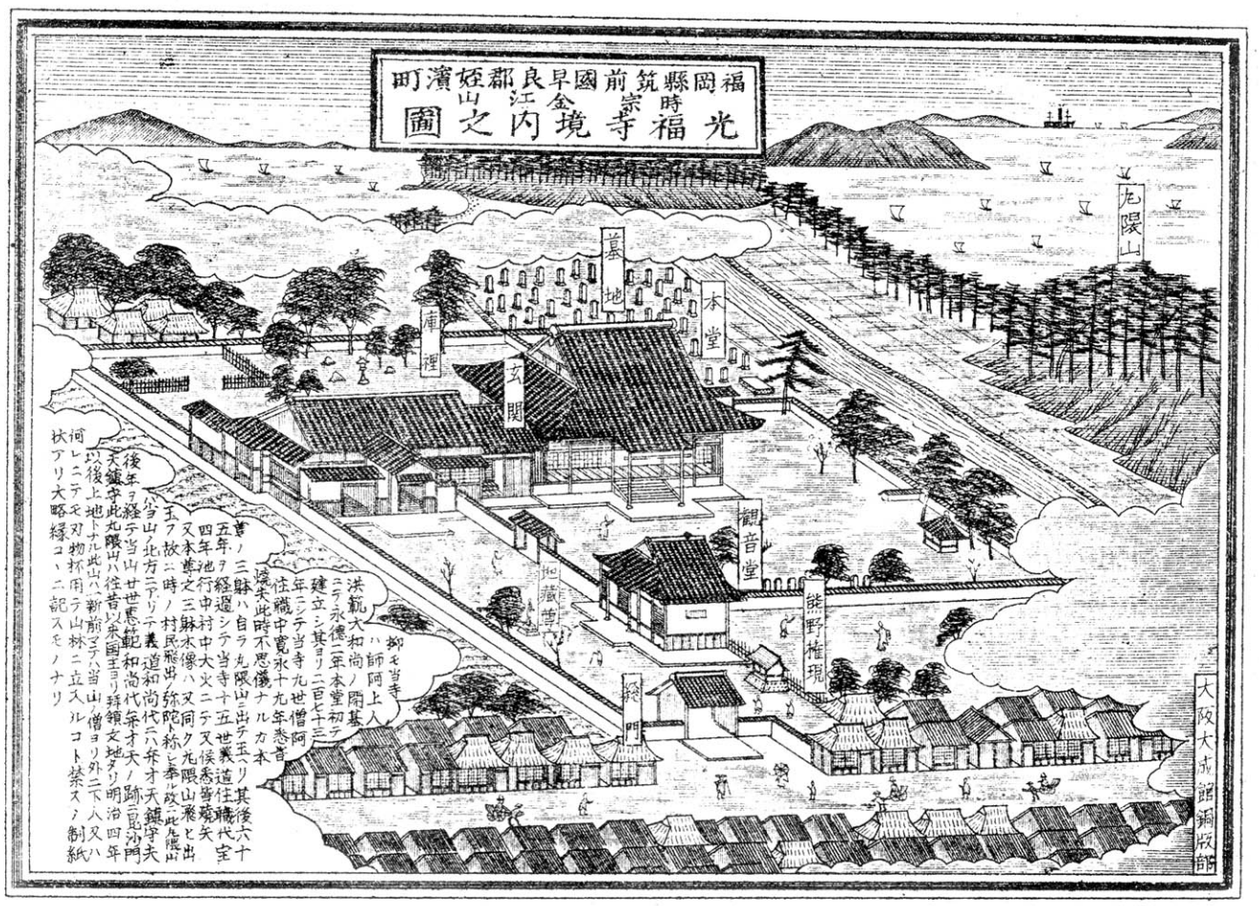
唐泊大歳神社由緒

筑前國續風土記ニ曰唐泊ハ今津ヨリ一里半西ニアリ海辺ナリ萬葉集十五巻ニ志摩郡韓亭ト書リ昔シハ今津ニ異國ノ舩来リ繋リシカ此所モ今津ト其浦メグリツラナリテ近キ故ニ韓人宿スルノ亭ヲ置レシニヨリ韓亭ト謂ヘルニヤ又能古島ト唐泊ハ其間二里余ノ海ヲ隔タレトモ向ニ相對シテ近カク見ヘ昔ハ唐泊リ能古ノ浦渡トツヽケテ讃ル歌ハ能ク境趣ニ叶ヘリ東ノ山ノ側ラニ大岩多シ此処ヲ牛ガ谷ト云此山ノ上ニ亀石ト謂フ亀キ岩アリ萬葉集十五巻からとまりつての浦波さハぬ日ハあれどもいもをさひぬ日ハあらし千首ニおもつのお船路いつてふからと遠り此乃浦しれうら名とれわへぜ宗良親王堀越草ニ「嘯リもしかひてうらおけりうら泊りいつうら流れし人の行衛と夫木塩風ハ行らくともそ都る唐と遠りのもの浦舟もがいつあめ中務大歳明神社ハ唐泊ノ北ニアリ社ハ西北ニムカフ緊アル神也トテ村民ハヲソロシノ神トイヘトモ是ハ大歳ノ神ヲトナヘアヤマリタルベシ九月二十九日祭礼アリ三代實錄元慶四年二月二十二日筑前國正六位上大歳神ニ従五位下ヲ授給フトアルハ此ノ神ノ事ヲ云ヘルニヤ遠賀郡初浦熊手村ナトニモ大歳ノ神社アリシカレドモムカシハ此所今津ニチカク警衛ノ官人多ク来リ居リテ神ノ名モイチジルシサレバカク神位ヲ送ラセ玉フナルベシ大歳神トハ素盞烏尊ノ御子也享保十九歳次甲寅夏五月筑前州晩進稲留メ布賢ノ誤當社ノ縁起ニ曰ク陽成帝天慶四年二月二十二日授筑前国正六位六年神従五位下貞三代實錄天慶亭之霊時崇秘大年大神振古有之千萬歳而遷矣本州遠賀郡西浦熊手邑亦有大年社如彼后也與祭香神爾非如韓亭之神文互古今其儀跡祭儀較然著也何者亭潮今津登壇必定所謂一萬字是也況雨港。倭漢要害之津哉也上世已来吾之與彼有兵革凡と聚靡一不鑒矣方。等諸帝之朝城怡土以鎮為保雨港以備為其警衛可知而已是。朝廷所以祈神助進位階矣葉不已者為有以也歴歴前典無乃不徴乎云々其遠歌曽山攅空曽曽岐嶺在雷山上雷峰起雲而望聳叶嶺雪擁金嶽背振一名金嶽朝暾又陰雲飛無窮此則韓亭之社觀乎哉本祠則蘇然高閣蜀向乾位蓋示不忘攘寇義也其規矩制度一循法故土事不飾木工不彫蕙豈非神亦示質素以乗永久者耶石門連立階陛歩長松掩扉茂林護殿其下有覺井泉甘而冬温拝神者盥救堂前者常挹汲曽神霊之幾何而江山不可復期矣尊祭知上古姑射儒今也歟三月二十二日闔福居民以豊盛女醴開宴奉神宿直字夜為恒例如三長月亦爾就中以九月二十九日為大祭十一月十六日亦有祭儀其他知朔望十一念八之日齋誦賽趣無弗濟斉也噫嘻盛矣敬神之為教也心神則天地之本根身體則五行之化生肺元元入元初本本任本心神盍以祈禱為先冥加以正直為本祭神敬祖則天下泰平四民安然云云慎爾懿徳捧爾祝辞也則有心廣體胖情願願慥慥神隆景福其知在洋者矣浦長謂誰覆田氏某也祠史是年由重寛也嘯徽斯人吾誰與記トアリ　壱岐国人芳野氏当社記又貝原好古ノ著和爾雅ニモ出セラルヽ皆同シ其他筑前国續風土記等何モ詳細ニ集記セリト云

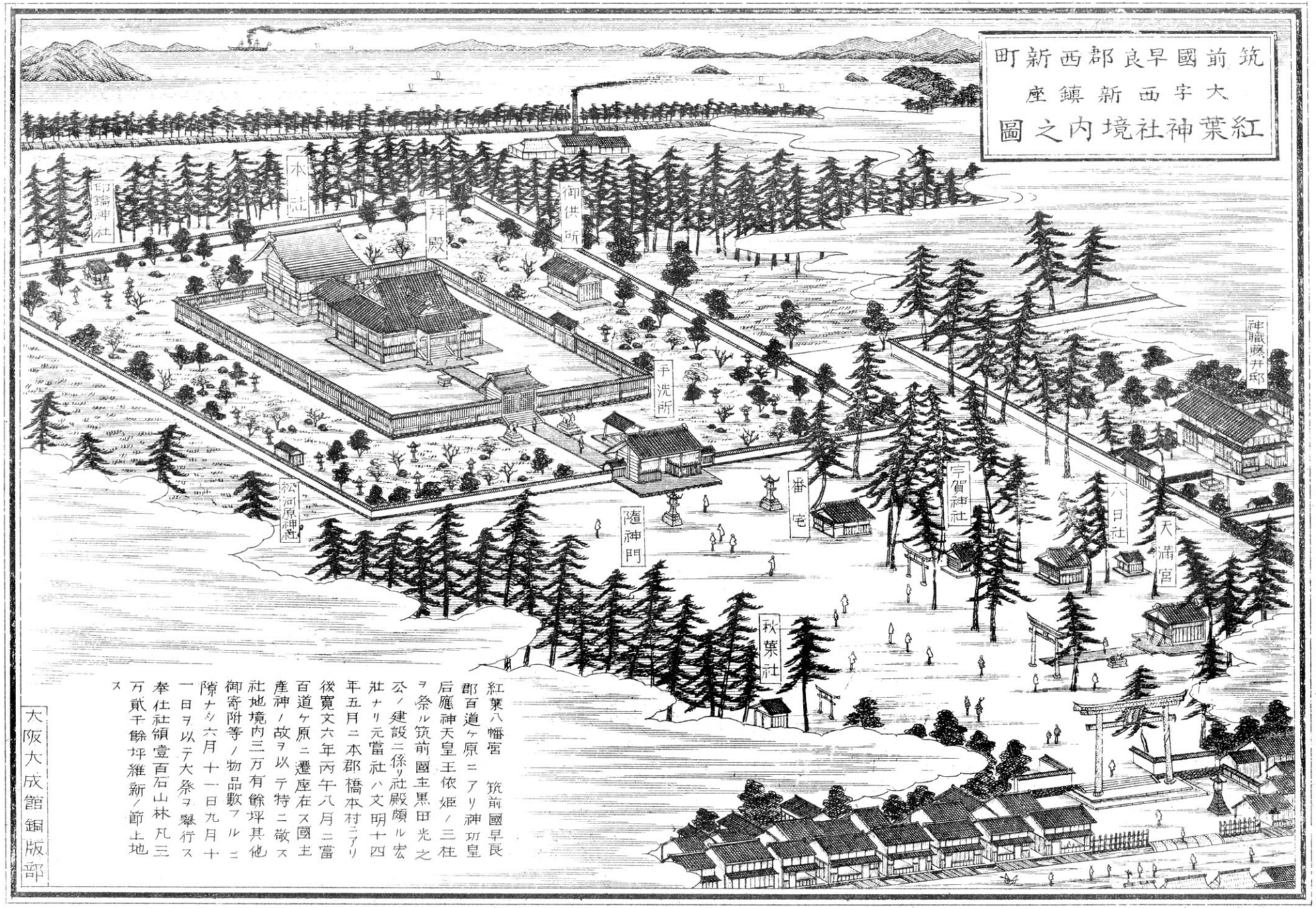
志登神社由緒

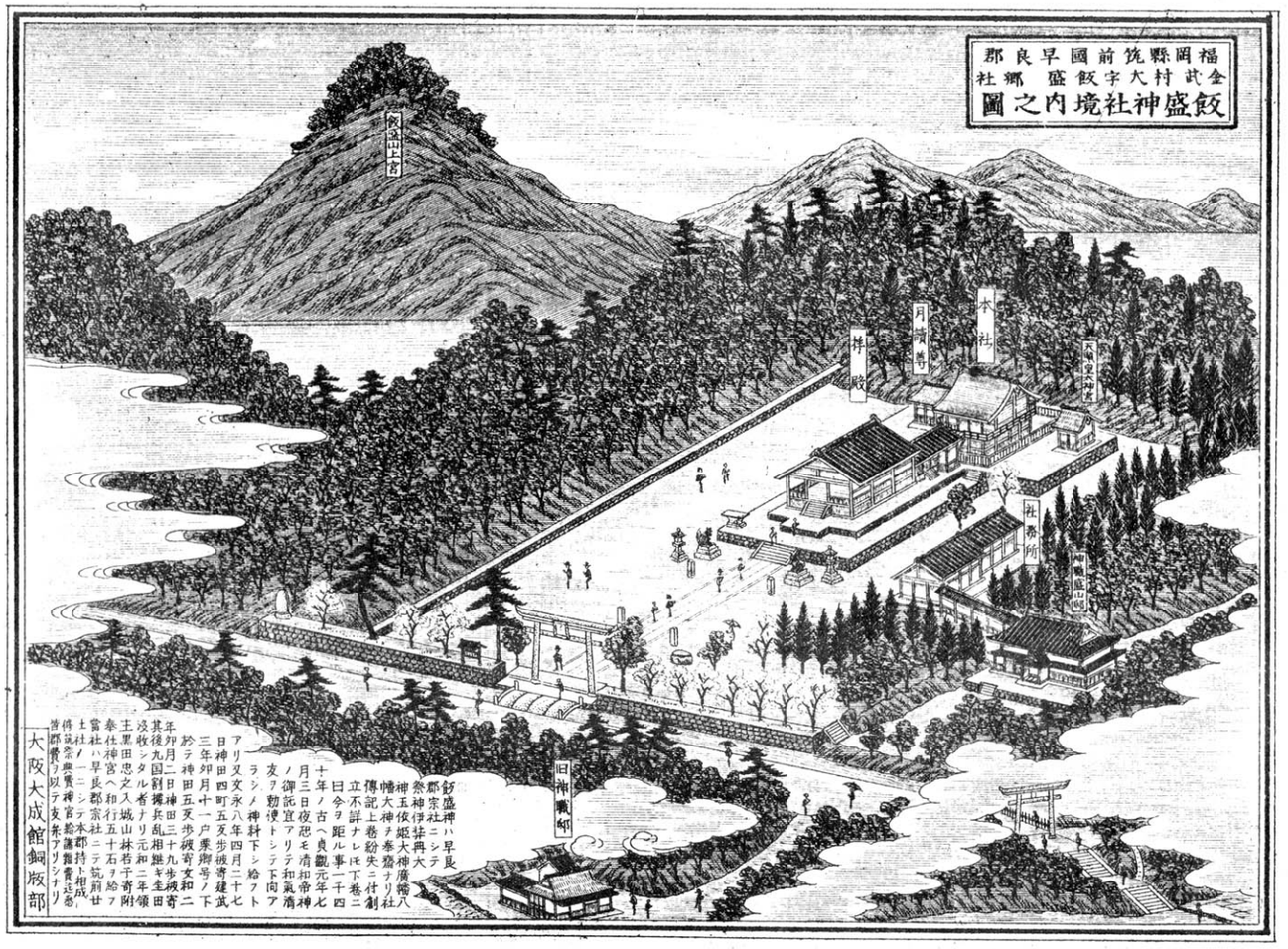
筑前國續風記ニ曰志登神社ハ志登村ニアリ延喜式神名帳ニ怡土郡志登神社一座小トアリ然レ共今ハ志摩郡ニ属ス祭ル所志登大明神ハ豊玉姫命ニシテ相殿ノ神三座有リ第一神功皇后第二高良大明神第三高祖大明神也志登大明神ヲ合セテ四座也御社ハ村ヨリ北ノ方田ノ中ニ林ノ一村立タル中ニアリ神殿ハ西ニ向ヘリ九月七日祭礼有リ昔ハ此日神輿ヲ潤村マテ出シ奉ル宮司七人巫女八人神人二十四人祭人八人此外祠官多ク供奉シテ祭礼イト厳重ナリシトカヤ当昔志摩郡ノ惣社トシテ郡中ノ貴賤皆此ノ神ヲ産神ト仰キ奉リシガ近世ヨリ馬場六所擢現ヲ總社ノ神トシテ祭ル故ニ当社ノ祭礼儀式ハ昔ニ替リ衰ヘ侍ル元亀天正ノ頃九州兵亂ノ時迫ヲ揣十二町ノ神田ハ手サス者ナカリシニ其ノ後予何ノ時ヨリカ人ノ尊敬ヲ漸オ口ヘテ祭田ナク成ニケル末社等ヲ名許リ残リ其ノ躰スカレテ田ト成リ圃トナリヌ然ルニ元禄三年ノ春筑前ノ國主光之君新ニ神殿ヲ建立シ末社ヲ改メ造リ絶テナカリシ神田ヲ寄附シ給ヒシカハ神慮モ忽チ新ニシテ祭人ノ尊敬モ昔ニ立カヘリヌ斯リシカハ遠近ノ人人モ詣テ来ル筆多シ神ハ人ノ敬ヒニヨテ威ヲ増ムト謂ヘル事豈誠ナラズヤ又續風土記拾遺ニ肥後国託摩別当次郎時秀ト謂フ人弘安四年蒙古合戦ノ功ニヨリテ志登神社ノ地頭職タラシメ候レシ事古文書今肥後国託广郡ノ農家ニ有又人皇六十代花山天皇ノ御世ニ岩隈式部大蔵種美ト謂人アリ当社ノ神託ニヨリテ始テ大宮司ト称ス其ノ子ヲ越中ト謂フ大宮司ノ家ヲ継クニ男澄永ト謂フ僧アリ是レ宮司坊ノ始也此外ニ神官巫女等アマタ有シガ天正十五年大閤九州征伐ノ時ニ神領悉ク没収セラレシカハ神官社僧モ皆農夫ニ変ス元禄ノ頃国君江龍公ヨリ神田壱丁六段御寄附アリテ新ニ神殿ヲモ造立シ給ヘリ此ノ以前ノ神殿ハ天正九年十一月ニ原田隆種再建ナリ奉行ハ富田豊前守家茂ト謂フ者也今社内ニ有ル所ノ本社ハ伊藤志大神宮若宮祇園社共財天社又拝殿宮ノ地ナリ岩神岩鏡ト謂フ鏡撰松ハ社ノ南ニアリ古宮社乾森アリ又物部橋是等ノ所ハ皆本社繁栄ノ昔シ由緒有シ遺地ナリ又村内ニアル神社ハ若木天子古屋敷ニアリ井アリ依テ社号トス樟木天子社ハ松本ニアリ志々岐ノ社ハ古屋敷ニアリ總ノ御前ノ社ハ村内ニアリ八龍ノ社ハ上屋敷ニ有リ尚当社旧記縁起等一切博多ノ津東長密寺領ノ時ニ同寺院悉皆焼亡セシ由也可惜然ルニ三種新像ニ社格当郡郷社ニ被定タリ


福岡縣筑前國早良郡
姪濱町　郷社
住吉神社境内之圖
社司殿上部宅
愛宕山
宇賀神社
事代神社
百貨神社
本社
八童神社
早風神社
拝殿
遥拝所
経門
手洗所
通夜殿
大阪大成館制版部

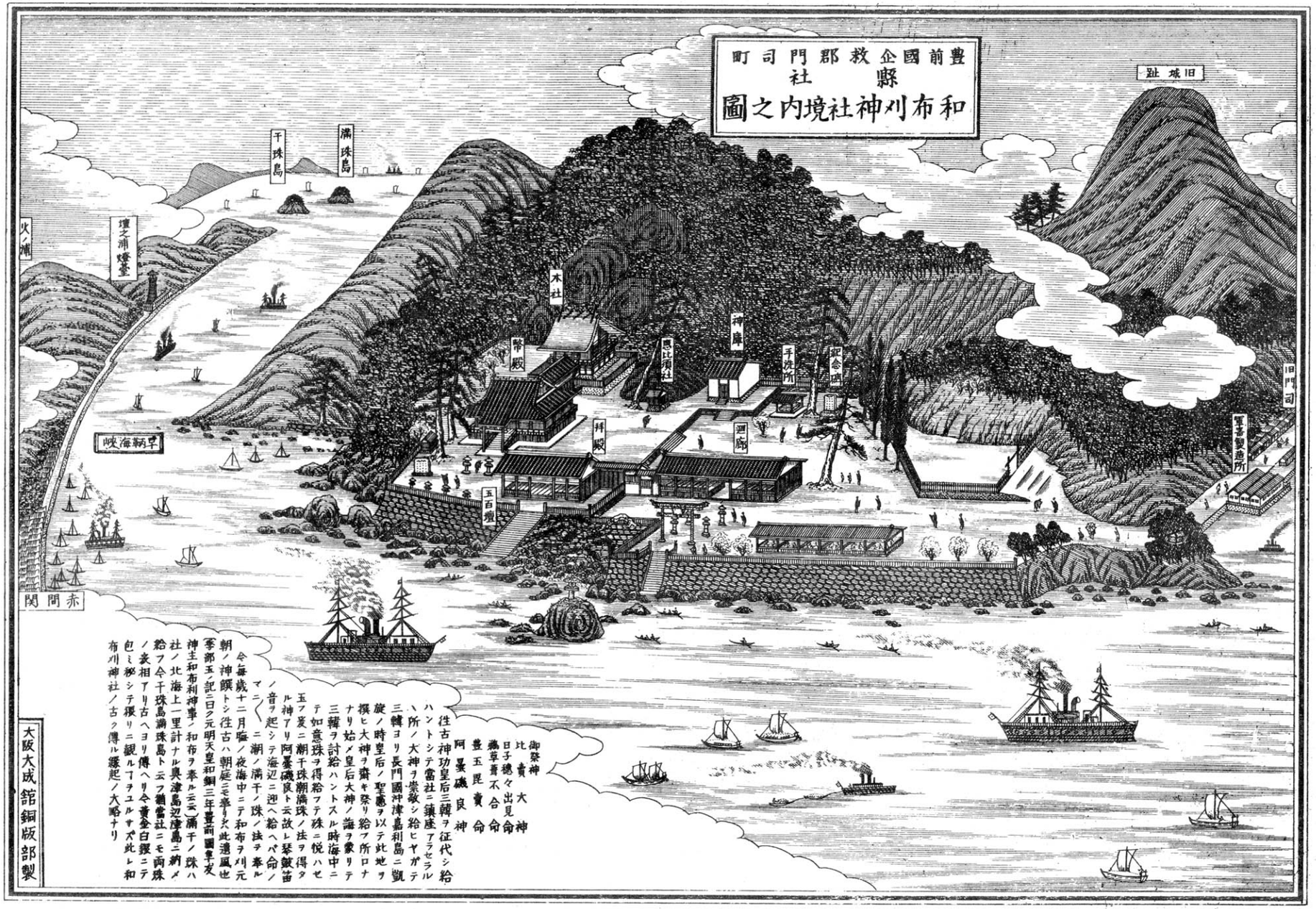

福岡縣筑前國早良郡姪濱町
光福寺境内之圖
危隈山
墓地
本堂
庫裡
玄関
観音堂
地蔵尊
熊野権現
経門
大阪大成館制版部

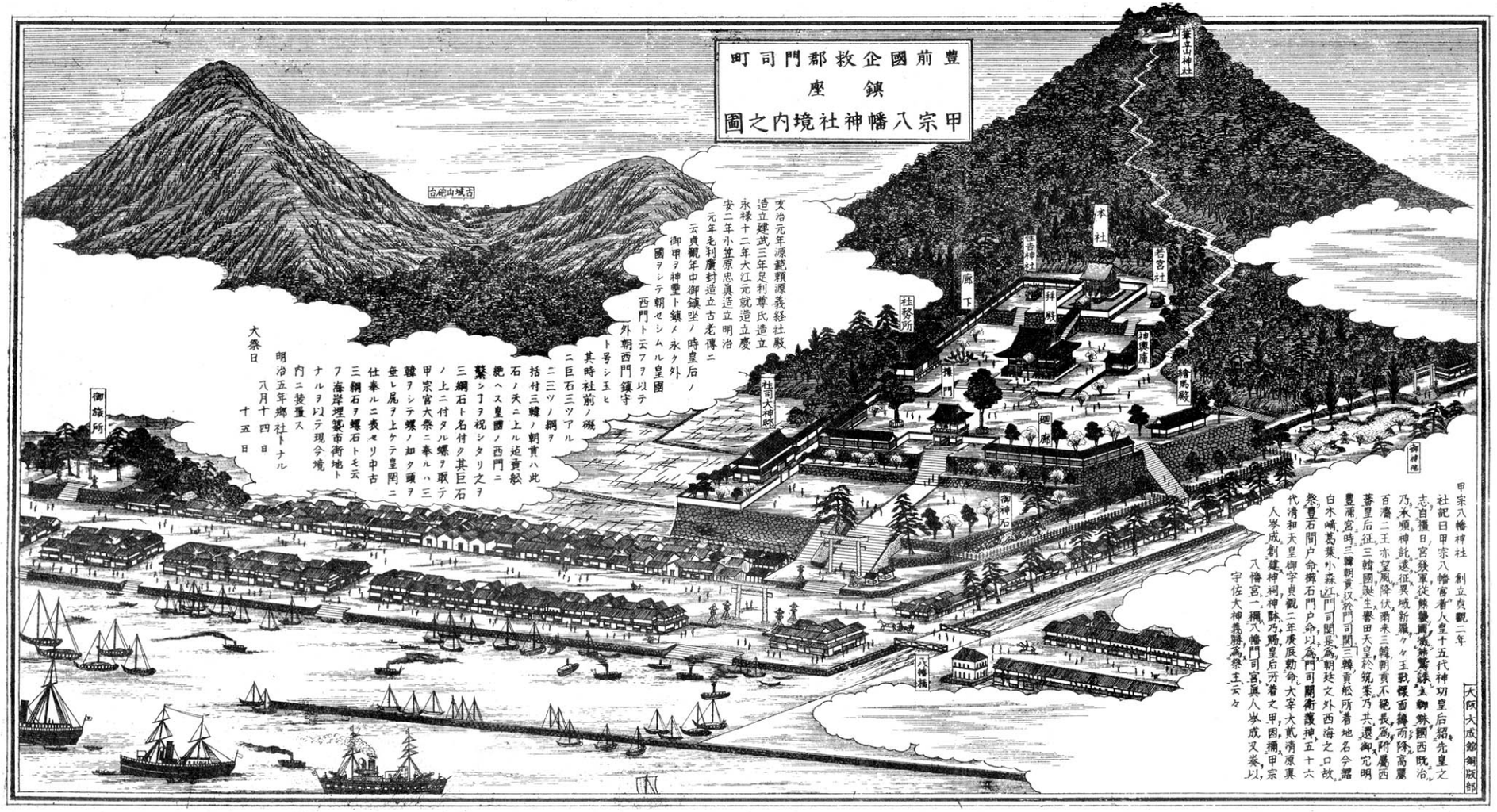

筑前國早良郡姪ノ濱町鷲尾山鎮座
愛宕神社境内之圖
國懸神社
本社
鷲尾神社
御供所
手洗所
社務所
龍殿
愛宕山ハ福岡市ヲ離ル西ニ一里旧名鷲尾山鷲尾祠ハ
伊弉諾尊ノ靈場ナリ頗ル眺望ニ富ム四時佳景筆舌ノ
及フ所ニアラズ寛文十一年九月筑前國主松平右衛門佐黒
田忠之京北愛宕山神ヲ此ニ祀リ賜ヒ愛宕山ト云フ信仰甚ダ
多シ正月二十四日ヲ三月中旬六月二十四日ヲ三大祭トス
國護神社祭神ハ日本武尊ナリ北嶺ニ武内宿祢旧址アリ元冦ノ比
ヨリ鎮西奉探題ノ陣営トス古ハ此山半嶋故ニ南蛮渡ザレノ巌ア
リ山下室見川ノ清流ニ繩線魚多シ春陽築ヲ攜フ白魚簗ト唱フ遊
客最賑シ山川倶ニ眺フ
音ニ聽鷲尾岳ニ来テ見レバ
海ヨリ霞ム姪濱哉
天正五年十月寫ス
周續
大阪大成館銅版部製

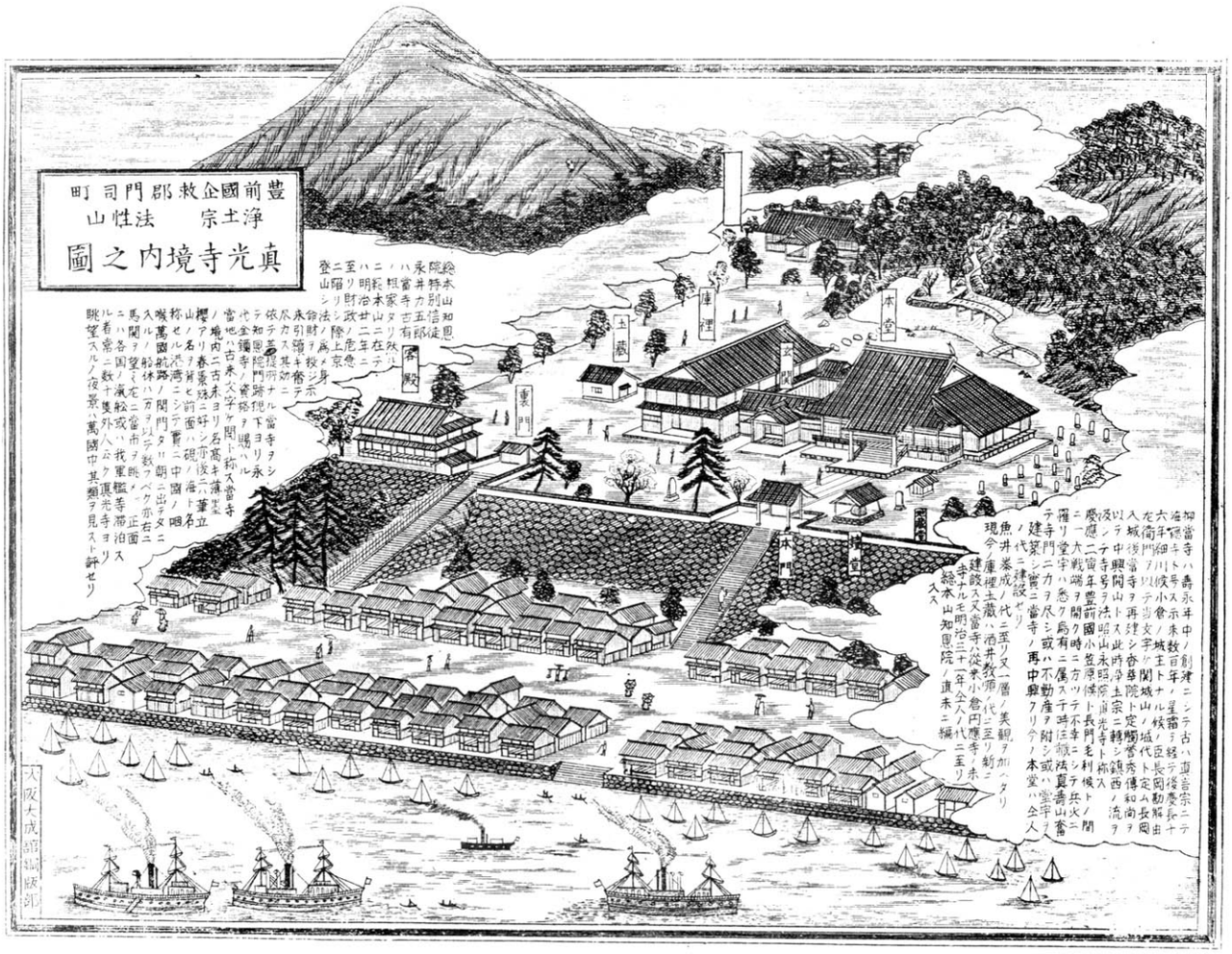

筑前國早良郡西新町
大字西新鎮座
紅葉神社境内之圖
本社
拝殿
御供所
手洗所
隨神門
番宅
神職勝井邸
宇賀神社
八日社
天満宮
秋葉社
松河原神社
紅葉八幡宮　筑前國早良郡百道ヶ原ニアリ神功皇后應神天皇王依姫ノ三柱ヲ祭ル筑前國主黒田光之公ノ建設ニ係リ社殿頗ル宏壮ナリ元當社ハ文明十四年五月ニ本郡橋本村ニアリ後寛文六年丙午八月ニ當百道ヶ原ニ遷座在ス國主産神ノ故ヲ以テ特ニ敬ス社地境内三万有餘坪其他御寄附等ノ物品數フルニ隙ナシ六月十一日九月十一日ヲ以テ大祭ヲ擧行ス奉仕社領壹百石山林凡三万貳千餘坪維新ノ節上地ス
大阪大成館銅版部

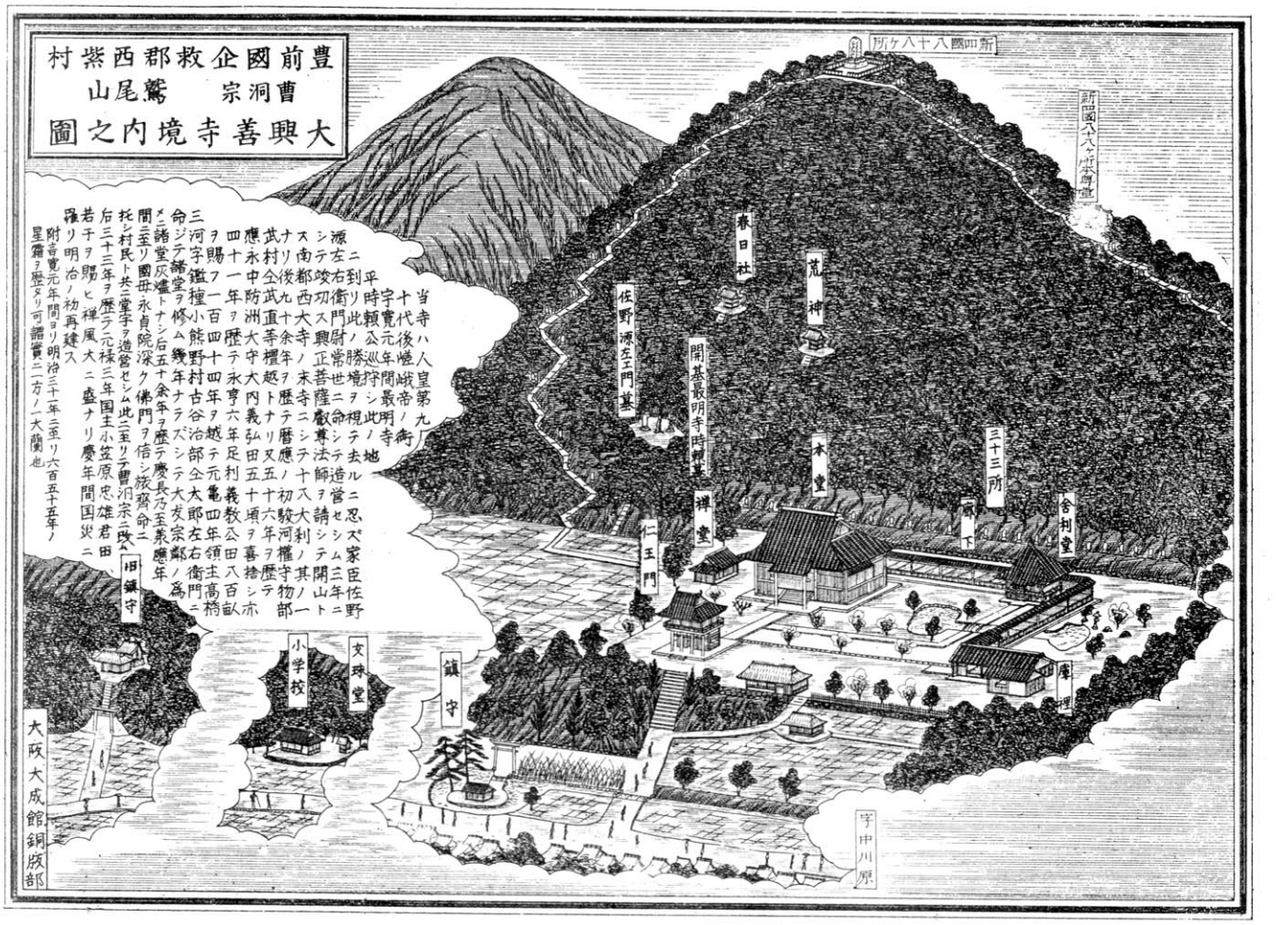

福岡縣筑前國早良郡
金武村大字飯盛鄕社
飯盛神社境内之圖
飯盛山上古墳
月讀命社
拜殿
本社
天滿宮大神宮
社務所
神饌所山ノ神
旧神饌所
飯盛神社ハ早良郡宗社ニシテ祭神伊弉冉大神廣嚴八幡大神ヲ奉齋ナリ社傳記上卷缺失ニ付創立不詳ナレトモ下卷ニ曰今ヲ距ル事一千四十年ノ古ヘ貞觀元年七月三日夜忽モ清和帝神ノ御託宣アリテ和氣清麿ヲ勅使トシテ下向アラシメ神斜下シ給フトアリ又文永八年四月二十七日神田四町五反歩被寄建筑三年卯月十一戸乘御号ノ下ニ於テ神田五反歩被寄文和二年卯月二日神田三十九歩被寄其後九州探題相良前司入道宗鎭ノ乱ニ社領悉ク没収シタル者ナリ元和二年領主黒田忠之入山林若干寄附奉仕神宮ヘ和行五十石ヲ給フ當社ハ早良郡宗社ニテ筑前廿七社ノ一ニシテ本郡持ト相成候ニ付祭典神官給料等ハ郡費ヲ以テ支弁アリシナリ
大阪大成館銅版部

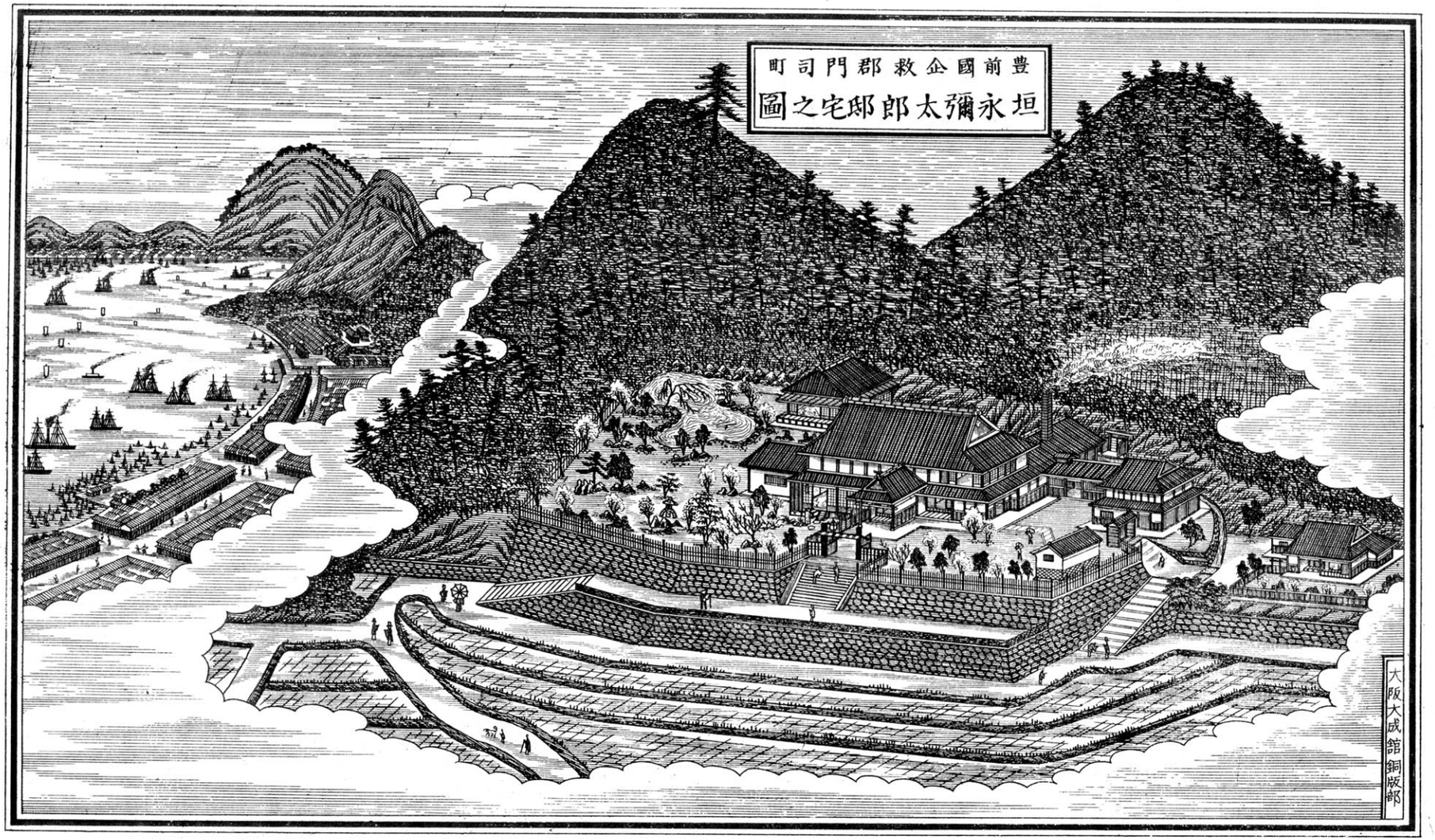
豐前國

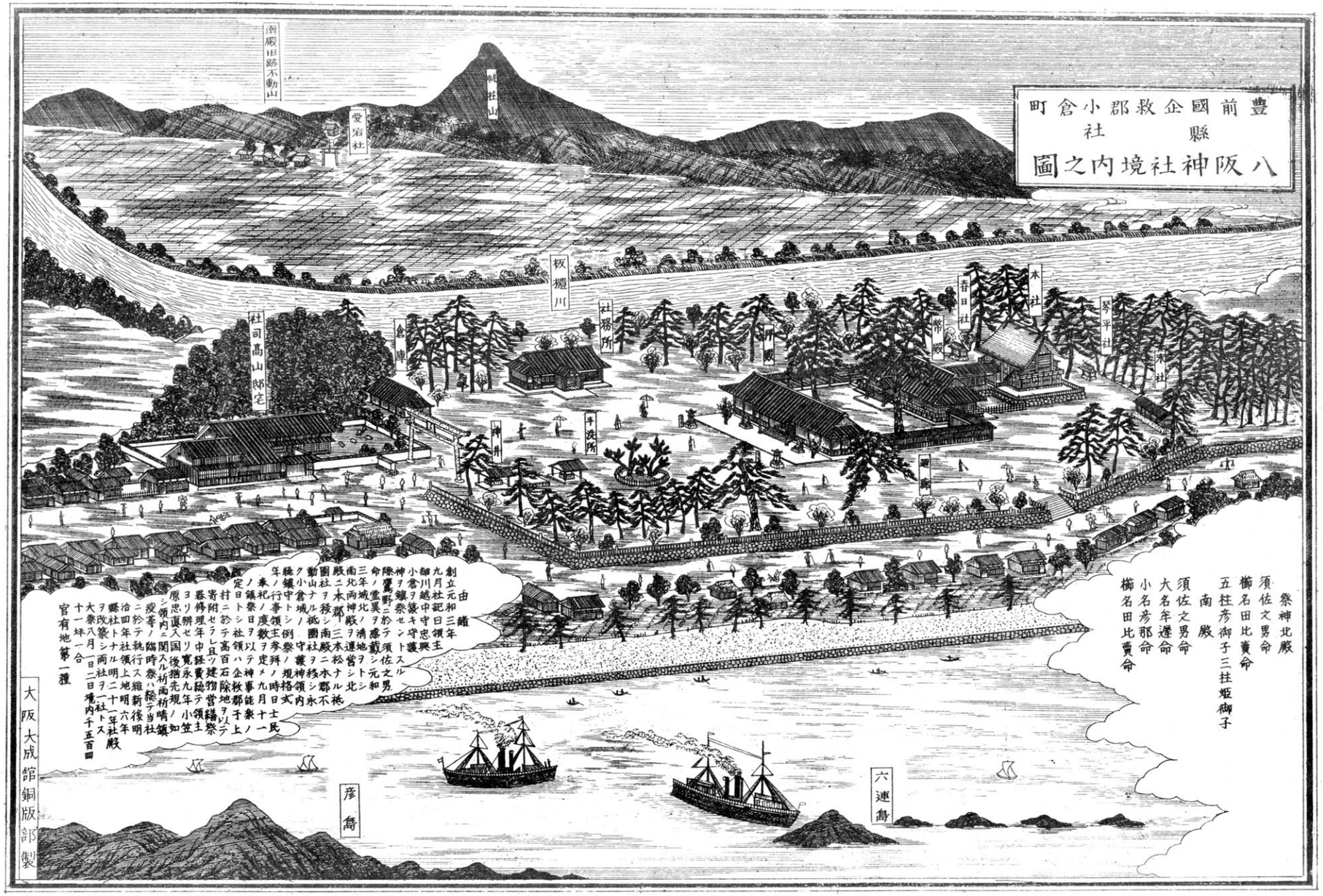

豊前國企救郡門司町
縣社
和布刈神社境内之圖
旧城趾
満珠島
干珠島
火ノ浦
壇之浦燈臺
本社
幣殿
神庫
手洗所
祈念鳴
恩比須社
拝殿
廻廊
玉垣燈
旧門司
軍艦製造所
早鞆海峡
赤間関
御祭神
比賣大神
日子穗々出見命
豫母都比賣命
豊玉毘賣命
阿曇磯良神
往古神功皇后三韓ヲ征伐シ給ハントシテ當社ニ鎮座アラセラルハ所ノ大神ヲ崇敬シ給ヒヤガテ三韓ヨリ長門國沖津嘉利島ニ凱旋ノ時皇后ノ聖慮ヲ以テ此地ヲ撰ヒ大神ヲ齋キ祭リ給フ所ロナリ始メ皇后大神ノ誨ヲ蒙リテ三韓ヲ討給ハントスル時海中ニテ如意珠ヲ得給フテ珠ニ悦ハセ玉フ爰ニ潮干珠潮満珠ノ法ヲ得タル神アリ阿曇磯良ト云故レ琴歌笛ノ音ヲ起シテ海辺ニ迎ヘ給ヘバ命ノマニ〳〵ニ潮ノ満干ノ珠ノ法ヲ奉ル
今毎歳十二月晦ノ夜海中ニテ和布ヲ刈元朝ノ神饌トシ往古ハ朝廷ニモ奉リ久此遺風也
零部五記ニ曰ク元明天皇和銅三年豊前國筑紫皮神主和布利神事ノ和布ヲ奉ル云々蒲千ノ珠ハ社ノ北海上一里計ナル奥津島辺津島ニ納メ給フ今干珠島満珠島ト云フ雌雷社ニモ両珠ノ表相アリ古ヘヨリ傳ヘリ今黄金白銀ニテ包ミ秘シテ猥リニ覩ルコヲユルサズ此レ和布刈神社ノ古ク傳ル緣起ノ大略ナリ
大阪大成舘銅版部製

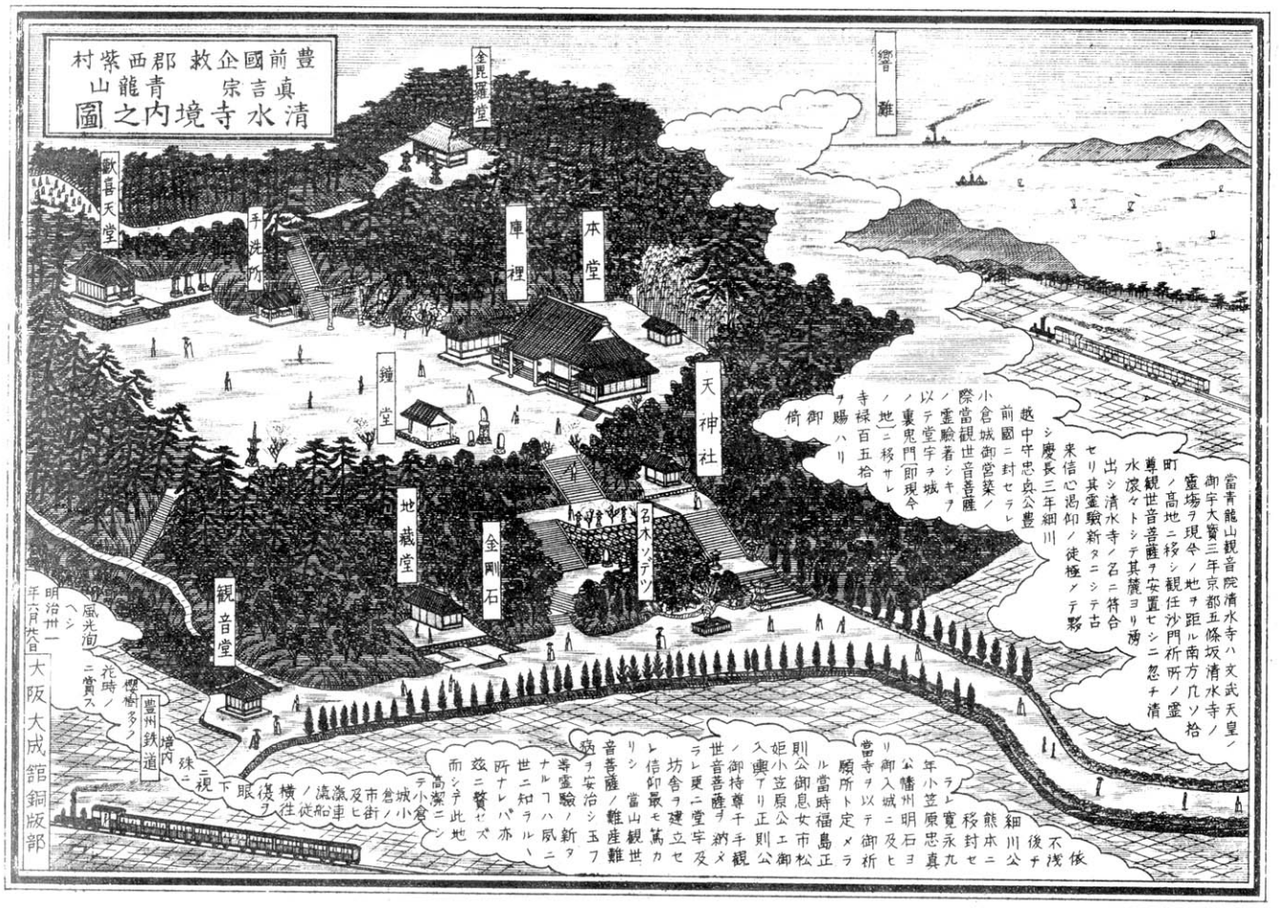

豊前國企救郡門司町
鎭座
甲宗八幡神社境内之圖
若王山神社
本社
若宮社
拝殿
神輿庫
楼門
廻廊
神馬殿
御神池
社務所
廊下
社司大神邸
御神石
八幡橋
御旅所
古城山砲台
文治元年源範頼源義経社殿造立建武三年足利尊氏造立永禄十二年大江元就造立慶安二年小笠原忠眞造立明治元年毛利廣封造立古老傳ニ云貞觀年中御鎭坐ノ時皇后ノ御甲ヲ神體ト鎭メ永ク外國ヲシテ朝セシムル皇國西門ト云フヲ以テ外朝西門鎭守ト号シ玉ヒ其時社前ノ磯ニ巨石三ツアル二三ツノ綱ヲ括付三韓ノ朝貢ハ此石ノ天ニ上ル迄貢船絶ヘス皇國ノ西門ニ繋シヲヲ祝シタリ之ヲ三綱石ト名付ク其巨石ノ上ニ付タル螺ヲ取テ甲宗宮大祭ニ奉ルハ三韓ヲシテ螺ノ如ク頭ヲ垂レ尾ヲ上ケテ皇閨ニ仕奉ルニ表セリ中古三綱石ヲ螺石トモ云フ海岸埋築市街地トナルヲ以テ現今境内ニ装置ス
明治五年郷社トナル
大祭日 八月十四日 十五日
甲宗八幡神社 創立仲哀天皇九年
社記曰甲宗八幡宮者八皇十五代神功皇后稽先皇之志自攝日宮發軍從熊襲國歸筑紫既而平新羅國西既治乃水順神託遂征異域新羅々々王款服西蕃而降高麗百濟二王亦望風降伏爰永三韓朝貢不絶長爲所屬西蕃皇后征三韓國誕生譽田天皇於筑紫乃共遷御宇明豊浦宮時三韓朝貢叓於門司関三韓貢船所着地名今謂白木崎葛葉小森江門司関是爲朝廷之外西海之口故發豊石間戸命擢石門戸命以爲門司關衛護神五十六代清和天皇御宇貞觀二年庚辰勅命大宰大貳清原眞人岑成創建神祠神酥乃賜皇后所着之甲因稱甲宗八幡宮一稱八幡門司宮眞人岑成又奏以宇佐大神義勝爲祭主云々
大阪大成館製版部


豊前國企救郡門司町
淨土宗　法性山
真光寺境内之圖
本堂
庫裡
土藏
東門
本門
鐘樓
客殿
大阪大成館銅版部

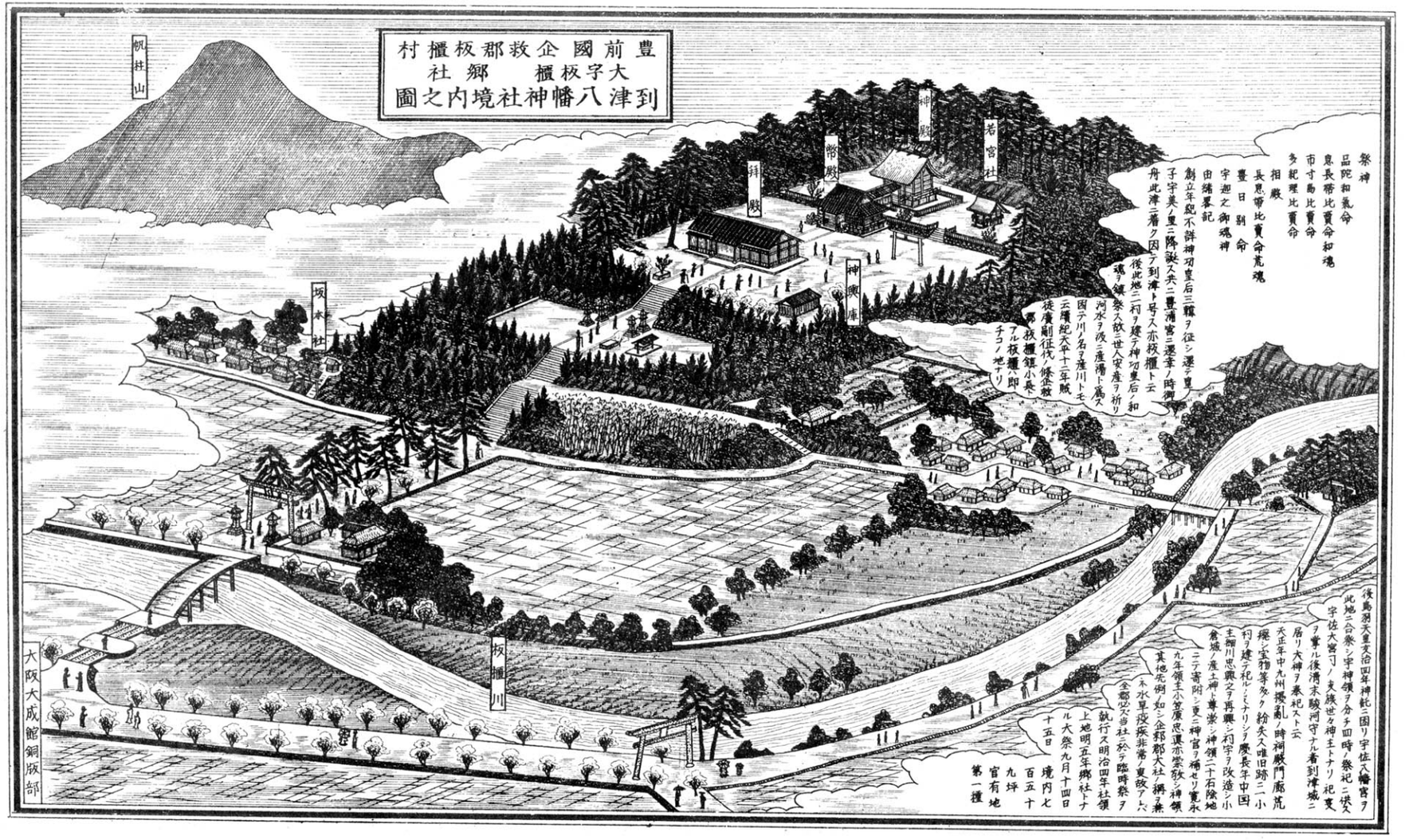

豊前國企救郡西紫村
曹洞宗　鷲尾山
大興善寺境内之圖
新四國八十八ヶ所
新四國八十八ヶ所尊像
春日社
荒神
佐野源左門墓
開基最明寺時賴墓
本堂
三十三所
觀音
舍利堂
禪堂
仁王門
庫裡
鎮守
支那堂
小學校
宇中川原
大阪大成館銅版部

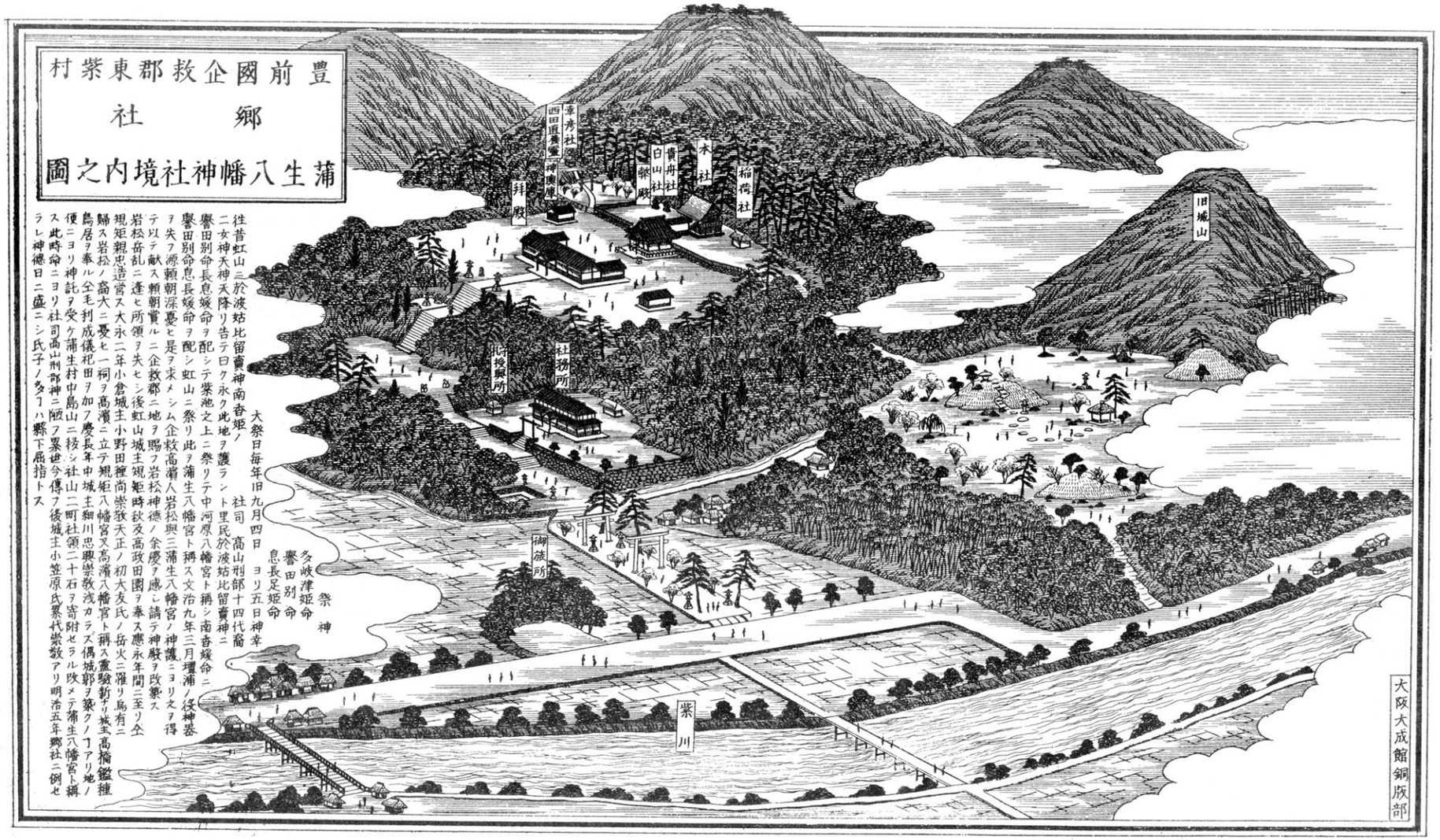

豊前國企救郡門司町
垣永彌太郎邸宅之圖
大阪大成館銅版部


豊前國企救郡小倉町
八阪神社境内之圖
縣社
南殿旧跡不動山
神社山
愛宕社
板櫃川
社務所
倉庫
社司高山邸宅
手洗所
神井
本社
春日社
琴平社
末社
祭神北殿
須佐之男命
櫛名田比賣命
五柱彦御子三柱姫御子
南殿
須佐之男命
大名牟遲命
小名彦那命
櫛名田比賣命
創立和三年
九月社記曰領主
細川越中守忠興
小倉ヲ築キ守護
神ヲ鎭祭セントスル
際麑野ニ於テ須佐之男
命靈異ヲ應藏シ元和
三年城北ノ神地ヲトシ
南北兩神殿ヲ遷營シ北
殿ニ本郡三本松ナル祇
園社ヲ移シ南殿ニ本郡不
動山ナル祇園社ヲ移シ永
ク鎭守トシ領内小倉城ノ
鎭守神ヲ例祭ノ規格式
年ノ春祀ノ度數ヲ定メ九月十一日ヲ以テ
ノ鎭祭日ヲ以テ神事能樂ノ
定日トシ社領ハ企救郡于上
村ニ於テ高百石除地ヲ以テ
寄附セラレ且ツ物當錄祭
器修理ヲ中經費錄テ領主
ヨリ辨セリ寛永九年小笠
原忠眞入國後指先規ノ如
シ領内ニ關スル祈雨祈晴鎭
災等ノ臨時祭ハ勿論テ當社
ニ於テ執行ス維新後明
治四年社領上地明六年
縣社トナル明二十一年社殿
ヲ改築シ兩社ヲ一社トス
大祭八月一日二日境内千五百四
十一坪一合
官有地第一種
大阪大成館銅版部製
彦島
六連島

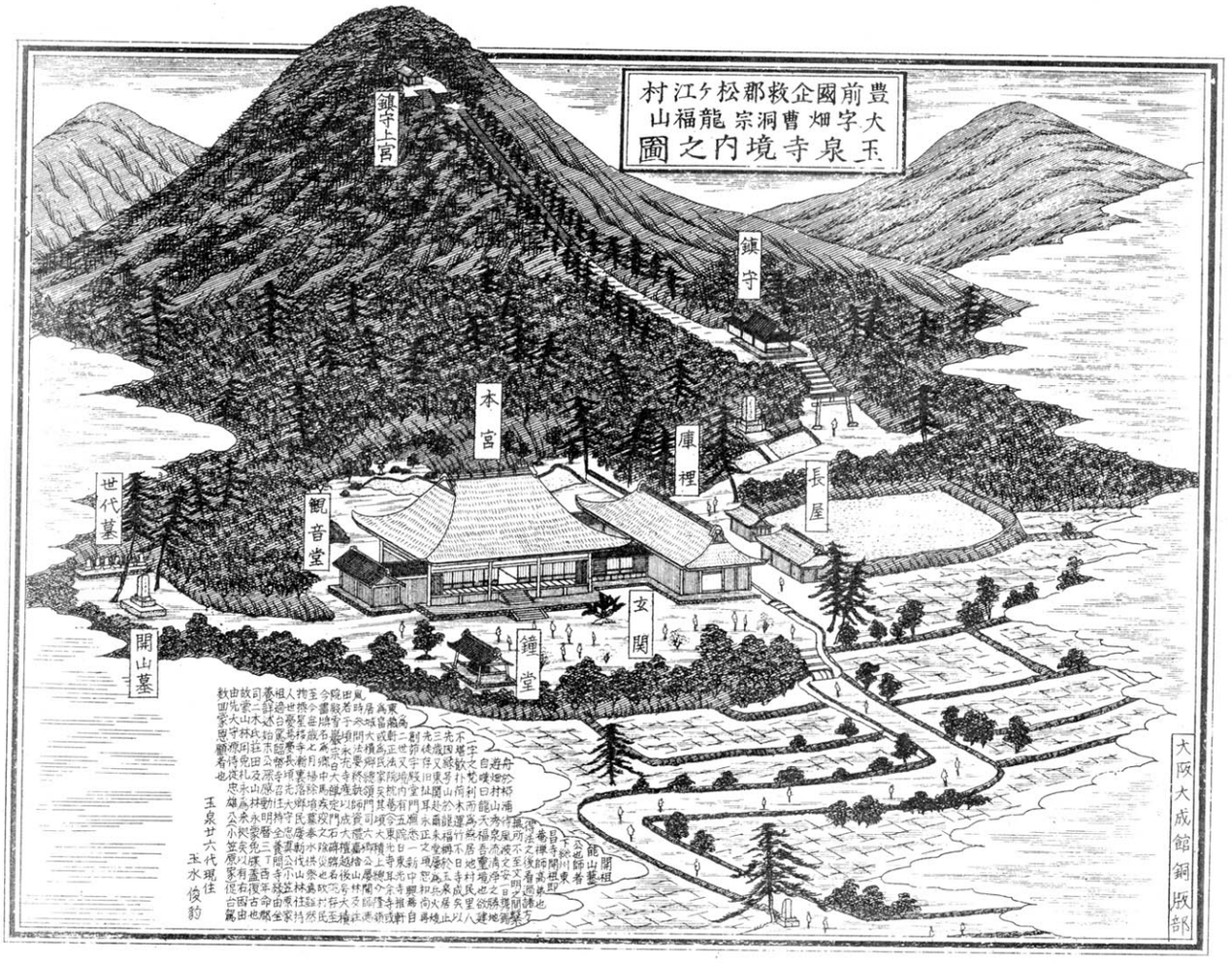

豊前國企救郡西紫村
真言宗　青龍山
清水寺境内之圖
金毘羅堂
歡喜天堂
手洗所
本堂
車寄
鐘堂
天神社
地藏堂
金剛石
名木ノメデソ
觀音堂
豊州鉄道
増内
珠ニ
下関
眼下ニ
横往
後ヲ
風光面
ヘシ
明治卅一年三月廿日
大阪大成館銅版部
櫻樹多ク
花時ノ
ニ賞ス
當山觀世音菩薩ノ靈産靈驗ノ新タナルコハ夙ニ世ニ知ラルヽ所ナレバ亦玆ニ贅ゼズ而シテ此地高潔ニシテ城小倉ノ市街ニ近ク且ツ交通ノ便ヲ有シ殊ニ門前ニ旅舍ノ設ケアリテ遠近ノ信徒ノ參詣スル者常ニ絶ユルコトナシ
坊舍ヲ建立セリ信仰最モ篤カリシ
音菩薩ヲ勸メラレ更ニ堂宇及
世音菩薩ヲ納メ
御持尊千手觀
則公御息女市松姫小笠原公ニ御入輿アリ正則公
當寺ヲ以テ御祈願所ト定メラル當時福島正
年小笠原忠真公豊州明石ヨリ御入城ニ及ヒ
ラレ寛永九
以テ堂宇ヲ城ノ裏鬼門ニ移サレ寺祿百五拾石ヲ賜ハリ
小倉城御營築ノ際當觀世音菩薩ノ靈驗著シキヲ
前國ニ封セラレ
越中守忠良公豊
シ慶長三年細川
出シ清水寺ノ名ニ符合セリ其靈驗新タニシテ古
來信心渇仰ノ徒極メテ夥
町ノ高地ニ移シ觀任沙門祈所ノ盛
尊觀世音菩薩ヲ安置セシニ忽チ清水湧々トシテ其靈ヨリ湧
御倚
依テ
後チ
細川公
熊本ニ
移封セ
不淺
依テ
豊前國企救郡西紫村
真言宗　青龍山
清水寺境内之圖
金毘羅堂
歡喜天堂
手洗所
本堂
車寄
鐘堂
天神社
地藏堂
金剛石
名木ノメデソ
觀音堂
豊州鉄道
増内
珠ニ
下関
眼下ニ
横往
後ヲ
風光面
ヘシ
明治卅一年三月廿日
大阪大成館銅版部
櫻樹多ク
花時ノ
ニ賞ス
當山觀世音菩薩ノ靈産靈驗ノ新タナルコハ夙ニ世ニ知ラルヽ所ナレバ亦玆ニ贅ゼズ而シテ此地高潔ニシテ城小倉ノ市街ニ近ク且ツ交通ノ便ヲ有シ殊ニ門前ニ旅舍ノ設ケアリテ遠近ノ信徒ノ參詣スル者常ニ絶ユルコトナシ
坊舍ヲ建立セリ信仰最モ篤カリシ
音菩薩ヲ勸メラレ更ニ堂宇及
世音菩薩ヲ納メ
御持尊千手觀
則公御息女市松姫小笠原公ニ御入輿アリ正則公
當寺ヲ以テ御祈願所ト定メラル當時福島正
年小笠原忠真公豊州明石ヨリ御入城ニ及ヒ
ラレ寛永九
以テ堂宇ヲ城ノ裏鬼門ニ移サレ寺祿百五拾石ヲ賜ハリ
小倉城御營築ノ際當觀世音菩薩ノ靈驗著シキヲ
前國ニ封セラレ
越中守忠良公豊
シ慶長三年細川
出シ清水寺ノ名ニ符合セリ其靈驗新タニシテ古
來信心渇仰ノ徒極メテ夥
町ノ高地ニ移シ觀任沙門祈所ノ盛
尊觀世音菩薩ヲ安置セシニ忽チ清水湧々トシテ其靈ヨリ湧
御倚
依テ
後チ
細川公
熊本ニ
移封セ
不淺
依テ

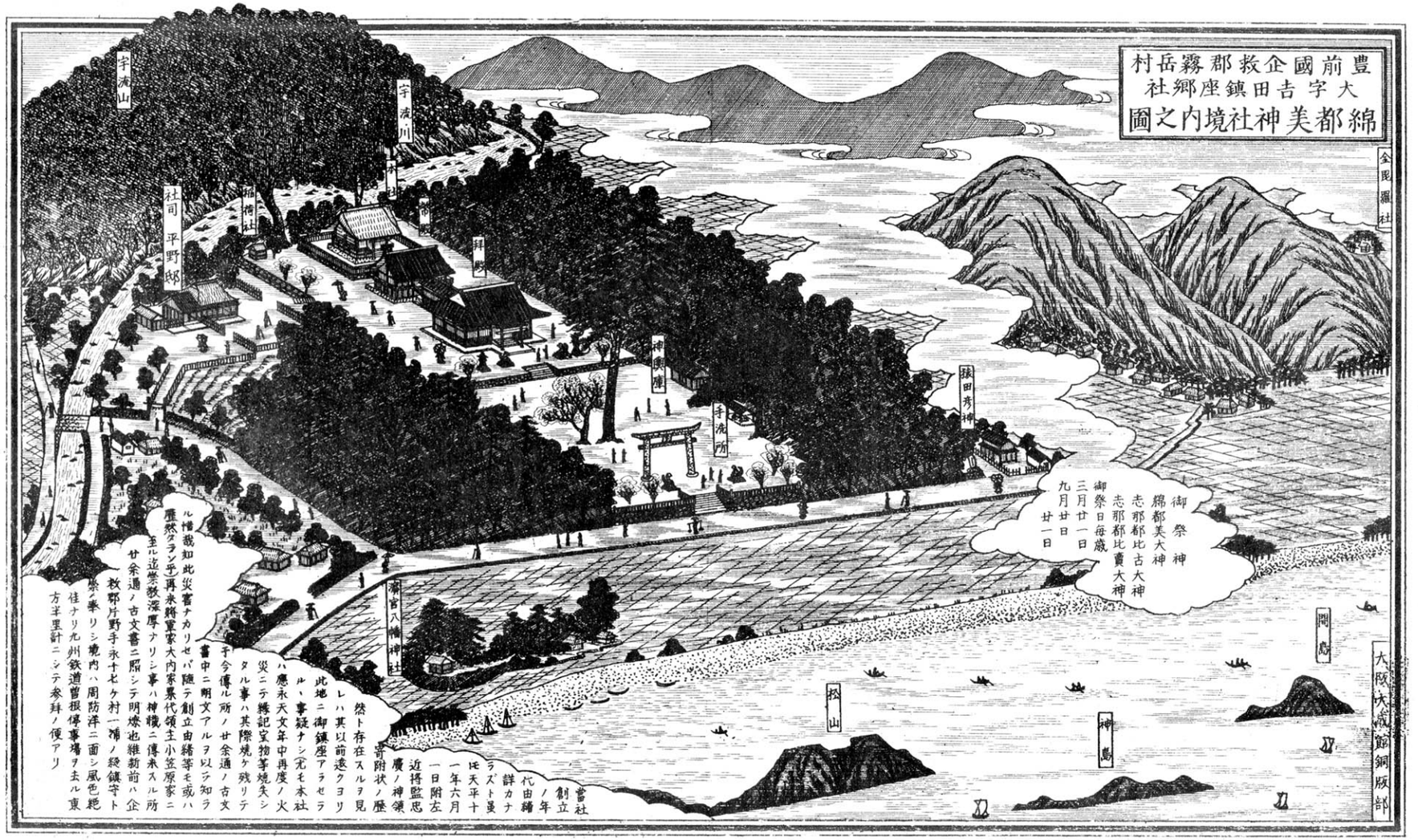

豊前國企救郡東紫村
大字　德力
神理教本院之圖
大教殿
宝庫
大教場
宗家
大教殿
社務所
有栖川親王御手植ノ松
佐野常彦
佐野常民
大阪大成館銅版部
明治十九年十月廿七日許可
明治十三年七月神理教會ノ公立
日
十九

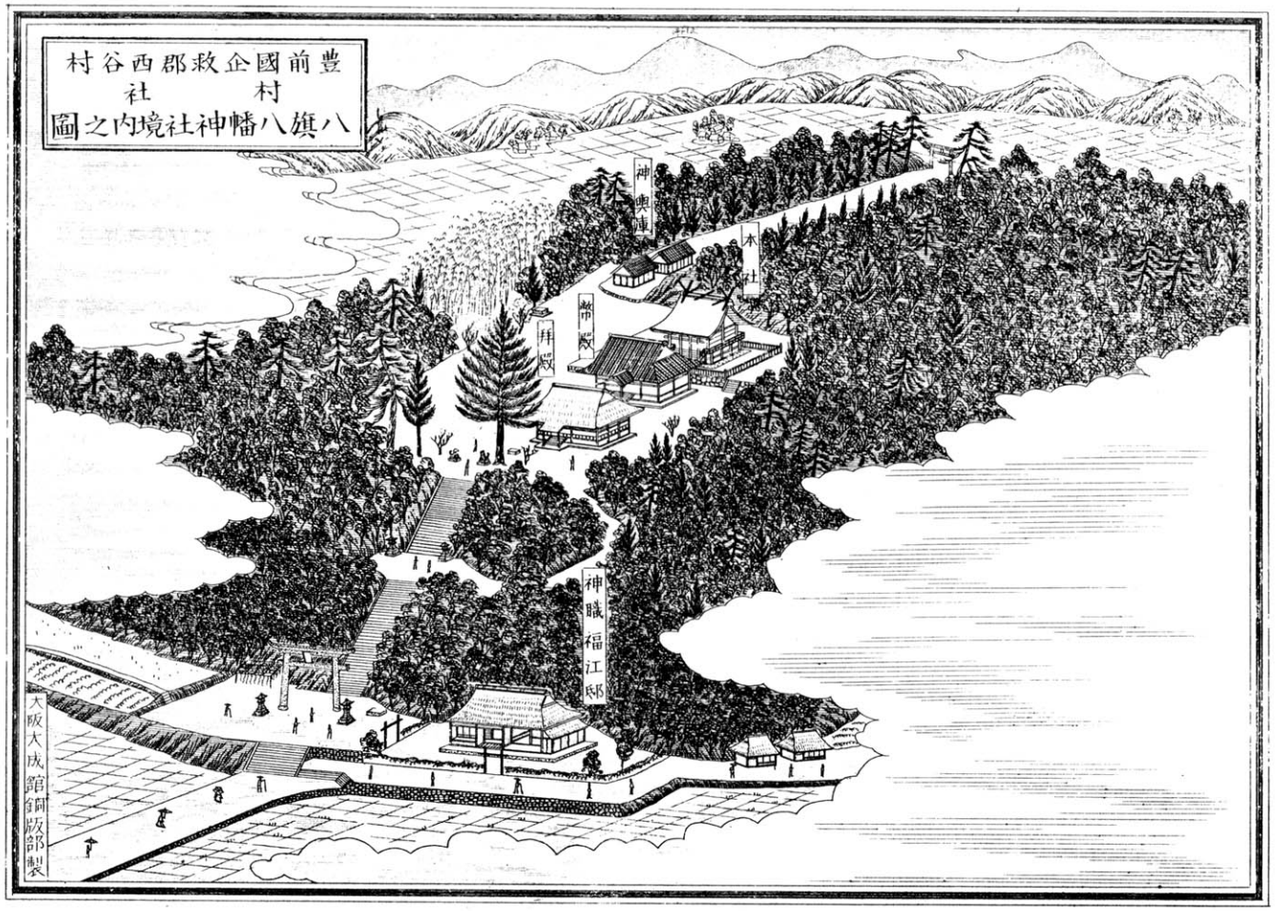

豊前國企救郡板擶村
大字板擶　郷社
到津八幡神社境内之圖
帆柱山
神殿
若宮社
幣殿
祠殿
神樂庫
坂本社
板擶川
大阪大成館銅版部

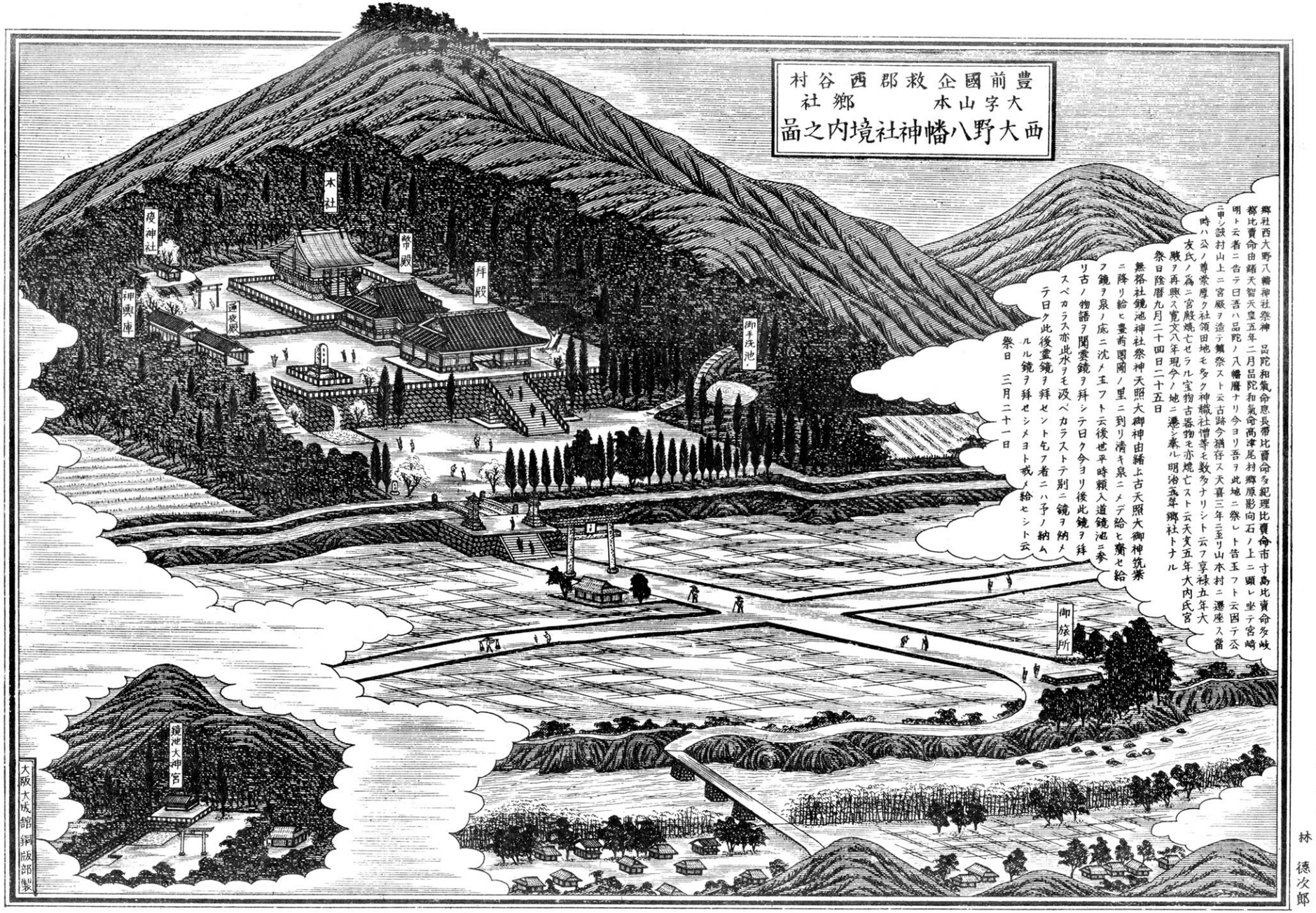

豊前國企救郡東紫村
社　郷
蒲生八幡神社境内之圖
往昔虹山ニ於波姑比留賣神南香姫ノ
二女神天神天降リ告テ曰ク永ク此地ヲ護ラント里民於波姑比留賣神ニ
譽田別命長息嬢命ヲ配シテ紫池之上ニ祭リテ中河原八幡宮ト稱シ南香嬢命ニ
譽田別命息長嬢命ヲ配シ虹山ニ祭リ此ヲ蒲生八幡宮ト稱ス文治九年三月壇浦ノ役神器
ヲ失フ源頼朝深憂ト是ヲ求メシム企救高瀬人岩松與三蒲生八幡宮ノ神護ニヨリ之ヲ得
テ以テ献ス頼朝賞ルニ企救郡ニ地ヲ賜フ岩松神德ノ余慶ヲ感シ請テ神殿ヲ改築ス
岩松奇乱ニ逢ヒ所領ヲ失セシ後虹山城主規矩時秋及高政田園ヲ奉ス應永年間ニ至リ全
規矩親忠造営ス大永二年小倉城主小野田種尚崇敬天正ノ初大友氏ノ兵火ニ罹リ烏有ニ
歸ス岩松ノ裔大ニ憂ヒ一祠ヲ高瀬ニ立テ規矩八幡宮又高瀬八幡宮ト稱ス靈驗新リ城主高橋鑑種
鳥居ヲ奉ル仝毛利成儀祀田ヲ加フ慶長年中城主細川忠興崇敬浅カラズ偶城郭ヲ築クノ丁アリ地ノ
便ニヨリ神託ヲ受ケ蒲生村中島山ニ移シ社山二町社領二十石ヲ寄附セラル改メテ蒲生八幡宮ト稱
ス此時命ニヨリ社司高山刑部神ニ陋ヲ累世今傳フ後城主小笠原氏累代崇敬アリ明治五年鄉社ニ例セ
ラレ神德日ニ盛ニシ氏子ノ多キハ縣下屈指トス
大祭日毎年旧九月四日　ヨリ五日神幸
社司　高山刑部十四代裔
祭神
多岐津姫命
譽田別命
息長足姫命
拝殿
神庫
社務所
神楽殿
御旅所
本社
稲荷社
貴舟社
日山社
旧城山
紫川
大阪大成館銅版部


豊前國企救郡足立村
大字足原　黄檗宗
廣壽山福聚禪寺境内之圖
小笠原家廟
陸標石
五百羅漢
開山塔
不二門
山門
鐘楼
本堂
庫裡
玄関
客殿
観音堂
阿弥陀堂
浄地
三十三所
八十八所
総門
大阪大成館銅版部


豊前國企救郡松ヶ江村
大字畑曹洞宗
玉泉寺境内之圖
鎮守上宮
鎮守
本宮
庫裡
長屋
観音堂
世代墓
玄関
鐘堂
開山墓
大阪大成館銅版部


豊前國企救郡霧岳村
大字吉田鎮座郷社
綿都美神社境内之圖
全長羅社
宇流山
宇流川
社司 平野郎
稲荷社
拝殿
神輿庫
手洗所
猿田彦神
御祭神
綿都美大神
志那都比古大神
志那都比賣大神
御祭日毎歳
三月廿一日
九月廿日
廿一日
大阪大成館銅版部
門島
松山
神島
當社創立ノ年代由緒詳カナラズト雖モ天平十一年六月一日附左近將監忠慶ノ神領寄附狀ノ歴然トシテ存在スルヲ見レハ其以前遠クヨリ此地ニ御鎮座アラセラルヽ事疑ナシ況ヤ本社ハ應永天文年中再度ノ火災ニテ縄記宝物等焼失シタル事ハ其際焼ケ残リテ今傳ル所ノ廿余通ノ古文書中ニ明文アルヲ以テ知ラルヽ慥ニ知ル此災害ナカリセバ隨テ創立由緒等モ或ハ歴然タラン乎再来綿宮家大内家累代領主小笠原家ニ至ル迄崇敬深厚ナリシ事ハ神職ニ傳来スル所廿余通ノ古文書ニ照シテ明瞭也維新前ハ企救郡片野手永十七ケ村一浦ノ総鎮守ト崇ノ挙リシ境内ハ周防洋ニ面シ風色絶佳ナリ九州鉄道豊根停車場ヲ去ル東方半里許ニシテ参拝ノ便アリ
若宮八幡神社


豊前國企救郡西谷村
村　社
八旗八幡神社境内之圖
神輿庫
本社
拝殿
神職福江邸
大阪大成館印版部製



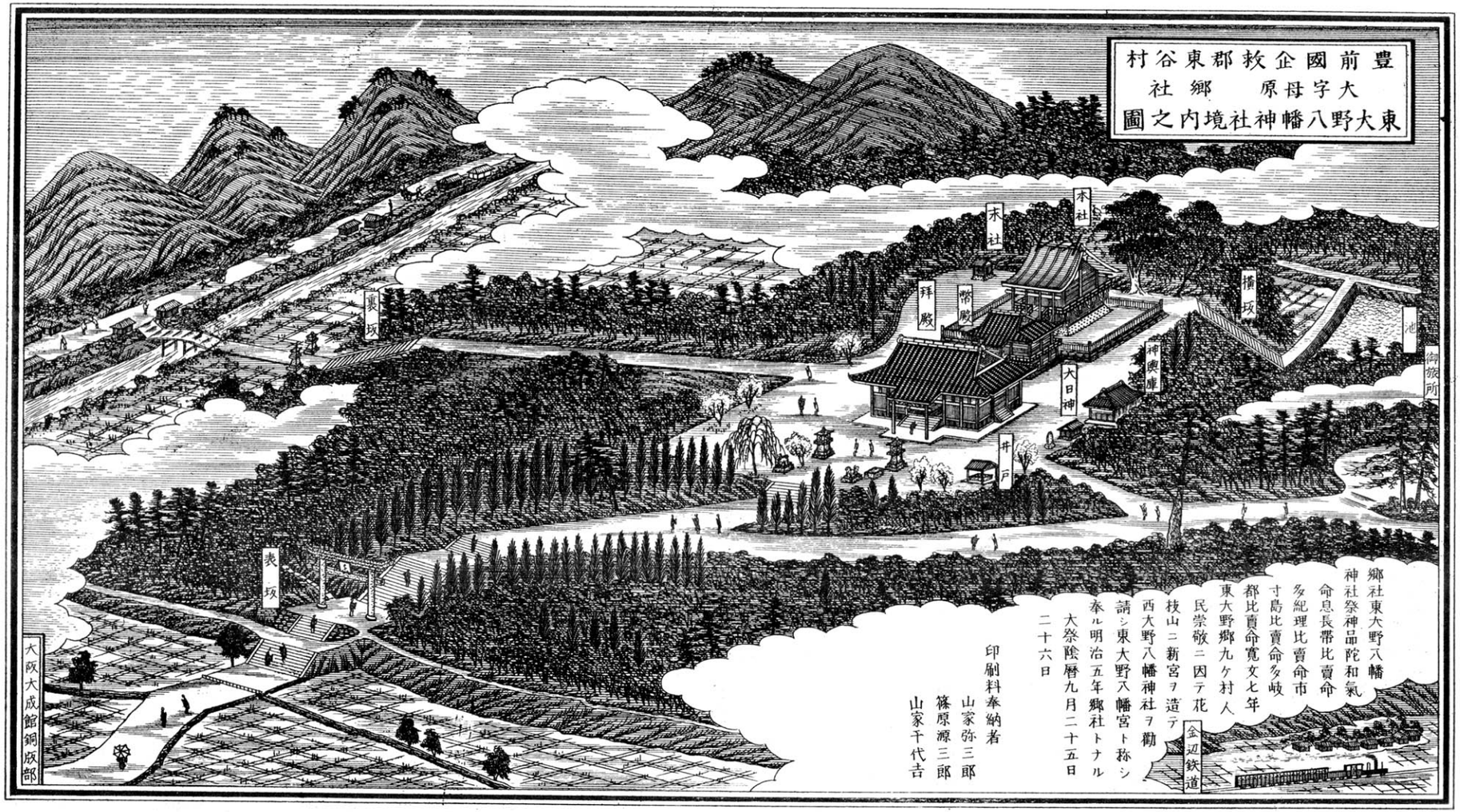
鄕社西大野八幡神社祭神　品陀和氣命息長帶比賣命多紀理比賣命市寸島比賣命多岐都比賣命由緒天智天皇五年二月品陀和氣命高津尾村鄕服影向石ノ上ニ顯レ坐テ宮崎明ト云者ニ告テ曰吾ハ品陀ノ八幡麿ナリ今ヨリ吾ヲ此地ニ祭レト告玉フト云因テ公ニ申シ設村山上ニ宮殿ヲ造テ鎭祭スト云古跡今猶存ス天喜三年ニ至リ山本村ニ遷座ス當時ハ公ノ尊崇厚ク社領田地モ多ク神職社僧等モ數多ナリシト云フ享祿五年大友氏ノ爲ニ宮殿燒亡セラル寶物古器物モ亦燒亡スト云天文五年大內氏宮殿ヲ再興ス寛文八年現今ノ地ニ遷シ奉ル明治五年鄕社トナル

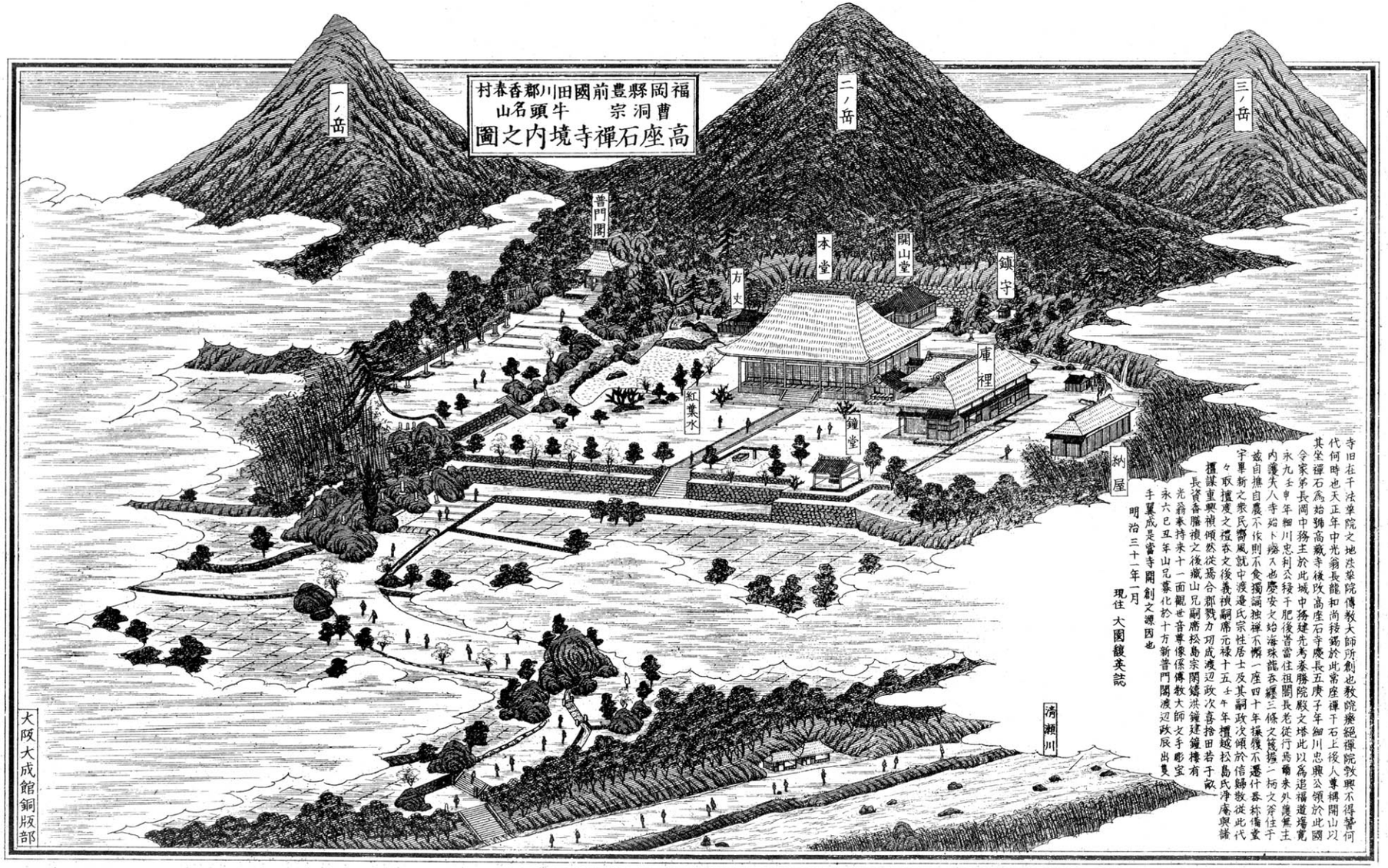
祭日陰曆九月二十四日二十五日

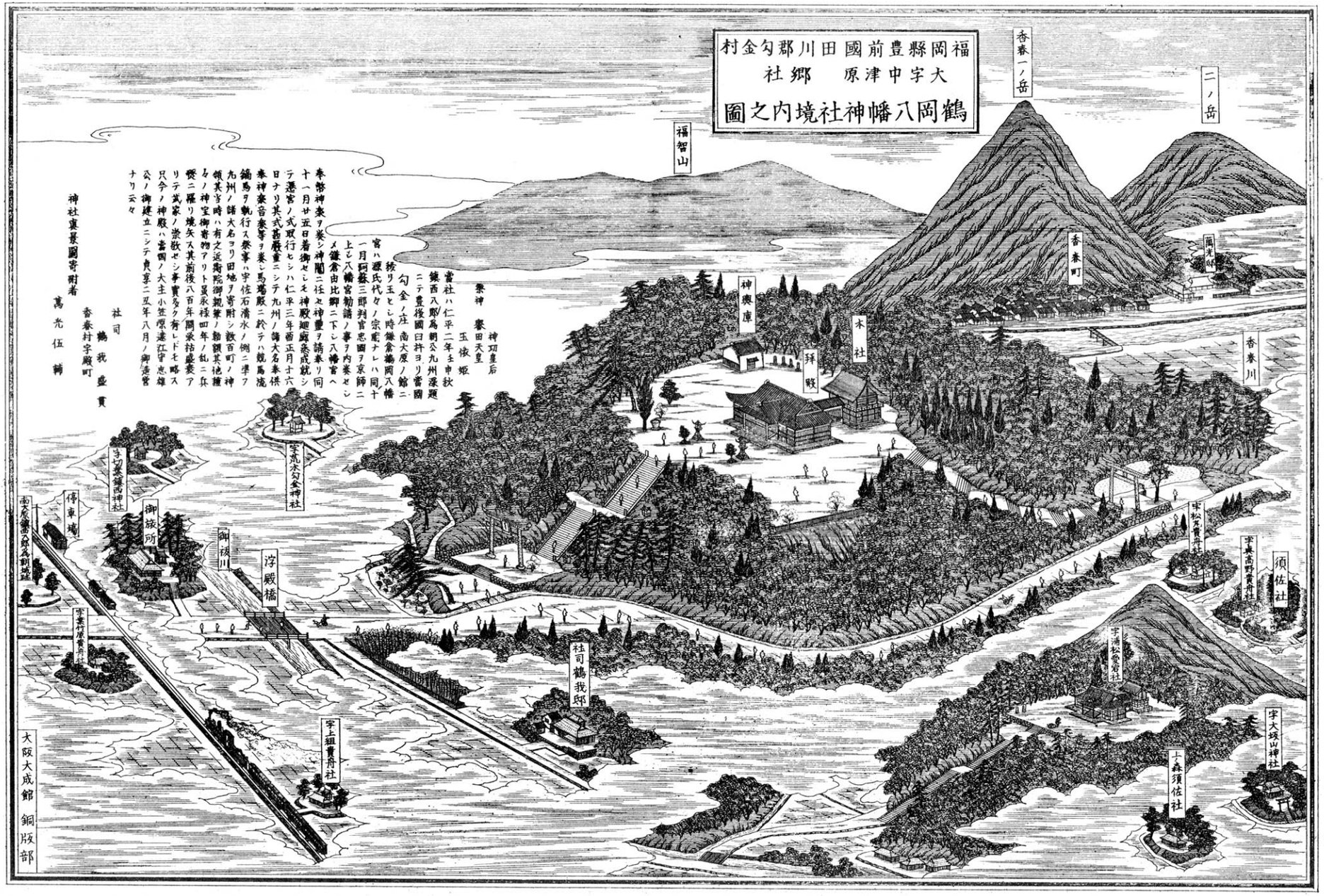
無格社鏡池神社祭神天照大御神由緒上古天照大御神筑紫ニ降リ給ヒ豊前國開ノ里ニ到リ清キ泉ニメデ給ヒ齋セ給フ鏡ヲ泉ノ底ニ沈メ玉フト云後世平時賴入道鏡池ニ參リ古ノ物語ヲ聞奉鏡ヲ拜シテ曰ク今ヨリ後此鏡ヲ拜スベカラス亦此水ヲモ汲ベカラストテ別ニ鏡ヲ納メテ曰ク此後靈鏡ヲ拜セントセン者ニハ予ノ納ムルル鏡ヲ拜セシメヨト戒メ給セシト云

祭日　三月二十一日

印刷料奉納者　中野万次郎
林　元喜
林　徳次郎


豊前國企救郡東谷村
大字母原　鄷社
東大野八幡神社境内之圖
本社
末社
裏坂
拝殿
幣殿
大日神
神輿庫
井戸
表坂
横坂
池
御旅所
金辺鉄道
鄷社東大野八幡
神社祭神品陀和氣
命息長帯比賣命
多紀理比賣命市
寸島比賣命多岐
都比賣命寛文七年
東大野郷九ケ村人
民崇敬ニ因テ花
枝山ニ新宮ヲ造テ
西大野八幡神社ヲ勧
請シ東大野八幡宮ト称シ
奉ル明治五年鄷社トナル
大祭陰暦九月二十五日
二十六日
印刷料奉納者
山家弥三郎
篠原源三郎
山家千代吉
大阪大成館銅版部


福岡縣豐前國田川郡香春村
曹洞宗　牛頭名山
高座石禪寺境内之圖
一ノ岳
二ノ岳
三ノ岳
普門閣
本堂
開山堂
鎮守
方丈
庫裡
紅葉水
鐘堂
納屋
清瀬川
寺田在千法華院之地法華院傳教大師所創也教院廢絕禪院敎興不得詳何代何時也天正年中光翁長龍和尚移錫於此常座禪于石上後人專稱開山以其坐禪石爲始猶高藏寺後改高座石寺慶長五庚子年細川忠興公領於此國令家弟長岡中務主於此城中務建先考泰勝院殿之塔此以爲追福道場寬永九士申年細川忠利公移于肥後皆當住祖關長老從行焉賜永久寺領二百石之筵獨一柄之拂住于內護久八寺始卜燃入曲慶安之始海珠龍泰耀三條之筵獨一柄之拂住于盛自應自農不依則不食獨嗣獨禪不觸一座四十年操儀不遷付器称傳堂宇畢新之衆民翕風就中渡邊氏宗性居士及其嗣政次補於信歸敬從此代々取檀越之禮恭之後義禎嗣席元祿十五士午年檀越松島氏淨庵與諸檀謀重興禎傾然從焉合郡戮力功成渡辺政次喜捨田若干畝長資備膳禎之後嶽山兄嗣席松島宗閑鑄洪鐘建鐘樓有光翁奉持來十一面觀世音尊像係傳教大師之手彫宝永六己丑年山兄寂化於十方新普門閣渡辺政辰出奠寺冀成是當寺開創之源因也
明治三十一年一月
現住　大園覺英誌
大阪大成館銅版部


福岡縣豊前國田川郡勾金村
大字中津原　鄕社
鶴岡八幡神社境内之圖
香春一ノ岳
二ノ岳
福智山
香春町
萬光邸
神輿庫
本社
拜殿
香春川
宇松乃貴舟社
宇與高野貴舟社
須佐社
宇浦松菅宮社
宇大坂山神社
十ヶ森須佐社
杜司鶴我邸
宇上組貴舟社
宇柴竹原貴舟社
御阪川
浮殿橋
御阪所
傳車場
宇乙丸木勾金神社
宇辺春鎭西神社
南大成館ノ邸ハ為朝城跡
當社ハ仁平二年壬申秋
鎭西八郎為朝公九州漂題
ニテ豊後國ヨリ許ヨリ當國
勾金ノ庄南大原ノ館ニ
移リ玉ヒシ時鎌倉鶴岡八幡
宮ハ源氏代々ノ宗廟ナレハ同十
一月阿蘇三郎判官忠國ヲ京師ニ
上シ八幡宮勅請ノ事ヲ内奏セシ
メ鎌倉由比郷ニ下シ八幡宮ヘ
奉遷神殿細廊悉成就シ
十一月廿五日着御セシヲ神豊ヲ請奉リ同
日ナリ其式甚厳重ニシテ九州ノ諸大名悉供
奉神楽音楽等ヲ奏シ馬場殿ニ於テハ競馬流
鏑馬ヲ執行ス祭事ハ宇佐石清水ノ例ニ準フ
九州ノ諸大名ヨリ田地ヲ寄附シ数百町ノ神
領其当時ハ有之近衛院御親筆ノ勅額其他種
々ノ神宝御書物アリト雖永禄四年ノ乱ニ兵
燹ニ罹リ境矢久其前後八百年間衆拾盛衰ア
リテ武家ノ崇敬セシ事實多ク有レドモ略ス
只今ノ神殿ハ當國ノ大主小笠原遠江守忠雄
公ノ御建立ニシテ貞享二丑年八月ノ御造営
ナリ云々
社司
鶴我盛貫
香春村字殿町
神社裏景圖寄附者
萬光伍輔
大阪大成館銅版部



鏡山大神社

福岡縣豊前國田川郡勾金村大字鏡山

祭神 氣長足姫尊 足仲彦天皇

一仙譬万葉抄三ノ引所載豊前風土記曰

田川郡鏡山在郡東北昔者氣長足姫尊在

此山遥覧國形勅云天神地祇為

我助福使用御鏡安置此所其

鏡即化爲石見在山中因名曰

鏡山

一當社ハ神功皇后三韓御

征伐時於此嗣天神地祇

を祭給い し處故足姫尊

の御魂尚尊の鎮給いし

御鏡の御神徳を崇め

奉りて草創ありし御

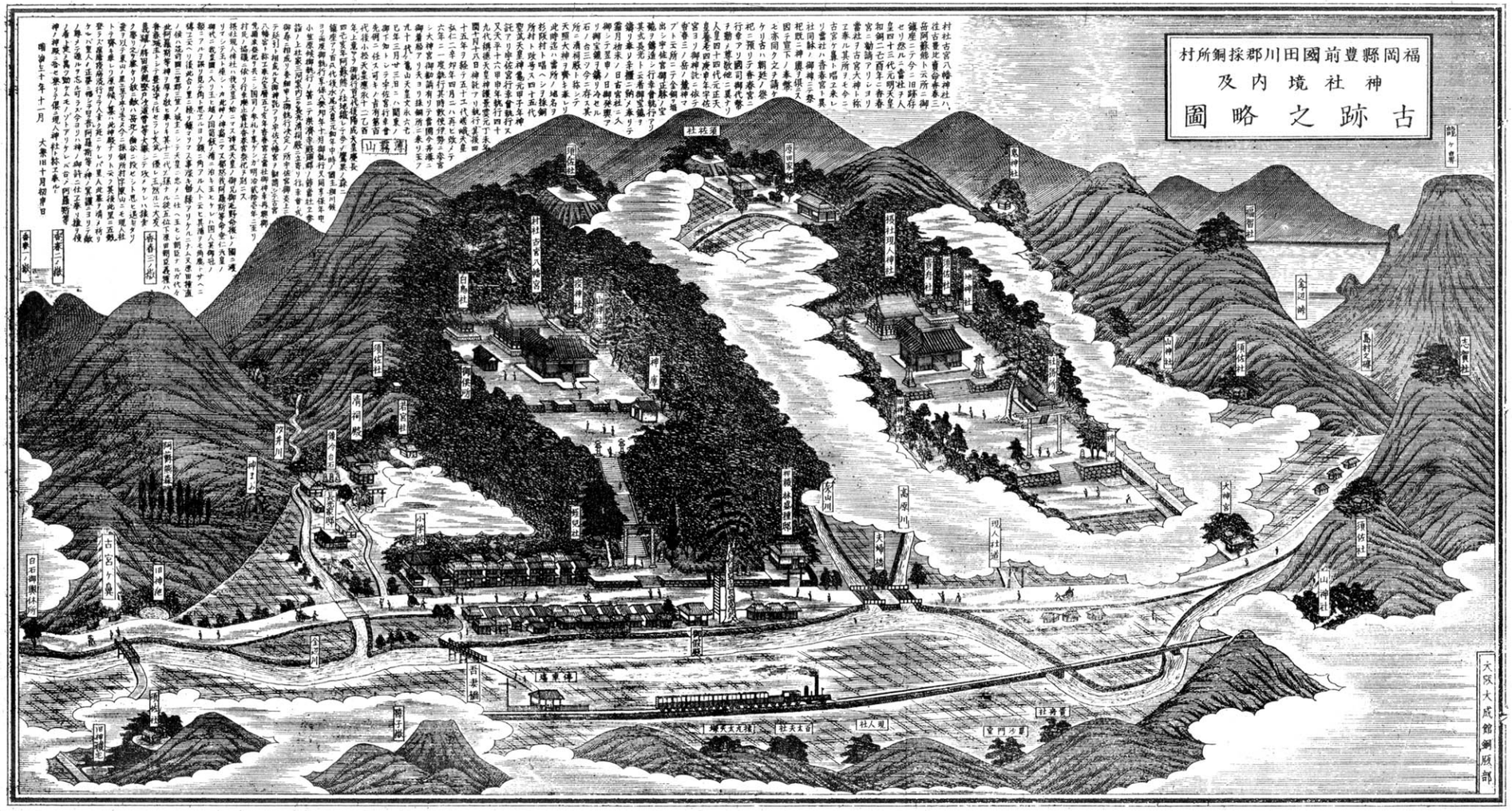
社ゆえて茶くも人皇

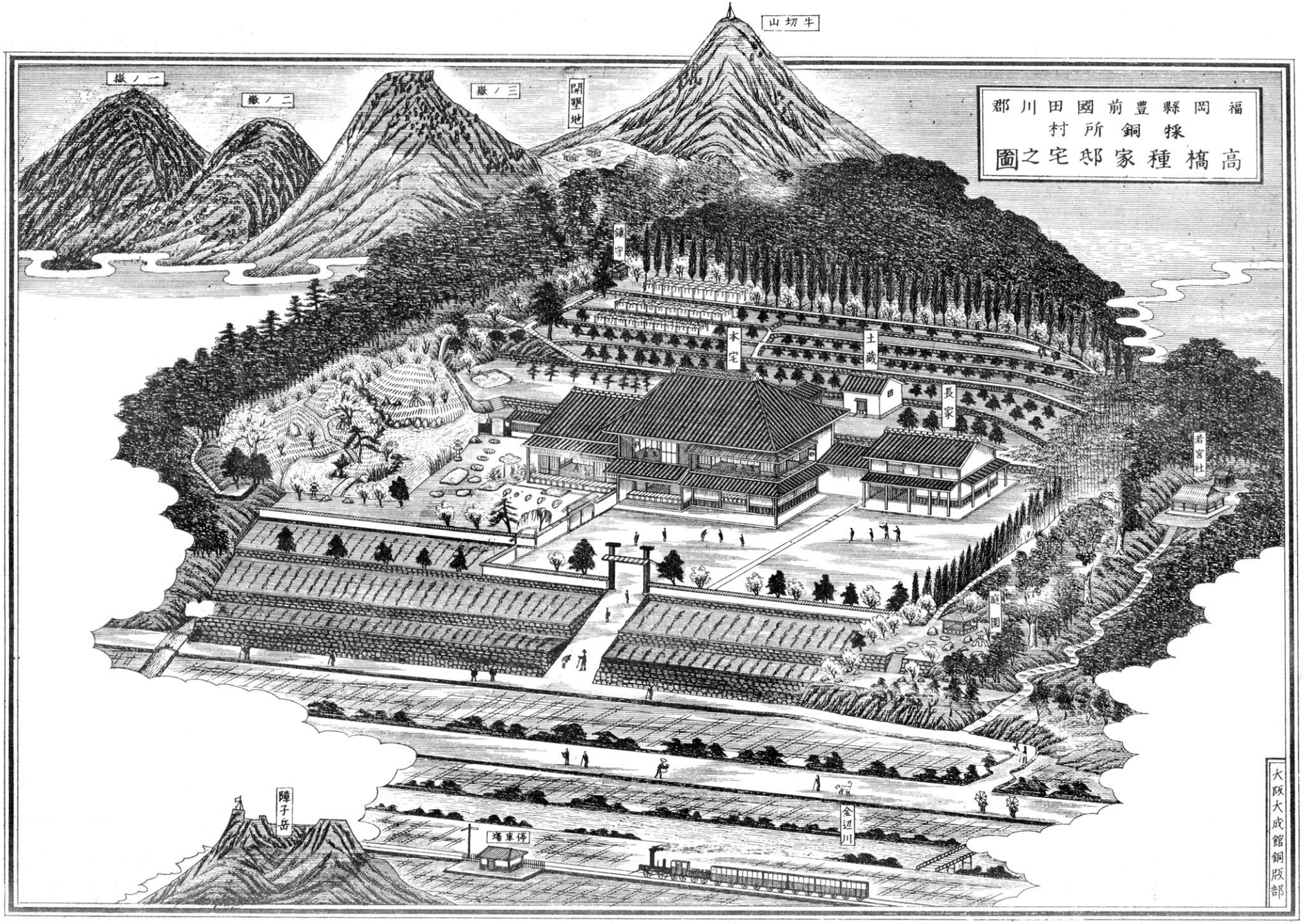
十五代の帝を祝い奉

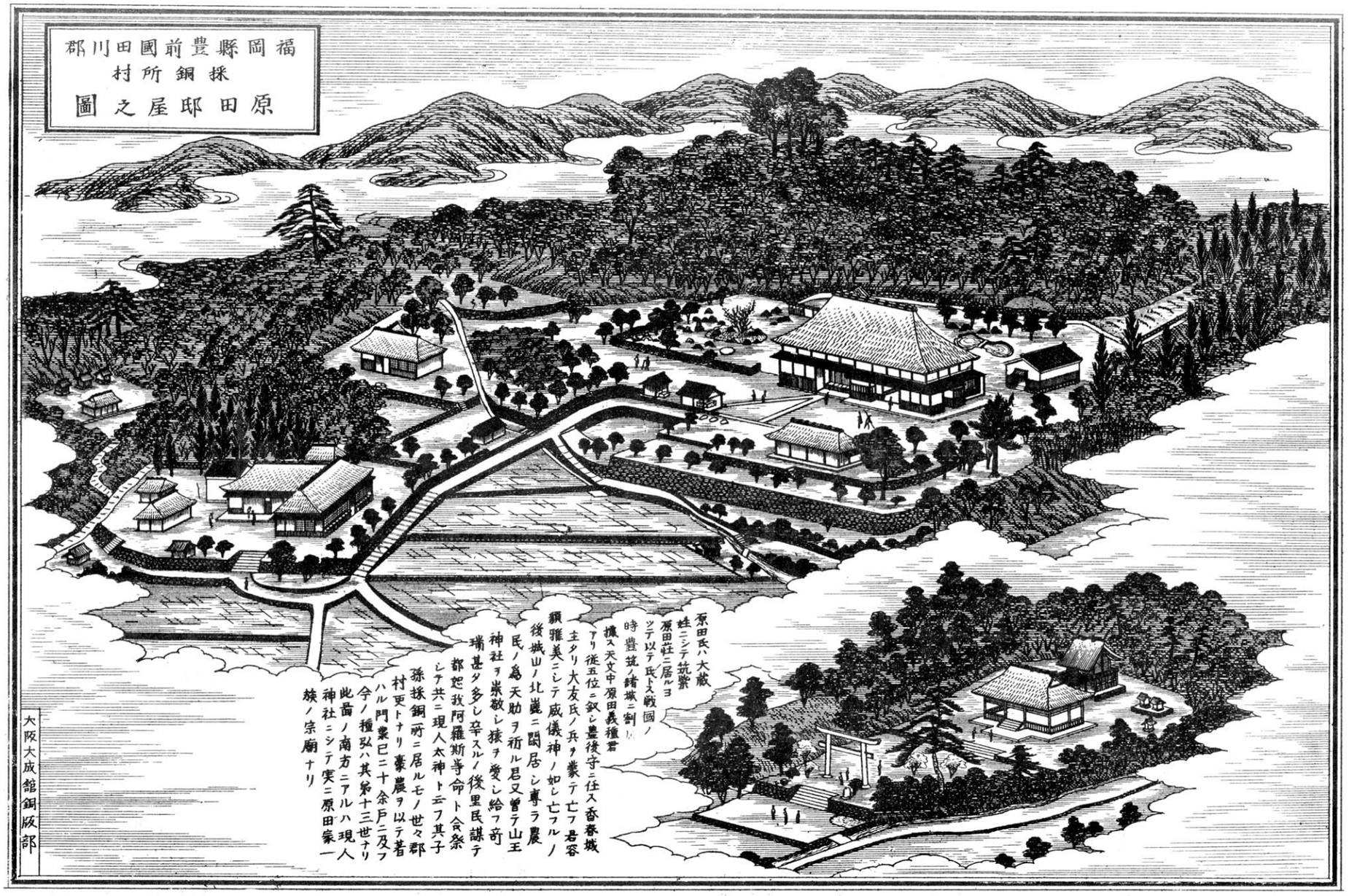
りし御殿ゴ座せは御

鎮座より此方一千六

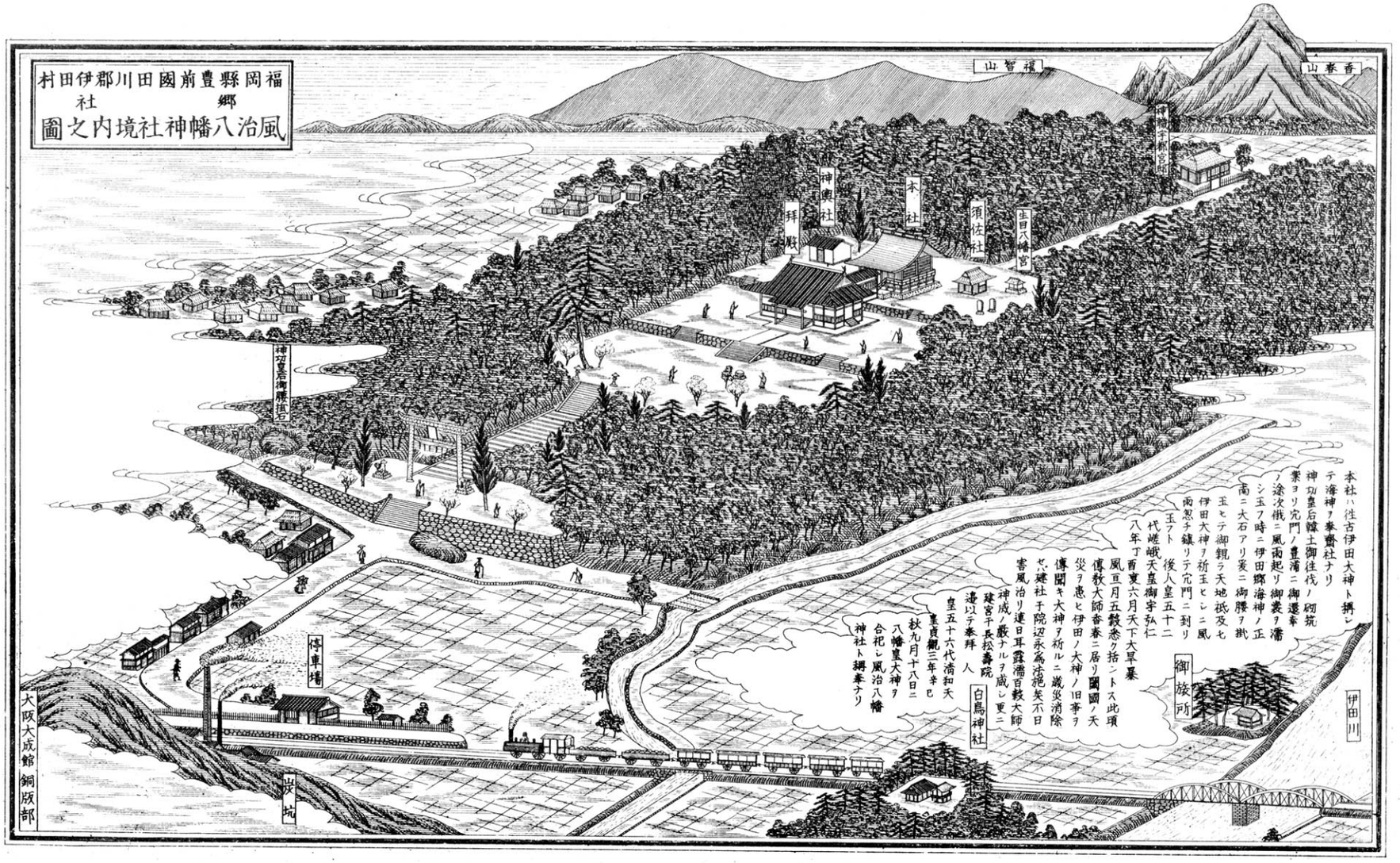
百餘年の御宮居なり

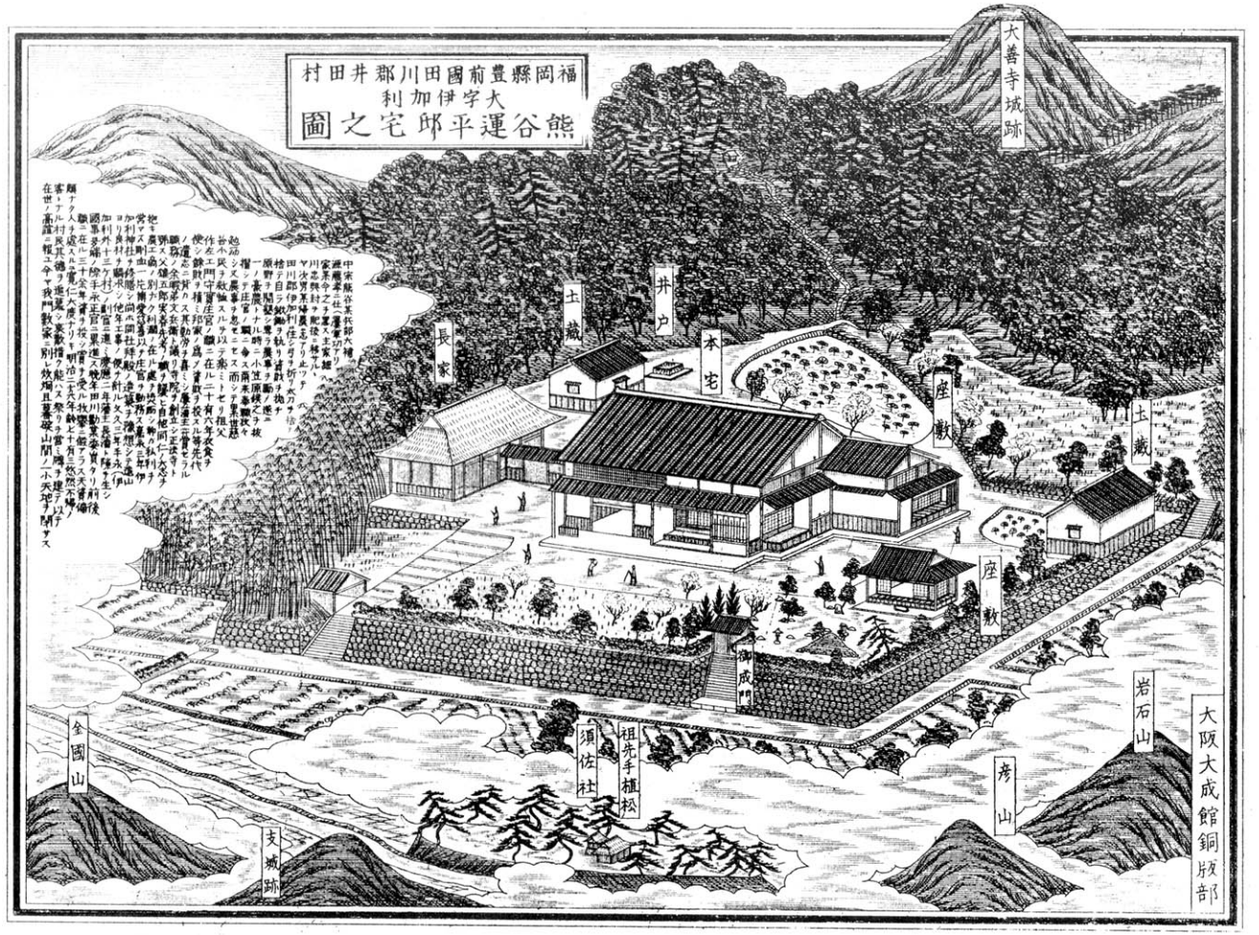

福岡縣豐前國田川郡採銅所村
神社境内及
古跡之略圖
大阪大成館銅版部

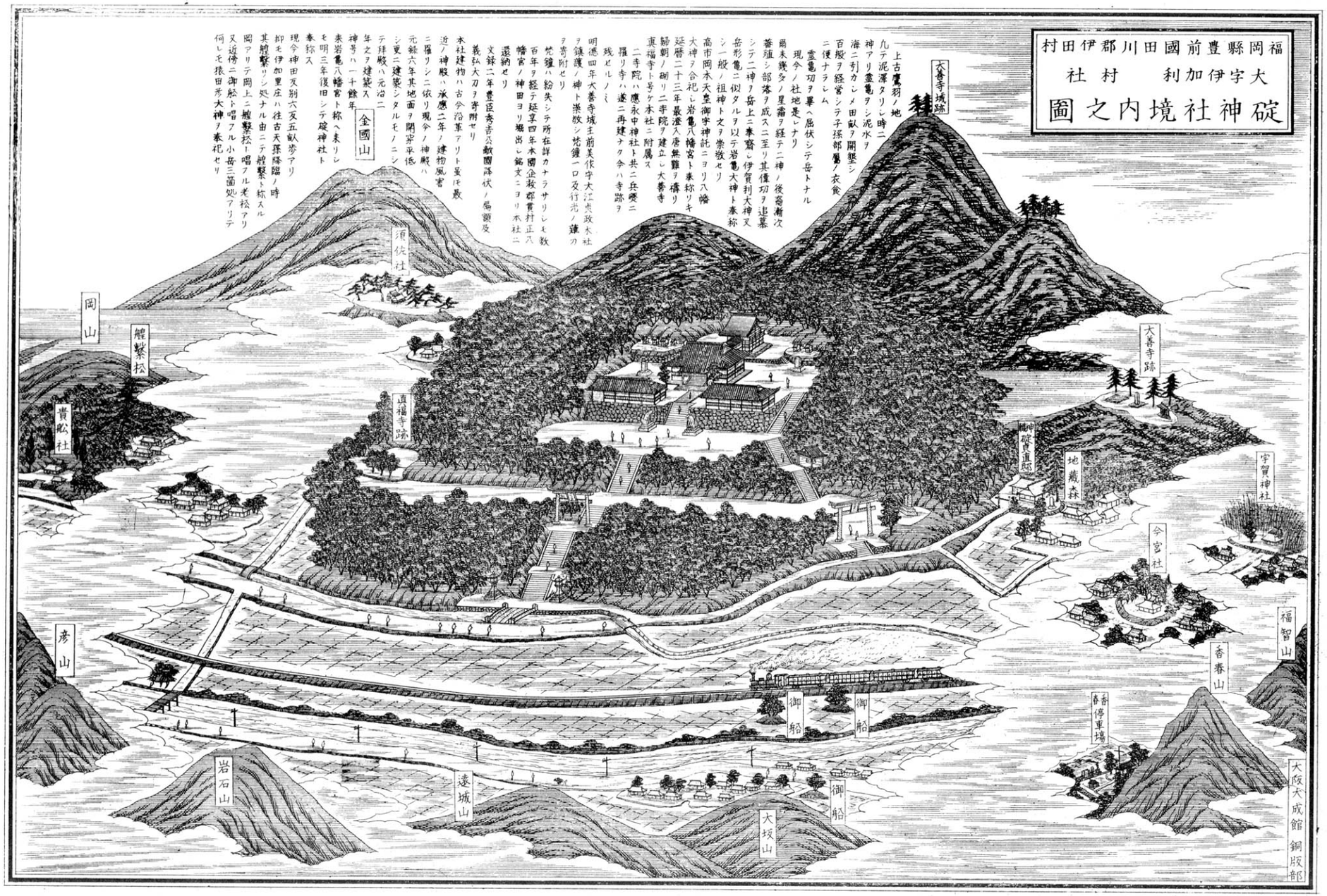

福岡縣豊前國田川郡
採銅所村
高橋種家邸宅之圖
牛切山
一ノ嶽
二ノ嶽
三ノ嶽
開墾地
鎮守
本宅
土蔵
長家
若宮社
庭園
金辺川
停車場
障子岳
大阪大成館銅版部

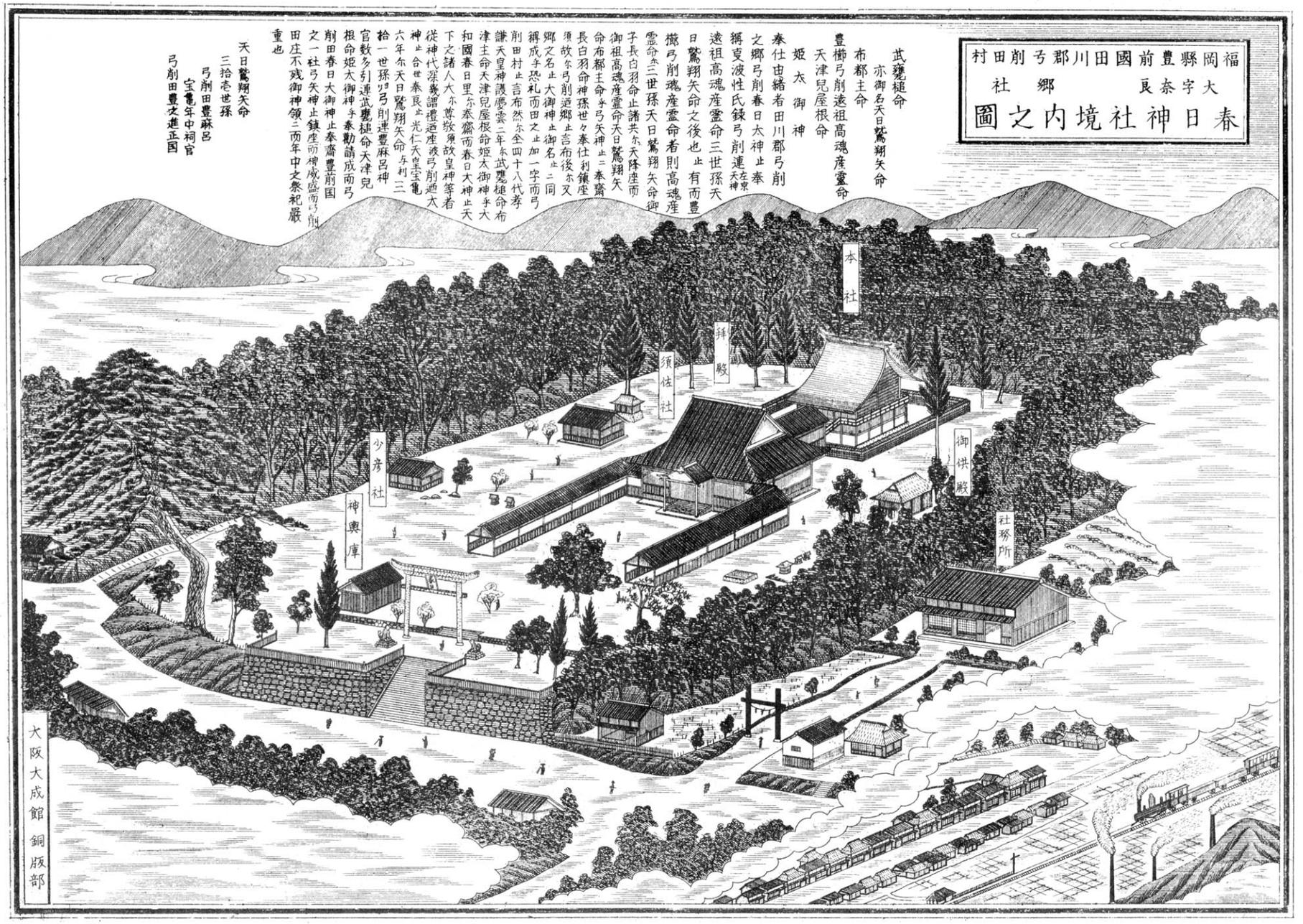

福岡縣豊前國田川郡
採銅所村
原田邸屋之圖
原田氏ハ大蔵
姓ニシテ筑紫
原田荘ニ居ルヨ
リテ以テ氏トス戦國ノ
時豊筑ノ鎮城ニ割
據ス天文中原田義種君
ノ時従五位ニ叙シ豊後守ニ任ス香春城
主タリ大友氏ノ兵ヲ蒙テ亡フ君容
顔雅美ニシテ威儀神ノ如シ亡フルノ
後城山ノ北麓ニ閑居シ專ラ農
民ノ爲天助ヲ祈ル君又曾テ山王
神社ヲ崇敬シ猿ヲ愛シ給フ奇
瑞甚タ多シ卒スルノ後里民謀テ
都起我阿羅斯等命ト合祭
シテ共ニ現人太神ト云フ其子
孫採銅所ニ居ルモノ世々郡
村更トナリ豪農ヲ以テ著
ハル門葉已ニ十余戸ニ及フ
今ノ種弘ハ其第十三世ナリ
此畫ノ南方ニアルハ現人
神社ニシテ実ニ原田家一
族ノ宗廟ナリ
大阪大成館銅版部

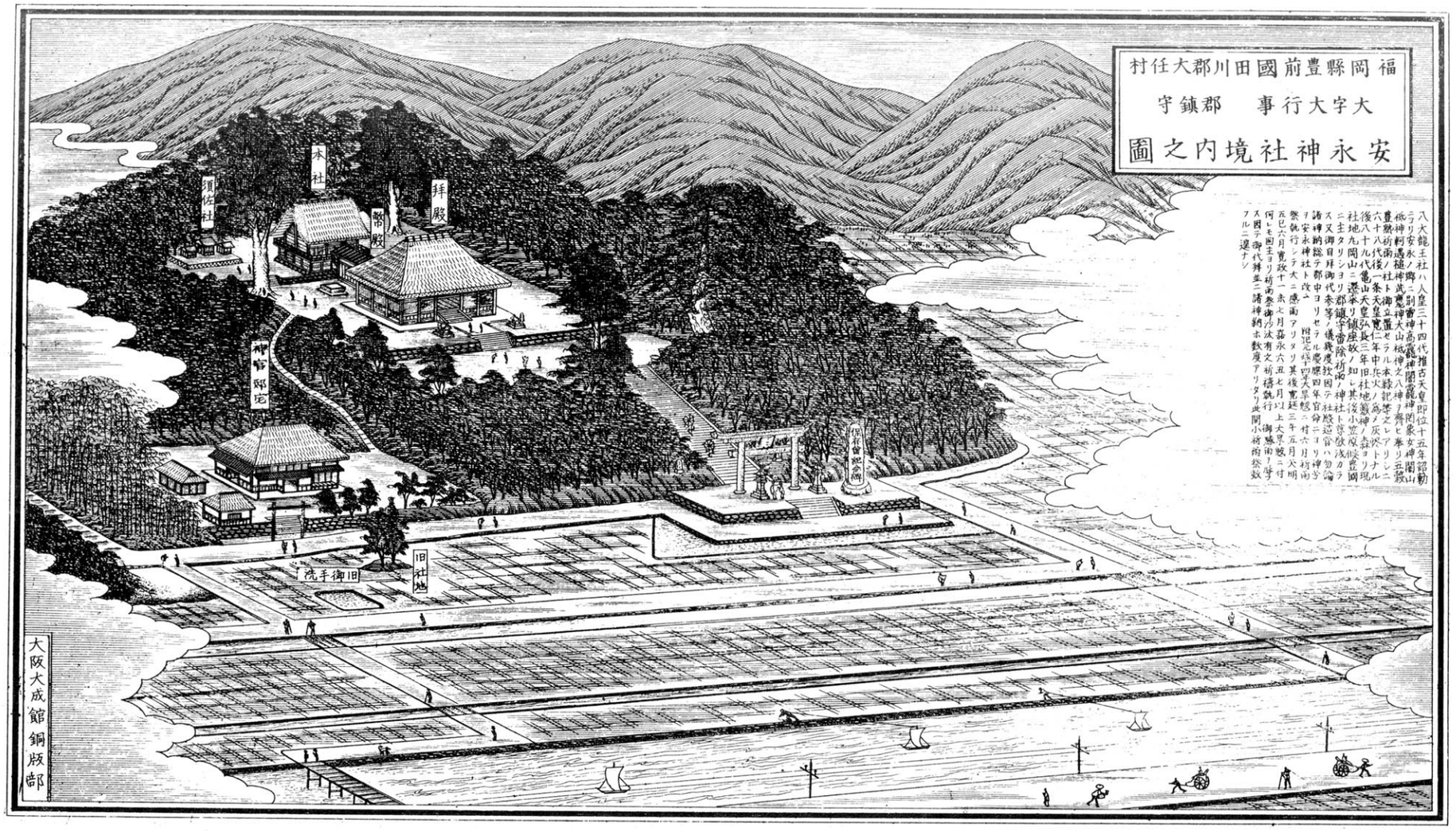

福岡縣豊前國田川郡採銅所村
小笠原長祥邸宅之圖
長祥母嘉代姫ハ小笠原縫殿長女也幼ノ武ヲ好環流長刀鎖鑓等上田ニ究ム和歌ヲ能ス述懐ニ「塵ニ住ム塵ノ心ロモ世ヲ去レバ塵ヲ離レシ心持チシテケリ云々栗曾柔順貞操ヲ修ム女子シテ御家門ノ世代ヲ継給貞婦ノ墳墓併ニ先代ヘ忠政公ヨリ下付ノ随臣若干名墓アリ
島村志津摩紀貫倫ハ幼ノ敏才豪氣長シテ小笠原公家老職タリ長征役一軍ノ將トレ士卒ヲ率屢々功アリ殊ニ金辺峠長勢防禦功奏ス豊津藩有志諸士貫倫ノ功労ヲ貴シ碑ヲ豊前國田川郡採銅所村金辺峠頂ニ建立ス頂閣ハ小笠原忠忱伯涼筆長祥居村且ツ有縁家ニヨリ茲ニ藏ス
島村志津摩碑
小笠原嘉代姫墳墓
障子嶽
金辺川
吾妻橋
不浄門
本宅
土藏
中雀門
表門
長屋
大阪大成館銅版部

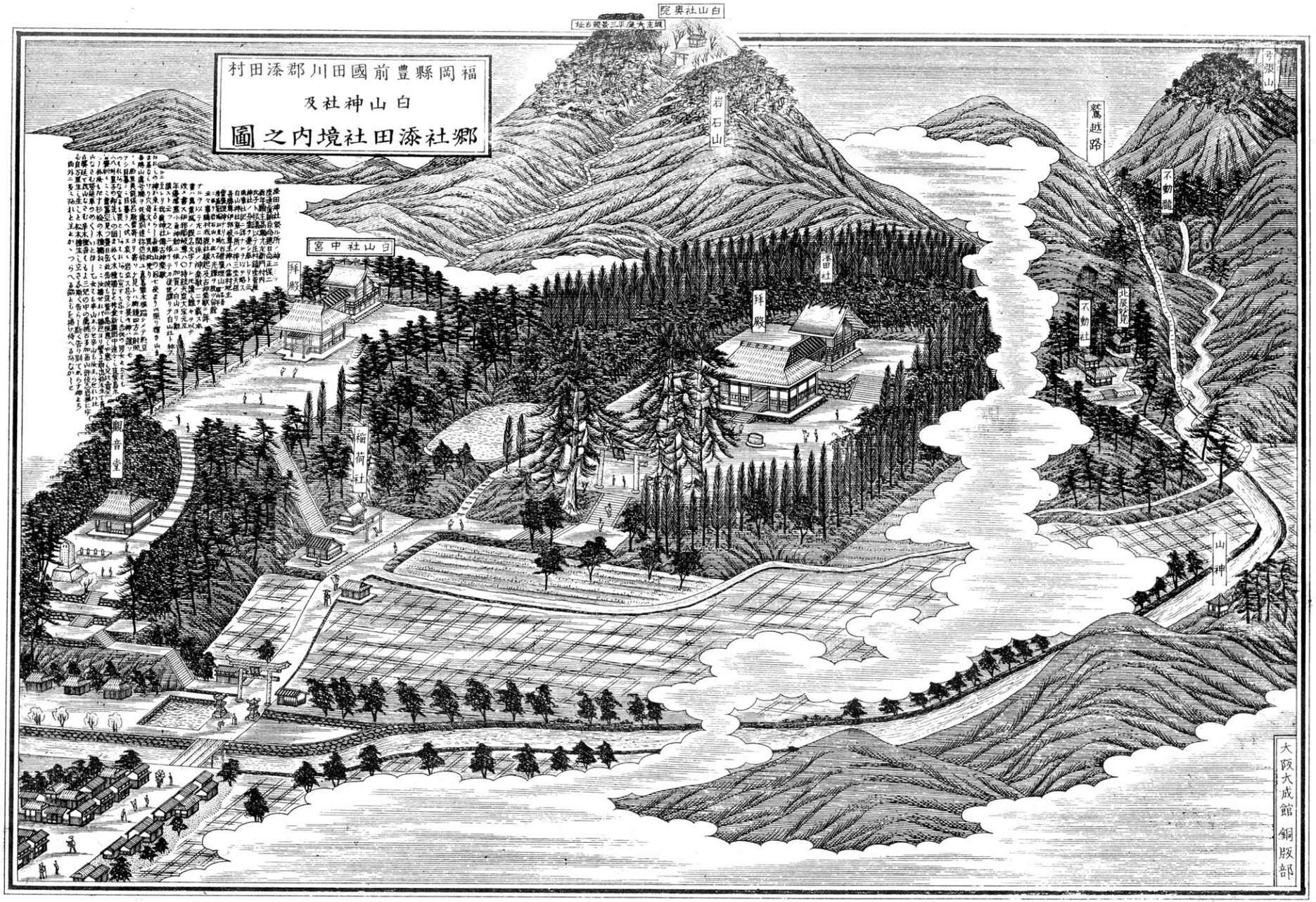

福岡縣豐前國田川郡伊田村
鄕社
風治八幡神社境内之圖
香春山
福智山
神功皇后御腰掛石
神輿社
拜殿
本社
須佐社
生目八幡宮
神功皇后御子都宮跡
本社ハ往古伊田大神ト稱シテ海神ヲ奉齋社ナリ
神功皇后韓土御住伐ノ砌筑紫ヨリ宍門ノ豊浦ニ御還幸ノ途次俄ニ風雨起リ御衣ヲ濡シ玉フ時ニ伊田鄕海神ノ正南ニ大石アリ衣ニ御腰ヲ拭玉ヒテ御親ラ天地祇及七伊田大神ヲ祈玉ヒシニ風雨製ミ鎭リテ宍門ニ到リ玉フト 後八皇五十二代嵯峨天皇御宇弘仁八年丁酉夏六月天下大旱暴風亘月五穀悉ク捨ントス此項傳教大師奉勅ニ居リ國國ノ天災ヲ患ヒ伊田ノ大神ノ旧事ヲ傳聞キ大神ヲ祈ルニ歲災消除ゼバ建社干院辺永爲法施矣不日害風治リ連日耳霖滿百穀大師神威ノ嚴ナルヲ感シ更ニ建宮干長松壽院遣以テ奉拜 人皇五十六代清和天裏貞觀三年辛巳秋九月十八日ニ八幡皇大神ヲ合祀シ風治八幡神社ト稱奉ナリ
白鳥神社
御旅所
伊田川
停車場
坂
大阪大成館銅版部

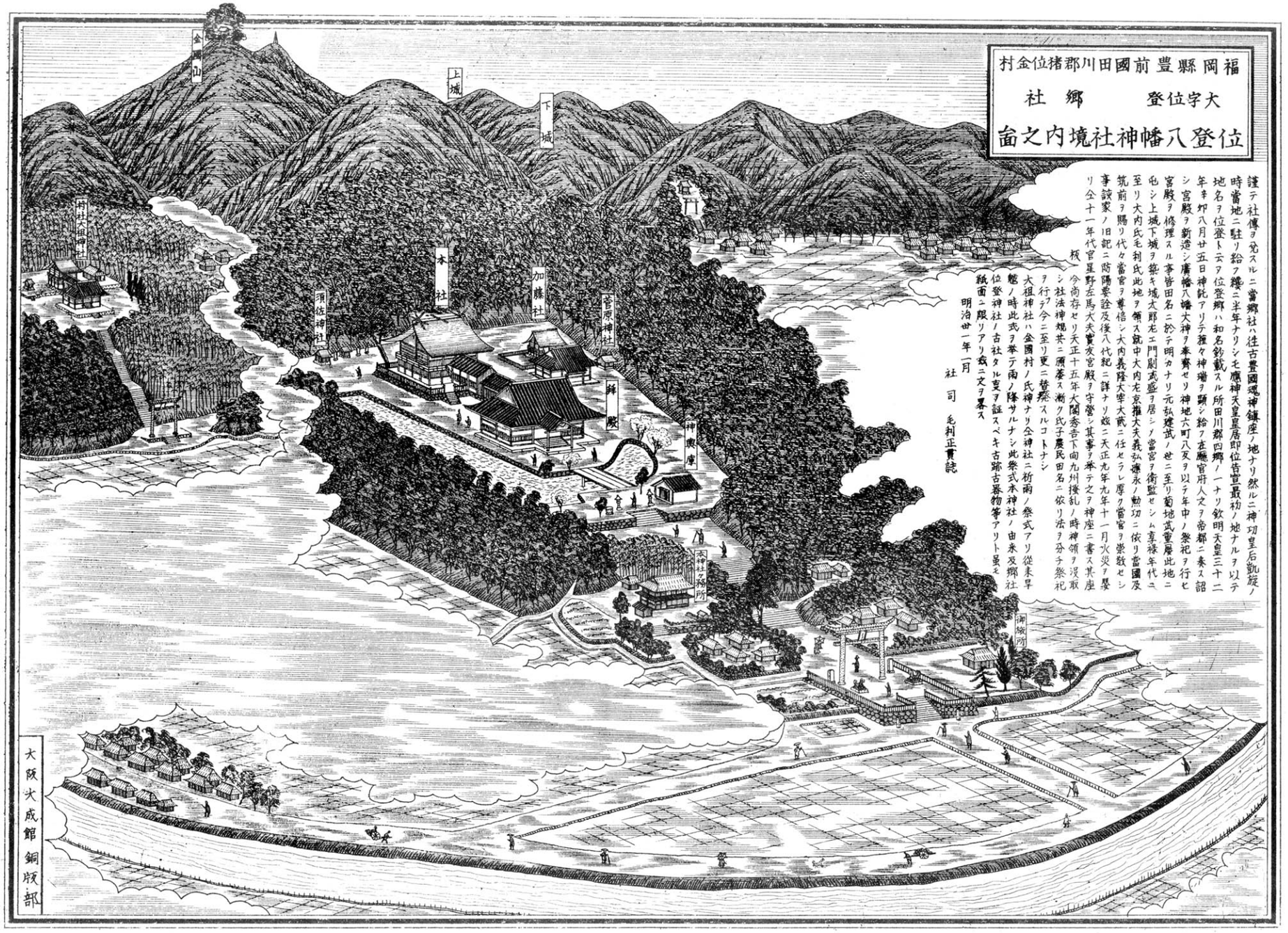

福岡縣豊前國田川郡井田村
大字伊加利
熊谷運平郎宅之圖
大善寺城跡
土蔵
井戸
本宅
長家
座敷
土蔵
座敷
御成門
岩石山
祖先手植松
須佐社
全國山
支城跡
旁山
大阪大成館銅版部

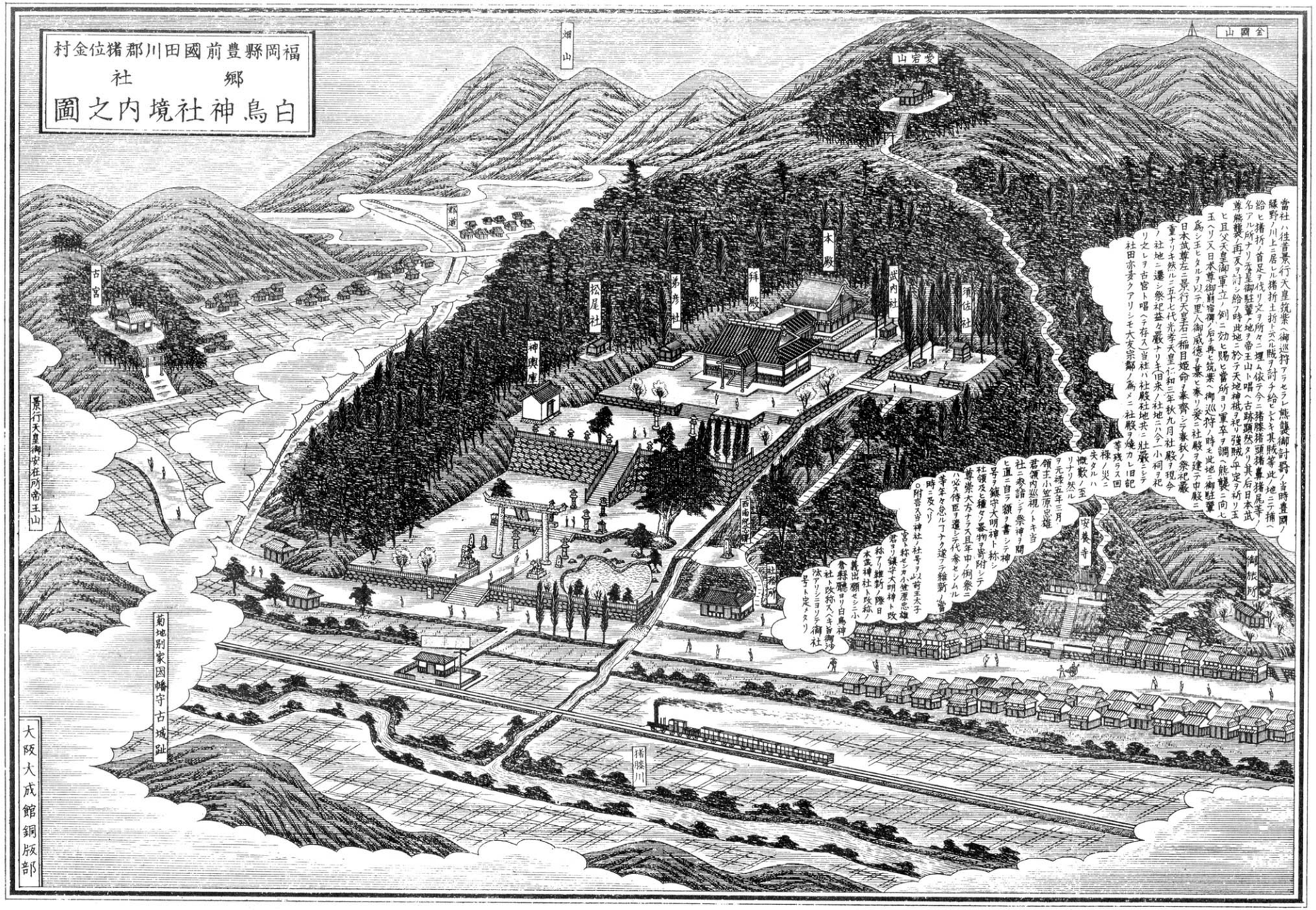

福岡縣豐前國田川郡伊田村
大字伊加利　村社
碇神社境内之圖
大善寺城跡
上古鷹羽ノ地
凡テ泥濘タリシ時ニ
神アリ盡亀ヲシ泥水ヲ
海ニ引カシメ田畝ヲ開墾シ
百殿ヲ經営シテ子孫部曲ノ衣食
ニ便ナラシム
盡亀功ヲ畢ヘ屈伏シテ岳トナル
現今ノ社地是レナリ
幾未幾多ノ星霜ヲ經テ二神ノ後裔漸次
蕃殖シ部落ヲ成スニ至リ其僅功ヲ追慕
シテ二神ヲ岳上ニ奉齋シ伊賀利大神又
岳形亀ニ似タルヲ以テ岩亀大神ト奉称
シ一般ノ祖神ト之ヲ崇敬セリ
高市岡水天皇御宇神託ニヨリ八幡
大神ヲ合祀シ岩亀八幡宮ト称ソキ
延暦二十三年最澄入唐無難ヲ禱リ
歸朝ノ砌リ二宇院ヲ建立シ大善寺
真福寺ト号ケ本社ニ附属ス
二寺院ハ應永中神社ト共ニ兵燹ニ
罹リ寺ハ遂ニ再建ナク今ハ寺跡ヲ
残ゼルノミ
明徳四年大善寺城主前美作守大江貞政本社
ヲ鎮護ノ神ト崇敬シ梵鐘一口及行元ノ建刀
ヲ寄附セリ
梵鐘ハ紛失シテ所在詳カナラサリシモ数
百年ヲ経テ延享四年本國企救郡貫村正八
幡宮ノ神田ヨリ堀出シ銘文ニヨリ本社ニ
還納セリ
文録二年豊臣秀吉公朝鮮降伏ノ偏頭及
義弘大刀ヲ寄附セリ
本社建物ハ古今沿革アリト雖モ最
近ノ神殿ハ承應二年ノ建物風害
ニ罹リシニ依リ現今ノ神殿ハ
元禄六年其地面ヲ開墾平低
シ更ニ建築シタルモノニシ
テ拝殿ハ元治二
年之ヲ建築ス
神号ハ一十餘年
来岩亀八幡宮ト称ヘ来リシ
モ明三年復旧シテ碇神社ト
奉称ス
現今神田反別六反五畝歩アリ
都モ伊加里庄ハ往古天孫降臨ノ時
其體繋リシ処ナル由ニテ體繋ト称スル
岡アリテ岡上ニ體繋松ト唱フル老松アリ
又近傍ニ御船ト唱フル小岳三箇処アリテ
何レモ猿田彦大神ノ奉祀セリ
須佐社
金國山
岡山
體繋松
貴船社
彦山
岩石山
遠城山
大坂山
真福寺跡
御船
御船
御船
大善寺跡
神碇貫直郎
地蔵森
宇賀神社
今宮社
福智山
香春山
香春停車場
大阪大成館銅版部

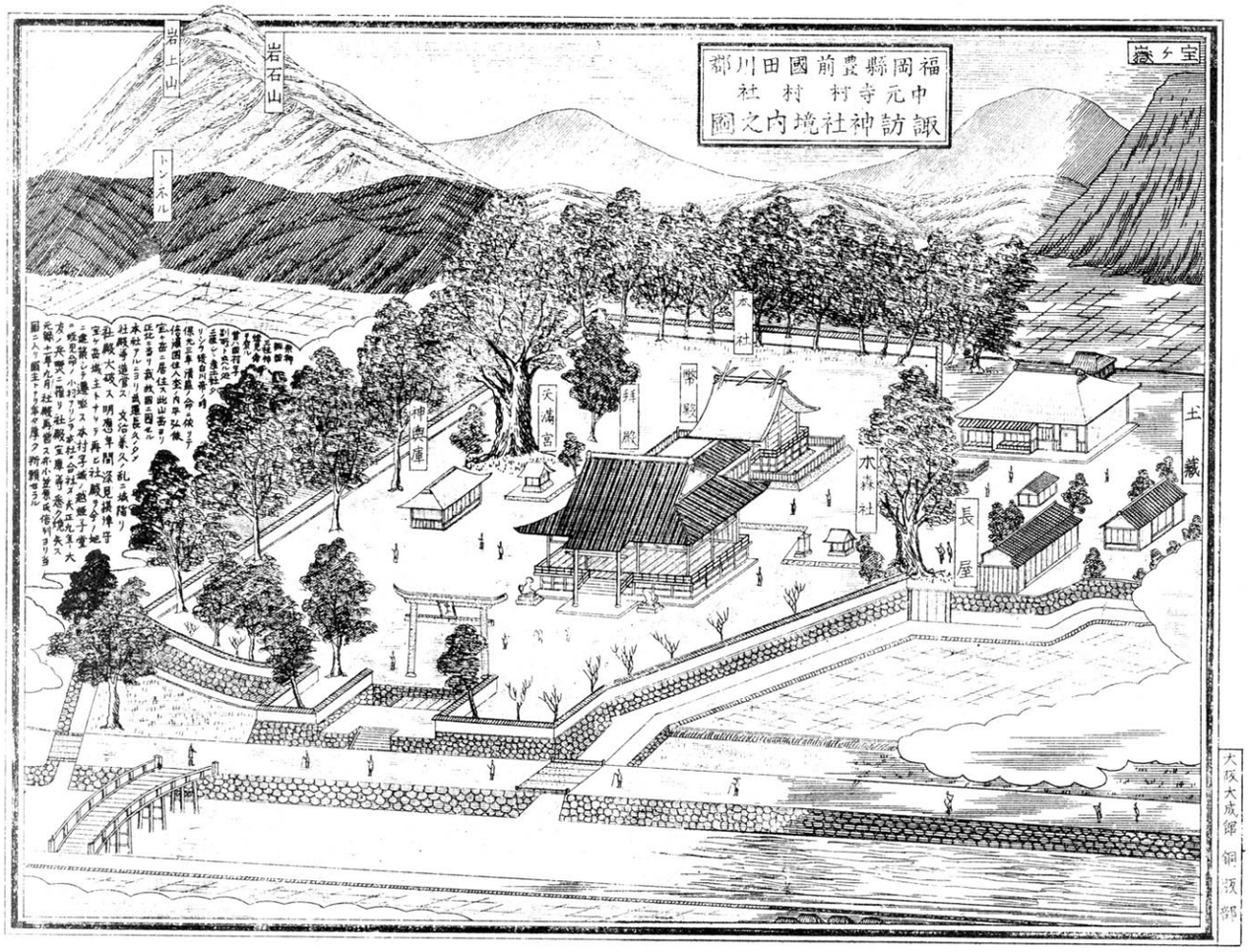

福岡縣豐前國田川郡弓削田村
大字奈良　鄉社
春日神社境内之圖
武甕槌命
亦御名天日鷲翔矢命
布都主命
豊御弓削遠祖高魂産靈命
天津兒屋根命
姫太御神
奉仕由緒者田川郡弓削之鄉弓削春日大神止奉褥夏波性氏鉄弓削連左東天神遠祖高魂産靈命三世孫天日鷲翔矢命之後也止有而豊御弓削魂産靈命者則高魂産靈命三世孫天日鷲翔矢命御子長白羽命止諸共尓天降座而御祖高魂産靈命天日鷲翔矢命布都主命乎弓矢神止奉齋長白羽命神孫世々奉仕利鎮座須故尓弓削遠郷止言布後尓又郷之名止大御神止御名止二同稱成乎恐礼而田之止加一字而弓削田村止言布然尓全四十八代孝謙天皇神護慶雲二年尓武甕槌命布津主命天津兒屋根命姫太御神乎大和國春日里尓奉齋而春日大神止天下之諸人大尓尊敬乎故皇神等者従神代深義謂禮迺座波弓削迺大神止合世奉良止光仁天皇宝亀六年尓天日鷲翔矢命乎利二拾一世孫リヲ弓削連豊麻呂神官数多引連武甕槌命天津兒根命姫太御神乎奉勤請成而弓削田春日大御神止奉齋豊前国之一社弓矢神止鎮座而神威盛而弓削田庄不残御神領二而年中之祭祀厳重也
天日鷲翔矢命
三拾壱世孫
弓削田豊麻呂
宝亀年中祠官
弓削田豊之進正国
本社
拝殿
須佐社
少彦社
神輿庫
御供殿
社務所
大阪大成館銅版部

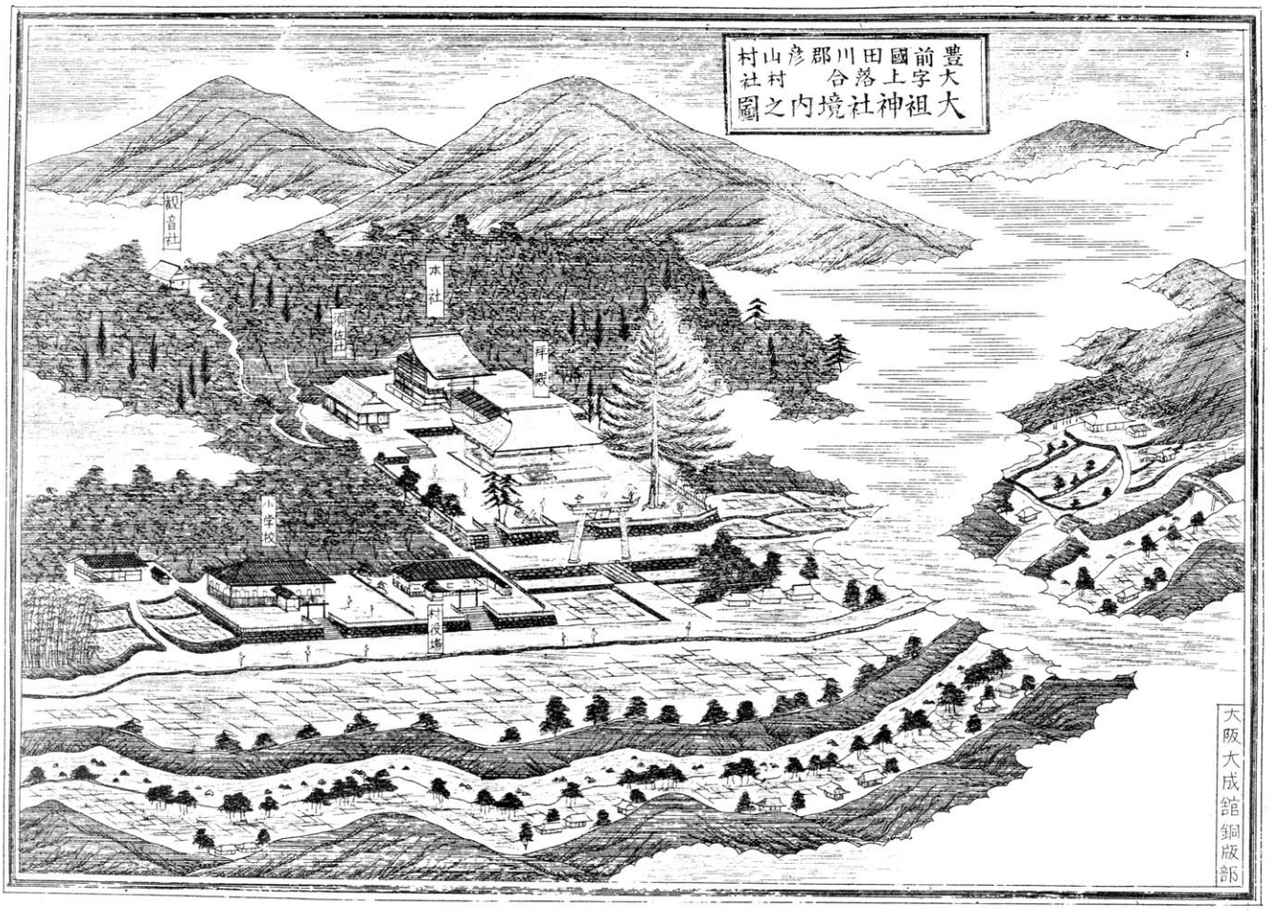

福岡縣豐前國田川郡大任村
大字大行事　郡鎮守
安永神社境内之圖
本社
拜殿
神輿殿
神輿舍
旧社地
旧御手洗
大阪大成館銅版部

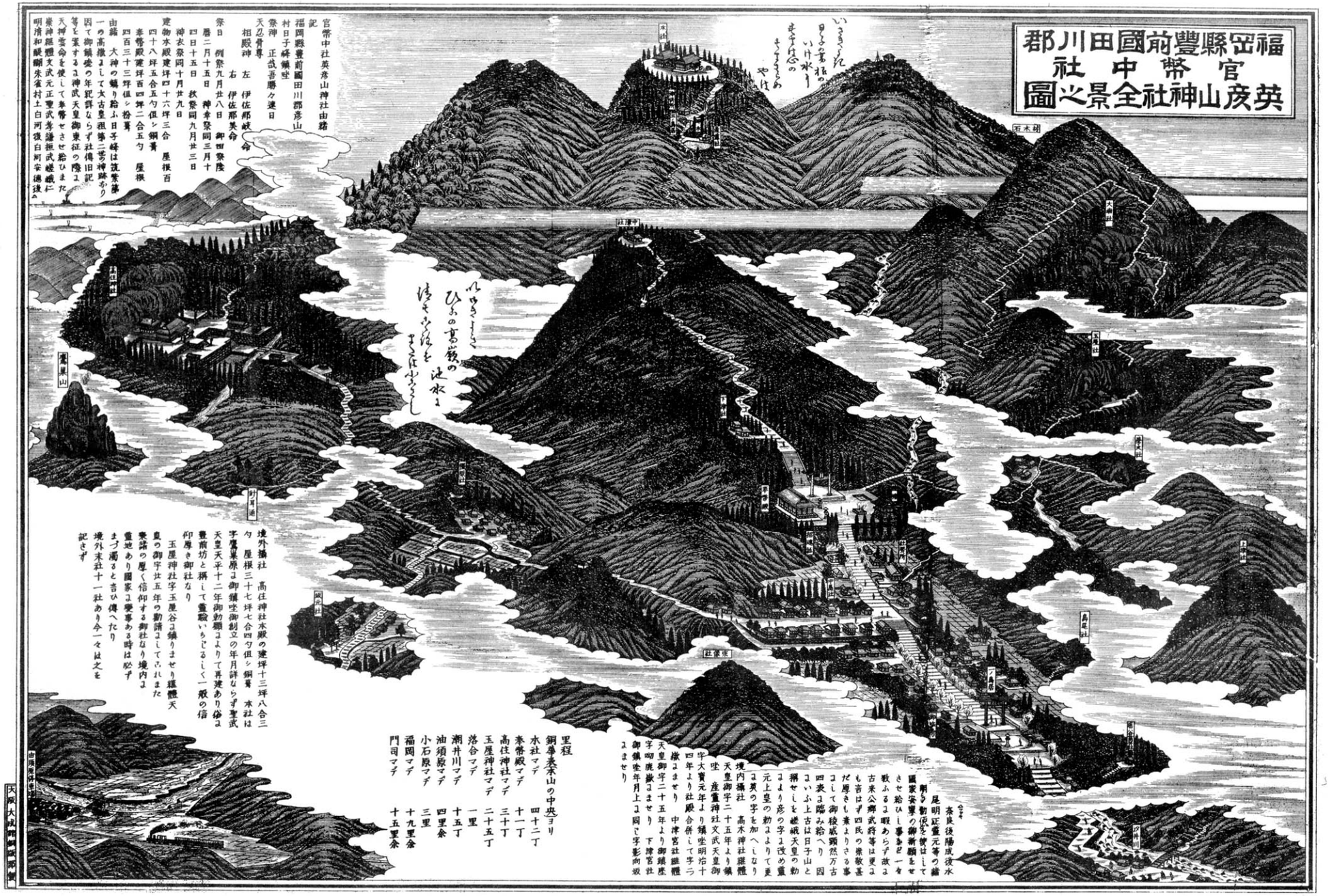

福岡縣豐前國田川郡添田村
白山神社及
鄉社添田社境内之圖
白山社奥院
址ヲ大屋平ニ景観ヲ占ム
岩石山
弓張山
鷲越路
不動滝
白山社中宮
拝殿
添田社
拝殿
北坂分岐
不動社
観音堂
稲荷社
山神
大阪大成館銅版部

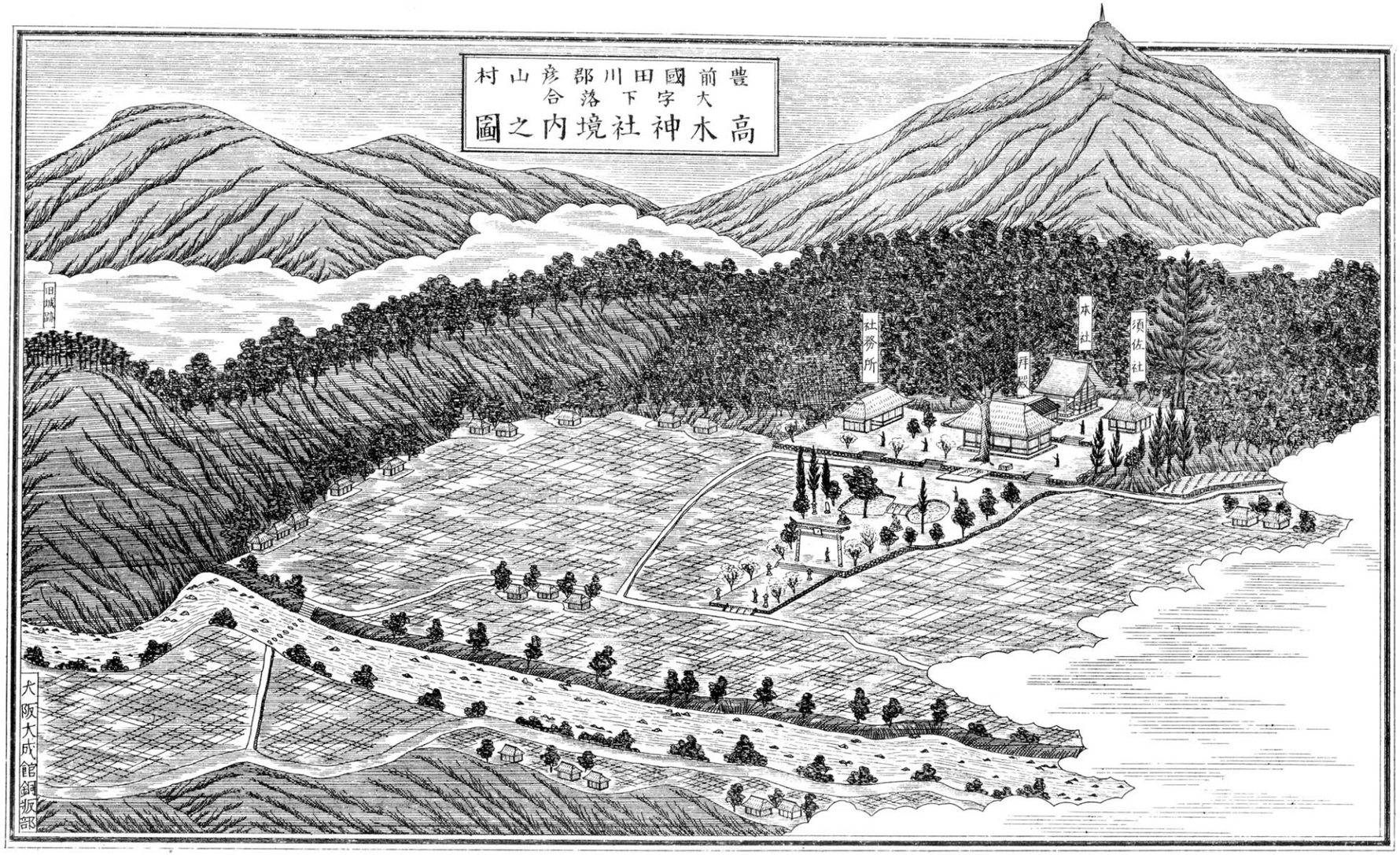

福岡縣豊前國田川郡猪位金村
大字位登　郷社
位登八幡神社境内之畝
謹テ社傳ヲ覓スルニ當郷社ハ往古豊國魂神鎮座ノ地ナリ然ルニ神功皇后凱旋ノ時當地ニ駐リ給フ幾ニ半年ナリシヲ應神天皇皇居即位告宣最初ノ地ナルヲ以テ地名ヲ位登トハ云フ位登郷ハ和名鈔載スル所田川郡四郷ノ一ナリ欽明天皇三十二年ヨリ仲八月廿五日神託アリテ種々神瑞ヲ顯シ給フ在廳官府人丈ヲ帝都ニ奏ス詔シ宮殿ヲ新造シ庸幡八幡大神ヲ奉斎セリ神地六町八反ヲ以テ年中ノ祭祀ヲ行ヒ宮殿ヲ修理スル事皆田名ニ於テ明カナリ元弘建武ノ世ニ至リ蔓地莵重層此地ニ屯シ上城下城ヲ築キ城太郎左エ門尉盛盛ヲ居シメ當宮ヲ衛監セシム享禄年代ニ至リ大内氏毛利氏此地ヲ領スルニ中大内左京権大夫義弘深永ノ勲功ニ依リ當國及筑前ヲ賜リ代々當宮ヲ尊信シ大内義隆大宰大貳ニ任セラレ厚ク當宮ヲ崇敬セシ事諸家ノ旧記ニ陽乗詮及後八代紀ニ詳ナリ茲ニ天正九年九年十一月火災ヲ罹リ今十一年代官星野左馬大夫實友宮殿ヲ守營シ其事ヲ挙テ之ヲ神座ニ書ス其座今尚存セリ天正十五年大閤秀吉下向九州擾乱ノ時神領ヲ没収シ社法神規共ニ頽替スル勿ク氏子農民田名ニ依リ法ヲ分チ祭祀ヲ行フ今ニ至リ更ニ替ル事ナシ
大祖神社ハ金國村ノ氏神ナリ今神社ニ祈雨ノ祭式アリ從来旱魃ノ時此式ヲ挙テ雨ノ降サルナシ此祭式永神社ノ由来及郷社位登神社ノ古社タル実ヲ証スベキ古跡古器物等アリト雖モ殊面ニ限リアリ玆ニ之ヲ畧ス
明治廿一年一月
社司　毛利正實誌
金山
上城
下城
山門
本社
加藤社
菅原神社
須佐神社
拝殿
神輿庫
大神社ノ格所
御旅所
大阪大成館銅版部

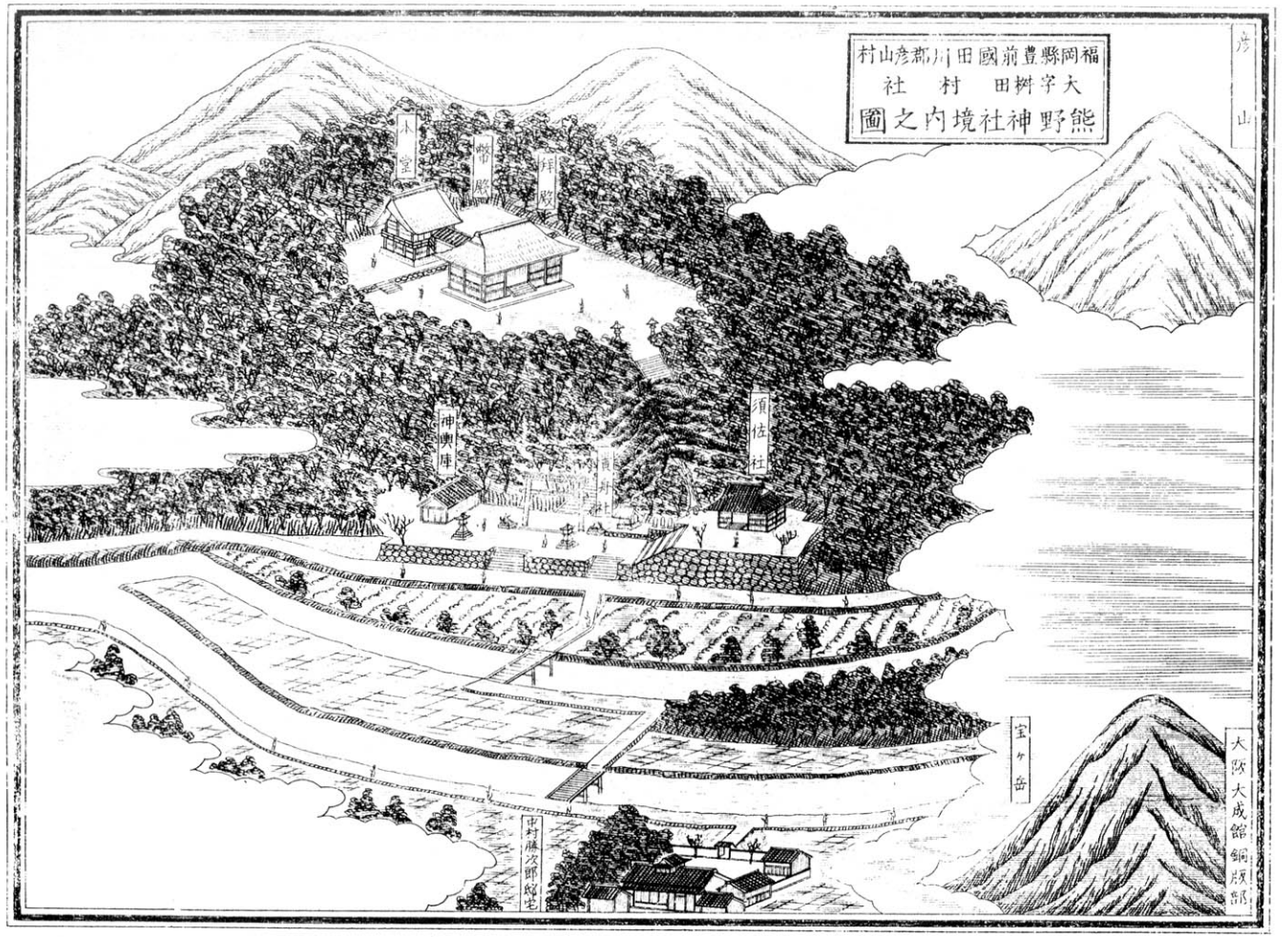

福岡縣豊前國田川郡猪位金村
鄉社
白鳥神社境内之圖
堀山
山宮
金國山
本殿
拜殿
武内社
須佐社
男ノ original 社
松尾社
神輿庫
古宮
景行天皇御宮社所帝王山
菊地別家園幡守古城趾
大阪大成館銅版部
祓所
安養寺
御休所
神馬舎
社務所
鳥居
神池
祓川
堀川
當社ハ往昔景行天皇筑紫ヘ御巡狩アラセラレ熊襲御討罰ノ旨時豊國ノ緑野ノ川上ニ居ル猪祈土折大ニ賊ヲ討チ給ヒシヲ其賊等此地ニテ捕ヘ給ヒ猪祈ノ首足ヲ伐リ文ヲ所々ニ埋ム依テ今ニ猪膝猪頸猪鼻猪尾等ノ名アル所アリ又皇御駐蹕ノ地ヲ帝王山ト唱ヘ古跡顕然タリ其后日本武尊熊襲ヲ再ヒ討シ給フ時此地ニ於テ天地神祇ヲ祈リ強賊ヲ平定ヲ祈リ玉ヒ且父天皇御軍立ノ剣ニ効ヒ賜ヒ當所ヨリ軍卒ヲ調ヘ能襲ニ向ヒ給ヒシヲヒタルヲ以テ里人御威徳ヲ慕ヒ奉リ爰ニ社殿ヲ建テ中殿ニ日本武尊左ニ景行天皇右ニ稲目姫命ヲ奉齋シテ春秋ノ祭祀嚴重ナリ然ルニ五十七代光孝天皇仁和三年秋九月社殿ヲ現今ノ社地ニ遷シ祭祀益々嚴ナリ玉ヒ依テ社地ニハ今ニ小祠ヲ祀リ之レヲ古宮ト唱ヘ存ス當社ハ社殿社地共ニ壮嚴ニシテ社田寄進ノアリシモ大友宗鎮ノ爲メニ社殿ヲ燒カレ旧記等殘ラス回祿ノ災ニ失タルハ慨歎ノ至リナリ然ルニ元禄五年三月領主小笠原忠雄君願書ヲ以テ社ニ參詣シテ祭神ヲ聞ヒ直ニ自ラ額ヲ書シテ神号ヲ鎮守大明神ト称シ社領及ヒ種々ノ寄物等附シテ尊崇大方ナラス且年中ノ祠祭ニハ必ス侍臣ヲ遣シテ代參セシムル事年々怠ルコトナク遂ヲ維新ノ當時ニ及ヘリ
○附言ス當神社ハ社号ヲ以前王大子宮ト称セシヲ小笠原忠雄君ヨリ鎮守大明神ト改称アリ維新ノ際日本武神社ト改称ノ義出願セシニ小倉縣廳ヨリ白鳥神社ニ改称ス(今皆稱ス)ヘキ旨御沙汰アリシヨリテ御社号ト定メタリ

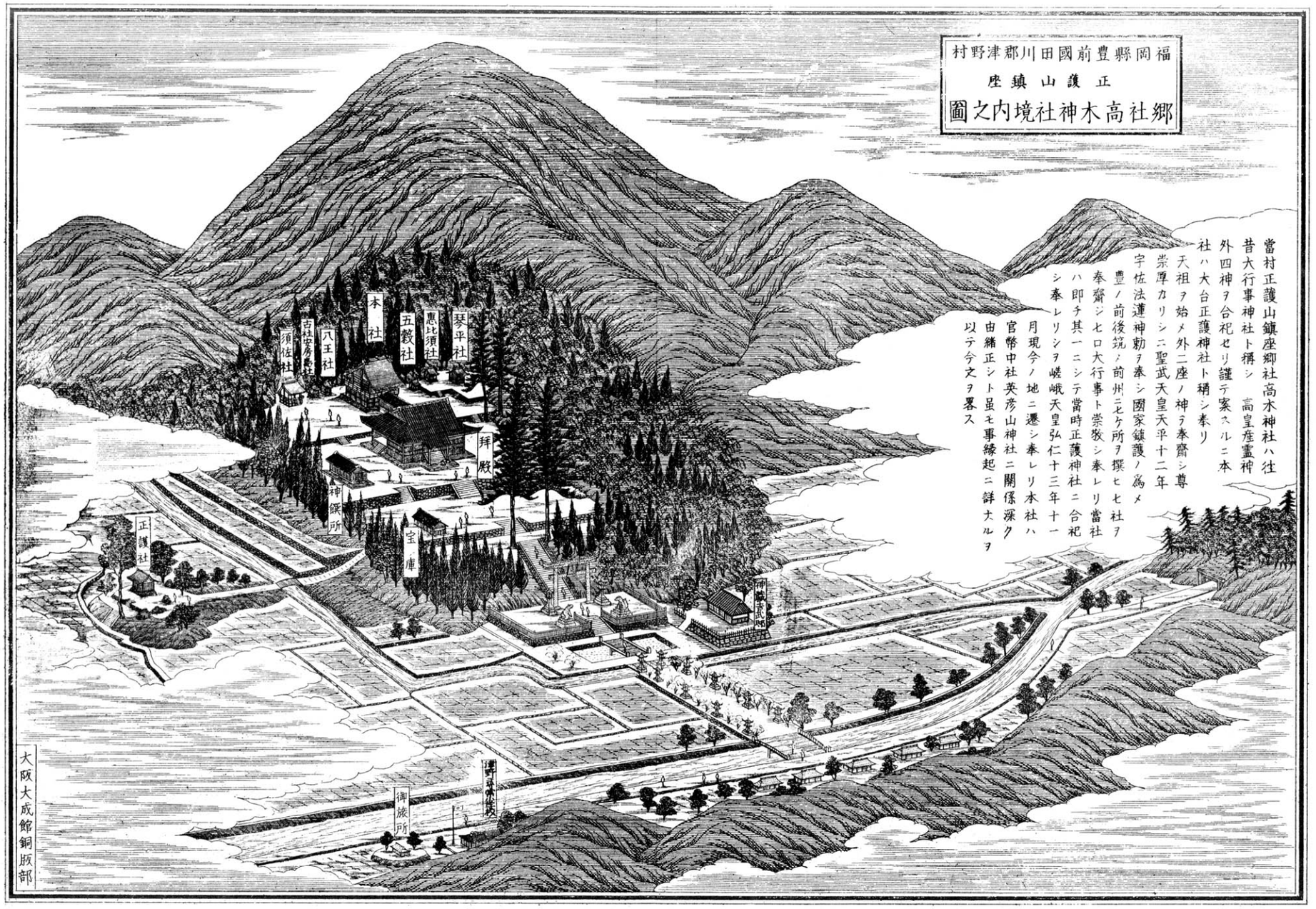

福岡縣豊前國田川郡
中元寺村 村社
諏訪神社境内之圖
岩上山
岩石山
トンネル
本社
拝殿
拝所
天満宮
神興庫
木森社
長屋
土蔵
大阪大成館銅版部

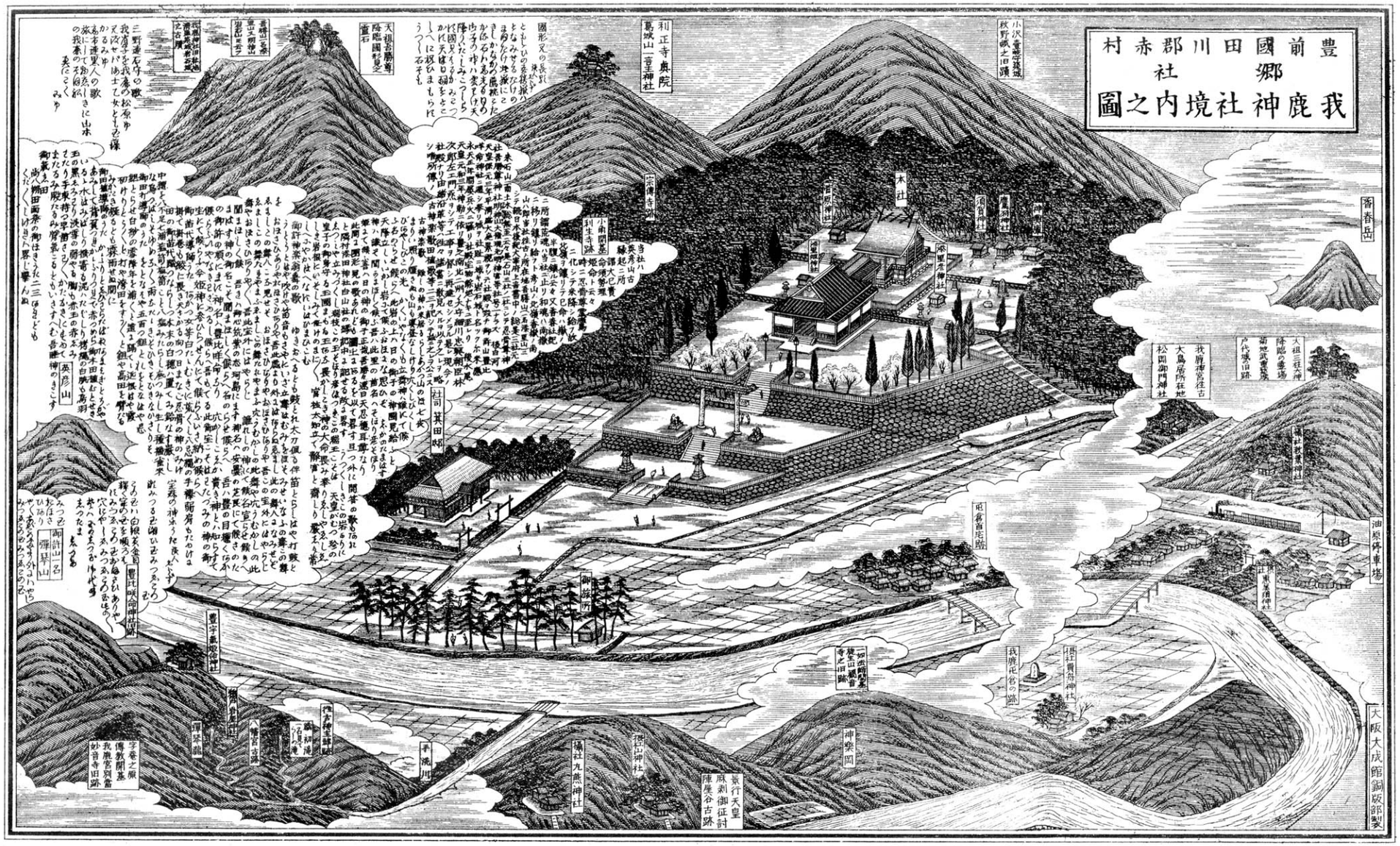

豊前國田川郡彦山村
大字上落合 村社
大祖神社境内之圖
観音社
本社
御供社
拝殿
小学校
神楽場
大阪大成館銅版部


福岡縣豐前國田川郡
官幣中社
英彦山神社全景之圖
官幣中社英彦山神社由緒記
福岡縣豐前國田川郡彦山村日子岳嶺坐
祭神　正哉吾勝々速日天忍骨尊
相殿神　左　伊佐那岐命
右　伊佐那美命
祭日　例祭九月廿八日　御田祭陸暦二月十五日　神幸祭同三月十四日十五日　秋祭同九月廿三日
神表祭同十月廿九日
建物本殿建坪四十六坪三合　屋根百四十八坪五合五勺但シ銅葺
奉幣殿建坪百四坪二合五勺　屋根四百三十三坪但シ松葺
由緒　大神の鵜り給ふ日子岳は流紫第一の高嶺ましまして太古皇孫第二世の神跡あり因て御鎮座の年代詳ならず社傳旧記等を案するに神武天皇御東征の際天神霊命を授して奉幣せさせ給ひまた崇神朝體文武元正聖武等歴代嶽嶽に明治和銅靈朱雀村土白河復白河安遷後
境外攝社　高住神社本殿の建坪十三坪八合三勺　屋根三十七坪七合四勺但シ銅葺　本社は孝靈原ノ御鎮坐御創立の年月詳ならず聖武天皇天平十二年御勅願ニより再建あり俗ニ豊前坊と稱して靈驗いちじるしく一般の信仰厚き御社なり
玉屋神社　字玉屋谷ニ鎮りまします經體天皇の御宇廿五年の勤請ニしてこれまた衆誌の厚く信仰する御社なり境内ニ靈地あり國家ニ變事ある時は必ず先づ鳴ると吉ひ傳へたり
境外末社十一社あり今一々ニは之を記さず
里程
銅拳表本山の中央ヨリ
水社マデ　四十二丁
奉幣殿マデ　十一丁
高住神社マデ　三十丁
玉屋神社マデ　二十五丁
落合マデ　一里
潮井川マデ　十五丁
油須原マデ　四里余
小石原マデ　三里
福岡マデ　十九里余
門司マデ　十五里余
奉良後陽成後水尾明正靈元等の諸帝り勅使を發はして國家安寧の御祈願をせさせ給ひし事多ど一々戦ふる暇あらず故ニ古来公卿武将等は更ニも吉はず四民の崇敬甚だ厚きも實ニよりさる事ニして御校感嘆然万古四表ニ臨み給へり因ニいふ上古は日子山と稱せしを嶽嶽天皇の勅ニより彦の字ニ改め靈元上皇の勅ニよりて更ニ英の字を加へしなり
境内攝社　高木神社經體天皇御宇二十五年より鎮坐　産靈神社文武天皇御宇大寶元年より鎮坐明治十四年より社殿合併して宇ラ様ニませり　中津宮社經體天皇御宇二十五年より御鎮座宇咄唹嶽ニませり　下津宮社御鎮座年月上ニ同ク宇彭向坂ニませり

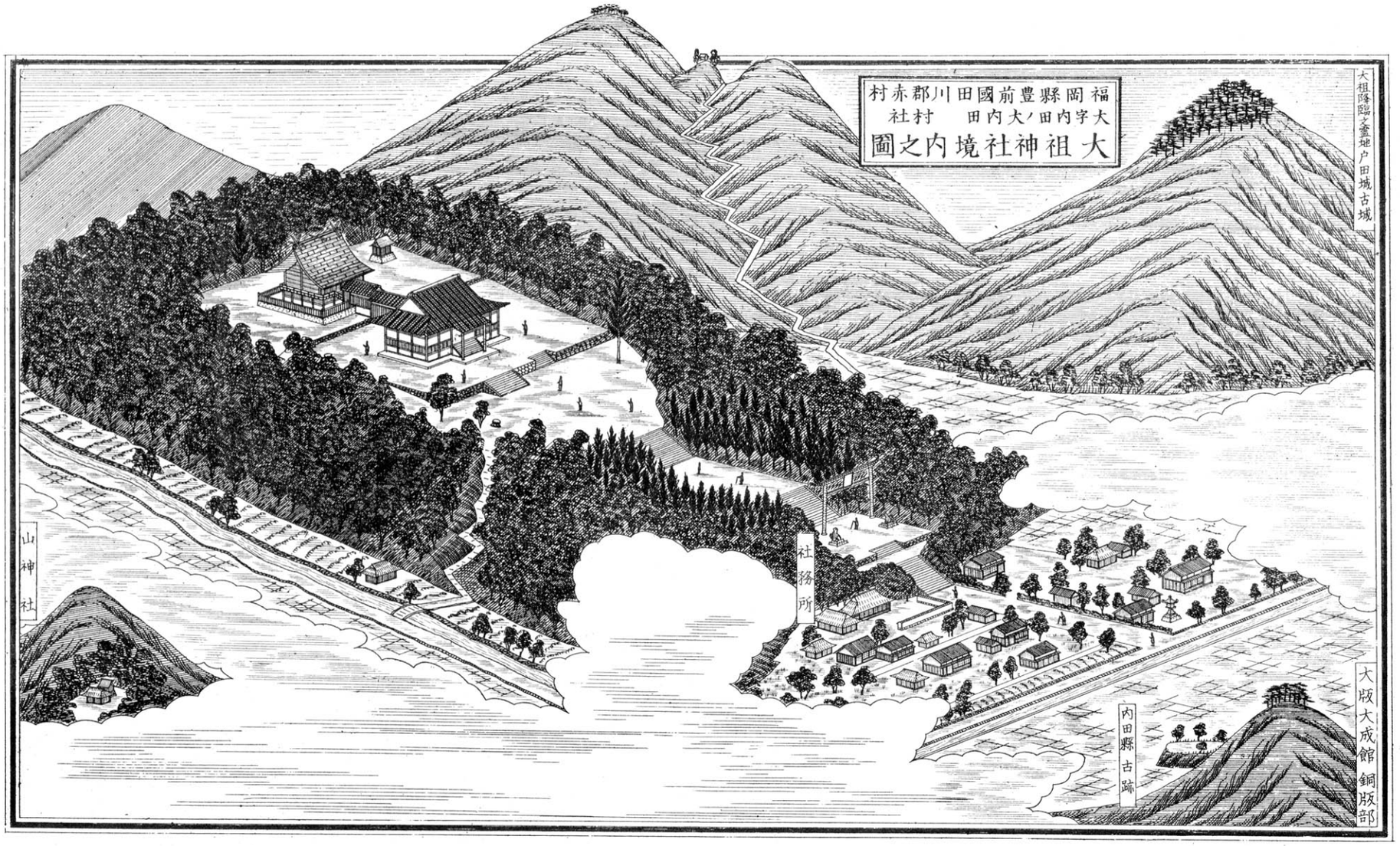

豊前國田川郡彦山村
大字下落合
高木神社境内之圖
旧城跡
社務所
本社
須佐社
月燈
大阪大成館銅版部


福岡縣豊前國田川郡彦山村
大字桝田　村　社
熊野神社境内之圖
彦山
神輿庫
須佐社
宝ヶ岳
大阪大成館

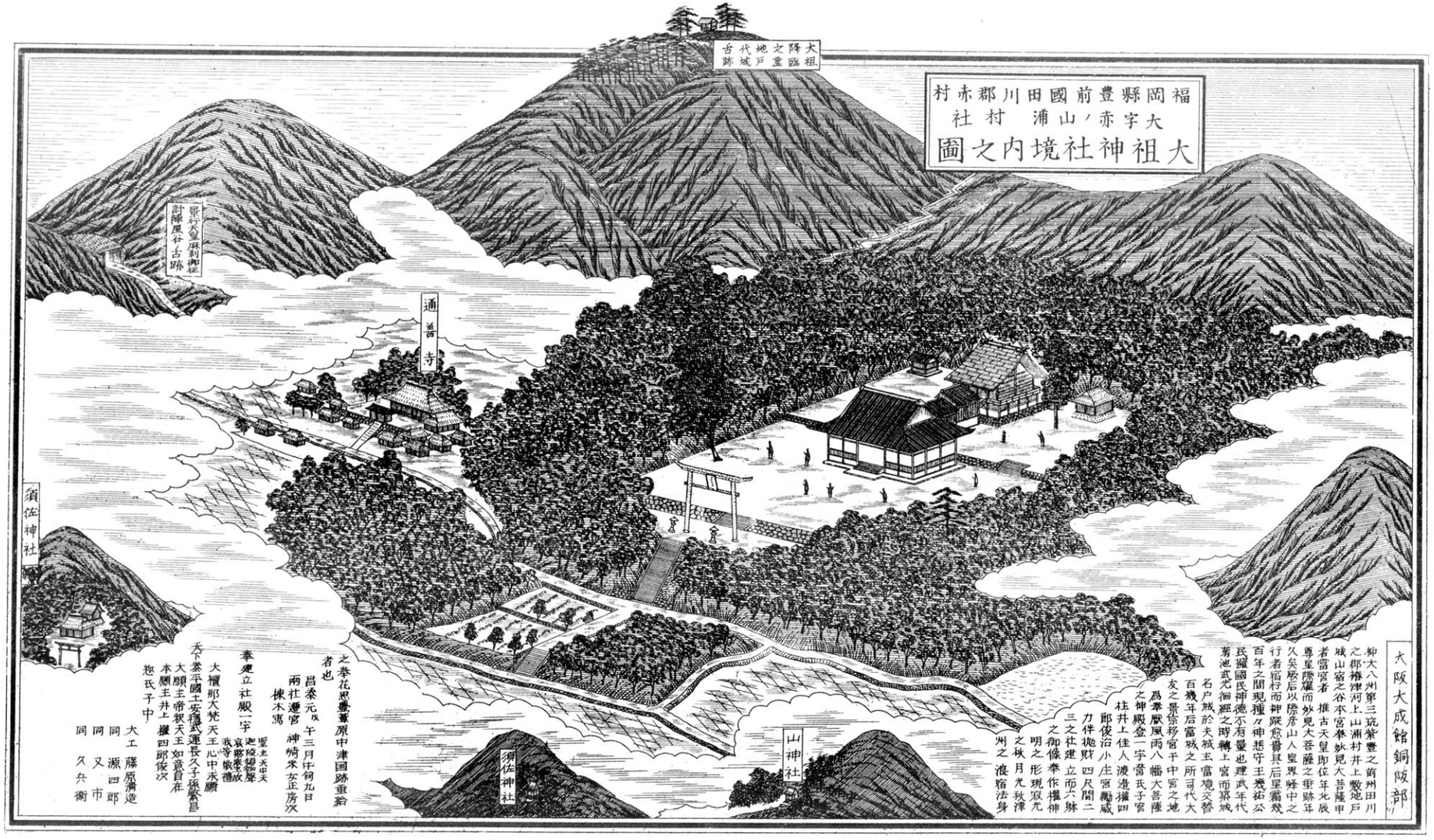

福岡縣豐前國田川郡津野村
正護山鎮座
高木神社境内之圖
當村正護山鎮座鄉社高木神社ハ往
昔大行事神社ト稱シ 高皇産靈神
外四神ヲ合祀セリ謹テ案スルニ本
社ハ大台正護神社ト稱シ奉リ
天祖ヲ始メ外二座ノ神ヲ奉齋シ尊
崇厚カリシニ聖武天皇天平十二年
宇佐法蓮神勅ヲ奉シ國家鎮護ノ爲メ
豐ノ前後筑ノ前州二七ケ所ヲ撰ヒ七社ヲ
奉齋シ七口大行事ト崇敬シ奉レリ當社
ハ即チ其一ニシテ當時正護神社ニ合祀
シ奉レリシヲ嵯峨天皇弘仁十三年十一
月現今ノ地ニ遷シ奉レリ本社ハ
官幣中社英彦山神社ニ關係深ク
由緒正シト雖モ事緣起ニ詳ナルヲ
以テ今之ヲ畧ス
本社
八王社
古社安房社
須佐社
五穀社
恵比須社
琴平社
拝殿
神饌所
宝庫
正護社
御旅所
大阪大成館銅版部

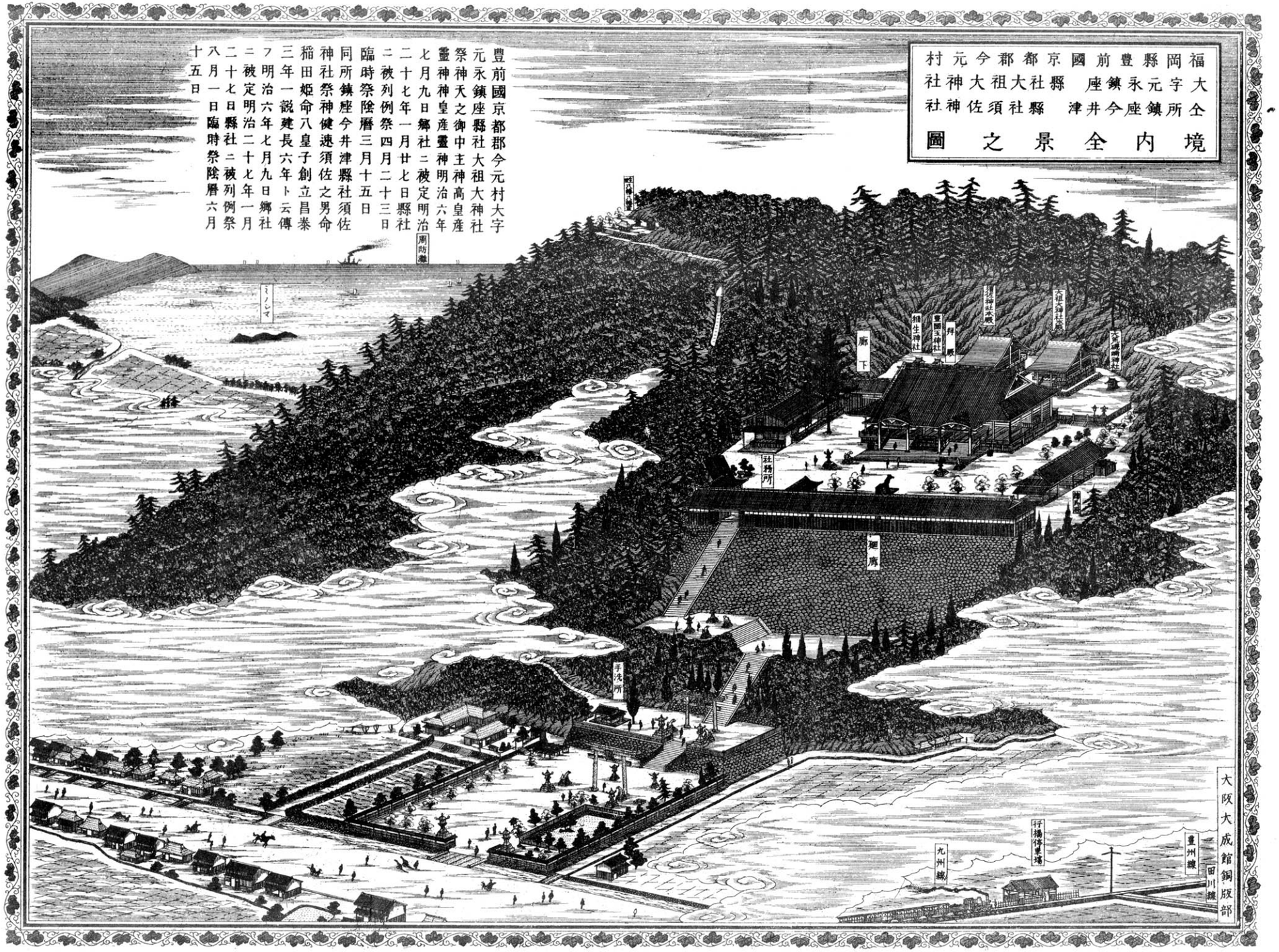

豊前國田川郡赤村
郷社
我鹿神社境内之圖
利正寺 奥院
鳥城山 一言主神社
小沢 貴船河原
秋野峠 七日頭
番春岳
木社
神輿庫
神饌所
宝物殿
神楽殿
宗像神社
宗像寺跡
小南間基
到生寺跡
当社ハ英彦山古
縁起ニ所
社司 其田邸
御旅所
油原停車場
我鹿神宮住古
大鳥居所在地
松岡御門神社
我鹿神社
大祖三柱大神
降臨の壇場
菊地武重墓
戸代城旧跡
我鹿比咩の跡
我鹿比咩神社
東宮若彦神社
神供間基
菩提山 観音寺之旧跡
我鹿比咩の跡
景行天皇
麻剥御征討
陣屋谷古跡
神拳岡
鎧社 九熊神社
手洗川
豊宇気姫神社
御神輿庫
神饌所
社務所
代官神主邸
八幡宮古跡
字巻之原
傳教開基
我鹿宮別當
妙音寺旧跡
御詩山 一名
彈琴山
大阪大成館銅版部製

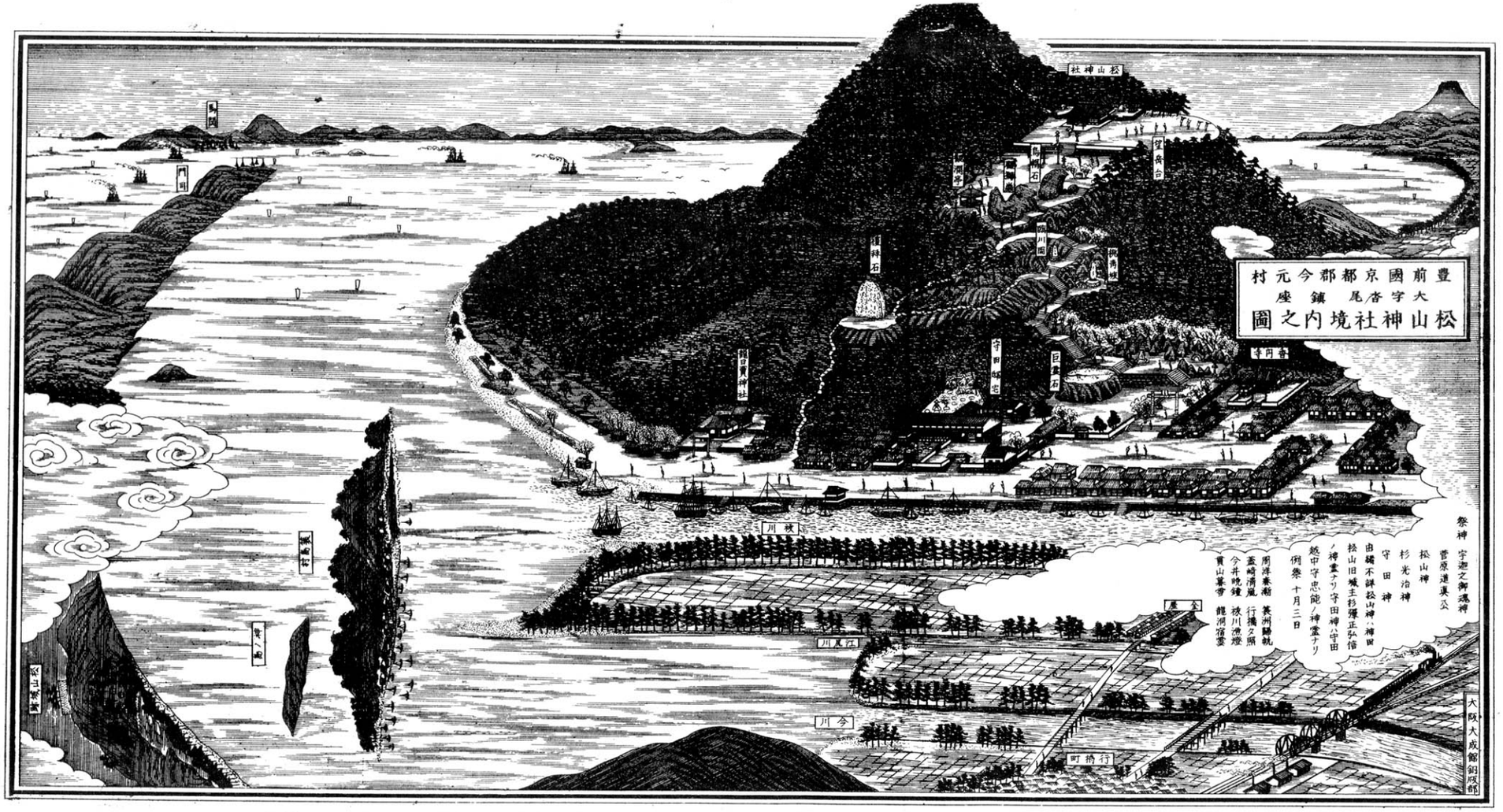

福岡縣豊前國田川郡赤村
大字上赤　鎮座
我鹿神社境内全景之圖
本宮
明神嶽
白山
平山池
宇戸神社
大音ノ滝
琴彈滝
古宮跡
旧神主邸
本社
須佐社
拝殿
社掌 大谷邸
光明寺
菅原社
国見山
岩羽山
上赤所有地
湯ノ口字山ノ原
貴舟神社
五穀神社
御幸場
貴舟社
稲荷社
金毘羅社
塵空藏堂
岡大丸跡家
葛城山


福岡縣豐前國田川郡赤村
大字内田ノ大内田　村社
大祖神社境内之圖
大祖降臨之靈地戸田城古城
山神社
社務所
内田縣古蹟
大阪大成館銅版部


豊前國田川郡赤村
大字内田ノ小内田村
大祖神社境内之圖
大祖三神降臨ノ靈地戸代城ノ古跡
本社
拝殿
社務所
嚴島神社
菅原神社
菅原神社
八幡神社
菅原神社
大坂大成館銅版部


福岡縣豊前國田川郡赤村
大字赤ノ山浦　村社
大祖神社境内之圖
大相降臨之靈地　戸代城古跡
通法寺
須佐神社
山神社
須佐神社
大阪大成館銅版部

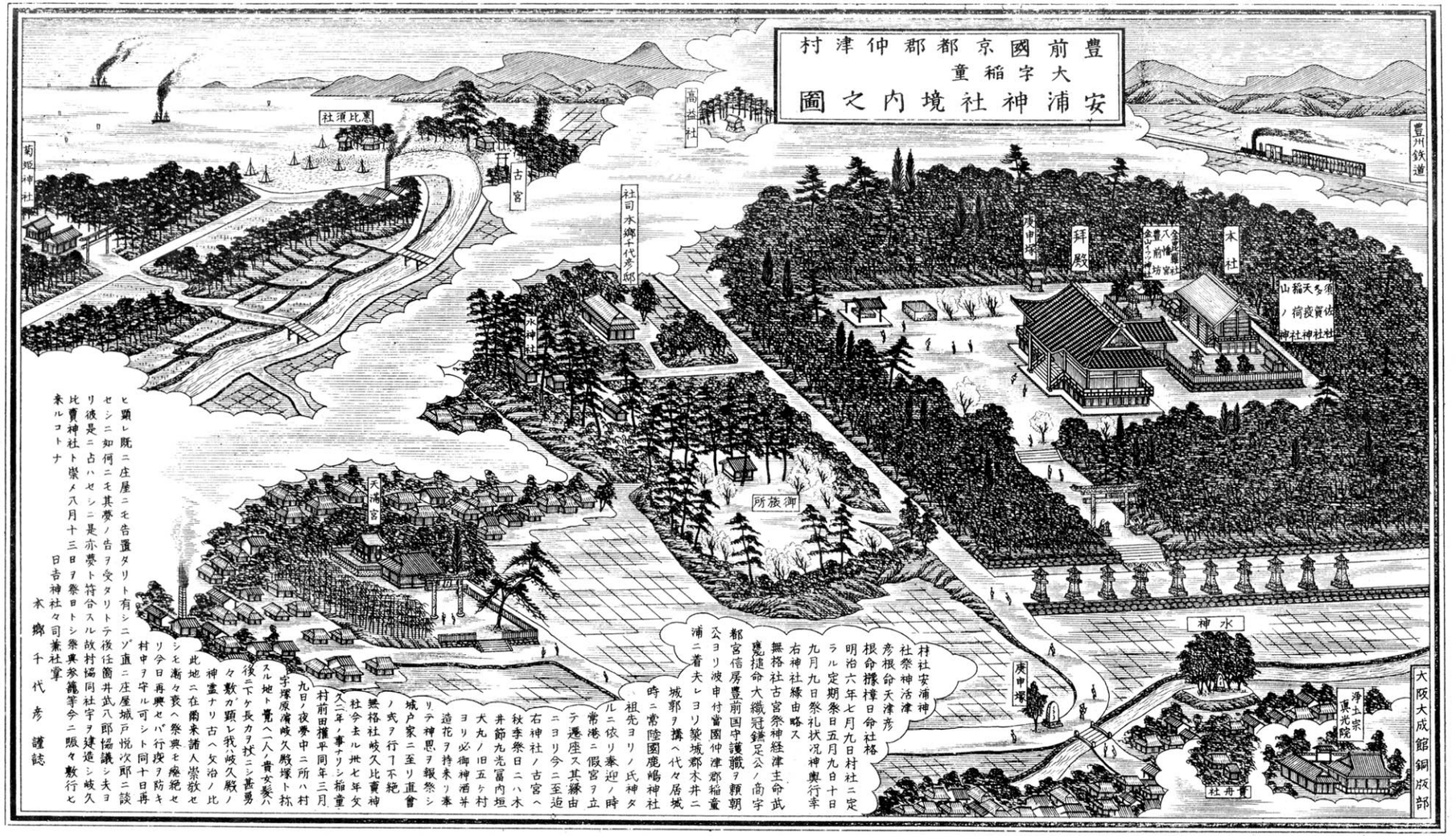

福岡縣豐前國京都郡今元村
大字元永鎮座縣社大祖大神社
仝所鎮座今井津縣社須佐神社
境内全景之圖
豐前國京都郡今元村大字元永鎮座縣社大祖大神社祭神天之御中主神高皇産靈神神皇産靈神明治六年七月九日鄉社ニ被定明治二十七年一月廿七日縣社ニ被列例祭四月二十三日臨時祭陰曆三月十五日同所鎮座今井津縣社須佐神社祭神健速須佐之男命稻田姫命八皇子創立昌泰三年一說建長六年ト云傳フ明治六年七月九日鄉社ニ被定明治二十七年一月二十七日縣社ニ被列例祭八月一日臨時祭陰曆六月十五日
周防灘
ミノシマ
大神社
拜殿
廊下
社務所
廻廊
手洗所
大阪大成館銅版部
豐州線
九州線
一田川線
行橋停車場


豊前國京都郡今元村
大字杏尾鎮座
松山神社境内之圖
松山神社
門司
行橋
川今
町橋行
祭神 宇迦之御魂神
菅原道真公
松山神
杉光治神
守田神
由緒不詳松山神小神田
松山旧城主杉彌正弘信
ノ神霊ナリ守田神小守田
姫中守忠能ノ神霊ナリ
例祭 十月三日
関連集潮
長崎晴風
今井晩鐘
貴山暮雪
長洲歸帆
行橋夕照
秋川漁燈
龍洞宿雪
大阪大成館銅版部



村社菅原神社祭神菅原道眞公明治六年七月九日村社ニ列セラル祭月三月十五日八月廿五日鄉社豊津神社鄉社草場神社々司本鄉雅義兼務


豊前國京都郡今元村
大字　金屋
社村社
春日神社之圖
長門
神島
ミノ島
二崎山
周防灘
沓尾山
元永山
祇園
祓川
本社
拝殿
貴舟社
江尻川
御手洗
行橋
今川
豊州線
田川線
三軒金屋
村社春日神社祭神兒屋根
命　武甕雷命　齋主命比
賣大神　社格明治六年七
月九日村社ト定ル創立
ハ承和元年大和國奈良ヨ
リ鎮座スト云傳　例祭五
月十二日
字三軒金屋須佐神社旧跡
ハ昌泰三年鎮座慶延長八
年元永ヘ遷座
大阪大成館銅版部製

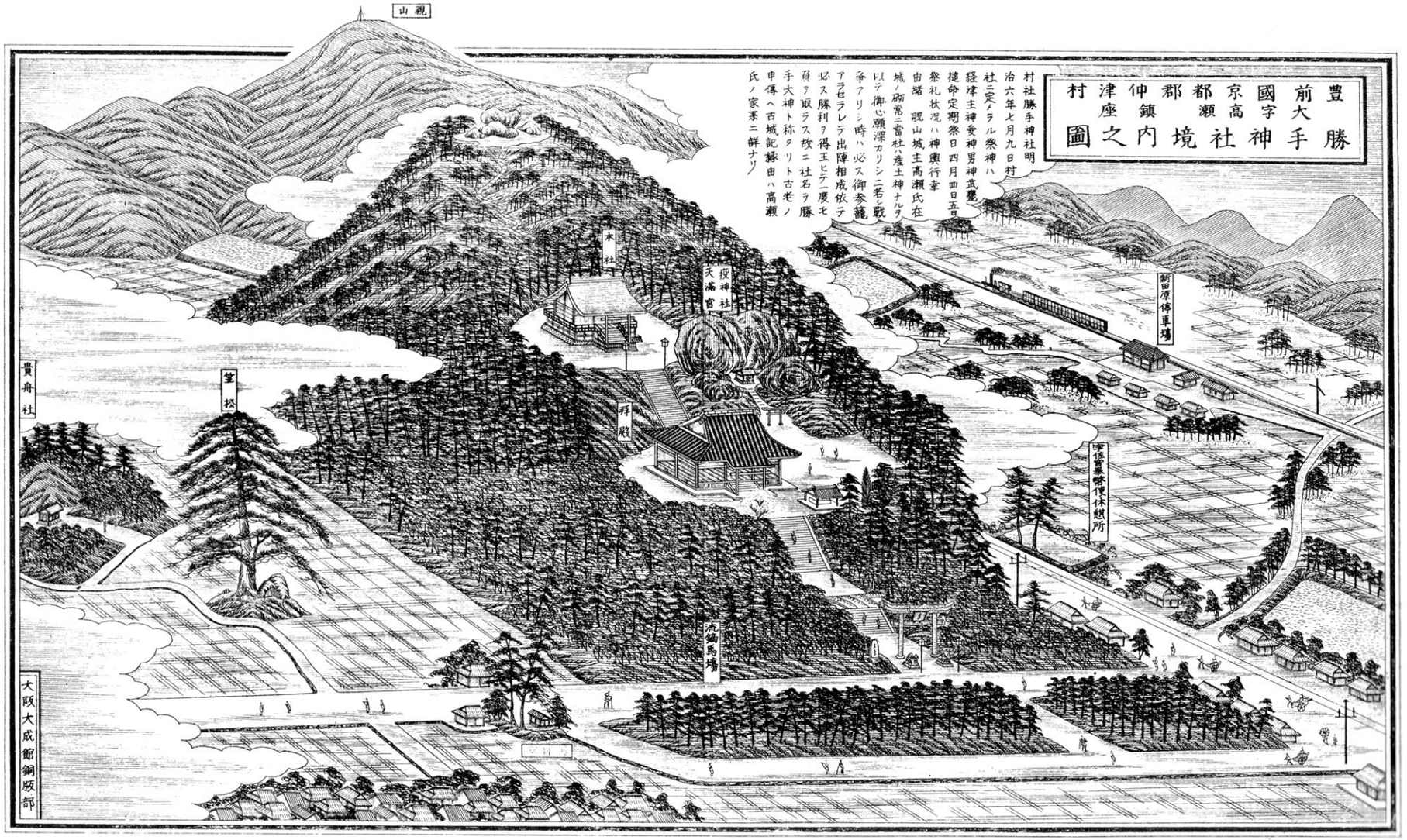


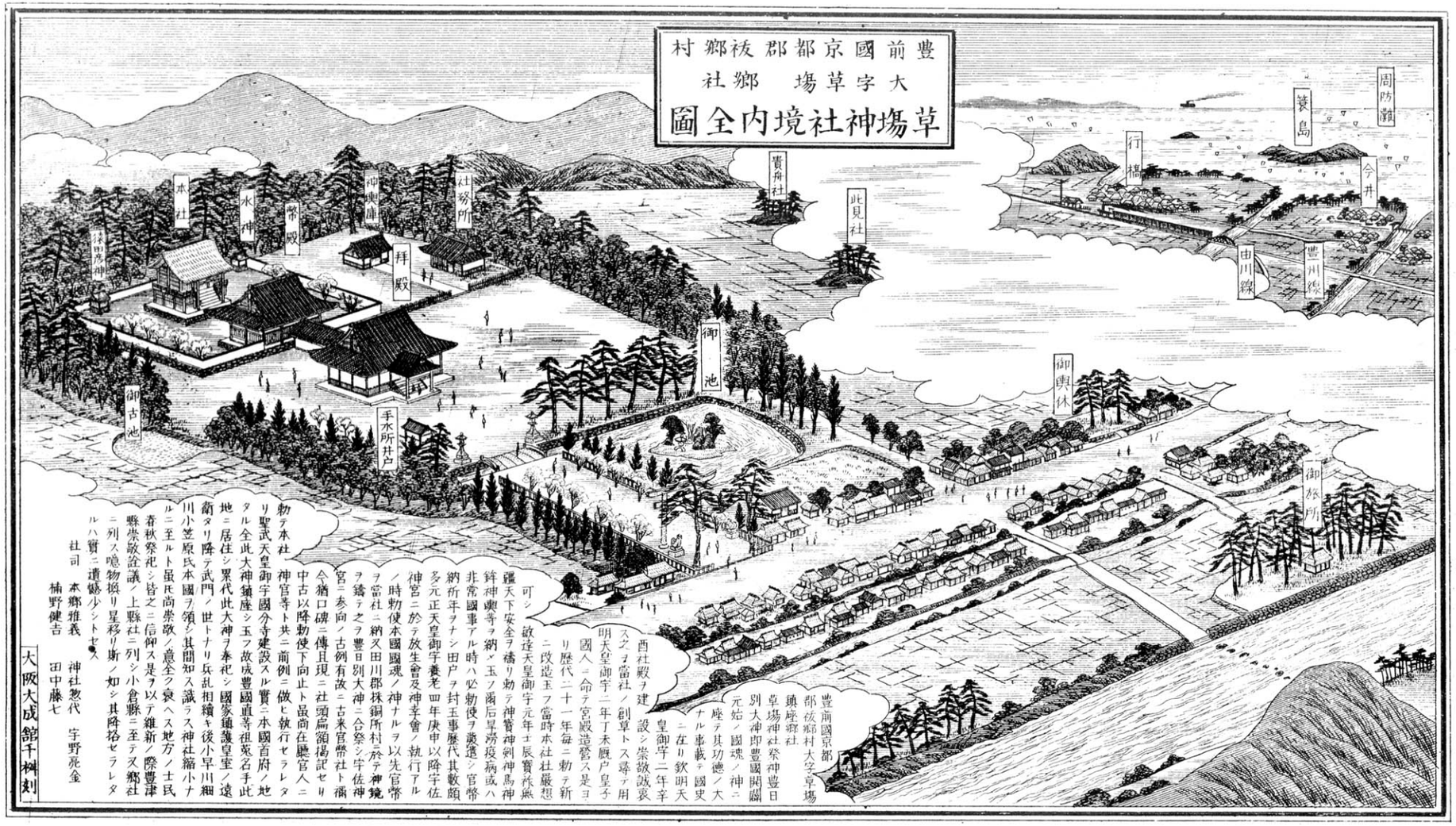
村社安浦神社祭神活津彦根命活津彦根命天津彦根命櫛玉命社格明治六年七月九日村社ニ定ラル定期祭日五月九日十日九月九日祭礼状況神輿行幸右神社縁由略ス

無格社古宮祭神経津主命武甕槌命大織冠鎌足公ノ尚宇都宮信房豊前国守護職ヲ頼朝公ヨリ被申付當國仲津郡稲童浦ニ着夫レヨリ築城郡木井ニ城ヲ構ヘ代々居城時ニ當陸國鹿嶋神社祖先ヨリノ氏神タルニ依リ奉迎ノ時常陸ニ假宮ヲ立テ遷座ス其縁由ニヨリ今ニ至迄右神社ノ古宮ヘ秋季祭日ニハ水井節九先富内垣大丸ノ旧五ヶ村ヨリ必御神酒幷造花ヲ持来リ奉リテ神恩ヲ報祭シ城戸家ニ至リ直會ノ式ヲ行フ不絶

無格社岐久比賣神社今ヨリ卅七年久二年ノ事ナリシ稲童村前田擴平同年三月九日夜夢中ニ所ハ村字塚原宿岐久殿塚ト称スル地ト覺ヘ八ノ貴女髪ハ後ニ下ケ長カヲ扶ニシ甚男々數カ顕レ我ハ岐久殿ノ神霊ナリ古ヘ久治ノ比此地ニ在開来諸人崇敬セシニ漸々衰ヘ祭典モ廃絶セリ今日再興セバ行疫ヲ防キ村中ヲ守ルヘシト同十日再ヒ顕レ既ニ庄屋ニモ告置タリト有シニヅ直ニ庄屋城戸悦次郎ニ談セシニ如何ニモ其夢ノ告ヲ受タリトテ後任箇井武八郎協議シ夫リ彼是ニ占ハセシニ是亦夢ト符合スル故村協同社宇ヲ建造シ岐久比賣神社ト崇メ八月十三日ヲ祭日トシ祭典参籠等今ニ厳々數行セ来ルコトナ

日吉神社々司兼社掌
木郷千代彦謹誌


勝手神社境内之圖
豊前國京都郡仲津村
大字高瀬鎮座
村社勝手神社明治六年七月九日村社ニ定メラル祭神ハ経津主神姫神男神武甕槌雄命定期祭日四月四日五日祭礼状況ハ神輿行幸由緒 覩山城主高瀬氏在城ノ砌當三當社ハ産土神ナルヲ以テ御心願深カリシニ若シ戰爭アリシ時ハ必ス御参籠アラセラレテ出陣相成依テ必ス勝利ヲ得玉ヒテ一度モ負ヲ取ラス故ニ社名ヲ勝手大神ト称タリト古老ノ申傳ヘ古城記縁由ハ高瀬氏ノ家系ニ詳ナリ
山
本社
疫神社
天満宮
拝殿
笠松
貴舟社
流鏑馬場
新田原停車場
大阪大成館銅版部

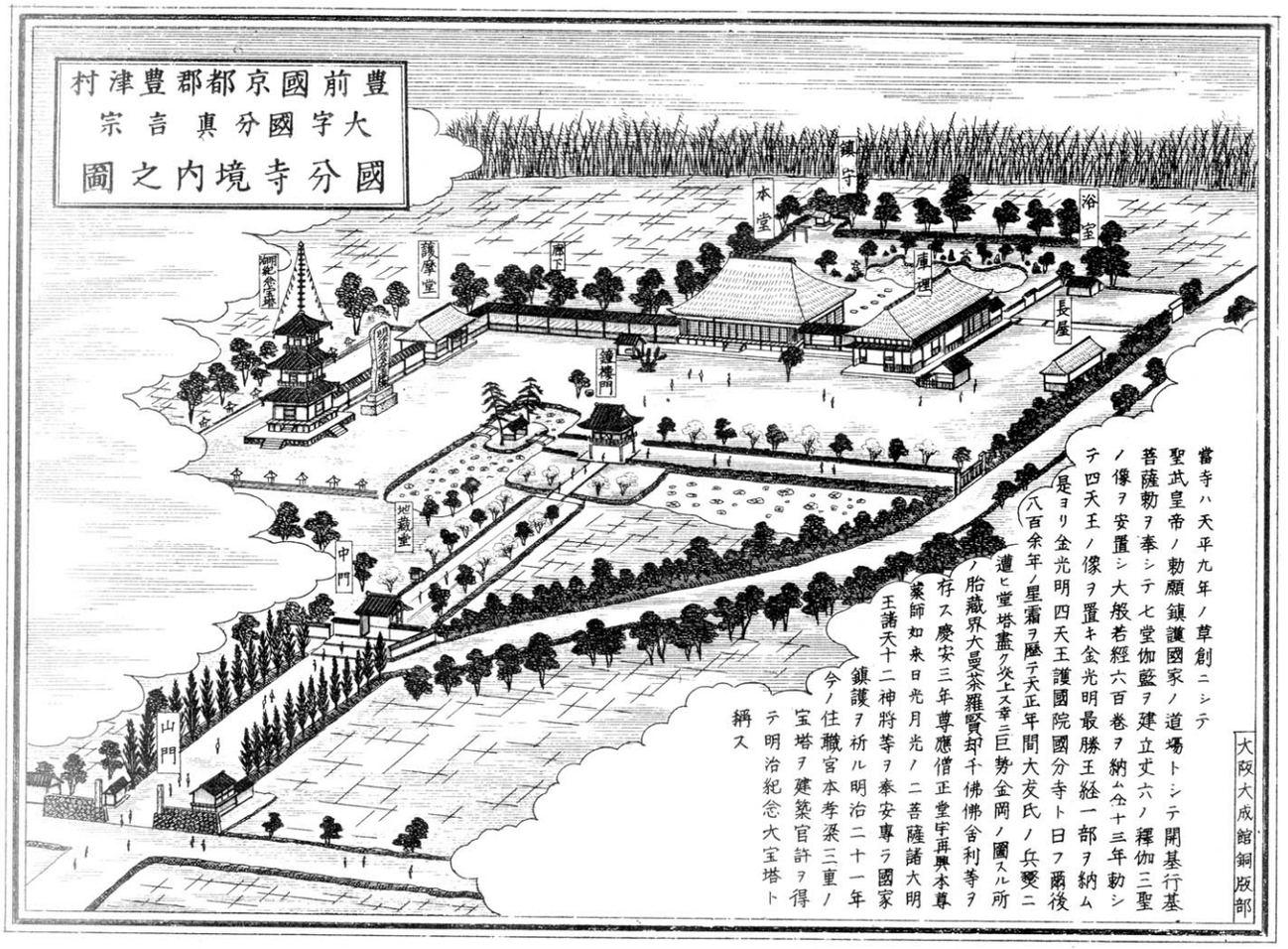


豊前國京都郡祓郷村大字草場鎮座郷社

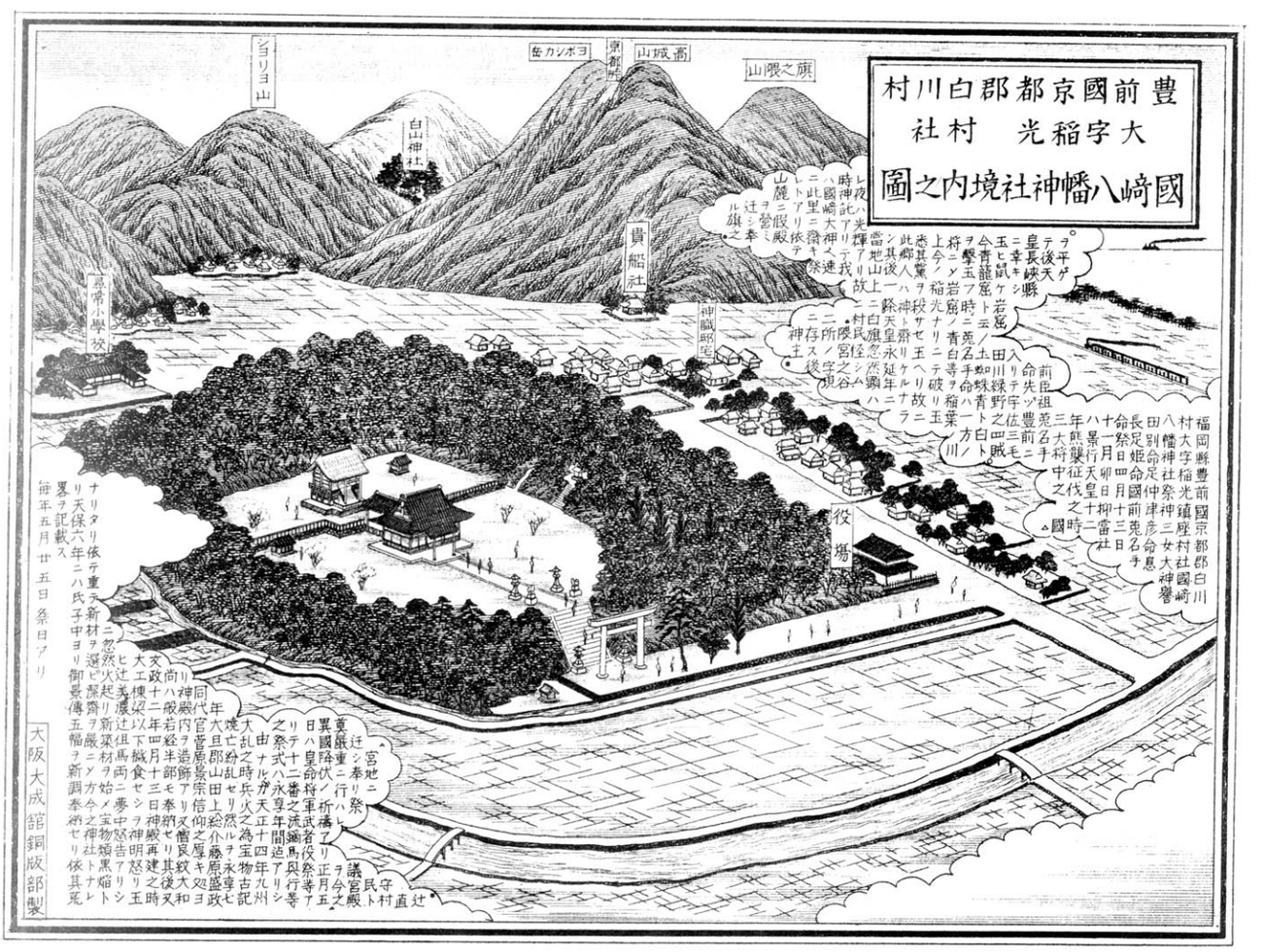
草場神社祭神豊日別大神即豊國開闢元始ノ國魂ノ神ニ座テ其功德ノ大ナル事載テ國史ニ在リ欽明天皇御宇二年辛酉社殿ヲ建設シ崇敬誠衷ヲ盡ス當社ノ創草トス尊テ用ユヘヲ當社ノ創草トス尊テ用明天皇御宇二年丁未厩戸皇子國人ニ命テ宮殿造營ス是ヨリ歴代二十一年毎ニ勅テ新ニ改造玉フ當時本社社嚴想可シ敬違天皇御宇元年辛巳寶祚無疆天下安全ヲ禱リ勅テ神寶神劍神馬神鉾神輿等ヲ納メ玉フ爾后皇統疫病或ハ非常國事アル時ハ必勅使ヲ發遣ノ官幣納所年ヲナシ田戸ヲ封玉事歴代其數頗多元正天皇御宇養老四年庚申以降宇佐神宮ニ於テ放生會及神幸會ノ執行アルノ時勅使本國國魂ノ神ナルヲ以先官幣ヲ當社ニ納又田川郡採銅所村ニ於テ神鏡ヲ鑄テ之ヲ豊日別大神ニ合祭シ宇佐神宮ニ參向ノ古例有故ニ古來官幣社ニ列且現ニ社頭扁額揭記セリ中古以降勅使下向止ト雖向在廳官人ニ神官等ト共ニ前例ニ做ヒ執行セラレタリ聖武天皇御宇國分寺建設スル實ニ本國首府ノ地タル全此大神鎮座シ玉フ故成豊國直等祖菟名手此地ニ居住シ累代此大神ヲ奉祀シ國家鎮護皇室ノ遠葛タリ降テ武門ノ世トナリ兵乱相續キ後小早川細川小笠原氏本國ヲ領シ其間知ス識ラス神社縮小ナルニ至ルト雖氏尚崇敬ノ意全ク衰ヘス地方ノ士民着秋祭祀シ皆之ニ信仰ス是ヲ以テ維新ノ際豊津縣崇敬詮議ノ上縣社ニ列シ小倉縣ニ至テ又郷社ニ列ス噫物換リ星移リ斯ノ如シ其降格セラレタルハ實ニ遺憾少シトセス

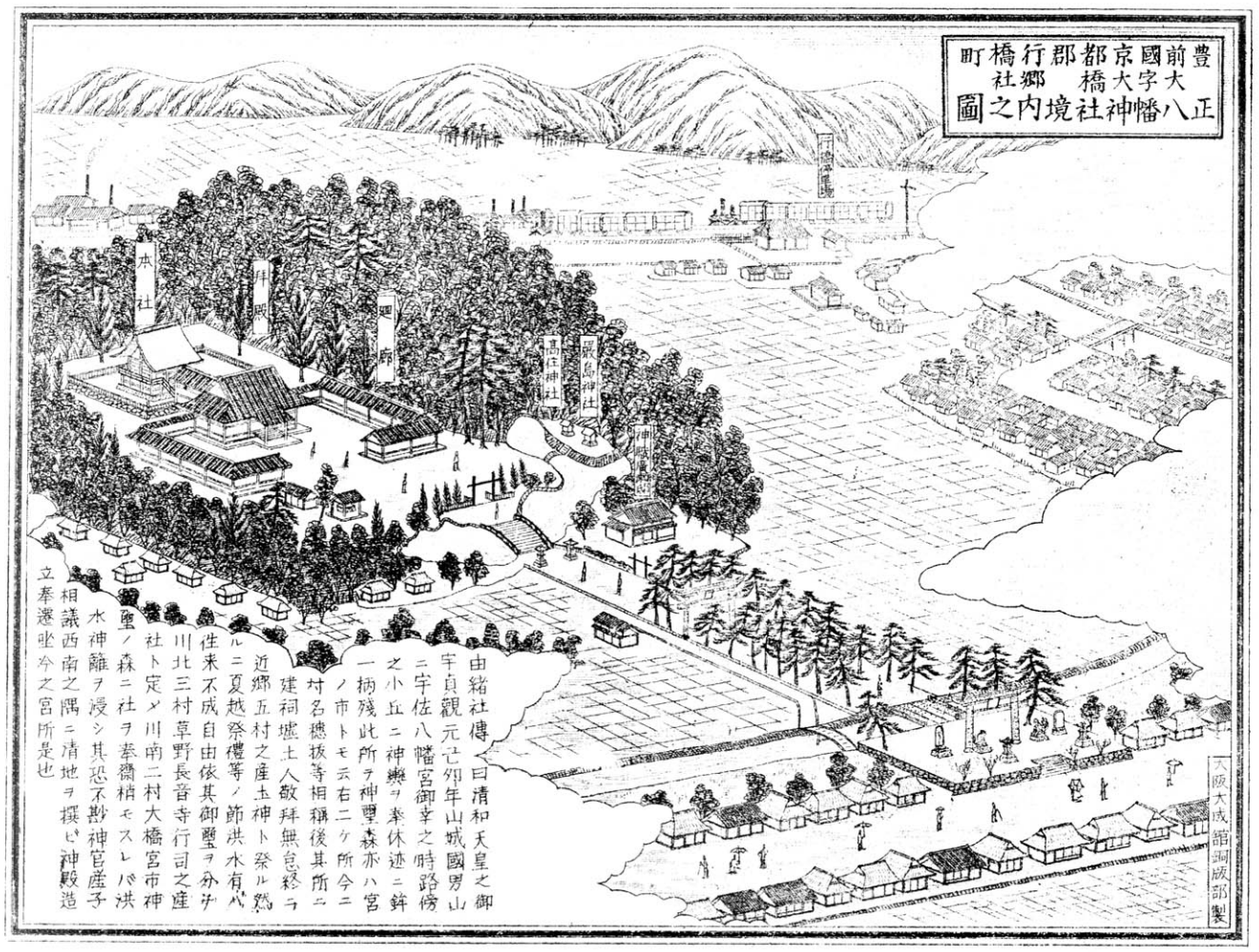
神社惣代　宇野晃金
社司　本郷雅義
田中藤七
補野健吉

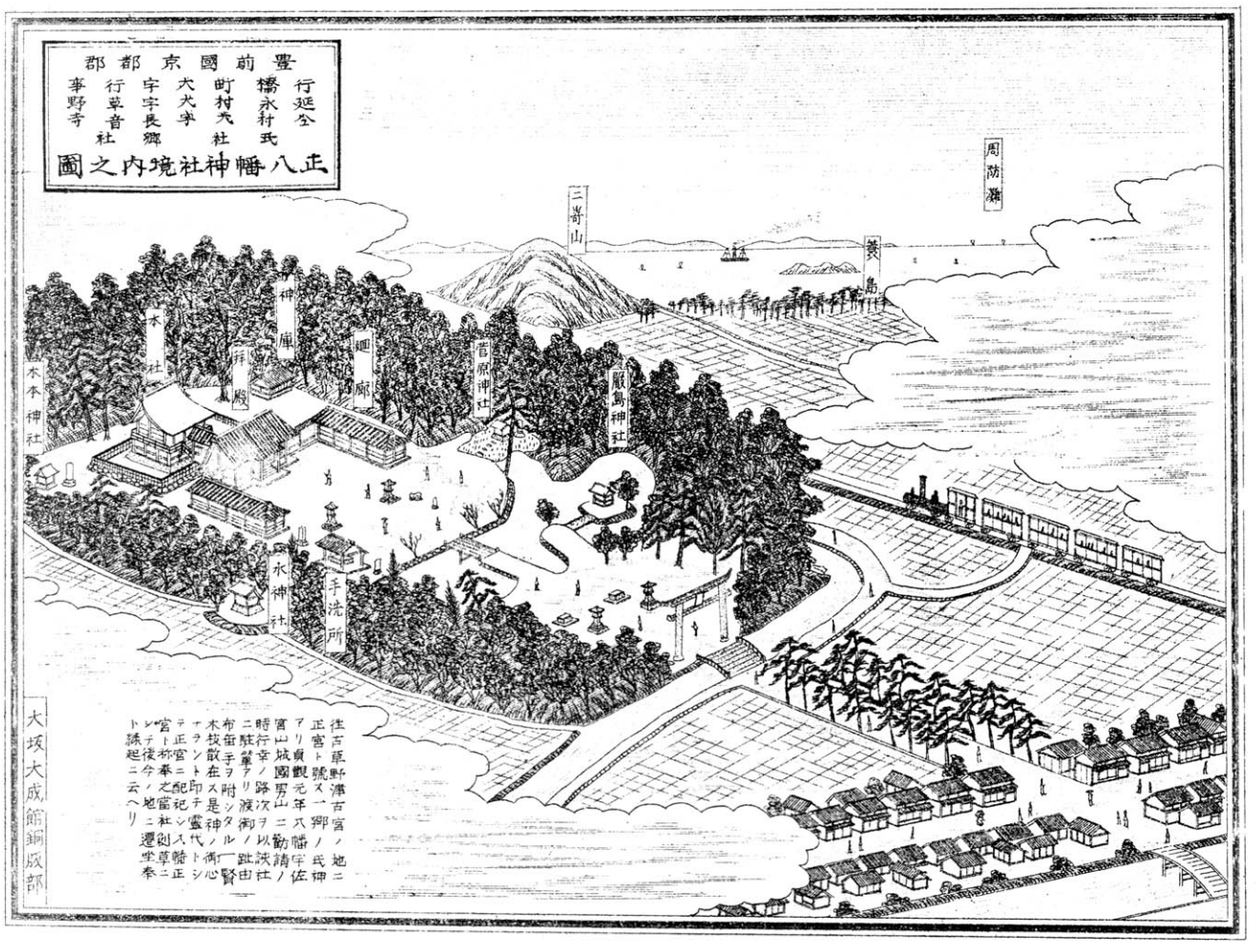
大阪大成館千枡刻

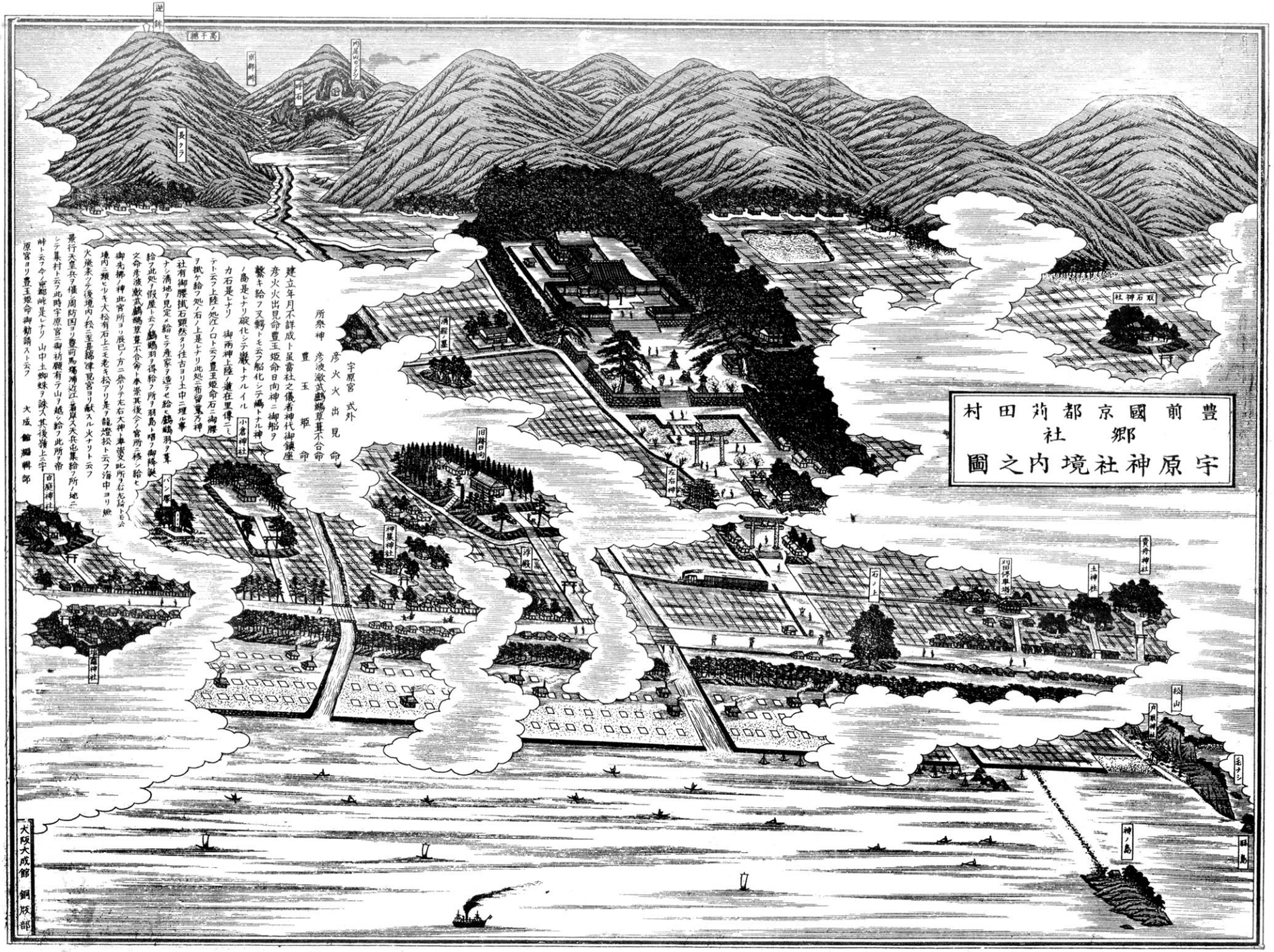


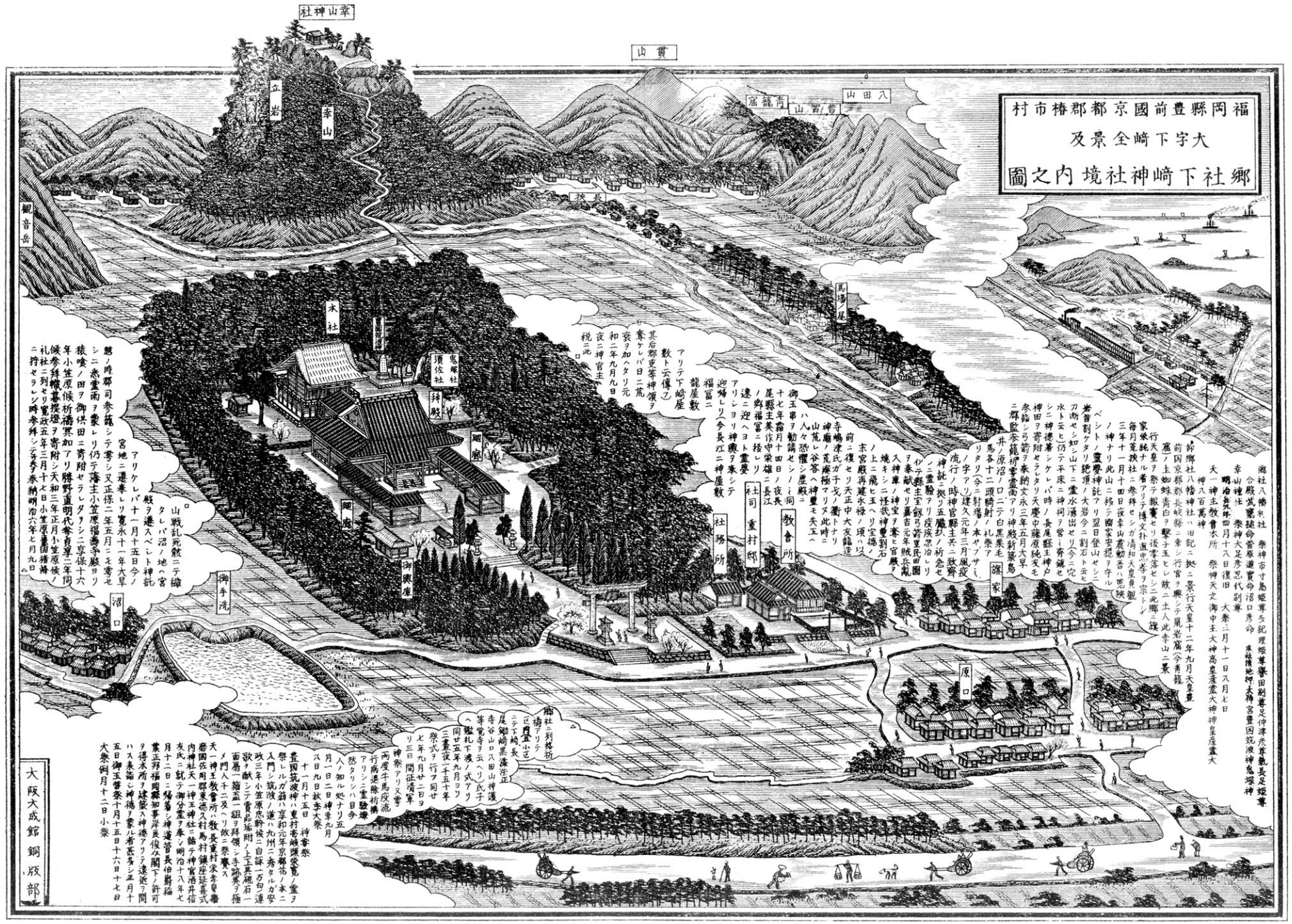
當寺ハ天平九年ノ草創ニシテ
聖武皇帝ノ勅願鎮護國家ノ道場トシテ開基行基
菩薩勅ヲ奉シテ七堂伽藍ヲ建立丈六ノ釋伽三聖
ノ像ヲ安置シ大般若經六百卷ヲ納ム今十三年勅シ
テ四天王ノ像ヲ置キ金光明最勝王經一部ヲ納ム
是ヨリ金光明四天王護國院國分寺ト曰フ爾後
八百余年ノ星霜ヲ歷テ天正年間大友氏ノ兵燹ニ
遭ヒ堂塔盡ク炎上ス幸ニ巨勢金岡ノ圖スル所
ノ胎藏界大曼荼羅賢劫千佛佛舍利等ヲ
存ス慶安三年尊應僧正堂宇再興本尊
藥師如來日光月光ノ二菩薩諸大明
王諸天十二神將等ヲ奉安專ラ國家
鎭護ヲ祈ル明治二十一年
今ノ住職宮本孝深三重ノ
宝塔ヲ建築官許ヲ得
テ明治紀念大宝塔ト
稱ス




豐前國京都郡行橋町
大字大橋　鄕社
正八幡神社境内之圖
本社
拜殿
廻廊
神庫
神輿神社
由緒社傳曰清和天皇之御宇貞觀元己卯年山城國男山ニ宇佐八幡宮御幸之時路傍之小丘ニ神樂ヲ奉休迹ニ鉾一柄殘此所ヲ神豐森亦八宮ノ市トモ云右二ケ所今ニ村名遺扳等相稱後其所ニ建祠壇上人敬拜無怠終ヲ近鄕五村之産土神ト祭ル爲ルニ夏越祭禮等ノ節洪水有バ往來不成自由依其御墓ヲ分ヶ川北三村草野長音寺行司之産社ト定メ川南二村大橋宮市神墓ノ森ニ社ヲ奉彌積モスレバ洪水神離ヲ浸シ其恐不斷神官座子相議西南之隅ニ清地ヲ撰ビ神殿造立奉遷坐今之宮所是也
大阪大成館調版部製

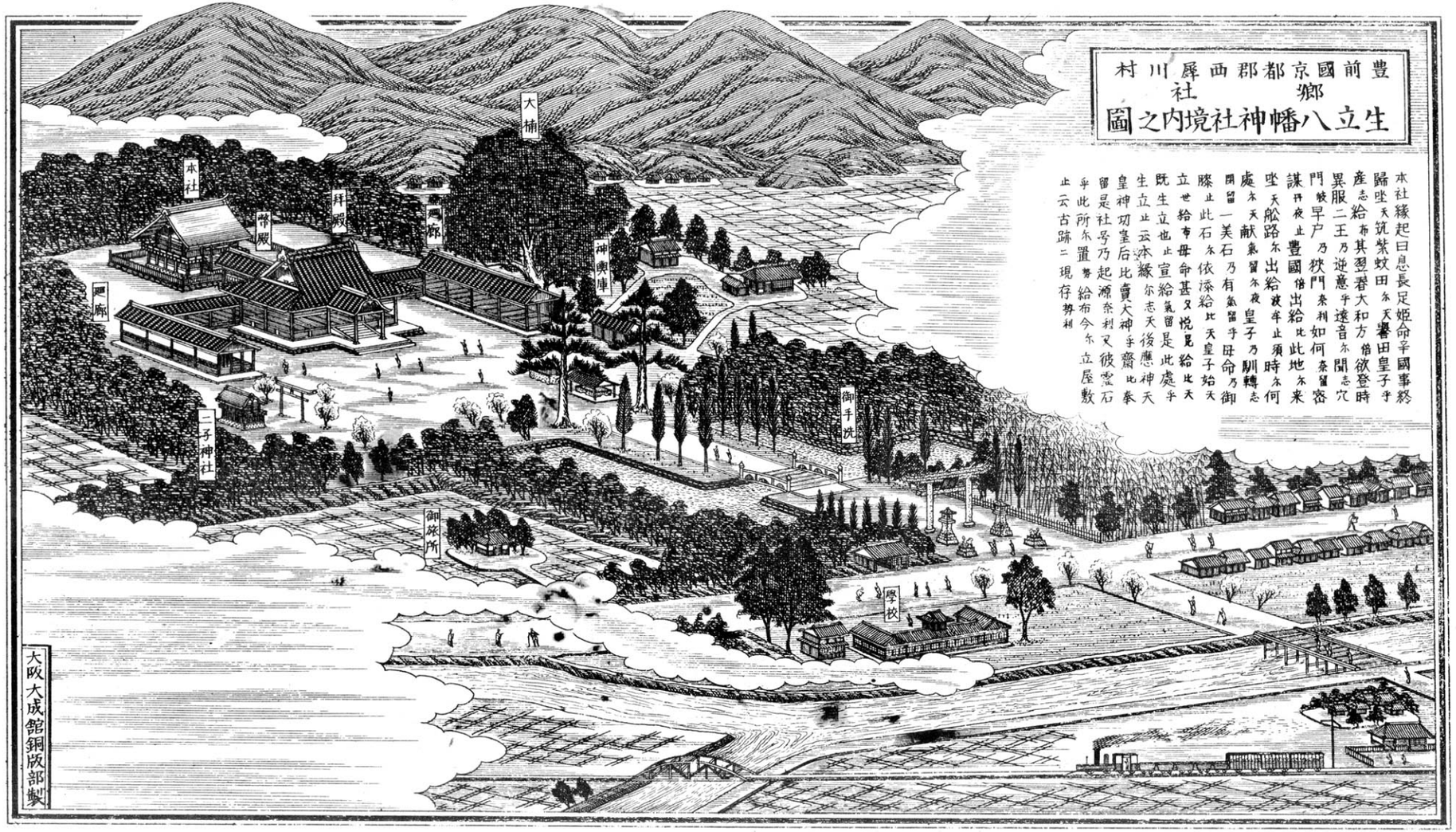

豐前國京都郡行延公
橋永村氏
町村大社
犬丈字
宇宇長鄕
行草音社
事野寺
正八幡神社境内之圖
周防灘
二岩山
姜島
本社
拜殿
神庫
廻廊
本本神社
菅原神社
嚴島神社
水神社
手洗所
往古草野津古宮ノ地ニ正宮ト號ス一鄕ノ氏神アリ貞觀元年八幡宇佐宮山城國男山ニ勸請ノ時行幸ノ路次ヲ以誠社ニ駐輦アリ渡御ノ此由布留手ヲ附ンタル一賢木枝敷在ス是神ノ御心ヲラントト即チ靈代トシテ正宮ニ配祀ンス皆正宮ト祈奉之當社創草ニレテ後今ノ地ニ遷坐奉ト誌起ニ云ヘリ
大坂大成館調版部

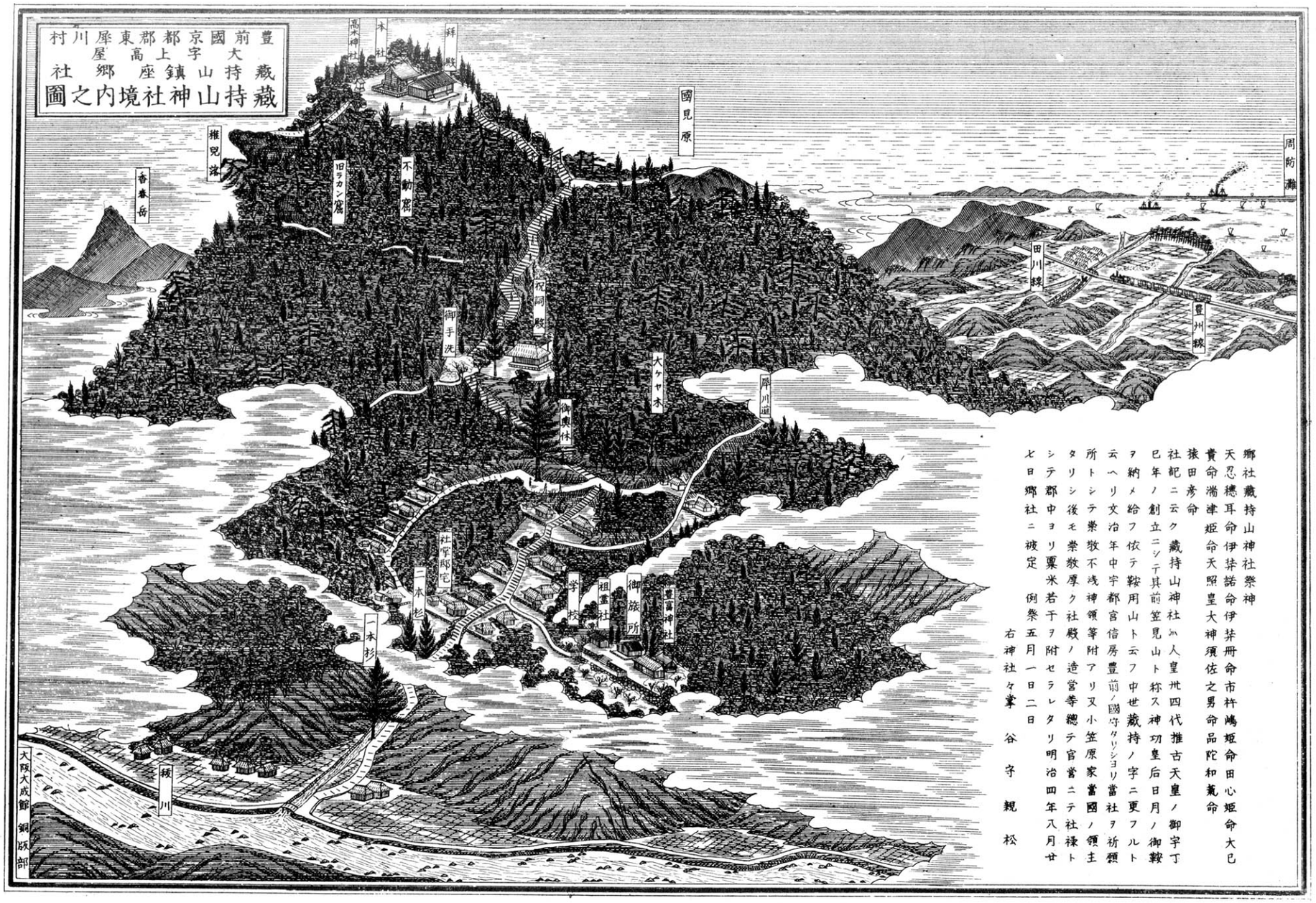

豊前國京都苅田村
郷社
宇原神社境内之圖
宇原宮 式外
彦火火出見命
所祭神 彦波瀲武鸕鷀草葺不合命
豊玉姫命
建立年月不詳成ト雖當社之儀者神代御鎮座
彦火火出見命豊玉姫命日向ニ御船ヲ
繋キ給フ又鶴ト云ヲ船化シテ鶴トナル神
ノ島是ヨナリ碇化シテ巌トナルイル
カ石是ヨナリ 御神上陸ノ遺在里傳ニテ
テトニヲ上陸ノ処江ロトニヲ豊玉姫命石ニ御膝
ヲ拭ヶ給フ処ノ石ノ上是ヨナリ此処ニ布留乃神
社有御膝拭石顯然タリ往古ヨリ土中ニ埋ル事
ナシ清地ヲ見定ノ給ヒテ産家ヲ造テ給ヒ鸕鷀羽ヲ葺
給フ此処ノ假屋ト云ノ鸕鷀羽ノ儘給フ所ヲ羽島ト呼ノ御陣跡
之命彦波瀲武鸕鷀草葺不合命ト本崇其後今ノ宮所ニ移シ給ヒ
御先祖ノ神此宮所ヨリ辰巳ノ方ニ祭リテ右大神ト奉崇此所ヲ右先島トモ云
境内ニ類ヒ少キ大松有石上ニモ老キ松アリ是ヲ龍燈松ト云フ海中ヨリ燃
火燃来ル後境内ノ松ニ至ル錦燁見宮ヨリ献スル火ナリト云フ
景行天皇共ヲ憧周防国ヨリ豊前馬鞍浦迄江ニ着見ヨリ献スル火天兵也集給フ所ノ地ニ
シテ集村ト云フ此時宇原宮ニ御祈願有テ山ヲ越給フ此所ヲ帝
峠ト云フ今ノ峠郎此是ヨナリ 山中土蜘蛛ヲ誅ス其後猶上ニ宇
原宮ヨリ豊玉姫命御勅諚ト云フ
大成館編輯部
大阪大成館 銅版部


福岡縣豊前國京都郡椿市村
大字下崎全景及
郷社下崎神社境内之圖
幸山神社
幸山
立岩
貫山
八田山
青龍窟
觀音岳
長狹
馬場ノ屋
本社
鬼門社
頂佐社
拝殿
廻廊
神庫
御供庫
御手洗
沼口
社務所
教會所
社司 重村郎
旗家
原口
大阪大成館銅版部

144

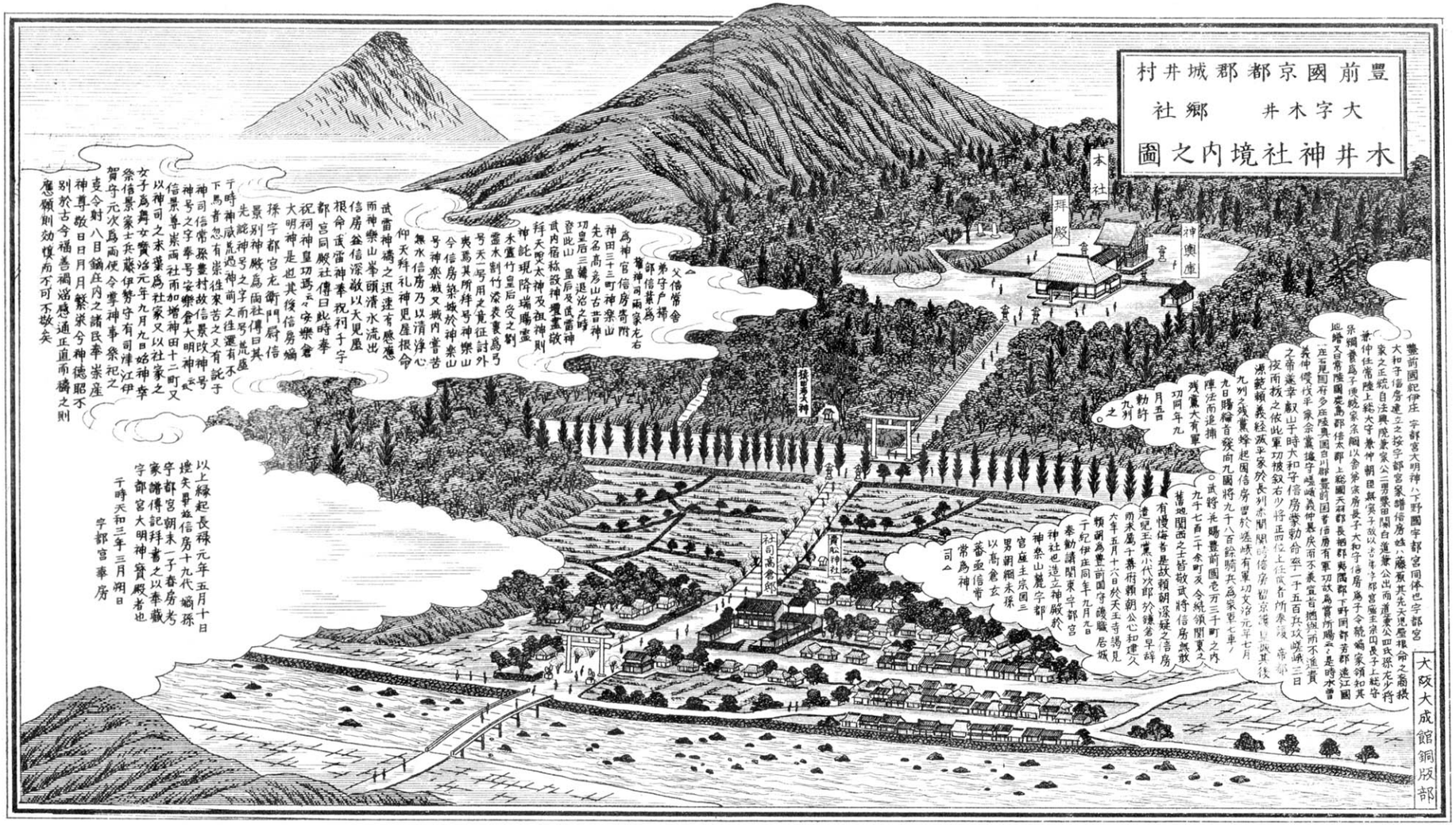

豊前國京都郡稗田村
郷社
大分八幡神社境内之圖
豊前國京都郡稗田村大字下稗田字サヤ
郷社
大分八幡神社
一祭神 譽田別命
足中津彦命
息長足姫命
三女大神
相殿
祭神 大山咋命
一由緒
累緑起曰往古豊前國京都郡長峡縣日吉田庄下
稗田村前田村上稗田村久保村平尾村津積村西
谷村大谷村九ケ村産神ト崇奉リ則日吉大神
是ナリ茲御神ハ人皇十二代景行天皇天下
知食ス御時豊前國鼠石窟(今青ト云龍窟ヘリ二ツノ
土蜘蛛アリ又直入縣祢疑野ニ荒振打猴
八田國磨ノ三ノ土蜘蛛アリ皇命ニ不
隨シテ人民ヲ惱セリ此土蜘蛛ヲ平給
ントテ官軍ヲ整十二年秋九月筑
紫ニ行幸坐シテ豊前國長峡縣ニ
行宮ヲ建給フ其所ヲ號シテ京ト
云委キハ日本紀ニ見エ今
京都ト云源名ナリ行宮ノ
跡里人号シテ御所谷ト云日吉社
ヲ去ル一里半未エアリ此大神ハ
帝ノ守護神ト祭リ給フナリ依テ
往古ハ日吉田ト号シ今稗田村ト
云フ是則九ケ村産神ト崇奉ル
ナリ而ルニ其後馬ケ嶽城主新
田義基嫡男上野介従四位上源
義氏源家祖神武勇ノ御神ハ
幡宮ヲ尊敬シ給ヒ筑前國大
分郷ニ座ス八幡宮ヲ日吉社相
殿ニ祭リ崇敬日々ニ厚クシ
テ貞
治二年二月九日八幡
宮ヲ
本殿ト為奉テ神領田
本社
拝殿
幣殿
廻廊
廻廊
手水舎
司定村役場
教會所
水神社
春日社
貴舟社
摂社
御旅所
學校
一町余ヲ賜フ(御社ヲ去ルコト
二町五寅ノ方ニアリ
今ニ神田ト云フ
豊後國大友氏鑑ノ兵
火ニ懸リ社殿旧記等
悉ク焼失シテ又神田
等殘ラズ亡失セリ誠
ニ神慮恐多次弟ナリ其後馬ケ
嶽後城主長野三河守恒吉中原
主佐守盛家ノ時信仰益厚クシ
テ神殿再建アリ元正八年九月
造營棟札今ニ存セリ定村大藏
太夫政光記ト之當社ノ草創ナ
リ慶長年中小倉城主細川越中
守忠興公厚ク御信仰ニテ御
寄附物種々之アリ寛永三丙
寅年津積村ヘ分社シテ大
島八幡宮ト号シ津積村西谷
村下久保村平尾村ノ四ケ村ヲ産土
ニ属ス同五年戊辰上田村ニ分
社シ大分八幡宮ト号シ上田村
ヲ産土ニ属ス
寛文六丙午年九月上稗田村ニ
分社シテヘ分八幡宮ト号シ上
稗田村ヲ産土ニ属ス
其後大谷村小烏大明神ニ大谷五
分ノ四ヲ以テ産土ニ属ス故ニ當
社ハ下稗田村前田村大谷村五分
ノ一ノ産土神トシ且ハ一郡ノ總
祠タリ故ニ小倉領主小笠原氏ヨリ
社領田等ノ寄附アリ例年御代参アリ
テ郡中諸祈禱アリ来レリ
明治四年八月社格郷社ニ被定 太政官 五月十日

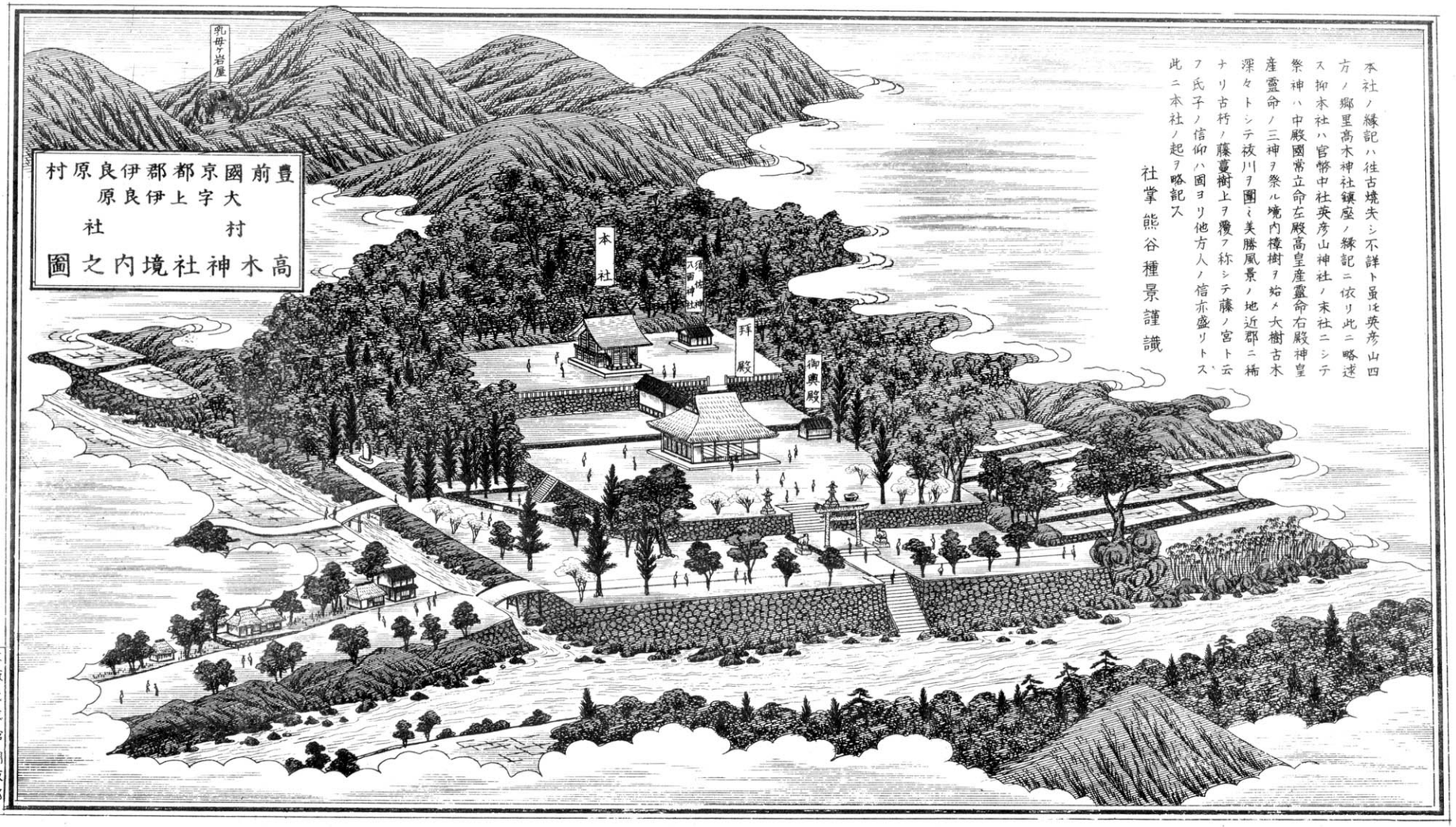

豊前國京都郡西屬川村
生立八幡神社境内之圖
本社緣起曰息長足姫命辛國事終歸坐天筑紫蚊田ヶ天磐田皇子乎産志給布其翌暮大和方俗欲登時異服二王乃逆意乎遠音ヶ聞志穴門皷早戸乃狹門ヶ乎利如何ヶ乎留容謀許夜止豊國俗出給比此地ヶ来坐天船路ヶ出給波乎止須時ヶ何處ヶ天献氣留ヶ夜皇子乃馴轉志開留一美石乃有氣留乎母命乃御膝止此石ヶ依添給比天皇子始天立世給布母命甚又悦覧給比天既生立也止宣給氣留是此處乎生立止云本緣ヶ志天後應神天皇神功皇后比賣大神乎齋比奉留是社号乃起源ヶ乎利又彼靈石乎此所ヶ置給布今ヶ立屋數止云古跡ニ現存勢利
大
神輿庫
本社
拜殿
幣殿
廻廊
廻廊
二子神社
御手洗
御旅所
學校
大阪大成館銅版部製



鄕社藏持山神社祭神
天忍穗耳命伊弉諾命伊弉冊命市杵嶋姫命田心姫命大己貴命湍津姫命天照皇大神須佐之男命品陀和氣命
猿田彦命
社記ニ云ク藏持山神社ハ人皇卅四代推古天皇ノ御宇丁巳年ノ創立ニシテ其前笠見山ト称ス神功皇后日月ノ御鞍ヲ納メ給フ依テ鞍用山ト云フ中世藏持ノ字ニ更フルト云ヘリ文治年中宇都宮信房豊前ノ國守タリシヨリ當社ヲ祈願所トシテ崇敬不淺神領等附アリ又小笠原家當國ノ領主タリシ後モ崇敬厚ク社殿ノ造営等總テ官営ニテ社祿トシテ郡中ヨリ粟米若干ヲ附セラレタリ明治四年八月廿七日鄕社ニ被定　例祭五月一日二日

右神社々掌　谷守親松


豐前國京都郡城井村
大字木井　鄉社
木井神社境内之圖
本社
拜殿
神樂庫
社司高倉氏
貴船神社
大阪大成館銅版部

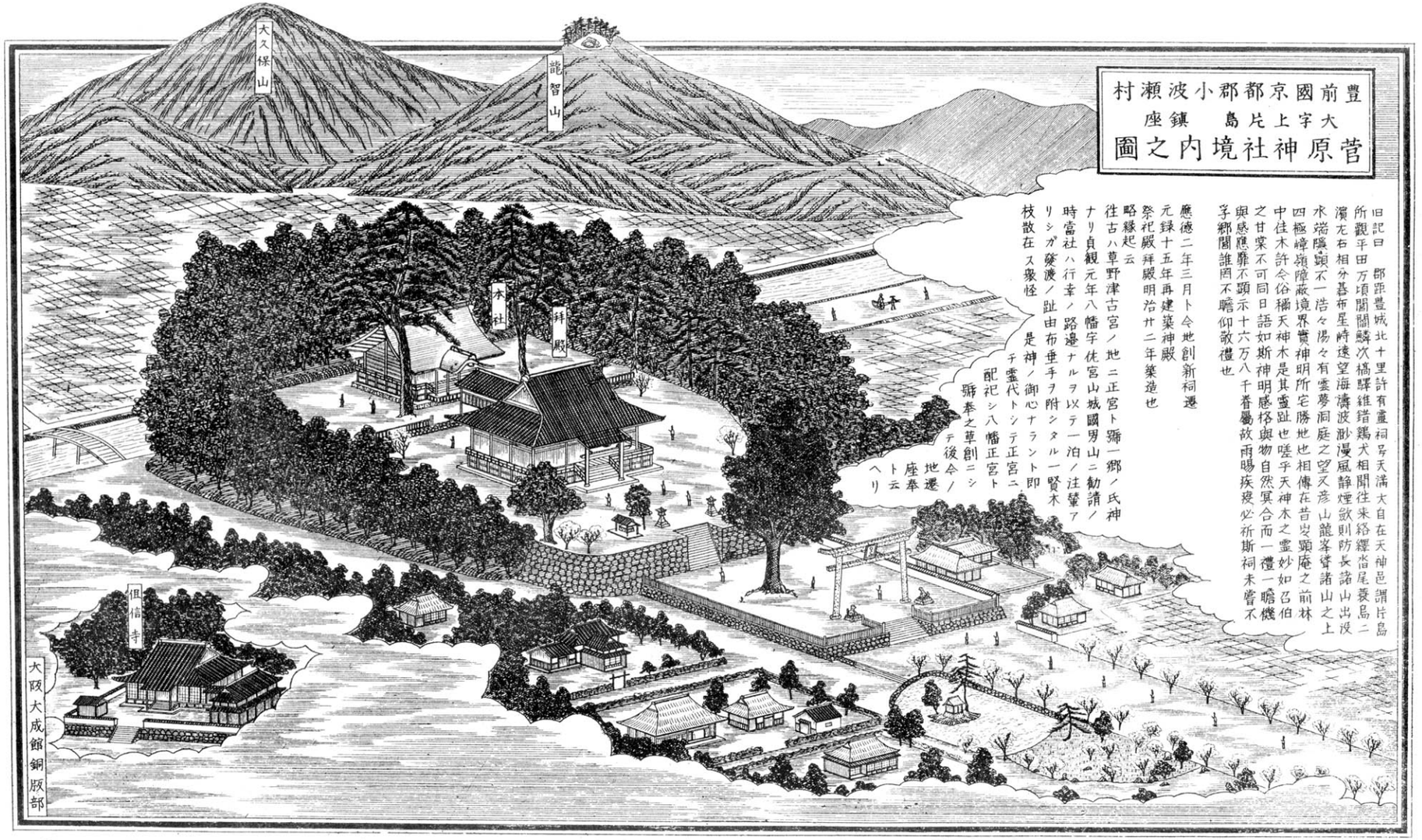


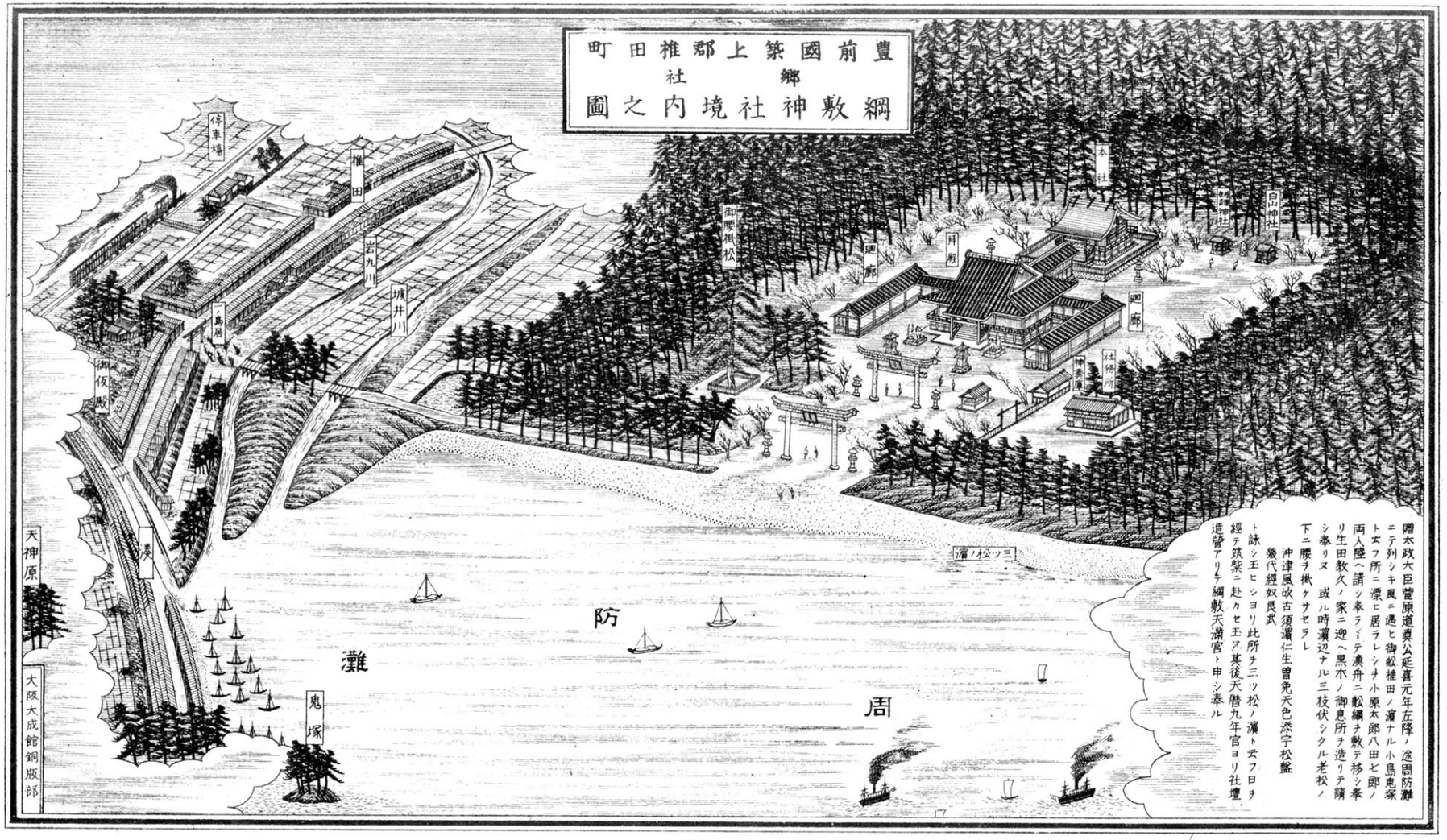
本社ノ縁記ハ往古燒失シ不詳ト雖ヒ英彦山四方ノ鄉里高木神社鎭座ノ縁記ニ依リ此ニ略述ス抑本社ハ官幣中社英彦山神社ノ末社ニシテ祭神ハ中殿國常立命左殿高皇産靈命右殿神皇産靈命ノ三神ヲ祭ル境内樟樹ヲ始メ大樹古木深々トシテ祓川ヲ圍ミ美勝風景ノ地近郡ニ稀ナリ古杓ノ藤臺樹上ヲ覆フ称シテ藤ノ宮ト云フ氏子ノ信仰ハ國ヨリ他方人ノ信亦盛リトス此ニ本社ノ起ヲ略記ス

社掌熊谷種景謹識

大阪大成館銅版部


豊前國京都郡伊良原村
大字下伊良原
村社
高木神社境内之圖
伊良原冨士
本社
阿礼神社
頂佐神社
成徳神社
貴舟神社
桜田彦大神
神輿庫
神職熊谷邸
熊谷種景ノ碑
拝殿
鷹堀神社
鷹堀神社
本社ハ官幣中社英彦山神ノ模社ニシテ弘仁五年ノ鎮座ナリ祭神ハ賢所八柱大神ヲ祭ル長クモ嵯峨天勅願所英彦山七里四方ノ神領荘園在來経界地産土神ト斎祭ル年久シ爰ヲ以テ英彦山ノ麓豊前豊後筑前ノ三国英彦山ヲ距離ル丁捐逮隔ノ地方ニシテ之レ四五里或ハ六七里ナラザルハナシ依テ其土地人民参拝ニ便宜ナラズトシテ弘仁五年三国ノ郷村ニ摂社トシテ高皇産霊大神ヲ斎祭ル由縁ナリ既ニ天正十五年豊臣秀吉公神領ヲ没收シ其地産土神ト崇敬ス依テ本神社ハ英彦山神社ニ起因スル所以ナリ
祭神八神々体ノ内高皇産霊尊神皇産霊尊二神体ハ往古名造ノ金銅ニシテ最尊重ナリ其頃英彦山ヨリ分祠シタルモノナリ
摂社鷹堀神社祭神伊弉諾伊弉冊天忍骨之三柱神ヲ祭ル英彦山神社ト同体ナリ按此ノ巌堀ハ往昔彦山第六祖羅運上人修歴ノ砌此堀ニ宿ス時ニ當中震動シテ三柱神出現シ賜フ又巽方ヨリ鷹三羽翔リ来リ當中ニ入ル依テ鷹堀ト称ス人皇五十二代 嵯峨天皇弘仁四年癸末之夏社壇ヲ創建シテ齋祭云々本縁記ハ長文ニ付大要ヲ此ニ略ス
社掌 熊谷種景謹識
大阪大成館銅版部


豊前國京都郡小波瀬村
大字上片島　鎮座
菅原神社境内之圖
大久保山
詫智山
本社
拜殿
但信寺
大阪大成館銅版部
旧記曰　郡距豊城北十里許有靈祠号天満大自在天神邑謂片島
所觀平田万頃閭閻鱗次檣驛維錯鶏犬相聞往来絡繹嵩尾蓑島二
濱左右相分碁布星峙遠望海濤波瀏漫風靜煙歛則防長諸山出没
水端隱顕不一浩々湯々有靈夢洞庭之望又彦山龍岑脊諸山之上
四極嶂嶺障蔽境界實神明所宅勝地也相傳在昔岌巍庵之前林
中佳木許令俗稱天神木是其靈趾也嗟乎天神木之靈妙如召伯
之甘棠不可同日語如斯神明感格與物自然冥合而一禮一瞻機
與感應靡不顕示十六万八千眷屬故雨暘疾疫必祈斯祠未嘗不
孚鄉閭誰罔不瞻仰敬禮也
應徳二年三月卜令地創新祠遷
元録十五年再建築神殿
祭祀殿拜殿明治廿二年築造也
略縁起云
往古八草野津古宮ノ地ニ正宮ト號一郷ノ氏神
ナリ貞観元年八幡宇佐宮山城國男山ニ勧請ノ
時當社ハ行幸ノ路邊ナルヲ以テ一泊ノ注輦ア
リシガ發渡ノ趾由布垂手ヲ附シタル一賢木
枝散在スル衆怪
是神ノ御心ナラント即
チ靈代トシテ正宮ニ
配祀シ八幡正宮ト
號奉之草創ニシテ後令ノ
地遷
座奉
ト云
ヘリ

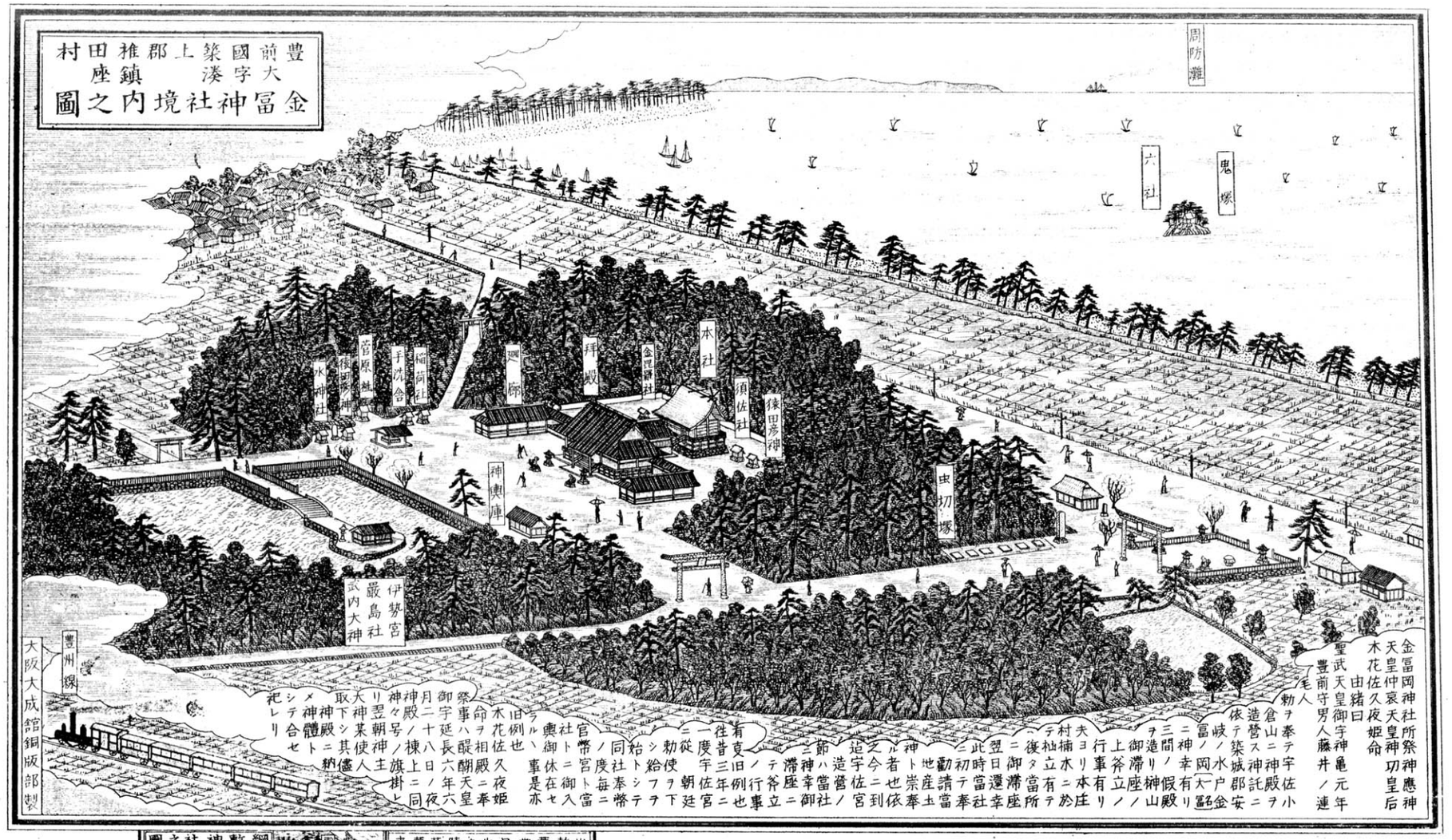


贈太政大臣菅原道真公延喜元年左降ノ途周防灘ニテ列シキ風ニ遇ヒ御船椎田ノ濱ナル小島鬼塚ト云フ所ニ漂ヒ居ラレシヲ小原太郎八田七郎ノ両人陸ヘ請シ奉ライテ漁舟ニ船綱ヲ數テ移シ奉リ生田敎久ノ家ニ迎ヘ黒木ノ御息所ヲ造リテ請シ奉リヌ　或ル時濱辺ナル三枝伏シクル老松ノ下ニ腰ヲ掛ケサセラレ

沖津風吹古須濱仁生曽免天色添宇松盤

幾代經奴見武

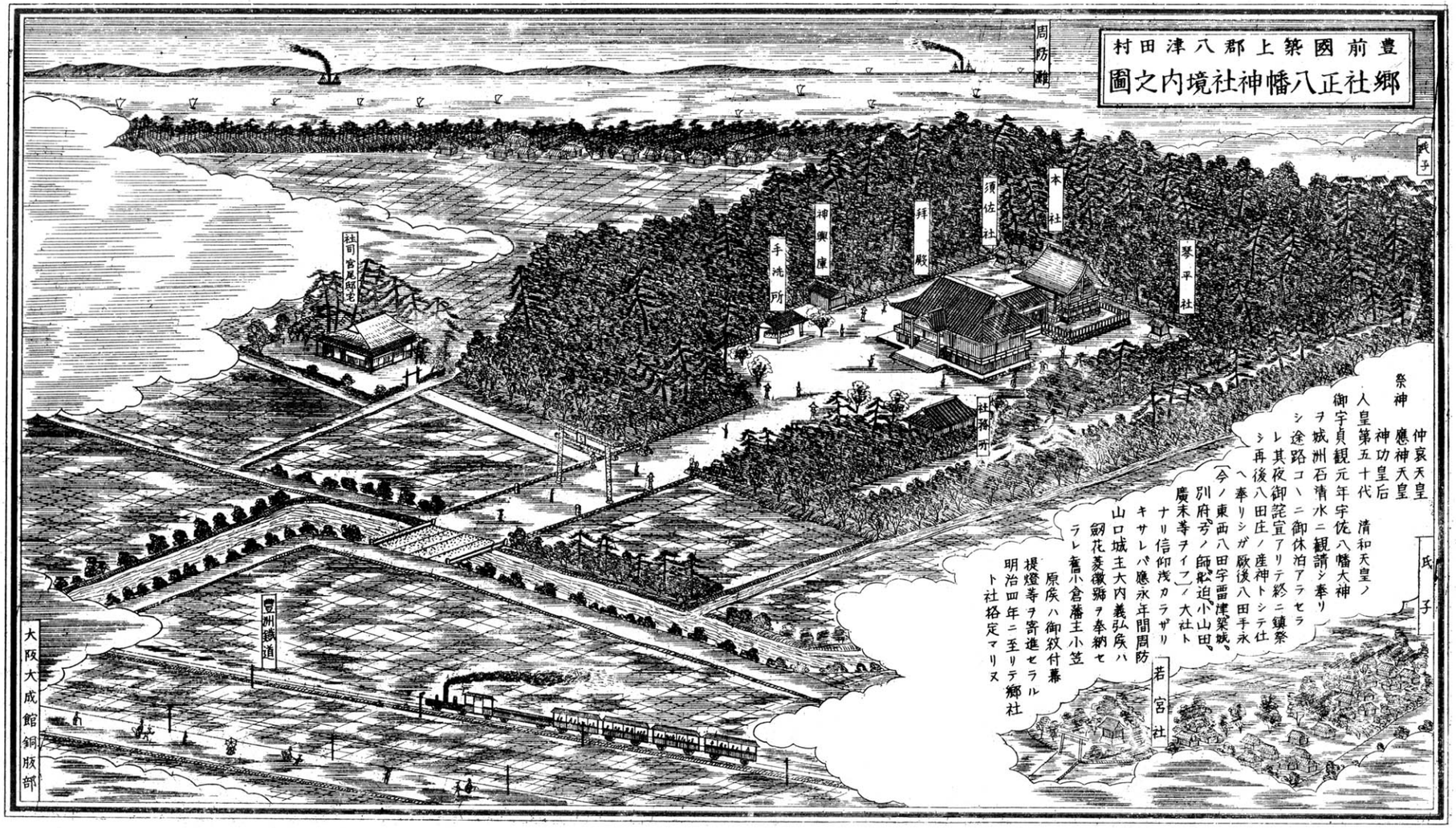
ト詠シ玉ヒシヨリ此所ヲ三ツ松ノ濱ト云フ日ヲ經テ筑紫ニ赴カセ玉フ其後天暦九年官ヨリ社壇造營アリテ綱敷天滿宮ト申シ奉ル

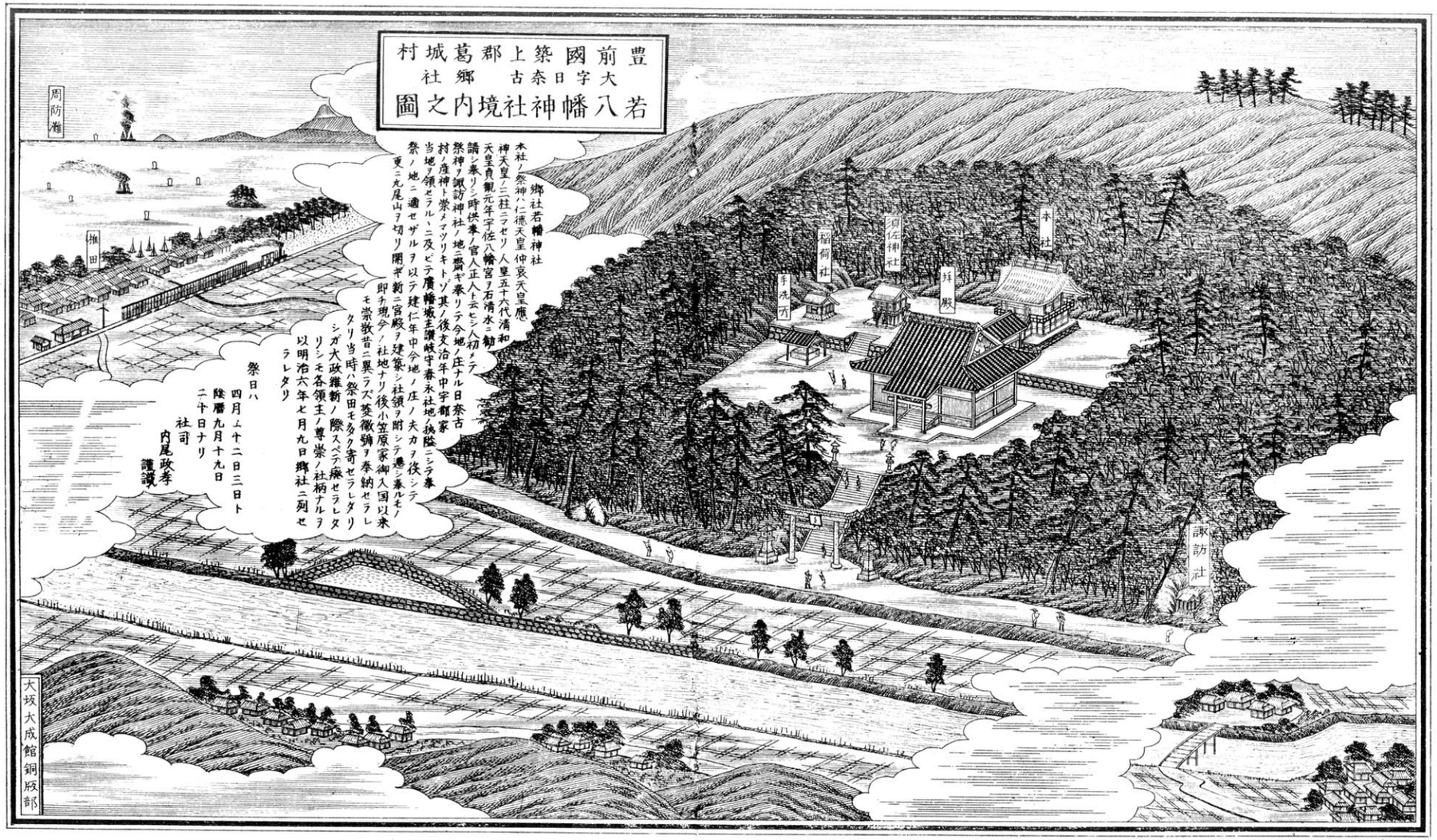


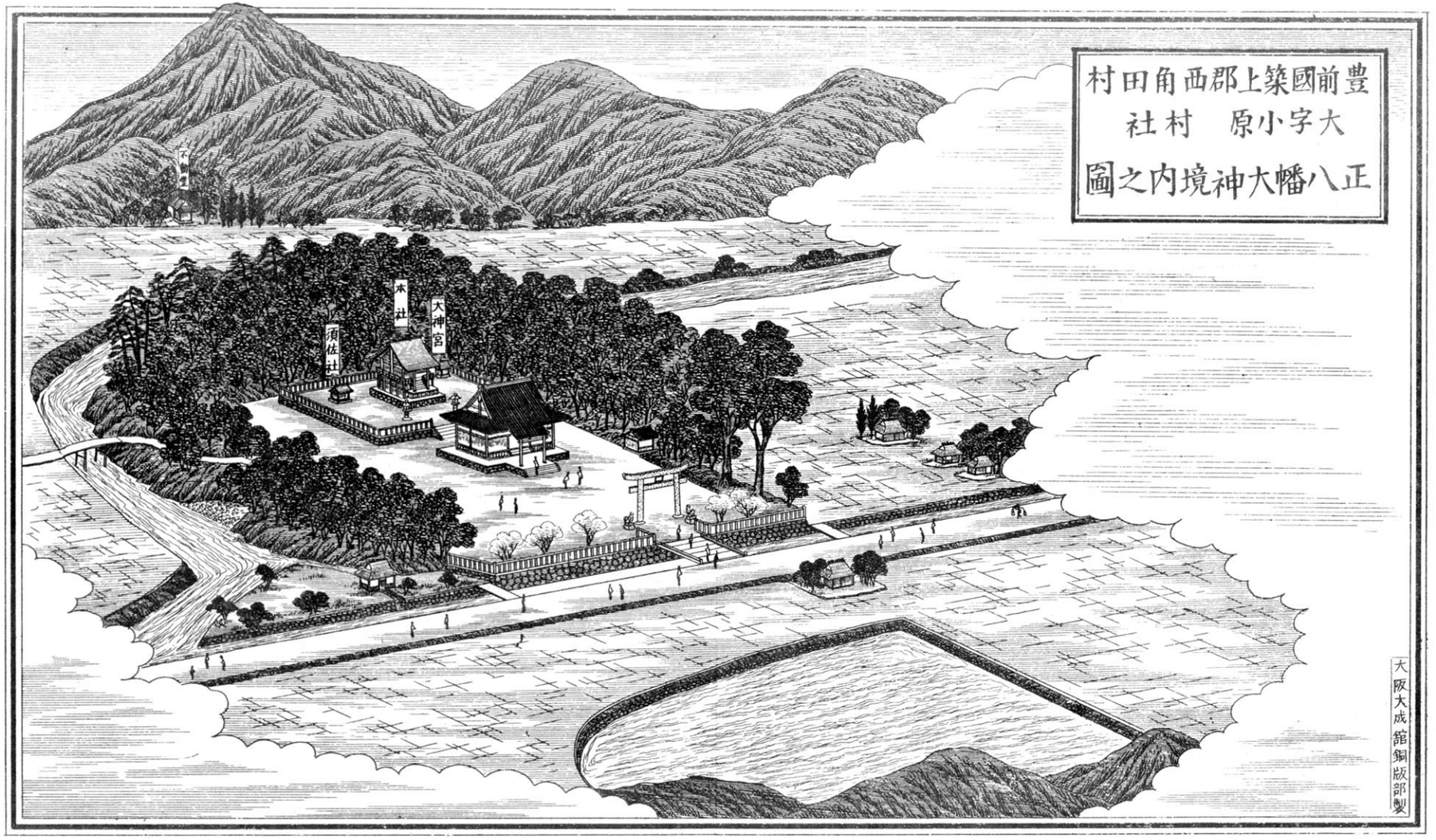
金冨岡神社所祭神應神天皇仲哀天皇神功皇后木花佐久夜姫命

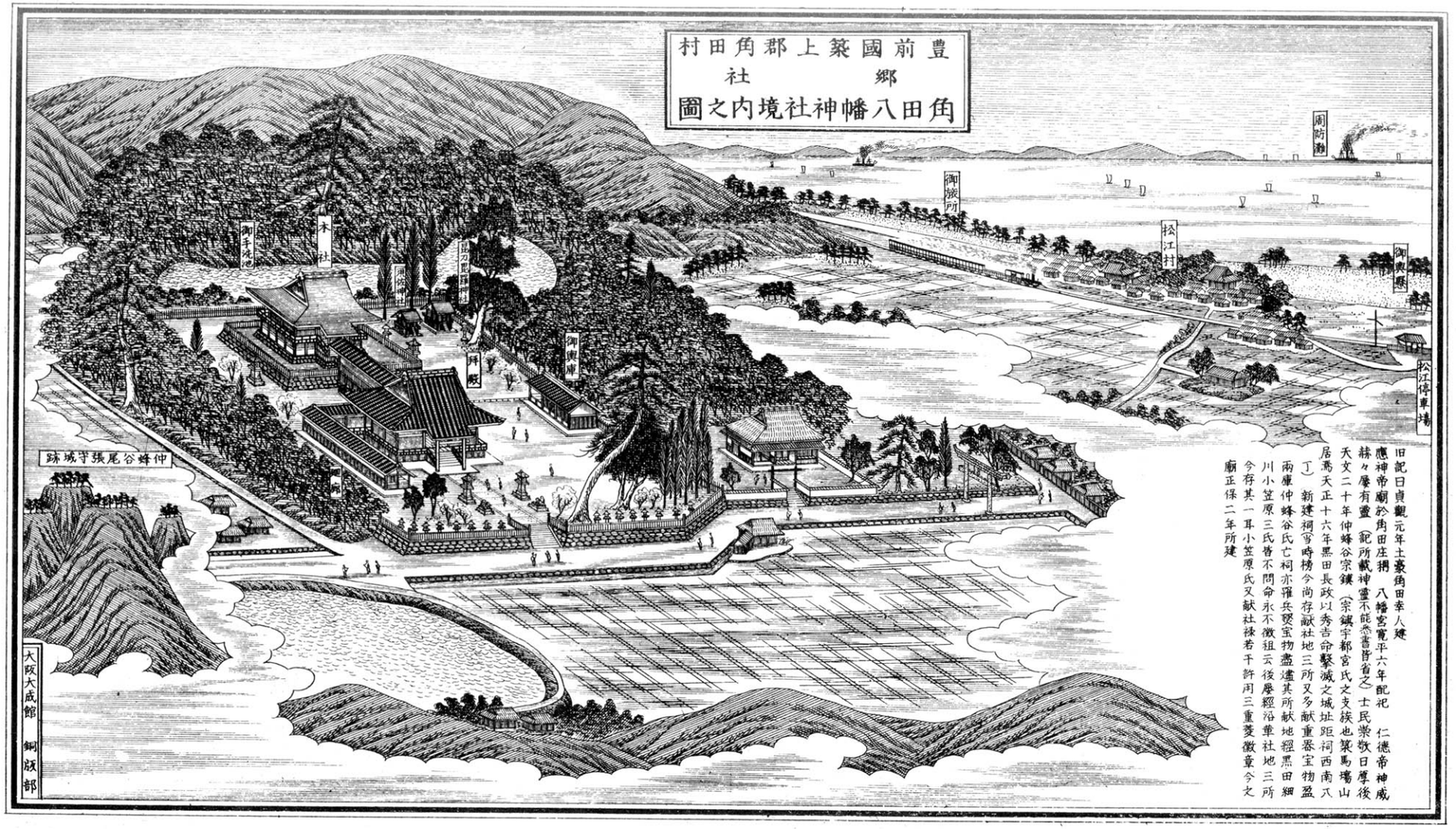
由緒曰

聖武天皇御宇神龜元年豊前守男人藤井ノ連毛人勅ヲ奉テ宇佐小倉山ニ神殿ヲ造營ス神託ニヨヲ依テ築城郡安岐ノ水戸大字富金ノ岡ニ神幸有リ三間ノ假殿ヲ造リ神山ノ御滯座ノ上斧立ノ行事有リ夫ヨリ本庄村杣水ニ於テ杣立有テ復タ當所ニ御滯座翌日還幸社ニ勸請當社初時テ奉ル神ト崇奉ル也依テ芝今ニ到ル者ハ當社ノ氏子ニ限リ造營ノ節ハ當社ノ神幸御ニ滯座ノ節ハ當社ノ氏子ニ限リ造營ノ節ハ當社ノ氏子ニ限リ造營ノ節ハ當社ノ氏子ニ限リ造營

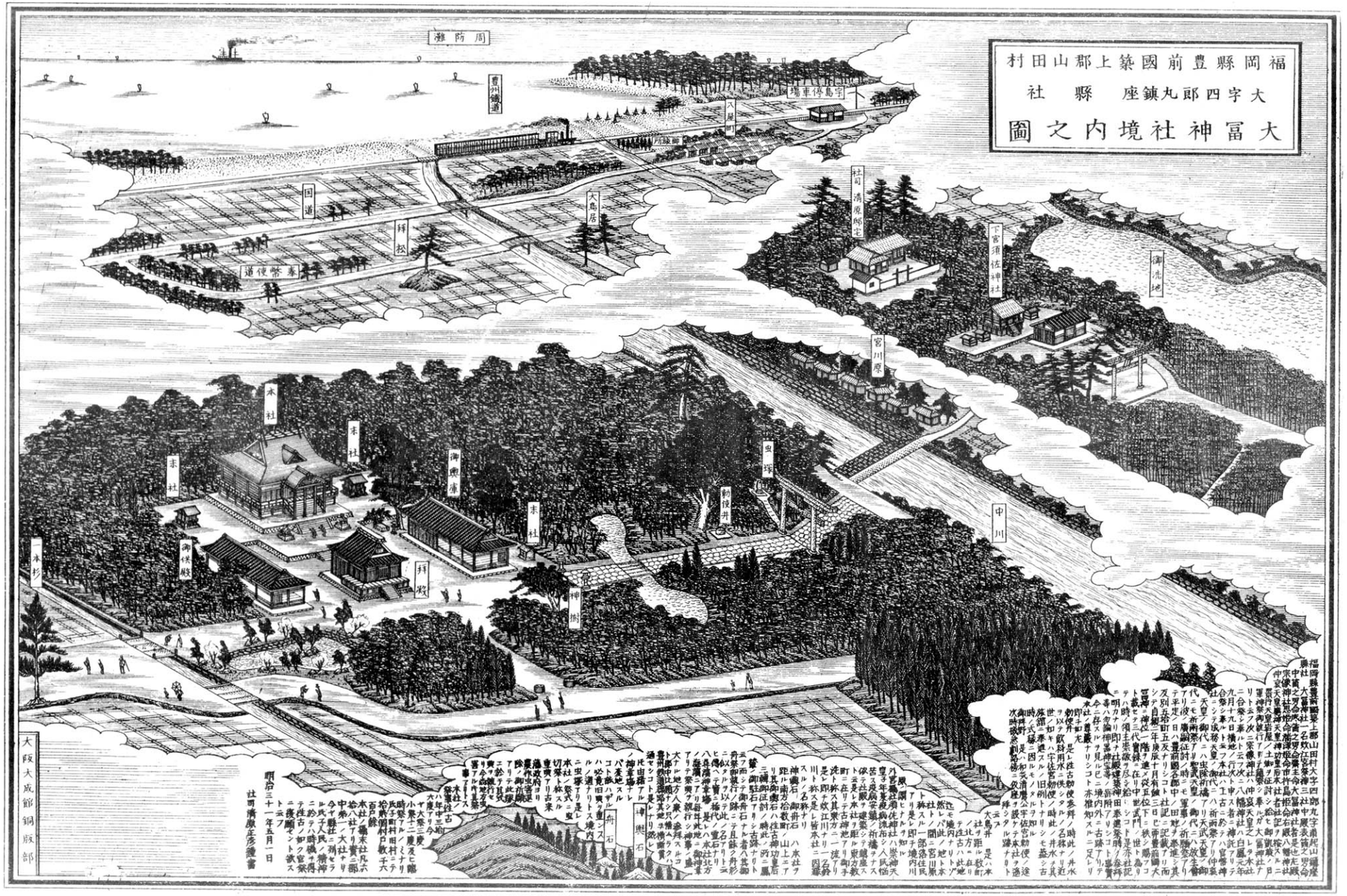

豊前國築上郡八津田村
郷社正八幡神社境内之圖
周防灘
武子
本社
須佐社
拝殿
神輿庫
手洗所
琴平社
社司 宮尾邸宅
社務所
若宮社
氏子
豊州鉄道
大阪大成館銅版部
仲哀天皇
應神天皇
神功皇后
祭神
人皇第五十代 清和天皇ノ
御宇貞観元年宇佐八幡大神
ヲ城州石清水ニ観請シ奉リ
シ途路コヽニ御休泊アラセラ
レ其夜御託宣アリテ終ニ鎮祭
シ再後八田庄ノ産神トシテ仕
ヘ奉リシガ厥後八田手永
(今ノ東西八田宇留津築城、
別府ヲノ師恥迫、小山田、
廣末等ヲイフ)ノ大社ト
ナリ信仰浅カラザリ
キサレバ應永年間周防
山口城主大内義弘氏ハ
劍花菱徽章ヲ奉納セ
ラレ豊前小倉藩主小笠
原氏ハ御紋付幕
提燈等ヲ寄進セラル
明治四年ニ至リテ郷社
ト社格定マリヌ

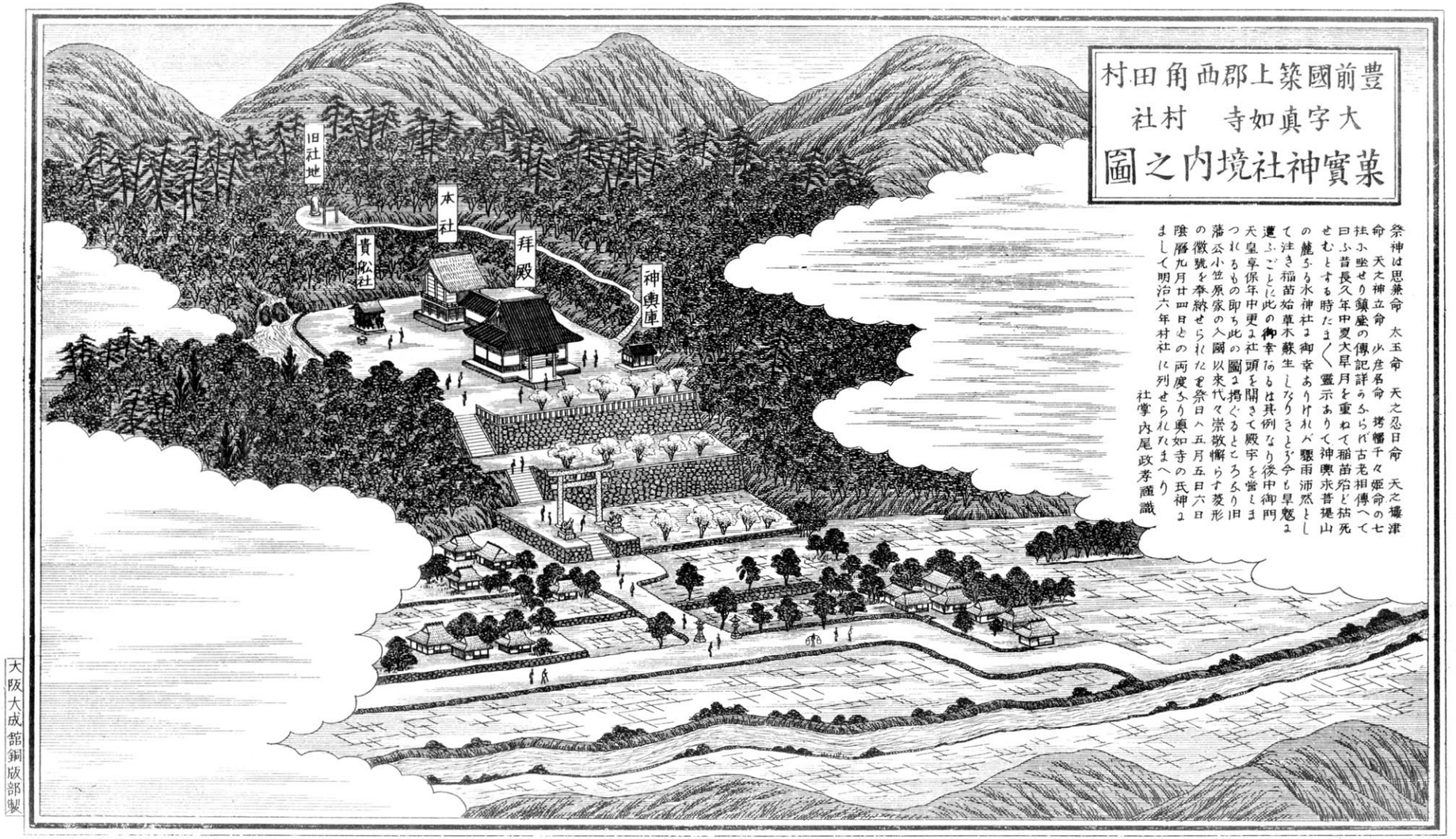

豊前國築上郡葛城村
大字日奈古　鄉社
若八幡神社境内之圖
周防灘
堆田
本社ノ祭神ハ仁徳天皇仲哀天皇應神天皇貞觀元年宇佐八幡宮ヨリ石清水ニ勧請シ奉リシ時供奉ノ官人正八位云々ニシテ初メテ祭神ノ諏訪神社ノ地ニ勧キ奉リテ今地ノ庄ナル日奈古村ノ産神ト崇メツリキトゾ其ノ後文治年中宇都宮當地ヲ領セラルヽニ及ビテ廣幡城主讃岐守春永社地ノ執隘ニシテ奉祭ノ地ニ適セザルヲ以テ建仁年中今地ノ庄ノ夫カヲ役シテ更ニ九尾山ヲ切リ開キ新ニ宮殿ヲ建築シ社領ヲ附シテ遷シ奉ルモノ即チ現今ノ社地ナリ後小笠原家御入国以来モ崇敬昔ニ異ラズ菱徴錦ヲ奉納セラレタリ当時ハ祭田モ多ク寄セラレタリシガ大政維新ノ際スベテ廃セラレタリシモ各領主ノ尊崇ノ社柄ナルヲ以明治六年七月九日鄉社ニ列セラレタリ
祭日ハ
四月ノ十二日三日ト
陰暦九月十九日
二十日ナリ
社司
内尾政孝
謹識
本社
拝殿
手洗所
稲荷社
伊佐神社
諏訪社
大坂大成館銅版部


豊前國築上郡西角田村
大字小原　村社
正八幡大神境内之圖
本社
大神宮
須佐社
大阪大成館銅版部製

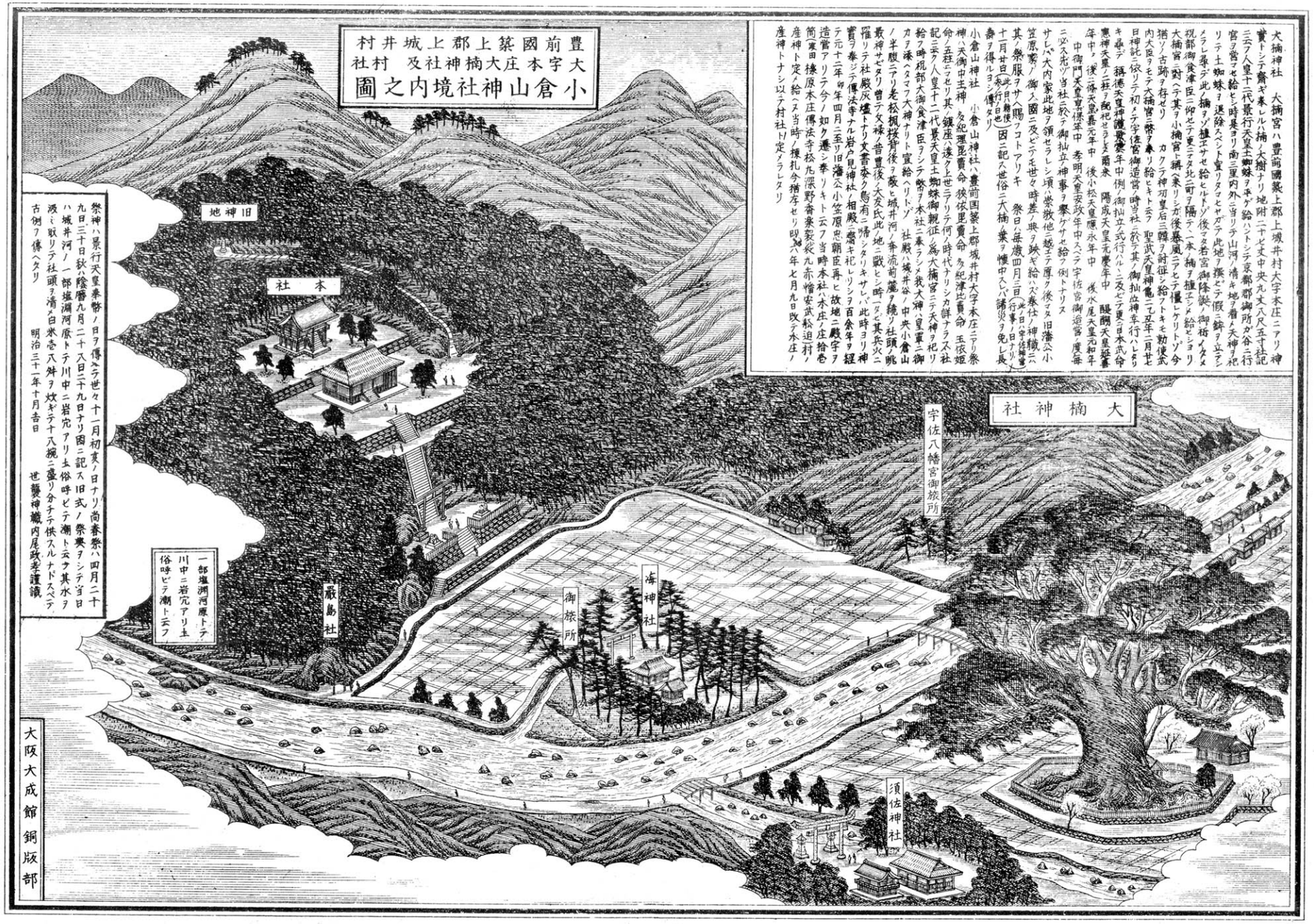


旧記曰貞観元年土豪角田幸人建應神帝廟於角田庄捐八幡宮寛平六年配祀仁徳帝神威赫々靡有豊(記所載神霊不能悉書皆省之)士民崇敬日厚後天文二十年仲蜂谷宗鎮(宗鎮宇都宮氏之支族也築馬場山居焉天正十六年黒田長政以秀吉命撃滅之城址距祠西南八丁)新建祠宇時棟今尚存獻社地三所又多献重器宝物盈廊仲蜂谷氏亡祠亦罹兵燹宝物盡遺其所献地經黒田細川小笠原三氏皆不問命永不徴租云後屢經沿革社地三所今存其一耳小笠原氏又献社禄若干許周三重菱徴章今之廟正保二年所建


福岡縣豐前國築上郡山田村
大字四郎丸鎮座　縣社
大冨神社境内之圖
周防灘
豐州鐵道
宇島停車場
八屋驛
十
鳥居
國道
拜殿
奉幣使道
社司
鴻巨郎宅
下宮須佐神社
御洗地
宮川
本社
本社
本社
本社
御供殿
御供殿
拜殿
神樂
神樂
神樂殿
神樂殿
神樂殿


豊前國築上郡西角田村
大字眞如寺　村社
菓實神社境内之圖
旧社地
本社
拜殿
神輿庫
貴船社
祭神は思兼命　太玉命　天之忍日命　天之櫛津
命　天之神立命　少彦名命　埴幡千々姫命の七
柱ふ坐せり鎭座の傳記詳ならず古老相傳へて
曰ふ昔長久年中夏大旱月を重ねて稻苗殆ど枯死
せむとする時たまく靈示ありて神輿永昔堤山
の麓ゟ水神社ゟ御幸ありければ驟雨沛然として
注き稻苗始草木蘇生しなりきとぞ今も旱魃ゟ
遁ふごとに此の御幸ある其例なり後中御門
天皇享保年中更ゟ社頭を開きて殿宇を營ミ
つれるもの即ち此の圖ゟ掲ぐるところゟり旧
藩公小笠原家の入國以來代々崇敬懈らず葵形
の徽號を奉納せられたる祭日ハ五月五日六日
陰曆九月廿四日との兩度ゟり輿如寺の氏神ゟ
まして明治六年村社に列せられたまへり
社掌内尾政孝誌識

大阪大成館銅版部製



大楠神社　大楠宮ハ豊前國築上郡上城井村大字本庄ニアリ神實トシテ齋ギ奉レル楠ノ大樹ナリ地附二十丈廻中央丸丈八尺五十社記三云フ人皇十二代景行天皇土蜘蛛ヲ平ゲ給ハントシテ京都郡御所ガ谷ニ行宮ヲ営マセ給ヒシ時是ヨリ南三里内外ニ当リテ山河清キ地ヲ撰ム天神ヲ祀リテ土蜘蛛ヲ退除スベシト宣リタマヒガテ此地ヲ撰ビテ假ニ鉾ヲ立テメラレ尊デ此楠ヲソ種立サセ給ヒルトゾ後ノ若宮御降誕ノ御砌ノタメ祝部御食津臣三柳ヲ北ニ町ヲ隔テ一本楠ヲ種子トメ給ヒシヨリ大楠宮ト對ヘテ其ヲ小楠宮ト稱ス兼リシガ後暴風ニアヒテ擾レケリトゾ今猶ソ古跡ヲ存セリ　カクテ神功皇后三韓ヲ討征シ給フトキヲ勅使武内大臣ヲモテ大楠宮ニ幣ヲ奉リ給ヒキトゾ　聖武天皇神龜二乙丑年二月廿日神託ニ依リテ初メテ宇佐宮御造営時当社ニ於テ其ノ御拙位神幸行ハレタリキ尊デ　推徳天皇神護景雲年中例ノ御仙立式行ハレ之及ビテ更ニ日本武命惠神天皇ノ二柱ヲ配祀セラレ奉爾来　陽成天皇元慶年中　後小松天皇應永年中　後水尾天皇元和年中御門天皇享保年中　孝明天皇安政年中ニテ宇佐宮御造営度毎ニ必ズ先ツ当社ニ於テ御拙立神事ヲ擧ケサセ給フ例トナリヌサレバ大内家此地ヲ領セラレシ頃崇敬他ニ越テ厚ク後マヌ旧藩公小笠原家ノ御入國ニ及ビテモ世々時差ノ典ヲ缺ヂ給ハズ奉仕ノ神職ニハ其ノ祭服ヲサ（陽フコトアリキ　祭日毎歳四月三日（此日神幸）（行事ノ日ナリ）十月廿日（祭行日也）因ニ記ス世俗ニ大楠魚ヲ憚ル中ニハ諸災ヲ免レ長壽ヲ得ルヨシ傳ヘタリ

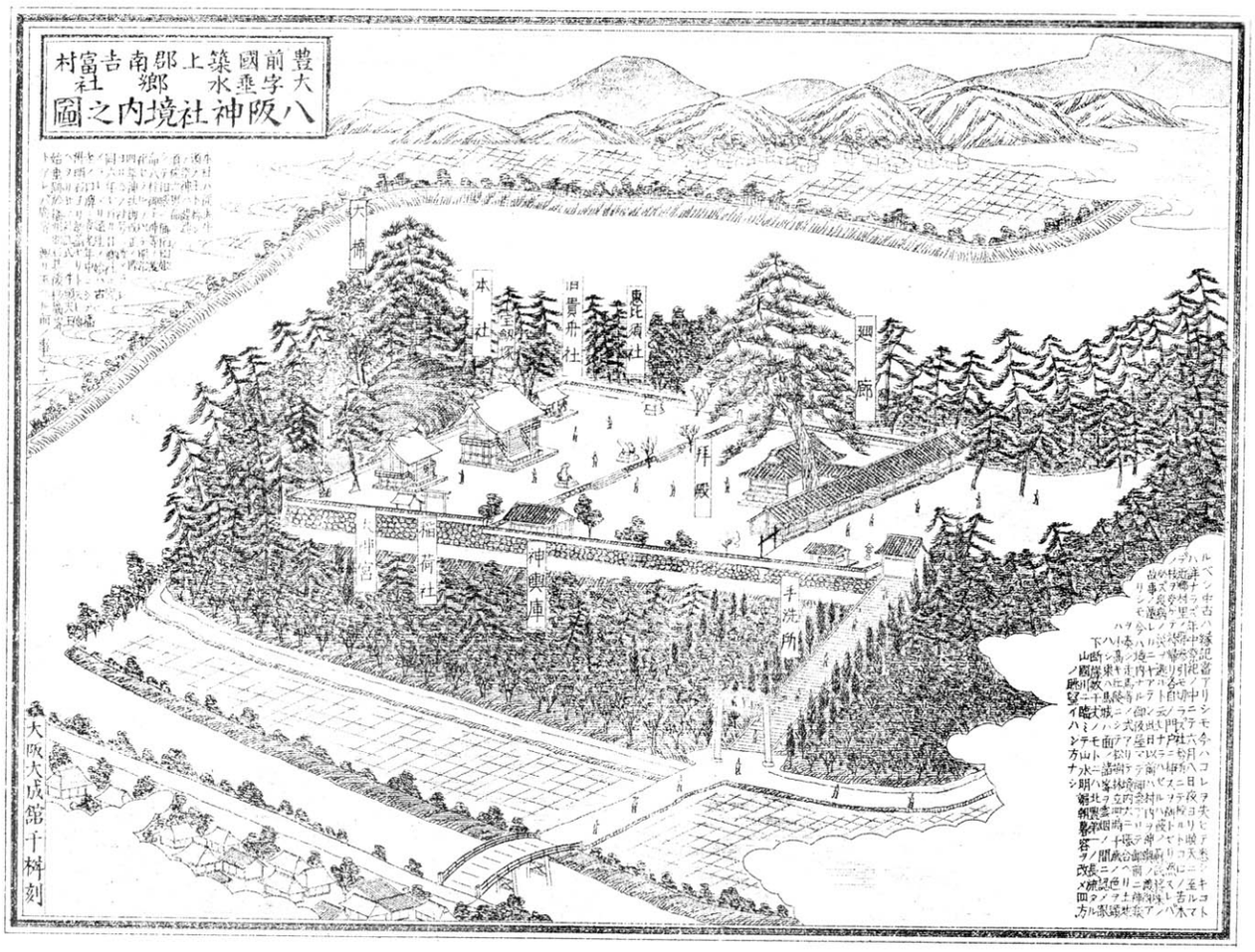
小倉山神社　小倉山神社ハ豊前国築上郡城井村大字本庄ニアリ祭神ハ天御中主神　久比理比賣命　技依比賣命　多紀理比賣命　玉依姫命ノ五柱ニマセリ其ノ縁座ハ遠ク上世ニアリテ何ノ時代トシテカ詳ナラズ社記ニ云フ人皇十二代景天皇土蜘蛛御親征ノ爲大楠宮ニテ天神ヲ祀リ給フ時祝部大御食津臣ヲシテ幣ヲ本社ニ奉ラシメ我大神（皇軍ニ御カヲ添ヘタマフ大神ナリト宣給ヘリトゾ　社殿ハ城井谷ノ中央小倉山最神サビタリ曽テ文祿ノ昔豊後ノ大友氏此地ニ戰ヒシ時ノ兵火ニ罹リテ社殿灰燼トナリ文書悉ク鳥有ニ帰シタリキサレバ此時ヨリ神實ヲ奉ジテ僅ニ幕ヲ祀リシヲ百余年ヲ經テ元十二年卯年四月二至リ旧藩公小笠原忠真朝臣再ビ故地ニ殿宇ヲ造営アリテ今ノ如ク遷シ奉リキト云フ当時本社ハ水庄ノ庄拾壱箇寺ノ楼原本庄傳法寺松丸深野奇楽梨迫九赤幡安武船迫村ノ産神トナシ以テ村社ト定メラレタリ

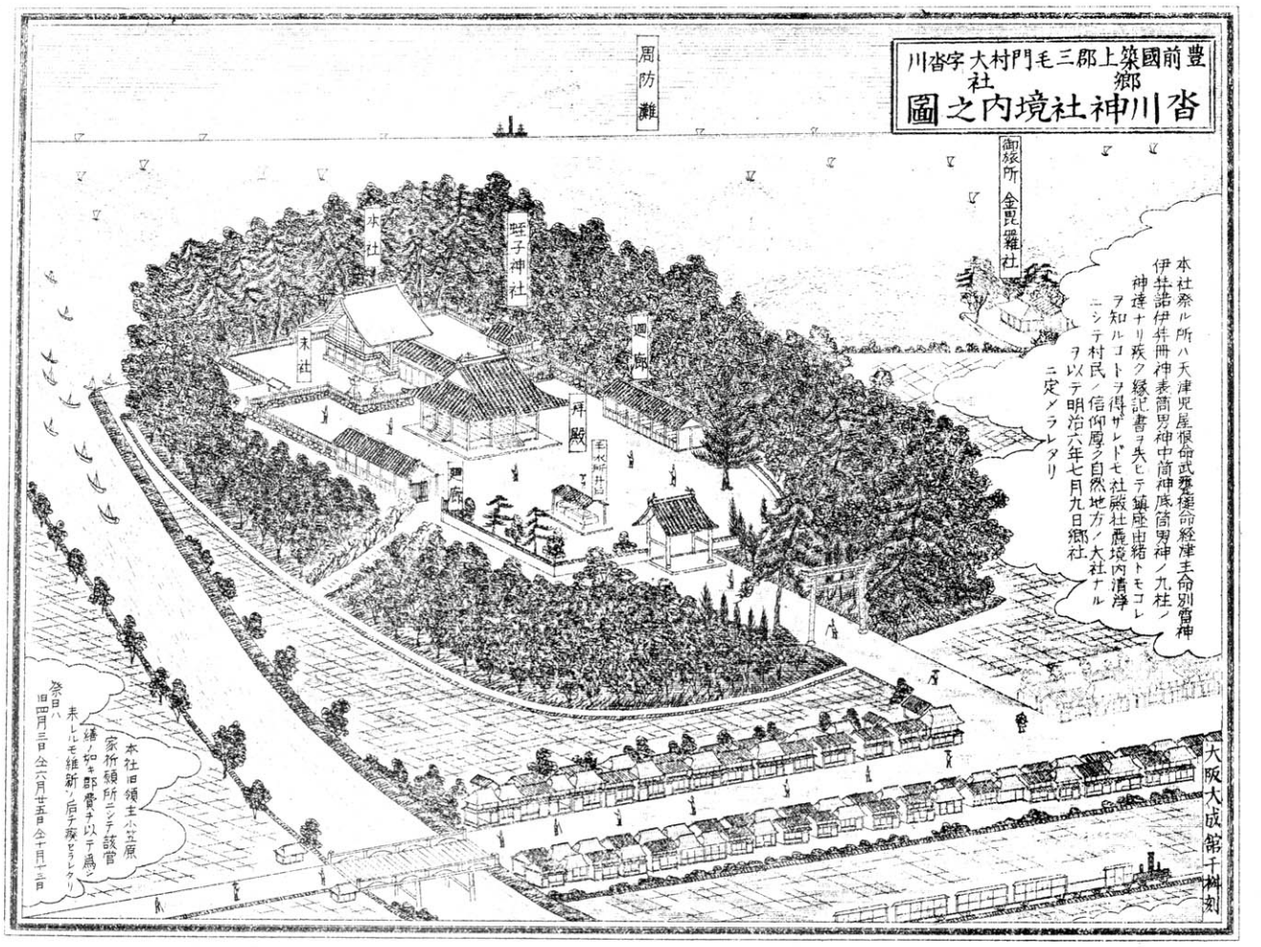
祭神ハ景行天皇奉幣ノ日ヲ傳ヘテ世々十一月初亥ノ日ナリ尚春祭ハ四月二十九日三十日秋ハ陰暦九月二十八日二十九日ナリ因ニ記ス旧式ノ祭禮ヲシテ当日ハ城井河ノ一部塩淵河原トテ川中ニ岩穴アリ土俗呼ビテ潮ト云フ其水ヲ汲ミ取リテ社頭ヲ清メ白米壱八舛ヲ炊ギテ八坏ニ盛リ分チテ供スルナドスベテ古例ヲ傳ヘタリ　明治三十一年十月吉日　世襲神職内尾政孝謹識

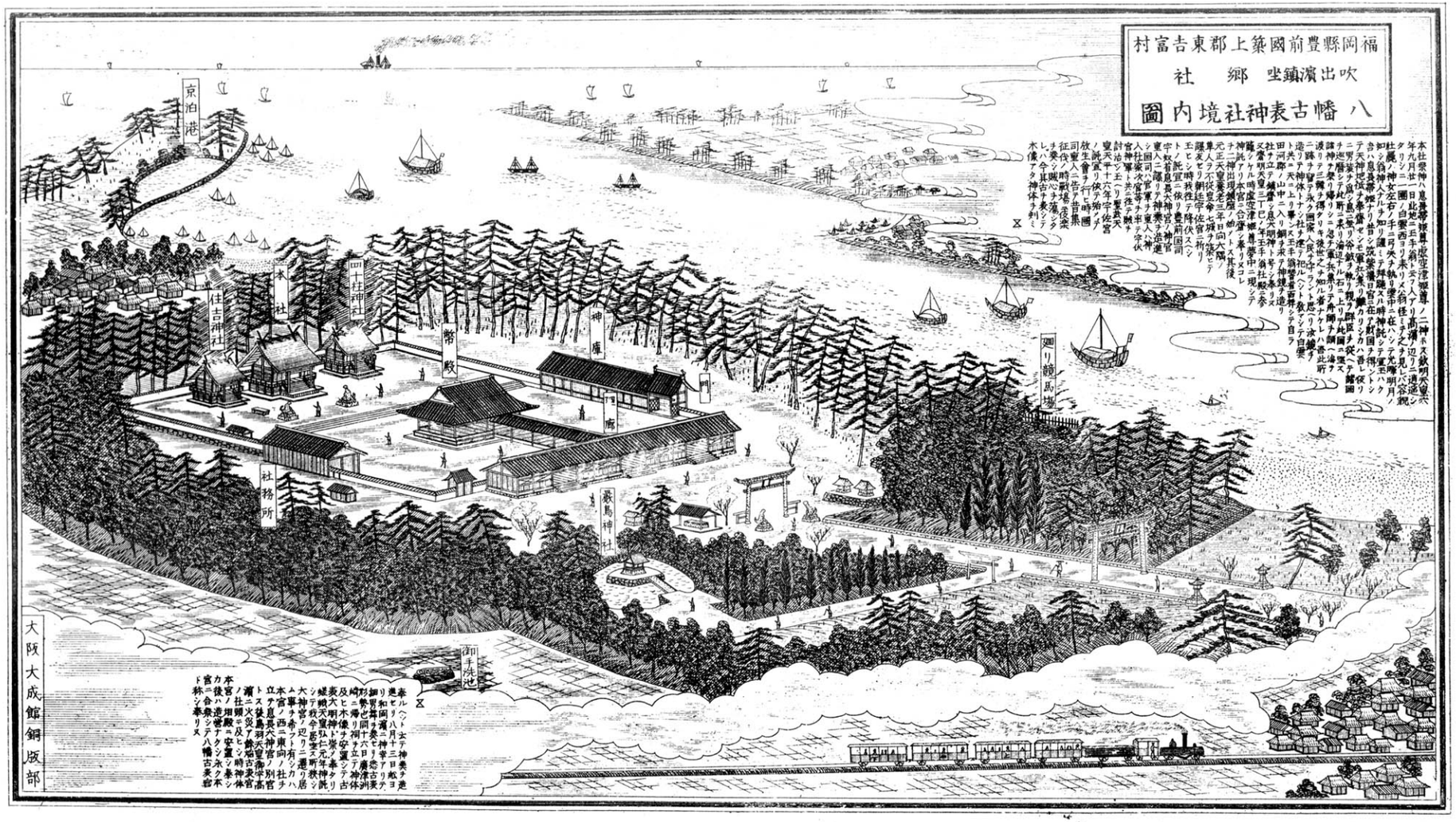

豊前國築上郡岩屋村大字求菩提山
求菩提山
圖之内境社神玉圀
社司工藤榮謹識
豊前國築上郡岩屋村大字求菩提山
神武天皇東征シ給ヒシ時道スガラ此山ニ於テ天神地
祇ヲ祭ラセ給ヒシ所ニシテ此地ヲ伏野又ハ人皇ガ嶽ト号ス
雄朝天皇廿年丙午歳鎮國霊神ヲ奉祭ス元正天皇養老四年庚
申歳伊弉諾尊伊弉冊尊ヲ崇祭シ奉ル聖武天皇
天平中妙典経経筒現存ヲ納ム崇徳天皇御悩ノ
時當山中興鎮嚴上人奉勅誠體ヲ加持シ奉ル後
大旱ノ時祈雨修法叡感ヲ蒙リシト云フ康治元壬戌年奉勅
天下泰平ヲ祈禱ス近衛院御不例在々シ時奉勅御平癒ヲ祈願
ス叡感ニヨリ社堂ヲ修シ寶塔上人鐫刻ノ法華妙典三十三葉
金銅版ヲ納ムル所版ハ現存ヲ建立シ給ヒ神領六十餘町ヲ
添附セラル亀山天皇弘安四年元寇ノ時勅宣ニ依リ敵賊降
伏ヲ祈禱ス事平デ後鎮護國家之道場トナス應永年中勅願所
トシテ守護不入山領三十餘町ヲ附ラル嘉吉文安ノ頃山領
先規之通探題大内氏ヨリ證セラル永享中大内持世
ノ證文百姓名寄アリ不可侵先例ノ證文数多シ大内
大友氏ヨリ社塔建立修覆スルモノ多シ後戦國ノ兵
燹ニ罹リ古格ヲ失フモノ枚挙ニ遑キアラズト
氏大内大友其他諸侯ヨリノ往復翰墨存
ズルモノ亦多シ寛政二年社宇炎燼翌年
大守小笠原氏ヨリ建立アリ當社ハ
諸國ニ所属ノ下山ヲ有スル十數ア
リ大祭日ハ毎年二月廿九
日往古ノ格式ニヨリ
御田植五穀豊熟祭ヲ
執行ス中津停車場ヲ
去ル西南五里
大ヶ岳
薬師所
金光印
八幡社
日吉社
一ノ宝塔
大神社
申ノ社
中興鎮嚴
寺行殿
二王門
豊照社
獅子口
金毘羅社
笠原家墓
愛宕社
高彦社
鈴立
三ノ滝
青木社
百貫岳
古行殿
上宮社
阿弥陀堂
岩嶽川
汐井所
一ノ鳥居
大阪大成館千桝刻

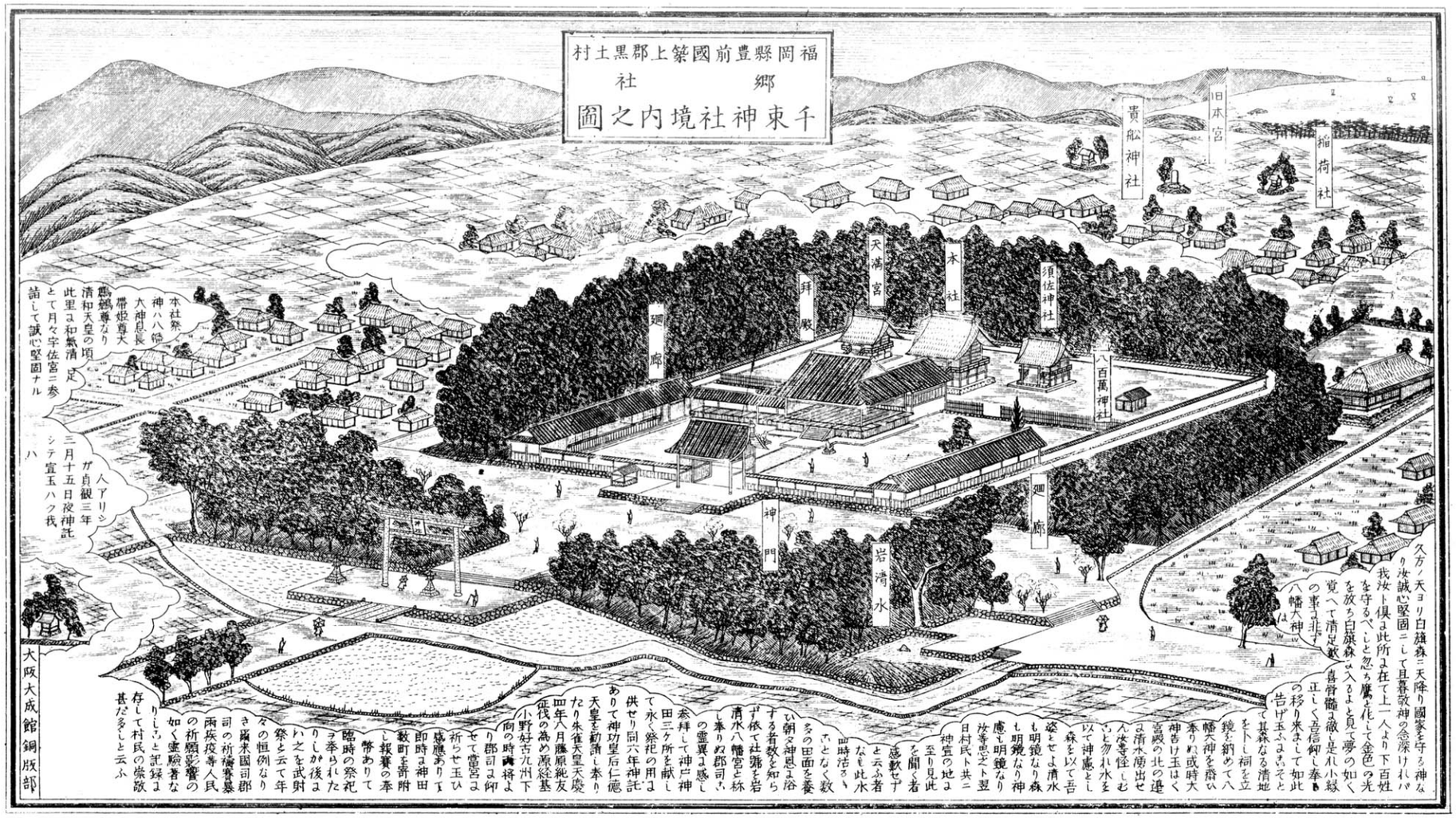

豊前國築上郡横武村
郷社
嘯吹八幡神社境内之圖
本社祭神八八幡大神足仲彦天皇息長帯姫尊ナリ文徳天皇仁壽二壬申年武里二年久シク住メル羽宮山左衛門尉吉武ト云人アリシガ夢ニ衣冠ノ神人来リ告ケテイヒケルハ八幡大神ナリ汝我ガ為メニ奉祠セヨ五穀豊登ノ守護スベシト宣玉ヒテ忽然トシテ西南ノ山岳ニ飛ビ至リマシテ重輪ノ如キ神光ヲ発シ玉ヘリ吉武驚キ且ツ驚キ見レハ忽チ山岳ニ聳ヘル巨樹ノ本ノ扇アリケリ感喜措ク所ヲ知ラズ急ギ祭ミル所ノ山岳ニ聳到見ルニ樹林直暗恐尺ヲ避セサル中ニ一ノ大神樹アリテ其木ノ口嘯ヲ吹キ居玉ヘリシヨリ以テ其処ニ一宇ノ茅社ヲ結ビ奉斎シテ嘯吹八幡宮ト崇称シ奉リキ豊臣マメ為中ニ神託シテ下両内村湯ノ本ヘ一宇ヲ建立スベシ我湧湯ヲ除キ田地ノ患ヲ除クベシト有ケレバ直チニ村中ニ告テ湯本ニ社殿ヲ造立シ奉リタリ其明社ヲ年出ト云フハ一年ニシテ出テ玉ヒシヨリ出ヅレバ和二年マタ神告ノ旨ニ依テ此地ヨリ壱町一宮ル山内ナル字東田中ニ社殿ヲ立テ遷座シ奉リ遊ノ本ノ旧社地ヘハ素盞嗚尊ヲ勧請シテ末社ノ社ト定メタリ此時ヨリ山内下両内ノ両村ヲ氏子トナリテ祭祀ヲ奉行セリ大殿三庚子年源経基ノ野好古ノ両将藤ノ純友退治ノ為メ出國下向ノ時郷司ニ仰セテ當宮ニ祈ラシメ封田二千戸ヲ寄附セラレ文治丁巳年宇都宮信房當國主トシテ下向ノ時神徳ヲ貴ビテ年々正米六石宛ヲ寄セラレ社費ニ充ラレ弘安六癸未年八月朔日豊前國主始メテ大祓會ヲ修シ努原ノ頓宮ニ神幸ニ奉リタリ文禄五丙戌年豊後大友宗鱗ノ家臣田原紹忍當國ナル神社佛閣ヲ破却シ既ニ當郡黒土村石清水八幡宮ヲ焼拂ヒ神宝ヲ當宮ニ及ハントシケル時神人託シテ古来傳寶ノ鬼面ヲ社内ノ神木ニ掛ケテ所念セシニ大友勢途中ヨリ之ヲ見ルニ無数ノ巨鬼雁列ヲ成シテ社頭ヲ守ルヨシニ見ヘテ諸卒恐怖シ俄カニヲ轉シテ退散シ以テ社内ノ安全ヲ得タリ此鬼面今尚存シテ一社ノ宝物トセリ如此ノ奇瑞多キヲ以テ代々ノ領主崇敬シテ一郡ノ大社ト定ノレ祭祀ニハ吏員ヲ派シ勅使ハ郡費トシテ地方人民ノ尊敬マタ甚ダ多シト云フ
大阪大成舘銅版部製


福岡縣豐前國築上郡友枝村
大字東上鎮座
社鄕
八社神社境内之圖
本社
拜殿
廻廊
神門
寶石山
果柯山
伊勢堂
車石
神明宮
藥師堂
本社ハ八社大神宮ト称シ祭神ハ天照大神宮賀茂宮八幡宮祇園社稲荷社住吉宮諏訪宮春日社ニ坐セリ創立ハ最上古ニアリト傳フ旧時藩立ノ世ハ藩主ノ崇敬浅カラズ世々ノ祈禱所トシテ社縁等ヲ寄附セラレ今ヤ鄕社ニ列セラル社地ヲ宝石山ト称シ社前ニ家屋大ノ大奇石是レ實ニ神体石ニ坐セリ祭祀ニハ一種無比ノ典例アリ乃チ大和舞幷舞競走アリ其由来頗ル靈奇ノ所談アリト雖モ典例已ニ廢シタルヲ以テ今之ヲ略ス
大阪大成館銅版部


豊前國築上郡南吉富村
大八阪神社境内之圖
大鳥
本社
恵比須社
旧賀舟社
廻廊
拝殿
稲荷社
神輿庫
手洗所
大阪大成館千枡刻


豊前國築上郡三毛門村大字沓川
沓川神社境内之圖
周防灘
御旅所
金毘羅社
本社
廻廊
拝殿
末社
大阪大成館千枡刻

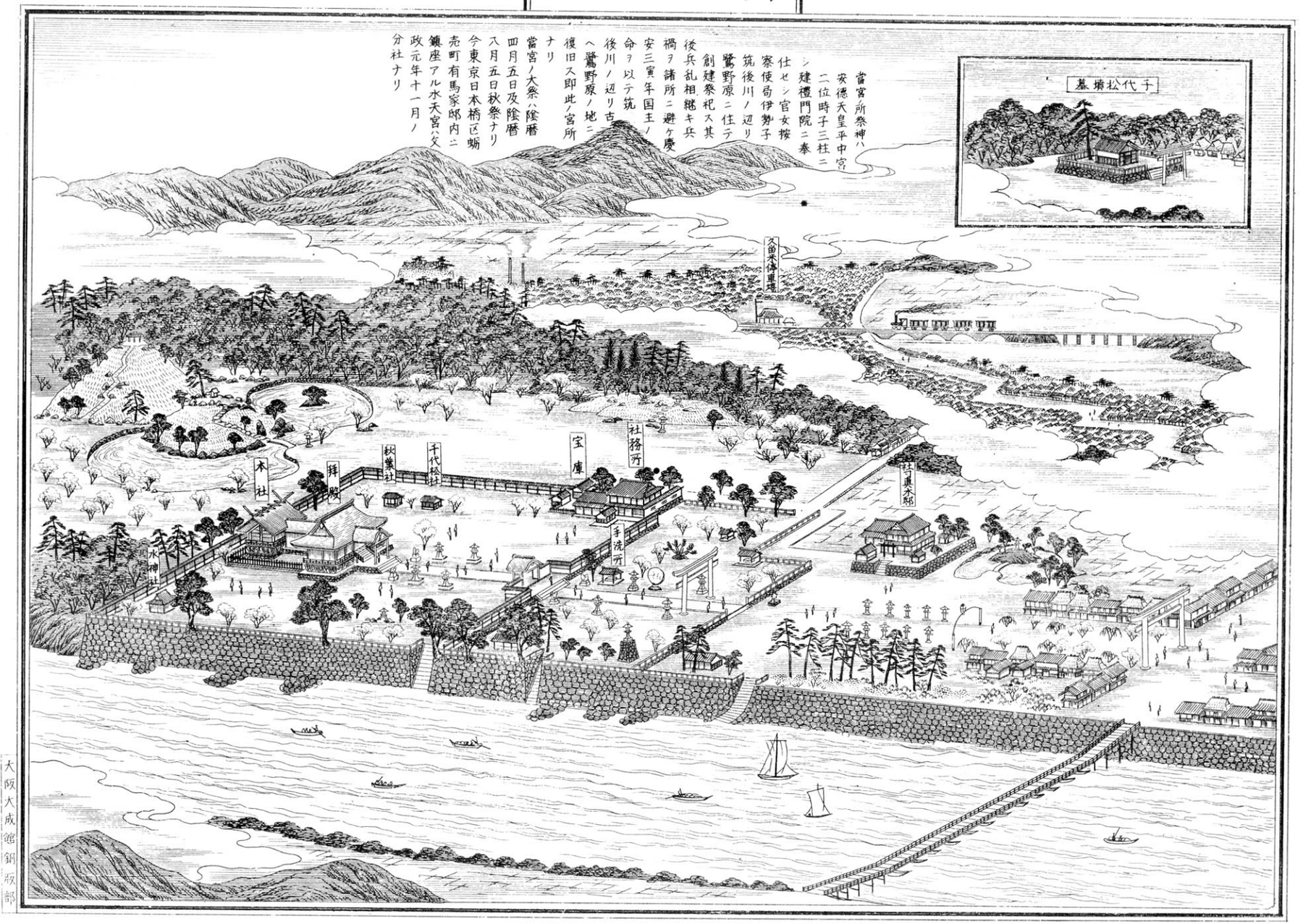

福岡縣豐前國築上郡東吉富村
吹出濱鎮坐鄕社
八幡古表神社境内圖
京泊港
住吉神社
四十社神社
本社
幣殿
神庫
廻廊
社務所
廻り鏡馬場
厳島神社
御手洗池
大阪大成館銅版部


福岡縣豊前國築上郡黒土村
郷社
千束神社境内之圖
貴船神社
旧本宮
稲荷社
天満宮
拝殿
本社
須佐神社
八百萬神社
廻廊
廻廊
神門
岩清水
本社祭神八座
大神息長帯姫尊大鷦鷯尊なり
清和天皇の頃此里に和氣清足と
て月々宇佐宮に参詣して誠心堅固ナル
人アリシガ貞観三年三月十五日夜神託シテ宣玉ハク我
久方ノ天ヨリ白旗森ニ天降リ國家を守ル神なり汝誠心堅固ニして且暮敬神の念深ければ我汝ト倶ニ此所ニ在て上一人より下百姓を守るべしと忽ち鷹と化して金色の光を放ち白旗森に入るよと見て夢の如く覚へて清足歓喜骨髄ニ徹し是れ小縁の事ニ非ず八幡大神ハ正しく吾信仰し奉ル
の移り来まして如此告げ玉ふなりそこて其森なる清地を卜し祠を立鏡を鋳めて八幡大神を斎い奉りし或時大神告け玉はく當殿の北の邊ニ清水湧出セん汝等怪しむと勿れ水を以て神慮とし森を以て吾
姿とせよ清水も明鏡なり森も明鏡なり神慮も明鏡なり汝等思ヒ図ル豊日村民ト共ニ神宣の地ニ至り見此
感歎セずと云ふ者なも此水幽時活ろい
多の田面を養い朝々神恩ニ浴する者数を知らず依て社殿を岩清水八幡宮と称し奉りぬ郡司ハの霊異ニ感し
参拝して神戸神田三ケ所を献して永く祭祀の用ニ供せり同六年神託ありて神功皇后仁徳天皇を勧請し奉り
たり朱雀天皇天慶四年八月藤原純友征伐の為め源経基小野好古九州下向の時両将より郡司ニ仰せて當宮ニ祈らせ玉ひ
感應ありて即時ニ神田数町を寄附し報賽の幣ありて臨時の祭祀ニ奉られたりしが後ハ之を武射祭と云て年々の恒例なり
き嵯峨天國司郡司の祈禱奉慕兩疾疫等人民の祈願影響の如く霊験著なりしニより記録ニ存して村民の崇敬甚だ多しと云ふ

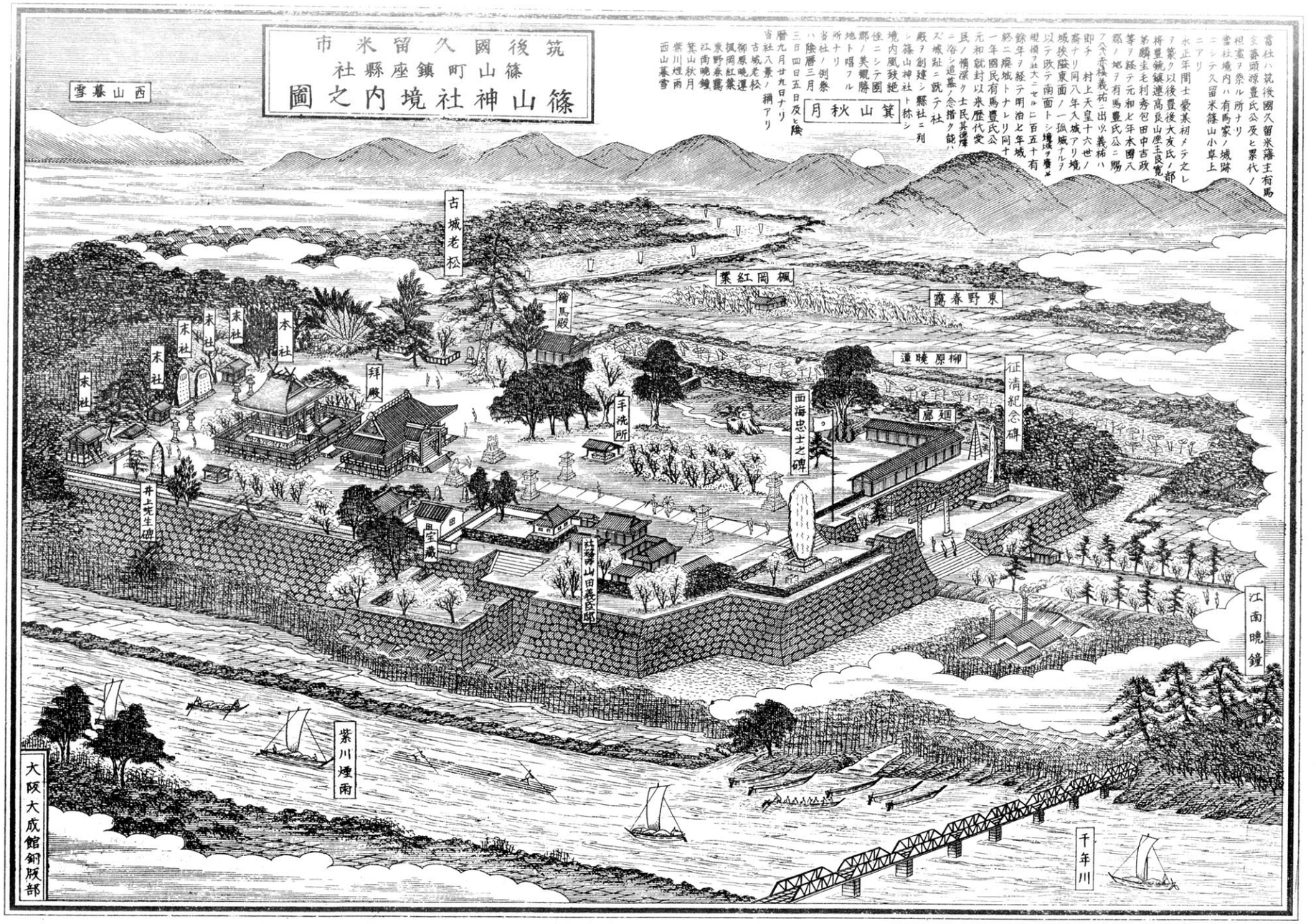
大阪大成館銅版部

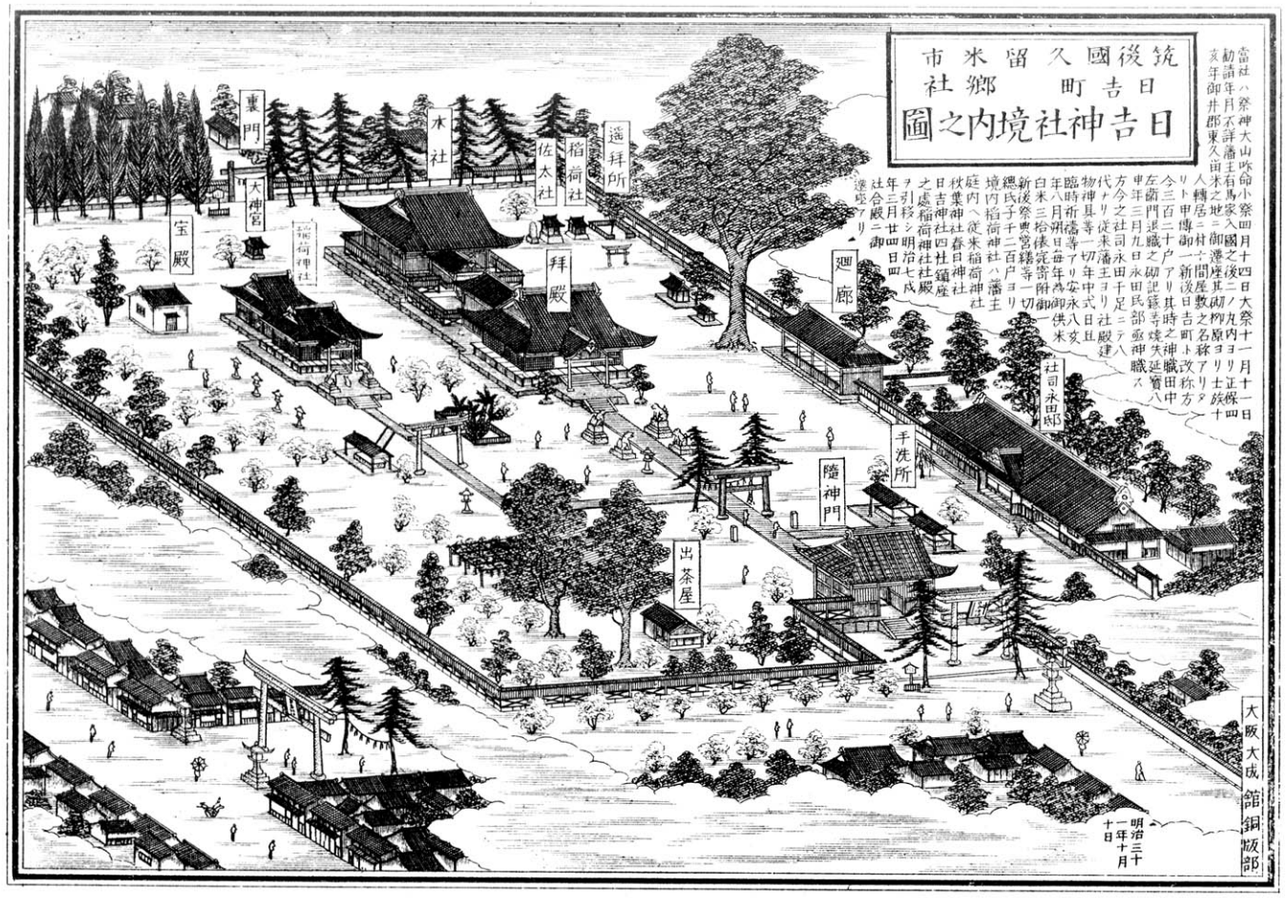
筑後國

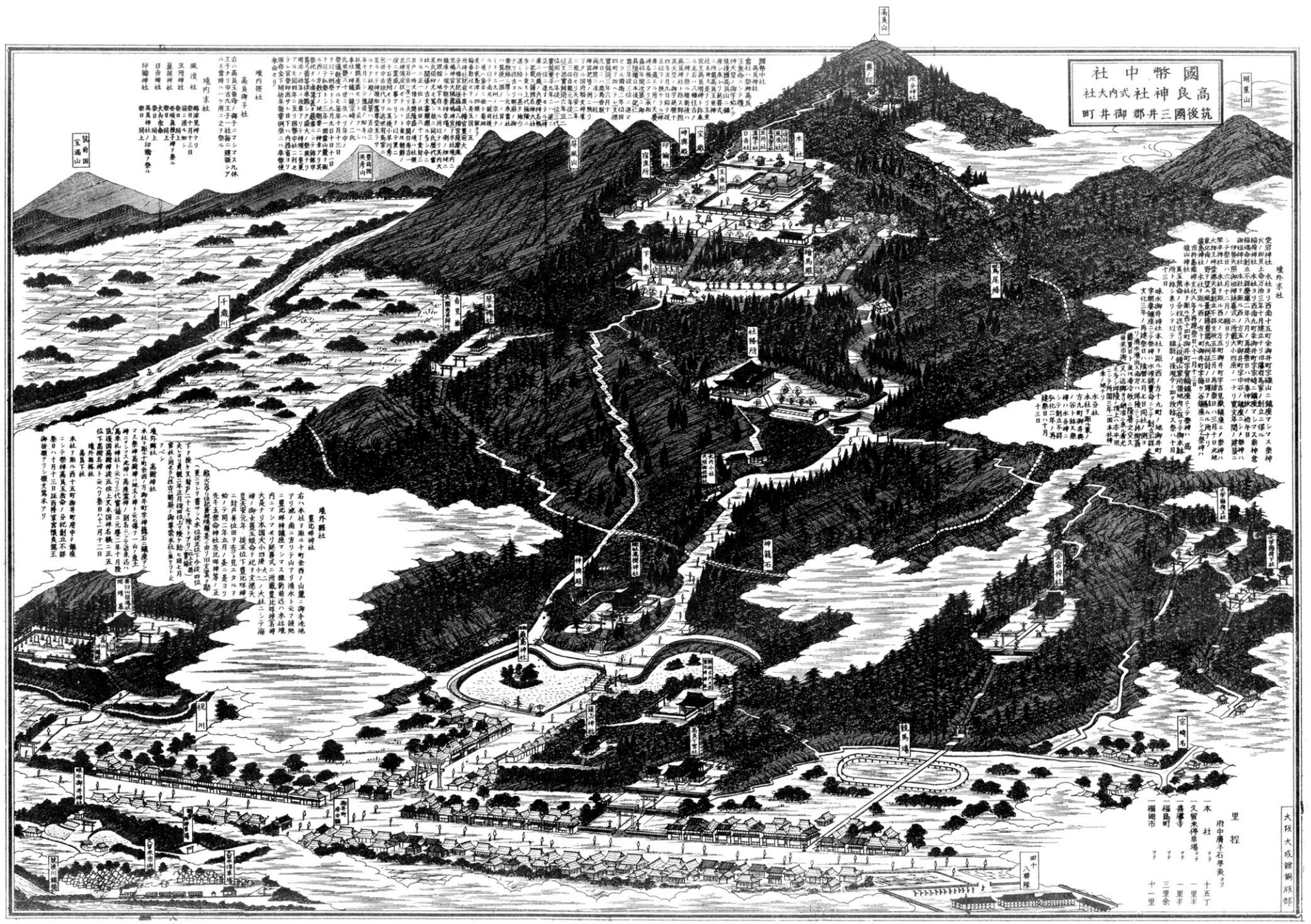
筑後國久留米市 縣社 水天宮境内之圖



大阪大成館銅版部

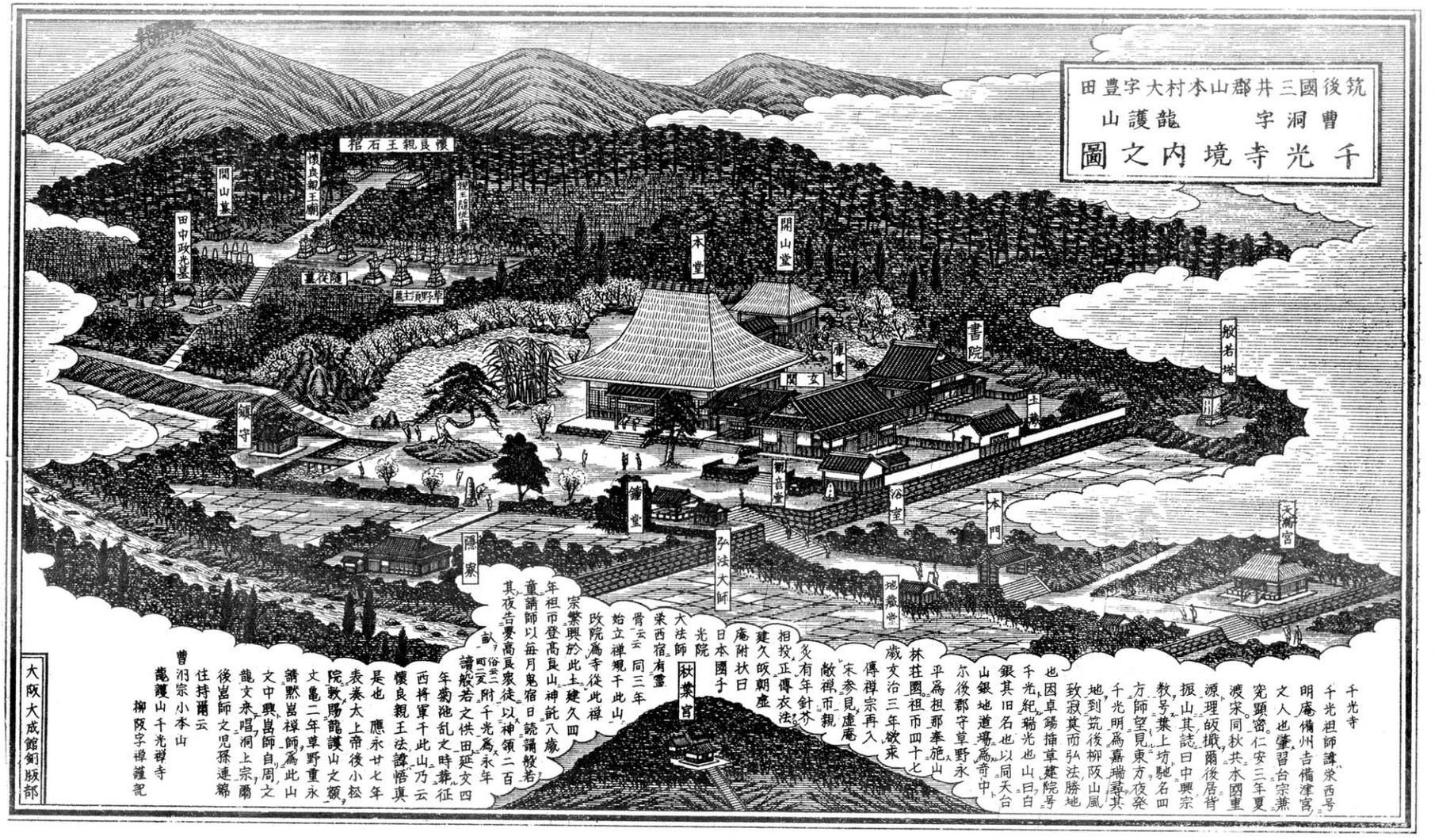

筑後國久留米市
篠山町鎮座縣社
篠山神社境内之圖
西山暮雪
古城老松
楓岡紅葉
東野春靄
柳原曉蓮
征清紀念碑
西海忠士之碑
拜殿
本社
末社
末社
末社
末社
末社
神馬殿
手洗所
社務所
宝蔵
井上筑生碑
紫川煙雨
江南曉鐘
千年川
大阪大成館銅版部


筑後國久留米市
日吉町　鄕社
日吉神社境内之圖
東門
大神宮
宝殿
稲荷神社
本社
佐太社
稲荷社
遥拝所
拝殿
廻廊
社司永田郎
手洗所
随神門
出茶屋
大阪大成舘銅版部
明治三十一年十月十日


國幣中社
高良神社 式内大社
筑後國三井郡御井町
高良山
御井郡
筑前國
宝満山
十歳川
社務所
神輿殿
神饌所
神饌石
神輿舎
神馬舎
下乗
宝物殿
神庫
大内小神社
若宮神社
祝川
水御神井
里程
府中廣手石學奥ヨリ
本社 十五丁
久留米停車場 一里半
福島町 三里
福岡市 十一里
大阪大成館銅版部


筑後國三井郡國分村大字野中
黄檗宗 大喜山
正源寺境内之圖
十年川
金毘羅堂
庫裡
本堂
井戸
土蔵
裏門
鐘楼
手洗所
山門
八十八ケ所
八十八ケ所
大師堂
當山ハ旧藩主有馬
家五代城主慈源院殿
元禄四年ノ創立ナリ開
山天祐師ヱ御歸依浅カラ
ズ國家安全ノ爲メ祈願所
ノ一大古刹ニシテ木尊ハ
釈迦牟尼如来ノ霊場大破
ニ及ビ現住渡辺富臣大願
ヲ起シ護法ノ檀信ト共ニ
本堂并ニ寺門全ク再築
シ實功ヲ疏シ霊驗日ニ
新ヲ以テ檀信ヲ増加ス
ルニ至レリ謹テ 皇
祚無窮國家安穏尚
今上皇帝陛下聖壽
萬歳 諸賢萬歳ヲ
祝禱シテ盡忠報国
ヲ助長スルノ道場
ナリ

大阪大成館蔵版



千光寺

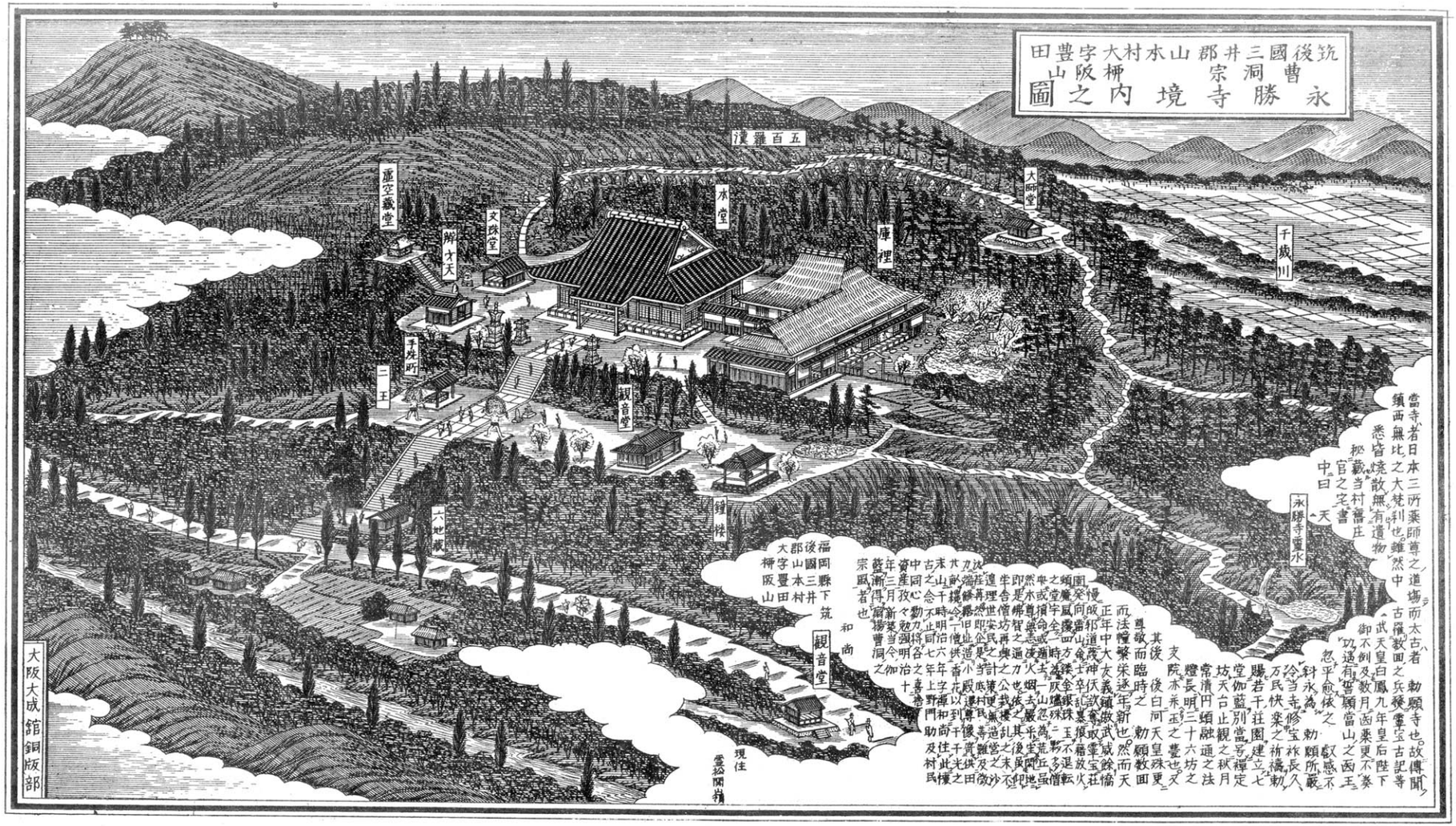
千光祖師諱栄西号明庵備州吉備津宮之人也肇習台宗兼究顕密仁安三年夏渡宋同秋共木國重源理皈撫爾後居肯振山其誌曰中興宗教号葉上坊馳名四方師望見東方夜発千光明爲嘉瑞尋其地到筑後柳阪山風致寂莫而弘法勝地也因卓錫插草建院号千光紀瑞光也山曰白銀其旧名也以同天台山銀地道場爲奇中尓後郡守草野永平爲祖那奉施山林荘園祖師四十七歳文治三年欽来傳禅宗再入宋参見虚庵敞禅師親炙有年針芥相投正傳衣法建久改期虚庵附扶日本國子光院秋葉宮大法師栄西宿有靈骨云同三年始立禅規千此山改院爲寺從此禅宗繁興於此土建久四年祖師登高良山神託八歳童請師以毎月鬼宿日読誦般若其夜苦雹高良衆徒以神領二百町(俗云二附千光爲永年試)寄般若之供田延文四年菊池乱之時葬征西将軍千此山乃云懐良親王法諱悟真是也　應永廿七年表奏太上帝後小松院敕賜龍護山之額文亀二年草野重永請黙岩禅師爲此山之中興岩師自周之龍文承唱洞上宗爾後岩師之児孫連綿住持矣云

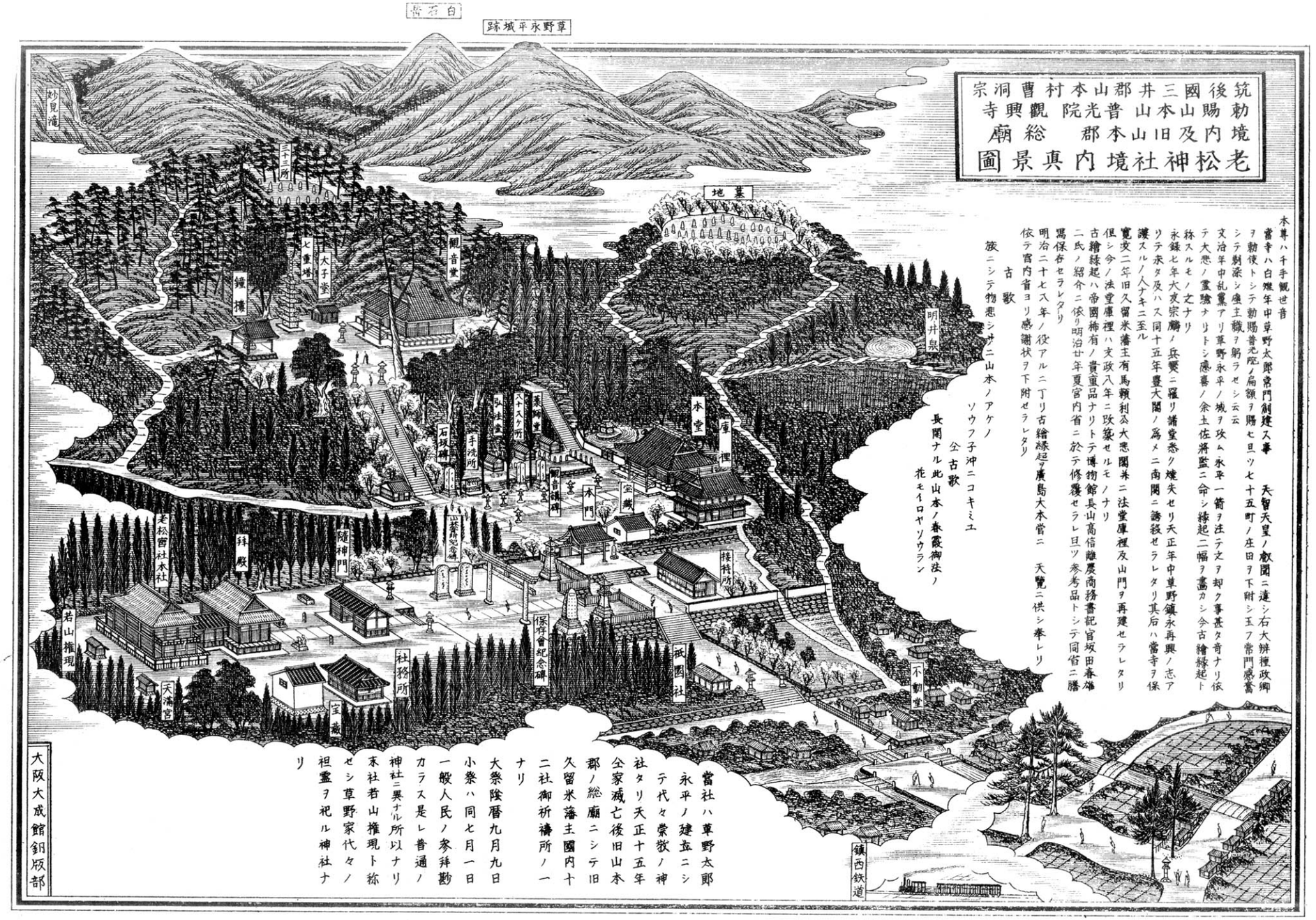
曹洞宗小本山

龍護山千光禅寺

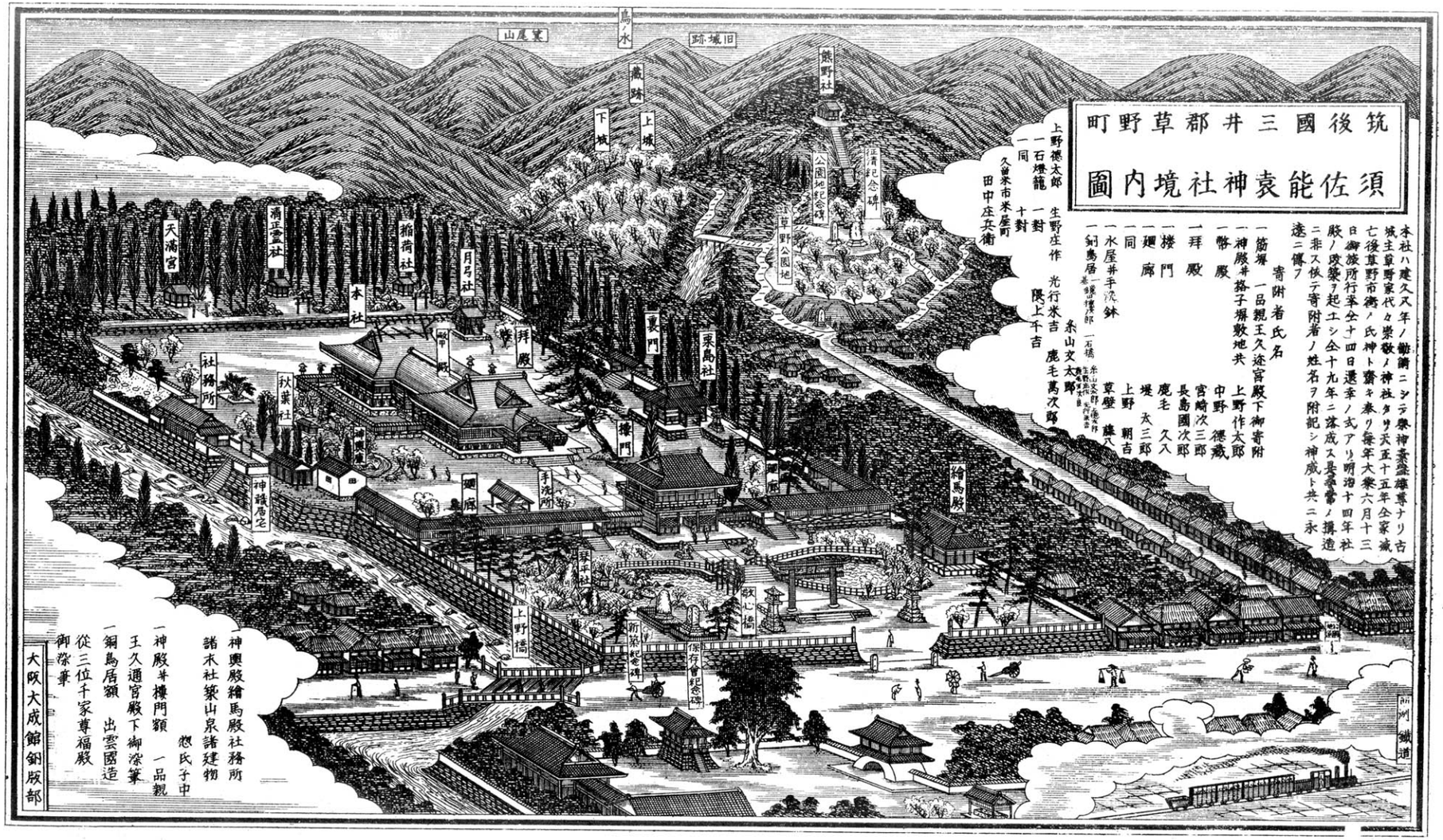
柳阪字禅謹記

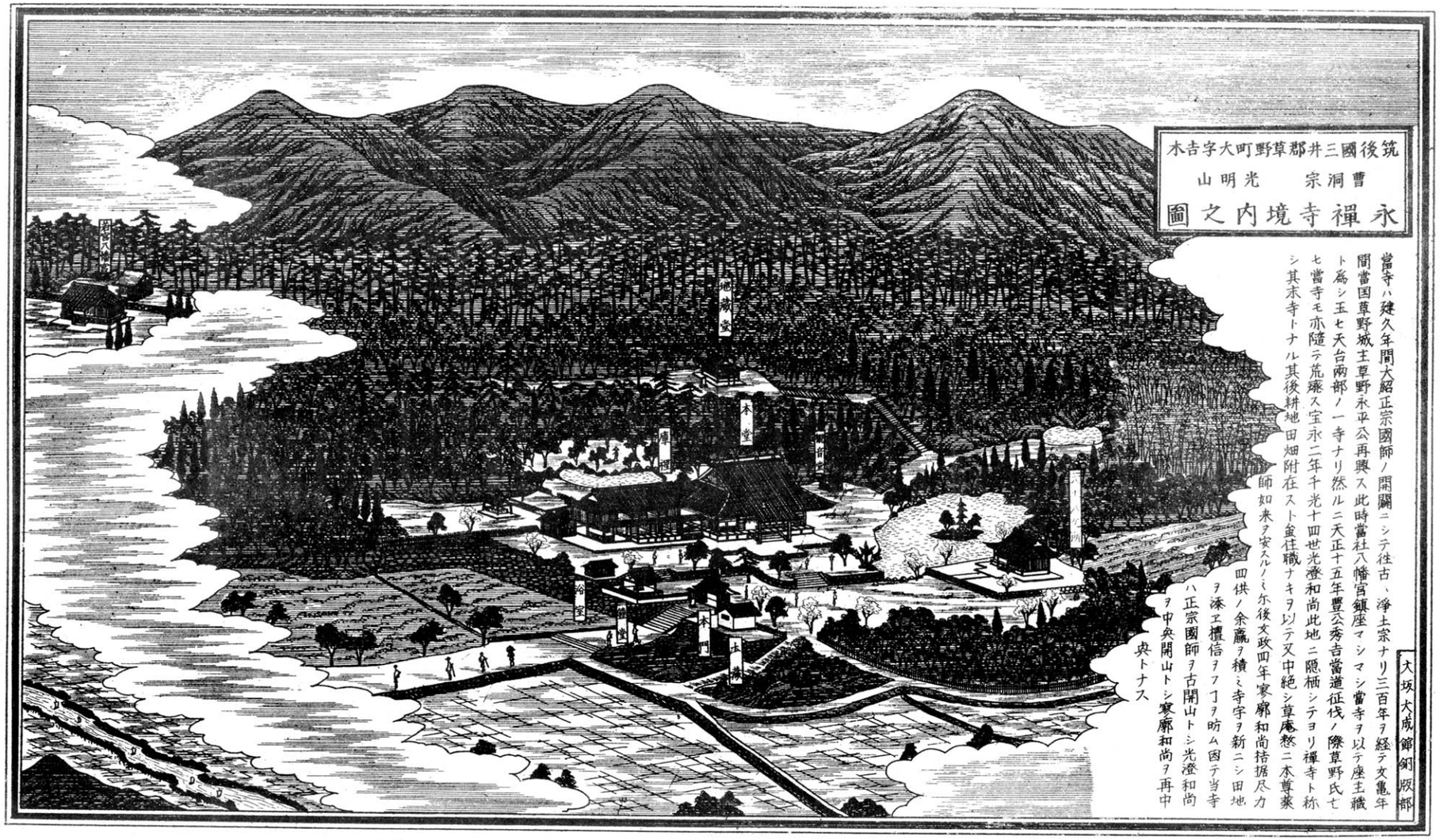
大阪大成館剞版部


永勝寺境内之圖
筑後國三井郡大村大字豊田
曹洞宗山水山
五百羅漢
大師堂
本堂
庫裡
千歳川
虚空藏堂
弁才天
文殊堂
子安地蔵
二王
観音堂
鐘楼
六地蔵
永勝寺霊水
観音堂
和尚
福岡縣下筑後國三井郡大村大字豊田山水山
現住
大阪大成館銅版部

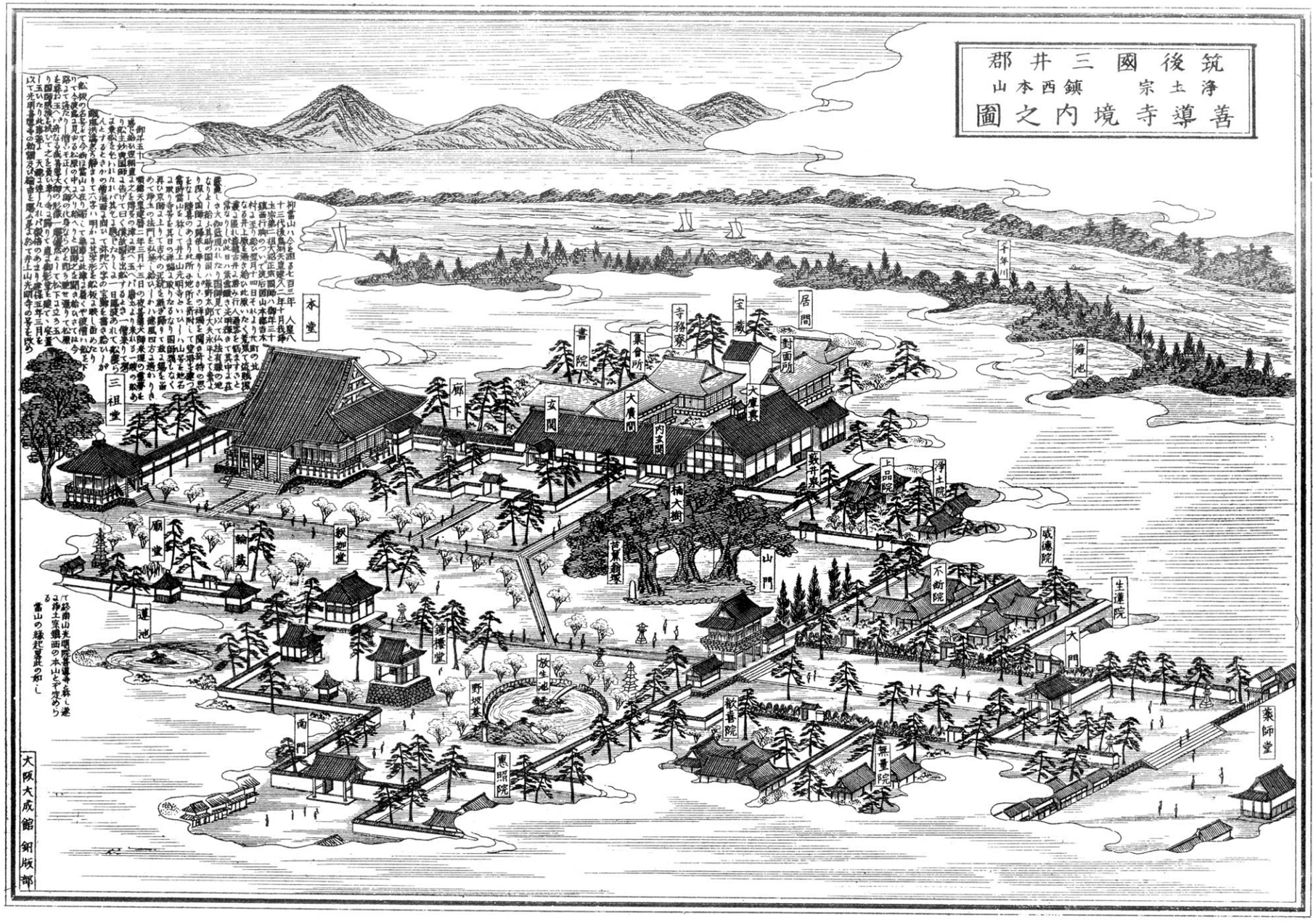

筑後國三井郡山本村曹洞宗
勅賜山本山普光院觀興寺
境内及旧山本郡　総廟
老松神社境内真景圖
本尊八千手観世音
當寺ハ白雉年中草野太郎常門創建スル事　天智天皇ノ叡聞ニ達シ右大辨惟政卿ヲ勅使トシテ勅賜普光院ノ扁額ヲ賜セ旦ツ七十五町ノ庄田ヲ下附シ玉フ常門感奮シテ剃染シ座主職ヲ躬ラセシ云云
又治年中弘鑒アリ草野永平ノ城ヲ攻ム永平一箭ヲ注テ之ヲ却ク事甚タ奇ナリ依テ大悲ノ霊驗ナリトシ感慕ノ余土佐將監ニ命シ縁起二幅ヲ畫カシ今古繪縁起ト称スルモノ之ナリ
永録七年大友宗麟ノ兵燹ニ罹リ諸堂悉ク煨失セリ天正年中草野鎮永再興ノ志アリテ永タ及ハス同十五年豊大閤ノ爲メ南関ニ誘殺セラレタリ其后ハ當寺ヲ保護スルノ人ナキニ至ル
寛文二年旧久留米藩主有馬頼利公大悲閣并ニ法堂庫裡及山門ヲ再建セラレタリ
倶シ今ノ法堂庫裡ハ文政八年ニ改築セルモノナリ
古繪縁起ハ帝國稀有ノ貴重品ナリトテ博物館長山高信離慶商務書記官坂田春雄二氏ノ紹介ニ依リ明治廿年夏宮内省ニ於テ修覆セラレ旦ツ參考品トシテ同省ニ謄寫保存セラレタリ
明治二十七八年ノ役アルニ丁リ古繪縁起ヲ廣島大本営ニ　天覧ニ供シ奉レリ
依テ宮内省ヨリ感謝状ヲ下附セラレタリ
古歌
筑ニシテ物悲シサニ山本ノアケノ
ソウフ子沖ニコキミユ
公古歌
長閑ナル此山本ノ春霞御法ノ
花モイロヤソウラン
當社ハ草野太郎永平ノ建立ニシテ代々崇敬ノ神社タリ天正十五年公家滅亡後旧山本郡ノ総廟ニシテ旧久留米藩主國内十二社御祈禱所ノ一ナリ
大祭陰暦九月九日
小祭ハ同七月一日
一般人民ノ參拝勸カラス是レ普通ノ神社ニ異ナル所以ナリ
本社若山権現ト称セシ草野家代々ノ祖霊ヲ祀ル神社ナリ
大阪大成館銅版部
白石畷
草野永平城跡
妙見滝
二十二所
七重塔
大子堂
鐘楼
観音堂
墓地
明井泉
本堂
庫裡
石塔碑
手洗所
八十八ヶ所
観音堂
宝蔵
本門
祓神門
拝殿
老松宮社本社
若山権現
天満宮
社務所
宝蔵
保存會紀念碑
祇園社
不動堂
鎮西鉄道

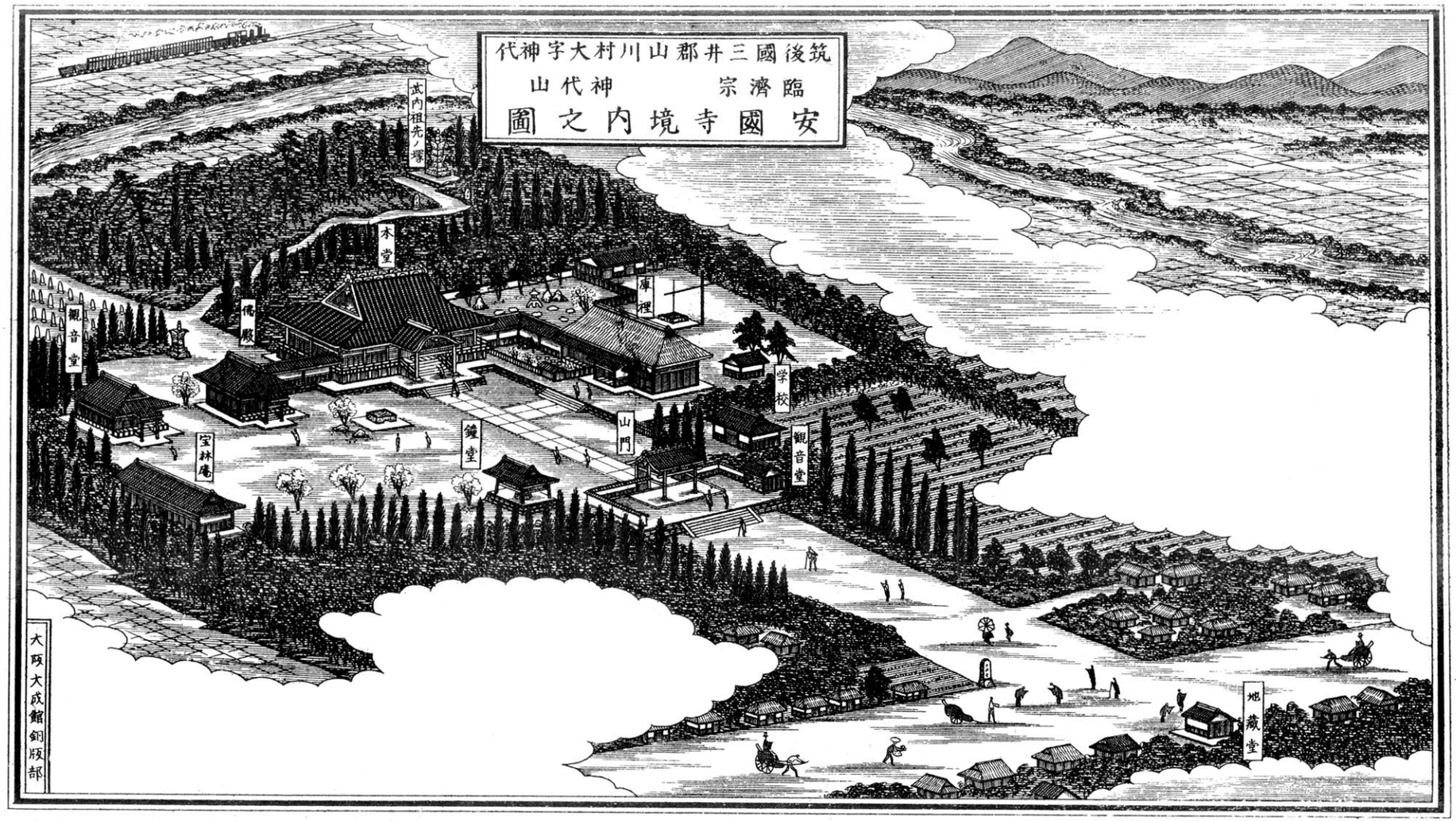

筑後國三井郡草野村
大字吉木　鄕社
若宮八幡神社境内之圖
當社ハ宮尾山ニ鎭ヶ座旧山本郡之宗社若宮八幡宮相殿住吉宮高良玉垂宮也文治二年同所武井城主從草野永經至于天正年間十八代崇敬之社而其後筑後領主田中家有馬家之國内八郡八社之一而則郡社從明治六年鄕社格也
草野社者同所武井城主從草野永經至于草野永廣十八代之靈社也
合原家者肥後菊池家之系也
大阪大成館銅版部
山形卅
武井城古蹟
宮尾
谷ヶ尻
本社
拜殿
草野社
加茂社
春日社
十倉山
稲荷社
神輿庫
能舞臺
樓門
攝待所
神官合原家
競馬場
御旅所

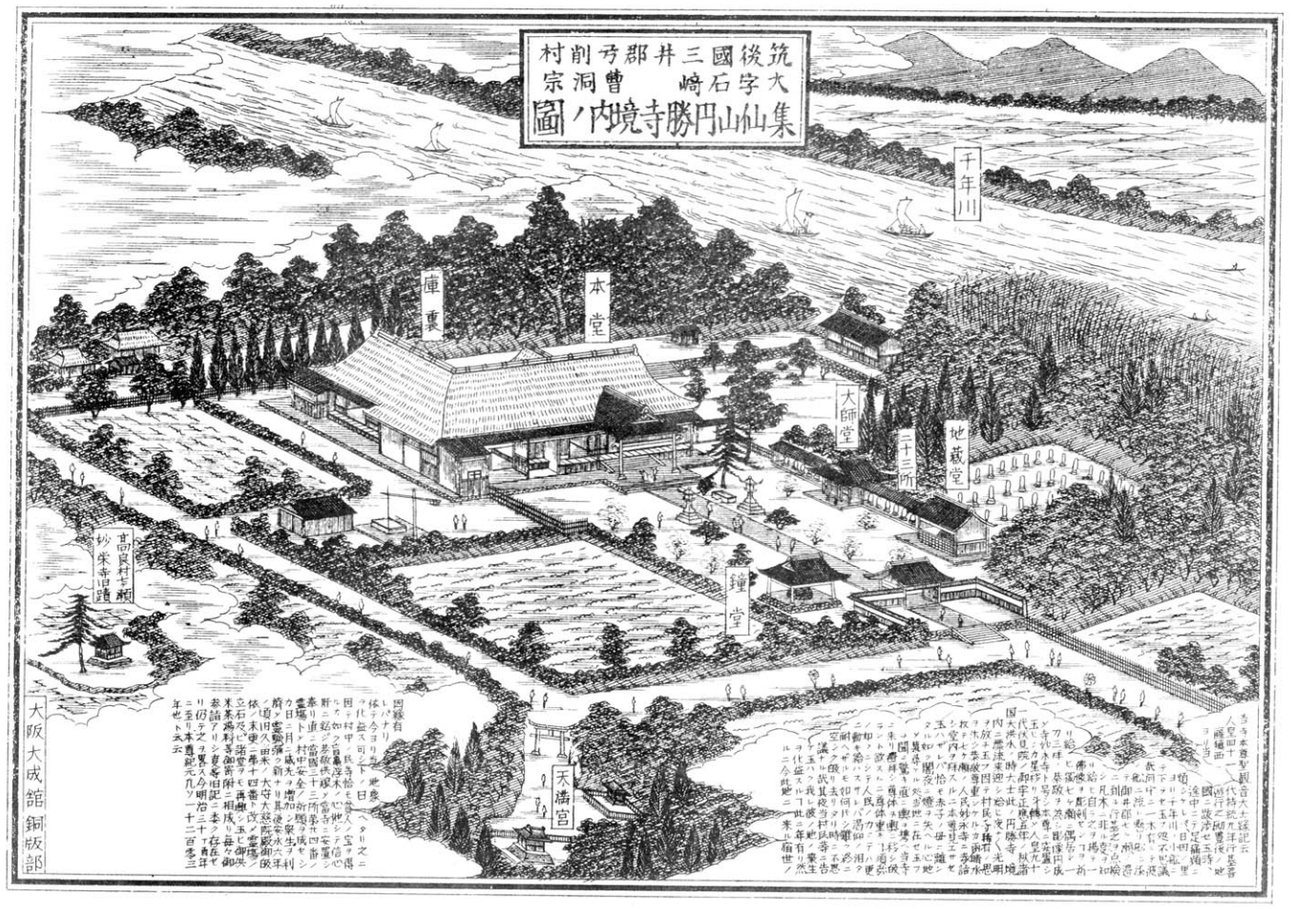

筑後國三井郡草野町
須佐能袁神社境内圖
本社ハ建久八年ノ勧請ニシテ衆神豪盛尊崇ナリ古城主草野家代々崇敬ノ神社タリ天正十五年仝家滅亡後草野市衛ノ氏神ト齋キ奉リ慶年大祭六月十三日御旅所行幸仝十四日還幸ノ式アリ明治十四年社殿ノ改築ヲ起工シ仝十九年ニ落成ス是等書ノ攝造ニ非ス依テ寄附者ノ姓名ヲ附記シ神威ト共ニ永遠ニ傳フ
寄附者氏名
一箇所 一品親王久遠宮殿下御寄附
一神殿幷格子塀敷地共 上野作太郎
一幣殿 中野德藏
宮崎次三郎
一拝殿 長島國次郎
一楼門 鹿毛 久入
一廻廊 堤 太三郎
一同 上野 朝吉
一水屋幷手洗鉢 草壁 藤八
一銅鳥居 一基 糸山文太郎 一石橋 糸山文太郎 鹿毛馬次郎
上野德太郎 生野庄作 光行米吉 鹿毛馬次郎
一石燈籠 一對 隈上千吉
一同 十對
久留米市米屋町 田中庄兵衛
一神輿殿繪馬殿社務所諸木社築山泉諸建物 惣氏子中
一神殿幷欄門額 一品親王久遠宮殿下御染筆
一銅鳥居額 出雲國造 從三位千家尊福殿 御染筆
大阪大成館銅版部
旧城跡
鳥ノ水
巢屋山
歳跡
上城
下城
熊野社
公園地紀念碑
正貞紀念碑
草野公園地
天満宮
清正霊社
稲荷社
月弓社
本社
拝殿
裏門
栗島社
社務所
秋葉社
楼門
廻廊
神饌所
神饌庫
神饌庫
神饌所
神饌庫
神饌庫
神饌庫



當寺ハ建久年間大紹正宗國師ノ開闢ニシテ往古、淨土宗ナリ二百年ヲ經テ文龜年間當国草野城主草野永平公再興ス此時當社八幡宮鎮座マシマシ當寺ヲ以テ座主職ト爲シ玉ヒ天台兩部ノ一寺ナリ然ルニ天正十五年豊公秀吉當道征伐ノ際草野氏モ當寺モ亦隨テ荒廃ス宝永二年千光十四世光澄和尚此地ニ隠栖シテヨリ禪寺ト称シ其末寺トナル其後耕地田畑附在スト雖住職ナキヲ以テ又中絶シ草庵然ニ本尊藥師如来ヲ安スルノミ尓後文政四年寂廓和尚拮据尽力四供ノ余贏ヲ積ミ寺宇ヲ新ニシ田地ヲ添工禮信ヲアツムヲ昕ム因テ当寺ハ正宗國師ヲ古開山トシ光澄和尚ヲ中興開山トシ寂廓和尚ヲ再中興トナス

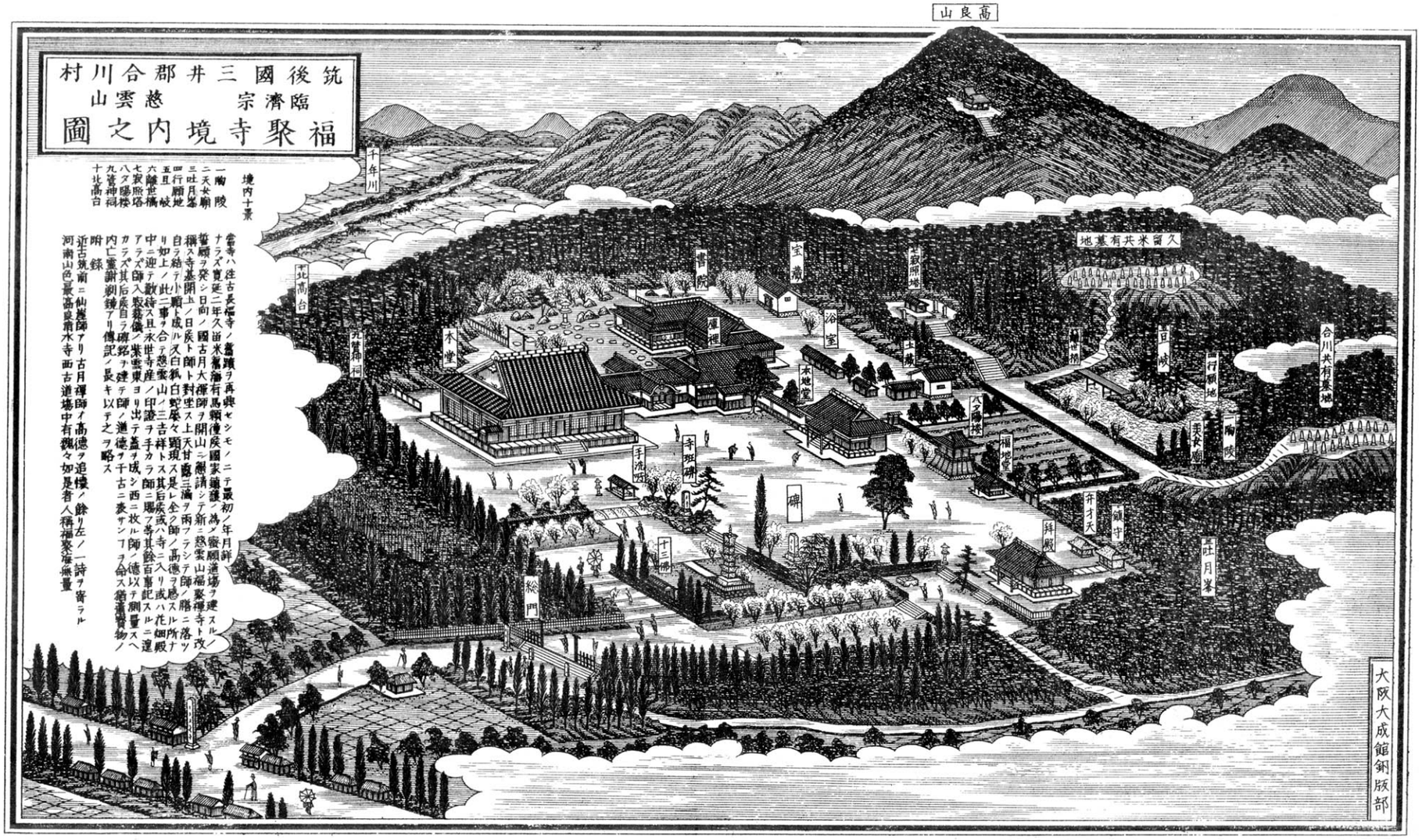

筑後國三井郡
浄土宗　鎮西本山
善導寺境内之圖
本堂
三祖堂
廊下
玄関
大廣間
内玄関
書院
集會所
寺務所
宝蔵
居間
對面所
大廣裏
千年川
海池
敷井堂
上品院
浄土院
補大樹
釈迦堂
輪蔵
願堂
山門
不動院
誠意院
生蓮院
大門
蓮池
蓮樓堂
放生池
野坂墓
鐘樓
敬書院
無量院
薬師堂
南門
恵照院
大阪大成館銅版部

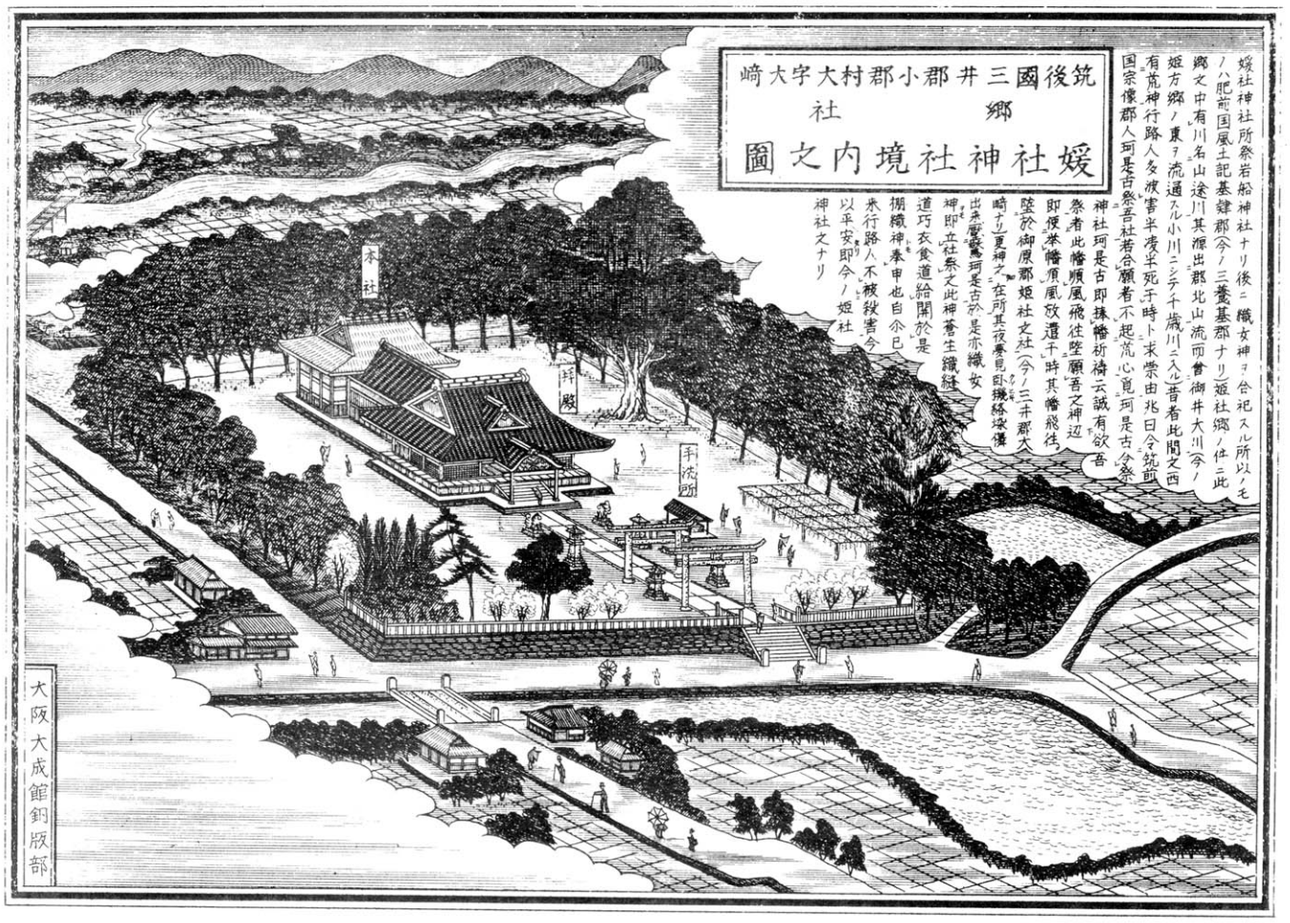

筑後國三井郡山川村大字神代
臨濟宗　神代山
安國寺境内之圖
武内祖先ノ墓
本堂
佛殿
觀音堂
庫裡
学校
山門
觀音堂
鐘堂
宝林庵
地藏堂
大阪大成館銅版部



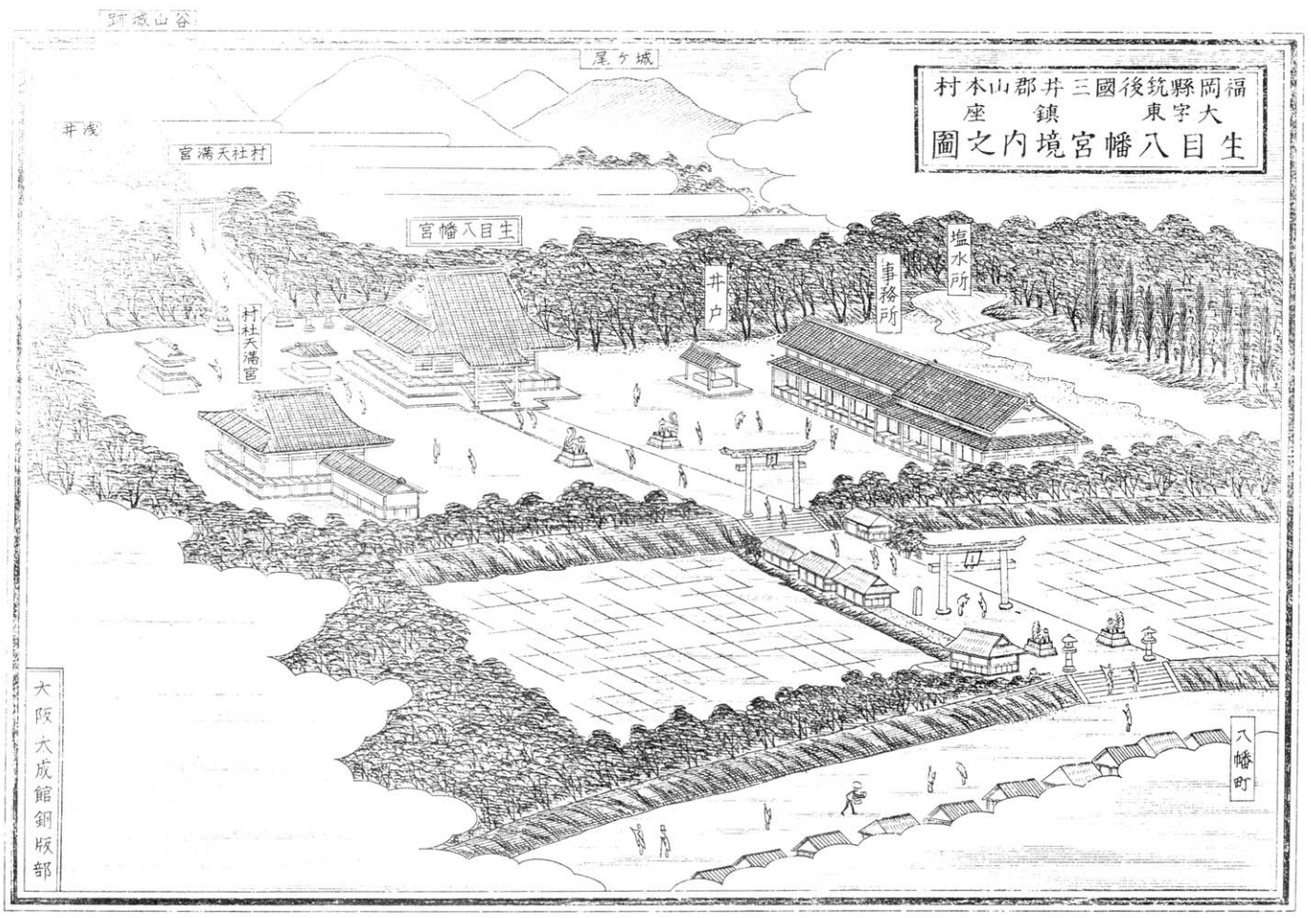


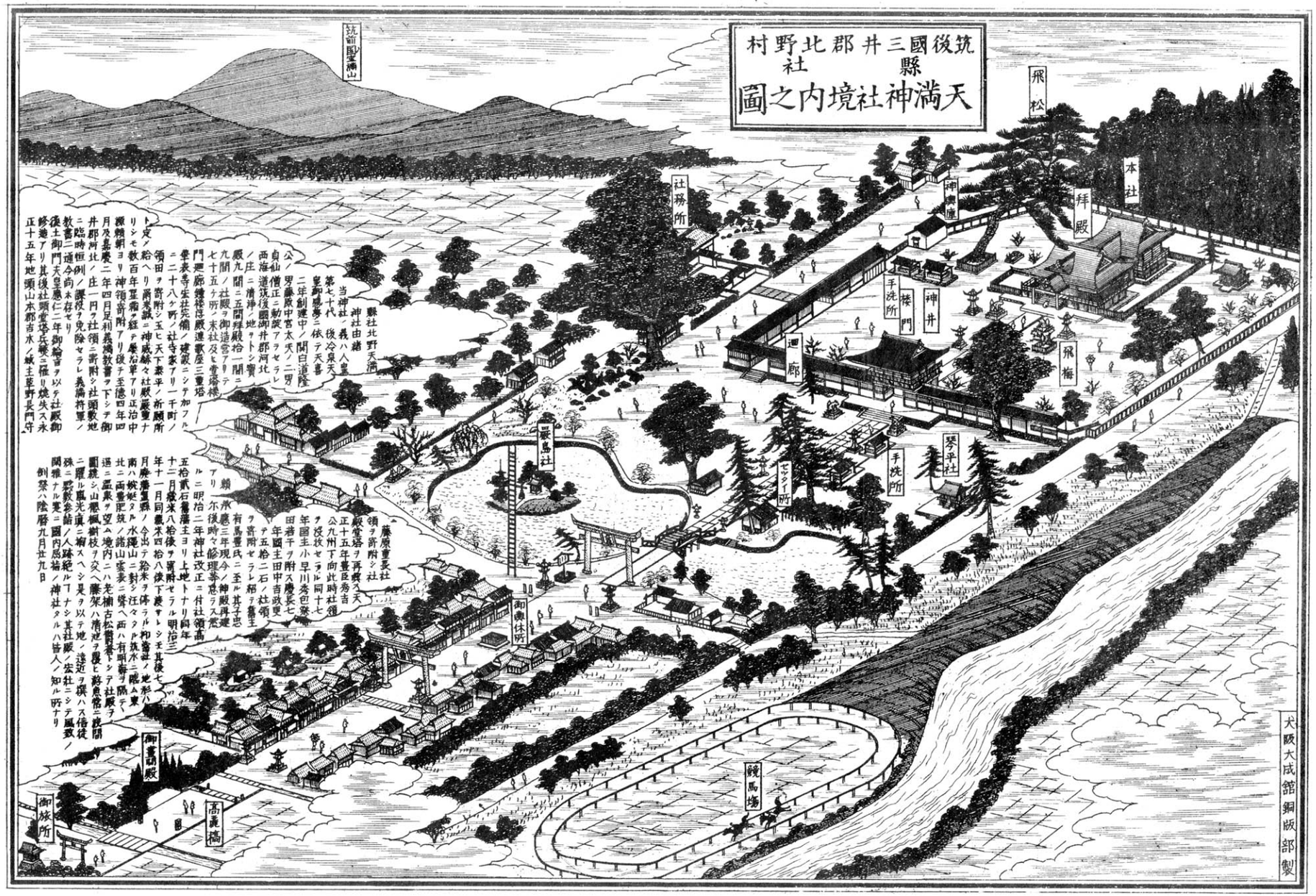
郷社高良玉垂神社
祭神 武内大臣
八幡神社
相殿
住吉神社
由緒
本社創建ノ當時ヲ考フルニ後鳥羽天皇建久年間ニ原大夫大藪朝臣ノ嫡子ニシテ筑前國ヨリ水國御原郡ニ移轉シ原田ヲ改メテ三原ト稱シ本郷城ニ居レリ從來本國ニ坐シマス一宮ノ分霊ヲ筑前國宮崎ニテハ高良新宮トソ稱シ奉リケル此時其神霊ヲ分祀シテ城中ノ鎮護トノ仰キ奉リケル是ソ本社ノ起原トハ申スヘキ現今ノ地ニ遷坐ナシ奉レルハ後醍醐天皇ノ延元三年トナシ傳ヘケル


筑後國三井郡合川村
臨濟宗　慈雲山
福聚寺境内之圖
境内十景
一鵬陵
二天女廟
三吐月峯
四行願地
五旦峙
六離世橋
七浪照塔
八夕陽楼
九菅神祠
十北高白
當寺ハ往古長福寺ノ舊蹟ヲ再興セシモノニテ最初ノ年月詳ナラズ寛延二年久留米藩有馬頼徸侯國家鎮護ノ為メ願道場ヲ建スルノ旨願ヲ発シ日向ノ國古月大禪師ヲ開山ニ請シテ新ニ慈雲山福聚禪寺ト改稱ス寺基開山ノ日疾ト師ト對坐スル上天甘露三滴ヲ雨フラシテ師ノ膝ニ落ツ自ラ結テ小鼎ト成ル又白蛇屡々顕現スル是レ全ク師ノ高徳ヲ感スル所ナリ如上ノ此二事ヲ合テ慈雲山三吉祥トス其后疾或ハ寺ニ入リ或ハ花畑殿中ニ迎テ歓待スル旦永世寺産ノ印證ヲ手カラ師ニ賜フ等其餘百事記スルニ遑アラズ師入寂後儀ノ紫雲東ヨリ出テ蓋ヲ成シ西ニ枚ル師ノ徳以テ綱量スヘカラズ其后疾自ラ碑銘ヲ建テ師ノ遺徳ヲ千古ニ表サントヨリ命ス茲ニ境内亡霊謝剣鐘アリ傳記ノ長キ以テ之ヲ略ス
附録
近古筑前ニ仙崖師アリ古月禅師ノ高徳ヲ追懐ノ餘リ左ノ一詩ヲ寄ラル
河南山色最高良霜木寺西古道場中有龍々如是者人稱福聚海無量
高良山
千年川
北高白
九菅神祠
本堂
鐘楼
書院
宝蔵
浴室
本地堂
寺務所
手洗所
十三佛
碑
総門
八ツ橋
福地堂
鐘楼
鐘守
井戸
拝殿
吐月峯
旦峙
行願地
離世橋
夕陽楼
久留米共有墓地
合川共有墓地
大阪大成館銅版部



媛社神社所祭岩船神社ナリ後ニ織女神ヲ合祀スル所以ソノ八肥前国風土記基肄郡今ノ三養基郡ナリ)姫社郷ノ仕ニ此郷之中有川名山途川其源出郡北山流而曽御井大川今ノ姫方郷ノ東ヲ流通ル小川ニシテ千歳川ニ入ル昔者此間之西有荒神行路人多被害半凌半死于時卜求崇由兆曰令筑前国宗像郡人珂是古祭吾社若合願者不起荒心見珂是古今祭神社珂是古即棟幡祈禱云誠有欲吾祭者此幡順風飛往堅願吾之神辺即便挙幡頂風放遣于時其幡飛往堅於御原郡姫社之社(今ノ三井郡大崎ナリ)更神之在所其夜夢見卧機経安護出矣誓願珂是古於是亦織女神即立社祭之此神蒼生織縫潮續神事申也自今已来行路人不被殺害今以平安即今ノ姫社神社之ナリ





縣社北野天滿

神社由緒

当神社ハ人皇第七十代後冷泉天皇御宇康平二依テ天暦二年創建中ノ關白道隆公ノ男藤原中宮太夫二男良仙僧正ニ勅諚アラセラレ西海道筑後國御井郡河北ノ庄ニ清神ノ地ヲトシ寶殿九間ニ五間ノ拜殿拾一間ニ九間ノ社殿ヲ御造營アリテ七十五ケ所ノ末社及ヒ重塔楼門廻廊鐘樓等殿舍悉ク備ノ建設ニシテ加フルニ二十八ケ所ノ社寺家アリ一千町ノ領田ヲ寄附シ玉ヒ天下泰平所願所トシモ數百年星霜ヲ經テ衰微アリ正治中源頼朝ヨリ神領寄附アリ後チ至德四年四月及ヒ嘉慶二年四月足利義滿教書ヲ下シテ御井郡河北ノ庄一円ヲ社領ニ寄附シ社頭數ヶ所ニ臨時恒例ノ課役ヲ免除セラレ義滿将軍ノ教書二通今尚ホ存セリ

須土御門天皇應仁二年御綸旨ヲ以テ社殿御修造アリ其後社頭雲塔兵燹ニ罹リ焼失スル永正十五年地頭山本郡吉永ノ城主草野長門守

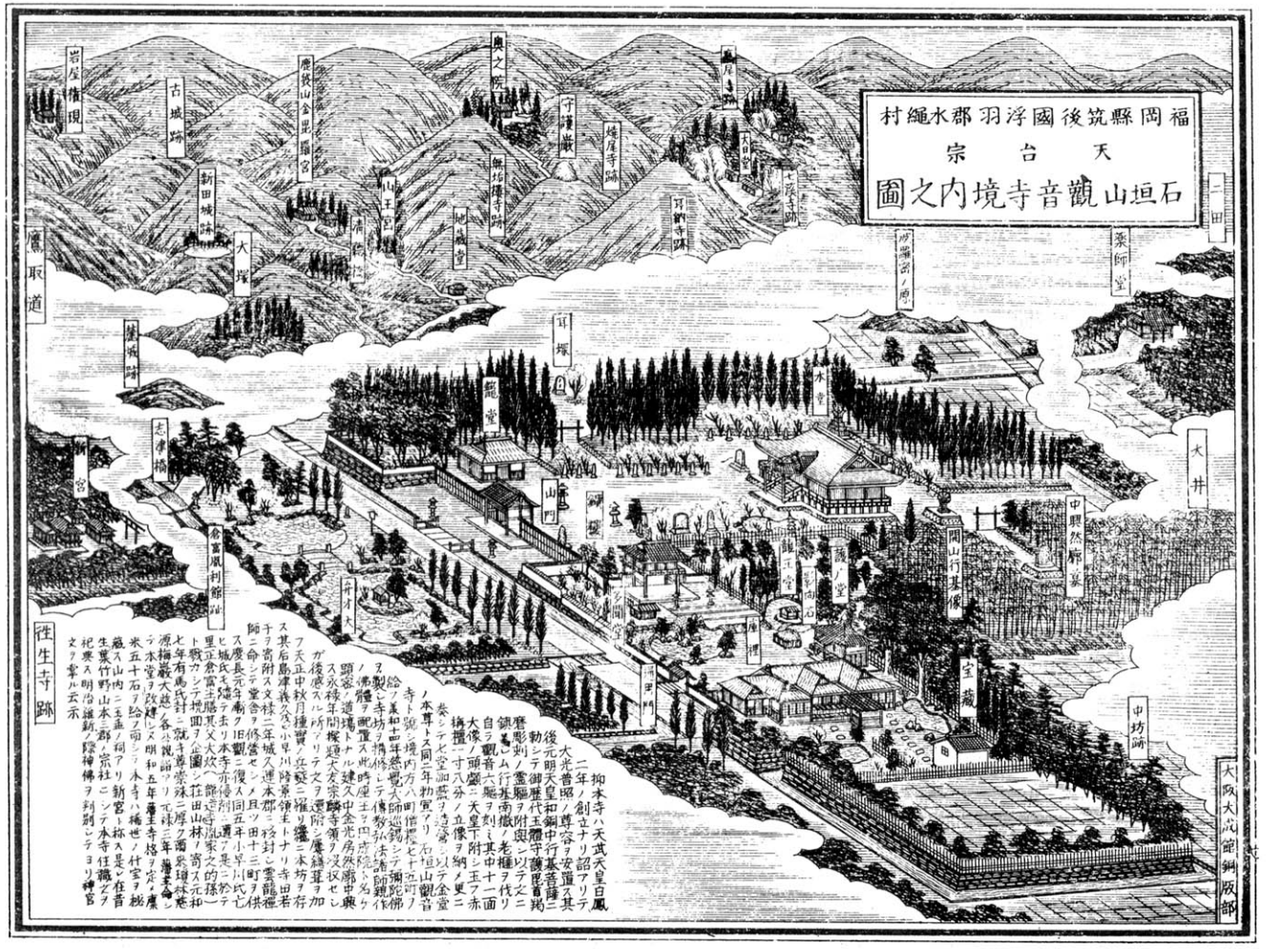
藤原豊長社

領ヲ寄附シ社殿營造ヲ再興ス天正十五年豊臣秀吉公九州下向此時社領ヲ没收セラル同十七年國主小早川秀包筑後七田若干ヲ附ス慶長七年國主田中吉政更テ五拾二石ノ社領ヲ寄附セラレ稻ヲ舊主有馬豊氏ニ至ルト其子忠朝承應三年現今ノ神殿再建ルニ明治二年神社改正ニ付社領高ノ如シ後時々修理等悉ク然リ

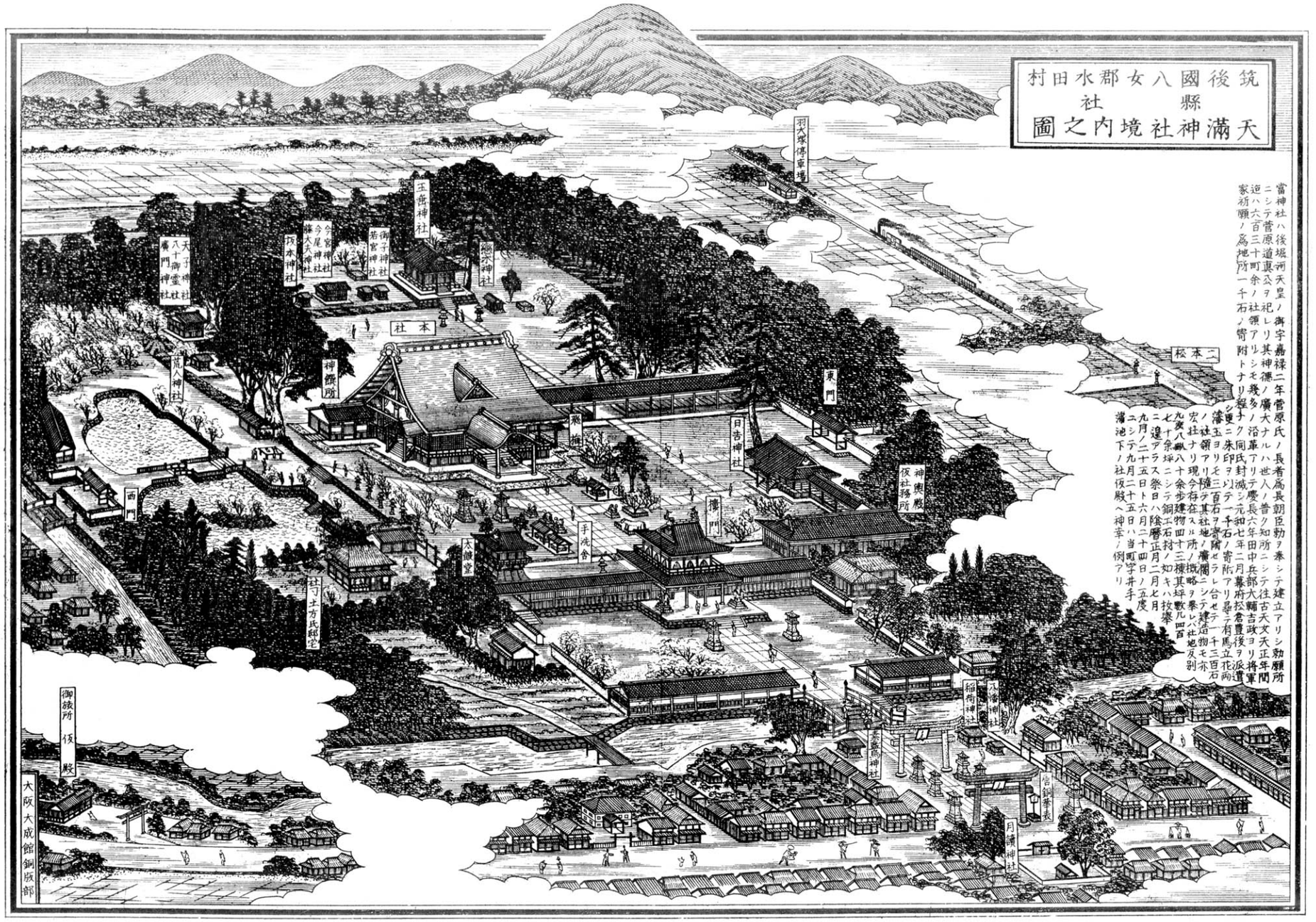
五拾貳石餘落主ヨリ上地トナリ同年十二月廢寺ニ付本社ニ合併セラル明治三年十一月同郡末四拾八後下妻ヤトシテ其後七月廢藩置縣ノ令出テ筑水ヲ併セラル明治三年十一月同郡末四拾八後下妻ヤトシテ其後七月廢藩置縣ノ令出テ筑水ヲ併セラル和名抄ノ地形ハ南ハ帳嶺ヲル水縄山ニ對シ汪々タル筑水ニ臨ム東北ニ両豊肥筑ノ諸山雲表ニ聳ヘ西ハ有明海ヲ隔テ遥ニ孟泉ヲ望ム境内ニハ老樹古松鬱蒼トシテ社殿ヲ圍繞シ山櫻楓樹枝ヲ交ヘ藤架ハ清池ヲ覆ヒ殊ニ春暮ニ紫雲ノ如ク躑躅光眞ニ絢スヘシ是ヲ以テ地ノ遠近ヲ撰ハス信徒殊ニ都鄙參詣ノ人跡絶ルコトナシ其社殿ノ宏壮ニシテ風致ノ閑雅ナル實ニ國内屈指ノ神社タルハ皆人ノ知ル所ナリ

劍璽ハ陰暦九月廿九日

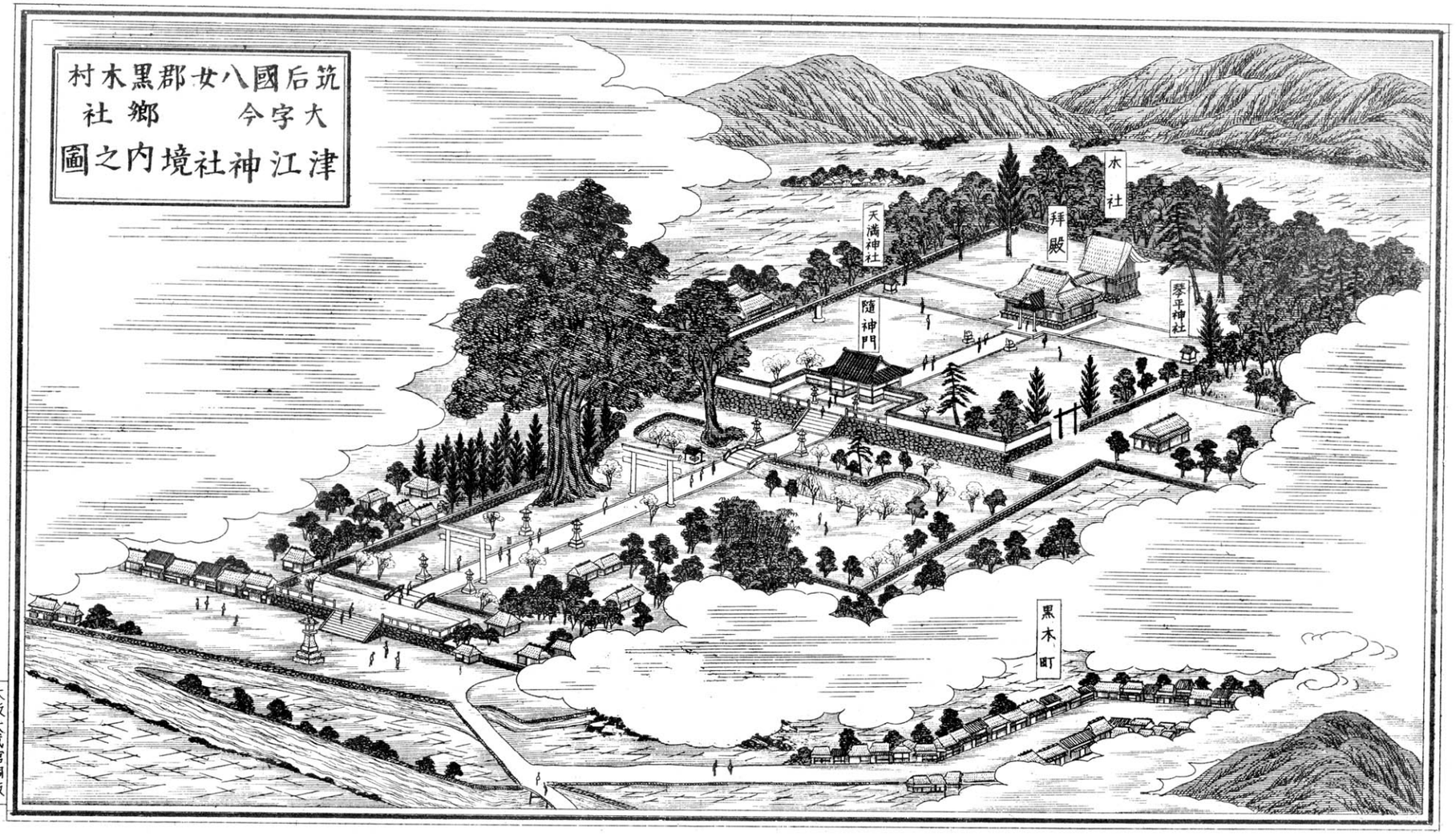

筑後國三井郡三國村大字大保延
喜式内
筑後國四座一小社
當今縣社
御勢大靈石神社
祭神　仲足彦天皇
相殿　天照大神
吉留大神
八幡大神
春日大神
創立　神功皇后二年
由緒概略　當社ハ
皇后新羅ヨリ御凱
陣ノ際則此所ニテ
天皇ノ喪ヲトリヲサ
メ御神靈ヲ安置シ奉リ
國家鎮護ノ靈壇ト奉崇
玉ヘリト云ヘリ　是レ大靈石
ノ余光裏國降伏ノ相ヲ現ハ
シ玉フモノカ此地ハ高良山
麓門山ノ中央ニシテ天皇熊
襲ヲ討玉ハント巡狩ノ給フ
時ニ行宮ノアリシ
所ト云傳フ
般狹子社
一ノ口靈泉
鳥帽子石社
筑後國三井郡三國村大字大保延喜式内 筑後國四座一小社 當今縣社 御勢大靈石神社境内之圖
社記ニ曰ク天皇筑前嶺縣日宮ニシテ崩マシヌ又皇后天皇ノ御代トシテ姑ク暫ヲ假リ石ヲ以テ御形代トシコレヲ奉シ三韓ヲ征シ給フニ三韓不日ニ服從セヌ又凱陳ノ後大保郷ニ宮柱大敷立ニ此石ヲ祭リ給ヒ御勢大靈石神社ト崇ラル社前ニ御船御衣ヲ納ノ給フコレヲ御本體所ト称スト雖ハ
ハ夫ニテ皇后ヨリ尊親称御魂代ノ石ナレバ也
白鳥ハ社頭ノ水ノ方ニアリ距離三町
鐘天皇御宇白鳥ヲ飼養セシ處ト云ヲ傳
往古ヨリノ神幸場ナリ
立石山ハ社頭ノ戌亥ノ方ニア
リ距離三十丁頂上ニ石アリ形恰モ
烏帽子ニ似タリ地上ニ出ツル五尺余
地下幾何ナルヲ知ラヌ西ニ向フ天
皇ノ勢ヲ圖テヒソカニ麾ヲ纏シ玉ヲ所
ト云傳フ天皇神靈ヲ鎮祭シテ烏帽
子石神社ト尊称ス
沿革概略　欽明天皇明安十
庚子年天武天皇白鳳九庚辰年
宇多天皇寛平三辛亥年鳥羽
院天永二辛巳年高倉院安元
丙申年各御再建文明二年
領主筑紫典門再建天正
十四年兵火ニ罹リ悉ク
燒失ス其後領主有馬家
再建
境内地
九百八十六坪
祭日　十一月十四日
此日弓場ニ於テ流鏑馬
三番ヲ執行ス
神幸場
弓場
御供待所
大阪大成館銅版部

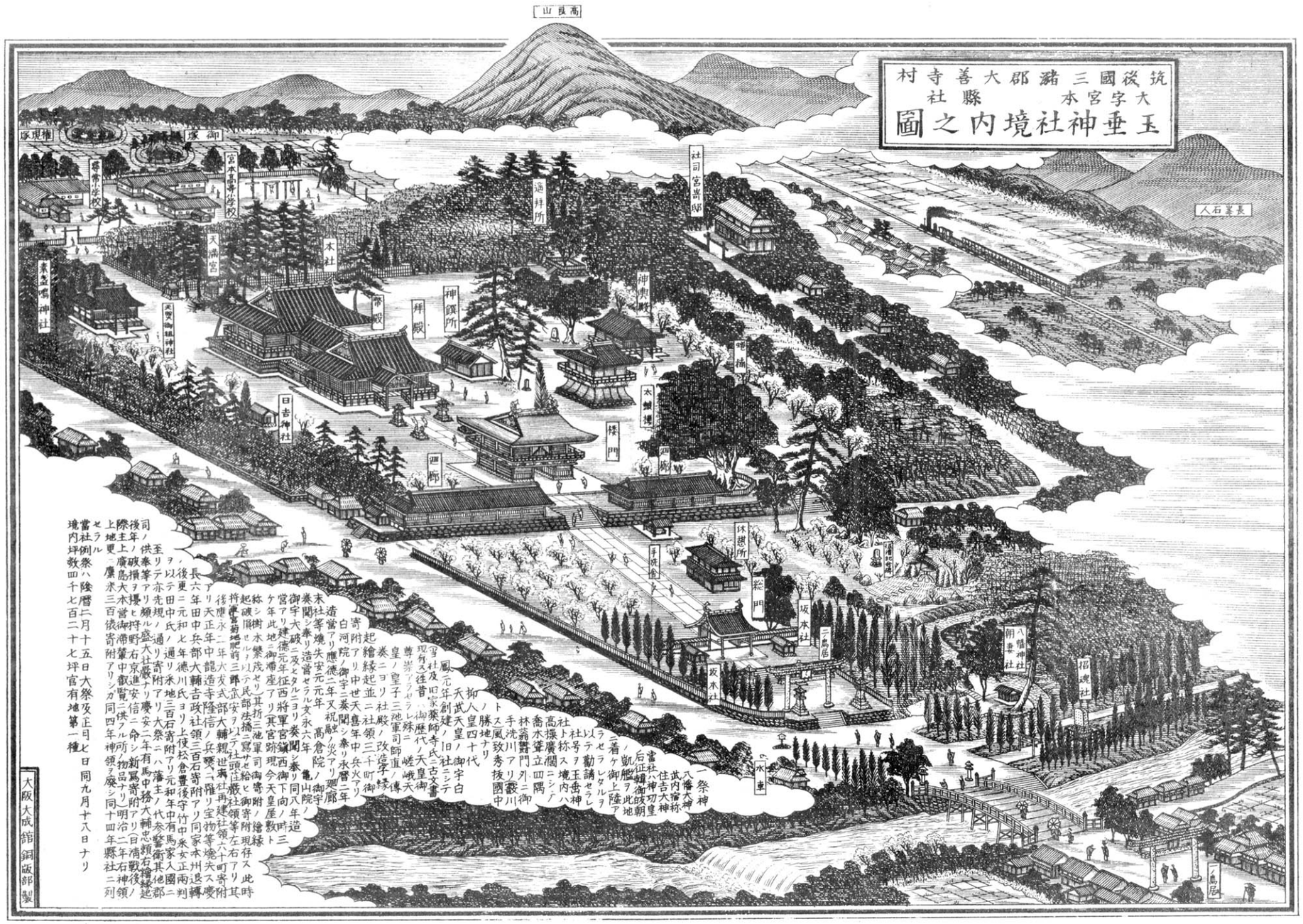


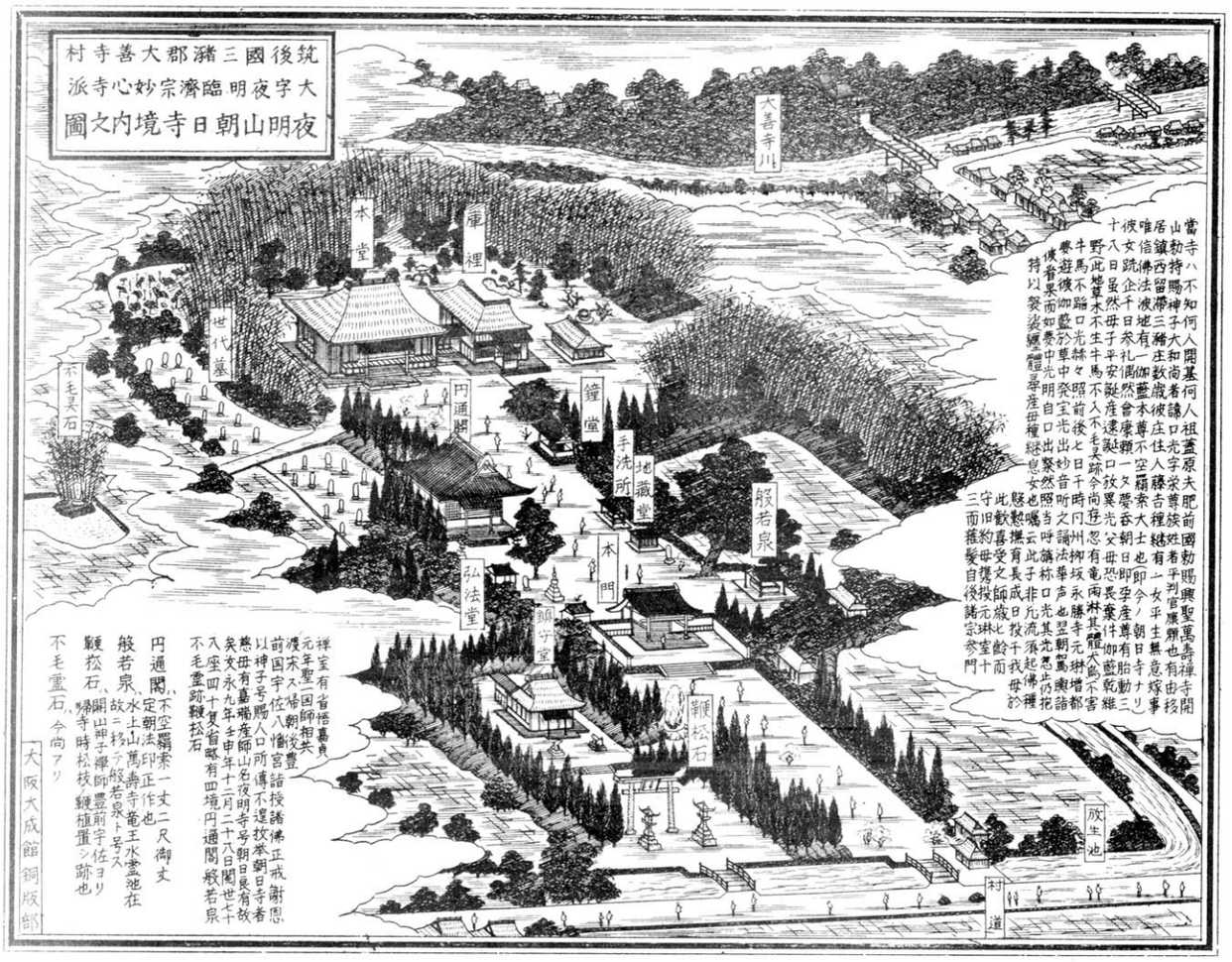
抑本寺ハ天武天皇白鳳二年ノ創立ナリ詔アリテ大光普照ノ尊容ヲ安置ス其後元明天皇和銅中行基菩薩ニ勅シテ御歴代玉體守護ノ百観音ヲ彫刻ノ霊驗ヲ附與シ以テ之ニ鎮ム此行基六驗ヲ以テ之ニ自ラ観音六驗ヲ刻シ其中十一面大像ノ頭顱ニ天皇ノ御衣ヲ納メ更ニ丈八分ノ立像ヲ刻シ玉フ赤繍壹寸八分ノ金堂ヲ造營シ以テ金堂ニ安置シ奉リ又同二年勅宣アリ石垣山観音寺ト號シ境内方八町惣權七十五町ノ寺領ヲ給フ其和四年慈覚大師巡錫シテ彌陀佛ヲ刻シ寺坊ヲ構修シテ敷弘法師師鏡作ノ佛體ヲ配置ス此時座主ヲ四座ト定メ又顯密ノ道場トナル建久年間權現堂ヲ建立


筑後國八女郡水田村
縣　社
天滿神社境内之圖
羽犬塚停車場
玉眞神社
櫻小神社
御子神社
若宮神社
今宮神社
今尾神社
藤ノ大木神社
天子神社
八十御靈社
廣門神社
坂本神社
本社
神饌所
拜殿
東門
日吉神社
神輿殿
仮社務所
楼門
手洗舍
大鐘堂
社司士方氏邸宅
西門
御旅所仮殿
稲荷神社
八幡神社
末盛鳥神社
月讀神社
二本松
當神社ハ後堀河天皇ノ御宇嘉祿二年菅原氏ノ長者爲長朝臣勅ヲ奉シテ建立アリシ勅願所ニシテ菅原道眞公ヲ祀レリ其神德ノ廣大ナルハ世人ノ普ク知所ニシテ往古天文天正年間迫ハ六百三十町余ノ社領アリシモ幾多ノ沿革アリテ慶長六年田中兵部大輔吉政ヨリ將軍家祈願ノ爲地所一千石ノ寄附トナリ程ナク同氏封滅シ元和七年二月幕府松倉豊後ヲ派遣シ重ニ朱印ヲ以テ一千石ノ寄所アリ暫テ有馬立花兩藩五ヨリ各三百石ヲ寄附セラレ合セテ一千三百石ノ社領アリ隨テ其社地ノ廣闊ニシテ建造物モ亦宏壯ナリ現今存在スル所ノ概略ヲ擧レハ地坪凡四百九百八歩餘八十余坪ニシテ銅工石封ノ如キハ枚擧ニ遑アラス祭日ハ陰暦正月二月七月九月ノ二十五日ト六月二十四日ノ五度ニシテ九月二十五日ハ當町字井手溝池下ノ社仮殿ヘ神幸ノ例アリ
大阪大成館銅版部


筑后國八女郡羽犬塚村
大字熊野　鄷社
熊野神社境内之圖
小学校
御旅所
八坂神社
琴平神社境内之圖
松尾神社
天満神社
社務所
羽犬塚停車場
鄷社熊神社
祭神
建速須佐之男命
熊野速玉之男命
由緒
當社舊記曰創立ハ延暦年中
桓武天皇ノ勅願ニ依リ紀州熊野山
ヨリ勸請シタル神社ニシテ領地ハ延
暦以来天正ノ頃迄ハ上妻郡廣川ノ庄ノ
百ノ十町其他西牟田川崎安武蒲池等ノ諸氏ヨリ若干ノ寄
附アリシヲ天正十一年戸次道雪高橋紹運等ノ兵乱ニ罹リ
當社焼失ノ際ノ桓武天皇ノ御綸旨並ニ御教書其他ノ古文
書寶物等紛散シ前記ノ社領ヲ退轉ニ及タリ然ルニ生葉郡
長岩ノ城主問注所氏ヨリ當社再建ノ際僅ニ三郷郡福間村
ニ於テ三十町ノ社領ヲ寄附セラル其後慶長六年七月
田中兵部大輔吉政ヨリ地所三百五十八石ノ寄附ヲ
以テ明治二年迄ノ社領トス
琴平神社
祭神
大巳貴命
祭日　陰暦正月十日　仝三月十日　仝六月十日
仝　八月十日　仝十月十日
大阪大成館銅版

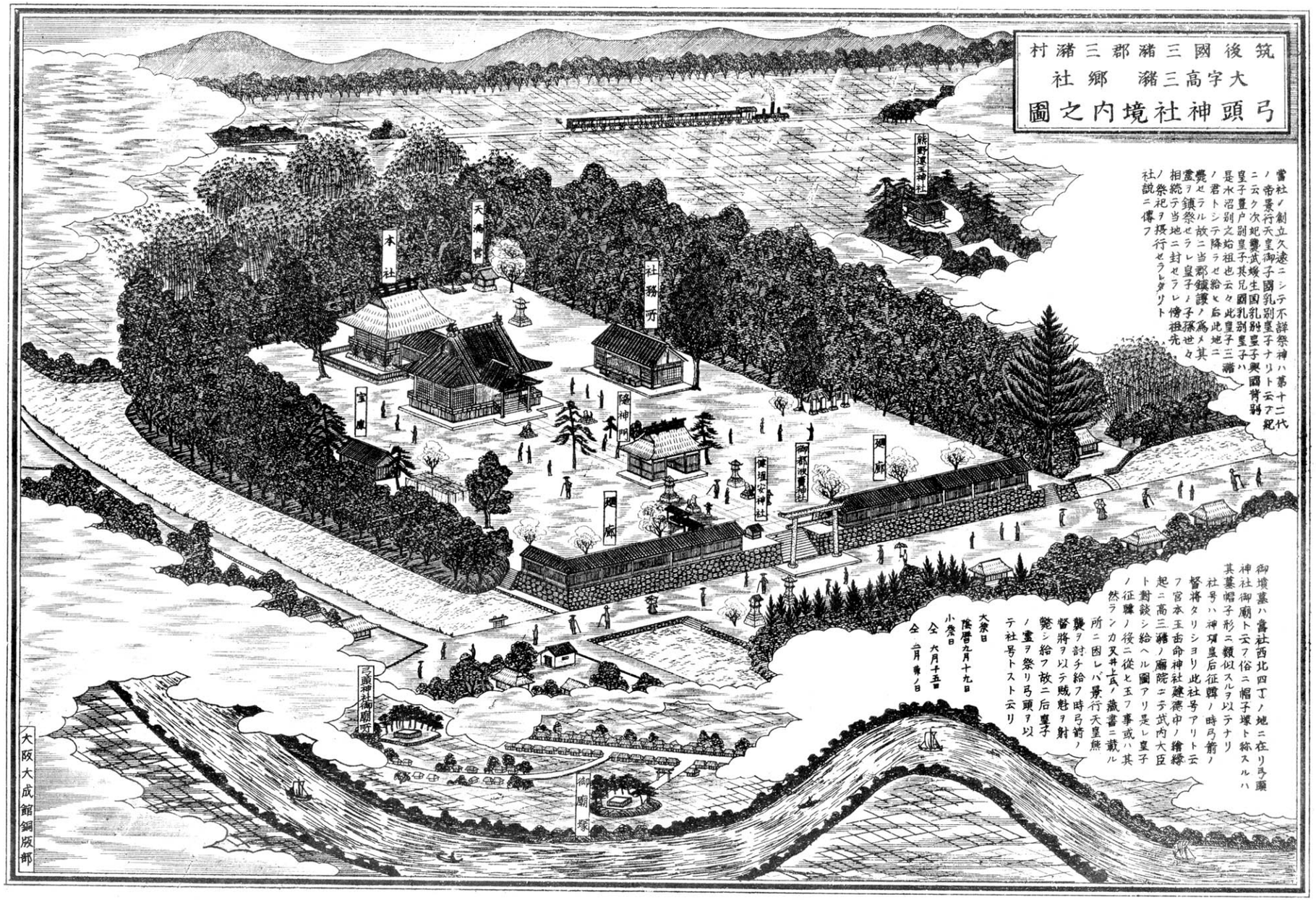

筑后國八女郡黒木村
大字今　郷社
津江神社境内之圖
水社
拜殿
天満神社
隨神門
琴平神社
黒木町
大阪大成館鋼版

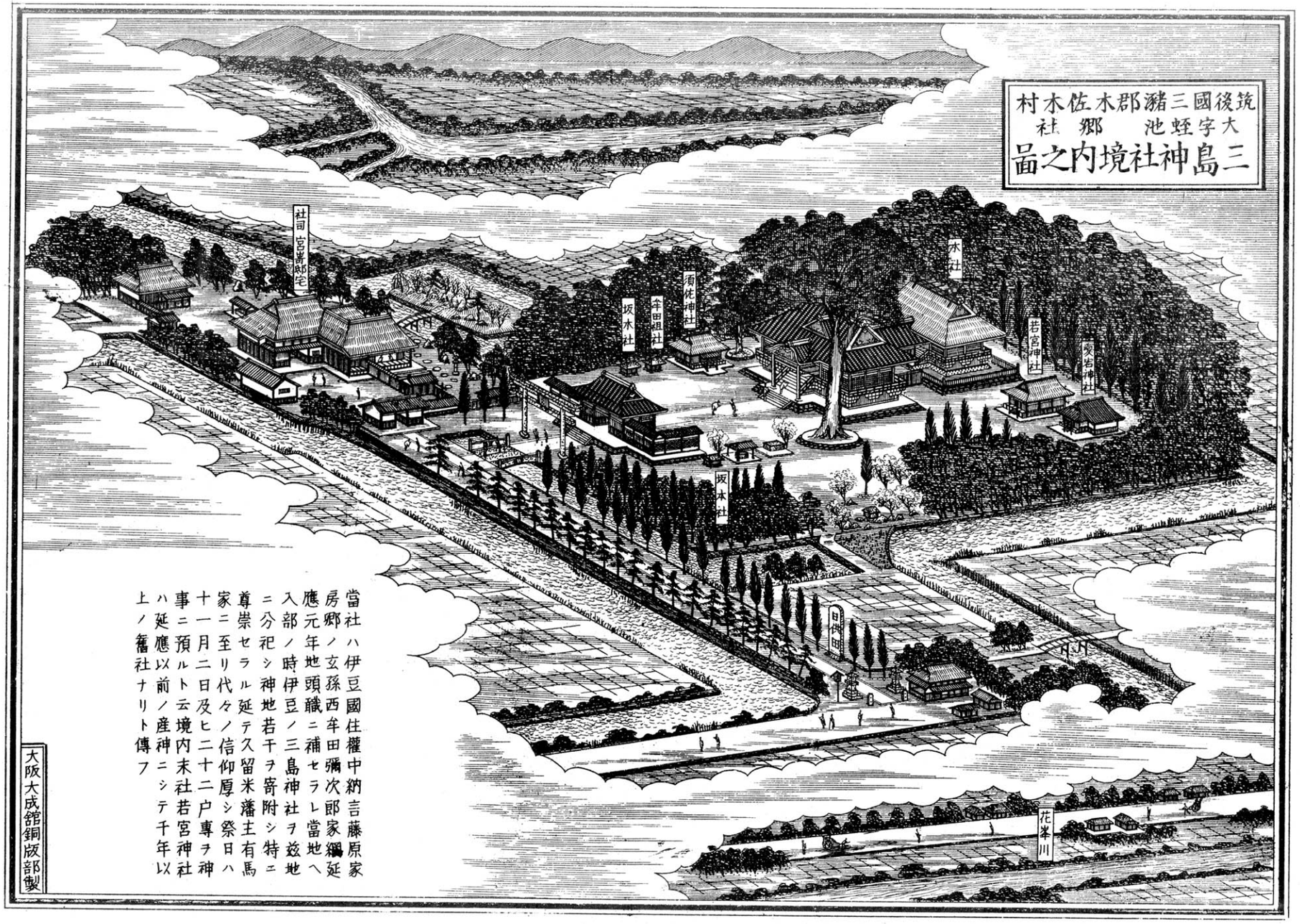

筑後國三潴郡大善寺村
大字宮本　縣社
玉垂神社境内之圖
高良山
御供
神庫
宮本尋常小學校
幼稚園
通拝所
社司宮崎邸
人石墓
本社
末社
神饌所
拝殿
神殿
神輿殿
鳴橋
大鳥居
楼門
回廊
手洗舎
休憩所
総門
坂本社
二の鳥居
一の鳥居
八幡神社
招魂社
一祭神
八幡大神
武内宿称
住吉大神
當社ハ神功皇后征韓御凱旋朝ノ凱艦ヲ此地ニ着ケ御上陸アラセラレタルヲ以テ勧請セラレ社号ヲ玉垂神ト称スル内ハ高良廣嗣ニシテ
喬木蓊立四隅林翁瞥門外ニ御手洗川アリ霧ト風致秀抜國中ノ勝地ナリ
人皇四十代
天武天皇ノ御宇白鳳元年創建ノ旧社ニシテ
寄附アリ中世天喜年中兵火アリ
白河院御宇ニ奏聞シ奉リ永暦二年
尊崇アツカラレ殊ニ
皇ノ皇子三池軍司師直ノ傳
奏ニヨリ社殿ノ改造ヲ
起繪縁起並ニ社領三十町御
造営アリ應徳二年又祝融ノ災アリ廻廊
末社等焼失元元年
高倉院ノ御宇
御宇大破ニ及ヒタルニヨリ奏聞シ奉リ同八年造
當アリ建徳元年征西将軍宮鎮西御下向ノ時三
ケ年此ニ御滞座アリ其宮跡現今天皇屋敷ト
後慶永二年大友式部大輔親世再建社領六十町寄附
アリ天正年中龍造寺隆信ノ兵燹ニ罹リ宝物等焼失ス慶
長六年田中兵部大輔吉政社領三百石寄附アリ同家本州退轉
ヲ以後ニ元和七年徳川氏ヨリ上使松倉豊後守竹中采女正両判
至リテ亦先規ノ通リ寄附アリ元和年中有馬家入國ニ
後年ノ破損ヲ擾ヒ特ニ命シ新篇寄附アリ（日清戦後ノ
際主上廣島大本営御滞輦中叡覧ニ供スル所ノ物品ナリ）明治二年石神領
上地更ニ廣ク三百俵寄附アリシガ同四年神領ヲ廃シ同十四年縣社ニ列
セラル
當社例祭ハ陰暦二月十五日大祭及正月七日同九月十八日ナリ
境内坪数四千七百二十七坪官有地第一種
大阪大成館銅版部製

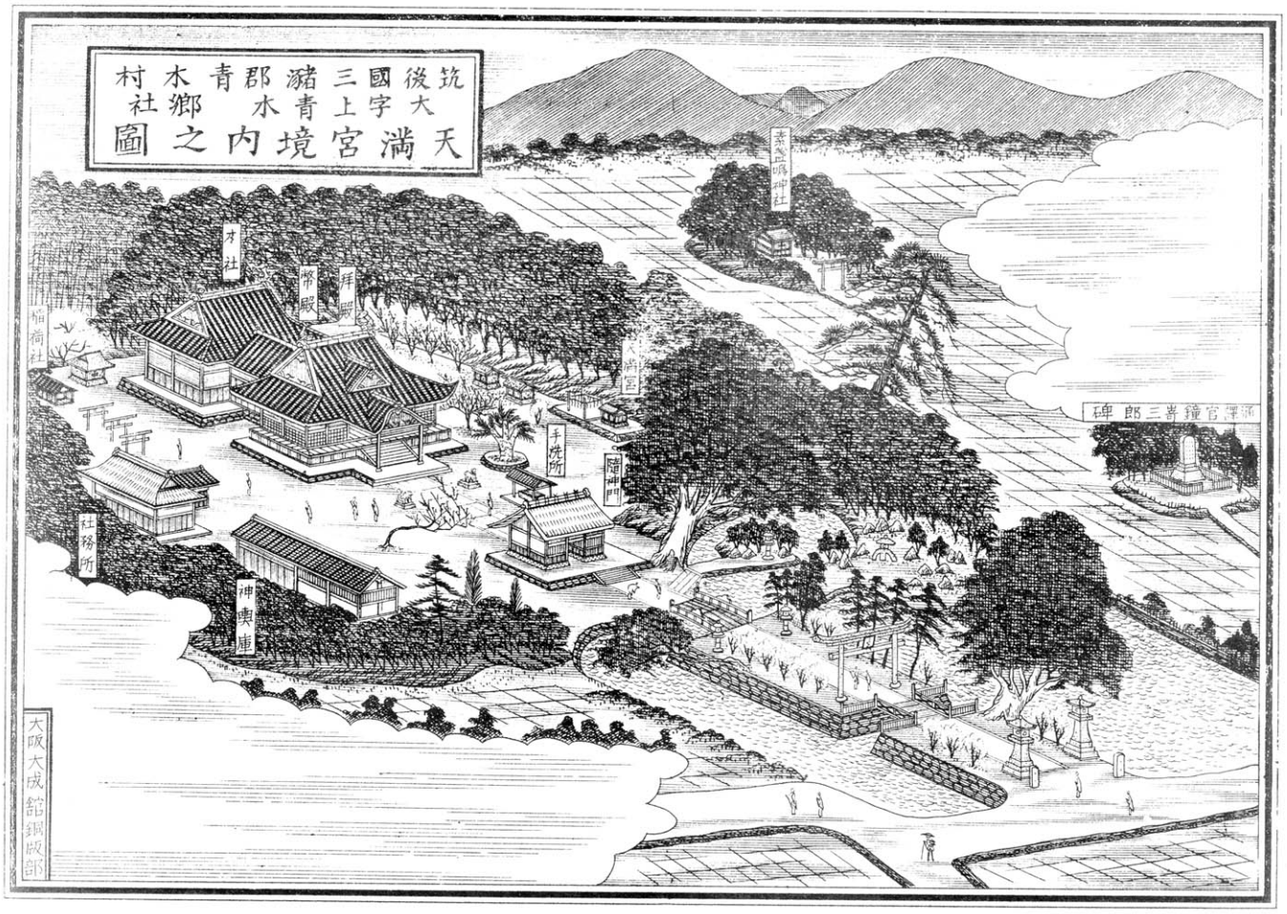

筑後國三潴郡大善寺村
大字夜夜明山朝日寺境内之圖
大善寺川
本堂
庫裡
世代墓
不毛之石
円通閘
鐘當
手洗所
地藏堂
般若泉
本門
弘法堂
鎮守堂
鞭松石
放生池
村道
禪室有省悟嘉貞元年聖国師相共渡宋ス帰朝後豊前国宇佐八幡宮詣授諸佛正戒謝恩以神子号賜八口所傳不還教華朝日寺者慈母有墓碣産師山名夜明寺号朝日長有故矣文永九年壬申年十月二十八日閻世七八座四十有餘有四境円通閘般若泉不毛靈跡鞭松石
円通閘、不空羂索一丈二尺御丈
定朝法印作也
般若泉、水上山萬壽寺龍王水盡池在故ニ称テ般若泉ト号ス
鞭松石、開山聖人禪師豊前宇佐ヨリ帰寺時松枝鞭植置シ跡也
不毛靈石、今尚アリ
大阪大成館銅版部
當寺ハ不知何人開基何人祖蓋原大肥前國勅賜興聖萬壽禪寺開山勅特賜神子大和尚者鎌口先字榮尊族姓者乎判官應舜也有由移居鎮西留滯三箱庄数歳彼庄住人藤吉種繼有一女平生無意嫁事唯信佛法液地有御藍本尊不空羂索大士也即今ノ朝日寺ナリ彼女跪企千日参礼偶然會康穎一夕夢呑朝日即孕産尊有胎動三十八日雖然母子平安誕産遽兒放異光父母恐長棄件伽藍乾維十野此草木不生牛馬不入不毛之跡今尚存忽有竜雨林其體大鳥不害牛馬不踏口光赫々照前後七日干時ノ門州柳坂永勝寺元琳増都樂遊渡伽藍分草中発宝光出妙音聴之論法華声也翌朝篤輿詣彼看果而如夢中光明自口出繋然照当呼籠称口光其光忽止仍抱持以袈裟纏體号産母種継息女也嘱云此子非凡流須起佛種懸懃撰育長成日投于我母於此歓喜受之随歳七齢而守旧約母攜投元琳室十三而薙髪自後誇宗参門



西牟田村彌次郎家細先祖根政関白従一位左大臣大宰師中関白道隆公末裔豆州刺史権中納言藤原家房郷玄孫彌次郎家綱君命依延應元年己亥建倉筑事奉時公御治世筑后州三潴郡三分之一領邑城西牟田村築啓是西牟田氏祖則智國師大明神勧請産神則西牟田宗願忠寛喜二年乙卯年勧請天満宮也
彌次郎家綱寛元寺造立ス然弥次郎家綱子孫次云八子細有肥州水上山萬壽寺於剃髪行脚相州鎌倉建長寺有印證蒙同所円覚寺之住職
彌次郎家綱寛元寺造立ス然弥次郎家綱子孫次云八子細有肥州水上山萬壽寺於剃髪行脚相州鎌倉建長寺有印證蒙同所円覚寺之住職
文永之役有一族郎従数輩蒙勅命令出陣于時彌次郎家綱君病気依不能出陣代官差遣之
文永之役有一族郎従数輩蒙勅命令出陣于時彌次郎家綱君病気依不能出陣代官差遣之
弘安之役有一族郎従数輩蒙勅命令出陣于時彌次郎家綱君病気依不能出陣代官差遣之
弘安之役有一族郎従数輩蒙勅命令出陣于時彌次郎家綱君病気依不能出陣代官差遣之
薩隅日三州軍勢発大友之将高橋紹運戸次道雪嗣子統虎追伐筑前来紹運岩屋城立花道雪両城攻時邑城悉放火有此時城島之龍城不能防戦城主肥前之太守龍造寺之隆信幕下家臣成ル
薩隅日三州軍勢発大友之将高橋紹運戸次道雪嗣子統虎追伐筑前来紹運岩屋城立花道雪両城攻時邑城悉放火有此時城島之龍城不能防戦城主肥前之太守龍造寺之隆信幕下家臣成ル
彌次郎家綱寛元寺造立ス然弥次郎家綱子孫次云八子細有肥州水上山萬壽寺於剃髪行脚相州鎌倉建長寺有印證蒙同所円覚寺之住職
彌次郎家綱寛元寺造立ス然弥次郎家綱子孫次云八子細有肥州水上山萬壽寺於剃髪行脚相州鎌倉建長寺有印證蒙同所円覚寺之住職
任後退久家細之在所西牟田古郷下向右寛元寺久院是則同寺之開山寛元之年号以寺号寛元年ヨリ明治三十一年マデ六百五十六年ナリ
大阪大成館銅版部製

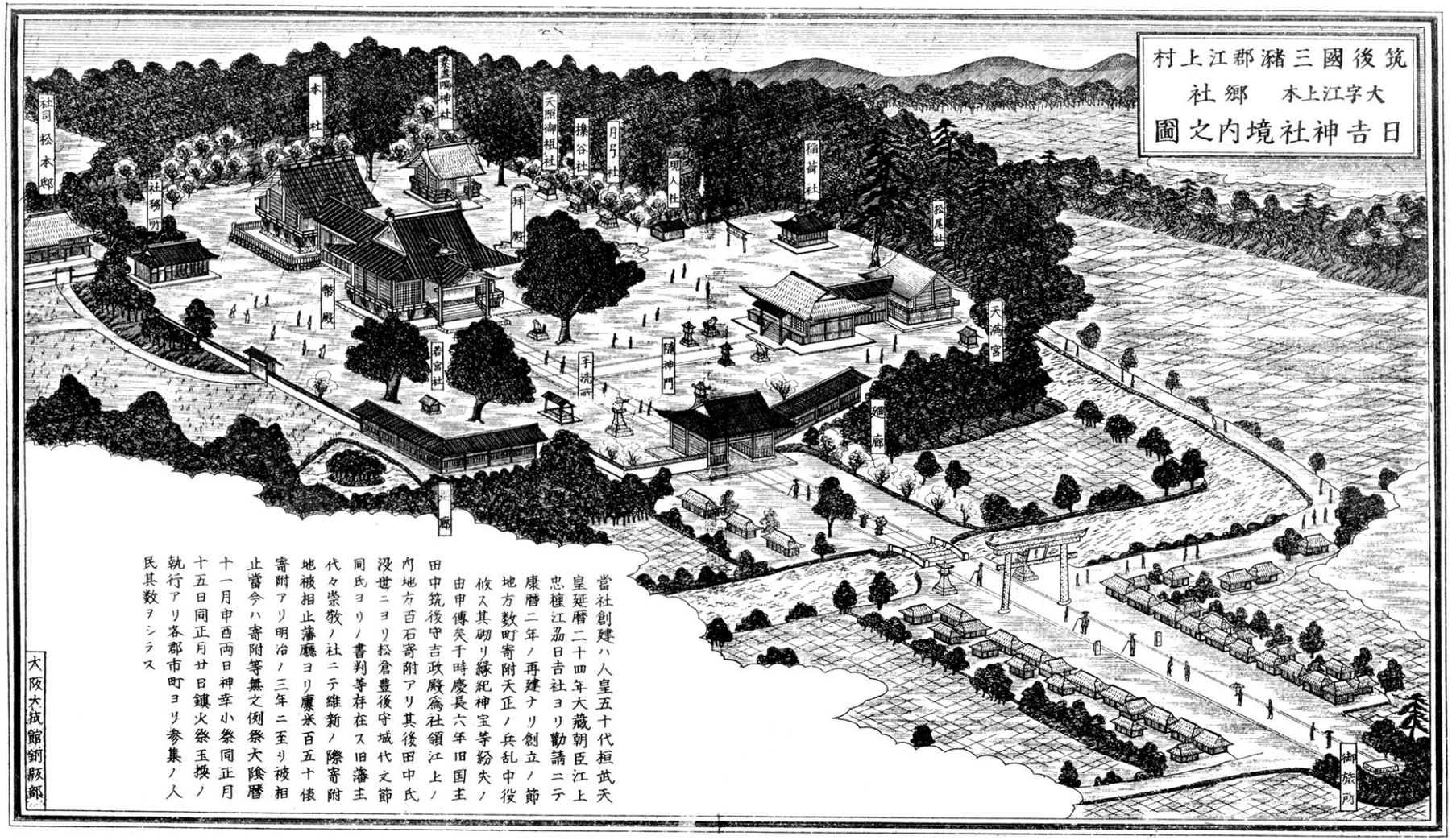

筑後國三潴郡三潴村
大字高三潴　鄉社
弓頭神社境内之圖
當社ノ創立久遠ニシテ不詳祭神ハ第十二代ノ帝景行天皇御子國乳別皇子ナリト云フ紀ニ云ク次妃豐武媛生国乳別皇子興國背別皇子豐戸別皇子其兄國乳別皇子ハ是水沼別之始祖也云々此皇子三瀦ノ君トシテ降ラセ給ヒ后此地ニ鎭ゼラル故ニ當郡鎭護ノ爲メ其靈ヲ鎭祭セラレ皇子ノ子孫世々相續テ当地ニ封セラレ傍祖先ノ祭祀ヲ掌行セラレタリト社説ニ傳フ
熊野速玉神社
天神宮
本社
社務所
神門
廻廊
御都波豆岐神社
廻廊
廻廊
末社
末社
三國神社御廟所
御廟塚
御墳墓ハ當社西北四丁ノ地ニ在リ弓頭神社御廟ト云フ俗ニ帽子塚ト称スルハ其墓帽子形ニ類似スルヲ以テナリ
社号ハ神項皇后征韓ノ時弓箭ノ皆將タリシヨリ此社号アリト云フ宮本玉垂命神社建徳中ノ縁起ニ高三瀦ノ廟院ニテ武内大臣ト對談シ給ヘル圖アリ是レ皇子ノ征韓ノ役ニ從ヒ玉フ事或ハ其然ラシカ又井古ノ藏書ニ載ル所ニ因レバ景行天皇熊襲ヲ討チ給フ時弓箭ノ皆將ヲ以テ賊魁ヲ射斃シ給フ故ニ后皇子ノ靈ヲ祭リ弓頭ヲ以テ社号トスト云リ
大衆日
陰暦九月十九日
小祭日
仝　六月十五日
仝　二月申ノ日
大阪大成館銅版部

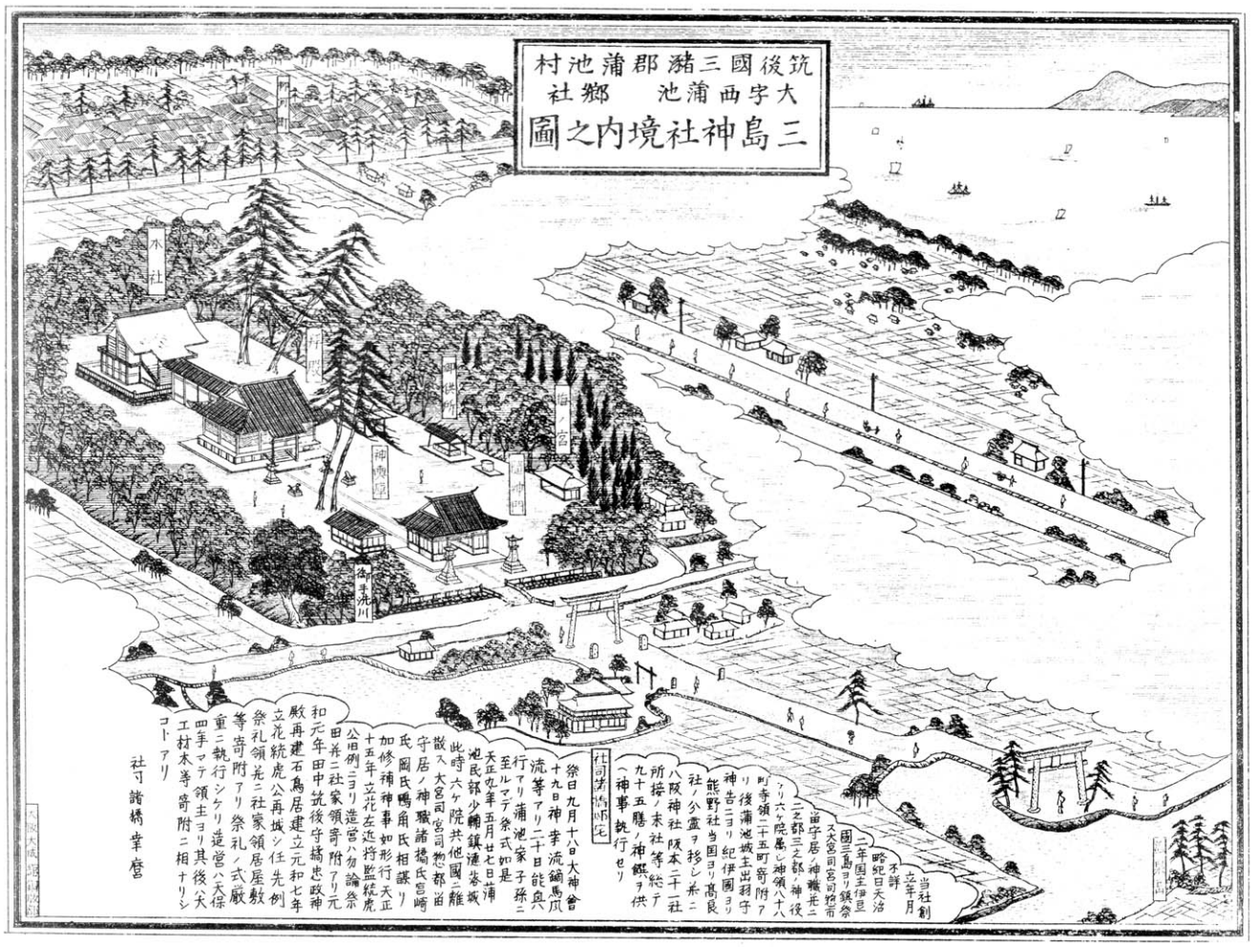

筑後國三瀦郡木佐木村
大字蛭池　鄕社
三島神社境内之畧圖
社司宮原邸宅
坂木社
牟田神社
荷花神社
本社
若宮神社
火雷神社
坂木社
日供田
花菖川
當社ハ伊豆國住權中納言藤原家房卿ノ玄孫西牟田彌次郎家繼延應元年地頭職ニ補セラレ當地ヘ入部ノ時伊豆ノ三島神社ヲ茲地ニ分祀シ神地若干ヲ寄附シ特ニ尊崇セラル延テ久留米藩主有馬家ニ至リ代々ノ信仰厚シ祭日ハ十一月二日及ヒ二十二日ヲ專ヲ神事ニ預ルト云境内末社若宮神社ハ延應以前ノ産神ニシテ千年以上ノ舊社ナリト傳フ
大阪大成館銅版部製

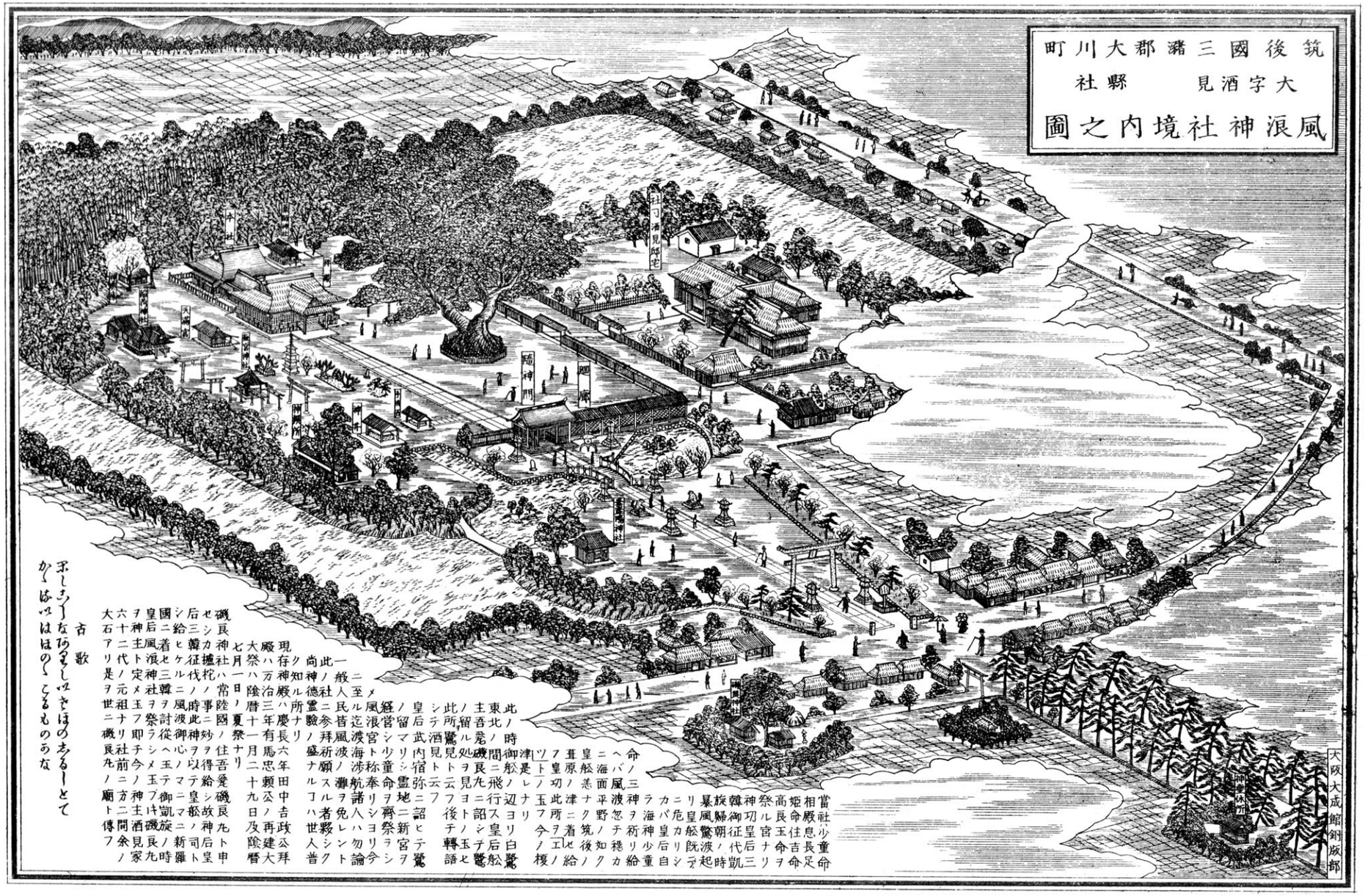




鄕社大刀帯神社
永録年中木室越前守再建
豊受皇大神宮
天智天皇之御時阿蘇栗隈公伊勢ヨリ
勧請慶長六年辛巳年國中田中筑后守
吉政公宝殿再奠伊勢神宝之内神鏡七
面御剱一振橋村肥前太夫ヲ以テ申可
ラレ剱八七寸三歩ナリ


筑後國三潴郡江上村
大字江上本　鄷社
日吉神社境内之圖
本社
素盞嗚神社
天照御祖社
榛谷社
月弓社
現人社
稲荷社
松尾社
社司松本鄷
社務所
拝殿
幣殿
若宮社
手洗所
隨神門
大神宮
廻廊
廻廊
御旅所
當社創建ハ人皇五十代桓武天
皇延暦二十四年大藏朝臣江上
忠棟江刕日吉社ヨリ勸請ニテ
康暦二年ノ再建ナリ創立ノ節
地方数町寄附天正ノ兵乱中後
攸久其砌リ縁紀神宝等紛失ノ
由申傳矣于時慶長六年旧国主
田中筑後守吉政殿爲社領江上ノ
内地方百石寄附アリ其後田中氏
没世ニヨリ松倉豊後守城代之節
同氏ヨリノ書判等存在ス旧藩主
代々崇敬ノ社ニテ維新ノ際寄附
地被相止藩廳ヨリ廩米百五十俵
寄附アリ明治ノ三年ニ至リ被相
止當今ハ寄附等無之例祭大祭暦
十一月申酉両日神幸小祭同正月
十五日同正月廿日鎭火祭玉換ノ
執行アリ各郡市町ヨリ参集ノ人
民其数ヲシラス
大阪大成館銅版部


筑後國三潴郡蒲池村
大字西蒲池　鄉社
三島神社境内之圖
木社
神庫
神庫
神庫



古歌

ふしもうつなびけるかたはいはほのみるしとてかくはいはほのくるものかな

磯良神社ハ常陸國ノ住吾愛磯良ヲ祭ナリ
セシカ擔柁ノ事ニ妙ヲ得給シ故神后皇后三韓征伐ノ時此神ヲ以テ皇船ノ司ト給ヒケルニ風波御心ノマニマニ新羅國ニ着セ三韓ヲ討從ヘ玉テ凱旋ノ時磯良ヲ神主ト定メ玉フ即チ今ノ神主酒見家六十二代ノ元祖ナリ社前ニ方二間余ノ大石アリ是ヲ世ニ磯良丸ノ廟ト傳フ

現存神殿ハ慶長六年田中吉政公拜殿ハ万治三年有馬忠頼公ノ再建大祭ハ陰暦十一月二十九日及陰曆七月一日ノ夏祭ナリ

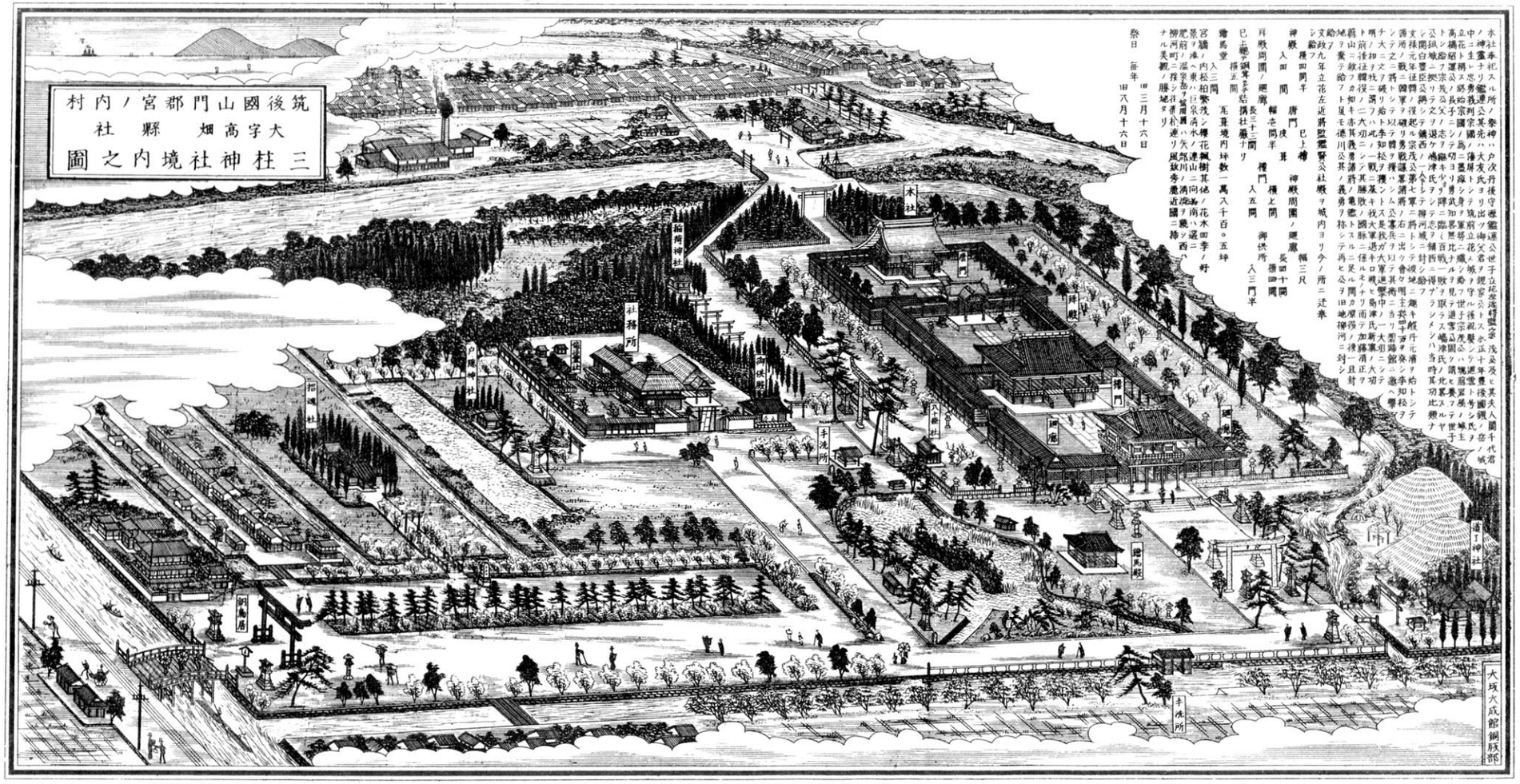
一般人民皆風波ノ灘ヲ免レント尚此ノ社ニ參拜祈願スル者頻シク盛ナルコハ世人普ク知ル所ナリ

二至ル迄渡海航諸人勿論メ風浪宮ト称奉リシヨリ今經営シ少童命ヲ齊祭ラシ留マリシ靈地ニ新宮ヲ皇后武内宿弥ニ詔ヒテ驚シテ酒見ト云フ此所驚ト云フ後チ轉語

此ノ時御船ノ辺ヨリ白鷺東北ノ間ニ飛行ス皇后船主吾愛磯良丸ニ詔シテ驚ノ留ル処ヲ見ヨト詔ヒ玉ヒシ故ツトフ玉フ今ノ榎

命ノ三神ヲ祈リ給ヒシ故ニ風波忽チ穏カヘバ風波ノ面平野ノ如ク皇船恙ナク筑後ノ畳原ノ津ニ着セ給ヒシ故ツトフ皇功此所ヲエノ是レナリ

當社少童命相殿息長足姫命住吉命ヲ高玉命ヲ祭ル宮ナリ三神功皇后韓征伐凱旋ノ時暴風驚波起リ皇船既ニ危カリシカバ皇后自ラ海神ヲ祈リ給ヒシ故ニ海面平穏ニ帰朝ノ時驚波忽チ穏カヘバ風波ノ面平野ノ如ク皇船恙ナク筑後ノ畳原ノ津ニ着セ給ヒシ故ツトフ皇功此所ヲエノ榎


筑後國山門郡宮ノ内村
大字高畑　縣社
三柱神社境内之圖
大坂大成館鋼版部

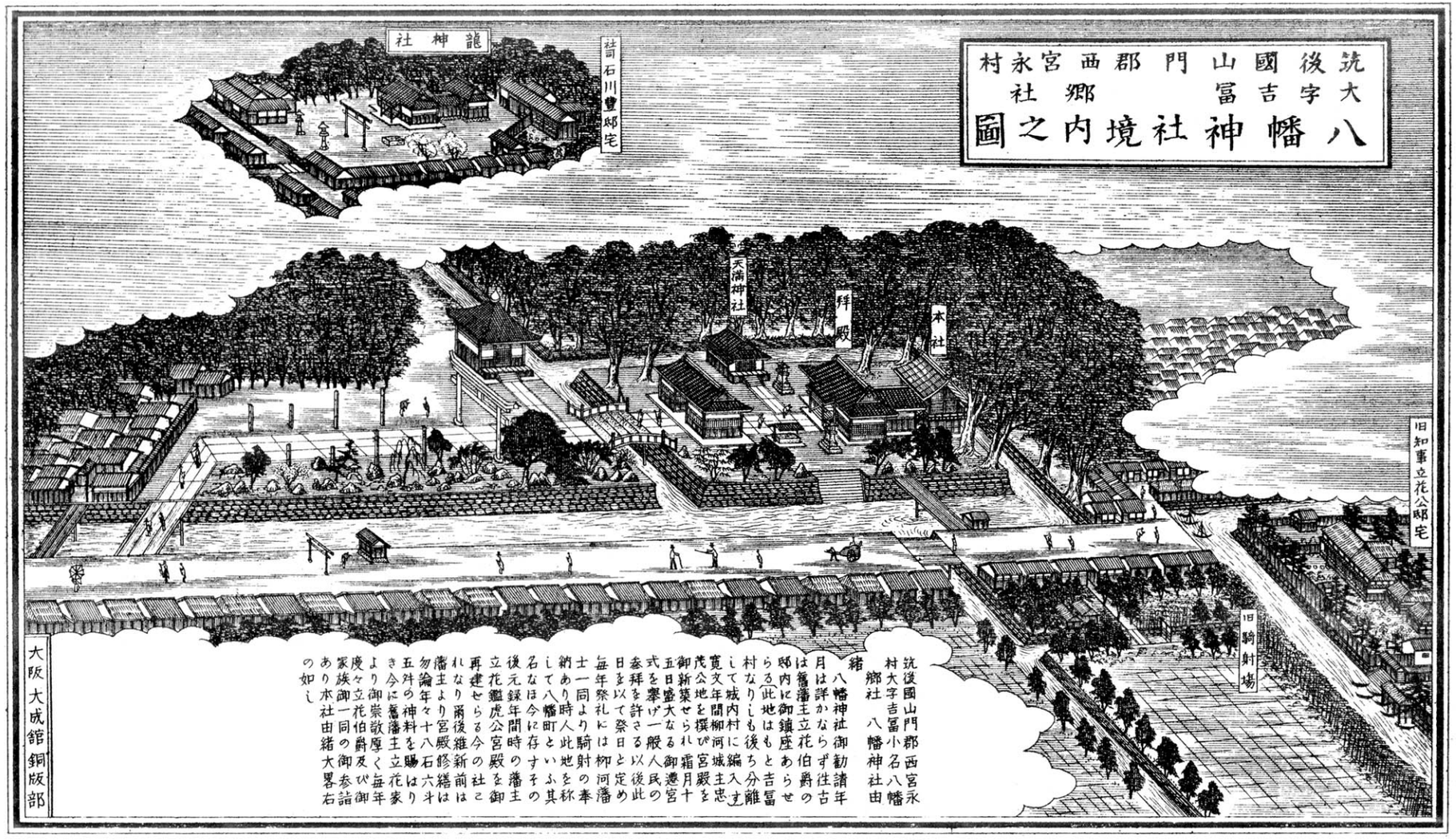


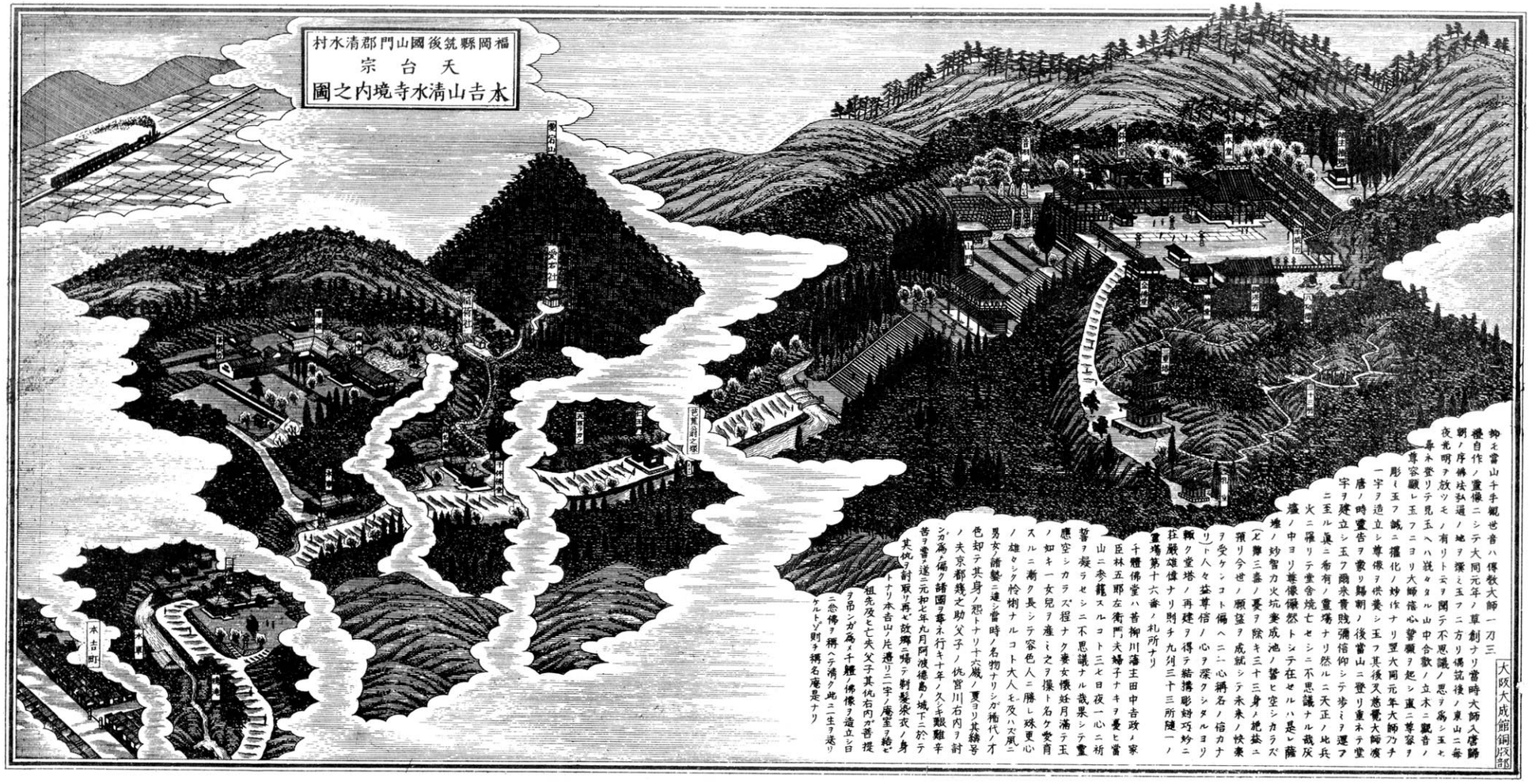
福岡縣筑後國山門郡城内村大字坂本町鄉社日吉神社祭神大山咋命一創立人皇九十三代伏見院御宇正應三年山門郡社村ノ農長某ト申者近江國滋賀郡坂本村鎮座日吉神社ノ御分靈ヲ奉守仰川村ニ歸還シ此所ニ安置邑内鎮護ノ産神ト崇奉シ文龜永正ノ頃蒲池筑後守治久ノ節ヨリ仰河ノ惣願トシテ崇敬有之社領地五拾三石余寄附ニ相成其後田中吉政公慶長十二年正月五日社領地五十三石六斗余寄附ニ相成元祿八年十月朔日社殿再建ニ相成其後社殿ヲ始メ建物末社ニ至ル迄舊領主ヨリ修繕等相成候明治二年ヨリ當社ト相成先例ニ依リ舊藩廳ヨリ社祿及當繕等有之明治六年社格鄉社ニ列セラレ



本社之緣起往古貞觀年中肥後國主平ノ盛稙平ノ高垣平ノ正勝平清貞平親英平政直ノ六騎當村ニ移住シ常ニ産神ナキヲ歎キ朝夕心魂ヲ碎キ宮殿ヲ造營センコトヲ願フ或時靈夢ヲ蒙リ社下二半鏡アリ之ヲ堀出シ以テ奉祀スベシ乃チ地下ヲ堀ルニ丈余果シテ一ノ半鏡ヲ得タリ依テ之レヲ神体トナシ經營數年遂ニ宮殿ヲ建立シ應永二年霜月十五日ヲ以テ天照皇太神ヲ齋キ奉リ鎮座ノ式ヲ行セシヨリ今日ニ至ル五百有余年爾來毎年十一月十五日ヲ以テ祭日ト定ム則チ今ノ鏡ノ出現セシ處ナリ六騎本鏡ノ池ハ其靈村ニ移住以來漸ク二從事シ經營スル所亦勘カラス時人之ヲ尊重シ敬テ其名ヲ吉ハズ六騎ト称フ後世當地方ニ於テ漁業者ヲ指シテ六騎ト云フ所以ナリ故ニ水社ノ起原ヲ略叙スト云爾

大成館銅版部

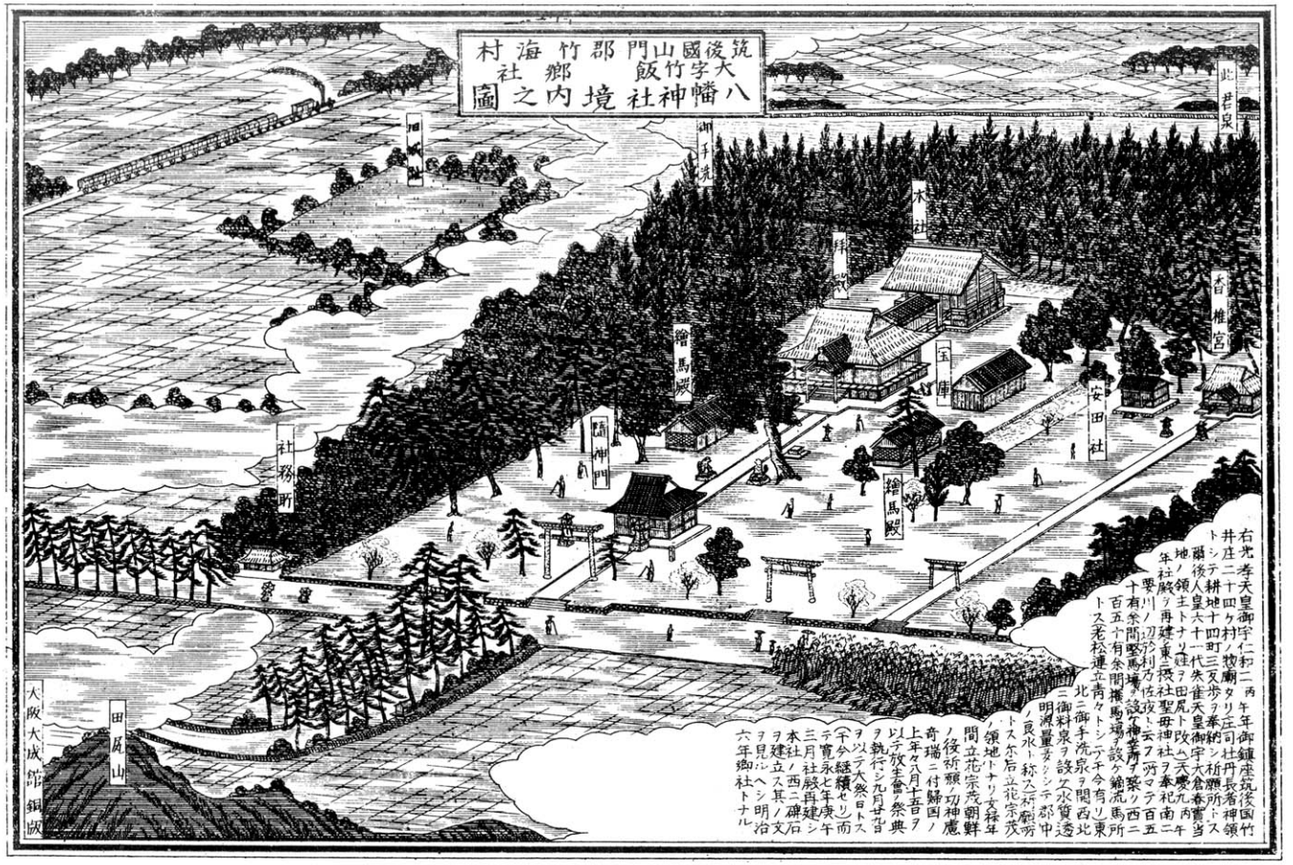

筑後國山門郡西宮永村
大字吉冨　郷社
八幡神社境内之圖
龍神社
菅石川豊邸宅
天満神社
拝殿
本社
旧知事立花公邸宅
旧駒射場
筑後國山門郡西宮永村大字吉冨小名八幡
郷社　八幡神社由緒
八幡神社御勧請年月は詳かならず往古は舊藩主立花伯爵の邸内に御鎮座あらせらる此地はもと吉冨村なりしも後ち分離して城内村に編入寛文年間柳河城主忠茂公地を撰び宮殿を御新築せられ霜月十五日盛大なる御遷宮式を擧げ一般人民の參拜を許さる以後此日を以て祭日と定め毎年祭礼には柳河藩士一同より騎射の奉納あり時人此地を称して八幡町といふ其名なほ今に存すその後元録年間時の藩主立花鑑虎公宮殿を御再建せらるる今の社これなり爾後維新前は藩主より宮殿修繕は勿論年々十八石六斗五升の神料を賜はりき今に舊藩主立花家より御崇敬厚く毎年慶々立花伯爵及び御家族御一同の御參詣あり本社由緒大畧右の如し
大阪大成館銅版部

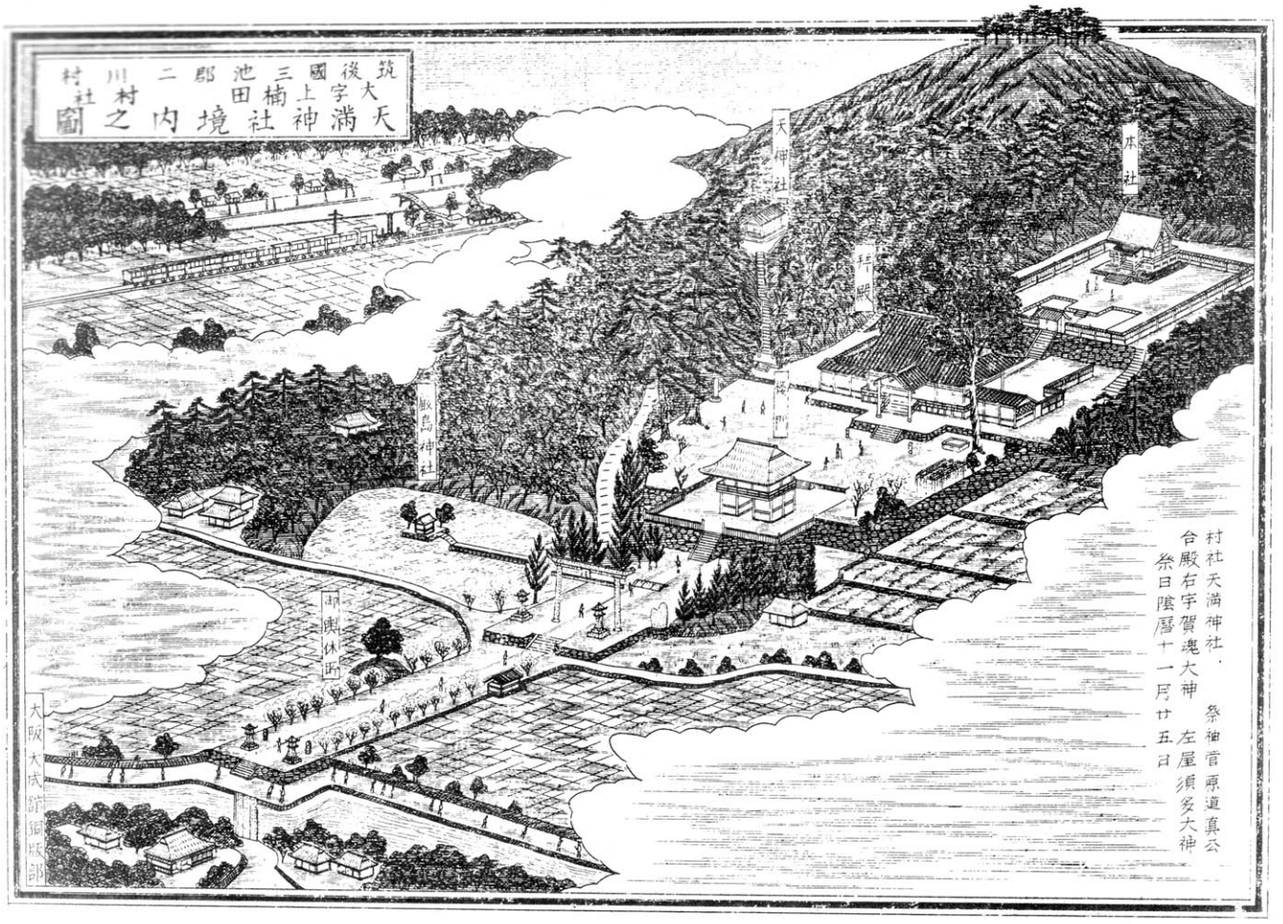


御本尊山千手觀世音ハ傳教大師一刀三禮自作ノ靈像ニシテ大同元年ノ草創ナリ當時大師入唐歸朝ノ序將法弘通ノ地ヲ探ミ玉フニ方リ佩筑後ノ東山ニ毎夜光明ヲ放ツモノ有リト云ヲ聞テ不思議ノ思ヲ爲シ玉ヒ自木ニ登リテ見玉ヘハ猶々タル山中合歡ノ立木ニ觀音ノ尊容顯レ玉フニヨリ大師落心讃嘆ヲ起シ直ニ尊容ヲ彫ミ玉フ誠ニ權化ノ妙作ナリ翌大同元年大師乃チ一宇ヲ造立シ尊像ヲ供養シ玉フ其後又慈覺大師唐ノ時靈告ヲ蒙リ歸朝ノ後當山ニ登リ重ネテ堂宇ヲ建立シ玉フ爾來貴賤彌信仰シテ步ミヲ運フニ至ル眞ニ布有ノ靈場ナリ然ルニ天正ノ比兵火ニ罹リテ堂舍燒亡セシニ不思議ナル哉灰燼ノ中ヨリ巍々儼然トシテ在セルハ是レ薩埵ノ妙智力火坑變成池ノ誓ヒ空シカラズ乙酉三基ノ憂ヲ除キ三十三身ノ艶益ニ預リ今世ノ願望ヲ成就シテ永來ノ快樂ヲ受ケンコト偏ヘニ心將名ノ信力ナリト人々益尊信ノ心ヲ深クシタルヨリ輒ク堂塔ノ再建ヲ得テ結搆彫刻巧妙ニ莊嚴雄偉ナリ則チ九列三十三所隨一ノ靈場第十六番ノ札所ナリ

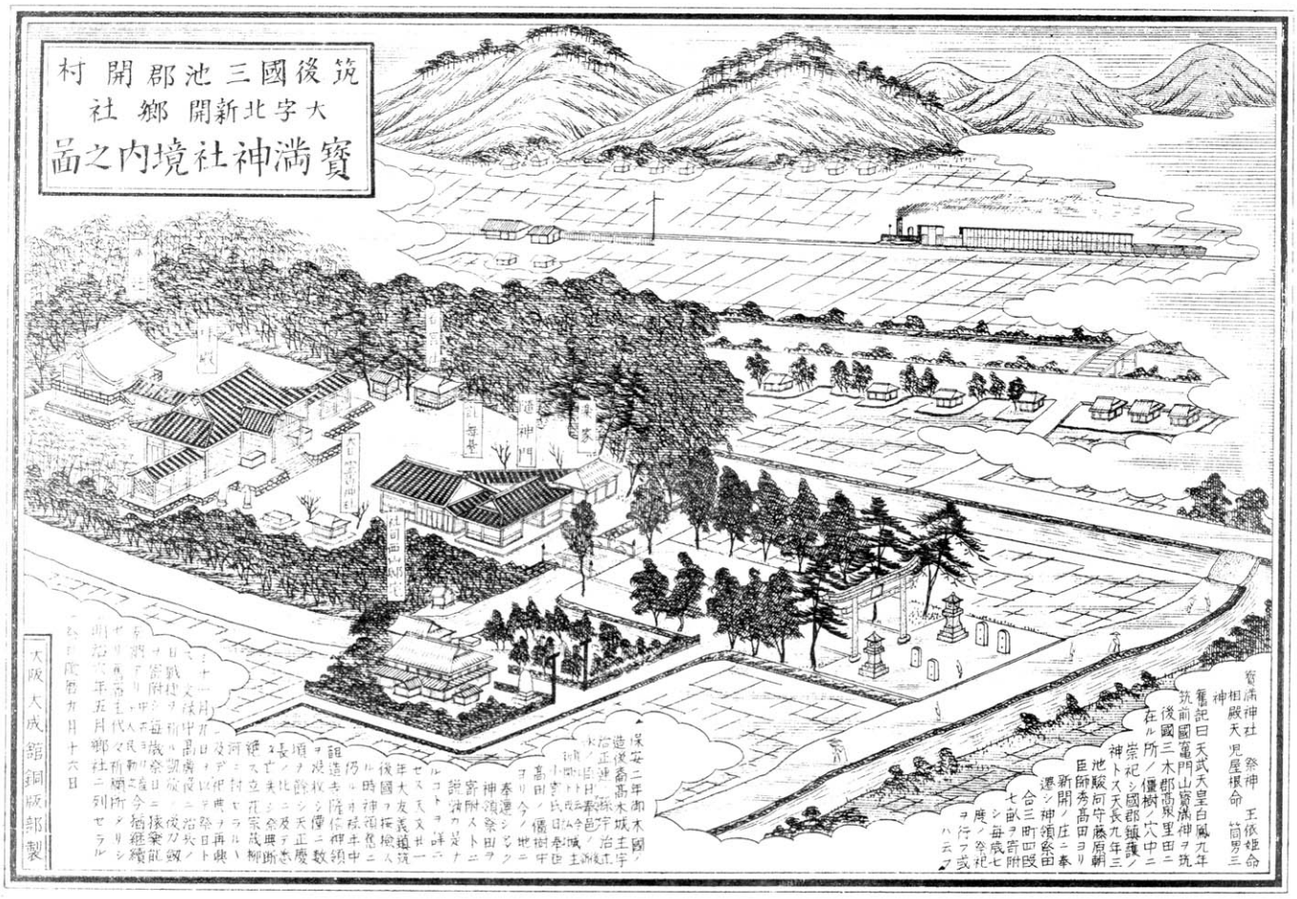
千體佛堂ハ昔柳川藩主田中吉政ノ家臣林五郎左衛門大輔子ナキヲ憂ヒ當山ニ參籠スルコト三七日夜一心ニ祈誓ヲ凝ラセシニ不思議ナル哉果シテ靈應空シカラズ程ナク妻女懷妊月滿テ玉ノ如キ一女兒ヲ産ミ之ヲ攝ト名ケ愛育スルニ漸ク長シテ容色人ニ勝レ殊更心ノ雄々シク怜悧ナルコト大人モ及ハズ夙ニ男女諸藝ニ達シ當時ノ名物ナリシカ稚代ノ才色却テ其身ノ恐トナリ六歳ノ夏ヨリ其緒ヲ大京都幾之助父子ノ仇宮川右内ヲ討シカ爲ニ偏ク諸國ヲ尋ネ行キ十年ノ久シキ艱難辛苦ヲ嘗ヲ遂ニ元和七年九月阿波德島ノ城下ニ於テ其仇ヲ討取リ再ビ故郷ニ歸テ剃髮染衣ノ身トナリ本吉山ノ片邊リニ一宇ノ庵室ヲ結ビ祖先及ビ亡夫父子其仇右内ガ菩提ヲ弔シガ爲メ千體ノ佛像ヲ造立シ日ニ念佛ヲ稱ヘテ消ク此ニ生ヲ送リケルトゾ則チ稱名庵是ナリ

大阪大成館銅版部

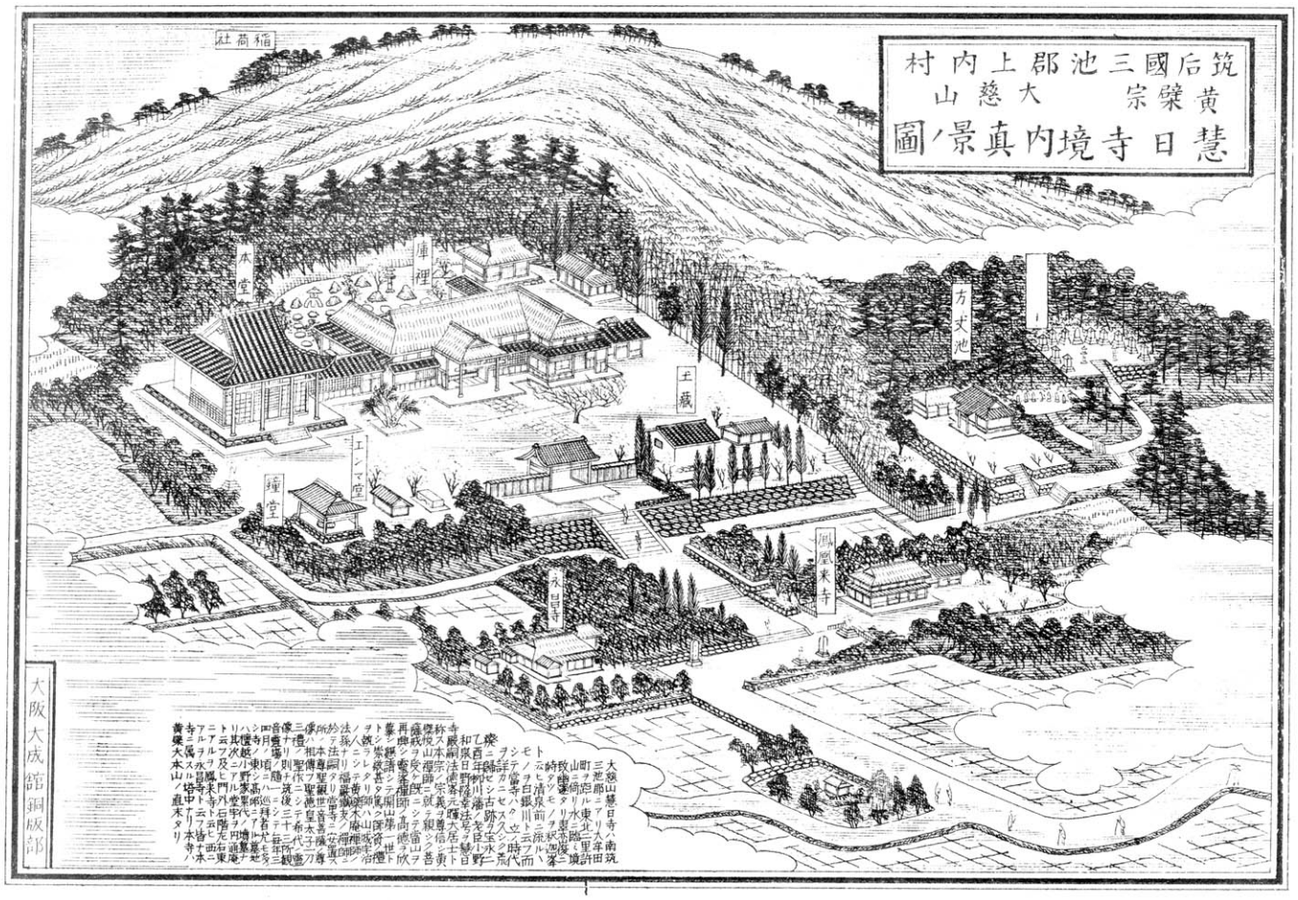

筑後國山門郡竹海村
大字竹飯　鄕社
八幡神社境内之圖
此君泉
拜殿
神手洗
木社
神馬殿
高仲門
社務所
田瓜山
大阪大成館鐫版
右光孝天皇御宇仁和二丙午年御鎭座筑後國竹井庄二十四ケ村ノ惣廟タリ庄司社丹長脊禪領トシテ耕地十四町三反歩ヲ奉納シ祈願所トス
醍後人皇六十一代朱雀天皇御宇大倉春實當地ノ領主トナリ社ヲ田尻ト改ム天慶九丙午年社殿ヲ再建東ニ筑社聖母神社ヲ奉祀南二
拜殿
玉垣
安田社
右宮椎宮
神馬殿
社務所
田瓜山
大阪大成館鐫版

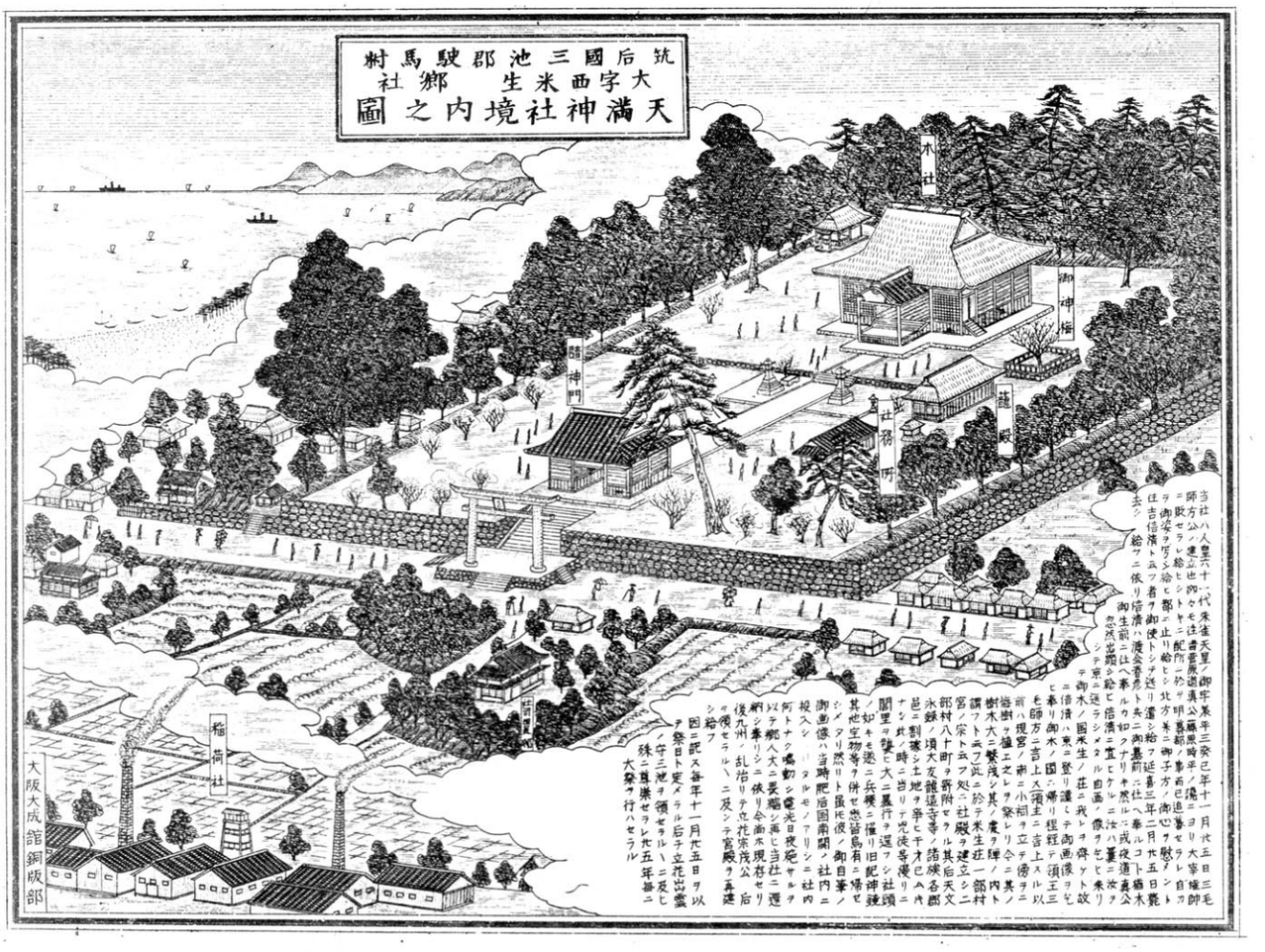


村社天満神社、祭神菅原道真公
合殿右宇賀魂大神　左屋須多大神
祭日陰暦十一月廿五日



寶満神社　祭神　玉依姫命
相殿天児屋根命　筒男三
神
筆記曰天武天皇白鳳九年
筑前國竈門山寶満神ヲ筑
後國三木郡高良山ニ奉
在ル所ノ傳樹ノ穴中ニ
崇祀シ國郡鎮護ノ
神トス天長九年三
地驛何守藤原朝
臣師秀高田ヨリ
新開ノ庄ニ奉
遷シ神領祭田
合三町四段
七畝ヲ寄附
シ毎歳七
度ノ祭祀
ヲ行フ或
ハ云フ
保安二年南木國ノ
造僕高木城主宇
治正連
秦邑ニ
城ヲ
高田ノ傳樹ノ
ヨリ今ノ地ニ
奉遷シ
神領祭田ヲ
寄附スト云
說如是カ
時神慮ニ
後國ノ
國ノ
數
境
天
慶
寺
社
川
村
社
大阪大成館銅版部製


筑后國三池郡上内村
黄檗宗　大慈山
慧日寺境内真景之圖
稲荷社
本堂
庫裡
方丈
五輪塔
鐘堂
開基東来和尚
開山国師
大阪大成館銅版部


筑后國三池郡駅馬村
大字西米生　鄕社
天満神社境内之圖
本社
御神楯
随神門
拝殿
社務所
稲荷社
大阪大成館銅版部

明治三十一年十一月二十日印刷
明治三十一年十一月廿五日發行

版權所有

定價 金貳圓五拾錢

著作者 大阪府士族 清水吉康

發行者 大阪市東區北久太郎町四丁目百四十一番屋敷 中井善吉

印刷者 大阪市北區瀧川町二十五番屋敷 千榊源藏

印刷所 大阪市南區鰻谷東之町百七十五番屋敷 周擴合資會社支店

發兌元 大阪市北區瀧川町二十五番屋敷 大阪大成館

賣捌所 大阪市東區北久太郎町心齋橋東入 中井書店

昭和六十年六月再刊

著作者 清水吉康

発行者 原田徳彦

砥上淳一

印刷 出版印刷タイプオフ 原田印刷

製本 ㈲池田製本所

発売元 福岡市中央区平尾三丁目三〇一二九 大蔵出版会

電話 五三一一六九五三

渡邊芳泰堂製